和雑誌
バックナンバー在庫目録

このカタログには、出版社の医学書院と多数の学会誌など弊社取り扱いのバックナンバーが
一冊から購入できるようリストされています。
尚、品切れの場合もございますので、在庫は前もってE－mail、FAX、お電話にてご確認ください。

ご注文は、直接当社宛に、E－mailもしくはFAXにてお申込み下さい。

ご注文商品は請求書等同封の上、郵便または宅配便で発送いたします。
尚、表示価格は消費税込みの価格です。

商品がお手元に届きましたら現品ご確認の上、郵便振替もしくは銀行振込みにて3週間以内に
お支払い下さい。
尚、送金手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします。

このカタログにリストされていないお探しの洋雑誌・和雑誌のバックナンバーがございましたら、
何なりとお問い合わせ下さい。1冊でもお探しして速やかにご返事申し上げます。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11
電話(03)5947-4781　FAX(03)3923-4539
E-Mail : st@toabook.com
代表取締役　　鶴　三郎

学術雑誌バックナンバーの専門店です。
1966年創業
ホームページアドレス
http://www.toabook.com
WEBショップアドレス
http://toabook.shop-pro.jp/

1	**アディクションと家族：日本嗜癖行動学会誌（家族機能研究所）**		
	Vol. 15#2,4 (1998)	各号	¥1,760
	Vol. 16#1,2,3 (1999)	各号	¥1,760
	Vol. 17-30 (2000-2014/2015) 各1-4号	各号	¥1,760
	Vol. 31#1,2 (2015/2016)	各号	¥1,760
	Vol. 32#1,2 (2016/2017)	各号	¥1,760
	Vol. 33#1,2 (2017/2018)	各号	¥1,760
	Vol. 36#2 (2021)		¥1,760
2	**アドレリアン（日本アドラー心理学会）**		
	Vol. 2#1 (1987)		¥1,650
	Vol. 4#1 (1990)		¥1,650
	Vol. 13#3 (2000)		¥1,650
	Vol. 15#2 (2001)		¥1,650
	Vol. 16#3 (2003)		¥1,650
	Vol. 17#1 (2003)		¥1,650
	Vol. 24-27 (2010/2011-2013/2014) 各1-3号	各号	¥1,650
	Vol. 28#1,2 (2014/2015)	各号	¥1,650
3	**Advances in Exercise and Sports Physiology（日本運動生理学会）**		
	Vol. 1-3 (1995-1997) 各1-2号	各号	¥3,850
	Vol. 4-19 (1998-2013) 各1-4号	各号	¥3,850
	Vol. 20#1 (2014)		¥3,850
4	**アレキサンダー研究会会誌（アレキサンダー研究会）**		
	No. 11-20 (1996-2005)	各号	¥2,750
	No. 20 別冊 (2005)	各号	¥2,750
	No. 22-26 (2007-2011)	各号	¥2,750
5	**アレルギー・免疫（医薬ジャーナル社）**		
	Vol. 15#1-3 (2008)	各号	¥2,750
6	**アレルギーの臨床 Allergy in Practice（北隆館）**		
	No. 341-529 (2006-2019)		
7	**Anatomical Science International（日本解剖学会）**		
	Vol. 77-78 (2002-2003) 各1-4号	各号	¥13,200
	Vol. 79#1-4 (2004) 各1-4号,Supplement	各号	¥13,200
	Vol. 80-83 (2006-2008) 各1-4号	各号	¥13,200
	Vol. 84#1/2 (2009)		¥26,400
	Vol. 84#3,4 (2009)	各号	¥13,200
	Vol. 85#1-4 (2010)	各号	¥13,200
品切	Vol. 86#1 (2011)		¥13,200
	Vol. 86#2-4 (2011)	各号	¥13,200
	Vol. 87#1-4(2012)	各号	¥13,200
	Vol. 88#1-3(2013)	各号	¥13,200
品切	Vol. 88#4(2013)		¥13,200
品切	Vol. 89#1-3(2014)	各号	¥13,200
	Vol. 89#4(2014)		¥13,200
品切	Vol. 90#1-3(2015)	各号	¥13,200
	Vol. 90#4(2015)		¥13,200
8	**Angiology Frontier（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 5#1 (2006); 6#3,4 (2007); 8#1 (2009); 9#2,3 (2010)	各号	¥2,750
	Vol. 10#1 (2011)		¥2,750

9	**アンチエイジング医学 日本抗加齢医学会雑誌 Anti-Aging Medicine (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 1#1-3 (2005)	各号	¥1,650
	Vol. 2#1-4 (2006)	各号	¥1,650
	Vol. 3#1,2,4 (2007)	各号	¥1,650
	Vol. 4#1-3 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 5#1-6 (2009)	各号	¥1,650
	Vol. 6#1,4 (2010)	各号	¥1,650
10	**Architectural digest Japan : アーキテクチュラル・ダイジェスト・ジャパン (福武書店)**		
	No.5-14 (Vol. 2#3-12) (1984)	各号	¥2,200
	No.15-21 (Vol. 3#1-7) (1985)	各号	¥2,200
11	**Aromatopia アロマトピア (フレグランスジャーナル社)**		
	No. 1-75 (1992-2006)	各号	¥1,885
12	**Arterial Stiffness 動脈壁の硬化と老化 (メジカルビュー社)**		
	No. 6-11,13-16,19 (2004-2013)	各号	¥2,200
13	**Asian Pacific Journal of Dentistry (ICJD日本事務局)**		
	※Vol.2-10 (2002-2010)→International Chinese Journal of Dentistry		
	Vol. 11-21 (2011-2021) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 22#1 (2022)		¥3,300
14	**あたらしい眼科 Journal of the eye (メディカル葵出版)**		
	Vol. 16-31 (1999-2014) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 16-31 (1999-2014) 各臨時増刊号	各号	¥6,600
	Vol. 23,23 (2006,2007) 各別巻	各号	¥8,800
15	**AVD : Annals of Vascular Diseases**		
	Vol. 1#1,2,Supplement (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 2-3 (2009-2010) 各1-3号,Supplement	各号	¥3,300
16	**美術史 (美術史學會)**		
	No. 123-180 (1988-2016)	各号	¥3,300
17	**Binos 日本野鳥の会神奈川支部研究年報**		
	Vol. 1-10 (1994-2003)	各号	¥2,200

18	**BIO Clinica (北隆館)**		
	Vol. 17#3,4,7,12,14 (2002)	各号	¥2,724
	Vol. 17#1,2,5,6,8,11,13 (2002)	各号	¥2,096
	Vol. 18#3,7,9,11,14 (2003)	各号	¥2,724
	Vol. 18#1,2,4,6,8,10,13 (2003)	各号	¥2,096
	Vol. 19#2,3,7,8,11,14 (2004)	各号	¥2,724
	Vol. 19#1,4-6,9,12,13 (2004)	各号	¥2,096
	Vol. 20#3,4,7,10,13,14 (2005)	各号	¥2,724
	Vol. 20#1,2,5,6,8,9,11,12 (2005)	各号	¥2,096
	Vol. 21#3-6,13 (2006)	各号	¥2,096
	Vol. 21#11,14 (2006)	各号	¥2,724
	Vol. 22#1,8,12,13 (2007)	各号	¥2,724
	Vol. 22#2,3,4,5,7,9 (2007)	各号	¥2,096
	Vol. 23#1-3,6-8,11,12,14 (2008)	各号	¥2,096
	Vol. 23#4,5,9,10,13 (2008)	各号	¥2,724
	Vol. 24#1,2,3,5,6,10 (2009)	各号	¥2,305
	Vol. 26#3,5,11 (2011)	各号	¥2,305
	Vol. 27#1-8,10,12,13 (2012)	各号	¥2,305
	Vol. 27#9,14 (2012)	各号	¥2,724
	Vol. 28#1,2,5,6,7,11,12,13 (2013)	各号	¥2,305
	Vol. 28#4,14 (2013)	各号	¥2,724
	Vol. 29#2,4,5 (2014)	各号	¥2,305
19	**別冊BIO Clinica　慢性炎症と疾患 (北隆館)**		
	Vol. 2#1-2 (2013)	各号	¥3,143
20	**バイオフィードバック研究 (日本バイオフィードバック学会)**		
	Vol. 25 (1998)		¥3,300
	Vol. 30 (2003)		¥3,300
	Vol. 32 (2005)		¥3,300
	Vol. 34#1,2 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 35#1,2 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 36#1,2 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 37#1,2 (2010)	各号	¥3,300
21	**バイオマテリアル 生体材料 (日本バイオマテリアル学会)**		
	Journal of Japanese Society for Biomaterials		
	Vol. 20-23 (2002-2005) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 24#4,5 (2006)	各号	¥2,750
	Vol. 25#4,5,6 (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 26#1,3,5,6 (2008)	各号	¥2,750
	Vol. 27#1,3,4 (2009)	各号	¥2,750
	Vol. 28#1 (2010)		¥2,750
22	**バイオメカニクス研究 (日本バイオメカニクス学会)**		
	Japanese journal of biomechanics in sports & exercise		
	Vol. 1#1-3 (1997)	各号	¥1,650
	Vol. 2-11 (1998-2007) 各1-4号	各号	¥1,650
	Vol. 12#1,3,4 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 13#1-3 (2009)	各号	¥1,650
23	**バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会講演論文集**		
	第9回年次大会講演論文集 (1996)		¥5,500
	第11-15回年次大会講演論文集 (1998-2002)	各冊	¥5,500

24	**バイオサイエンスとインダストリー（バイオインダストリー協会）**		
	Vol. 57#1-12 (1999)	各号	¥1,540
	Vol. 58#1-12 (2000)	各号	¥1,540
	Vol. 59#1,2,4,8-12 (2001)	各号	¥1,540
	Vol. 60#2,5,7,10,11 (2002)	各号	¥1,540
	Vol. 62#4-12 (2004)	各号	¥1,540
	Vol. 63#3 (2005)		¥1,540
25	**微粒化 Atomization（日本液体微粒化学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 3#5-6 (1994)	各号	¥2,200
	Vol. 4#7-8 (1995)	各号	¥2,200
	Vol. 5#9-12 (1996)	各号	¥2,200
	Vol. 6#13-16 (1997)	各号	¥2,200
	Vol. 7#17-20 (1998)	各号	¥2,200
	Vol. 8#21-24 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 9#25-28 (2000)	各号	¥2,200
	Vol. 10#29-32 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 11#33-36 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 12#37-40 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 13#41-44 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 14#45-48 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 15#49-52 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 16#53-56 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 17#57-60 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 18#61-64 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 19#65-68 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 20#70-71 (2011)	各号	¥2,200
26	**BME 日本ME学会雑誌（日本ME学会）**		
	Vol. 1#1,3-8,11 (1987)	各号	¥2,200
	Vol. 2#5,7-9,11 (1988)	各号	¥2,200
	Vol. 3#3,6,7,9,12 (1989)	各号	¥2,200
	Vol. 4#1,3,5,6,8,11 (1990)	各号	¥2,200
	Vol. 5#2,3,5-8,10-12 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 6#1,2,5,7,9-12 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1-6,8-10,12 (1993)	各号	¥2,200
	Vol. 8#1,6-12 (1994)	各号	¥2,200
	Vol. 9#2-12 (1995)	各号	¥2,200
	Vol. 10#3-8,10,11 (1996)	各号	¥2,200
	Vol. 11#1,4-9,11,12 (1997)	各号	¥2,200
	Vol. 12-15 (1998-2001) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 16#1-3,6-8,11,12 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-6 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 18#2,4 (2004)	各号	¥2,200
27	**ボバースジャーナル（日本ボバース研究会）**		
	Vol. 11#1-2 (1988)	各号	¥3,300
	Vol. 12-17 (1989-1994) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 18-41 (1995-2018) 各1-2号	各号	¥3,300
28	**防衛学研究 Defense studies（防衛大学校防衛学研究会）**		
	No. 47 (2012)		¥1,100
	No. 48 (2013)		¥1,100

29	**防菌防黴（日本防菌防黴学会）**		
	Vol. 17-22 (1989-1994) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 23#2-12 (1995)	各号	¥1,650
	Vol. 24#1,3,4,7-12 (1996)	各号	¥1,650
	Vol. 25#1-3,5-12 (1997)	各号	¥1,650
	Vol. 26-32 (1998-2004) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 33#1-3 (2005)	各号	¥1,650
30	**The Bone（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 28#4 (2014)		¥2,310
	Vol. 29-30 (2015-2016) 各1-4号	各号	¥2,310
31	**母性衛生 Maternal health（日本母性衛生学会）**		
	Vol. 2#1 (1961)		¥1,980
	Vol. 3#1 (1962)		¥1,980
	Vol. 4#1-2 (1963)	各号	¥1,980
	Vol. 5#1-2 (1964)	各号	¥1,980
	Vol. 6#1 (1965)		¥1,980
	Vol. 10#2 (1969)		¥1,980
	Vol. 15#3/4 (1974)		¥3,960
	Vol. 16#1-4 (1975/1976)	各号	¥1,980
	Vol. 17#1-4 (1976/1977)	各号	¥1,980
	Vol. 18#1-4 (1977/1978)	各号	¥1,980
	Vol. 19#1-4 (1978/1979)	各号	¥1,980
	Vol. 20#1-4 (1979/1980)	各号	¥1,980
	Vol. 21#1-4 (1980/1981)	各号	¥1,980
	Vol. 22#1-4 (1981/1982)	各号	¥1,980
	Vol. 23#1-4 (1982/1983)	各号	¥1,980
	Vol. 24#1-2 (1983)	各号	¥1,980
	Vol. 24#3/4 (1983)		¥3,960
	Vol. 25#1-4 (1984)	各号	¥1,980
	Vol. 26#1-4 (1985)	各号	¥1,980
	Vol. 27#1-4 (1986)	各号	¥1,980
	Vol. 28#1-4 (1987)	各号	¥1,980
	Vol. 29#1-4 (1988)	各号	¥1,980
	Vol. 30#1-4 (1989)	各号	¥1,980
	Vol. 31#1-4 (1990)	各号	¥1,980
	Vol. 32#1-4 (1991)	各号	¥1,980
	Vol. 33#1 (1992)		¥1,980
	Vol. 34#1-4 (1993)	各号	¥1,980
	Vol. 35#1-4 (1994)	各号	¥1,980
	Vol. 36#1-4 (1995)	各号	¥1,980
	Vol. 37#1-4 (1996)	各号	¥1,980
	Vol. 38-44 (1997-2003) 各1-4号	各号	¥1,980
	Vol. 40#40周年記念誌 (1999)		¥1,980
	Vol. 45-48 (2004/2005-2007/2008) 各1-4号	各号	¥1,980
	Vol. 49-52 (2009/2010-2011/12) 各1,2,4号	各号	¥1,980
	Vol. 49-52 (2009-2011) 各3号	各号	¥2,200
32	**母子保健情報（思賜財団母子愛育会）**		
	No. 1/2-57 (1981-2008)	各号	¥2,096

33 BRAIN and NERVE (医学書院)

※Vol.1-58 (1948/49-2006)→Brain and Nerve 脳と神経 (医学書院)

	Vol. 59#1 (2007) 高次視覚研究の最近の進歩	¥2,860
	Vol. 59#2 (2007) 進行性多巣性白質脳症の新しい展開 PMLが治る時代	¥2,860
	Vol. 59#3 (2007) 分子イメージング	¥2,860
	Vol. 59#4 (2007) 増大特集 最近注目される脳神経疾患治療の研究	¥3,960
	Vol. 59#5 (2007) 脳画像最前線	¥2,860
	Vol. 59#6 (2007) 職業性神経障害の新しい展開	¥2,860
	Vol. 59#7 (2007) 増大特集 情報伝達処理におけるグリアの機能と異常	¥3,960
	Vol. 59#8 (2007) パーキンソン病の分子遺伝学-最近の知見	¥2,860
	Vol. 59#9 (2007) パーキンソン病の認知機能障害	¥2,860
品切	Vol. 59#10 (2007) 増大特集 ALS-研究と診療の進歩	¥3,960
	Vol. 59#11 (2007) 毛根管症候群をめぐって	¥2,860
	Vol. 59#12 (2007) 損傷神経の再生-温存的治療法の開発	¥2,860
	Vol. 60#1 (2008) 日本人の発見した神経疾患	¥2,860
	Vol. 60#2 (2008) がん治療と神経障害	¥2,860
	Vol. 60#3 (2008) 特発性正常圧水頭症(iNPH)-最近の話題	¥2,860
	Vol. 60#4 (2008) 増大特集 神経系の発生とその異常	¥3,960
	Vol. 60#5 (2008)「痛み」の研究と治療の最前線	¥2,860
	Vol. 60#6 (2008) Crow-深瀬症候群(POEMS症候群)	¥2,860
品切	Vol. 60#7 (2008) 増大特集 学習と記憶-基礎と臨床	¥3,960
	Vol. 60#8 (2008) 脳硬膜動静脈瘻	¥2,860
	Vol. 60#9 (2008) 知・情・意の神経学	¥2,860
	Vol. 60#10 (2008) 若年者の脳卒中	¥2,860
	Vol. 60#11 (2008) 増大特集 脳卒中と遺伝子	¥3,960
品切	Vol. 60#12 (2008) 痙縮	¥2,860
	Vol. 61#1 (2009) 脳神経倫理	¥2,860
	Vol. 61#2 (2009) 神経系の再興感染症と輸入感染症	¥2,860
	Vol. 61#3 (2009) Microneurography(微小神経電図法)の臨床応用	¥2,860
	Vol. 61#4 (2009) 大脳基底核―分子基盤から臨床まで	¥4,180
	Vol. 61#5 (2009) Restless legs syndrome	¥2,860
	Vol. 61#6 (2009) 脊椎・脊髄外科の最近の進歩	¥2,860
	Vol. 61#7 (2009) 脳腫瘍研究の最前線―遺伝子解析から治療まで	¥4,180
	Vol. 61#8 (2009) 神経・筋疾患の分子標的治療	¥2,860
	Vol. 61#9 (2009) 脳血管障害治療の進歩	¥2,860
	Vol. 61#10 (2009) 片頭痛の予防療法	¥2,860
	Vol. 61#11 (2009) 増大特集 前頭側頭葉変性症	¥4,180
	Vol. 61#12 (2009) Somatotopy再考	¥2,860
	Vol. 62#1 (2010) 神経救急	¥2,860
	Vol. 62#2 (2010) ニューロリハビリテーションの最前線	¥2,860
	Vol. 62#3 (2010) 神経回路解析法の最近の進歩	¥2,860
	Vol. 62#4 (2010) 増大特集 傍腫瘍性神経筋疾患update	¥4,180
	Vol. 62#5 (2010) 神経画像のピットフォール―見落としと読み過ぎ	¥2,860
	Vol. 62#6 (2010) 改正臓器移植法の問題点とその対応	¥2,860
	Vol. 62#7 (2010) 増大特集　アルツハイマー病―研究と診療の進歩	¥4,180
	Vol. 62#8 (2010) 辺縁系脳炎	¥2,860
	Vol. 62#9 (2010) 視神経脊髄炎(NMO)update	¥2,860
	Vol. 62#10 (2010) ブレインバンク	¥2,860
	Vol. 62#11 (2010) 増大特集 歩行と異常	¥4,180
	Vol. 62#12 (2010) 頸部頸動脈狭窄症の診断と治療	¥2,860
	Vol. 63#1 (2011) 血管腫	¥2,860
	Vol. 63#2 (2011) 続・日本人の発見した神経疾患	¥2,860
	Vol. 63#3 (2011) サイバーナイフ治療	¥2,860
	Vol. 63#4 (2011) 増大特集 てんかんの新しい治療	¥4,180
	Vol. 63#5 (2011) 神経系と血管内リンパ腫	¥2,860
	Vol. 63#6 (2011) ニューロパチー	¥2,860
	Vol. 63#7 (2011) 増大特集 神経筋接合部－基礎から臨床まで	¥4,180

	Vol. 63#8 (2011) 日本人の発見した神経症候	¥2,860
	Vol. 63#9 (2011) 脳卒中の最新画像診断	¥2,860
	Vol. 63#10 (2011) 緩徐進行性高次脳機能障害の病態	¥2,860
	Vol. 63#11 (2011) 増大特集 筋疾患update	¥4,180
	Vol. 63#12 (2011) 神経心理学と画像解析の融合	¥2,860
	Vol. 64#1 (2012) iPS細胞と神経疾患	¥2,970
	Vol. 64#2 (2012) 生物学的精神医学の進歩	¥2,970
	Vol. 64#3 (2012) アカデミアから新規治療の実現へートランスレーショナル	¥2,970
	Vol. 64#4 (2012) 増大特集 パーキンソン病の新しい側面	¥4,180
	Vol. 64#5 (2012) 神経疾患のバイオマーカー	¥2,970
	Vol. 64#6 (2012) 睡眠と覚醒の脳内機構	¥2,970
	Vol. 64#7 (2012) 増大特集 顔認知の脳内機構	¥4,180
	Vol. 64#8 (2012) 線条体の基礎と臨床	¥2,970
	Vol. 64#9 (2012) 高次脳機能イメージングの脳科学への新展開	¥2,970
	Vol. 64#10 (2012) 辺縁系をめぐって	¥2,970
	Vol. 64#11 (2012) 増大特集　痛みの神経学-末梢神経から脳まで	¥4,180
	Vol. 64#12 (2012) The Border-Land of Dementia	¥2,970
	Vol. 65#1 (2013) Corticobasal Syndrome	¥2,970
	Vol. 65#2 (2013) 血液脳関門研究の進歩	¥2,970
	Vol. 65#3 (2013) 次世代シーケンサーによる神経変性疾患の解析と展望	¥2,970
	Vol. 65#4 (2013) 増大特集　Antibody Update	¥4,180
	Vol. 65#5 (2013) てんかん-新しいパースペクティブ	¥2,970
	Vol. 65#6 (2013) 見せる・仕分ける―脳機能解析の新手法	¥2,970
	Vol. 65#7 (2013) 増大特集 あしたの脳梗塞	¥4,180
	Vol. 65#8 (2013) こころの時間学－現在・過去・未来の起源を求めて	¥2,970
	Vol. 65#9 (2013) Common diseaseは神経学の主戦場である－現状と展	¥2,970
	Vol. 65#10 (2013) 神経系の発達メカニズム―最近の話題	¥2,970
	Vol. 65#11 (2013) 増大特集 Close Encounters―臨床神経学と臨床免疫	¥4,180
	Vol. 65#12 (2013) プロテイノパチーの神経病理学	¥2,970
	Vol. 66#1 (2014) 日常生活の脳科学	¥2,970
	Vol. 66#2 (2014) 糖尿病の神経学 revisited	¥2,970
	Vol. 66#3 (2014) 神経筋疾患の超音波診断	¥2,970
品切	Vol. 66#4 (2014) 増大特集 タッチ・ビジョン・アクション	¥4,180
	Vol. 66#5 (2014) アセチルコリンと神経疾患-100年目の現在地	¥2,970
品切	Vol. 66#6 (2014) ミラーニューロン	¥2,970
	Vol. 66#7 (2014) 増大特集アミロイド関連神経疾患のすべて―封入体筋	¥4,180
品切	Vol. 66#8 (2014) 神経系の悪性リンパ腫update	¥2,970
	Vol. 66#9 (2014) 痙縮の臨床神経学	¥2,970
	Vol. 66#10 (2014) 分子を撃つ　神経疾患治療の新しい水平線	¥2,970
	Vol. 66#11 (2014) 神経症候学は神経学の“魂”である	¥4,180
	Vol. 66#12 (2014) Orthopaedic Neurology―神経内科と整形外科の狭間	¥2,970
	Vol. 67#1 (2015) ニューロトキシコロジー	¥2,970
品切	Vol. 67#2 (2015)「食べる」を考える	¥2,970
品切	Vol. 67#3 (2015) 中枢神経の血管炎	¥2,970
	Vol. 67#4 (2015) 増大特集 大脳皮質vs.大脳白質	¥4,180
品切	Vol. 67#5 (2015) NCSE（非痙攣性てんかん重積状態）	¥2,970
	Vol. 67#6 (2015) 脳と「質感」	¥2,970
	Vol. 67#7 (2015) 増大特集 神経疾患と感染症update	¥4,180
	Vol. 67#8 (2015) 神経難病の終末期医療	¥2,970
	Vol. 67#9 (2015) 酵素補充療法	¥2,970
	Vol. 67#10 (2015) 非・日常生活の脳科学	¥2,970
品切	Vol. 67#11 (2015) 増大特集 ギラン・バレー症候群のすべて―100年の軌	¥4,180
品切	Vol. 67#12 (2015) 視床と高次脳機能	¥2,970
	Vol. 68#1 (2016) シャルコー・マリー・トゥース病	¥2,970
	Vol. 68#2 (2016) 筋疾患の認知機能障害	¥2,970
	Vol. 68#3 (2016) 末梢神経の血管炎	¥2,970
	Vol. 68#4 (2016) 増大特集 治せる認知症	¥4,180

	BRAIN and NERVE（医学書院）	税込価格
	Vol. 68#5 (2016) 手の症候学ー生理学・解剖学からみた新知見	¥2,970
	Vol. 68#6 (2016) 脳とフローラ	¥2,970
	Vol. 68#7 (2016) 増大特集 認知症の危険因子と防御因子	¥4,180
	Vol. 68#8 (2016) こころと汗	¥2,970
品切	Vol. 68#9 (2016) 自己免疫性脳炎・脳症	¥2,970
	Vol. 68#10 (2016) アディクションー行動の嗜癖	¥2,970
品切	Vol. 68#11 (2016) 増大特集 連合野ハンドブック	¥4,180
	Vol. 68#12 (2016) 炎症性神経・筋疾患の新たな展開	¥2,970
	Vol. 69#1 (2017) 近年注目されている白質脳症	¥2,970
	Vol. 69#2 (2017) Stroke-Like Diseasesー鑑別時に注意を要する5病態	¥2,970
	Vol. 69#3 (2017) 磁気刺激の新たな展開	¥2,970
品切	Vol. 69#4 (2017) 増大特集 ブロードマン領野の現在地	¥4,180
	Vol. 69#5 (2017) Voxel-Based Morphometryー体積からわかること	¥2,970
	Vol. 69#6 (2017) 局在病変の神経心理学	¥2,970
	Vol. 69#7 (2017) 増大特集 あしたのアルツハイマー病治療	¥4,180
	Vol. 69#8 (2017) 遺伝性脊髄小脳失調症の病態と治療展望	¥2,970
	Vol. 69#9 (2017) ミクログリアと精神・神経疾患	¥2,970
	Vol. 69#10 (2017) 成人てんかんー知っておきたい6つのトピック	¥2,970
	Vol. 69#11 (2017) 増大特集 こころの時間学の未来	¥4,180
	Vol. 69#12 (2017) 運動異常症をみる Web動画付録つき	¥2,970
	Vol. 70#1 (2018) 筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群の今	¥2,970
	Vol. 70#2 (2018) 知っておきたい神経感染症	¥2,970
	Vol. 70#3 (2018)『認知症疾患診療ガイドライン2017』を読み解く	¥2,970
	Vol. 70#4 (2018) 増大特集　Antibody Update 2018	¥4,180
	Vol. 70#5 (2018) 非アルツハイマー型認知症の病理学	¥2,970
	Vol. 70#6 (2018) 芸術を生み出す脳	¥2,970
	Vol. 70#7 (2018) 増大特集　記憶と忘却に関わる脳のしくみー分子機構	¥4,180
	Vol. 70#8 (2018) レヴィ小体型認知症の新知見	¥2,970
	Vol. 70#9 (2018) 脳神経内科診療に役立つ精神科の知識	¥2,970
	Vol. 70#10 (2018)「左脳と右脳」の現在	¥2,970
	Vol. 70#11 (2018) 増大特集　脳科学で解き明かす精神神経症候	¥4,180
	Vol. 70#12 (2018) 主訴に沿うー俯瞰し収束する画像診断の目	¥2,970
	Vol. 71#1 (2019年1月) 人工知能の医療応用Update	¥2,970
	Vol. 71#2 (2019年2月) "スポーツ"を生み出す脳	¥2,970
品切	Vol. 71#3 (2019年3月) Spine Neurology	¥2,970
	Vol. 71#4 (2019年4月) 増大特集　神経学のための皮膚アトラス	¥4,180
	Vol. 71#5 (2019年5月) NPSLE	¥2,970
	Vol. 71#6 (2019年6月) 補体標的治療の現状と展望	¥2,970
	Vol. 71#7 (2019年7月) 増大特集　人工知能と神経科学	¥4,180
	Vol. 71#8 (2019年8月) パーキンソン病診療の現在地ー200年の変遷と	¥2,970
	Vol. 71#9 (2019年9月) 神経疾患のドラッグ・リポジショニングー新時代へ	¥2,970
	Vol. 71#10 (2019年10月) 認知症と遺伝	¥2,970
	Vol. 71#11 (2019年11月) 増大特集　ALS 2019	¥4,180
	Vol. 71#12 (2019年12月) 小脳と大脳ーMasao Itoのレガシー	¥2,970
	Vol. 72#1 (2020年1月) 神経難病をクスリで治すー薬物開発の現況と近	¥2,970
	Vol. 72#2 (2020年2月) αシヌクレイノパチーの新たな展開	¥2,970
	Vol. 72#3 (2020年3月) でこぼこの脳の中でおしくらまんじゅうする脳機能	¥2,970
	Vol. 72#4 (2020年4月) 増大特集　神経疾患の診断における落とし穴ー	¥4,180
	Vol. 72#5 (2020年5月) 多発性硬化症の現在と未来	¥2,970
	Vol. 72#6 (2020年6月) 前頭側頭葉変性症の今日的理解	¥2,970
	Vol. 72#7 (2020年7月) 増大特集　神経倫理ハンドブック	¥4,180
	Vol. 72#8 (2020年8月) サルコイドーシス	¥2,970

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい。

34 Brain and Nerve 脳と神経（医学書院）

	Vol. 1-8 (1948/49-1956) 各1-6号	各号	¥2,860
	Vol. 9-44 (1957-1992)	各号	¥2,860
	Vol. 45-54 (1993-2002)　各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 55#1 (2003) 特集 睡眠障害と体内時計		¥2,860
	Vol. 55#2-5 (2003)	各号	¥2,860
	Vol. 55#6 (2003) 特集 神経内視鏡手術の進歩		¥2,860
	Vol. 55#7,8 (2003)	各号	¥2,860
	Vol. 55#9 (2003) 特集 遺伝性痙性対麻痺		¥2,860
	Vol. 55#10 (2003) 特集 神経疾患と神経栄養因子		¥2,860
	Vol. 55#11,12 (2003)	各号	¥2,860
	Vol. 56#1 (2004) 特集　脳ドックの新しい診療ガイドライン		¥2,860
	Vol. 56#2 (2004) 特集　大脳機能の新しいパースペクティブ		¥2,860
	Vol. 56#3 (2004)		¥2,860
	Vol. 56#4 (2004) 特集　AIDSと神経疾患		¥2,860
	Vol. 56#5-7 (2004)	各号	¥2,860
	Vol. 56#8 (2004) 特集　頭痛をめぐる最近の話題		¥2,860
	Vol. 56#9 (2004)		¥2,860
	Vol. 56#10 (2004) 特集　脳深部刺激療法		¥2,860
	Vol. 56#11 (2004) 特集　脳卒中治療ガイドライン2004内科医からみたコ		¥2,860
	Vol. 56#12 (2004)		¥2,860
	Vol. 57#1,2,4 (2005)	各号	¥2,860
	Vol. 57#3 (2005) 特集　てんかんの基礎と臨床		¥2,860
	Vol. 57#5 (2005) 特集　わかりやすい高次脳機能の診方		¥2,860
	Vol. 57#6 (2005) 特集　神経興奮性と軸索機能―閾値追跡法の臨床応		¥2,860
	Vol. 57#7 (2005) 特集　脳卒中の回復期医療と在宅医療		¥2,860
	Vol. 57#8 (2005) 特集　香りと脳		¥2,860
	Vol. 57#9 (2005) 特集　脳神経血管内治療の現況		¥2,860
	Vol. 57#10 (2005) 特集　Alzheimer病の最前線		¥2,860
	Vol. 57#11 (2005) 特集　ジストニア update		¥2,860
	Vol. 57#12 (2005) 特集　悪性脳腫瘍に対する最近の治療		¥2,860
	Vol. 58#1,3,4,6 (2006)	各号	¥2,860
	Vol. 58#2 (2006) 特集 化膿性髄膜炎治療の最近の動向		¥2,860
	Vol. 58#5 (2006) 特集 神経内分泌学の進歩		¥2,860
	Vol. 58#7 (2006) 特集 神経感染症の新しい展開		¥2,860
	Vol. 58#8 (2006) 特集 神経難病のケア		¥2,860
品切	Vol. 58#9 (2006) 特集 パーキンソン病の症候学―新しい視点		¥2,860
	Vol. 58#10 (2006) 特集 心・血管疾患と脳卒中		¥2,860
	Vol. 58#11 (2006) 特集 I急性期脳梗塞のガイドライン・特集IICryptogenic		¥2,860
	Vol. 58#12 (2006) 特集 グリオーマ―最近の治療―		¥2,860
	※Vol. 59#1 (2007)→BRAIN and NERVE (医学書院)		

35 BRAIN MEDICAL（メディカルレビュー社）

	Vol. 24#1-4 (2012)	各号	¥2,530
	Vol. 25#1-3 (2013)	各号	¥2,530
	Vol. 26#1-4 (2014)	各号	¥2,530

36 文化人類学（日本文化人類学会）

	Vol. 70-77 (2005/2006-2012/2013) 各1-4号	各号	¥3,144
	Vol. 80#1-4 (2015/2016)	各号	¥3,144
	Vol. 81#1 (2016)		¥3,144

37 分子リウマチ治療（先端医学社）

	Vol. 2#3 (2009)		¥2,530
	Vol. 3#2-4 (2010)	各号	¥2,530
	Vol. 4#3 (2011)		¥2,530
	Vol. 6#2 (2013)		¥2,530
	Vol. 8#1-4 (2015)	各号	¥2,530

38	**物理教育（日本物理教育学会）**		
	Vol. 25#2-4 (1977)	各号	¥1,650
	Vol. 26-44 (1978-1996) 各No.1-4	各号	¥1,650
	Vol. 45-50 (1997-2002) 各No.1-6	各号	¥1,650
	Vol. 51-57 (2003-2009) 各No.1-4	各号	¥2,200
39	**物理探査（物理探査学会）**		
	Vol. 46-61 (1993-2008) 各1-6号	各号	¥2,200

40 病院（医学書院）

Vol. 2-9 (1950-1953) 各1-6号	各号	¥3,080
Vol. 12-15 (1955-1956) 各1-6号	各号	¥3,080
Vol. 16#1-12 (1957)	各号	¥3,080
Vol. 17-18 (1958-1959) 各1-13号	各号	¥3,080
Vol. 19-23 (1960-1964) 各1-12号	各号	¥3,080
Vol. 24-32 (1965-1973) 各1-13号	各号	¥3,080
Vol. 33-47 (1974-1988) 各1-12号	各号	¥3,080
Vol. 48#1-13 (1989)	各号	¥3,080
Vol. 49#1-11,13 (1990)	各号	¥3,080
Vol. 49#12 (1990) 増刊号医療機器・設備機器ｶﾞｲﾄﾞ 1991		¥4,620
Vol. 50#1-11,13 (1991)	各号	¥3,080
Vol. 50#12 (1991) 増刊号 日本の病院建築		¥4,840
Vol. 51#1-12 (1992)	各号	¥3,080
Vol. 52#1-12 (1993)	各号	¥3,080
Vol. 53#1-12 (1994)	各号	¥3,080
Vol. 54#1 (1995)「21世紀福祉ビジョン」と病院		¥3,080
Vol. 54#2 (1995) 病院とボランティア-開かれた病院づくり		¥3,080
Vol. 54#3 (1995) 薬価と病院経営		¥3,080
Vol. 54#4 (1995) 新看護体系で病院はどうなるか		¥3,080
Vol. 54#5 (1995) 特定療養費制度の功罪		¥3,080
Vol. 54#6 (1995) 病院が倒産するとき		¥3,080
Vol. 54#7 (1995) 病院の食事は今…		¥3,080
Vol. 54#8 (1995) 病院職員の教育と研修		¥3,080
Vol. 54#9 (1995) 大災害に対するリスクマネジメント		¥3,080
Vol. 54#10 (1995) 新しい入院療養環境		¥3,080
Vol. 54#11 (1995) 医療法人制度をめぐる諸問題		¥3,080
Vol. 54#12 (1995) 問われる病院と地域の保健活動		¥3,080
Vol. 55#1 (1996) 病院経営の改善		¥3,080
Vol. 55#2 (1996) 大学病院と関連病院との関係を問う		¥3,080
Vol. 55#3 (1996) 病院経営と医薬分業をめぐって		¥3,080
Vol. 55#4 (1996) 二交替制看護を追う		¥3,080
Vol. 55#5 (1996) 病院管理者としての女性		¥3,080
Vol. 55#6 (1996) 病院のネットワーク化を追う		¥3,080
Vol. 55#7 (1996) 医療機能評価で病院はどうなる		¥3,080
Vol. 55#8 (1996) 待ち時間解消はどこまでできるか		¥3,080
Vol. 55#9 (1996) 診療報酬改定・96年4月を検証する		¥3,080
Vol. 55#10 (1996) 介護保険制度をめぐって		¥3,080
Vol. 55#11 (1996) 補助金と病院経営		¥3,080
Vol. 55#12 (1996)「薬害問題」から学ぶこと		¥3,080
Vol. 56#1 (1997) 第3次医療法改正と病院		¥2,860
Vol. 56#2 (1997) 病院職員の高齢化対策		¥2,860
Vol. 56#3 (1997) 病院におけるマルチメディア		¥2,860
Vol. 56#4 (1997) ナーシング・マネジメント		¥2,860
Vol. 56#5 (1997) 病院機能評価の動向と将来		¥2,860
Vol. 56#6 (1997) 医療関連ﾋﾞｼﾞﾈｽの展開		¥2,860
Vol. 56#7 (1997) 医療保険改革と病院		¥2,860
Vol. 56#8 (1997) 病院経営における多角化戦略		¥2,860
Vol. 56#9 (1997) ケアマネジメントと病院		¥2,860
Vol. 56#10 (1997) 病院が医師を選ぶとき		¥2,860
Vol. 56#11 (1997) 病院における情報開示		¥2,860
Vol. 56#12 (1997) 問われる事務(部・局) 長の経営能力		¥2,860
Vol. 57#1 (1998) 新時代の病院組織		¥2,860
Vol. 57#2 (1998) 医療界の世代交代		¥2,860
Vol. 57#3 (1998) 介護保険と長期ケア施設		¥2,860
Vol. 57#4 (1998) 看護の質の評価		¥2,860

Vol. 57#5 (1998) 医療法人の今後	¥2,860
Vol. 57#6 (1998) 医療の標準化を考える	¥2,860
Vol. 57#7 (1998) 急性期包括払い方式の可能性	¥2,860
Vol. 57#8 (1998) 入院診療計画	¥2,860
Vol. 57#9 (1998) 薬価基準制度の行方	¥2,860
Vol. 57#10 (1998) 地域支援病院はどうなる	¥2,860
Vol. 57#11 (1998) 医療ビッグバンと公私の役割を考える	¥2,860
Vol. 57#12 (1998) 退院後ケア	¥2,860
Vol. 58#1 (1999) 医療保障のグランドデザイン	¥2,970
Vol. 58#2 (1999) 在日日数と病院経営	¥2,970
Vol. 58#3 (1999) 病院組織と意思決定－コーポレイトガバナンスとは	¥2,970
Vol. 58#4 (1999) 看護新時代	¥2,970
Vol. 58#5 (1999) 岐路に立つ中小病院	¥2,970
Vol. 58#6 (1999) 病院として介護保険にいかに対処すべきか	¥2,970
Vol. 58#7 (1999) 医療計画の新しい方向と病院	¥2,970
Vol. 58#8 (1999) 病院におけるマーケッティング戦略	¥2,970
Vol. 58#9 (1999) 改めて癒しの環境を問う	¥2,970
Vol. 58#10 (1999) 診療情報管理－開示に値する診療記録	¥2,970
Vol. 58#11 (1999) 病院における賃金と年金	¥2,970
Vol. 58#12 (1999) 医師養成と大学病院像	¥2,970
Vol. 59#1 (2000) 病院・医療・社会－21世紀を展望する	¥2,970
Vol. 59#2 (2000) 病院の危機管理	¥2,970
Vol. 59#3 (2000) 減価償却と耐用年数	¥2,970
Vol. 59#4 (2000) 介護保険と看護	¥2,970
Vol. 59#5 (2000) 中小病院－次世紀への挑戦	¥2,970
Vol. 59#6 (2000) 病院としての地球環境問題への取り組み	¥2,970
Vol. 59#7 (2000) 消費者（患者）の声／ニーズの吸収	¥2,970
Vol. 59#8 (2000) 病院経営戦略と企画部門の役割	¥2,970
Vol. 59#9 (2000) 検証　平成12年診療報酬改定	¥2,970
Vol. 59#10 (2000) 改革期の療養型病床郡	¥2,970
Vol. 59#11 (2000) 医療専門職の需要と供給	¥2,970
Vol. 59#12 (2000) 病院医療－21世紀への遺産	¥2,970
Vol. 60#1 (2001) IT革命と病院	¥2,970
Vol. 60#2 (2001) 改めて病院の安全管理を問う	¥2,970
Vol. 60#3 (2001) 病院と資金調達	¥2,970
Vol. 60#4 (2001) 病院の求める看護職像	¥2,970
Vol. 60#5 (2001) 病院サービスの新しいメニュー	¥2,970
Vol. 60#6 (2001) 施設機能分化の新たな展開	¥2,970
Vol. 60#7 (2001) 病院の医療情報発信	¥2,970
Vol. 60#8 (2001) 人材開発と管理職研修	¥2,970
Vol. 60#9 (2001) 検証・変革期の病院経営	¥2,970
Vol. 60#10 (2001) 医療連携と病院	¥2,970
Vol. 60#11 (2001) 社会保障改革と病院	¥2,970
Vol. 60#12 (2001) ゲノム時代と病院	¥2,970
Vol. 61#1 (2002) 医療の規制改革と病院	¥3,080
Vol. 61#2 (2002) 病院の増改築	¥3,080
Vol. 61#3 (2002) 緩和ケアの検証と今後の課題	¥3,080
Vol. 61#4 (2002) 学卒看護師の課題	¥3,080
Vol. 61#5 (2002) 病院の外来-増やすか減らすか	¥3,080
Vol. 61#6 (2002) 医師臨床研修必修化は病院に何をもたらすか	¥3,080
Vol. 61#7 (2002) 療養病床の行方	¥3,080
Vol. 61#8 (2002) 年功給は崩せるか	¥3,080
Vol. 61#9 (2002) 女性医師と病院	¥3,080
Vol. 61#10 (2002) 徹底検証 診療報酬改定2002	¥3,080
Vol. 61#11 (2002) 院内機能の分散化の動き	¥3,080
Vol. 61#12 (2002) 改革期における事務長像	¥3,080
Vol. 62#1 (2003) 医療政策の新しい潮流	¥3,080

	Vol. 62#2 (2003) デフレ下における病院	¥3,080
	Vol. 62#3 (2003) 自立できるか自治体立病院	¥3,080
	Vol. 62#4 (2003) 病院のカウンセリング機能	¥3,080
	Vol. 62#5 (2003) 看護師のキャリアアップ	¥3,080
	Vol. 62#6 (2003) 病院管理からみた患者安全	¥3,080
	Vol. 62#7 (2003) 特定療養費制度の拡大と病院の対応	¥3,080
	Vol. 62#8 (2003) 病院のコスト管理	¥3,080
	Vol. 62#9 (2003) 変革を迫られる大学病院	¥3,080
	Vol. 62#10 (2003) 変貌するか医療法人	¥3,080
	Vol. 62#11 (2003) どう生かす診療情報	¥3,080
	Vol. 62#12 (2003) 亜急性医療は存在し得るか	¥3,080
	Vol. 63#1 (2004) 国民は医療をどう見ているか	¥3,080
	Vol. 63#2 (2004) 公私の役割分担とイコール・フッティング	¥3,080
	Vol. 63#3 (2004) 医療におけるナレッジ・マネジメント	¥3,080
	Vol. 63#4 (2004) 看護の臨床研修と病院	¥3,080
	Vol. 63#5 (2004) 相補・代替医療へのニーズにどう対応するか	¥3,080
	Vol. 63#6 (2004) 急変する医薬品政策―病院としての対応	¥3,080
	Vol. 63#7 (2004) 病院のセーフティ・マネジメント最前線	¥3,080
	Vol. 63#8 (2004) 急性期入院はDPC適用になるのか	¥3,080
	Vol. 63#9 (2004) 動き始めた新医師臨床研修制度	¥3,080
	Vol. 63#10 (2004) 検証　平成16年度診療報酬改定	¥3,080
	Vol. 63#11 (2004) パブリック・リレーションズ地域の人の期待	¥3,080
	Vol. 63#12 (2004) 派遣は人材確保に役立つか	¥3,080
	Vol. 64#1 (2005) 医療の本質を捉える	¥3,080
	Vol. 64#2 (2005) 病院の質評価の選択肢は広がるか	¥3,080
	Vol. 64#3 (2005) 今後の病院の財政基盤を問う	¥3,080
	Vol. 64#4 (2005) 個人情報保護法と病院	¥3,080
	Vol. 64#5 (2005) 経営陣の一翼としての看護部長	¥3,080
	Vol. 64#6 (2005) 社会的責任(CSR)が問われる病院	¥3,080
	Vol. 64#7 (2005) スピリチュアリティと病院	¥3,080
	Vol. 64#8 (2005) 病院経営のプロをどう養成するか	¥3,080
	Vol. 64#9 (2005) 地方分権と医療	¥3,080
	Vol. 64#10 (2005) 勤務医と労働基準法－医療の現実と法	¥3,080
	Vol. 64#11 (2005) 病院にとって「患者の視点」とは	¥3,080
	Vol. 64#12 (2005) 医療政策の決定プロセス	¥3,080
	Vol. 65#1 (2006) 地域医療の新たな展開と病院	¥3,080
	Vol. 65#2 (2006) 超高齢社会の終末期ケア	¥3,080
	Vol. 65#3 (2006) 新しい臨床教育手法―シミュレータの活用	¥3,080
	Vol. 65#4 (2006) 看護人員の適正化に向けて	¥3,080
	Vol. 65#5 (2006) 外来機能はどうあるべきか	¥3,080
	Vol. 65#6 (2006) 持つ病院,持たざる病院−法人制度から資金調達まで	¥3,080
	Vol. 65#7 (2006) 医療のパフォーマンス評価	¥3,080
	Vol. 65#8 (2006) 医療と経済格差	¥3,080
	Vol. 65#9 (2006) 病院の人材確保−景気・社会構造の変化を踏まえて	¥3,080
品切	Vol. 65#10 (2006) 在宅医療を支える地域連携システムとは	¥3,080
	Vol. 65#11 (2006) 社会保障・税制改革と医療	¥3,080
	Vol. 65#12 (2006) 検証平成18年診療報酬改定	¥3,080
	Vol. 66#1 (2007) いい病院を作りましょう	¥3,080
	Vol. 66#2 (2007) 介護保険施設と医療のあり方	¥3,080
	Vol. 66#3 (2007) 地域の活性化に病院は貢献するか	¥3,080
	Vol. 66#4 (2007) 変革に立ち向かう病院	¥3,080
	Vol. 66#5 (2007) 医療連携における看護師の役割	¥3,080
	Vol. 66#6 (2007) どう対応する 医事紛争時代	¥3,080
	Vol. 66#7 (2007) 患者負担のあり方を考える	¥3,080
	Vol. 66#8 (2007) 技術革新と競争激化	¥3,080
	Vol. 66#9 (2007) 価格とコストの地域格差	¥3,080
	Vol. 66#10 (2007) 病院空間とまちづくり	¥3,080

	Vol. 66#11 (2007) 躍進するアジアと病院戦略	¥3,080
	Vol. 66#12 (2007) 病院におけるIT化の新局面	¥3,080
	Vol. 67#1 (2008) 個人の力と医療・社会	¥3,080
	Vol. 67#2 (2008) 医療に求められるイノベーション	¥3,080
	Vol. 67#3 (2008) 事務職員の採用とキャリア形成	¥3,080
	Vol. 67#4 (2008) 看護師の役割を今問い直す	¥3,080
	Vol. 67#5 (2008) 変容する患者像 求められるヘルスリテラシー	¥3,080
	Vol. 67#6 (2008) 人材不足をどう打開するか	¥3,080
	Vol. 67#7 (2008) どうなる 特定健診・特定保健指導	¥3,080
	Vol. 67#8 (2008) 人口減少時代の病院	¥3,080
	Vol. 67#9 (2008) 新たな医療計画の展開	¥3,080
	Vol. 67#10 (2008) 病院と家庭医療	¥3,080
	Vol. 67#11 (2008)「環境の時代」と病院	¥3,080
	Vol. 67#12 (2008) 検証 平成20年度診療報酬改定	¥3,080
	Vol. 68#1 (2009) 60周年記念号 温故知新－これまでの特集から振り返る	¥3,080
	Vol. 68#2 (2009) 医療統計の再構築に向けて	¥3,080
	Vol. 68#3 (2009) NPMで公立病院は再生するか	¥3,080
	Vol. 68#4 (2009) 現場に役立つ看護師をいかに確保するか	¥3,080
	Vol. 68#5 (2009) 産業は病院市場をどうみるか	¥3,080
	Vol. 68#6 (2009) 医療IT化の行方	¥3,080
	Vol. 68#7 (2009) 社会保障改革と病院の将来	¥3,080
	Vol. 68#8 (2009) 医療・介護ニューディール	¥3,080
	Vol. 68#9 (2009) 外科医を支援する	¥3,080
	Vol. 68#10 (2009) 医療費の配分を問う	¥3,080
	Vol. 68#11 (2009) 補完代替医療のこれから	¥3,080
	Vol. 68#12 (2009) 今後の医師養成と病院	¥3,080
	Vol. 69#1 (2010) 拡大する医療・介護需要	¥3,080
	Vol. 69#2 (2010) 病院管理会計とBSCの効用	¥3,080
	Vol. 69#3 (2010) 医療におけるソーシャル・ビジネスの展開	¥3,080
	Vol. 69#4 (2010) 医療の拡大がもたらす社会の厚生―医療費亡国論再	¥3,080
	Vol. 69#5 (2010) 長期療養ケアにおける看護の役割	¥3,080
	Vol. 69#6 (2010) 災害と病院	¥3,080
	Vol. 69#7 (2010) 死生観が問われる時代の医療	¥3,080
	Vol. 69#8 (2010) 病院のサステナビリティ―事業継承を考える	¥3,080
	Vol. 69#9 (2010) 本格到来するDPC時代	¥3,080
	Vol. 69#10 (2010) 病院を取り巻く法環境	¥3,080
	Vol. 69#11 (2010) 拡大するリハビリテーション医療	¥3,080
	Vol. 69#12 (2010) 検証　平成22年度診療報酬改定	¥3,080
	Vol. 70#1 (2011) 病気と社会を考える	¥3,080
	Vol. 70#2 (2011) どう発展させる　病院総合医	¥3,080
	Vol. 70#3 (2011) 自治体病院の存在意義	¥3,080
	Vol. 70#4 (2011) 採用看護師の教育・研修	¥3,080
	Vol. 70#5 (2011) 病院は経済成長に寄与するか	¥3,080
	Vol. 70#6 (2011) 医療と介護はどう変わるか 平成24年診療報酬・介護報	¥3,080
	Vol. 70#7 (2011) 地域医療再生計画を検証する	¥3,080
	Vol. 70#8 (2011) 人口減少の衝撃 社会・病院はどう備えるか	¥3,080
	Vol. 70#9 (2011) 地域医療を支える住民の活動	¥3,080
	Vol. 70#10 (2011) 終末期における延命医療のあり方	¥3,080
	Vol. 70#11 (2011) 医療計画と二次医療圏の今後	¥3,080
	Vol. 70#12 (2011) 何を目指すチーム医療	¥3,080
	Vol. 71#1 (2012) 病院と日本復興	¥3,190
	Vol. 71#2 (2012) 病院の医師確保戦略	¥3,190
	Vol. 71#3 (2012) 在宅療法と病院	¥3,190
	Vol. 71#4 (2012) 患者の医療情報探索	¥3,190
	Vol. 71#5 (2012) 看護職の賃金・給与体系はどうあるべきか	¥3,190
品切	Vol. 71#6 (2012) 変化の時代に事務長に求められるもの	¥3,190
	Vol. 71#7 (2012) 病院のセキュリティ	¥3,190

Vol. 71#8 (2012) 病院と学生教育 地域で育てる医療人	¥3,190
Vol. 71#9 (2012) 高齢先進国のビジョン	¥3,190
Vol. 71#10 (2012) 病院における歯科	¥3,190
Vol. 71#11 (2012) 検証“同時改定”診療・介護報酬	¥3,190
Vol. 71#12 (2012) 病院のBCP	¥3,190
Vol. 72#1 (2013) 病院の評価－課題とこれから	¥3,190
Vol. 72#2 (2013) 医療の公益性とは－医療法人制度改革の現状	¥3,190
Vol. 72#3 (2013) 中小病院は生き残れるか	¥3,190
Vol. 72#4 (2013) リビングウィルを考える	¥3,190
Vol. 72#5 (2013) これからの看護教育と病院	¥3,190
Vol. 72#6 (2013) 女性医師のキャリアデザインと病院	¥3,190
Vol. 72#7 (2013) 病院の経営統合	¥3,190
Vol. 72#8 (2013) なぜ今，医療基本法なのか	¥3,190
Vol. 72#9 (2013) 医療計画はこう変わる	¥3,190
Vol. 72#10 (2013) 地域包括ケアと病院	¥3,190
Vol. 72#11 (2013) 診療支援業務の新潮流	¥3,190
Vol. 72#12 (2013) 新たな専門医制度と病院	¥3,190
Vol. 73#1 (2014) 人口高齢化と病院医療	¥3,190
Vol. 73#2 (2014) 2025年に求められる病院経営のプロ	¥3,190
Vol. 73#3 (2014) 事務職員の人材開発・キャリアパス	¥3,190
Vol. 73#4 (2014) 求められる看護補助者の役割	¥3,190
Vol. 73#5 (2014) 病院食再考	¥3,190
Vol. 73#6 (2014) ITの活用とこれからの医療	¥3,190
Vol. 73#7 (2014) 先端医療と病院	¥3,190
Vol. 73#8 (2014) 多様化する病院経営	¥3,190
Vol. 73#9 (2014) 里山資本主義と地域医療	¥3,190
Vol. 73#10 (2014) チーム医療における病院薬剤師の役割	¥3,190
Vol. 73#11 (2014) これからの医療安全を考える	¥3,190
Vol. 73#12 (2014) 検証 平成26年度診療報酬改定?2025年モデルを反	¥3,190
Vol. 74#1 (2015) 地域包括ケア病床は医療を変えるか	¥3,190
Vol. 74#2 (2015) 真のチーム医療とは	¥3,190
Vol. 74#3 (2015) 地域医療構想　来たるべき大変革の特効薬たりえるか	¥3,190
Vol. 74#4 (2015) 在宅医療を支える病院	¥3,190
Vol. 74#5 (2015) 地域包括ケアの中核としての病院看護部門	¥3,190
Vol. 74#6 (2015) 経済学からみたこれからの医療	¥3,190
Vol. 74#7 (2015) 地域創生に病院は貢献するか	¥3,190
Vol. 74#8 (2015) 地域医療構想策定ガイドラインをどう読み解くか	¥3,190
Vol. 74#9 (2015) 自治体病院改革は成功するのか	¥3,190
Vol. 74#10 (2015) 病院の外来戦略	¥3,190
Vol. 74#11 (2015) 医療の質指標　新時代の幕開け	¥3,190
Vol. 74#12 (2015) ロジスティクスが病院を変える	¥3,190
Vol. 75#1 (2016) データマネジメントで変わる病院	¥3,300
Vol. 75#2 (2016)進化するDPC	¥3,300
Vol. 75#3 (2016) 国民健康保険制度の組織改革が病院に何をもたらす	¥3,300
Vol. 75#4 (2016) 医療介護連携―地域包括ケアシステムを構築するため	¥3,300
Vol. 75#5 (2016) ポジティブ・マネジメント　いきいき働く職場づくり	¥3,300
Vol. 75#6 (2016) IPWの時代―チーム医療のための多職種間教育	¥3,300
Vol. 75#7 (2016) 地域づくりの核としての病院	¥3,300
Vol. 75#8 (2016) 新専門医制度－どうなる、病院？	¥3,300
Vol. 75#9 (2016) 病院は認知症とどう向き合うべきか	¥3,300
Vol. 75#10 (2016) 地域医療構想時代の救急医療	¥3,300
Vol. 75#11 (2016) 期待される地域包括ケア病棟・療養病床	¥3,300
Vol. 75#12 (2016) 検証 平成28年度診療報酬改定	¥3,300
Vol. 76#1 (2017) 新時代に備える病院のあり方	¥3,300
Vol. 76#2 (2017) DPCの新展開	¥3,300
Vol. 76#3 (2017) 2035年に生き残る病院組織論	¥3,300
Vol. 76#4 (2017) 生き残る病院の事務職	¥3,300

Vol. 76#5 (2017) 地域を支える病院看護師の育成	¥3,300
Vol. 76#6 (2017) 備えよ常に！病院のBCPを整備せよ	¥3,300
Vol. 76#7 (2017) 第7次医療計画―これまでと何が違うのか、病院への影	¥3,300
Vol. 76#8 (2017) 終末期と向き合う病院	¥3,300
Vol. 76#9 (2017)「生きる」をデザインする病院ー医療の再構築に挑戦す	¥3,300
Vol. 76#10 (2017) 医師の働き方改革	¥3,300
Vol. 76#11 (2017) 病院の生産性とは何か	¥3,300
Vol. 76#12 (2017) 上手に補助金を活用する	¥3,300
Vol. 77#1 (2018) 病院は2035年の夢を見るか	¥3,300
Vol. 77#2 (2018) ステークホルダーマネジメントとしての病院広報	¥3,300
Vol. 77#3 (2018) 地域とともに進化する中小病院	¥3,300
Vol. 77#4 (2018) 病院が直面する「すでに起こった未来」	¥3,300
Vol. 77#5 (2018) 看護職のタスクシフト・タスクシェア	¥3,300
Vol. 77#6 (2018) 機能転換が拓く病院の未来	¥3,300
Vol. 77#7 (2018) これからの地域医療連携の形ー地域医療連携推進法	¥3,300
Vol. 77#8 (2018) ダイバーシティ・マネジメント　多様性に対応する	¥3,300
Vol. 77#9 (2018) キャリアとして選ばれる地域病院	¥3,300
Vol. 77#10 (2018) 病院マネジメント職に求められるもの	¥3,300
Vol. 77#11 (2018) 働き方改革の行方	¥3,300
Vol. 77#12 (2018) 平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定	¥3,300
Vol. 78#1 (2019) 平成の病院医療から次の時代へ	¥3,300
Vol. 78#2 (2019) 病院医療に専門医制度は貢献するか	¥3,300
Vol. 78#3 (2019) 情報爆発へ病院はいかに対応するか	¥3,300
Vol. 78#4 (2019) どうする、病院食	¥3,300
Vol. 78#5 (2019) 地域の医療を残すために　病院の統合・再編	¥3,300
Vol. 78#6 (2019) 地域の健康を支える病院	¥3,300
Vol. 78#7 (2019) 多国籍社会に直面する病院	¥3,300
Vol. 78#8 (2019) ICTが変える病院医療	¥3,300
Vol. 78#9 (2019) ガバナンス改革で変わる病院	¥3,300
Vol. 78#10 (2019) 病院の生産性を向上させる人材育成戦略	¥3,300
Vol. 78#11 (2019) 病院と患者の関係　informed consentを越えて	¥3,300
Vol. 78#12 (2019) 本格化する病院のアウトカム評価	¥3,300
Vol. 79#1 (2020年1月) 地域医療構想で変わるこれからの病院	¥3,300
Vol. 79#2 (2020年2月) 病院の殻を破れるか　中小病院の柔軟性を生か	¥3,300
Vol. 79#3 (2020年3月) 病院建築の潮流	¥3,300
Vol. 79#4 (2020年4月) グループ化する病院	¥3,300
Vol. 79#5 (2020年5月) 地域包括ケアで輝く病院	¥3,300
Vol. 79#6 (2020年6月) できる事務長の育て方	¥3,300
Vol. 79#7 (2020年7月) 病院再生はドラマだ！	¥3,300
Vol. 79#8 (2020年8月) 病院総合医を活かす	¥3,300
Vol. 79#9 (2020年9月) 選択と集中で生き残る病院	¥3,300
Vol. 79#10 (2020年10月) 重症度、医療・看護必要度　見直しの方向性	¥3,300
Vol. 79#11 (2020年11月) 医療経済からみた病院経営	¥3,300
Vol. 79#12 (2020年12月) 2020年診療報酬改定から読む病院経営	¥3,300
Vol. 80#1 (2021年1月) 地域医療構想を踏まえた病院機能の選択	¥3,300
Vol. 80#2 (2021年2月) 大学病院は地域病院を支えられるか	¥3,300
Vol. 80#3 (2021年3月) Withコロナ時代の病院経営	¥3,300
Vol. 80#4 (2021年4月) 医薬品・医療材料をどうコントロールするか	¥3,300
Vol. 80#5 (2021年5月) 働き方改革のための生産性向上	¥3,300
Vol. 80#6 (2021年6月) 超高齢時代のリハビリテーション評価	¥3,300
Vol. 80#7 (2021年7月) 地域包括ケア時代における病院の在宅への関わ	¥3,300
Vol. 80#8 (2021年8月) データヘルスで変わる病院	¥3,300
Vol. 80#9 (2021年9月) 次世代の病院経営者をどう育てるか	¥3,300

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい。

41　病院精神医学（病院精神医学会）

	No. 1 (1957)		¥2,200
	No. 2 (1958)		¥2,200
	No. 4 (1961)		¥2,200
	No. 6 (1963)		¥2,200
	No. 7 (1963)		¥2,200
	No. 8 (1964)		¥2,200
	No. 9 (1964)		¥2,200
	No 10 (1965)		¥2,200
	No. 11 (1965)		¥2,200
品切	No. 13 (1966)		¥2,200
	No. 14 (1966)		¥2,200
	No. 15 (1967)		¥2,200
	No. 19 (1967)		¥2,200
	No. 20 (1967)		¥2,200
	No. 21 (1968)		¥2,200
	No. 22 (1968)		¥2,200
	No. 23 (1968)		¥2,200
	No. 24 (1968)		¥2,200
	No. 25 (1969)		¥2,200
	No. 26 (1969)		¥2,200
	No. 27 (1969)		¥2,200
	No. 28 (1970)		¥2,200
	No. 29 (1970/1971)		¥2,200
	No. 30 (1971)		¥2,200
	No. 32 (1972)		¥2,200
	No. 33 (1972/1973)		¥2,200
	No. 34 (1973)		¥2,200
	No. 35 (1973)		¥2,200
	No. 36 (1973)		¥2,200
	No. 37 (1974)		¥2,200
	No. 38 (1974)		¥2,200
	No. 39 (1974)		¥2,200
	No. 40 (1975)		¥2,200
	No. 41 (1975)		¥2,200
	No. 42 (1975)		¥2,200
	No. 43 (1975)		¥2,200
	No. 44 (1976)		¥2,200
	No. 45 (1976)		¥2,200
	No. 46 (1976)		¥2,200
	No. 63 (1981)		¥2,200

42　病院薬学（日本病院薬剤師会）

	Vol. 11-24 (1985-1998) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 25#1,3-6 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 26#1-6 (2000)	各号	¥2,200

43　病理と臨床（文光堂）

	Vol. 1-18 (1983-2000) 各1-12号	各号	¥2,640
	Vol. 19-22 (2001-2004) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 23-28 (2005-2010) 各1-12号	各号	¥3,080

44　Cancer Board Square（医学書院）

Vol. 1#1 (2015年10月) Feature Topic がん診療のフロントライン　View-p		¥3,740
Vol. 2#1 (2016年2月) Feature Topic 早期緩和ケアの正体　View-point		¥3,740
Vol. 2#2 (2016年7月) Feature Topic Over80歳のがん診療　View-point		¥3,740

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい。

45	**C & G 市民がつくるごみ読本 (廃棄物学会)**		
	No. 1 (1997)		¥1,100
	No. 2 (1998)		¥1,100
	No. 3 (1999)		¥1,100
	No. 4 (2000)		¥1,100
	No. 5 (2001)		¥1,100
	No. 6 (2002)		¥550
	No. 7 (2003)		¥550
	No. 8 (2004)		¥838
	No. 9 (2005)		¥838
	No. 10 (2006)		¥838
	No. 11 (2007)		¥838
	No. 12 (2008)		¥838
46	**CG CAR GRAPHIC (カーグラフィック)**		
	Vol. 52#1-2,5-12 (No.622,623,626-633) (2013年1-2,5-12月号)	各号	¥1,263
	Vol. 53#1-12 (No.634-645) (2014年1-12月号)	各号	¥1,263
	Vol. 54#1-4,6-12 (No.646-649,651-657) (2015年1-4,6-12月号)	各号	¥1,263
47	**The Chemical Record (日本化学会他)**		
	Vol. 1-10 (2001-2010) 各1-6号	各号	¥8,800
48	**千葉医学雑誌 (千葉医学会)**		
	Vol. 77#2,4-6 (2001); 78#1-6 (2002); 79#1-6 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 80#3,6 (2004); 81#1,5,6 (2005); 82#1-6 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 83#2-6 (2007); 84#1-6 (2008); 85#1-6 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 86#1-6 (2010); 87#1-6 (2011); 88#1-5 (2012)	各号	¥2,200
49	**地方史研究 (地方史研究協議会)**		
	No. 314,316-318 (2005)	各号	¥1,257
	No. 319-324 (2006)	各号	¥1,257
	No. 325-330 (2007)	各号	¥1,257
	No. 331-336 (2008)	各号	¥1,257
	No. 337-342 (2009)	各号	¥1,257
	No. 343-348 (2010)	各号	¥1,257
	No. 349-330,352-354 (2011)	各号	¥1,257
	No. 355 (2012)	各号	¥1,257
50	**地域福祉研究 (日本生命済生会)**		
	No. 29-40 (2001-2012)	各号	¥2,200
51	**チャイルドヘルス Child health (診断と治療社)**		
	Vol. 1#1-3 (1998)	各号	¥1,210
	Vol. 2-5 (1999-2002) 各1-12号	各号	¥1,210
	Vol. 7-10 (2004-2007) 各1-12号	各号	¥1,210
52	**地理 (古今書院)**		
	Vol. 50-56 (2005-2011) 各1-12号	各号	¥1,257
	Vol. 57#6,8,12 (2012)	各号	¥1,257
	Vol. 58#1-5 (2013)	各号	¥1,257
53	**地理学評論 Geographical review of Japan (日本地理学会)**		
	Vol. 78-79 (2005-2006) 各1-4,6-11,13,14号	各号	¥1,100
	Vol. 80#1-4,6-11,13,14 (2007)	各号	¥1,362
	Vol. 81#1-3 (2008)	各号	¥1,362
	Vol. 81#4-8 (2008)	各号	¥3,353
	Vol. 82-89 (2009-2017) 各1-6号	各号	¥3,353

54 治療（南山堂書店）

Vol. 82#1-12 (2000)	各号	¥2,530
Vol. 82#2月増刊号 (2000)		¥6,600
Vol. 83#1-12 (2001)	各号	¥2,530
Vol. 83#2月増刊号 (2001)		¥6,600
Vol. 84#1-12 (2002)	各号	¥2,530
Vol. 85#1-12 (2003)	各号	¥2,530
Vol. 86#1-12 (2004)	各号	¥2,530
Vol. 86#3月増刊号 (2004)		¥8,360
Vol. 87#1-12 (2005)	各号	¥2,530
Vol. 88#1-12 (2006)	各号	¥2,530
Vol. 88#3月増刊号 (2006)		¥8,360
Vol. 89#1-12 (2007)	各号	¥2,530
Vol. 90#1-12 (2008)	各号	¥2,530
Vol. 90#3月増刊号 (2008) 地域医療連携 実践ガイドブック		¥8,360
Vol. 91#2-10,12 (2009)	各号	¥2,530
Vol. 92#1-12 (2010)	各号	¥2,530
Vol. 92#4月増刊号 (2010) デキる医師の紹介・逆紹介スキル99		¥8,360

55 治療学（ライフ・サイエンス出版）

Vol. 34#1-12 (2000)	各号	¥1,760
Vol. 35#1-12 (2001)	各号	¥1,760
Vol. 36#1-12 (2002)	各号	¥1,760
Vol. 37#1-12 (2003)	各号	¥1,760
Vol. 38#1-12 (2004)	各号	¥1,760
Vol. 39#1-12 (2005)	各号	¥1,760
Vol. 40#1-12 (2006)	各号	¥1,760
Vol. 41#1-4,6-12 (2007)	各号	¥1,760
Vol. 42#1-12 (2008)	各号	¥1,760
Vol. 43#1-12 (2009)	各号	¥1,760

56	**地質学雑誌 Journal of the Geological Society of Japan (日本地質学会)**		
	Vol. 1#2,3,10-12 (1893/1894)	各号	¥1,760
	Vol. 2#13-24 (1894/1895)	各号	¥1,760
	Vol. 3#25-28,32-36 (1895/1896)	各号	¥1,760
	Vol. 4#37-42,44,46 (1896/1897)	各号	¥1,760
	Vol. 5#49,51,53,55,56,58,60,62 (1897/1898)	各号	¥1,760
	Vol. 6#73,74	各号	¥1,760
	Vol. 7#78-86,88 (1900/1901)	各号	¥1,760
	Vol. 8#89-99 (1901)	各号	¥1,760
	Vol. 9#100-111 (1902)	各号	¥1,760
	Vol. 10#112-123 (1903)		¥19,800
	Vol. 11#124-135 (1904)	各号	¥1,760
	Vol. 12#136-147 (1905)		¥19,800
	Vol. 13#148-159 (1906)	各号	¥1,760
	Vol. 14#160-171 (1907)	各号	¥1,760
	Vol. 15#172-183 (1908)	各号	¥1,760
	Vol. 16#184-195 (1909)	各号	¥1,760
	Vol. 17#196-207 (1910)		¥19,800
	Vol. 18#208-219 (1911)		¥19,800
	Vol. 19#220-231 (1912)		¥19,800
	Vol. 20#232-243 (1913)	各号	¥1,760
	Vol. 21#244-255 (1914)		¥19,800
	Vol. 22#256-267 (1915)		¥19,800
	Vol. 23#268-279 (1916)		¥19,800
	Vol. 24#280-291 (1917)		¥19,800
	Vol. 25#292-303 (1918)		¥19,800
	Vol. 26#304-315 (1919)		¥19,800
	Vol. 27#316-327 (1920)		¥19,800
	Vol. 28#328-339 (1921)		¥19,800
	Vol. 29#340-351 (1922)		¥19,800
	Vol. 30#352-363 (1923)		¥19,800
	Vol. 31#364-375 (1924)		¥19,800
	Vol. 32#376-387 (1925)		¥19,800
	Vol. 33#388-399 (1926)		¥19,800
	Vol. 34#400-411 (1927)		¥19,800
	Vol. 35#412-423,412S (1928)		¥19,800
	Vol. 36#424-435 (1929)		¥19,800
	Vol. 37#436-447,447S (1930)		¥19,800
	Vol. 38#448-459 (1931)		¥19,800
	Vol. 39#460-471 (1932)		¥19,800
	Vol. 40#472-483 (1933)		¥19,800
	Vol. 41#484-495 (1934)	各号	¥1,760
	Vol. 42#496-507,Index No.401/500 (1935)	各号	¥1,760
	Vol. 43#508-519 (1936)	各号	¥1,760
	Vol. 44#520-531,530S (1937)	各号	¥1,760
	Vol. 45#532-543,532S (1938)	各号	¥1,760
	Vol. 46#544-555 (1939)	各号	¥1,760
	Vol. 47#556-567 (1940)	各号	¥1,760
	Vol. 48#568-579 (1941)	各号	¥1,760
	Vol. 49#580-591 (1942)	各号	¥1,760
	Vol. 50#592-603 (1943)	各号	¥1,760
	Vol. 51#604-609 (1944)	各号	¥1,760
	Vol. 52#610-615 (1946)	各号	¥1,760
	Vol. 53#616-627 (1947)	各号	¥1,760

	地質学雑誌 Journal of the Geological Society of Japan (日本地質学会)		税込価格
	Vol. 54#628-639 (1948)	各号	¥1,760
	Vol. 55#1-12 (1949)		¥19,800
	Vol. 56#1-12 (1950)		¥19,800
	Vol. 57#1-12 (1951)		¥19,800
	Vol. 58#1-12 (1952)		¥19,800
	Vol. 59#1-12 (1953)		¥19,800
	Vol. 60#1-12 (1954)		¥19,800
	Vol. 61#1-12 (1955)		¥19,800
	Vol. 62#1-12 (1956)		¥19,800
	Vol. 63#1-12 (1957)		¥19,800
	Vol. 64#1-12 (1958)		¥19,800
	Vol. 65#1-12 (1959)		¥19,800
	Vol. 66#1-12 (1960)		¥19,800
	Vol. 67-119 (1961-2012) 各1-13号	各号	¥1,760
57	**キチン・キトサン研究 (日本キチン・キトサン学会)**		
	Vol. 6#1,3 (2000)	各号	¥2,200
	Vol. 6#2 (2000)		¥4,400
	Vol. 7#1,3 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 7#2 (2001)		¥4,400
	Vol. 8#2 (2002)		¥4,400
	Vol. 8#3 (2002)		¥2,200
	Vol. 9#1,3 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 9#2 (2003)		¥4,400
	Vol. 10#1,3 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 10#2 (2004)		¥4,400
	Vol. 11#1,3 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 11#2 (2005)		¥4,400
	Vol. 12#1,3 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 12#2 (2006)		¥4,400
	Vol. 13#3 (2007)		¥2,200
	Vol. 14#2 (2008)		¥4,400
	Vol. 15#2 (2009)		¥4,400
	Vol. 15#3 (2009)		¥2,200
	Vol. 16#1,3 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 16#2 (2010)		¥4,400
	Vol. 17#1 (2011)		¥2,200
	Vol. 17#2 (2011)		¥4,400
58	**聴覚言語障害 (日本聴覚言語障害学会)**		
	Vol. 1-24 (1972-1995) 各1-4号	各号	¥1,100
	Vol. 27#1/2/3/4 (1998)		¥4,400
	Vol. 28-29 (1999-2000) 各1-4号	各号	¥1,100
	Vol. 30-36 (2001-2007) 各1-3号	各号	¥1,100
	Vol. 40#1,2 (2011/2012)	各号	¥1,100
	Vol. 41#1,2 (2012/2013)	各号	¥1,100
	Vol. 42#1 (2013)		¥1,100
59	**聴能言語学研究 (日本聴能言語学会)**		
	Vol. 1#1 (1983)		¥3,080
	Vol. 2#1-3 (1985)	各号	¥3,080
	Vol. 3-7 (1986-1990) 各1-2号	各号	¥3,080
	Vol. 8-19 (1991-2002) 各1-3号	各号	¥3,080
60	**超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics (日本超音波医学会)**		
	Vol. 36-39 (2009-2012) 各1-6号,Supplement	各号	¥2,200
	Vol. 40#1-4,Supplement (2013)	各号	¥2,200

61	**中部日本整形外科災害外科学会雑誌（中部日本整形外科災害外科学会）**		
	Vol. 49#1,4-6,106回春季学会号,107回秋季学会号 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 50#1-6,108回春季学会号,109回秋季学会号 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 51#1-6,110回春季学会号,111回秋季学会号 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 52#1,2,3,112回春季学会号,113回秋季学会号 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 53#2-6,114回春季学会号,115回秋季学会号 (2010)	各号	¥2,200
62	**中毒研究（中毒研究会）**		
	Vol. 0#0 (1987)		¥2,420
	Vol. 1#1,2 (1988)	各号	¥2,420
	Vol. 2#1-3 (1989)	各号	¥2,420
	Vol. 5-15 (1992-2002) 各1-4号	各号	¥2,420
	Vol. 16#1 (2003)		¥2,420
	Vol. 20#4 (2007)		¥2,420
	Vol. 21#4 (2008)		¥2,420
	Vol. 22-28 (2009-2015) 各1-4号	各号	¥2,420
	Vol. 30#1 (2017)		¥2,420
63	**中・四国矯正歯科学会雑誌（中・四国矯正歯科学会）**		
	Vol. 14#1 (2002)		¥3,300
	Vol. 16#1 (2004)		¥3,300
	Vol. 20-23 (2008-2011) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 25-27 (2013-2015) 各1号	各号	¥3,300
64	**CI研究 progress in computed imaging（「CI研究」編集事務局）**		
	Vol. 16#1-4 (1994)	各号	¥2,530
	Vol. 18#1-4 (1996)	各号	¥2,530
	Vol. 19#2-4 (1997)	各号	¥2,530
	Vol. 20#1-4 (1998)	各号	¥2,530
	Vol. 21#1-4 (1999)	各号	¥2,530
	Vol. 22#1-4 (2000)	各号	¥2,530
	Vol. 23#1-4 (2001)	各号	¥2,530
	Vol. 24#1-4 (2002)	各号	¥2,530
	Vol. 25#1-4 (2003)	各号	¥2,530
	Vol. 26-33 (2004-2011) 各1,2,3/4号	各号	¥2,530
65	**Clinical Calcium（医薬ジャーナル）**		
	Vol. 17-18 (2007-2008) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 23-25 (2013-2015) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 21#1,3,5-12 (2011)	各号	¥2,750

66	**Clinical Neuroscience 月刊臨床神経科学 (中外医学社)**		
	Vol. 1#1-3 (1983)	各号	¥2,970
	Vol. 2-22 (1984-2004) 各1-12号	各号	¥2,970
	Vol. 23#1-11 (2005)	各号	¥2,970
	Vol. 24#1-12 (2006)	各号	¥2,970
	Vol. 25#2-12 (2007)	各号	¥2,970
	Vol. 26#1,2,3,5,6,8,9,12 (2008)	各号	¥2,970
	Vol. 27#1,2,3,6,8,10,11 (2009)	各号	¥2,970
	Vol. 28#5,6,8,9,12 (2010)	各号	¥2,970
	Vol. 29#3,4,5,10,11 (2011)	各号	¥2,970
	Vol. 30#11 (2012)		¥2,970
	Vol. 31#4,10 (2013)	各号	¥2,970
	Vol. 32#3,5,7,9,11 (2014)	各号	¥2,970
	Vol. 33#1,2,3,7,8,10,11,12 (2015)	各号	¥2,970
	Vol. 34#1,2,4,5,6,7,911,12 (2016)	各号	¥2,970
	Vol. 35#2,5,6,7,9,10,11,12 (2017)	各号	¥2,970
	Vol. 36#1-10,12 (2018)	各号	¥2,970
	Vol. 37#1-6 (2019)	各号	¥2,970
67	**クリニカルスタディ Clinical Study (メヂカルフレンド社)**		
	Vol. 30#4,5 (2009)	各号	¥1,100
	Vol. 31#1 (2010)		¥1,100
	Vol. 31#13 (2010)		¥1,650

68　コミュニティケア Community Care（日本看護協会出版会）

	Vol. 1#0,1,2,3 (1999)	各号	¥1,100
	Vol. 2#1-12 (2000)	各号	¥1,100
	Vol. 3#1-12 (2001)	各号	¥1,100
	Vol. 4#1-12 (2002)	各号	¥1,100
	Vol. 5#1-10,12,13 (2003)	各号	¥1,100
	Vol. 5#11 (2003)		¥1,650
	Vol. 6#1-5,7-11,13,14 (2004)	各号	¥1,100
	Vol. 6#6,12 (2004)	各号	¥1,650
	Vol. 7#1-5,7-11,13,14 (2005)	各号	¥1,100
	Vol. 7#6,12 (2005)	各号	¥1,650
	Vol. 8#1-5,7-11,13,14 (2006)	各号	¥1,100
	Vol. 8#6,12 (2006)	各号	¥1,650
	Vol. 9#2-5,7-11,13,14 (2007)	各号	¥1,100
	Vol. 9#6,12 (2007)	各号	¥1,650
	Vol. 10#1-5,7-11,13,14 (2008)	各号	¥1,100
	Vol. 10#6,12 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 11#1-5,7-11,13,14 (2009)	各号	¥1,210
	Vol. 11#6,12 (2009)	各号	¥1,650
	Vol. 12#1-6,8-13 (2010)	各号	¥1,210
	Vol. 12#7,14 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 13#1 (2011) 通巻151号 “生活を支える看護”を伝えよう――病院看		¥1,210
	Vol. 13#2 (2011) 通巻152号 特養看護職が行う“医療的ケア”の研修		¥1,210
	Vol. 13#3 (2011) 通巻153号 ナースだからできる　家族への“看取り”の		¥1,210
	Vol. 13#4 (2011) 通巻154号 リンパ浮腫のケア――慢性期から終末期ま		¥1,210
品切	Vol. 13#5 (2011) 通巻155号 精神科訪問看護に取り組む!――よりよいか		¥1,210
品切	Vol. 13#6 (2011) 通巻156号 押さえておきたい! 在宅皮下輸液のポイント		¥1,210
	Vol. 13#8 (2011) 通巻158号 震災後、“地域の看護”は まず何をする?		¥1,210
	Vol. 13#9 (2011) 通巻159号 立ち上げよう!訪問看護ステーション		¥1,210
	Vol. 13#10 (2011) 通巻160号 うまくいかないのはコレが原因? 褥瘡ケア		¥1,210
	Vol. 13#11 (2011) 通巻161号 “生活の場”での感染対策――聖路加国		¥1,210
	Vol. 13#12 (2011) 通巻162号 “癒し”を活用するタクティール®ケア		¥1,210
	Vol. 13#13 (2011) 通巻163号 最期まで“口から食べる”を支える――特		¥1,210
	Vol. 14#1 (2012) 通巻165号 期待しています!“地域”を支える看護職/IC		¥1,210
	Vol. 14#2 (2012) 通巻166号 ショートステイにおける施設と訪問看護の連		¥1,210
	Vol. 14#3 (2012) 通巻167号 ナースも楽しく成長できる!小児訪問看護を		¥1,210
	Vol. 14#4 (2012) 通巻168号 訪問看護師が身につけたい家族の“心”を		¥1,210
	Vol. 14#5 (2012) 通巻169号 新開発の“シート”でできる!高齢者ケア施設		¥1,210
	Vol. 14#6 (2012) 通巻170号 高齢者の皮膚アセスメントとスキンケアのポ		¥1,210
	Vol. 14#8 (2012) 通巻172号 オムツに頼らず快適性を追求!尊厳ある排		¥1,210
	Vol. 14#9 (2012) 通巻173号 在宅・施設のナースを日本看護協会が支援		¥1,210
	Vol. 14#10 (2012) 通巻174号 特定看護師(仮称)業務試行事業“地域”で		¥1,210
	Vol. 14#11 (2012) 通巻175号 “セルフケア能力”を引き出す認知症看護		¥1,210
	Vol. 14#12 (2012) 通巻176号 特別養護老人ホームへの訪問看護－その		¥1,210
	Vol. 14#13 (2012) 通巻177号 高齢者ケアに生かす“シーティング”/開業		¥1,210
	Vol. 14#14 (2012) 通巻178号 看護師が行う“手を当てる”ケア		¥1,650
	Vol. 15#1 (2013) 通巻179号 “複合型サービス”をはじめよう/“地域”を経		¥1,210
	Vol. 19#8 (2017) 通巻242号 終末期から始める 家族へのグリーフケア		¥1,540
	Vol. 15#2 (2013) 通巻180号 広がる“暮らしの保健室”/訪問看護サミット2		¥1,210
	Vol. 15#3 (2013) 通巻181号 訪問看護認定看護師 あらためて考える役		¥1,210
	Vol. 15#4 (2013) 通巻182号 特別養護老人ホームで行う生活の場での“		¥1,210
	Vol. 15#5 (2013) 通巻183号 終末期の栄養ケアマネジメント ―訪問看護		¥1,210
	Vol. 15#6 (2013) 通巻184号 専門看護師・認定看護師のスキルを生かす		¥1,210
	Vol. 15#8 (2013) 通巻186号 地域で支えつづけたい! 神経難病の訪問		¥1,210
	Vol. 15#9 (2013) 通巻187号 今必要とされる 特養の事故予防対策/訪問		¥1,210

Vol. 15#10 (2013) 通巻188号 遺族の生きる力を支える 訪問看護師が寄	¥1,210
Vol. 15#11 (2013) 通巻189号 慢性疾患を悪化させない訪問看護/特養	¥1,210
Vol. 15#12 (2013) 通巻190号 看護が支援して実現する グループホーム	¥1,210
Vol. 15#14 (2013) 通巻192号 看護職がリードしたい! 特養でのフィジカ	¥1,210
Vol. 16#1 (2014) 通巻193号 訪問看護におけるリハスタッフとの“連携”/	¥1,320
Vol. 16#2 (2014) 通巻194号 これで決断できた!“複合型サービス”の開	¥1,320
Vol. 16#3 (2014) 通巻195号 チーム連携で効果を上げる! 在宅・施設の	¥1,320
Vol. 16#4 (2014) 通巻196号 特養での看取りを見据えた意思決定支援/	¥1,320
Vol. 16#5 (2014) 通巻197号 今こそ地域で支えたい! 求められる精神科	¥1,320
Vol. 16#6 (2014) 通巻198号 “機能強化型”創設で待ったナシ! 訪問看	¥1,320
Vol. 16#8 (2014) 通巻200号 在宅医療への期待さらに高まる 平成26年	¥1,320
Vol. 16#9 (2014) 通巻201号 “認知症のステージ”に合わせた訪問看護/	¥1,320
Vol. 16#10 (2014) 通巻202号 緩和ケア認定看護師―地域で期待される	¥1,320
Vol. 16#11 (2014) 通巻203号 “巻き込まれ”に気づいていますか? 看護	¥1,320
Vol. 16#12 (2014) 通巻204号 「専門性の高い看護師」との連携――訪問	¥1,320
Vol. 16#14 (2014) 通巻206号 その人らしい生活を守るための 特養での“	¥1,320
Vol. 17#1 (2015) 通巻207号 “地域”のナースこそ注目したい!「特定行為	¥1,320
Vol. 17#2 (2015) 通巻208号 在宅ケアの20年を振り返り未来へ 訪問看	¥1,320
Vol. 17#3 (2015) 通巻209号 糖尿病を持つ高齢者の訪問看護と最新薬	¥1,320
Vol. 17#4 (2015) 通巻210号 地域包括ケアの展開に向けて 診療所ナー	¥1,320
Vol. 17#5 (2015) 通巻211号 平成27年度 介護報酬改定 大解剖!/腰痛	¥1,320
Vol. 17#6 (2015) 通巻212号 利用者と立てよう 看護計画－精神科訪問	¥1,320
Vol. 17#8 (2015) 通巻214号 機能強化型訪問看護ステーション!－期待	¥1,320
Vol. 17#9 (2015) 通巻215号 訪問看護師を育てよう!－新卒でも病院看	¥1,320
Vol. 17#10 (2015) 通巻216号 感染症の予防と発生時の初動－集団感染	¥1,320
Vol. 17#11 (2015) 通巻217号 2025年に向けて今、動き出そう! 訪問看護	¥1,320
Vol. 17#12 (2015) 通巻218号 実態と運営のコツ 看護小規模多機能型	¥1,320
Vol. 17#14 (2015) 通巻220号 ケアマネジャーに聞く! 選ばれる訪問看護	¥1,320
Vol. 18#1 (2016) 通関221号 見逃さない！高齢者の薬物有害事象/在宅	¥1,320
Vol. 18#2 (2016) 通関222号 あなたなら、どう対応する？訪問看護におけ	¥1,320
Vol. 18#3 (2016) 通関223号 「食べたい」をかなえる！ 最新 経口摂取ケ	¥1,320
Vol. 18#4 (2016) 通関224号 “尊厳ある生”を支える 1人暮らしを最期ま	¥1,320
Vol. 18#5 (2016) 通関225号 地域包括ケアシステムをつくる！／在宅復	¥1,320
Vol. 18#6 (2016) 通関226号 質の標準化に向けて活用しよう！「看護師	¥1,320
Vol. 18#8 (2016) 通関228号 労務管理を正しく理解していますか？訪問	¥1,320
Vol. 18#9 (2016) 通関229号 連携を深める第一歩 ワークショップを開催	¥1,320
Vol. 18#10 (2016) 通関230号 訪問看護から始めるキャリア 病院と連携し	¥1,320
Vol. 18#11 (2016) 通巻231号 訪問看護ステーションでの ICT機器の活	¥1,320
Vol. 18#12 (2016) 通巻232号 初めての精神科訪問看護 特徴と支援の	¥1,320
Vol. 18#14 (2016) 通関234号 高齢者ケア施設の職員のメンタルヘルス	¥1,320
Vol. 19#1 (2017) 通巻235号 認知症者の性 逸脱行為への尊厳ある対応	¥1,540
Vol. 19#2 (2017) 通巻236号 看護職のアセスメントが鍵 救急受診の必要	¥1,540
Vol. 19#3 (2017) 通巻237号 スキン-テア(皮膚裂傷)の予防とケア／サー	¥1,540
Vol. 19#4 (2017) 通巻238号 訪問看護ステーションの後継者の育成／そ	¥1,540
Vol. 19#5 (2017) 通巻239号 クリニカルラダーの導入と効果	¥1,540
Vol. 19#6 (2017) 通巻240号 在宅における緩和ケア COPD・脳卒中・心	¥1,540
Vol. 19#8 (2017) 通巻242号 終末期から始める 家族へのグリーフケア	¥1,540
Vol. 19#9 (2017) 通巻243号 いつもと様子が違う?在宅でのアセスメント	¥1,540
Vol.19#10 (2017) 通巻244号 精神科訪問看護 身体疾患を併発した際の	¥1,540
Vol. 19#11 (2017) 通巻245号 HIV感染者・エイズ患者への看護 平成29	¥1,540
Vol. 19#12 (2017) 通巻246号 身体疾患の発症につながる 歯のトラブル	¥1,540
Vol. 19#14 (2017) 通巻248号 外来看護師・訪問看護師の連携	¥1,540
Vol. 20#1 (2018) 通巻249号 認知症グループホームと訪問看護の医療	¥1,540
Vol. 20#2 (2018) 通巻250号 在宅での抗がん薬の曝露予防／訪問看護	¥1,540
Vol. 20#3 (2018) 通巻251号 小児の在宅療養支援／どうしていますか?	¥1,540
Vol. 20#4 (2018) 通巻252号 納得のいく最期を実現する 救急搬送をなく	¥1,540
Vol. 20#5 (2018) 通巻253号 人材の確保と定着／仕事と介護の両立の	¥1,540

	Vol. .20#6 (2018) 通巻254号 退院直後から取り組む 筋力低下の予防・		¥1,540
	Vol. 20#8 (2018) 通巻256号 平成30年度トリプル改定のポイントと影響		¥1,540
	Vol. 20#9 (2018) 通巻257号 訪問看護ステーションにおける労務管理の		¥1,540
	Vol. 20#10 (2018) 通巻258号 高齢者ケアにおける身体拘束廃止／訪問		¥1,540
	Vol. 20#11 (2018) 通巻259号 精神科訪問看護における就労支援／外		¥1,540
	Vol. 20#12 (2018) 通巻260号 高齢者のかゆみ 乾皮症のケアと予防／在		¥1,540
	Vol. 20#14 (2018) 通巻262号 心不全高齢者へのケア ／認知症の人の		¥1,540
	Vol. 21#2 (2019) 通巻264号 高齢者のその症状 てんかんではありません		¥1,540
	Vol. 21#3 (2019) 通巻265号 訪問看護ステーションによる地域支援／業		¥1,540
	Vol. 21#4 (2019) 通巻266号 高齢者ケア施設への訪問看護 住み慣れた		¥1,540
	Vol. 21#5 (2019) 通巻267号 若年層のがん患者への支援／共生型サー		¥1,540
	Vol. 21#6 (2019) 通巻268号 在宅における高齢者への虐待防止／看護		¥1,540
	Vol. 21#8 (2019) 通巻270号 "危険な足"の見分け方／介護保険・保険		¥1,540
	Vol. 21#9 (2019) 通巻271号 訪問看護ステーションの多機能化という選		¥1,540
	Vol. 21#10 (2019) 通巻272号 老年期うつのアセスメント／看護師による		¥1,540
	Vol. 21#11 (2019) 通巻273号 特定行為研修修了者の活用／利用者負		¥1,540
	Vol. 21#12 (2019) 通巻274号 職員の治療と仕事の両立支援／子育て中		¥1,540
	Vol. 21#14 (2019) 通巻276号 高齢者の睡眠／身寄りのない認知症高齢		¥1,540
	Vol. 22#1 (2020年1月) 通巻277号 2040年の在宅医療／入退院を繰り返		¥1,540
	Vol. 22#2 (2020年2月) 通巻278号 むくみのアセスメントとケア／高齢者		¥1,540
	Vol. 22#3 (2020年3月) 通巻279号 高齢者ケア施設の"介護事故"再考		¥1,540
	Vol. 22#4 (2020年4月) 通巻280号 在宅におけるアドバンス・ケア・プラン		¥1,540
	Vol. 22#5 (2020年5月) 通巻281号 「お薬を飲んでいますか」だけで終わ		¥1,540
	Vol. 22#6 (2020年6月) 通巻282号 安全に食べるための姿勢と食事支援		¥1,540
	Vol. 22#8 (2020年7月) 通巻284号 2025年・2040年に備える 令和2年度		¥1,540
	Vol. 22#9 (2020年8月) 通巻285号 新型コロナウイルス感染症の予防対		¥1,540
	Vol. 22#10 (2020年9月) 通巻286号 在宅医療にICT・IoT・AIをどう生か		¥1,540
	Vol. 22#11 (2020年10月) 通巻287号 訪問看護と救急医療の連携／地		¥1,540
	Vol. 22#12 (2020年11月) 通巻288号 職員のメンタルヘルスケア／ナース		¥1,540
	Vol. 22#14 (2020年12月) 通巻290号 事業の維持と拡大 職員を集める効		¥1,540
69	**コンピュータソフトウェア Computer software（日本ソフトウェア科学会）**		
	Vol. 1#1-3 (1984)	各号	¥1,100
	Vol. 2-7 (1985-1990) 各1-4号	各号	¥1,100
	Vol. 8-21 (1991-2004) 各1-6号	各号	¥1,100
	Vol. 22-26 (2005-2011) 各1-6号	各号	¥1,650
	Vol. 27-28 (2010-2011) 各1-6号	各号	¥1,980
	Vol. 29#1,2 (2012)	各号	¥1,980

70　コンセンサス癌治療（へるす出版）

	Vol. 1 No.1 (2002) 胃癌の治療		¥1,650
	Vol. 1 No.2 (2002) 大腸癌の治療		¥1,650
品切	Vol. 1 No.3 (2002) 肺癌の治療		¥1,650
	Vol. 2 No.1 (2003) 膵癌(膵管癌) の治療		¥1,650
品切	Vol. 2 No.2 (2003) 消化管間葉系腫瘍 (GIST)の診断と治療		¥1,650
品切	Vol. 2 No.3 (2003) 肝細胞癌の治療		¥1,650
	Vol. 2 No.4 (2003) 食道癌の治療		¥1,650
	Vol. 3 No.1 (2004) 乳癌の治療		¥1,650
	Vol. 3 No.2 (2004) 胆嚢癌の治療		¥1,650
	Vol. 3 No.3 (2004) 外来化学療法の実際		¥1,650
	Vol. 3 No.4 (2004) 癌の症状緩和医療		¥1,650
	Vol. 4 No.1 (2005) 癌術後フォローアップ計画		¥1,650
	Vol. 4 No.2 (2005) 胃癌の治療2005-2007		¥1,650
	Vol. 4 No.3 (2005) 直腸癌の治療		¥1,650
	Vol. 4 No.4 (2005) 肺癌の治療2005-2007		¥1,650
	Vol. 5 No.1 (2006) 膵癌の治療2006-2008		¥1,650
	Vol. 5 No.2 (2006) 癌診療ガイドライン		¥1,650
	Vol. 5 No.3 (2006) 癌診療におけるPET診断の位置づけ		¥1,650
	Vol. 5 No.4 (2006) 抗癌剤の副作用と対策		¥1,650
	Vol. 6 No.1 (2007) 乳癌の治療2007-2009		¥1,650
品切	Vol. 6 No.2 (2007) 術後補助療法		¥1,650
	Vol. 6 No.3 (2007) 腫瘍マーカー		¥1,650
	Vol. 6 No.4 (2007) 多様化する肝転移治療の選択		¥1,650
	Vol. 7 No.1 (2008) チーム医療のためのサイコオンコロジー入門		¥1,650
	Vol. 7 No.2 (2008) 大腸癌診療-最近の話題		¥1,650
	Vol. 7 No.3 (2008) 癌緩和医療のベストプラクティス		¥1,650
	Vol. 7 No.4 (2008) 胃癌;大きく変わってきたスタンダード治療		¥1,650
品切	Vol. 8 No.1 (2009) ガイドラインに基づいた胆道癌の診断と治療		¥1,650
	Vol. 8 No.2 (2009) 知っておきたい分子標的治療		¥1,650
品切	Vol. 8 No.3 (2009) 肝細胞癌の治療2009-2011		¥1,650
	Vol. 8 No.4 (2009) 外来化学療法のための重篤な副作用対応マニュアル		¥1,650
	Vol. 9 No.1 (2010) 腫瘍進行に伴うoncologic emergency-救急室での対		¥1,650
	Vol. 9 No.2 (2010) 乳癌の初期治療		¥1,650
	Vol. 9 No.3 (2010) 転移乳癌の治療		¥1,650
品切	Vol. 9 No.4 (2010) 非小細胞肺癌の治療2010-2012		¥1,650
品切	Vol. 10 No.1 (2011) 進行・再発大腸癌の治療		¥1,650
	Vol. 10 No.2 (2011) 新しい胃癌取扱い規約と治療ガイドライン		¥1,650
	Vol. 10 No.3 (2011) 膵癌の診断と治療2011-2013		¥1,650
品切	Vol. 10 No.4 (2012) 終末期がん患者のケア・マニュアル		¥1,650
品切	Vol. 11 No.1 (2012) 小細胞肺癌の治療2012-2014		¥1,650
	Vol. 11 No.2 (2012) 食道癌の治療		¥1,650
	Vol. 11 No.3 (2012) 神経内分泌腫瘍 (NET);診断と治療のコンセンサス		¥1,650
	Vol. 11 No.4 (2012) 外来化学療法の実際;最新のベストプラクティス		¥1,650
	Vol. 12 No.1 (2013) 癌患者に対する栄養療法		¥1,650
	Vol. 12 No.2 (2013) 最新の肝細胞癌の診断と治療		¥1,650
	Vol. 12 No.3 (2013) 分子標的治療薬の使用手引き2013		¥1,650
	Vol. 12 No.4 (2013) 癌薬物療法の副作用対策　支持療法と用量調整の		¥1,650

71　カウンセリング研究（日本カウンセリング学会）

	Vol. 1-19 (1968-1986/1987)→相談学研究（日本相談学会）		
	Vol. 20-28 (1987/1988-1995) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 29-33 (1996-2000) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 34-46 (2001-2013) 各1-3号,増刊号	各号	¥2,200
	Vol. 47#1,増刊号 (2014)	各号	¥2,200

72	**カレントテラピー Current Therapy (ライフメディコム)**		
	Vol. 26#1-12 (2008); 27#1-8,10-12 (2009); 28#1-12 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 30#1-7,9-12 (2012)	各号	¥2,200
73	**第四紀研究 (日本第四紀学会)**		
	Vol. 1#1-7 (1957/60)	各号	¥2,200
	Vol. 2#1-6 (1961/63)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1-5(1963/64)	各号	¥2,200
	Vol. 4-27 (1965-1989) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 28-37 (1989-1998) 各1-5号	各号	¥2,200
	Vol. 38-50 (1999-2011) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 50#別冊号 (2011)		¥2,200
	Vol. 51#1-3 (2012)	各号	¥2,200
74	**断層映像研究会雑誌 (断層映像研究会)**		
	Vol. 28#4; 29#1,2/3,4; 30#1; 31#1,2; 32#2,3; 33#3 (2001-2006)	各冊	¥2,200
75	**デイケア実践研究 (日本デイケア学会)**		
	Vol. 7-12 (2003-2008) 各1-2号	各号	¥4,400
76	**Dementia Japan 日本認知症学会誌 (日本認知症学会)**		
	Vol. 29-32 (2015-2018) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 33#1-2 (2019)	各号	¥3,300
77	**Dental Diamond (デンタルダイヤモンド社)**		
	Vol. 33#3 (2008); 34#3 (2009); 35#3 (2010)	各号	¥4,400
	Vol. 33#6,11 (2008); 34#6,10,14 (2009); 35#6,10,14 (2010)	各号	¥5,280
	Vol. 37#3 (2012)		¥4,400
	Vol. 37#6,14 (2012)	各号	¥5,280
78	**Dental Materials Journal (日本歯科理工学会)**		
	Vol. 1#1 (1982)		¥3,300
	Vol. 2-16 (1983-1997) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 17-25 (1998-2006) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 26-40 (2007-2021) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 41#1-6 (2022)	各号	¥3,300
79	**デザイン理論 (意匠学会)**		
	No. 35-37 (1996-1998)	各号	¥3,300
	No. 40 (2001)		¥3,300
	No. 41 (2002)		¥3,300
	No. 42-43 (2003)	各号	¥3,300
	No. 44-45 (2004)	各号	¥3,300
	No. 47 (2005)		¥3,300
	No. 48-49 (2006)	各号	¥3,300
	No. 50-51 (2007)	各号	¥3,300
	No. 55 (2009)		¥3,300
	No. 56-57 (2010)	各号	¥3,300
	No. 58-59 (2011)	各号	¥3,300
	No. 60-61 (2012)	各号	¥3,300
	No. 62 (2013)	各号	¥3,300
80	**ディテール Detail Magazine for Architects and Engineers (彰国社)**		
	No. 22 (1968)		¥2,357
	No. 37 (1973)		¥2,357
	No. 52,54 (1977)	各号	¥2,357
	No. 55,58 (1978)	各号	¥2,357
	No. 59-187 (1979-2011)	各号	¥2,357

81	**DNA Research (Kazusa DNA Research Institute)**		
	Vol. 1-11 (1994-2004) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 12#1-3 (2005)	各号	¥2,200
82	**動物分類学会会報 (動物分類学会)**		
	No. 36-51,53 (1967-1980)	各号	¥330
83	**動物分類学会誌 Proceedings of the Japanese Society of Systematic Zoology**		
	No. 2-38 (1966-1988)	各号	¥330
84	**動物学雑誌 Zoological Magazine (東京動物学会)**		
	Vol. 62-80 (1953-1971) 各1-12号	各号	¥550
	Vol. 81-92 (1972-1983) 各1-4号	各号	¥1,650
85	**ドイツ文学 (日本獨文學會・郁文堂書店)**		
	No. 5-8,11-131 (1950-2006)	各号	¥1,650
86	**同志社アメリカ研究 Doshisha American Studies (同志社大学アメリカ研究所)**		
	No. 1,3-37 (1963-2001)	各号	¥2,200
87	**Drug Metabolism and Pharmacokinetics (日本薬物動態学会)**		
	Vol. 20-24 (2005-2009) 各1-6号	各号	¥3,300
88	**EB Nursing (中山書店)**		
	Vol. 1-7 (2001-2007) 各1-4号	各号	¥1,540
89	**Eco Forum (統計研究会)**		
	Vol. 16#2-4; 17#1,2; 18#3,4; 19#1-3 (1997-2001)	各号	¥2,200
90	**Ecological Research (日本生態学会)**		
	Vol. 1-13 (1986-1997) 各1-3号	各号	¥6,600
	Vol. 14-15 (1999-2000) 各1-4号	各号	¥8,800
	Vol. 16#1-5 (2001)	各号	¥8,800
	Vol. 17-26 (2002-2011) 各1-6号	各号	¥13,200
91	**英文学研究 Studies in English Literature (日本英文学社)**		
	Vol. 39-41 (1963-1965) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 42#1 (1965)		¥2,200
	Vol. 43-50 (1966-1974) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 51-54 (1974-1977) 各1-2合併号	各巻	¥4,400
	Vol. 55-59 (1978-1982) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 60#1 (1983); 61#1 (1984)	各号	¥2,200
	Vol. 62-67 (1985-1990) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 69-79 (1992-2002) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 82-85 (2005-2008)	各巻	¥4,400
92	**英語教育 English Teachers' Magazine(大修館書店)**		
	Vol. 48#1-15 (1999/2000)	各号	¥880
	Vol. 49#1-13 (2000/2001)	各号	¥880
	Vol. 50#1-13 (2001/2002)	各号	¥880
	Vol. 51#1-14 (2002/2003)	各号	¥880
	Vol. 52#1-13 (2003/2004)	各号	¥880
93	**英語青年 Rising Generation (英語青年社)**		
	Vol. 1-81 (1898-1939)	各巻	¥8,800
	Vol. 145#1-13 (1999/2000)	各号	¥1,100
	Vol. 146-149 (2000/2001-2003/2004) 各1-12号	各号	¥1,100
94	**衛生動物 Medical entomology and Zoology (日本衛生動物学会)**		
	Vol. 1-2 (1950-1951) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 3-59 (1952-2008) 各1-4号	各号	¥2,200

95	**栄養学雑誌 Japanese Journal of Nutrition (国民栄養部研究会)**		
	Vol. 44-48 (1986-1990) 各1-6号	各号	¥1,100
	Vol. 49-50 (1991-1992) 各1-5号	各号	¥1,100
	Vol. 62-67 (2004-2009) 各1-6号	各号	¥1,100
	Vol. 68#1-3 (2010)	各号	¥1,100
96	**栄養日本 : 日本栄養士会雑誌 Journal of the Japan Dietetic Association**		
	Vol. 51#5-7,9-12 (2008)	各号	¥1,100
	Vol. 52#1-7,9-12 (2009)	各号	¥1,100
	Vol. 53#1,3-5,7-9 (2010)	各号	¥1,100
97	**栄養と食糧 (日本栄養・食糧学会)**		
	Vol. 1-35 (1947/49-1982) 各1-6号	各号	¥1,650
98	**映像情報メディア学会誌 (映像情報メディア学会)**		
	Vol. 54-58 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥2,420
	Vol. 59#1-9 (2005)	各号	¥2,420
99	**液晶 日本液晶学会誌**		
	Vol. 2#3,4 (1998)	各号	¥2,200
	Vol. 3-9 (1999-2005) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 10#1 (2006)		¥2,200
100	**Elle Deco (アシェット婦人画報社)**		
	No. 34-37,39 (1998)	各号	¥1,257
	No. 40,41 (1999)	各号	¥1,257
	No. 46,48,50 (2000)	各号	¥1,257
	No. 52,53,56,57 (2001)	各号	¥1,257
	No. 59,61,62 (2002)	各号	¥1,257
	No. 68,69 (2003)	各号	¥1,257
	No. 70,73,74 (2004)	各号	¥1,257
	No. 78 (2005)		¥1,257
	No. 84 (2006)		¥1,257
	No. 89,90,91,93 (2007)	各号	¥1,257
101	**エンドトキシン血症治療研究会誌**		
	Vol. 2#1 (1998)		¥2,200
	Vol. 9#1 (2005)		¥2,200
	Vol. 10#1 (2005)		¥2,200
102	**演劇と教育 [日本演劇教育連盟編集] (晩成書房)**		
	No. 74,75,79-83,85-87,89,99,110,120,132 (1960-1965)	各号	¥1,100
	No. 577 (2005)		¥1,100
	No. 587 (2006)		¥1,100
	No. 607 (2008)		¥1,100
	No. 617 (2009)		¥1,100
	No. 622,624-627,629 (2010)	各号	¥1,100
	No. 632-637,639-640 (2011)	各号	¥1,100
	No. 641,642,644-647,649,650 (2012)	各号	¥1,100
	No. 651-657,659,660 (2013)	各号	¥1,100
	No. 661-663,665,666,668-670 (2014)	各号	¥1,100
	No. 671-676,678-680 (2015)	各号	¥1,100
	No. 681-683,685,686 (2016)	各号	¥1,100

103	**Monthly Book Entoni エントーニ (全日本病院出版会)**		
	No. 1,4,21,23,25-28,31,32,34,35,45 (2001-2005)	各号	¥2,619
	No. 58,59,62-65,67,68,70 (2006)	各号	¥2,619
	No. 72,73,76,80-82 (2007)	各号	¥2,640
	No. 74 (2007)		¥5,170
	No. 79 (2007)		¥5,830
	No. 85,88,90,91,96 (2008)	各号	¥2,640
	No. 87 (2008)		¥5,170
	No. 97,99,101-102,104,105,108 (2009)	各号	¥2,750
	No. 107 (2009)		¥5,280
	No. 116 (2010)		¥2,640
104	**Equilibrium Research (日本平衡神経科学会)**		
	Vol. 58-70 (1999-2011) 各1-6号	各号	¥2,530
105	**ERマガジン (シービーアール)**		
	Vol. 1#3,5 (2004)	各号	¥1,430
	Vol. 2#1 (2005)		¥1,430
	Vol. 3#2,5 (2006)	各号	¥1,540
	Vol. 4#2,3 (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 7#2,4 (2010)	各号	¥2,750
	Vol. 9#1 (2012)		¥2,750
106	**エキスパートナース Expert Nurse (照林社)**		
	Vol. 20#1-5,7,9-13,15 (2004)	各号	¥1,047
	Vol. 20#6 (2004) 5月臨時増刊号 輸液管理そこが知りたいQ&A		¥1,466
	Vol. 21#2-4,6,8-13,15 (2005)	各号	¥1,047
	Vol. 22#1-4,7,10,11,13,15 (2006)	各号	¥1,047
	Vol. 23#1-5,7,9-13,15 (2007)	各号	¥1,047
	Vol. 24#1-5,7,9-13,15 (2008)	各号	¥1,047
107	**Facial Nerve Research (日本顔面神経研究会)**		
	Vol. 28#1 (2008)		¥5,500
	Vol. 29#1 (2009)		¥5,500
108	**ファッション環境**		
	Vol. 9#2,3,4 (1999/2000)	各号	¥1,100
	Vol. 10#1,2,3,4 (2000/2001)	各号	¥1,100
	Vol. 11#1,2,3/4 (2001/2002)	各号	¥1,100
	Vol. 12#3,4 (2003)	各号	¥1,100
	Vol. 13#1 (2003)	各号	¥1,100
	Vol. 14#1 (2004)	各号	¥1,100
109	**ふぇらむ (日本鉄鋼協会)**		
	Vol. 9#6-12 (2004)	各号	¥4,180
	Vol. 10#1-7,9-12 (2005)	各号	¥4,180
	Vol. 13#4-10 (2008)	各号	¥4,180
	Vol. 14#1-12 (2009)	各号	¥4,180
110	**Fire Science and Technology (Tokyo University of Science)**		
	Vol. 23#1,3-5; 24#1-4; 25#1-3; 26#1-4 (2004-2007)	各号	¥3,300
	Vol. 27#1-3; 28#1-3; 29#1; 30#1-3 (2008-2011)	各号	¥3,300
111	**Foods & Food Ingredients Journal of Japan 食品・食品添加物研究誌 (FFI ジャーナル編集委員会)**		
	Vol. 212#4,5,7-12 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 213#1-12 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 214#1-4 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 215#1-4 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 216#1 (2011)		¥3,300

112	**Forensic Toxicology (日本法中毒学会)**		
	※Vol. 8-23 (1990-2003)→法中毒 (日本法中毒学会)		
	Vol. 24-34 (2006-2016) 各1-2号	各号	¥4,950
	Vol. 35#1 (2017)		¥4,950
113	**Frontiers in Glaucoma (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 2#3 (2001)		¥2,200
	Vol. 3#2,3,4 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 4#1-4 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 5#1,2 (2004)	各号	¥2,200
114	**Frontiers in Dry Eye (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 5-10 (2010-2015) 各1-2号	各号	¥1,980
115	**Frontiers in Parkinson Disease (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 1#1,2 (2008)	各号	¥2,420
	Vol. 2#4 (2009)		¥2,420
	Vol. 3#3,4 (2010)	各号	¥2,420
	Vol. 4#4 (2011)		¥2,420
116	**不眠研究 Insomnia Research (不眠研究会)**		
	Year 2007-2008 (2007-2008)	各年	¥3,300
117	**Funkcialaj Ekvacioj (日本数学会函数方程式分科会)**		
	Vol. 1-27 (1947-1976) 各1-3号	各号	¥2,200
118	**不整脈 (日本心臓ペーシング・電気生理学会)**		
	Vol. 17#1-5 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 18#1-5 (2002)	各号	¥3,300
	Vol. 19#1-5 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1-5 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 21#1-2 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 28#第27回日本不整脈学会学術大会予稿集 (2012	各号	¥5,500
119	**風俗史学 日本風俗史学会誌**		
	No. 34 (2006)		¥1,650
	No. 35,36,37 (2007)	各号	¥1,650
	No. 38,39 (2009)	各号	¥1,650
	No. 40,41 (2010)	各号	¥1,650
	No. 42 (2011)		¥1,650
120	**学校保健研究 Japanese Journal of School Health (日本学校保健学会)**		
	Vol. 9-18,22-35 (1967-1993) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 36#1-9 (1994/1995)	各号	¥1,650
	Vol. 47-48 (2005/2006-2006/2007) 各1-6号	各号	¥2,750
121	**顎顔面補綴(日本顎顔面補綴学会)**		
	Vol. 1-3 (1978-1980) 各1号	各号	¥5,500
	Vol. 4#1,2 (1981)	各号	¥5,500
	Vol. 5#1 (1982)		¥5,500
	Vol. 6-20 (1983-1997) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 22-35 (1999-2012) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 36#1 (2013)		¥5,500
	Vol. 37-44 (2014-2021) 各1-2号	各号	¥5,500
122	**顎変形症研究会会誌 (顎変形症研究会)**		
	No. 3 (1984)		¥2,200
	No. 4 (1985)		¥2,200
	No. 5 (1986)		¥2,200
	No. 6 (1987)		¥2,200
	No. 7 (1988)		¥2,200
	No. 8 (1989)		¥2,200

123 **がん分子標的治療（メディカルレビュー社）**

Vol. 6#1-4 (2008)	各号	¥2,750
Vol. 7#1,3,4 (2009)	各号	¥2,750

124 **眼科 Ophthalmology（金原出版）**

Vol. 46#7-10,12 (2004)	各号	¥2,860
Vol. 46#11 (2004)		¥7,040
Vol. 47#1-3,5-10,12,13 (2005)	各号	¥2,970
Vol. 47#4 (2005)		¥4,840
Vol. 47#11 (2005)		¥7,040
Vol. 48#1,3,11,13 (2006)	各号	¥2,970
Vol. 51#1-3,5-9,11-13 (2009)	各号	¥2,970
Vol. 51#4 (2009)		¥4,840

125 **眼科ケア 眼科領域の医療・看護専門誌（メディカ出版）**

Vol. 10-13 (2008-2011) 各1-12号	各号	¥1,980

126 **がん看護 Japanese Journal of Cancer Care（南江堂）**

Vol. 1#1-3 (1996)	各号	¥1,650
Vol. 2#1-4 (1997)	各号	¥1,650
Vol. 3-6 (1998-2001) 各1-6号	各号	¥1,650
Vol. 7#2-5 (2002)	各号	¥1,650
Vol. 8-10 (2003-2005) 各1-6号	各号	¥1,760
Vol. 11#5 (2006)		¥1,760
Vol. 12#1,3-7 (2007)	各号	¥1,760

127 **眼科臨床医報（眼科臨床医報会）**

Vol. 94-101 (2000-2007) 各1-12号	各号	¥2,200

128 **眼科臨床紀要（眼科臨床紀要会）**

Vol. 10#1-12 (2017)	各号	¥2,200
Vol. 11#1-12 (2018)	各号	¥2,200
Vol. 12#1-6 (2019)	各号	¥2,200

129 **眼科手術 Journal of Ophthalmic Surgery（メディカル葵出版）**

Vol. 12-28 (1999-2015) 各1-4号	各号	¥2,640
Vol. 29#1,2 (2016)	各号	¥2,640

130 **岩鉱 Journal of Mineralogy, Petrology and Economic Ceology（日本岩石鉱物鉱床学会）**

Vol. 77-94 (1982-1999) 各1-12号	各号	¥1,320
Vol. 95#1-3 (2000)	各号	¥1,320

131 **癌の臨床 Japanese Journal of Cancer Clinics（篠原出版新社）**

Vol. 46-54 (2000-2008) 各1-13号	各号	¥2,200
Vol. 55#1-12 (2009)	各号	¥2,200

132 **岩石鉱物科学 Japanese Magazine of Mineralogical and Petrological Science（日本鉱物科学会）**

Vol. 29-34 (2000-2005) 各1-6号	各号	¥1,650

133 **岩石鉱物鉱床学会誌**

Vol. 35-66 (1951-1971) 各1-6号	各号	¥1,650
Vol. 67-76 (1972-1981) 各1-12号	各号	¥1,100

134 **眼薬理 Japanese Journal of Ocular Pharmacology（日本眼薬理学会）**

Vol. 15-17 (2001-2003) 各1号	各号	¥2,200

135 **ゲッチンゲン医学古典文庫覆刻版　解説**

解説者　高木和男　藤野恒三郎　小川鼎三　坂本満　酒井シヅ
Marcello Malpighi, Govard Bidloo, William Smellie
49 page (1979) paper bound
Saikon Publishing Tokyo 1979　¥2,200

136	**ゲッチンゲン医学古典文庫目録** Catalogue of Gottingen Collection of Medical Classics in the Institute for Science of Labour Japan Volume 1 (242 page) volume 2 (370 page) Bound Saikon Publishing Tokyo 1977		¥41,800
137	**外科 (南江堂)**		
	Vol. 66-67 (2004-2005) 各1-11,13号	各号	¥2,640
	Vol. 67#12 (2005) 増刊号		¥6,380
	Vol. 68-71 (2006-2009) 各1-11,13号	各号	¥2,750
	Vol. 68#12 (2006) 増刊号		¥6,380
	Vol. 69#12; 70#12; 71#12 (2007-2009) 増刊号	各号	¥6,600
	Vol. 72-76 (2010-2014) 各1-11,13号	各号	¥2,860
	Vol. 72#12 (2010) 増刊号		¥6,600
	Vol. 73#12; 74#12; 75#12; 76#12 (2011-2014) 増刊号	各巻	¥6,930
138	**外科治療 Surgical Therapy (永井書店)**		
	Vol. 92-93 (2005) 各1-6号	各号	¥2,640
	Vol. 96-99 (2006-2008) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 100#1-6 (2009)	各号	¥2,750
	Vol. 101#1,2,4-6 (2009)	各号	¥2,750
	Vol. 101#3 (2009)		¥4,400
	Vol. 102-105 (2010-2011) 各1-6号	各号	¥2,860
139	**月刊文化財 (第一法規)**		
	No. 1-404 (1963-1997)	各号	¥770
	No. 424-432 (1999)	各号	¥770
140	**月刊福祉 (全国社会福祉協議会)**		
	Vol. 92#6-10 (2009)	各号	¥1,068
	Vol. 93#1 (2010)		¥1,068
	Vol. 93#15 (2010) シリーズよくわかる福祉政策2 わが国の福祉を・・・		¥1,870
	Vol. 94#4 (2011) 増刊号		¥1,650
141	**月刊廃棄物 (日報アイ・ビー)**		
	Vol. 30-34 (2004-2008) 各1-12号	各号	¥1,760
142	**月刊ジェネリック (アズクルー)**		
	No. 82-93 (2010)	各号	¥1,980
143	**月刊ナーシング (学習研究社)**		
	Vol. 25-27 (2005-2007) 各1-4,6-11,13,14号	各号	¥1,257
	Vol. 25-27 (2005-2007) 各5,12号 増刊号	各号	¥1,572
	Vol. 28-29 (2008-2009) 各1-4,6-11,13,14号	各号	¥1,257
	Vol. 28-29 (2008-2009) 各5,12号 増刊号	各号	¥1,676
144	**月刊しにか (大修館書店)**		
	Vol. 8-14 (1997-2003) 各1-12号	各号	¥1,100
145	**月刊トレーニング・ジャーナル Training journal (ブックハウスHD)**		
	Vol. 21-39 (1999-2017) 各1-12号	per number	¥770
146	**月刊薬事 Pharmaceuticals Monthly (じほう)**		
	Vol. 48-50 (2000-2008) 各1-13号	各号	¥1,980
	Vol. 51#1-13 (2009)	各号	¥2,200

147	**現代のエスプリ（至文堂）**		
	No. 20,27,37,41,43,50,51,53,59,61,63 (1966-1972)	各号	¥1,100
	No. 66,67,70,71,74,78,79,81,83,85,86,88,89 (1973-1974)	各号	¥1,100
	No. 95-99,103,105,106,108,110,113 (1975)	各号	¥1,100
	No. 115-117,120,123,125,126-128,130,134 (1977-1978)	各号	¥1,100
	No. 139-149,150-161,162-180,182-187,189-197 (1979-1983)	各号	¥1,100
	No. 198-215,217-224,228-233,239,245,256,258,270-281 (1984-1990)	各号	¥1,100
	No. 292,296,307-377 (1991-1998)	各号	¥1,100
	No. 378-437 (1999-2003)	各号	¥1,309
	No. 454 (2005)		¥1,309
148	**現代社会理論研究（現代社会理論研究会）**		
	No. 4,5,8,13 (1994-2003)	各号	¥2,750
149	**現代東洋医学（医学出版センター）**		
	Vol. 1#2 (1980)		¥1,980
	Vol. 2#2-4 (1981)	各号	¥1,980
	Vol. 3#1-4 (1982)	各号	¥1,980
	Vol. 4#1-4 (1983)	各号	¥1,980
	Vol. 5#1-4 (1984)	各号	¥1,980
	Vol. 6#1-4 (1985)	各号	¥1,980
	Vol. 7#1-4 (1986)	各号	¥1,980
	Vol. 8#4 (1987)		¥1,980
	Vol. 9#1-4 (1988)	各号	¥1,980
	Vol. 10#1-4 (1989)	各号	¥1,980
	Vol. 11#1-4 (1990)	各号	¥1,980
	Vol. 12#1-3 (1991)	各号	¥1,980
	Vol. 13#4 (1992)		¥1,980
	Vol. 14#1,2,4 (1993)	各号	¥1,980
	Vol. 15#1-4 (1994)	各号	¥1,980
	Vol. 16#1-4 (1995)	各号	¥1,980
	Vol. 17#1 (1996)		¥1,980
	Vol. 5#supplement (1984) 現代漢方症例選集（第1集）		¥3,520
	Vol. 6#supplement (1985) 現代漢方症例選集（第2集）		¥3,520
	Vol. 8#supplement (1987) 現代漢方症例選集（第3集）		¥4,620
	Vol. 9#supplement (1988) 難病・難症の漢方治療		¥4,180
	Vol. 10#supplement (1989) 難病・難症の漢方治療（第2集）		¥4,290
	Vol. 11#supplement (1990) 難病・難症の漢方治療（第3集）		¥4,620
	Vol. 13#supplement (1992) 難病・難症の漢方治療（第5集）		¥5,720
	Vol. 14#supplement (1993) 多器官障害の漢方治療		¥4,950
	Vol. 15#supplement (1994) 難病・難症の漢方治療（第6集）		¥4,950
150	**General Thoracic and Cardiovascular Surgery**		
	Vol. 58#1-12 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 59#1-12,Supplement (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 60#1-12 (2012)	各号	¥3,300
151	**ジェネリック研究（日本ジェネリック医薬品学会）**		
	Vol. 1#2 (2007); 2#1,2 (2008); 3#1,2,増刊号 (2009-2010); 4#1 (2011)	各号	¥1,650
152	**言語（大修館書店）**		
	Vol. 1-30 (1972-2001) 各1-13号	各号	¥1,078
153	**言語聴覚研究（日本言語聴覚士協会）**		
	Vol. 16#1-4 (2019)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-4 (2020)	各号	¥2,200
	Vol. 18#1-2 (2021)	各号	¥2,200

154	**言語聴覚療法（日本言語療法士協会）**		
	Vol. 9#2 (1993)		¥3,300
	Vol. 10-15 (1994-2000) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 16#1-3 (2000-2002)	各号	¥3,300
155	**ゲノム医学（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 1#1-3 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 2#1-6 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1-4 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 4#2,3,5,6 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 5#1-4,6 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1,3 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 8#3 (2008)		¥2,200
	Vol. 9#1 (2009)		¥2,200
156	**Geographical Review of Japan English Edition（日本地理学会）**		
	Year 2004-2007 (2004-2007) 各1-2号		¥2,724
	Year 2008#1		¥2,724
157	**Geriatric Medicine 老年医学（ライフ・サイエンス）**		
	Vol. 45-46 (2007-2008) 各1-12号	各号	¥1,388
	Vol. 47-52 (2009-2014) 各1-12号	各号	¥1,760
158	**Gerontology New Horizon 老年学の総合学術誌**		
	Vol. 10#1,3,4; 11#1-3; 12#1-4; 13#1-3 (1998-2001)	各号	¥1,885
159	**技術史教育学会誌（技術史教育学会）**		
	Vol. 1#1 (2000)		¥3,300
	Vol. 7#1 (2005)		¥3,300
	学会創立十周年記念臨時増刊号1995-2005 (2006)		¥3,300
	Vol. 8#2 (2007)		¥3,300
	Vol. 9#1/2 (2008)		¥3,300
	Vol. 10#1/2 (2009)		¥3,300
	Vol. 11#1,2 (2009/2010)	各号	¥3,300
	Vol. 12#1,2 (2010/2011)	各号	¥3,300
	Vol. 13#1,2 (2011/2012)	各号	¥3,300
	Vol. 14#1,2; 15#1 (2012-2013)	各号	¥3,300
160	**技術士 PE IPEJ Journal（日本技術士会）**		
	No. 440-499 (2004-2008)	各号	¥1,100
161	**G. I. Research: Journal of Gastrointestinal Research（先端医学社）**		
	Vol. 9-17 (2000-2009) 各1-6号	各号	¥2,200
162	**GIS 理論と応用 Theory and Applications of GIS（地理情報システム学会）**		
	Vol. 12-19 (2004-2011) 各1-2号	各号	¥4,400
163	**ゴバルト ビドロー 人体解剖図譜 アムステルダム 1685年版**		
	Godefridi Bidloo, Medicinae Doctoris & Chirurgi, Anatomia Hvmani Corporis, Centum & quinque Tabvlis, Per artificiofiff. g. de Lairesse ad vivum delineatis, Demonstrata, Veterum Recentiorumque Inventis explicata plurimisque hactenus non detectis, Illvstrata 262 page with many illustration Amsterdam 1685 Bound Reprint Saikon Publishing Tokyo 1979		¥66,000

164	**廃棄物資源循環学会誌（廃棄物資源循環学会）**		
	Vol. 4#2-4 (1993)	各号	¥3,300
	Vol. 5#1-5 (1994)	各号	¥3,300
	Vol. 6-7 (1995-1996) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 8#1-7 (1997)	各号	¥3,300
	Vol. 9#1,3-6 (1998)	各号	¥3,300
	Vol. 10-20 (1999-2009) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 21#1-4 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 22#3,5,6 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 23#1-4 (2012)	各号	¥3,300
165	**箱庭療法学研究（日本箱庭療法学会）**		
	Vol. 5-7,9-11 (1992-1994,1996-1998) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 13#2 (2000)		¥2,200
166	**博物館学雑誌（全日本博物館学会）**		
	Vol. 31#2; 32#1 (2006)	各号	¥3,300
	Vol. 32#2; 33#1 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 33#2; 34#1 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 34#2; 35#1 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 35#2; 36#1 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 36#2; 37#1 (2011)	各号	¥3,300
167	**波紋 The Japanese Societyfor Neutron science（日本中性子科学会）**		
	Vol. 11#2,4 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 12#1,3 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 13#1 (2002)		¥2,200
	Vol. 14#4 (2004)		¥2,200
	Vol. 17#2,3,4 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 18-20 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥2,200
168	**HARVARD Business Review Diamond ハーバード・ビジネス・レビュー**		
	Vol. 34#1-9 (2009)	各号	¥2,096
169	**発明（発明協会）**		
	Vol. 71-104 (1974-2007) 各1-12	各号	¥943
170	**発達心理学研究（日本発達心理学会）**		
	Vol. 1#1,2 (1990/1991)	各号	¥3,300
	Vol. 4#2 (1993)		¥3,300
	Vol. 6-7 (1995-1996) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 8-18 (1997-2007) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 19-27 (2008-2016) 各1-4号	各号	¥3,300
171	**発達障害研究（日本発達障害学会）**		
	Vol. 1-14 (1979/1980-1992/1993) 各1-4号	各号	¥2,200
172	**Heart Nursing ハートナーシング（メディカ出版）**		
	Vol. 10#春季増刊 (1997)		¥4,400
	Vol. 13#12 (2000) 秋季増刊		¥4,400
	Vol. 16#12 (2003)		¥1,870
	Vol. 17#3,6-8; 18#1,4,7,9,12; 19#1,7 (2004-2006)	各号	¥1,980
173	**Heart View ハートビュー（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 11#7 (2007)		¥2,860
	Vol. 12#1-11,13 (2008)	各号	¥2,860
	Vol. 12#12 (2008)		¥5,280
	Vol. 13#1-6,8-11,13 (2009)	各号	¥2,640
174	**平和研究 Peace studies（日本平和学会）**		
	Vol. 19-23 (1995-1998) 各1号	各号	¥3,520

175	**皮膚病診療 Practical Dermatology (協和企画通信)**		
	Vol. 31#2-5,8-12 (2009)		¥2,530
	Vol. 31#Supplement (2009)		¥5,280
176	**皮膚科の臨床 (金原出版)**		
	Vol. 46#1,2,4-9,12,13 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 47#2,4-9,12 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 48#1,2,4-9,11-13 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 49#1,2,4-9,11-13 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 42#1; 43#1; 44#3; 45#3; 46#3; 47#3; 48#3; 49#3 (2000-2007)	各号	¥4,840
	Vol. 42#10; 43#11; 44#11; 45#11; 47#11 (2000-2005)	各号	¥7,480
	Vol. 50#1,2,4-10,12,13 (2008)	各号	¥2,970
	Vol. 50#3 (2008)		¥4,840
	Vol. 50#11 (2008)		¥7,700
	Vol. 51#1,2,4-10,12,13 (2009)	各号	¥2,970
	Vol. 51#3 (2009)		¥4,840
	Vol. 51#11 (2009)		¥7,920
	Vol. 52#1,2,4-10,12,13 (2010)	各号	¥2,970
	Vol. 52#3 (2010)		¥4,840
	Vol. 52#11 (2010)		¥7,920
	Vol. 53#1,2,4-10,12,13 (2011)	各号	¥2,970
	Vol. 53#3 (2011)		¥4,840
	Vol. 54#1 (2012)		¥2,970
	Vol. 54#11 (2012)		¥7,920
177	**皮膚の科学 (日本皮膚科学会大阪地方会・京滋地方会)**		
	Vol. 1#1-6,Supplement1,2 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 2#1-6,Supplement3 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1-6,Supplement4 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 4#2,4-6 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 5#1-6,Supplement6,7 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 6#1-6,Supplement9 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1-6,Supplement10 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 8#1-6,Supplement11,12 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 9#1-4,Supplement13-15 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 10#1-6,Supplement16 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 11#1-6,Supplement18,19 (2012)	各号	¥2,200
178	**東日本整形災害外科学会雑誌 (東日本整形災害外科学会)**		
	Vol. 1#1 (1989)		¥2,200
	Vol. 2#1-4 (1990)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1-3 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 4-25 (1992-2013) 各1-4号	各号	¥2,200
179	**光化学 Photochemistry**		
	Vol. 15-18 (1991-1994) 各1号	各号	¥2,200
	Vol. 30-33 (1999-2002) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 34-36 (2003-2005) 各1-2号	各号	¥2,200
180	**泌尿器ケア (メディカ出版)**		
	Vol. 5#2,3,5,6,7,8,10,11,13 (2000)	各号	¥1,980
	Vol. 6#1,3-8 (2001)	各号	¥1,980
	Vol. 10#8-10 (2005)	各号	¥1,980
	Vol. 11#1-12 (2006)	各号	¥1,980
	Vol. 12#2,3,4,8,9 (2007)	各号	¥1,980

181	**泌尿器外科 (医学図書出版)**		
	Vol. 18#1-7,9-12 (2005)	各号	¥2,970
	Vol. 19#1-8,10-12,臨時増刊号 (2006)	各号	¥2,970
	Vol. 15#8; 16#9; 17#8; 18#8; 19#9 (2002-2006)	各号	¥5,170
	Vol. 20#1-7,9-12,臨時増刊号 (2007)	各号	¥3,190
	Vol. 21#1-7,9-12 (2008)	各号	¥3,190
	Vol. 20#8; 21#8 (2007-2008)	各号	¥5,390
	Vol. 22#8 (2009)		¥5,390
182	**泌尿器科紀要 (泌尿器科紀要刊行会)**		
	Vol. 46-51 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 53-57 (2007-2011) 各1-12号	各号	¥2,200
183	**Hip Joint (日本股関節学会)**		
	Vol. 1-5,7,8 (1975-1982)	各巻	¥6,600
	Vol. 10/11 (1984/1985)		¥6,600
	Vol. 13-27,29-39 (1987-2013)	各巻	¥6,600
	Vol. 20 総索引Vol.1/20 (1994)		¥3,300
	Vol. 28#Supplement (2002)		¥3,300
	Vol. 29#Supplement (2003)		¥3,300
	Vol. 30#Supplement (2004)		¥3,300
	Vol. 34#Supplement (2008)		¥3,300
	Vol. 35#Supplement (2009)		¥3,300
	Vol. 36#Supplement (2010)		¥3,300
	Vol. 37#Supplement (2011)		¥3,300
	Vol. 39#Supplement (2013)		¥3,300
184	**膝 (日本膝関節学会)**		
	Vol. 31#1 (2006)		¥3,300
	Vol. 32-33 (2007-2008) 各1-2号	各号	¥3,300
185	**保安衛生 (保安衛生学会)**		
	Vol. 5#1-10,12 (1958)	各号	¥880
186	**法中毒 Japanese Journal of Forensic Toxicology (日本法中毒学会)**		
	法中毒学ニュース (日本法中毒研究会)		
	Vol. 1-7 (1983-1989)	各号	¥3,300
	法中毒 (日本法中毒研究会)		
	Vol. 8-23 (1990-2005) 各1-3号	各号	¥3,300
	※Vol. 24#1 (2006)→Forensic Toxicology (日本法中毒学会)		
187	**法学教室 (有斐閣)**		
	No. 1-231 (1980-1999)	各号	¥880
	No. 232-279 (2000-2003)	各号	¥1,100
	No. 280-303 (2004-2005)	各号	¥1,257
	No. 304-339 (2006-2008)	各号	¥1,362
	No. 340-399 (2009-2013)	各号	¥1,466
188	**包括システムによる日本ロールシャッハ学会誌 (包括システムによる日本ロールシャッハ学会)**		
	Vol. 6-11 (2002-2007) 各1号	各号	¥3,300

189 保健婦雑誌（医学書院）

Vol. 5,6,9-12 (1953-1956) 各1-6号	各号	¥1,375
Vol. 13-23 (1957-1967) 各1-12号	各号	¥1,375
Vol. 24#1-13 (1968)	各号	¥1,375
Vol. 25-44 (1969-1988) 各1-12号	各号	¥1,375
Vol. 45-48 (1989-1992) 各1-13号	各号	¥1,375
Vol. 49#1-10,12,13 (1993)	各号	¥1,375
Vol. 49#11 (1993) 公衆衛生はどう変わるか		¥1,980
Vol. 50#1-11,13 (1994)	各号	¥1,375
Vol. 50#12 (1994) これからの地域保健を語ろう		¥1,980
Vol. 51#1 (1995) 保健婦こそ施策への参画を		¥1,375
Vol. 51#2 (1995) 生活圏に注目しよう		¥1,375
Vol. 51#3 (1995) 母子保健の新たな風		¥1,375
Vol. 51#4 (1995) 精神障害者のリハビリテーション		¥1,375
Vol. 51#5 (1995) 保健活動とブレイクスルー		¥1,375
Vol. 51#6 (1995) 市町村長と語ろう		¥1,375
Vol. 51#7 (1995) 老人の虐待		¥1,375
Vol. 51#8 (1995) 保健所の役割		¥1,375
Vol. 51#9 (1995) 大規模災害対策における保健婦の役割		¥1,375
Vol. 51#10 (1995) 保健婦批判-あなたはどう思う		¥1,375
Vol. 51#11 (1995) 在宅介護支援センターに注目しよう		¥1,375
Vol. 51#12 (1995) 何のための健康教育なのか		¥1,375
Vol. 51#13 (1995) 保健所の機能強化を考える		¥1,980
Vol. 52#1 (1996) 福祉領域で保健婦がめざすもの		¥1,375
Vol. 52#2 (1996) 伝えたい情報・知りたい情報		¥1,375
Vol. 52#3 (1996) 保健婦活動研究論文集		¥1,375
Vol. 52#4 (1996) これからの実習とは		¥1,375
Vol. 52#5 (1996) 母子保健の明日		¥1,375
Vol. 52#6 (1996) ソーシャル・マーケティングと公衆衛生		¥1,375
Vol. 52#7 (1996) カリキュラム改正に伴う保健婦の基礎教育		¥1,375
Vol. 52#8 (1996) 災害時における公衆衛生		¥1,375
Vol. 52#9 (1996) いま,医療に何が起こっているのか		¥1,375
Vol. 52#10 (1996) 精神保健福祉法を生かす活動		¥1,375
Vol. 52#11 (1996) さまざまな人事交流		¥1,375
Vol. 52#12 (1996) 保健活動のパラダイム・シフト		¥1,980
Vol. 52#13 (1996) いま保健活動を伝えたい		¥1,375
Vol. 53#1 (1997) ノーマライゼーションのまちづくり		¥1,320
Vol. 53#2 (1997) 地域保健と地域医療		¥1,320
Vol. 53#3 (1997) 保健婦活動研究論文集		¥1,320
Vol. 53#4 (1997) 保健活動と公共性-公的責任の現代性		¥1,320
Vol. 53#5 (1997) 保健の視点を生かすまちづくり		¥1,320
Vol. 53#6 (1997) 新しい高齢者観と保健婦活動		¥1,320
Vol. 53#7 (1997) 働く人の健康と地域保健		¥1,320
Vol. 53#8 (1997) 職種を超えて職場全体のレベルアップ		¥1,320
Vol. 53#9 (1997) 揺れ動く社会規範と保健活動		¥1,320
Vol. 53#10 (1997) 地域リハビリテーション		¥1,320
Vol. 53#11 (1997) 保健婦活動とボランティア		¥1,320
Vol. 53#12 (1997) 増刊号 ケアマネジメント		¥1,980
Vol. 53#13 (1997) 感染症対策のパラダイムシフト		¥1,320
Vol. 54#1 (1998) 女性の健康と地域保健		¥1,320
Vol. 54#2 (1998) 評価について考える		¥1,320
Vol. 54#3 (1998) 地域における保健と医療の連携		¥1,320
Vol. 54#4 (1998) ヘルスプロモーションと口腔保健		¥1,320
Vol. 54#5 (1998) 大都市での活動を模索する		¥1,320
Vol. 54#6 (1998) 思春期の健康-現代の抱える心の問題		¥1,320
Vol. 54#7 (1998) 企画調整機能とは		¥1,320

Vol. 54#8 (1998) 児童虐待−保健婦の役割	¥1,320
Vol. 54#9 (1998)「成人病」から「生活習慣病」への転換をチャンスに	¥1,320
Vol. 54#10 (1998) 増刊号 保健婦にとっての研究	¥1,980
Vol. 54#11 (1998) 痴呆性老人対策を見直す	¥1,320
Vol. 54#12 (1998) 母子保健計画を活動にどう生かすか	¥1,320
Vol. 54#13 (1998) 健康な暮らしを守る住まい	¥1,320
Vol. 55#1 (1999) 移植医療と保険活動の接点を求めて	¥1,320
Vol. 55#2 (1999) 介護保険時代を前に、これからの地域保健..	¥1,320
Vol. 55#3 (1999) 保健婦活動論文集	¥1,320
Vol. 55#4 (1999) 健康文化都市づくり事業のいま	¥1,320
Vol. 55#5 (1999) 保健婦の教育を考える－基礎教育と現場を..	¥1,320
Vol. 55#6 (1999) いまどきの子供の健康－養護教諭を..	¥1,320
Vol. 55#7 (1999) NPOが住民参加を超えるとき	¥1,320
Vol. 55#8 (1999) 保健婦の地区活動を再考..－地区とはなにか	¥1,320
Vol. 55#9 (1999) 保健婦の地区活動を再考..－ニーズ把握と..	¥1,320
Vol. 55#10 (1999) 保健婦の地区活動を再考..－ニーズ把握事例	¥1,320
Vol. 55#11 (1999) 公衆衛生活動の過去・現在・未来	¥1,320
Vol. 55#12 (1999) 増刊号 地域保健活動の焦点－21世紀を..	¥1,980
Vol. 55#13 (1999)「民」の視点からの保健婦活動	¥1,320
Vol. 56#1 (2000) 気になる「閉じこもり」.. 改めて「老い」を考える	¥1,320
Vol. 56#2 (2000) ひきこもりとその対策	¥1,320
Vol. 56#3 (2000) 先輩からのメッセージ	¥1,320
Vol. 56#4 (2000) 大学における地域看護教育　臨地実習を中心	¥1,320
Vol. 56#5 (2000)「健康日本21」の地方計画をつくろう	¥1,320
Vol. 56#6 (2000) 今求められる結核対策（1）　知っておきたい..	¥1,320
Vol. 56#7 (2000) 今求められる結核対策（2）　事例集	¥1,320
Vol. 56#8 (2000) 精神保健福祉にどう取り組むか	¥1,320
Vol. 56#9 (2000) 他職種から見た保健婦の連携	¥1,320
Vol. 56#10 (2000) 介護保険が始まって	¥1,320
Vol. 56#11 (2000) 母子保健活動で「心の問題」を予防する	¥1,320
Vol. 56#12 (2000) 増刊号 今を読み解くキーワード集	¥1,980
Vol. 56#13 (2000) エンパワメントに着目した活動を	¥1,320
Vol. 57#1 (2001) 施策を生む研究と実践	¥1,320
Vol. 57#2 (2001) 女性の自己実現を支援する	¥1,320
Vol. 57#3 (2001) 個別健康教育を考える	¥1,320
Vol. 57#4 (2001) 保健所機能としての研修	¥1,320
Vol. 57#5 (2001) 住民とともにつくる「健康日本21」地方計画	¥1,320
Vol. 57#6 (2001) "介護予防"で保健活動を広げよう	¥1,320
Vol. 57#7 (2001)「地区組織への支援活動」の徹底理解を目指す	¥1,320
Vol. 57#8 (2001)「地区診断ができない」を克服する	¥1,320
Vol. 57#9 (2001) 思春期保健のこれからのカタチ	¥1,320
Vol. 57#10 (2001) 健康なまちづくりに「環境」は欠かせない	¥1,320
Vol. 57#11 (2001) 精神保健福祉業務の市町村移管−保健所と市町村の	¥1,320
Vol. 57#12 (2001) 増刊号 保健婦活動「私のコツ」	¥1,980
Vol. 57#13 (2001) 児童虐待に介入するための視野と技術	¥1,320
Vol. 58#1 (2002) 住民とともに進める母子保健計画の見直し	¥1,375
Vol. 58#2 (2002) 働く人を支える「地域」と「産業」の連携	¥1,375
Vol. 58#3 (2002) 法律がわかれば対策が見える	¥1,375
Vol. 58#4 (2002) 家族との出会い方	¥1,375
Vol. 58#5 (2002) 疫学なんてこわくない	¥1,375
Vol. 58#6 (2002)「健康マイノリティ」への支援	¥1,375
Vol. 58#7 (2002) 職場マネジメントの技術	¥1,375
Vol. 58#8 (2002)「グループづくり」から「地域づくり」へのプロセス	¥1,375
Vol. 58#9 (2002) 保健所とともにつくる「健康日本21」地方計画	¥1,375
Vol. 58#10 (2002) 新人とベテランの育ち合い	¥1,375
Vol. 58#11 (2002)「健康づくり」がパスポート	¥1,375
Vol. 58#12 (2002) 介護保険時代の難病対策	¥1,375

	Vol. 59#1 (2003) もう，家庭訪問で悩まない		¥1,375
	Vol. 59#2 (2003) コミュニケーション・スキルを磨こう!「社会心理」の窓から		¥1,375
	Vol. 59#3 (2003) 市町村合併はこうやる！		¥1,375
	Vol. 59#4 (2003) 健診の100％活用法―ヘルスプロモーション時代の基		¥1,375
	Vol. 59#5 (2003) 働く人のメンタルヘルス		¥1,375
	Vol. 59#6 (2003) わたしは住民のパートナー		¥1,375
	Vol. 59#7 (2003) 健康日本21地方計画にはユニーク事業がいっぱい！		¥1,375
	Vol. 59#8 (2003)『保健婦雑誌』52年の軌跡		¥1,375
	Vol. 59#9 (2003) HIV/AIDSとのつきあい方		¥1,375
	Vol. 59#10 (2003) 精神障害者への初期支援・緊急対応		¥1,375
	Vol. 59#11 (2003) 適用事例で学ぶ活動モデルの使い方		¥1,375
	Vol. 59#12 (2003) 保健師　基礎教育の現在		¥1,375
	※Vol. 60#1 (2004)→保健師ジャーナル		
190	**保健医療科学（国立保健医療科学院）**		
	Vol. 51-56 (2002-2007) 各1-4号	各号	¥3,300
191	**保健の科学（杏林書院）**		
	Vol. 9#6-12 (1967)	各号	¥1,100
	Vol. 10-28 (1968-1986) 各1-12号	各号	¥1,100
	Vol. 32#1-12 (1990)	各号	¥1,100
	Vol. 33#9 (1991)		¥1,100
	Vol. 34#1-2,4-8,10-11 (1992)	各号	¥1,100
	Vol. 35-39 (1993-1997) 各1-12号	各号	¥1,100

192　保健師ジャーナル（医学書院）

※Vol.1-59 (1945-2003)→保健婦雑誌

	Vol. 60#1 (2004) 高齢者の活動性を支える筋力トレーニング・転倒予防	¥1,375
	Vol. 60#2 (2004) 行政に働く保健師の腕の磨きどころと磨き方	¥1,375
	Vol. 60#3 (2004)「行政経営」で保健現場はどう変わる？ニュー・パブリッ	¥1,375
	Vol. 60#4 (2004) 災害・被害を受けた住民への支援―暮らしとコミュニテ	¥1,375
品切	Vol. 60#5 (2004) 乳幼児健診のキホンを確認！ 子どもの成長・発達と検	¥1,375
	Vol. 60#6 (2004) 更年期へのストラテジー―更年期を人生の素敵な季節	¥1,375
	Vol. 60#7 (2004) 特集　新たな職場へのチャレンジ―保健師の魅力・スキ	¥1,375
	Vol. 60#8 (2004) 懸賞論文結果発表―コミュニティ活性化に保健師の技	¥1,375
	Vol. 60#9 (2004) 高齢者へのリハビリを見直そう―もう「リハビリもどき」とは	¥1,375
	Vol. 60#10 (2004) 地域ネットワークはこう作る！　実践例に学ぶ連携のノ	¥1,375
	Vol. 60#11 (2004) プレゼンテーション上手になろう	¥1,375
	Vol. 60#12 (2004) 自殺予防―年間3万人のいのちを無為にしないため	¥1,375
	Vol. 61#1 (2005) 事例でみる保健師活動の評価	¥1,375
	Vol. 61#2 (2005) 明日の「地域精神保健モデル」を探せ	¥1,375
	Vol. 61#3 (2005) 連携相手としての産業保健を知る	¥1,375
	Vol. 61#4 (2005) 市町村と保健所 それぞれの事情	¥1,375
	Vol. 61#5 (2005) 保健師が育てる「地域防災力」	¥1,375
	Vol. 61#6 (2005) 健康日本21の中間評価―事例から学ぶ策定・評価の	¥1,375
	Vol. 61#7 (2005) 保健活動のためのコーチング入門―「どうせ言っても…	¥1,375
	Vol. 61#8 (2005) 障害のある子どもと家族への支援―保健師が知ってお	¥1,375
	Vol. 61#9 (2005) 周産期からの児童虐待予防	¥1,375
	Vol. 61#10 (2005) 保健事業の業務委託　委託の実際と適切な活用をめ	¥1,375
	Vol. 61#11 (2005) 事例で学ぶ「個別のマネジメント」／高齢者虐待には,	¥1,375
	Vol. 61#12 (2005)「ひきこもり」ケースには, こう対応する！―保健師がで	¥1,375
	Vol. 62#1 (2006) コミュニティエンパワメント地域住民が動き出す保健師	¥1,375
	Vol. 62#2 (2006) 予算獲得のテクニック調査研究や保健事業を成功させ	¥1,375
	Vol. 62#3 (2006) 保健活動の対象を捉えなおす	¥1,375
	Vol. 62#4 (2006) 学びの場に身を置いて,5年後の自分を描く!	¥1,375
	Vol. 62#5 (2006)「ライフスキル」は健康教育に使える！	¥1,375
	Vol. 62#6 (2006) 保健師ライセンスの現在	¥1,375
	Vol. 62#7 (2006) 市町村合併, その後　新自治体の挑戦	¥1,375
	Vol. 62#8 (2006) 医療費を理解する!保健活動の指標としての効用と留意	¥1,375
	Vol. 62#9 (2006)「この時代」の現任教育のすすめ	¥1,375
	Vol. 62#10 (2006) これからの生活習慣病対策	¥1,375
	Vol. 62#11 (2006) 動きだした「介護予防」戦略の現在	¥1,375
	Vol. 62#12 (2006) 国際化時代の保健活動を考える	¥1,375
	Vol. 63#1 (2007) 医療機関との連携 医師の本音を知り協働へいかす	¥1,375
	Vol. 63#2 (2007)「2007年問題」に向けた保健活動	¥1,375
	Vol. 63#3 (2007) 市町村の保健活動体制を見つめ直す／教室活動をリ	¥1,375
	Vol. 63#4 (2007) 保健師の視点で医療制度改革を読み解く	¥1,375
	Vol. 63#5 (2007) いま, 改めて「コミュニティ」を考える	¥1,375
	Vol. 63#6 (2007)「これからの保健指導」ここがポイント！	¥1,375
	Vol. 63#7 (2007)「健康日本21」のゴールへ向けて	¥1,375
	Vol. 63#8 (2007) 高齢者保健のパラダイムシフト	¥1,375
	Vol. 63#9 (2007) 母子保健活動におけるポピュレーションアプローチ	¥1,375
	Vol. 63#10 (2007)「頼れる先輩」になる 現任教育における指導者の役割	¥1,375
	Vol. 63#11 (2007) 男心をつかむ保健師活動 男性へのアプローチポイン	¥1,375
	Vol. 63#12 (2007) 住民が求める安全・安心のまちづくり セーフコミュニテ	¥1,375
	Vol. 64#1 (2008) ITを活用した保健活動	¥1,430
	Vol. 64#2 (2008) 苦情・トラブル対応の力を磨く 現場のジレンマと向き合	¥1,430
	Vol. 64#3 (2008) 在宅ターミナル 逝く人の支援を考える	¥1,430
	Vol. 64#4 (2008) あなたのまちに地震が来たら？2度の災害を乗り越えた	¥1,430
	Vol. 64#5 (2008) このままでいいのか臨地実習 現場の課題と、そこでの	¥1,430
	Vol. 64#6 (2008) 事例で学ぶ！ 調査・研究を保健師活動に活かすコツ	¥1,430
	Vol. 64#7 (2008) 産後うつを抱えた母親を死なせない　精神障害者ととも	¥1,430

	Vol. 64#8 (2008) 家庭訪問 現代の保健師活動における意味を問い直す	¥1,430
	Vol. 64#9 (2008) 認知症対策 保健師は何をすべきか	¥1,430
	Vol. 64#10 (2008) 発達障害 本当に求められる支援とは	¥1,430
	Vol. 64#11 (2008) 保健師活動と「食」	¥1,430
	Vol. 64#12 (2008) 対象者の「見極め」で健診実施率を上げる！	¥1,430
	Vol. 65#1 (2009) 地域包括支援センターと保健部門の連携 地域包括ケ	¥1,430
	Vol. 65#2 (2009) 保健師の「ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ」を考える「障害調整健康	¥1,430
品切	Vol. 65#3 (2009) 事前検討会 保健師にとっての意義を改めて考える	¥1,430
	Vol. 65#4 (2009)「相談対応」の技術 こんな相談にどう対応する？	¥1,430
	Vol. 65#5 (2009)「こんにちは赤ちゃん事業」を成功させるために 先進事	¥1,430
	Vol. 65#6 (2009) 人を育てる・育ちあい 保健師魂の継承	¥1,430
	Vol. 65#7 (2009) 保健師活動と「コミュニケーション」	¥1,430
	Vol. 65#8 (2009) 保健師を成長させたターニングポイント	¥1,430
	Vol. 65#9 (2009) 待ったなしの感染症対策	¥1,430
	Vol. 65#10 (2009) 地区活動のあり方を新たな視点で	¥1,430
	Vol. 65#11 (2009) 地域に暮らすHIV陽性者の療養支援	¥1,430
	Vol. 65#12 (2009) 心身障害児者の生活を支える地域の役割	¥1,430
	Vol. 66#1 (2010) 妊娠期から産後まで，地域でつなぐ母子の支援	¥1,430
	Vol. 66#2 (2010) 復職支援 メンタルヘルス対策における産業保健師の	¥1,430
	Vol. 66#3 (2010) 女性の健康新時代 心と社会に注目して「地域づくり」	¥1,430
	Vol. 66#4 (2010) 特定健診・特定保健指導の3年目を迎えて―得たもの，	¥1,430
	Vol. 66#5 (2010) 孤立させない自殺予防対策	¥1,430
	Vol. 66#6 (2010) 地区活動を生きいきと―協働の豊かさを実感する保健	¥1,430
	Vol. 66#7 (2010) 現場を支える保健師の「わざ」	¥1,430
	Vol. 66#8 (2010) 市町村合併で変化した保健師の思いと活動	¥1,430
	Vol. 66#9 (2010) 保健師の採用と就職を考える	¥1,430
	Vol. 66#10 (2010) 弱者への暴力にどう挑む？	¥1,430
	Vol. 66#11 (2010) 保健師の仕事を外から見ると	¥1,430
	Vol. 66#12 (2010) 保険事業の保険サービス化と公的責任	¥1,430
	Vol. 67#1 (2011) 動き出した保健師の人材育成―専門性を育てる体制	¥1,430
	Vol. 67#2 (2011) ソーシャル・キャピタル―保健活動へのヒント	¥1,430
	Vol. 67#3 (2011) 健康危機管理における保健師の役割	¥1,430
	Vol. 67#4 (2011) 保健師はどこまで入れるか	¥1,430
	Vol. 67#5 (2011) たばこ対策の今	¥1,430
	Vol. 67#6 (2011) 管理的立場にある保健師の役割	¥1,430
	Vol. 67#7 (2011) 睡眠公衆衛生と保健師―眠れていますか？の一言か	¥1,430
	Vol. 67#8 (2011) 介護予防を地域づくり・まちづくりの視点で	¥1,430
	Vol. 67#9 (2011) 初動―東日本大震災の被災地支援	¥1,430
	Vol. 67#10 (2011) 保健師の分散配置をどう活かす？	¥1,430
	Vol. 67#11 (2011) 危機介入事例における人権保護	¥1,430
	Vol. 67#12 (2011) 予防接種のいま	¥1,430
	Vol. 68#1 (2012) 保健師「魂」が熱くなる瞬間	¥1,430
	Vol. 68#2 (2012) 特定健診・特定保健指導の到達点	¥1,430
	Vol. 68#3 (2012) 東日本大震災から1年 保健師が受け止めたもの	¥1,430
	Vol. 68#4 (2012) 精神障害者の地域移行からアウトリーチまで	¥1,430
	Vol. 68#5 (2012) PDCAサイクルを回そう！	¥1,430
	Vol. 68#6 (2012) 健康増進計画の評価と「その次」次期計画に向けて何	¥1,430
品切	Vol. 68#7 (2012)「あきらめる」「もえつきる」その前に ジレンマから学ぶ保	¥1,430
	Vol. 68#8 (2012)「生活習慣病」から「生活環境病」へ	¥1,430
	Vol. 68#9 (2012) 地域への愛着を育むために「知らないまち」に住む人	¥1,430
	Vol. 68#10 (2012) 災害時活動マニュアルをどうする?	¥1,430
	Vol. 68#11 (2012) 親子保健・母子保健の重点課題	¥1,430
	Vol. 68#12 (2012) がん検診の新たな取り組み	¥1,430

	Vol. 69#1 (2013) プロとして成長するための振り返り	¥1,430
	Vol. 69#2 (2013) 地区診断から始まる,見える保健師活動	¥1,430
	Vol. 69#3 (2013) 虐待対応も地域づくりの視点で―高齢者虐待・障害者	¥1,430
	Vol. 69#4 (2013) 住民の底力（ソーシャル・キャピタル）を支援する保健師	¥1,430
	Vol. 69#5 (2013) こうすれば伝わる! サービスとしての「説明」	¥1,430
	Vol. 69#6 (2013) 啓発活動や健康教室にも役立つ! 熱中症対策2013	¥1,430
	Vol. 69#7 (2013)「地域における保健師の保健活動に関する指針」見直	¥1,430
	Vol. 69#8 (2013) 新たな難病対策を求めて	¥1,430
	Vol. 69#9 (2013) 過渡期にある保健師教育	¥1,430
	Vol. 69#10 (2013) 母子保健のバージョンアップ	¥1,430
	Vol. 69#11 (2013) わがまちの認知症対策	¥1,430
	Vol. 69#12 (2013) 発達障害児支援の「みる」「つなぐ」「動かす」	¥1,430
	Vol. 70#1 (2014) 中堅期の育成と成長	¥1,540
	Vol. 70#2 (2014) 予防接種新時代　保健師に期待される役割とは	¥1,540
	Vol. 70#3 (2014) 東日本大震災から3年　福島からの報告	¥1,540
	Vol. 70#4 (2014) 地域で支える精神障害者の暮らし　法改正と新たな指	¥1,540
	Vol. 70#5 (2014) 精神面が気になる母親への子育て支援	¥1,540
	Vol. 70#6 (2014) 統括保健師はなぜ必要か　市町村での役割を中心に	¥1,540
	Vol. 70#7 (2014) 日常業務の中でデータを活かす	¥1,540
	Vol. 70#8 (2014) 子どもとメディア　インターネット，ソーシャルメディア対	¥1,540
	Vol. 70#9 (2014) 平時からの災害時要援護者支援	¥1,540
	Vol. 70#10 (2014) 保健師を成長させる家庭訪問	¥1,540
	Vol. 70#11 (2014) 地域包括ケア 見えてきた保健師の関わり	¥1,540
	Vol. 70#12 (2014) 不当な暴言・暴力から組織的に身を守る	¥1,540
	Vol. 71#1 (2015) 最新の感染症対策	¥1,540
	Vol. 71#2 (2015) 新たな段階を迎えた　歯科口腔保健	¥1,540
	Vol. 71#3 (2015) アルコールと健康障害	¥1,540
品切	Vol. 71#4 (2015) 地域診断のチカラをつける　基礎教育から現任教育へ	¥1,540
	Vol. 71#5 (2015) 日常の危険を防ぐ　保健師活動に活かす「危険学」	¥1,540
	Vol. 71#6 (2015) 健康日本21（第2次）の初期評価	¥1,540
	Vol. 71#7 (2015) 先進事例に学ぶ　在宅医療・介護連携推進事業	¥1,540
	Vol. 71#8 (2015) がんとともに生きる社会ー働き盛り世代への支援を中心	¥1,540
	Vol. 71#9 (2015)「健康無関心層」に向けた健康づくり あの人を振り向か	¥1,540
	Vol. 71#10 (2015) データヘルス計画をどう活かすか	¥1,540
	Vol. 71#11 (2015) この時代の「地区担当制」を考える	¥1,540
	Vol. 71#12 (2015) 認知症対策の成果と未来	¥1,540
	Vol. 72#1 (2016) 地域でつくる包括的母子保健の未来ー“切れ目ない”妊	¥1,540
	Vol. 72#2 (2016) 生活困窮者・生活保護受給者の健康支援	¥1,540
	Vol. 72#3 (2016) 東日本大震災から5年ー被災地のいまと，これから	¥1,540
	Vol. 72#4 (2016) コホート研究と保健師活動	¥1,540
	Vol. 72#5 (2016) 保健師がつなぐ地域医療ー「地域医療構想」を見据え	¥1,540
	Vol. 72#6 (2016) 保健師実習の今	¥1,540
	Vol. 72#7 (2016) 保健指導力を上げるー対象者に寄り添う支援をめざして	¥1,540
	Vol. 72#8 (2016) いま一度、健康教育を考えるーPDCAを回していますか	¥1,540
	Vol. 72#9 (2016) 計画づくりと評価ー保健師も積極的に関わろう！	¥1,540
	Vol. 72#10 (2016) 保健師人材育成の方向性ー自治体保健師のキャリア	¥1,540
	Vol. 72#11 (2016) これからの結核対策ー地域連携による支援をめざして	¥1,540
	Vol. 72#12 (2016) 統括保健師ーめざす姿と課題	¥1,540
	Vol. 73#1 (2017)　糖尿病の重症化予防ー先行自治体の取り組みから学	¥1,540
	Vol. 73#2 (2017) 熊本地震に学ぶ、支援と受援の体制づくり	¥1,540
品切	Vol. 73#3 (2017)「見える化」時代の地域診断ーデータとツールを上手に	¥1,540
	Vol. 73#4 (2017) 母子の包括的支援ー子育て世代包括支援センターの	¥1,540
	Vol. 73#5 (2017) 男性の独居高齢者を地域でどう支えるかー社会的孤立	¥1,540
	Vol. 73#6 (2017) これからの肝炎対策	¥1,540
	Vol. 73#7 (2017) 住民の声をどう施策へつなげるかー質的データを活用	¥1,540
	Vol. 73#8 (2017) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム	¥1,540
	Vol. 73#9 (2017) 研究で実践を見つめ直そうー倫理的視点を踏まえ，業	¥1,540

	Vol. 73#10 (2017)「65歳の壁」を越える－障害福祉サービスと介護福祉		¥1,540
	Vol. 73#11 (2017) 生活習慣病の受診を促す保健指導－「受療行動促進		¥1,540
	Vol. 73#12 (2017) これからのがん対策－保健師に求められる役割		¥1,540
	Vol. 74#1 (2018) 保健師の継続教育を考える－大学院での学びは現場		¥1,540
	Vol. 74#2 (2018) 地域で予防するフレイル		¥1,540
	Vol. 74#3 (2018) 中長期的視点から災害時保健活動を再考する－東日		¥1,540
	Vol. 74#4 (2018) データヘルス新時代		¥1,540
	Vol. 74#5 (2018)「寄りあいワークショップ」の活用－住民主体のコミュニ		¥1,540
	Vol. 74#6 (2018) 本場フィンランドのネウボラから学ぶ－これからの子育		¥1,540
	Vol. 74#7 (2018) セルフ・ネグレクト事例の押さえるべきポイント－早期発		¥1,540
	Vol. 74#8 (2018) 多職種連携で取り組む　児童虐待防止対策		¥1,540
	Vol. 74#9 (2018) 現代の家族の理解と支援		¥1,540
	Vol. 74#10 (2018) 保健師がつくる地域共生社会		¥1,540
	Vol. 74#11 (2018) 地域包括ケアにおける難病保健活動		¥1,540
	Vol. 74#12 (2018) 災害と地域保健 科学的危機管理の視点から		¥1,540
	Vol. 75#1 (2019) 外国人への健康支援の最前線		¥1,650
	Vol. 75#2 (2019) 受動喫煙対策の実践 2020改正法施行に向けて		¥1,650
	Vol. 75#3 (2019) 市町村保健師の人材育成　現場が求める支援とは		¥1,650
	Vol. 75#4 (2019) 親として育つことを支える 育児不安・困難感解消のた		¥1,650
	Vol. 75#5 (2019) 令和時代の保健師キャリアを目指して		¥1,650
	Vol. 75#6 (2019)「ひきこもり」問題のいま 長期高年齢化に対応する		¥1,650
	Vol. 75#7 (2019) 知ろう！使おう！健康寿命　健康日本21（第二次）中間		¥1,650
	Vol. 75#8 (2019) エコチル調査を母子保健活動に活かそう		¥1,650
	Vol. 75#9 (2019) 若年性認知症者と家族の理解と支援		¥1,650
	Vol. 75#10 (2019) 団地x高齢化　急速な地域の変化に対応する		¥1,650
	Vol. 75#11 (2019) 中核市の保健活動から考える　より効果的な地域活動		¥1,650
	Vol. 75#12 (2019) 災害対策・対応の最前線を探る　受援に必要な視点と		¥1,650
	Vol. 76#1 (2020年1月) 健康づくり戦略を磨く　誰も置いてきぼりにしない		¥1,650
	Vol. 76#2 (2020年2月) 地域で取り組む「依存症対策」 アルコール・薬物		¥1,650
	Vol. 76#3 (2020年3月) 外国人の健康支援とコミュニケーション		¥1,650
	Vol. 76#4 (2020年4月) 2020押さえておきたい　母子保健のポイント		¥1,650
	Vol. 76#5 (2020年5月) 母子保健の危機　援助職としての源流		¥1,650
	Vol. 76#6 (2020年6月) 進むデータの利活用　現場の保健師の役割と機		¥1,650
	Vol. 76#7 (2020年7月) LGBTとは　多様な性と向き合うために理解してお		¥1,650
	Vol. 76#8 (2020年8月) 新型コロナウイルス感染症　保健師の活動を記		¥1,650
	Vol. 76#9 (2020年9月)「育てる」から切れ目なく「育つ」環境づくりへ　実		¥1,650
	Vol. 76#10 (2020年10月) 措置入院者等の退院後支援		¥1,650
	Vol. 76#11 (2020年11月) 統括保健師　憧れのポストになるために		¥1,650
	Vol. 76#12 (2020年12月) 知っておきたい「感染症」の基礎知識		¥1,650
	Vol. 77#1 (2021年1月) 差別と偏見と公衆衛生		¥1,650
	Vol. 77#2 (2021年2月) これからの産後ケア　法改正後の保健師の役割		¥1,650
	Vol. 77#3 (2021年3月)「自殺対策」のいま		¥1,650
	Vol. 77#4 (2021年4月) 全世代型地域包括ケア　縦割り組織をつなぐコツ		¥1,650
	Vol. 77#5 (2021年5月) 連携・協働する関係者を知る　保健師に期待され		¥1,650
	Vol. 77#6 (2021年6月) COVID-19対策における保健所保健師の活動		¥1,650
	Vol. 77#7 (2021年7月) DVと子ども虐待		¥1,650
	Vol. 77#8 (2021年8月) 保健師活動の基盤となる「信頼」を得る		¥1,650
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
193	**保育と保健 Japanese Journal of Well-being of Nursery-schoolers（日本保育園保健協議会）**		
	Vol. 9#2 (2003)		¥2,200
	Vol. 12#2 (2006)		¥2,200
	Vol. 13#1,2 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 14#1 (2008)		¥2,200

194	**北海道医療大学看護福祉学部学会誌**		
	Vol. 1-5,7 (2005-2011) 各1号	各号	¥3,300
195	**北海道脳神経疾患研究所医誌 Journal of Hokkaido Brain Research Foundation**		
	Vol. 8/9#1 (1997)		¥5,500
	Vol. 10#1 (1999)		¥5,500
	Vol. 11/12#1 (1999)		¥5,500
	Vol. 13-19 (2002-2008) 各1号	各号	¥5,500
196	**北海道プライマリ・ケア研究会会報 (北海道プライマリ・ケア研究会)**		
	No. 18-25 (2000-2007)	各号	¥2,200
	No. 28 (2010)		¥2,200
197	**北海道理学療法 The Hokkaido Journal of Physical Therapy (北海道理学療法士会)**		
	Vol. 19-21 (2002-2004)	各巻	¥1,650
198	**北海道整形災害外科学会雑誌 (北海道整形外科学会)**		
	Vol. 48#1,2 (2006-2007)	各号	¥4,400
	Vol. 49#1,2 (2007-2008)	各号	¥4,400
	Vol. 50#1 (2008)		¥4,400
199	**ホメオパシー医学 (日本ホメオパシー医学会)**		
	Vol. 1-3 (2008-2010)	各巻	¥3,300

200　訪問看護と介護（医学書院）

Vol. 1#1 (1996) 訪問看護は看護を変える	¥1,100
Vol. 1#2 (1996) 24時間対応の模索と成果	¥1,100
Vol. 1#3 (1996) 公的介護保険と訪問介護(後編)	¥1,100
Vol. 1#4 (1996) 事例検討のススメ	¥1,100
Vol. 1#5 (1996) 利用者が望むケアマネジメントとは	¥1,100
Vol. 1#6 (1996) 在宅ホスピスと訪問看護	¥1,100
Vol. 2#1 (1997) 介護保険が導入されると訪問看護と..	¥1,100
Vol. 2#2 (1997) 訪問看護の質を考える	¥1,100
Vol. 2#3 (1997) 在宅看護論臨地実習にどう対応するか	¥1,100
Vol. 2#4 (1997) 高齢者のアセスメントツールを整理する	¥1,100
Vol. 2#5 (1997) 訪問看護とリハビリテーション	¥1,100
Vol. 2#6 (1997) 訪問看護ステーションにおける情報化戦略	¥1,100
Vol. 2#7 (1997) 訪問看護・介護と法律	¥1,100
Vol. 2#8 (1997) 要介護者の評価技法をめぐって	¥1,100
Vol. 2#9 (1997) 利用者の声を聞く	¥1,100
Vol. 2#10 (1997) ケアマネジメントの理論と実際	¥1,100
Vol. 2#11 (1997) 痴呆ケアを考える	¥1,100
Vol. 2#12 (1997) 対人援助に困難を感じるとき	¥1,100
Vol. 3#1 (1998) これからの在宅介護支援センター	¥1,210
Vol. 3#2 (1998) 訪問看護婦に何が求められているか	¥1,210
Vol. 3#3 (1998) 感染症の予防と管理	¥1,210
Vol. 3#4 (1998) 第2回要介護認定ﾓﾃﾞﾙ事業体験速報	¥1,210
Vol. 3#5 (1998) 利用者に満足される「看取りのケア」	¥1,210
Vol. 3#6 (1998) 在宅での排泄ケアを見直す	¥1,210
Vol. 3#7 (1998)「対人援助困難」を克服する	¥1,210
Vol. 3#8 (1998) ちょっと気になる関連他職種	¥1,210
Vol. 3#9 (1998) 病院と連携する	¥1,210
Vol. 3#10 (1998) 訪問看護婦のアセスメント能力の向上を目指して	¥1,210
Vol. 3#11 (1998) 電話による健康指導と訪問看護	¥1,210
Vol. 3#12 (1998) 介護保険制度導入に向けての課題	¥1,210
Vol. 4#1 (1999) 高齢の糖尿病患者への訪問看護	¥1,210
Vol. 4#2 (1999) 訪問看護のスキルアップ情報	¥1,210
Vol. 4#3 (1999) 抑うつのある高齢者への訪問看護	¥1,210
Vol. 4#4 (1999) 看取りのケアのノウハウ	¥1,210
Vol. 4#5 (1999) 新任職員の採用	¥1,210
Vol. 4#6 (1999) 新人研修・現任教育をどうするか	¥1,210
Vol. 4#7 (1999) 在宅医療にふさわしい「物」と「技術」	¥1,210
Vol. 4#8 (1999) 訪問看護と倫理	¥1,210
Vol. 4#9 (1999) 日々の「記録」を再考する	¥1,210
Vol. 4#10 (1999) PTと連携する	¥1,210
Vol. 4#11 (1999) 訪問看護と栄養管理①	¥1,210
Vol. 4#12 (1999) 訪問看護と栄養管理②	¥1,210
Vol. 5#1 (2000) 訪問看護ステーションを核にした在宅ケアサービス	¥1,210
Vol. 5#2 (2000) 介護保険がやってくる！　訪問看護ステーションの	¥1,210
Vol. 5#3 (2000)「契約」 その考え方と結び方	¥1,210
Vol. 5#4 (2000) その実践に学ぶ「ヘルパーの質の確保」	¥1,210
Vol. 5#5 (2000)「給付管理業務」 介護支援専門員の役割を..	¥1,210
Vol. 5#6 (2000) 新たな課題「ケアマネジャーとの連携」	¥1,210
Vol. 5#7 (2000) 在宅における人工呼吸器の管理について	¥1,210
Vol. 5#8 (2000) 重すぎませんか？　ケアマネの負担　事務職..	¥1,210
Vol. 5#9 (2000) 介護保険で何がどう変わったかー現状の問題を	¥1,210
Vol. 5#10 (2000) 事業者地図は変わるのか	¥1,210
Vol. 5#11 (2000) 短期入所と通所サービスをめぐる問題	¥1,210
Vol. 5#12 (2000) 終末期にできること	¥1,210
Vol. 6#1 (2001) 介護保険をめぐる地域のネットワークとルールづくり	¥1,320
Vol. 6#2 (2001) 現任教育に本腰を入れる	¥1,320

Vol. 6#3 (2001) 契約になじまないケース あなたならどうする？	¥1,320
Vol. 6#4 (2001) 在宅ケアも”ちょっと”IT-電子機器活用のコスト＆ベネフ	¥1,320
Vol. 6#5 (2001) 高齢者虐待への対応を学ぶ	¥1,320
Vol. 6#6 (2001) 在宅リスクマネジメント	¥1,320
Vol. 6#7 (2001) 介護保険外サービスに注目	¥1,320
Vol. 6#8 (2001) 在宅看護論臨地実習の現状と課題	¥1,320
Vol. 6#9 (2001) 在宅ケアにおける感染症対策-押さえておきたいポイント	¥1,320
Vol. 6#10 (2001) 在宅での急変とその対応	¥1,320
Vol. 6#11 (2001) いま求められる在宅栄養管理とは	¥1,320
Vol. 6#12 (2001) 居宅介護支援事業者の現在	¥1,320
Vol. 7#1 (2002) 精神訪問看護の基本を学ぶ	¥1,320
Vol. 7#2 (2002) 慢性呼吸不全を考える	¥1,320
Vol. 7#3 (2002) 在宅ケアにおける医療廃棄物問題	¥1,320
Vol. 7#4 (2002) 連携と利用者を意識した「記録」	¥1,320
Vol. 7#5 (2002) 痴呆ケアについて知っておきたいこと	¥1,320
Vol. 7#6 (2002) ''家族を支援する''ということ	¥1,320
Vol. 7#7 (2002) 訪問看護師の住環境整備支援	¥1,320
Vol. 7#8 (2002) 褥瘡ケアUp to Date [1]	¥1,320
Vol. 7#9 (2002) 褥瘡ケアUp to Date[2]在宅に焦点を合わせて	¥1,320
Vol. 7#10 (2002) 訪問看護・居宅介護支援事業の採算を問う	¥1,320
Vol. 7#11 (2002) 在宅における効果的な口腔ケアを目指して	¥1,320
Vol. 7#12 (2002) 介護保険制度施行3年目を振り返る	¥1,320
Vol. 8#1 (2003) 訪問看護への応援歌	¥1,320
Vol. 8#2 (2003) サービス評価への取り組み	¥1,320
Vol. 8#3 (2003) 入退院をめぐる病院との連携	¥1,320
Vol. 8#4 (2003) 在宅神経難病療養者の意思決定を支える	¥1,320
Vol. 8#5 (2003) 小児訪問看護の基本を学ぶ	¥1,320
Vol. 8#6 (2003) ターミナルケア再考	¥1,320
Vol. 8#7 (2003) ステーションを活性化させる管理者とは	¥1,320
Vol. 8#8 (2003) 在宅要介護高齢者の排尿管理	¥1,320
Vol. 8#9 (2003) 進化する入浴ケア[1] 安心で安全な介助とは？	¥1,320
Vol. 8#10 (2003) 進化する入浴ケア[2]在宅でのくふう	¥1,320
Vol. 8#11 (2003) こんな生き方もある 地域に根づくナースたち	¥1,320
Vol. 8#12 (2003) 2003年を振り返って 在宅ケアサービスの現状と展望	¥1,320
Vol. 9#1 (2004) マンネリ化しないための継続教育	¥1,320
Vol. 9#2 (2004) 訪問看護の新たな展望	¥1,320
Vol. 9#3 (2004) 在宅リハと訪問看護の連携を探る	¥1,320
Vol. 9#4 (2004) 在宅ALS療養者ケアのコツを知る	¥1,320
Vol. 9#5 (2004) 介護保険の苦情相談－どんな苦情があり、どのように対	¥1,320
Vol. 9#6 (2004) 在宅高齢者の皮膚トラブルへの対応	¥1,320
Vol. 9#7 (2004) 介護支援専門員の守備範囲－困難事例への対応を考	¥1,320
Vol. 9#8 (2004) 在宅で必要な薬の知識と服薬のコツ	¥1,320
Vol. 9#9 (2004) 訪問介護に役立つコミュニケーション技術	¥1,320
Vol. 9#10 (2004) 精神訪問看護のコツを学ぶ	¥1,320
Vol. 9#11 (2004) 特集1精神訪問看護のコツを学ぶ・2 特集2	¥1,320
Vol. 9#12 (2004) 在宅をめぐる「食」の話題	¥1,320
Vol. 10#1 (2005) 中と外から見た訪問看護の魅力	¥1,320
Vol. 10#2 (2005) 災害時，在宅療養者をどう守るのか	¥1,320
Vol. 10#3 (2005) 特集1小児訪問看護への期待/特集2災害時，在宅療	¥1,320
Vol. 10#4 (2005) 医療依存度の低い高齢者への訪問看護	¥1,320
Vol. 10#5 (2005) 言語障害をもつ人とのコミュニケーション	¥1,320
Vol. 10#6 (2005) 認知症の人と家族をどうサポートするのか	¥1,320
Vol. 10#7 (2005) 個人情報保護法への対応	¥1,320
Vol. 10#8 (2005) 訪問ナースのための皮膚アセスメント入門	¥1,320
Vol. 10#9 (2005)「痰の吸引」を考える	¥1,320
Vol. 10#10 (2005)「介護サービス情報の公表」制度の実施を前に	¥1,320
Vol. 10#11 (2005) 在宅ターミナルケアと看護の役割	¥1,320

	Vol. 10#12 (2005) 在宅からみた地域連携とパス	¥1,320
	Vol. 11#1 (2006) 改正介護保険と訪問看護事業	¥1,320
	Vol. 11#2 (2006) 小児の在宅生活を支援する	¥1,320
	Vol. 11#3 (2006) 在宅における褥瘡ケア	¥1,320
	Vol. 11#4 (2006) 排泄ケアを見直す	¥1,320
	Vol. 11#5 (2006) 歩くこと，足元を確かなものに	¥1,320
	Vol. 11#6 (2006) 在宅療養の継続と訪問看護の役割	¥1,320
	Vol. 11#7 (2006) 在宅医療への追い風に乗る-訪問看護の新たな事業展	¥1,320
	Vol. 11#8 (2006) 療養通所介護を始める	¥1,320
	Vol. 11#9 (2006) 口腔ケアに目を向ける	¥1,320
	Vol. 11#10 (2006) 生きることを支えるターミナルケア	¥1,320
	Vol. 11#11 (2006) 在宅経腸栄養－PEG利用者の支援	¥1,320
	Vol. 11#12 (2006) 職業としてのケアマネジャー	¥1,320
	Vol. 12#1 (2007) 認知症を正しく理解する	¥1,320
	Vol. 12#2 (2007) 長時間滞在型訪問看護の可能性	¥1,320
	Vol. 12#3 (2007) アロマセラピーを取り入れた看護実践	¥1,320
	Vol. 12#4 (2007) 改正介護保険から一年	¥1,320
	Vol. 12#5 (2007) 訪問看護の仕事の魅力を伝えよう	¥1,320
	Vol. 12#6 (2007) 訪問看護に必要な感染管理を学ぶ	¥1,320
	Vol. 12#7 (2007) 介護職と医療職の連携「医行為外」問題から考える	¥1,320
	Vol. 12#8 (2007) 高齢者虐待を考える	¥1,320
	Vol. 12#9 (2007) 認知症の人のターミナルケア	¥1,320
	Vol. 12#10 (2007) 糖尿病の療養支援 知っておきたい最新知識	¥1,320
	Vol. 12#11 (2007) 糖尿病の自己管理をサポートする	¥1,320
	Vol. 12#12 (2007) 医療と福祉はこう変わった	¥1,320
	Vol. 13#1 (2008) これからの「在宅」を担う人を育てる	¥1,320
	Vol. 13#2 (2008) 収支からマネジメントを読む	¥1,320
	Vol. 13#3 (2008) 自己決定を支える排泄ケア 相談員育成による取り組み	¥1,320
	Vol. 13#4 (2008) 病棟から在宅へのスムーズな移行	¥1,320
	Vol. 13#5 (2008) HIV陽性者を受け入れる	¥1,320
	Vol. 13#6 (2008) 2008年度診療報酬改定を読む 医療福祉の倫理を考え	¥1,320
	Vol. 13#7 (2008) 医行為外とされるケアの実践	¥1,320
	Vol. 13#8 (2008) 住宅で褥瘡をつくらない	¥1,320
	Vol. 13#9 (2008) 成人の「発達障害」を理解する	¥1,320
	Vol. 13#10 (2008) 訪問看護・介護のこれからの制度設計	¥1,320
	Vol. 13#11 (2008) がんターミナルにおけるQOLの維持・向上	¥1,320
	Vol. 13#12 (2008) ネットワークが地域を支える	¥1,320
品切	Vol. 14#1 (2009) 精神科訪問看護の実際	¥1,320
	Vol. 14#2 (2009) 小児訪問看護の可能性	¥1,320
	Vol. 14#3 (2009) あたたかな認知症ケア	¥1,320
	Vol. 14#4 (2009) 在宅での薬の服用・管理を考える	¥1,320
	Vol. 14#5 (2009) 命を伝える	¥1,320
	Vol. 14#6 (2009) 地域にもっと訪問リハを！	¥1,320
	Vol. 14#7 (2009) 認定看護師教育課程「訪問看護」のすべて	¥1,320
	Vol. 14#8 (2009) 在宅NPPVを知る	¥1,320
	Vol. 14#9 (2009) 訪問入浴サービスへの思い	¥1,320
	Vol. 14#10 (2009) 療養通所介護を切り拓く	¥1,320
	Vol. 14#11 (2009) 口腔ケア 在宅でここまでできる	¥1,320
	Vol. 14#12 (2009) スタッフを定着させるために	¥1,320
	Vol. 15#1 (2010) 豊かな在宅ケアの実現に向けて いま，できることを！	¥1,320
	Vol. 15#2 (2010) 廃用症候群を予防する	¥1,320
	Vol. 15#3 (2010) 退院調整のパートナーシップをどう構築するか	¥1,320
	Vol. 15#4 (2010) 多様なニーズに応える訪問看護	¥1,320
	Vol. 15#5 (2010) 胃ろうを選ぶことの意味	¥1,320
	Vol. 15#6 (2010) 2010年診療報酬改定を理解する	¥1,320
	Vol. 15#7 (2010) たんの吸引、医行為をめぐる連携	¥1,320
	Vol. 15#8 (2010) 小児訪問看護に取り組もう	¥1,320

	Vol. 15#9 (2010) 訪問看護推進への新しいステップ	¥1,320
	Vol. 15#10 (2010) 在宅ケアで必要な感染対策	¥1,320
	Vol. 15#11 (2010) ホスピス発祥のイギリスから日本へ　在宅・地域緩和ケ	¥1,320
	Vol. 15#12 (2010) ICF(国際生活機能分類)を訪問看護に活かす	¥1,320
	Vol. 16#1 (2011) “はじめて”の在宅緩和ケア　準備編	¥1,320
	Vol. 16#2 (2011) ”はじめて”の在宅緩和ケア　実践編	¥1,320
	Vol. 16#3 (2011) 在宅だからこそ！のラップ療法	¥1,320
	Vol. 16#4 (2011) 私を変えた！認定看護師教育課程	¥1,320
	Vol. 16#5 (2011) 特集　自律しながら支え合う！私たちのスタッフ教育	¥1,320
	Vol. 16#6 (2011) 訪問歯科と連携しよう！高齢者の歯と口腔をケアする	¥1,320
	Vol. 16#7 (2011) 2012年診療報酬・介護報酬同時改定に向けて	¥1,320
	Vol. 16#8 (2011) つながる、拡げる、ネットワークする これからのステーシ	¥1,320
	Vol. 16#9 (2011) 災害と地域ケア	¥1,320
	Vol. 16#10 (2011) 高齢者栄養-在宅・地域栄養サポートへの第一歩	¥1,320
	Vol. 16#11 (2011) わが家で看取る	¥1,320
	Vol. 16#12 (2011) 認知症こそ在宅・地域で	¥1,320
	Vol. 17#1 (2012) 地域包括ケアシステムの展望	¥1,430
	Vol. 17#2 (2012) ″時代のキーワード″で読み解く「超高齢社会」「多死時	¥1,430
	Vol. 17#3 (2012) 小児在宅ケアが変わる	¥1,430
	Vol. 17#4 (2012) がん患者さんの退院支援・外来治療支援	¥1,430
	Vol. 17#5 (2012) 地域拠点としての「大学」と「ステーション」	¥1,430
品切	Vol. 17#6 (2012) 在宅看取りのエンゼルケア-「死後のケア」の意味・方法	¥1,430
	Vol. 17#7 (2012) 2025年へ“はじめの一歩” 同時改定で「在宅現場」はど	¥1,430
	Vol. 17#8 (2012) 吸引・胃ろう等をどう行なうか これからの“医療的ケア”【	¥1,430
	Vol. 17#9 (2012) 吸引・胃ろう等をどう行なうか　これからの“医療的ケア”	¥1,430
	Vol. 17#10 (2012)「訪問看護支援事業」からの発展－訪問看護の“プラ	¥1,430
	Vol. 17#11 (2012) 海外の在宅ケアに学びたい	¥1,430
	Vol. 17#12 (2012) これからの訪問看護に必要な「人材」とは	¥1,430
	Vol. 18#1 (2013) 認知症の地域医療が変わる！/「成年後見制度」を知る	¥1,430
	Vol. 18#2 (2013) 住まいで医療も最期まで　いろんなかたちの「24時間」	¥1,430
	Vol. 18#3 (2013) あれから2年　災害対策の「変えた」「変わった」	¥1,430
	Vol. 18#4 (2013) ご家族も一緒に! 在宅フィジカルアセスメント	¥1,430
	Vol. 18#5 (2013) 制度の枠も飛び越えて“夢”を叶える起業・経営	¥1,430
	Vol. 18#6 (2013) 高齢者虐待を防止する そのとき医療・介護にできること	¥1,430
	Vol. 18#7 (2013)「緩和ケア訪問看護」の“実践力”を育てる	¥1,430
	Vol. 18#8 (2013) 来たれ! 新卒訪問看護師!-千葉県訪問看護実践センタ	¥1,430
	Vol. 18#9 (2013)「胃ろう」をつけた“あの人”のこと－懸賞論文大賞発表!	¥1,430
	Vol. 18#10 (2013) 訪問看護の胃ろうケア－迷いながらも寄り添って	¥1,430
	Vol. 18#11 (2013) 他専門職のワザがわかる「在宅リハ」の可能性	¥1,430
	Vol. 18#12 (2013) 訪問看護の“プラットホーム”戦略II-「訪問看護支援事	¥1,430
	Vol. 19#1 (2014)「新生在宅医療・介護元年」の成果と展望―“つなぐ機	¥1,430
品切	Vol. 19#2 (2014) 在宅だから ICF！-「生活を支える」を具現化する	¥1,430
	Vol. 19#3 (2014) 特集1　知っておきたい「社会保障・税一体改革」 特集2	¥1,430
	Vol. 19#4 (2014) 在宅ケアの質を高めるICT	¥1,430
	Vol. 19#5 (2014) 在宅で「肺炎」を予防・改善・治療する！ －「それでも食	¥1,430
品切	Vol. 19#6 (2014) Buurtzorg（ビュートゾルフ）との邂逅-何を学び、どう活	¥1,430
	Vol. 19#7 (2014) 2014年度診療報酬改定からの展望 「ときどき入院、ほ	¥1,430
	Vol. 19#8 (2014) 精神科訪問看護を始めよう！　深めよう！-特化型／非	¥1,430
	Vol. 19#9 (2014) 人材育成をネットワーク化する	¥1,430
	Vol. 19#10 (2014) 機能強化型ステーションの“未来予想図” 地域拠点と	¥1,430
	Vol. 19#11 (2014) これが私の訪問看護だ。-実践にみる「在宅看護学」の	¥1,430
	Vol. 19#12 (2014) 高齢者に効く漢方-知っておきたい効き方・使い方・副	¥1,430
	Vol. 20#1 (2015) 訪問看護の“あと10年” 2025年までにやっておきたい○	¥1,430
	Vol. 20#2 (2015) 訪問看護の意思決定支援-いつ何をどう行なうことなの	¥1,430
品切	Vol. 20#3 (2015)「ノーリフト」で苦痛のない身体介助ー腰痛予防とケアの	¥1,430
品切	Vol. 20#4 (2015) ユマニチュードは何が違うか I －その有効性と可能性	¥1,430
品切	Vol. 20#5 (2015) ユマニチュードは何が違うか II －在宅・地域での活用	¥1,430

	Vol. 20#6 (2015) 在宅・地域で行なう特定行為-意義と実践のイメージを	¥1,430
	Vol. 20#7 (2015) 在宅チームケアならできる！　サルコペニア、フレイル	¥1,430
品切	Vol. 20#8 (2015) 看護小規模多機能型居宅介護の見取り図-看護が行	¥1,430
	Vol. 20#9 (2015) 第2回懸賞論文　大賞発表！　家(うち)で看取った“あ	¥1,430
	Vol. 20#10 (2015)「老衰」で家で最期まで―超高齢社会における在宅終	¥1,430
	Vol. 20#11 (2015)「在宅看護」ってなんだろう？―実践に新たな光をあて	¥1,430
	Vol. 20#12 (2015) 病院看護師が訪問看護をやってみた！―訪問看護体	¥1,430
	Vol. 21#1 (2016) がん在宅チームケア―多職種で持ち寄る知恵とワザ	¥1,540
	Vol. 21#2 (2016) 在宅褥瘡ケア―在宅で活きる新たな技と関わり	¥1,540
	Vol. 21#3 (2016) 認知症当事者とともに学ぶ	¥1,540
	Vol. 21#4 (2016) 認知症当事者のニーズから始める	¥1,540
品切	Vol. 21#5 (2016) 日本版ビュートゾルフ始動！	¥1,540
	Vol. 21#6 (2016) 2016年度診療報酬改定を現場で読む	¥1,540
	Vol. 21#7 (2016) 地域全体をつなぐ機能強化型訪問看護ステーション	¥1,540
	Vol. 21#8 (2016) 質の高い排便ケアを継続する	¥1,540
	Vol. 21#9 (2016) 日々の「快」をささえ、可能性を広げる難病ケア	¥1,540
	Vol. 21#10 (2016) 高齢者の心不全を在宅でケアする	¥1,540
	Vol. 21#11 (2016) 新卒看護師がいきいきと育ち、働けるわけ	¥1,540
	Vol. 21#12 (2016) 地域を活性化する専門看護師の力	¥1,540
	Vol. 22#1 (2017) グリーフケアを考える―終末期のケアから、地域への働	¥1,540
	Vol. 22#2 (2017)「自立支援介護」に思う	¥1,540
	Vol. 22#3 (2017) 在宅でケアする人にも役立つ　マインドフルネス入門	¥1,540
	Vol. 22#4 (2017) 開いてわかった！「保健室」と地域の姿	¥1,540
	Vol. 22#5 (2017) 息苦しい療養者のQOLを高める 包括的呼吸リハビリテ	¥1,540
品切	Vol. 22#6 (2017) これからは「クライシス・プラン」をつくっておこう	¥1,540
	Vol. 22#7 (2017) ケアする人もされる人も！身体介助がラクになる大原則	¥1,540
	Vol. 22#8 (2017) ケアのプロセスを見える化する	¥1,540
	Vol. 22#9 (2017) 高齢者の「食べる」力をサポートする―その力の見極め	¥1,540
	Vol. 22#10 (2017) 患者状態適応型パスで見せる訪問看護のプロセス	¥1,540
	Vol. 22#11 (2017) 訪問看護師が経験する「暴力」	¥1,540
	Vol. 22#12 (2017) 看護基礎教育で新卒訪問看護師をどう育てるか	¥1,540
	Vol. 23#1 (2018) 在宅ケアの質を高める、“外縁”を広げる	¥1,540
	Vol. 23#2 (2018) 訪問時の交通安全対策―リスクマネジメントとしての取	¥1,540
	Vol. 23#3 (2018) 足を見よ、暮らしが変わる―在宅で見るべきところ、行	¥1,540
	Vol. 23#4 (2018) 死を前にした人に私たちができること―現場の語りと事	¥1,540
	Vol. 23#5 (2018) 管理栄養士との連携が、在宅ケアを充実させます！	¥1,540
	Vol. 23#6 (2018) 人生100年時代の地域包括ケアへ向けて―2018年同	¥1,540
	Vol. 23#7 (2018) うちの24時間対応体制―早朝・夜間・休日の緊急対応	¥1,540
	Vol. 23#8 (2018) 看護小規模多機能型居宅介護で質の高いケアと経営	¥1,540
	Vol. 23#9 (2018)「面」で支える子どもの暮らし 看護職はいかに連携する	¥1,540
	Vol. 23#10 (2018) 訪問看護出向事業の成果と展望	¥1,540
品切	Vol. 23#11 (2018) 本人と家族をまるごと支援すると、こんな変化が生まれ	¥1,540
	Vol. 23#12 (2018) 理学療法士等との連携、どうしていますか？ 制度改	¥1,540
	Vol. 24#1 (2019) おとなの学びへの招待 在宅ケアを楽しく続けるために	¥1,650
	Vol. 24#2 (2019) はじめての採用戦略 人材の確保・定着が叶う組織をつ	¥1,650
	Vol. 24#3 (2019) 気づき、学び、元気になる　事例検討会を開こう	¥1,650
	Vol. 24#4 (2019) 在宅で叶える食支援　訪問看護の摂食嚥下ケアをアッ	¥1,650
	Vol. 24#5 (2019)「願い」を問う、つなぐ、叶える　訪問看護はどのように意	¥1,650
	Vol. 24#6 (2019) どうあることなのか、意思決定支援「アドバンス・ケア・プ	¥1,650
	Vol. 24#7 (2019) その症状、もしかして「せん妄」？認知症の悪化やうつ	¥1,650
	Vol. 24#8 (2019) 在宅でがん患者を看取る　体調の変化の「ちょっと先」	¥1,650
	Vol. 24#9 (2019) 訪問看護師が介入できる高齢者のポリファーマシー「	¥1,650
	Vol. 24#10 (2019) 在宅褥瘡ケア、ここを意識するとこう変わる	¥1,650
	Vol. 24#11 (2019) 特定行為研修修了者がいる在宅現場が見たい	¥1,650
	Vol. 24#12 (2019) どうすりゃいいんだ、横綱級困難ケース　何が、誰が「	¥1,650
	Vol. 25#1 (2020年1月) 施設看取りを実践しよう「介護スタッフへのサポ	¥1,650
	Vol. 25#2 (2020年2月) 訪問看護師の臨床推論　私たちはどういうプロセ	¥1,650

	Vol. 25#3 (2020年3月) ユマニチュードで認知症ケアがつながる 地域で		¥1,650
	Vol. 25#4 (2020年4月) ポケットエコーは在宅ケアでこう使える！現場でど		¥1,650
	Vol. 25#5 (2020年5月)「喪失」に直面する人へのケア		¥1,650
	Vol. 25#6 (2020年6月) 心不全在宅管理 ケアと治療をつなげる「翻訳」		¥1,650
	Vol. 25#7 (2020年7月) 在宅高齢者によく処方されている薬 “現場的要		¥1,650
	Vol. 25#8 (2020年8月) 災害への備え、どうする BCPの考え方と作り方		¥1,650
	Vol. 25#9 (2020年9月) 精神科訪問看護で必須になったGAF尺度とは		¥1,650
	Vol. 25#10 (2020年10月) 学び直しの排便ケア うん、これで完璧！腸役		¥1,650
	Vol. 25#11 (2020年11月) 在宅浮腫マネジメントのための新常識 利尿薬		¥1,650
	Vol. 25#12 (2020年12月) コロナ禍で在宅ケアをつなぐために 試行錯誤		¥1,650
	Vol. 26#1 (2021年1月) 倫理的感受性を高める ACPにも必要な「価値観		¥1,650
	Vol. 26#2 (2021年2月)「家族」の声 ケアを引き受ける／引き受けざるを		¥1,650
	Vol. 26#3 (2021年3月)「育て上手」養成講座 効果的な理論＆アイデア		¥1,650
	Vol. 26#4 (2021年4月) 倫理的課題へのアプローチ「倫理的」な看護はい		¥1,650
	Vol. 26#5 (2021年5月) 尿道カテーテル管理の先を見通す 早期抜去と		¥1,650
	Vol. 26#6 (2021年6月) ここが精神科訪問看護のポイントだ！「あるある		¥1,650
	Vol. 26#7 (2021年7月) 退院直後の「2週間」に欠かせない在宅ケア 早		¥1,650
	Vol. 26#8 (2021年8月) 新型コロナ「入院待機者」への自宅での対応 実		¥1,650
	Vol. 26#9 (2021年9月) 訪問看護ステーションならではの事業多角化 看		¥1,650
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
201	**哺乳動物卵子学会誌 Journal of Mammalian Ova Research**		
	Vol. 4-11 (1987-1994) 各1-2号	各号	¥2,200
202	**哺乳動物学雑誌（日本哺乳動物学会）**		
	Vol. 6-9 (1974/76-1982/83) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 10-11 (1984/85-1986) 各1-4号	各号	¥2,200
203	**哺乳類科学（日本哺乳類学会）**		
	No. 32-53 (1976-1986)	各号	¥2,200
	Vol. 27-48 (1987-2008) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 49#1 (2009); 50#2 (2010)	各号	¥2,200

204 ホルモンと臨床（医学の世界社）

Vol. 28-49 (1980-2001) 各1-12号	各号	¥2,200
Vol. 50-53 (2002-2005) 各1-12号	各号	¥2,266
Vol. 54#1-12 (2006)	各号	¥2,420
Vol. 55-57 (2007-2009) 各1-12号	各号	¥2,640
Vol. 58#1-12 (2010)	各号	¥2,640
Vol. 59#1-8 (2011)	各号	¥2,640
Vol. 28#夏季増刊号 (1980) 新 図解ホルモンのすべて		¥5,500
Vol. 29#増刊号 (1981) 内分泌 興味ある症例		¥5,500
Vol. 30#秋季増刊号 (1982) 内分泌・代謝学の進歩 '82		¥2,970
Vol. 30#増刊号 (1982) 内分泌 興味ある症例 第二集		¥5,500
Vol. 31#夏季増刊号 (1983) 内分泌 興味ある症例 第三集		¥4,950
Vol. 31#秋季増刊号 (1983) 内分泌 興味ある症例 第四集		¥4,950
Vol. 31#増刊号 (1983) 新内分泌負荷試験		¥4,400
Vol. 32#春季増刊号 (1984) 内分泌 興味ある症例 第五集		¥5,280
Vol. 32#秋季増刊号 (1984) 内分泌腺の腫瘍		¥5,500
Vol. 33#増刊症例特集 (1985) 内分泌 興味ある症例 第六集		¥5,500
Vol. 33#秋季増刊号 (1985) 甲状腺学の進歩 '85		¥4,950
Vol. 33#増刊号 (1985) 内分泌・代謝学の進歩 '84		¥4,950
Vol. 34#夏季増刊号 (1986) 内分泌と画像診断		¥5,500
Vol. 34#春季増刊号 (1986) アンドロロジー 最近の進歩		¥5,500
Vol. 34#秋季増刊号 (1986) 甲状腺学の進歩 '86		¥5,500
Vol. 34#増刊症例特集 (1986) 内分泌 興味ある症例 第七集		¥5,500
Vol. 35#春季増刊号 (1987) 内分泌 興味ある症例 第八集		¥5,500
Vol. 35#夏季増刊号 (1987) 内分泌・代謝学の進歩 '87		¥5,280
Vol. 35#秋季増刊号 (1987) 甲状腺学の進歩 '87		¥5,500
Vol. 35#増刊症例特集 (1987) 内分泌 興味ある症例 第九集		¥5,500
Vol. 36#夏季増刊号 (1988) 内分泌 興味ある症例 第十集		¥5,500
Vol. 36#秋季増刊号 (1988) 内分泌学 60年のあゆみ		¥5,500
Vol. 36#臨時増刊号 (1988) 内分泌学の最近の動向		¥3,080
Vol. 37#春季増刊号 (1989) 内分泌 興味ある症例 第11集		¥5,500
Vol. 37#夏季増刊号 (1989) 内分泌学の現状と将来		¥5,500
Vol. 37#秋季増刊号 (1989) 甲状腺学の進歩 '89		¥5,500
Vol. 37#冬季増刊号 (1989) 甲状腺学の進歩 '88		¥5,500
Vol. 37#増刊症例特集 (1989) 内分泌 興味ある症例 第12集		¥5,500
Vol. 37#増刊症例特集 (1989) 内分泌 興味ある症例 第13集		¥5,500
Vol. 38#春季増刊号 (1990) 内分泌 興味ある症例 第14集		¥5,500
Vol. 38#初夏増刊号 (1990) マクロのアンドロロジー		¥5,500
Vol. 38#夏季増刊号 (1990) 肥満症-診断・病態・治療-		¥5,500
Vol. 39#冬季増刊号 (1991) 内分泌 興味ある症例 第15集		¥5,500
Vol. 39#夏季増刊号 (1991) 内分泌 興味ある症例 第16集		¥5,500
Vol. 39#秋季増刊号 (1991) 内分泌 興味ある症例 第17集		¥5,500
Vol. 40#冬季増刊号 (1992) 内分泌 興味ある症例 第18集		¥5,500
Vol. 40#春季増刊号 (1992) 内分泌 興味ある症例 第19集		¥5,500
Vol. 40#夏季増刊号 (1992) 間脳下垂体腫瘍		¥5,500
Vol. 40#秋季増刊号 (1992) 内分泌 興味ある症例 第20集		¥5,500
Vol. 41#冬季増刊号 (1993) 間脳下垂体腫瘍 II		¥5,500
Vol. 41#春季増刊号 (1993) 内分泌 興味ある症例 第21集		¥5,500
Vol. 41#夏季増刊号 (1993) 臨床家のための遺伝子技術解説		¥5,500
Vol. 41#秋季増刊号 (1993) 内分泌 興味ある症例 第22集		¥5,500
Vol. 41#臨時増刊号 (1993) 間脳下垂体腫瘍 III		¥5,500
Vol. 42#春季増刊号 (1994) 内分泌 興味ある症例 第23集		¥5,500
Vol. 42#夏季増刊号 (1994) 内分泌 興味ある症例 第24集		¥5,500
Vol. 42#臨時増刊号 (1994) ホルモンレセプター		¥5,500
Vol. 43#冬季増刊号 (1995) 内分泌 興味ある症例 第25集		¥5,500
Vol. 43#春季増刊号 (1995) 間脳下垂体腫瘍 IV		¥5,500

	Vol. 43#夏季増刊号 (1995) 内分泌機能検査の実際		¥5,500
	Vol. 43#秋季増刊号 (1995) 内分泌 興味ある症例 第26集		¥5,500
	Vol. 43#臨時増刊号 (1995) 内分泌 興味ある症例 第27集		¥5,500
	Vol. 44#春季増刊号 (1996) 間脳下垂体腫瘍 V		¥5,500
	Vol. 44#夏季増刊号 (1996) 内分泌 興味ある症例 第28集		¥5,500
	Vol. 44#冬季増刊号 (1996) 内分泌 興味ある症例 第29集		¥5,500
	Vol. 45#臨時増刊号 (1997) 間脳下垂体腫瘍 VI		¥5,500
	Vol. 45#春季増刊号 (1997) 臨床に役立つ 内分泌疾患診療マニュアル ’		¥5,500
	Vol. 45#夏季増刊号 (1997) 内分泌 興味ある症例 第30集		¥5,500
	Vol. 45#秋季増刊号 (1997) 内分泌 興味ある症例 第31集		¥5,500
	Vol. 45#冬季増刊号 (1997) 間脳下垂体腫瘍 VII		¥5,500
	Vol. 46#春季増刊号 (1998) 図解 ホルモンのすべて		¥5,500
	Vol. 46#夏季増刊号 (1998) 内分泌 興味ある症例 第32集		¥5,500
	Vol. 46#秋季増刊号 (1998) 内分泌病理学 最近の進歩 ’98		¥5,500
	Vol. 46#冬季増刊号 (1998) 内分泌 興味ある症例 第33集		¥5,500
	Vol. 46#臨時増刊号 (1998) ステロイドホルモン研究の進歩 ’98		¥5,500
	Vol. 46#特別増刊号 (1998) 間脳下垂体腫瘍 VIII		¥5,500
	Vol. 47#初夏増刊号 (1999) 内分泌 興味ある症例 第34集		¥5,500
	Vol. 47#夏季増刊号 (1999) 糖尿病の臨床		¥5,500
	Vol. 47#秋季増刊号 (1999) ステロイドホルモン研究の進歩 ’99		¥5,500
	Vol. 47#冬季増刊号 (1999) 内分泌 興味ある症例 第35集		¥5,500
	Vol. 47#臨時増刊号 (1999) 間脳下垂体腫瘍 IX		¥5,500
	Vol. 47#特別増刊号 (1999) 内分泌病理学 最近の進歩 ’99		¥5,500
	Vol. 48#春季増刊号 (2000) 骨粗鬆症のマネジメントのすべて		¥9,460
	Vol. 48#夏季増刊号 (2000) 内分泌 興味ある症例 第36集		¥9,900
	Vol. 48#秋季増刊号 (2000) 内分泌 興味ある症例 第37集		¥9,900
	Vol. 48#冬季増刊号 (2000) ステロイドホルモン研究の進歩 2000		¥11,000
	Vol. 48#臨時増刊号 (2000) 内分泌病理学 最近の進歩 2000		¥8,360
	Vol. 49#特別増刊号 (2001) 臨床に役立つ 内分泌疾患診療マニュアル		¥7,700
	Vol. 49#夏季増刊号 (2001) 内分泌病理学 最近の進歩 2001		¥8,800
	Vol. 49#秋季増刊号 (2001) 内分泌 興味ある症例 第38集		¥9,020
	Vol. 50#臨時増刊号 (2002) 内分泌病理学 最近の進歩 ’02		¥9,460
	Vol. 50#夏季増刊号 (2002) 内分泌 興味ある症例 第40集		¥9,020
	Vol. 50#冬季増刊号 (2002) 内分泌 興味ある症例 第41集		¥9,680
	Vol. 51#春季増刊号 (2003) ステロイドホルモン研究の進歩’02		¥12,100
	Vol. 51#夏季増刊号 (2003) 内分泌 興味ある症例 第42集		¥9,900
	Vol. 51#臨時増刊号 (2003) 内分泌病理学 最近の進歩 ’03		¥9,460
	Vol. 51#秋季増刊号 (2003) 内分泌 興味ある症例 第43集		¥9,900
	Vol. 52#冬季増刊号 (2004) ステロイドホルモン研究の進歩 ’03		¥9,900
	Vol. 52#夏季増刊号 (2004) 内分泌 興味ある症例 第44集		¥9,900
	Vol. 52#臨時増刊号 (2004) 内分泌病理学 最近の進歩 ’04		¥9,900
	Vol. 52#冬季増刊号 (2004) 内分泌 興味ある症例 第45集		¥9,900
	Vol. 53#秋季増刊号 (2005) 糖尿病診療のクリニカルパス		¥7,700
	Vol. 56#冬季増刊号 (2008) 内分泌病理学 最近の進歩 2007		¥11,000
品切	Vol. 56#春季増刊号 (2008) 内分泌クリニカル・カンファランス48		¥11,000
品切	Vol. 56#臨時増刊号 (2008) 内分泌クリニカル・カンファランス49		¥11,000
205	**ホスピスケア（ホスピスケア研究会）**		
	Vol. 15#2 (2004)		¥1,100
	Vol. 16#1,2 (2005)	各号	¥1,100
	Vol. 17#1,2,特別号 (2006/2007)	各号	¥1,100
	Vol. 18#1,2 (2007/2008)	各号	¥1,100
	Vol. 19#1,2 (2008)	各号	¥1,100
	Vol. 20#1,2 (2009)	各号	¥1,100
	Vol. 21#1,2 (2010)	各号	¥1,100
	Vol. 22#1,2 (2011)	各号	¥1,100
	Vol. 23#1 (2012)		¥1,100

206	**Hospital Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery (日本病院歯科口腔外科協議会)**		
	Vol. 15-17 (2003-2005) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 18#2; 19#1; 20#2 (2006-2008)	各号	¥3,300
	Vol. 21#1,2; 22#1 (2009-2010)	各号	¥3,300
207	**放射光 (日本放射光学会)**		
	Vol. 17-19 (2004-2006) 各1-6号	各号	¥2,200
208	**保全生態学研究 (日本生態学会)**		
	Vol. 4#2;5#1,2;7#1 (1999-2002)	各号	¥2,750
	Vol. 8-26 (2003-2021) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 27#1 (2022)		¥2,750
209	**表面 (広信社)**		
	Vol. 38-41 (2000-2003) 各1-12号	各号	¥2,200
210	**Hyper Space (高次元科学会)**		
	Vol. 1-5 (1992-1996) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 8#1 (1999); 9#1 (2000)	各号	¥2,200
211	**遺伝学雑誌 (日本遺伝学会)**		
	Vol. 1-2 (1921/22-1923) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 3-10 (1924/25-1935) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 11-76 (1935-2001) 各1-6号	各号	¥2,200
212	**医学検査 Japanese Journal of Medical Technology (日本臨床衛生検査技師会)**		
	Vol. 50#2,3,5-9 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 51#3-9 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 52#4 (2003)		¥2,200
	Vol. 53#5,7 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 54#2-5,7-9,11,12 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 55#1,2,8,11 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 56#5,8-12 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 57#1-12 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 58#6,8-12 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 59#1-12 (2010)	各号	¥2,200
213	**医学教育 Medical Education (日本医学教育学会)**		
	Vol. 38-44 (2007-2013) 各1-6号,Supplement	各号	¥1,848

214 医学のあゆみ（医歯薬出版）

Vol. 232 #1 (2010) 原始感覚と情動－生体防御系としての情動機構とそ		¥2,420
Vol. 232 #2 (2010) ヒト幹細胞による薬物代謝・トランスポート・副作用予		¥1,100
Vol. 232 #3 (2010) 歯周医学（Periodontal Medicine）－歯周病と全身疾		¥1,100
Vol. 232 #4 (2010) 閉塞性細気管支炎をめぐって		¥1,100
Vol. 232 #5 (2010) 心不全－研究と臨床の最前線		¥5,720
Vol. 232 #6 (2010) ここまでわかったミトコンドリア研究の新展開		¥2,420
Vol. 232 #7 (2010) 成人先天性心疾患－最新動向		¥1,100
Vol. 232 #8 (2010) ここまで進んだ心臓リハビリテーション		¥1,100
Vol. 232 #9 (2010) 副腎皮質疾患とメタボリック症候群		¥1,100
Vol. 232 #10 (2010) てんかん治療Update－研究と臨床の最前線		¥2,420
Vol. 232 #11 (2010) IgA腎症－最新動向		¥1,100
Vol. 232 #12 (2010) 糖尿病関連遺伝子の現在		¥1,100
Vol. 232 #13 (2010) 免疫in vivoイメージング－免疫疾患のダイナミクス研		¥1,100
Vol. 233 #1 (2010) 気管支喘息Update		¥2,420
Vol. 233 #2 (2010) 妊娠免疫Update-子宮内膜局所免疫と妊娠		¥1,100
Vol. 233 #3 (2010) 高血圧の発症機序にせまる		¥1,100
Vol. 233 #4 (2010) “高安病”発見から1世紀-研究と診療のあゆみ		¥1,100
Vol. 233 #5 (2010) インクレチンのすべて-膵β細胞研究から新たな糖		¥2,420
Vol. 233 #6 (2010) 血小板機能検査による抗血小板療法の個別化		¥1,100
Vol. 233 #7 (2010) “肺高血圧”内科的治療の最前線-この難治性疾患		¥1,100
Vol. 233 #8 (2010) 食道癌治療の最前線		¥1,100
Vol. 233 #9 (2010) G蛋白質共役受容体研究-疾患解明とシグナル制御		¥5,720
Vol. 233 #10 (2010) 生体システムとしてのWntシグナル・ネットワーク研究		¥2,420
Vol. 233 #11 (2010) ネフローゼ症候群-最新動向		¥1,100
Vol. 233 #12 (2010) アルコール・薬物関連障害		¥1,100
Vol. 233 #13 (2010) HLAと疾患-最新トピックス		¥1,100
Vol. 234 #1 (2010) 関節リウマチ－“治癒をめざす”最新治療コンセンサ		¥2,420
Vol. 234 #2 (2010) 麻酔の質と手術患者の覚醒		¥1,100
Vol. 234 #3 (2010) 最近話題のワクチン		¥1,100
Vol. 234 #4 (2010) 閉塞隅角緑内障-最新動向		¥1,100
Vol. 234 #5 (2010) サイトカインと疾患-あらたな病態モデルから治療		¥5,720
Vol. 234 #6 (2010) ここまで進んだ不整脈研究の最新動向		¥2,420
Vol. 234 #7/8 (2010) コレステロール吸収・リポ蛋白代謝研究から新たな		¥1,100
Vol. 234 #9 (2010) 日本版FDAへの道のり		¥1,100
Vol. 234 #10 (2010) TGFーβシグナル研究－メカニズムの解明から新た		¥2,420
Vol. 234 #11 (2010) 心臓移植Update		¥1,100
Vol. 234 #12 (2010) CKD-MBD（慢性腎臓病にともなう骨ミネラル代謝		¥1,100
Vol. 234 #13 (2010) エビデンスに基づくアフェレシス療法		¥1,100
Vol. 235 #1 (2010) 輸血医療・細胞療法-現状と課題		¥2,420
Vol. 235 #2 (2010) 口唇口蓋裂診療Update		¥1,100
Vol. 235 #3 (2010) ALS Update		¥1,100
Vol. 235 #4 (2010) 重粒子線治療-最新治療エビデンス		¥1,100
Vol. 235 #5 (2010) 悪性リンパ腫Update		¥5,720
Vol. 235 #6 (2010) 認知症-研究・臨床の最前線		¥2,420
Vol. 235 #7 (2010) 低髄液圧症候群（脳脊髄液減少症）		¥1,100
Vol. 235 #8 (2010) 胎生期環境と生活習慣病		¥1,100
Vol. 235 #9 (2010) 耳鼻咽喉科の低侵襲治療-外来処置、日帰り・短期		¥1,100
Vol. 235 #10 (2010) エピゲノム 研究最前線		¥2,420
Vol. 235 #11 (2010) 動き出した“エコチル調査”－環境省「子どもの健康		¥1,100
Vol. 235 #12/13 (2010) 自己炎症性疾患-発熱性疾患にあける認知		¥1,100

215 医学と薬学（自然科学社）

Vol. 43-66 (2000-2011) 各1-6号	各号	¥2,200

216	**生きいきジャーナル（医学書院）**		
	Vol. 2#4 (1992) 言葉の海を越えて		¥1,320
	Vol. 3#1 (1993) 障害老人と旅に出よう		¥1,650
	Vol. 4#2 (1994) 手づくりのデイサービス[1]		¥1,650
	Vol. 4#4 (1994) 病院での生活ケア		¥1,650
	Vol. 5#2 (1995) 模索する在宅介護支援ｾﾝﾀｰ[2]		¥1,650
	Vol. 5#3 (1995) 新しい入浴ケア		¥1,650
	Vol. 5#4 (1995) グループホームケアの試み[1]		¥1,650
	Vol. 6#1 (1996) グループホームケアの試み[2]		¥1,650
	Vol. 6#2 (1996) 老いの言葉[1] ケアのなかの言葉		¥1,650
	Vol. 6#3 (1996) 老いの言葉[1] 言葉にみる同時代の老い		¥1,650
	Vol. 6#4 (1996) ホームヘルパーの世界		¥1,650
	Vol. 7#1 (1997) 介護ボランティア[1]		¥1,870
	Vol. 7#2 (1997) 介護ボランティア[2]		¥1,870
	Vol. 7#3 (1997) 民間デイサービスの挑戦[1]		¥1,870
	Vol. 7#4 (1997) 民間デイサービスの挑戦[2]		¥1,870
217	**医工学治療（日本医工学治療学会）**		
	Vol. 10#1,2,supplement1 (1998)	各号	¥2,200
	Vol. 11#2,3 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 12#1 (2000)		¥2,200
	Vol. 13#supplement1 (2001)		¥2,200
	Vol. 15#supplement (2003)		¥2,200
	Vol. 19#2 (2007)		¥2,200
	Vol. 20#3,supplement (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 21#1,supplement (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 22#2,supplement (2010)	各号	¥2,200
218	**育種学研究（日本育種学会）**		
	Vol. 8-12 (2006-2010) 各1-4号	各号	¥2,200
219	**育種学雑誌（日本育種学会）**		
	Vol. 1-17 (1951/1952-1967) 各1-4号	各号	¥2,420
	Vol. 18-25 (1968-1975) 各1-6号	各号	¥2,420
	Vol. 26-44 (1976-1994) 各1-4号	各号	¥2,420
220	**I'm Home（商店建築社）**		
	No. 9,10,12,14,17-22,26,28-30,32-41 (2002-2009)	各号	¥1,466
221	**INDUST いんだすと（全国産業廃棄物連合会）**		
	Vol. 19-22 (2004-2007) 各1-12号	各号	¥1,362
	Vol. 23#1,2,4-10 (2008)	各号	¥1,362

222	**Interface インターフェース (CQ出版社)**		
	Vol. 22#1-3,5-11 (1996)	各号	¥880
	Vol. 23-31 (1997-2005) 各1-12号	各号	¥880
	Vol. 32#1-5,7-12 (2006)	各号	¥1,026
	Vol. 32#6 (2006)		¥1,561
	Vol. 33#1-4,9-11 (2007)	各号	¥1,026
	Vol. 33#5 (2007)		¥1,760
	Vol. 33#6-8,12 (2007)	各号	¥1,132
	Vol. 34#2-4,6,8,10-12 (2008)	各号	¥1,026
	Vol. 34#1,7 (2008)	各号	¥1,132
	Vol. 34#5 (2008)		¥2,085
	Vol. 34#9 (2008)		¥2,075
	Vol. 35#1-4,7-9,11,12 (2009)	各号	¥1,026
	Vol. 35#5 (2009)		¥2,075
	Vol. 35#6,10 (2008)	各号	¥1,132
	Vol. 36#1-4,7-9,11 (2010)	各号	¥1,026
	Vol. 36#5 (2010)		¥1,132
	Vol. 36#6 (2010)		¥2,420
	Vol. 36#10,12 (2010)	各号	¥1,184
	Vol. 37#1,3,4,7-9,11 (2011)	各号	¥1,026
	Vol. 37#2,6,10,12 (2011)	各号	¥1,184
	Vol. 37#5 (2011)		¥2,420
	Vol. 38#1-3 (2012)	各号	¥1,026
223	**International Heart Journal (The International Heart Journal Association)**		
	Vol. 46-49 (2005-2008) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 50#1,2,5,6 (2009)	各号	¥4,400
224	**International Chinese Journal of Dentistry (ICJD日本事務局)**		
	Vol. 2-10 (2002-2010) 各1-4号	各号	¥3,300
	※Vol. 11#1 (2011)→Asian Pacific Journal of Dentistry		
225	**International Journal of Oral-Medical Sciences**		
	Vol. 1#1,2; 2#1; 3#1-3; 4#1-3; 5#2 (2002/2003-2007)	各号	¥3,300
	Vol. 6#1,3; 7#2,3; 8#1-3; 9#1 (2007/2008-2010)	各号	¥3,300
226	**International Journal of Sports Dentistry (日本スポーツ歯科医学会)**		
	Vol. 2-14 (2009-2021) 各1号	各号	¥2,420

227 インターナショナルナーシングレビュー INR（日本看護協会出版会）

INR International Nursing Review（日本版）

	Vol. 1-12 (1978-1989) 各1-4号	各号	¥880
	Vol. 13#2,4 (1990)	各号	¥880
	Vol. 14-17 (1991-1994)	各号	¥880
	Vol. 18#1,2,4 (1995)	各号	¥1,068
	Vol. 18#3 (1995) 臨時増刊号 看護ケアの質評価		¥1,602
	Vol. 19#1,2,4,5 (1996)	各号	¥1,068
	Vol. 19#3 (1996) 臨時増刊号 看護診断論争		¥1,602
品切	Vol. 20#1 (1997) 研究におけるモラルと倫理		¥1,068
	Vol. 20#2 (1997) 看護の影響力 チェンジ/エージェントとしての役割		¥1,068
	Vol. 20#3 (1997) 臨時増刊号 看護の共通言語を構築する		¥1,602
	Vol. 20#4 (1997) 新しい症状マネジメントの概念と実践		¥1,068
	Vol. 20#5 (1997) 患者への教育と支援		¥1,068
	Vol. 21#1 (1998) 在宅ケアにおける質の確保		¥1,068
	Vol. 21#2 (1998) キャリアとアイデンティティ		¥1,068
	Vol. 21#3 (1998) マネジド・ケア		¥1,602
	Vol. 21#4 (1998) 政策を動かす看護職		¥1,068
品切	Vol. 21#5 (1998)		¥1,068
	Vol. 22#1 (1999) 看護の「価格」経済的評価の意義とリスク		¥1,100
	Vol. 22#2 (1999) 看護援助の効果		¥1,100
	Vol. 22#3 (1999) 臨時増刊号 看護の効果を証明する		¥1,650
	Vol. 22#4 (1999) クリティカル・ケアにおける看護の専門性		¥1,100
	Vol. 22#5 (1999) チーム医療 看護職の役割と責任の変化		¥1,100
	Vol. 23#1 (2000) 臨床研究再考		¥1,100
	Vol. 23#2 (2000) 家族へのアプローチ		¥1,100
	Vol. 23#3 (2000) 臨時増刊号 情報開示と患者の権利		¥1,650
	Vol. 23#4 (2000) ナースは何を判断するのか？		¥1,100
	Vol. 23#5 (2000) 臨床実習の方法論		¥1,100
	Vol. 24#1 (2001) 看護管理者がもつべき技術		¥1,100
	Vol. 24#2 (2001) 21世紀,看護は何を目指すか		¥1,100
	Vol. 24#3 (2001) 臨時増刊号 臨床で直面する倫理的諸問題		¥1,650
	Vol. 24#4 (2001) クリニカル・ガバナンス-経営優先の医療への反省		¥1,100
	Vol. 24#5 (2001) アクションリサーチ-実践を変える研究		¥1,100
	Vol. 25#1 (2002) 看護記録はどうあるべきか		¥1,100
	Vol. 25#2 (2002) 看護技術教育のゆくえ		¥1,100
	Vol. 25#3 (2002) 臨時増刊号 ICNP(R)ベータバージョン〈日本語版〉		¥1,650
	Vol. 25#4 (2002) 事故後サポートの実際		¥1,100
	Vol. 25#5 (2002) 政策を動かす看護研究		¥1,100
	Vol. 26#1 (2003) 看護研究のグローバル化		¥1,100
	Vol. 26#2 (2003) 看護職へのストレスマネジメント		¥1,100
	Vol. 26#3 (2003) 臨時増刊号 スペシャリストの役割拡大		¥1,650
	Vol. 26#4 (2003) 医療安全文化の確立へ		¥1,100
	Vol. 26#5 (2003) アドボケイトとしての看護職		¥1,100
	Vol. 27#1 (2004) 在宅看護と社会保障		¥1,100
	Vol. 27#2 (2004) 看護研究を倫理的に進めるために		¥1,100
品切	Vol. 27#3 (2004) 臨時増刊号 看護職が考える経済		¥1,650
品切	Vol. 27#4 (2004) 看護ガイドラインとは何か		¥1,100
	Vol. 27#5 (2004) 看護情報学が看護・医療の何を変えるのか		¥1,100
	Vol. 28#1 (2005) 変わりつつある外来看護へのニーズ		¥1,100
品切	Vol. 28#2 (2005) 結果の信頼性を高めるためのトライアンギュレーション		¥1,100
品切	Vol. 28#3 (2005) 臨時増刊号 自然災害・事故・テロ時の看護		¥1,650
品切	Vol. 28#4 (2005) 外国人看護師受け入れの影響		¥1,100
	Vol. 28#5 (2005) 看護と個人情報保護		¥1,100
	Vol. 29#1 (2006) 臨床看護研究に今求められるもの		¥1,320
	Vol. 29#2 (2006) 病院機能評価再考		¥1,320

品切	Vol. 29#3 (2006) 臨時増刊号 アメリカ看護師協会「看護実践の範囲と基		¥1,760
	Vol. 29#4 (2006) 国際看護 国境を越える看護の役割		¥1,320
	Vol. 29#5 (2006) 看護教育の構造改革 看護師・助産師・保健師それぞ		¥1,320
品切	Vol. 30#1 (2007) 看護におけるナラティブの活用―臨床・研究・教育での		¥1,320
	Vol. 30#2 (2007) 看護教育におけるファカルティ・ディベロップメント		¥1,320
	Vol. 30#3 (2007) 臨時増刊号 医療制度改革と看護―看護職はどのよう		¥1,760
	Vol. 30#4 (2007) がん医療の今と看護の役割		¥1,320
	Vol. 30#5 (2007) 看護のアウトカム評価を臨床で活用する		¥1,320
	Vol. 31#1 (2008)「根拠あるケア」に必要なマインドとスキル		¥1,320
	Vol. 31#2 (2008) エンド・オブ・ライフの意思決定		¥1,320
品切	Vol. 31#3 (2008) 臨時増刊号 各分野のCNSが注目する 臨床看護を変え		¥1,760
	Vol. 31#4 (2008) シミュレーション教育の目標と評価		¥1,320
品切	Vol. 31#5 (2008) 状況論がひらく看護		¥1,320
	Vol. 32#1 (2009) 拡大する看護の役割		¥1,320
	Vol. 32#2 (2009) 国際看護学・災害看護学の教え方―学生はどのように		¥1,320
品切	Vol. 32#3 (2009) 臨時増刊号 研究者を育てる―大学院における研究法		¥1,760
品切	Vol. 32#4 (2009) 言葉にならない技術の共有・伝達・創発ー暗黙知の学		¥1,320
	Vol. 32#5 (2009) 小児医療におけるトータルケアと子どもへの教育		¥1,320
	Vol. 33#1 (2010) 看護におけるケアとキュア、そして看護の役割　裁量権		¥1,320
	Vol. 33#2 (2010) 科学としての看護学の基盤は何か～現象学と言葉に基		¥1,320
	Vol. 33#3 (2010) 臨時増刊号 看護におけるイノベーションの現在 日本		¥1,760
	Vol. 33#4 (2010) “Patient Safety”の概念に基づく 医療安全対策への道		¥1,320
	Vol. 33#5 (2010) 社会格差と健康 看護からのアプローチ		¥1,320
	Vol. 34#1 (2011) 看護補助者との今日的なワークシェアを考える		¥1,320
	Vol. 34#2 (2011) 越境する看護学 学際性の新しい価値		¥1,320
	Vol. 34#3 (2011) 臨時増刊号 アカデミック・ライティング 論文ツールとし		¥1,760
	Vol. 34#4 (2011) エビデンスに基づく看護実践のための システマティック		¥1,320
	Vol. 34#5 (2011) 災害と情報		¥1,320
	Vol. 35#1,2 (2012)	各号	¥1,540
	Vol. 35#3 (2012) 臨時増刊号 看護における社会学的アプローチと実践		¥2,200
	Vol. 35#4,5 (2012)	各号	¥1,540
	★2012年10月 号(Vol.35#5・通巻158号)で休刊となりました。		
228	**Intestine（日本メディカルセンター）**		
	Vol. 1-12 (1997-2008)→早期大腸癌（日本メディカルセンター）		
	Vol. 13-16 (2009-2012) 各1-6号	各号	¥2,860
	Vol. 19#2-6 (2015)	各号	¥3,135
229	**医療廃棄物研究（医療廃棄物研究会）**		
	Vol. 7#2 (1995)		¥2,750
	Vol. 8#1,2 (1996)	各号	¥2,750
	Vol. 9#1,2 (1997)	各号	¥2,750
	Vol. 10#2 (1998)		¥2,750
	Vol. 11#1,2 (1999)	各号	¥2,750
	Vol. 12#1 (2000)		¥2,750
	Vol. 13#1/2 (2000)		¥2,750
	Vol. 14#1,2 (2001/2002)	各号	¥2,750
	Vol. 15#1,2 (2002/2003)	各号	¥2,750
	Vol. 16#1 (2003)		¥2,750
	Vol. 16#2/17#1 (2004)		¥2,750
	Vol. 18#1,2 (2005/2006)	各号	¥2,750
	Vol. 19#1/2 (2006)		¥2,750
230	**医療経済研究（医療経済研究機構）**		
	Vol. 2,3,6-12,14,17 (1995-2005)	各号	¥3,300
	Vol. 18#1,2; 19#1 (2006-2007)	各号	¥3,300

231	**医療薬学（日本医療薬学会）**		
	Vol. 27-29 (2001-2003) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 37#1-12 (2011)	各号	¥2,200
232	**移植（日本移植学会）**		
	Vol. 39#2-6 (2005)	各号	¥1,320
	Vol. 40-42 (2006-2008) 各1-6号	各号	¥1,320
	Vol. 43#1,3,4,5 (2008)	各号	¥1,320
	Vol. 44#特別号 (20009)		¥4,400
	Vol. 39-45 (2005-2010) 各 総会臨時号	各号	¥4,400
233	**Isotope news アイソトープニュース（日本放射性同位元素協会）**		
	No. 642-716 (2007-2013)	各号	¥525
234	**イスラム世界（日本イスラム協会）**		
	No.42-76 (1993-2011)	各号	¥2,200
235	**痛みと漢方 Pain and Kampo Medicine（病院資料センター）**		
	Vol. 8-12 (1998-2002)	各巻	¥3,300
	Vol. 16-17 (2006-2007)	各巻	¥3,300

236　胃と腸（医学書院）

Vol. 1#1-9 (1966)	各号	¥2,640
Vol. 2#1-12 (1967)	各号	¥2,640
Vol. 3#1-13 (1968)	各号	¥2,640
Vol. 4#1-12 (1969)	各号	¥2,640
Vol. 5#1-13 (1970)	各号	¥2,640
第1巻～第5巻　総索引 (1971)		¥2,200
Vol. 6#1-13 (1971)	各号	¥2,640
Vol. 7#1-12 (1972)	各号	¥2,640
Vol. 8#1-12 (1973)	各号	¥2,640
Vol. 9#1-12 (1974)	各号	¥2,640
Vol. 10#1-12 (1975)	各号	¥2,640
Vol. 11#1-12 (1976)	各号	¥2,640
Vol. 12#1-12 (1977)	各号	¥2,640
Vol. 12#13 (1977) 第6巻～第11巻　総索引		¥2,200
Vol. 13#1-12 (1978)	各号	¥2,640
Vol. 14#1-12 (1979)	各号	¥2,640
Vol. 15#1-12 (1980)	各号	¥2,640
Vol. 16#1-12 (1981)	各号	¥2,640
Vol. 16#13 (1981) 第12巻～第15巻　総索引		¥2,200
Vol. 17#1-12 (1982)	各号	¥2,640
Vol. 18#1-12 (1983)	各号	¥2,640
Vol. 19#1-12 (1984)	各号	¥2,640
Vol. 20#1-12 (1985)	各号	¥2,640
Vol. 20#13 (1985) 第16巻～第20巻 総索引		¥2,200
Vol. 21#1-12 (1986)	各号	¥2,640
Vol. 22#1-12 (1987)	各号	¥2,640
Vol. 23#1-12 (1988)	各号	¥2,640
Vol. 24#1-12 (1989)	各号	¥2,640
Vol. 25#1-12 (1990)	各号	¥2,640
Vol. 25#13 (1990) 第21巻～第25巻 総索引		¥2,200
Vol. 26#1 (1991) 早期胃癌-診断の基本と方法		¥2,640
Vol. 26#2 (1991) 食道dysplasiaの存在を問う		¥2,640
Vol. 26#3 (1991) 早期胃癌の内視鏡切除(1)		¥2,640
Vol. 26#4 (1991) 早期胃癌の内視鏡切除(2)		¥2,640
Vol. 26#5 (1991) 潰瘍性大腸炎の長期経過		¥2,640
Vol. 26#6 (1991) Crohon病の長期経過		¥2,640
Vol. 26#7 (1991) 大腸sm癌の診断		¥2,640
Vol. 26#8 (1991) 大腸sm癌の治療		¥2,640
Vol. 26#9 (1991) Ⅲ型早期胃癌の診断に迫る		¥2,640
Vol. 26#10 (1991) 胃癌の組織型分類とその臨床的意義		¥2,640
Vol. 26#11 (1991) 膠原病と腸病変		¥2,640
Vol. 26#12 (1991) 集検発見胃癌の特徴		¥2,640
Vol. 27#1 (1992) 胃癌の自然史を追う-経過追跡症例		¥2,640
Vol. 27#2 (1992) 食道表在癌の深達度を読む		¥2,640
Vol. 27#3 (1992) 腸型Behcet病・simple ulcerの経過		¥2,640
Vol. 27#4 (1992) 大腸のいわゆる結節集簇様病変		¥2,640
Vol. 27#5 (1992) linitis plastica型胃癌診断の現状		¥2,640
Vol. 27#6 (1992) 早期大腸癌腫瘍の病理診断の諸問題		¥2,640
Vol. 27#7 (1992) 出血を来した小腸病変の画像診断		¥2,640
Vol. 27#8 (1992) 表面型大腸腫瘍の臨床診断の諸問題		¥2,640
Vol. 27#9 (1992) 逆流性食道炎を見直す		¥2,640
Vol. 27#10 (1992) 胃癌の深達度診断mとsmの鑑別 内視鏡的		¥2,640
Vol. 27#11 (1992) 大腸pm癌		¥2,640

Vol. 27#12 (1992) 難治性胃潰瘍(1) 治癒予測を中心に	¥2,640
Vol. 28#1 (1993) 胃癌は変わったか−その時代的変遷	¥2,640
Vol. 28#2 (1993) 内視鏡的食道粘膜切除術	¥2,640
Vol. 28#3 (1993) 増刊号 早期胃癌1993	¥6,050
Vol. 28#4 (1993) 難治性胃潰瘍(2) 臨床経過と難治化	¥2,640
Vol. 28#5 (1993) 腸管ｱﾌﾀ様病変	¥2,640
Vol. 28#6 (1993) 早期大腸癌の病理診断の諸問題	¥2,640
Vol. 28#7 (1993) 十二指腸腫瘍	¥2,640
Vol. 28#8 (1993) 大腸癌存在診断の実態−m癌を除く	¥2,640
Vol. 28#9 (1993) 虚血性腸病変の新しい捉え方	¥2,640
Vol. 28#10 (1993) 胃悪性ﾘﾝﾊﾟ種−診断の変遷	¥2,640
Vol. 28#11 (1993) 大腸癌の深達度診断	¥2,640
Vol. 28#12 (1993) 消化管ﾎﾟﾘﾎﾟｰｼｽ−最近の知見	¥2,640
Vol. 28#13 (1993) 早期胃癌の内視鏡根治切除	¥2,640
Vol. 29#1 (1994) 表面型大腸腫瘍−肉眼分類を考える	¥2,640
Vol. 29#2 (1994) 胃良・悪性境界病変の生検診断と治療	¥2,640
Vol. 29#3 (1994) 増刊号 早期大腸癌 1994	¥6,050
Vol. 29#4 (1994) 食道粘膜癌−新しい病型分類と	¥2,640
Vol. 29#5 (1994) 大腸Crohn病−非定型例の診断を中心に	¥2,640
Vol. 29#6 (1994) ｱﾌﾀ様病変のみのCrohn病	¥2,640
Vol. 29#7 (1994) 多発胃癌	¥2,640
Vol. 29#8 (1994) 胆管癌の画像と病理	¥2,640
Vol. 29#9 (1994) 食道のﾖｰﾄﾞ不染帯	¥2,640
Vol. 29#10 (1994) 胃底腺領域の分化型癌	¥2,640
Vol. 29#11 (1994) 大腸sm癌の細分類とその意義	¥2,640
Vol. 29#12 (1994) 大腸sm癌の細分類とその臨床	¥2,640
Vol. 29#13 (1994) 上部消化管病変の特徴からみた	¥2,640
Vol. 30#1 (1995) 胃癌の診断と治療−最近の動向	¥2,640
Vol. 30#2 (1995) 表面型大腸癌の発育と経過	¥2,640
Vol. 30#3 (1995) 増刊号 早期食道癌 1995	¥6,050
Vol. 30#4 (1995) 腸結核	¥2,640
Vol. 30#5 (1995) colitic cancer−微細診断をめざして	¥2,640
Vol. 30#6 (1995) 粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌	¥2,640
Vol. 30#7 (1995) 大腸の悪性ﾘﾝﾊﾟ腫	¥2,640
Vol. 30#8 (1995) 表層拡大型食道表在癌	¥2,640
Vol. 30#9 (1995) 胃の平滑筋腫と平滑筋肉種	¥2,640
Vol. 30#10 (1995) 微小胃癌	¥2,640
Vol. 30#11 (1995) 食道表在癌の発育進展	¥2,640
Vol. 30#12 (1995) 大腸腺腫の診断と取り扱い	¥2,640
Vol. 30#13 (1995) 小腸画像診断の新しい展開	¥2,640
Vol. 30#14 (1995) 第26巻〜第30巻 総索引	¥2,200
Vol. 31#1 (1996) 胃MALTﾘﾝﾊﾟ腫	¥2,640
Vol. 31#2 (1996) いわゆる表層拡大型大腸腫瘍とは	¥2,640
Vol. 31#3 (1996) 増刊号 図説形態用語の使い方・使われ方	¥6,050
Vol. 31#4 (1996) 新しいCrohn病診断基準(案)	¥2,640
Vol. 31#5 (1996) 表層拡大型早期胃癌	¥2,640
Vol. 31#6 (1996) 食道dysplasia−経過観察例の検討	¥2,640
Vol. 31#7 (1996) 遺伝性非ﾎﾟﾘﾎﾟｰｼｽ大腸癌(HNPCC)	¥2,640
Vol. 31#8 (1996) Helicobactor pyloriと胃ﾘﾝﾊﾟ腫	¥2,640
Vol. 31#9 (1996) 早期胃癌の内視鏡的粘膜切除	¥2,640
Vol. 31#10 (1996) 内視鏡的食道粘膜切除後の経過	¥2,640
Vol. 31#11 (1996) 微細表面化構造からみた大腸腫瘍	¥2,640
Vol. 31#12 (1996) 未分化型小胃癌はなぜ少ないか	¥2,640
Vol. 31#13 (1996) 大腸腫瘍の自然史	¥2,640
Vol. 32#1 (1997) 胃sm癌の細分類−治療法選択の指標	¥2,310
Vol. 32#2 (1997) 十二指腸乳頭部癌−縮小手術	¥2,310
Vol. 32#3 (1997) 増刊号 炎症性腸疾患 1997	¥4,840

Vol. 32#4 (1997) 大腸線腫症-最近の知見	¥2,310
Vol. 32#5 (1997) 粘膜下腫瘍様の食道表在癌	¥2,310
Vol. 32#6 (1997) 早期胃癌から進行癌への進展	¥2,310
Vol. 32#7 (1997) 感染性腸炎(腸結核を除く)	¥2,310
Vol. 32#8 (1997) 胃噴門部領域の病変 (1) 癌	¥2,310
Vol. 32#9 (1997) 胃噴門部領域の病変 (2) 癌以外の病変	¥2,310
Vol. 32#10 (1997) 早期食道癌-X線診断の進歩	¥2,310
Vol. 32#11 (1997) Is型大腸sm癌を考える	¥2,310
Vol. 32#12 (1997) 腺領域からみた胃病変	¥2,310
Vol. 32#13 (1997) 胃sm癌の臨床	¥2,310
Vol. 33#1 (1998)「胃と腸」33年間の歩みからみた早期癌	¥2,310
Vol. 33#2 (1998) 消化管病変の三次元画像診断-現状と展望	¥2,310
Vol. 33#3 (1998) 増刊号 消化管悪性ﾘﾝﾊﾟ腫1998	¥4,840
Vol. 33#4 (1998) 胃癌の診断にX線検査は必要か	¥2,310
Vol. 33#5 (1998) 大腸疾患の診断に注腸X線検査は必要か	¥2,310
Vol. 33#6 (1998) 鋸歯状腺腫(serrated adenoma) とその周辺	¥2,310
Vol. 33#7 (1998) m3・sm1食堂癌	¥2,310
Vol. 33#8 (1998) 胃炎-Sydney SystemとHelicobacter pylori	¥2,310
Vol. 33#9 (1998) 潰瘍性大腸炎-最近の話題	¥2,310
Vol. 33#10 (1998) 腸管子宮内膜症	¥2,310
Vol. 33#11 (1998) 早期大腸癌の組織診断-諸問題は..	¥2,310
Vol. 33#12 (1998) 胃癌EMRの完全除去の判定基準を求めて	¥2,310
Vol. 33#13 (1998) 胃癌EMR後の遺残再発-診断と治療	¥2,310
Vol. 34#1 (1999) Ⅱ型早期大腸癌肉眼分類の問題点	¥2,310
Vol. 34#2 (1999) Barrett上皮と食堂腺癌	¥2,310
Vol. 34#3 (1999) 増刊号 消化管の画像診断-US,CT,MRIの役割	¥5,060
Vol. 34#4 (1999) 胃型の分化型胃癌－病理診断とその特徴	¥2,310
Vol. 34#5 (1999) 大腸腫瘍内視鏡的切除後の局所再発－腺種・	¥2,310
Vol. 34#6 (1999) 大腸sm癌の内視鏡的切除をめぐって	¥2,310
Vol. 34#7 (1999) AIDSとALTの消化管病変	¥2,310
Vol. 34#8 (1999) 逆流性食道炎－分類・診断・治療	¥2,310
Vol. 34#9 (1999) 早期胃癌のEUS診断	¥2,310
Vol. 34#10 (1999) Crohn病の長期経過－10年以上の症例..	¥2,310
Vol. 34#11 (1999) 胃MALTﾘﾝﾊﾟ腫-Helicobacter pylori除菌後	¥2,310
Vol. 34#12 (1999) 胃癌診断における生険の現状と問題点	¥2,310
Vol. 34#13 (1999) 大腸腫瘍の内視鏡診断は病理診断に..	¥2,310
Vol. 35#1 (2000) 早期胃癌診断の基本所見とピットフォール	¥2,530
Vol. 35#2 (2000) 炎症性腸疾患における生険の役割	¥2,530
Vol. 35#3 (2000) 増刊号 消化管ポリポーシス2000	¥5,500
Vol. 35#4 (2000) 食道癌の発育進展－初期病巣から粘膜下層	¥2,530
Vol. 35#5 (2000) Helicobacter pylori除菌後の消化性潰瘍の..	¥2,530
Vol. 35#6 (2000) 腸管の血管性病変－限局性腫瘍状病変を..	¥2,530
Vol. 35#7 (2000) 胃の”pre-linitis plastica”型癌	¥2,530
Vol. 35#8 (2000) 多発大腸癌	¥2,530
Vol. 35#9 (2000) 薬剤性腸炎－最近の話題	¥2,530
Vol. 35#10 (2000) 食道アカラシア	¥2,530
Vol. 35#11 (2000) 胃カルチノイド－新しい考え方	¥2,530
Vol. 35#12 (2000) 早期大腸癌肉眼分類－統一をめざして	¥2,530
Vol. 35#13 (2000) 21世紀への消化管画像診断学－歩みと展望	¥2,530
Vol. 35#14 (2000) 第31巻～第35巻 総索引 CD-ROM付	¥1,980
Vol. 36#1 (2001) 表層型胃悪性ﾘﾝﾊﾟ腫の鑑別診断-治療法選択のため	¥2,530
Vol. 36#2 (2001) Crohn 病診断基準の問題点	¥2,530
Vol. 36#3 (2001) 増刊号 消化管癌の深達度診断	¥6,050
Vol. 36#4 (2001) 潰瘍性大腸炎診断基準の問題点	¥2,530
Vol. 36#5 (2001) 早期の食道胃接合部癌	¥2,530
Vol. 36#6 (2001) 早期大腸癌の深達度診断に EUS と拡大内視鏡は必	¥2,530
Vol. 36#7 (2001) 小腸腫瘍-分類と画像所見	¥2,530

	Vol. 36#8 (2001) 多発食道癌	¥2,530
	Vol. 36#9 (2001) GIST（gastrointestinal stromal tumor）概念と臨床的取り	¥2,530
	Vol. 36#11 (2001) sm massive以深に浸潤した10mm 以下の大腸癌	¥2,530
	Vol. 36#10 (2001) 縮小治療のための胃癌の粘膜内浸潤範囲診断	¥2,530
	Vol. 36#12 (2001) 十二指腸の小病変	¥2,530
	Vol. 36#13 (2001) 早期胃癌診療の実態と問題点	¥2,530
	Vol. 37#1 (2002) 食道 m3・sm1 癌の診断と遠隔成績	¥2,530
	Vol. 37#2 (2002) 4型大腸癌とその鑑別診断	¥2,530
	Vol. 37#3 (2002) 増刊号 消化管感染症2002	¥6,050
	Vol. 37#4 (2002) Helicobacter pylori 除菌に伴う問題点	¥2,530
	Vol. 37#5 (2002) cap polyposis と粘膜脱症候群	¥2,530
	Vol. 37#6 (2002) 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変	¥2,530
	Vol. 37#7 (2002) 炎症性腸疾患と腫瘍（1）潰瘍性大腸炎	¥2,530
	Vol. 37#8 (2002) 炎症性腸疾患と腫瘍（2）潰瘍性大腸炎以外	¥2,530
	Vol. 37#9 (2002) 胃粘膜内癌EMRの適応拡大と限界	¥2,530
	Vol. 37#10 (2002) 食道 sm 癌の再評価−食道温存治療の可能性を求め	¥2,530
	Vol. 37#11 (2002) 消化管の virtual endoscopy	¥2,530
	Vol. 37#12 (2002) Ip・Isp 型大腸 sm 癌	¥2,530
	Vol. 37#13 (2002) 胃癌と鑑別を要する炎症性疾患	¥2,530
	Vol. 38#1 (2003) 胃癌―診断と治療の最先端	¥2,640
	Vol. 38#2 (2003) 腸型 Behcet 病と単純性潰瘍の長期経過	¥2,640
	Vol. 38#3 (2003) 食道癌と他臓器重複癌 − EMR 時代を迎えて	¥2,640
	Vol. 38#4 (2003) 増刊号 全身性疾患と消化管病変	¥6,050
	Vol. 38#5 (2003) 胃型早期胃癌の病理学的特徴と臨床像－分化型癌を	¥2,640
	Vol. 38#6 (2003) 消化管腫瘍診断における X 線検査の有用性	¥2,640
	Vol. 38#7 (2003) 消化管炎症性疾患診断におけるX線検査の有用性	¥2,640
	Vol. 38#8 (2003) 経過観察からみた大腸癌の発育・進展sm癌を中心に	¥2,640
	Vol. 38#9 (2003) 直腸肛門部病変の鑑別診断	¥2,640
	Vol. 38#10 (2003) 胃腺腫の診断と治療方針	¥2,640
	Vol. 38#11 (2003) 粘膜下腫瘍様の形態を示した消化管癌	¥2,640
	Vol. 38#12 (2003) 上部消化管拡大観察の意義	¥2,640
	Vol. 38#13 (2003) 消化管への転移性腫瘍	¥2,640
	Vol. 39#1 (2004) 最新の早期胃癌EMR－切開・剥離法	¥2,640
	Vol. 39#2 (2004) Crohn病経過例における新しい治療の位置づけ	¥2,640
	Vol. 39#3 (2004) 胃MALTリンパ腫―除菌治療後の経過と予後	¥2,640
	Vol. 39#4 (2004) 増刊号 消化管の粘膜下腫瘍2004	¥6,050
	Vol. 39#5 (2004) 大腸腫瘍に対する拡大内視鏡観察 V型pit pattern診	¥2,640
	Vol. 39#6 (2004) 深達度診断を迷わせる食道表在癌 その原因と画像の	¥2,640
	Vol. 39#7 (2004) 胃癌術後の残胃癌	¥2,640
	Vol. 39#8 (2004) 家族性大腸腺腫症 最近の話題	¥2,640
	Vol. 39#9 (2004) Barrett 食道癌 表在癌の境界・深達度診断	¥2,640
	Vol. 39#10 (2004) 大腸 sm 癌の深達度診断 垂直浸潤 1,000 μm	¥2,640
	Vol. 39#11 (2004) 胃生検診断の意義 Group分類を考える	¥2,640
	Vol. 39#12 (2004) 消化管の画像診断―21世紀の展開	¥2,640
	Vol. 39#13 (2004) 大腸 sm 癌の内視鏡治療後の長期経過	¥2,640
	Vol. 40#1 (2005) 胃癌の時代的変遷と将来展望	¥2,640
品切	Vol. 40#2 (2005) 大腸カルチノイド腫瘍―転移例と非転移例の比較を中	¥2,640
	Vol. 40#3 (2005) 特殊組織型の食道癌	¥2,640
	Vol. 40#4 (2005) 増刊号 消化管の出血性疾患2005	¥6,050
	Vol. 40#5 (2005) 切開剥離法（ESD）時代の胃癌術前診断	¥2,640
	Vol. 40#6 (2005) Crohn 病の初期病変―診断と長期経過	¥2,640
	Vol. 40#7 (2005) 胃癌化学療法の進歩と課題	¥2,640
	Vol. 40#8 (2005) 免疫異常と消化管病変	¥2,640
	Vol. 40#9 (2005) 表在性の中・下咽頭癌	¥2,640
	Vol. 40#10 (2005) 難治性潰瘍性大腸炎―診断と治療の新知見	¥2,640
	Vol. 40#11 (2005) 小腸内視鏡検査法の進歩	¥2,640
	Vol. 40#12 (2005) 胃癌 EMR 後の異時性多発を考える	¥2,640

	Vol. 40#13 (2005) いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療法を問う	¥2,640
	Vol. 40#14 (2005) 第36巻～第40巻 総索引 CD-ROM付	¥2,200
	Vol. 41#1 (2006) 早期胃癌に対する ESD の適応の現状と今後の展望	¥2,750
	Vol. 41#2 (2006) 食道表在癌の内視鏡診断―最近の進歩	¥2,750
	Vol. 41#3 (2006) 腸管悪性リンパ腫―最近の知見	¥2,750
	Vol. 41#4 (2006) 増刊号 消化管内視鏡治療 2006	¥6,270
	Vol. 41#5 (2006) 陥凹性小胃癌の診断―基本から最先端まで	¥2,750
	Vol. 41#6 (2006) 非定型的炎症性腸疾患―診断と経過	¥2,750
	Vol. 41#7 (2006) Helicobacter pylori に起因しないとされる良性胃粘膜	¥2,750
	Vol. 41#8 (2006) 転移陽性胃粘膜内癌の特徴と取り扱い	¥2,750
	Vol. 41#9 (2006) 通常内視鏡による大腸 sm 癌の深達度診断―垂直浸	¥2,750
	Vol. 41#10 (2006) 食道m3・sm癌の最新の診断と治療戦略	¥2,750
	Vol. 41#11 (2006) 早期胃癌に対する ESD と腹腔鏡下手術の接点	¥2,750
	Vol. 41#12 (2006) 小腸疾患診療の新たな展開	¥2,750
	Vol. 41#13 (2006) 大腸腫瘍に対する拡大内視鏡診断の最先端	¥2,750
	Vol. 42#1 (2007) 胃分化型SM1癌の診断―垂直浸潤500μm	¥2,750
	Vol. 42#2 (2007) 食道扁平上皮dysplasia―診断と取り扱いをめぐって	¥2,750
	Vol. 42#3 (2007) 大腸鋸歯状病変の発育進展と診断・取り扱い	¥2,750
	Vol. 42#4 (2007) 炎症性腸疾患(IBD)の上部消化管病変	¥2,750
	Vol. 42#5 (2007) 増刊号 消化管の拡大内視鏡観察2007	¥6,270
	Vol. 42#6 (2007) Helicobacter pyloriと胃癌	¥2,750
	Vol. 42#7 (2007) 大腸ESDの現況と将来展望	¥2,750
	Vol. 42#8 (2007) 胃MALTリンパ腫-除菌無効例の特徴と治療戦略	¥2,750
	Vol. 42#9 (2007) 食道表在癌内視鏡切除後の長期成績	¥2,750
	Vol. 42#10 (2007) 大腸腫瘍内視鏡切除後のサーベイランスに向けて	¥2,750
	Vol. 42#11 (2007) ESD時代における未分化型混在早期胃癌の取扱い	¥2,750
	Vol. 42#12 (2007) 非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)起因性消化管病変	¥2,750
	Vol. 42#13 (2007) 新しい治療による炎症性腸疾患(IBD)の経過-粘膜治	¥2,750
	Vol. 43#1 (2008) 早期胃癌ESD 適応拡大を求めて	¥2,750
	Vol. 43#2 (2008) 消化管GIST 診断・治療の新展開	¥2,750
	Vol. 43#3 (2008) まれな食道良性腫瘍および腫瘍様病変	¥2,750
	Vol. 43#4 (2008) 増刊号 小腸疾患2008	¥6,270
	Vol. 43#5 (2008) linitis plastica型胃癌-病態と診断・治療の最前線	¥2,750
	Vol. 43#6 (2008) 大腸の新しい画像診断	¥2,750
	Vol. 43#7 (2008) 消化管 follicular lymphoma-診断と治療戦略	¥2,750
	Vol. 43#8 (2008) 胃癌に対する内視鏡スクリーニングの現状と将来	¥2,750
	Vol. 43#9 (2008) colitic cancer/dysplasia の早期診断 病理組織診断の	¥2,750
	Vol. 43#10 (2008) 早期食道癌の診断-最近の進歩	¥2,750
	Vol. 43#11 (2008) 感染性腸炎-最近の動向と知見	¥2,750
	Vol. 43#12 (2008) 早期胃癌発育の新たな分析-内視鏡経過例の遡及的	¥2,750
	Vol. 43#13 (2008) 大腸癌の発生・発育進展	¥2,750
	Vol. 44#1 (2009) 未分化型胃粘膜内癌のESD-適応拡大の可能性	¥2,750
	Vol. 44#2 (2009) 特発性腸間膜静脈硬化症-概念と臨床的取り扱い	¥2,750
	Vol. 44#3 (2009) 食道扁平上皮癌に対するESDの適応と実際	¥2,750
	Vol. 44#4 (2009) 増刊号 早期胃癌2009	¥6,270
	Vol. 44#5 (2009) 癌や炎症と鑑別が困難な消化管悪性リンパ腫	¥2,750
	Vol. 44#6 (2009) 小腸疾患-小病変の診断と治療の進歩	¥2,750
	Vol. 44#7 (2009) 食道胃接合部腺癌の診断	¥2,750
	Vol. 44#8 (2009) 大腸SM内視鏡治療の根治基準をめぐって	¥2,750
	Vol. 44#9 (2009) 背景粘膜からみた胃癌ハイリスクグループ	¥2,750
	Vol. 44#10 (2009) 潰瘍性大腸炎の初期病変とその進展・経過	¥2,750
	Vol. 44#11 (2009) 食道小扁平上皮癌の診断	¥2,750
	Vol. 44#12 (2009) 消化管癌の化学・放射線療法の効果判定と問題点	¥2,750
品切	Vol. 44#13 (2009) collagenous colitisの現況と新知見	¥2,750
	Vol. 45#1 (2010) 早期胃癌のIib進展範囲診断	¥2,970
	Vol. 45#2 (2010) 中・下咽頭表在癌の診断と治療	¥2,970
	Vol. 45#3 (2010) 出血性小腸疾患―内視鏡診断・治療の最前線	¥2,970

	Vol. 45#4 (2010) スキルス胃癌と鑑別を要する疾患	¥2,970
	Vol. 45#5 (2010) 増刊号 早期大腸癌2010	¥6,270
	Vol. 45#6 (2010) 側方発育型大腸腫瘍（laterally spreading tumor ; LST）	¥2,970
	Vol. 45#7 (2010) 低異型度分化型胃癌の診断	¥2,970
	Vol. 45#8 (2010) 直腸肛門部病変の鑑別診断―最新の知見を含めて	¥2,970
	Vol. 45#9 (2010) 食道表在癌の深達度診断	¥2,970
	Vol. 45#10 (2010) Crohn病小腸病変に対する診断と治療の進歩	¥2,970
	Vol. 45#11 (2010) 大腸低分化腺癌の初期像とその進展	¥2,970
	Vol. 45#12 (2010) 特殊型胃癌の病理像と臨床的特徴	¥2,970
	Vol. 45#13 (2010) 遺伝性消化管疾患の特徴と長期経過	¥2,970
	Vol. 45#14 (2010) 第41巻～第45巻　総索引	¥2,200
	Vol. 46#1 (2011) 多発胃癌　最新の知見を含めて	¥3,190
	Vol. 46#2 (2011) NSAID起因性小腸病変	¥3,190
	Vol. 46#3 (2011) 免疫不全状態における消化管病変	¥3,190
	Vol. 46#4 (2011) 大腸鋸歯状病変と癌化	¥3,190
	Vol. 46#5 (2011) 増刊号 食道表在癌2011	¥6,490
	Vol. 46#6 (2011) 胃腫瘍の拡大内視鏡診断	¥3,190
	Vol. 46#7 (2011) 腸管Behcet病と単純性潰瘍―診断と治療の進歩	¥3,190
	Vol. 46#8 (2011) 食道の炎症性疾患	¥3,190
	Vol. 46#9 (2011) 若年者の胃・十二指腸病変の特徴	¥3,190
	Vol. 46#10 (2011) 大腸SM癌に対する内視鏡治療の適応拡大	¥3,190
	Vol. 46#11 (2011) 十二指腸の腫瘍性病変	¥3,190
	Vol. 46#12 (2011) Barrett食道癌の診断	¥3,190
	Vol. 46#13 (2011) 難治性潰瘍性大腸炎-診療・治療の新たな展開	¥3,190
	Vol. 47#1 (2012) 腸管三次元CT 診断の現状	¥3,300
	Vol. 47#2 (2012) 改訂された胃生検Group分類の現状	¥3,300
	Vol. 47#3 (2012) 咽頭・頸部食道癌の鑑別診断	¥3,300
品切	Vol. 47#4 (2012) 消化管EUS診断の現状と新たな展開	¥3,300
	Vol. 47#5 (2012) 増刊号 胃と腸用語集 2012	¥7,920
	Vol. 47#6 (2012) 経鼻内視鏡によるスクリーニング	¥3,300
品切	Vol. 47#7 (2012) 大腸憩室疾患	¥3,300
	Vol. 47#8 (2012) 胃ポリープの意義と鑑別	¥3,300
	Vol. 47#9 (2012) 食道癌の発育進展―初期浸潤の病態と診断	¥3,300
	Vol. 47#10 (2012) 難治性Crohn病の特徴と治療戦略	¥3,300
	Vol. 47#11 (2012) Helicobacter pylori 除菌後の胃癌	¥3,300
	Vol. 47#12 (2012) 高齢者消化管疾患の特徴	¥3,300
	Vol. 47#13 (2012) 右側大腸腫瘍の臨床病理学的特徴	¥3,300
	Vol. 48#1 (2013) 潰瘍合併早期胃癌の診断と治療	¥3,300
	Vol. 48#2 (2013) 大腸ESDの適応と実際	¥3,300
	Vol. 48#3 (2013) 隆起型食道癌の特徴と鑑別診断	¥3,300
	Vol. 48#4 (2013) カプセル内視鏡の現状と展望	¥3,300
	Vol. 48#5 (2013) 増刊号 炎症性腸疾患2013	¥7,920
	Vol. 48#6 (2013) 微小胃癌の診断限界に迫る	¥3,300
	Vol. 48#7 (2013) 消化管内分泌細胞腫瘍の診断と治療－WHO分類との	¥3,300
	Vol. 48#8 (2013) 非腫瘍性大腸ポリープのすべて	¥3,300
	Vol. 48#9 (2013) 食道表在癌治療の最先端	¥3,300
	Vol. 48#10 (2013) 小腸の悪性腫瘍	¥3,300
	Vol. 48#11 (2013) 組織混在型粘膜内胃癌の診断	¥3,300
	Vol. 48#12 (2013) 虚血性腸病変	¥3,300
	Vol. 48#13 (2013) 好酸球性消化管疾患の概念と取り扱い	¥3,300
	Vol. 49#1 (2014) ESD時代の早期胃癌深達度診断	¥3,300
	Vol. 49#2 (2014) 日本食道学会拡大内視鏡分類	¥3,300
	Vol. 49#3 (2014) 消化管アミロイドーシスを見直す	¥3,300
	Vol. 49#4 (2014) 虫垂病変のすべて－非腫瘍から腫瘍まで	¥3,300
	Vol. 49#5 (2014)　増刊号 消化管悪性リンパ腫2014	¥7,920
	Vol. 49#6 (2014) Helicobacter pylori 陰性胃癌	¥3,300
	Vol. 49#7 (2014) 大腸T1（SM）癌に対する内視鏡治療の適応拡大-完全	¥3,300

	Vol. 49#8 (2014) 表面型表層拡大型食道癌の診断と治療戦略	¥3,300
	Vol. 49#9 (2014) 小腸潰瘍の鑑別診断	¥3,300
	Vol. 49#10 (2014) colitic cancerの初期病変－遡及例の検討を含めて	¥3,300
	Vol. 49#11 (2014) 胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後	¥3,300
	Vol. 49#12 (2014) 大腸LSTの診断と意義-拡大内視鏡を中心に	¥3,300
	Vol. 49#13 (2014) 胃の腺腫?診断と治療方針	¥3,300
	Vol. 50#1 (2015) 消化管早期癌診断学の時代変遷－50年の歩みと展望	¥3,520
	Vol. 50#2 (2015) 食道のびらん・潰瘍性病変	¥3,520
	Vol. 51#9 (2016) 消化管画像プレゼンテーションの基本と実際	¥3,520
	Vol. 50#3 (2015) 胃癌範囲診断における拡大観察のピットフォール	¥3,520
	Vol. 50#4 (2015) 早期大腸癌内視鏡治療後の中・長期経過	¥3,520
品切	Vol. 50#5 (2015) 増刊号 早期消化管癌の深達度診断 2015	¥7,920
	Vol. 50#6 (2015) 知っておきたいまれな胃疾患	¥3,520
	Vol. 50#7 (2015) 診断困難な炎症性腸疾患	¥3,520
	Vol. 50#8 (2015) 胃がん検診に未来はあるのか	¥3,520
	Vol. 50#9 (2015) 食道胃接合部腺癌	¥3,520
	Vol. 50#10 (2015) 狭窄を来す大腸疾患―診断のプロセスを含めて	¥3,520
	Vol. 50#11 (2015) 血管炎による消化管病変	¥3,520
品切	Vol. 50#12 (2015) 胃底腺型胃癌	¥3,520
	Vol. 50#13 (2015) 大腸鋸歯状病変の取り扱い	¥3,520
	Vol. 51#1 (2016) 慢性胃炎を見直す	¥3,520
	Vol. 51#2 (2016) まれな食道疾患の鑑別診断	¥3,520
	Vol. 51#3 (2016) 知っておきたいまれな大腸悪性腫瘍	¥3,520
	Vol. 51#4 (2016) 薬剤関連消化管病変	¥3,520
品切	Vol. 51#5 (2016) 増刊号 消化管拡大内視鏡診断2016	¥7,920
	Vol. 51#6 (2016) Helicobacter pylori除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴	¥3,520
	Vol. 51#7 (2016) 新しい小腸・大腸画像診断―現状と将来展望	¥3,520
	Vol. 51#8 (2016) 消化管疾患と皮膚病変	¥3,520
	Vol. 51#10 (2016) 表在型Barrett食道癌の診断	¥3,520
	Vol. 51#11 (2016) 肉芽腫を形成する消化管病変	¥3,520
	Vol. 51#12 (2016) 十二指腸の上皮性腫瘍	¥3,520
	Vol. 51#13 (2016) 狭窄を来す小腸疾患の診断	¥3,520
	Vol. 52#1 (2017) 知っておくべき胃疾患の分類	¥3,520
	Vol. 52#2 (2017) 消化管結核の診断と治療―最近の進歩	¥3,520
	Vol. 52#3 (2017) 表在型食道胃接合部癌の治療戦略	¥3,520
	Vol. 52#4 (2017) 消化管内分泌細胞腫瘍の新知見	¥3,520
品切	Vol. 52#5 (2017) 増刊号 図説「胃と腸」所見用語集2017	¥7,920
	Vol. 52#6 (2017) 知っておきたいまれな大腸良性疾患	¥3,520
	Vol. 52#7 (2017) 胃潰瘍は変わったか―新しい胃潰瘍学の構築を目指	¥3,520
	Vol. 52#8 (2017) 臨床医も知っておくべき免疫組織化学染色のすべて	¥3,520
	Vol. 52#9 (2017) 大腸スクリーニングの現状と将来展望	¥3,520
	Vol. 52#10 (2017) 胃粘膜下腫瘍の診断と治療	¥3,520
	Vol. 52#11 (2017) 非特異性多発性小腸潰瘍症/CEAS－遺伝子異常と	¥3,520
	Vol. 52#12 (2017)　大腸小・微小病変に対するcold polypectomyの意義と	¥3,520
	Vol. 52#13 (2017) 咽頭・頸部食道癌の診断と治療	¥3,520
	Vol. 53#1 (2018) 胃型形質の低異型度分化型胃癌	¥3,520
	Vol. 53#2 (2018) IBDの内視鏡的粘膜治癒－評価法と臨床的意義	¥3,520
	Vol. 53#3 (2018) 好酸球性食道炎の診断と治療	¥3,520
	Vol. 53#4 (2018)　腸管感染症－最新の話題を含めて	¥3,520
	Vol. 53#5 (2018) 増刊号 早期胃癌2018	¥7,920
	Vol. 53#6 (2018) 小腸出血性疾患の診断と治療－最近の進歩	¥3,520
	Vol. 53#7 (2018) 知っておきたい直腸肛門部病変	¥3,520
	Vol. 53#8 (2018) 対策型胃内視鏡検診の現状と問題点	¥3,520
	Vol. 53#9 (2018) 消化管画像の成り立ちを知る	¥3,520
	Vol. 53#10 (2018) 食道表在癌の拡大内視鏡診断－食道学会分類を検	¥3,520
	Vol. 53#11 (2018) 胃拡大内視鏡が変えたclinical practice	¥3,520
	Vol. 53#12 (2018) 知っておきたい十二指腸病変	¥3,520

	Vol. 53#13 (2018) EUSによる消化管疾患の診断－現状と最新の話題		¥3,520
	Vol. 54#1 (2019) 大腸内視鏡拡大観察の基本と最新知見		¥3,520
	Vol. 54#2 (2019) 胃・十二指腸内視鏡拡大観察の基本と最新知見		¥3,520
	Vol. 54#3 (2019) 咽頭・食道内視鏡拡大観察の基本と最新知見		¥3,520
	Vol. 54#4 (2019) 知っておきたい小腸疾患		¥3,520
	Vol. 54#5 (2019) 増刊号 消化管疾患の分類2019		¥7,920
	Vol. 54#6 (2019) 隆起型早期大腸癌の病態と診断		¥3,520
	Vol. 54#7 (2019) A型胃炎－最新の知見		¥3,520
	Vol. 54#8 (2019) 十二指腸腺腫・癌の診断		¥3,520
	Vol. 54#9 (2019) 消化管X線造影検査のすべて－撮影手技の実際と読		¥3,520
	Vol. 54#10 (2019) 知っておきたい特殊な食道腫瘍・腫瘍様病変		¥3,520
	Vol. 54#11 (2019) 大腸腫瘍の病理診断の課題と将来展望		¥3,520
	Vol. 54#12 (2019) 上部消化管感染症－最近の話題を含めて		¥3,520
	Vol. 54#13 (2019) 遺伝子・免疫異常に伴う消化管病変－最新のトピック		¥3,520
	Vol. 55#1 (2020年1月) 早期胃癌の範囲診断up to date		¥3,520
	Vol. 55#2 (2020年2月) 潰瘍性大腸炎関連腫瘍－診断・治療の現状と課		¥3,520
	Vol. 55#3 (2020年3月) いま知っておきたい食道良性疾患		¥3,520
	Vol. 55#4 (2020年4月) 内視鏡医も知っておくべき病理診断リファレンス		¥3,520
	Vol. 55#5 (2020年5月) 増刊号 消化管腫瘍の内視鏡診断2020		¥7,920
	Vol. 55#6 (2020年5月) スキルス胃癌－病態と診断・治療の最前線		¥3,520
	Vol. 55#7 (2020年6月) 薬剤関連消化管病変のトピックス		¥3,520
	Vol. 55#8 (2020年7月) H. pylori未感染胃の上皮性腫瘍		¥3,520
	Vol. 55#9 (2020年8月) 一度見たら忘れられない症例		¥3,520
	Vol. 55#10 (2020年9月) 食道SM扁平上皮癌治療の新展開		¥3,520
	Vol. 55#11 (2020年10月) 小腸腫瘍アトラス		¥3,520
	Vol. 55#12 (2020年11月) 高齢者早期胃癌ESDの現状と問題点		¥3,520
	Vol. 55#13 (2020年12月) 大腸鋸歯状病変の新展開		¥3,520
	Vol. 56#1 (2021年1月) 早期胃癌内視鏡治療・適応のUPDATE		¥3,520
	Vol. 56#2 (2021年2月) Barrett食道腺癌の内視鏡診断と治療2021		¥3,520
	Vol. 56#3 (2021年3月) 内視鏡医も知っておくべき病理診断リファレンス		¥3,520
	Vol. 56#4 (2021年4月) 消化管疾患AI診断の現状		¥3,520
	Vol. 56#6 (2021年5月) 上部消化管非腫瘍性ポリープの内視鏡所見と病		¥3,520
	Vol. 56#7 (2021年6月) 食道胃接合部腺癌の診断2021		¥3,520
	Vol. 56#8 (2021年7月) 早期大腸癌内視鏡治療の新展開		¥3,520
	Vol. 56#9 (2021年8月)「胃と腸」式 読影問題集－考える画像診断が身		¥3,520
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
237	**IVR Interventional Radiology（日本IVR学会）**		
	Vol. 21-24 (2006-2009) 各1-4号	各号	¥2,420
238	**医薬品研究（日本公定書協会）**		
	Vol. 31-40 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥2,670
239	**医薬品相互作用研究 Journal of Drug Interaction Research（医薬品相互作用研究会）**		
	Vol. 25-29 (2001/2002-2005/2006) 各1-4号	各号	¥1,650
	Vol. 30#1-3 (2006)	各号	¥1,650
	Vol. 31#1-3 (2007)	各号	¥1,650
	Vol. 32#1-3 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 33#1,2 (2009/2010)	各号	¥1,650
240	**医薬ジャーナル（医薬ジャーナル社）**		
	Vol. 42-45 (2006-2009) 各1-12号	各号	¥2,750
241	**JABTS : New Wave of Breast and Thyroid Sonology (The Japan Association of Breast and Thyroid Sonology)**		
	Vol. 4#1 (2001)		¥3,300
	Vol. 8#2 (2005)		¥3,300
	Vol. 10-12 (2007-2009) 各1-2号	各号	¥3,300

242	**JACT出版**		
	世界における相補・代替医療の現況と問題点　渥美和彦著　2000年10月		¥3,300
243	**Japan Echo (Japan Echo)**		
	Vol. 20-23 (1993-1996) 各1-4,Supplement	各号	¥1,650
	Vol. 24-25 (1997-1998) 各1-5.Supplement	各号	¥1,650
244	**Japanese Journal of Antibiotics (日本抗生物質学術協議会)**		
	Vol. 53-54 (2000-2001) 各1-12号	各号	¥1,540
	Vol. 55-64 (2002-2011) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 66#2-6 (2013)	各号	¥1,760
	Vol. 67#1 (2014)		¥1,760
245	**Japanese Journal of Endourology and ESWL (日本Endourology・ESWL学会)**		
	Vol. 17-18,20,23 (2004-2010) 各1-3号	各号	¥5,500
	Vol. 21#1-4 (2008); 24#1 (2011)	各号	¥5,500
246	**The Japanese Journal of Orthodontics 日本矯正歯科協会学術雑誌 (日本矯正歯科協会)**		
	Vol. 1-6,8 (2004-2010)	各巻	¥3,300
247	**Japanese Journal of Sports Sciences (日本バイオメカニクス学会)**		
	Vol. 1#1,4-6 (1982)	各号	¥1,603
	Vol. 2#1,2,4-8,10-12 (1983)	各号	¥1,603
	Vol. 3#1,2,4,7,9-11 (1984)	各号	¥1,603
	Vol. 4#1-4,6,7,11 (1985)	各号	¥1,603
	Vol. 5#2,3,6,7,10-12 (1986)	各号	¥1,603
	Vol. 6#1-10 (1987)	各号	¥1,603
	Vol. 7#1-9,11,12 (1988)	各号	¥1,603
	Vol. 8#1-6,9-12 (1989)	各号	¥1,603
	Vol. 9#1-6,9-12 (1990)	各号	¥1,603
	Vol. 10#2-4,6-8,10 (1991)	各号	¥1,603
	Vol. 11#1,3,5,8,10,11 (1992)	各号	¥1,603
	Vol. 12#1,2,4,5,7,9,11,12 (1993)	各号	¥1,603
	Vol. 13#1,2,4 (1994)	各号	¥1,603
	Vol. 14#1-3,5,6 (1995)	各号	¥1,603
	Vol. 15#2-5 (1996)	各号	¥1,603
248	**ジャパンオーラルヘルス学会誌 (ジャパンオーラルヘルス学会)**		
	※Vol.1-12 (1999-2017)→日本歯科人間ドック学会誌 (日本歯科人間ド		
	Vol. 13#1 (2018)		¥3,300
	Vol. 14#1 (2019)		
249	**JARMAM 臨床微生物迅速診断研究会誌 (臨床微生物迅速診断研究会)**		
	Vol. 11-16 (2000-2005) 各1-2号	各号	¥2,200
250	**Java World 月刊ジャバワールド**		
	Vol. 3#2-11 (1999)	各号	¥1,650
	Vol. 4#3,4,6 (2000)	各号	¥1,650
	Vol. 6#1-12 (2002)	各号	¥1,650
251	**JHAC 日本病院会病院管理者協議会会誌**		
	Vol. 8-11 (2002-2006) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 14#2 (2009)		¥2,200
252	**耳鼻咽喉科展望 (耳鼻咽喉科展望会)**		
	Vol. 1-10 (1958-1967) 各1-4号 & Supplements	各号	¥3,300
	Vol. 11-55 (1968-2012) 各1-6号 & Supplements	各号	¥3,300
	Vol. 56 (2013) 1,4,6,Supplements1,2	各号	¥3,300
	Vol. 57#1-6 (2014)	各号	¥3,300
	Vol. 58#1,6 (2015)	各号	¥3,300
	Vol. 59#1 (2016)		¥3,300

253 耳鼻咽喉科･頭頸部外科 (医学書院)

	Vol. 1-16 (1928-1943) 各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 17#1,2,5,6 (1944)	各号	¥2,860
	Vol. 18#1 (1945)		¥2,860
	Vol. 20#1-6 (1948)	各号	¥2,860
	Vol. 21#1,2,4-8 (1949)	各号	¥2,860
	Vol. 22#2,6-12 (1950)	各号	¥2,860
	Vol. 23#1-12 (1951)	各号	¥2,860
	Vol. 24-30 (1952-1958) 各1-13号	各号	¥2,860
	Vol. 31-61 (1959-1989) 各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 62#1-9,11-13 (1990)	各号	¥2,420
	Vol. 62#10 (1990) 増刊号 頭頸部腫瘍		¥4,620
	Vol. 63#1-10,12-13 (1991)	各号	¥2,420
	Vol. 63#11 (1991) 増刊号 外来診療マニュアル-私はこうしている-		¥4,950
	Vol. 64#1-10,12-13 (1992)	各号	¥2,420
	Vol. 64#11 (1992) 耳鼻咽喉科･頭頸部外科 症候群事典		¥5,280
	Vol. 65#1-10,12-13 (1993)	各号	¥2,530
	Vol. 66#1-10,12-13 (1994)	各号	¥2,530
	Vol. 66#11 (1994) 耳鼻･頭頸部外科領域 腫脹の診断		¥5,280
	Vol. 67#1 (1995) 耳鼻咽喉･頭頸部領域のスポーツ外傷		¥2,640
	Vol. 67#2,4-6,8,9,12,13 (1995)	各号	¥2,640
	Vol. 67#3 (1995) 日帰り手術		¥2,640
	Vol. 67#7 (1995) 下咽頭･頸部食道癌の治療とその成績		¥2,640
	Vol. 67#10 (1995) ウェゲナー肉芽腫症		¥2,640
	Vol. 67#11 (1995) 耳鼻･頭頸部外科領域の画像診断		¥6,600
	Vol. 68#1-7,9,10,12,13 (1996)	各号	¥2,640
	Vol. 68#8 (1996) 聴神経腫瘍		¥2,640
	Vol. 68#11 (1996) 耳鼻･頭頸部外科 手術マニュアル		¥7,480
	Vol. 69#1,3-5,7-11,13 (1997)	各号	¥2,640
	Vol. 69#2 (1997) 口腔疾患の診断と治療		¥2,640
	Vol. 69#6 (1997) 増刊号 外傷と耳鼻咽喉科		¥7,480
	Vol. 69#12 (1997) 頭頸部領域の乳頭腫		¥2,640
	Vol. 70#1-4,7,9,11,13 (1998)	各号	¥2,750
	Vol. 70#5 (1998) 増刊号 高齢者の耳鼻咽喉科･頭頸部疾患		¥7,480
品切	Vol. 70#6 (1998) ベル麻酔の診断と治療-最近の知見-		¥2,750
	Vol. 70#8 (1998) 頭頸部癌-私の治療方針と成績(その1)		¥2,750
	Vol. 70#10 (1998) 頭頸部癌-私の治療方針と成績(その2)		¥2,750
	Vol. 70#12 (1998) 頭頸部癌-私の治療方針と成績(その3)		¥2,750
	Vol. 71#1-4,6-9,11,13 (1999)	各号	¥2,750
品切	Vol. 71#5 (1999) 増刊号 再建外科		¥7,700
	Vol. 71#10 (1999) めまいー私の考え方ー		¥2,750
	Vol. 71#12 (1999) ことばの障害と耳鼻咽喉科		¥2,750
	Vol. 72#1 (2000) 耳鼻咽喉科と奇形		¥2,750
	Vol. 72#2,4,6-10,13 (2000)	各号	¥2,750
	Vol. 72#3 (2000) 結核と耳鼻咽喉科		¥2,750
	Vol. 72#5 (2000) 増刊号 全身疾患と耳鼻咽喉科		¥7,700
	Vol. 72#11 (2000) 耳鼻咽喉科･頭頸部外科領域のレーザー..		¥2,750
	Vol. 72#12 (2000) 補聴器とその適合		¥2,750
	Vol. 73#1,3,7-9,11,13 (2001)	各号	¥2,860
	Vol. 73#2 (2001) 今話題の花粉症		¥2,860
	Vol. 73#4 (2001) クリニカルパスとその周辺		¥2,860
	Vol. 73#5 (2001) 増刊号 耳鼻咽喉科･頭頸部外科領域の新しい機械'		¥7,920
	Vol. 73#6 (2001) 耳鼻咽喉科･頭頸部外科と遺伝子解析		¥2,860
	Vol. 73#10 (2001) 嚥下障害		¥2,860
	Vol. 73#12 (2001) 心身医学と耳鼻咽喉科		¥2,860

	Vol. 74#1 (2002) 院内感染の現況とその取り扱い		¥2,860
	Vol. 74#2 (2002) めまいの治療		¥2,860
	Vol. 74#3,4,7,8,10 (2002)	各号	¥2,860
	Vol. 74#5 (2002) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頚部外科における手術の危険		¥7,920
	Vol. 74#6 (2002) 私のクリニック		¥2,860
	Vol. 74#9 (2002) 難治性副鼻腔炎の治療		¥2,860
	Vol. 74#11 (2002) 小児の人口内耳		¥2,860
	Vol. 74#12 (2002) 急性感音難聴		¥2,860
	Vol. 74#13 (2002) 身体障害者福祉法と耳鼻咽喉科		¥2,860
	Vol. 75#1,3,4,6,7,10,12 (2003)		¥2,860
	Vol. 75#2 (2003) 薬物による聴覚障害		¥2,860
	Vol. 75#5 (2003) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の機能検査―何がど		¥8,360
	Vol. 75#8 (2003) 耳鼻咽喉科領域の皮膚・粘膜疾患		¥2,860
	Vol. 75#9 (2003) いびきの治療		¥2,860
	Vol. 75#11 (2003) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるナビゲーション手術		¥2,860
	Vol. 75#13 (2003) 電子カルテの現在と将来		¥2,860
	Vol. 76#1,11,12 (2004)	各号	¥2,860
	Vol. 76#2 (2004) 人工聴覚手術の現況		¥2,860
	Vol. 76#3 (2004) 好酸球性中耳炎		¥2,860
	Vol. 76#4 (2004) 画像・動画の保存とプレゼンテーション		¥2,860
	Vol. 76#5 (2004) 増刊号 上気道アレルギーを診る		¥8,800
	Vol. 76#6 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている1		¥2,860
	Vol. 76#7 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている2,3		¥2,860
	Vol. 76#8 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている4,5		¥2,860
	Vol. 76#9 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている6		¥2,860
	Vol. 76#10 (2004) 頭頸部癌の治療指針私たちはこうしている7		¥2,860
	Vol. 76#13 (2004) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の癌化学療法レジメン		¥2,860
	Vol. 77#1 (2005) 顔面神経麻痺		¥2,860
	Vol. 77#2,9,13 (2005)	各号	¥2,860
品切	Vol. 77#3 (2005) 味覚・嗅覚障害		¥2,860
	Vol. 77#4 (2005) 耳鼻咽喉科領域の異物とその摘出法		¥2,860
	Vol. 77#5 (2005) 増刊号 聴力改善手術		¥8,800
	Vol. 77#6 (2005) 嚢胞性疾患		¥2,860
	Vol. 77#7 (2005) 補聴器に関する最近の変化		¥2,860
品切	Vol. 77#8 (2005) 頸部リンパ節腫脹		¥2,860
品切	Vol. 77#10 (2005) 嗄声の診断と治療		¥2,860
	Vol. 77#11 (2005) 副鼻腔炎		¥2,860
品切	Vol. 77#12 (2005) 耳管機能検査		¥2,860
	Vol. 78#1 (2006) 耳鼻咽喉科とウイルス		¥2,860
	Vol. 78#2 (2006) 耳鼻咽喉科領域の疼痛		¥2,860
	Vol. 78#3 (2006) 突発性難聴の今		¥2,860
	Vol. 78#4 (2006) 甲状腺疾患の診断と治療		¥2,860
	Vol. 78#5 (2006) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科症候群事典		¥8,800
	Vol. 78#6,8,10,12 (2006)	各号	¥2,860
	Vol. 78#7 (2006) 知っておきたい耳鼻咽喉科疾患の病理		¥2,860
	Vol. 78#9 (2006) 耳鼻咽喉科疾患と高齢者（65 歳以上）への対応		¥2,860
	Vol. 78#11 (2006) スポーツと耳鼻咽喉科疾患		¥2,860
	Vol. 78#13 (2006) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ―手術手技と		¥2,860
	Vol. 79#1 (2007) 頭頸部領域の温度外傷・化学的腐食の取り扱い		¥2,860
	Vol. 79#2 (2007) 抗菌薬のファースト・チョイス		¥2,860
	Vol. 79#3,6,10,12,13 (2007)	各号	¥2,860
	Vol. 79#4 (2007) 耳鼻咽喉科領域の真菌感染の治療		¥2,860
	Vol. 79#5 (2007) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科のリハビリテーション		¥8,800
	Vol. 79#7 (2007) 新生児聴覚検診の役割		¥2,860
	Vol. 79#8 (2007) 内耳障害に対する新しい治療法(蛋白治療)		¥2,860
	Vol. 79#9 (2007) 耳鼻咽喉科関連の資格等の取得について		¥2,860
	Vol. 79#11 (2007) 頭頸部癌に対する超選択的動注化学放射線治療法		¥2,860

	Vol. 80#1 (2008) 耳鼻咽喉科専門研修を始める医師へ 症例報告発表･		¥2,860
	Vol. 80#2,3,6,7,9,11 (2008)	各号	¥2,860
	Vol. 80#4 (2008) 女性と耳鼻咽喉科疾患		¥2,860
	Vol. 80#5 (2008) 増刊号 オフィスサージャリー･ショートステイサージャリ		¥8,800
	Vol. 80#8 (2008) 嚥下障害手術のコツ		¥2,860
	Vol. 80#10 (2008) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ−疾患とその処		¥2,860
	Vol. 80#12 (2008) 耳鼻咽喉科とチーム医療の実践(1)小児難聴児への		¥2,860
	Vol. 80#13 (2008) 聴神経腫瘍の治療：症例呈示と治療原則		¥2,860
	Vol. 81#1 (2009) 耳鼻咽喉科チーム医療の実践(2)糖尿病合併症者のス		¥2,860
	Vol. 81#2 (2009)		¥2,860
	Vol. 81#3 (2009) 診療所で必要な救急処置		¥2,860
	Vol. 81#4 (2009) 耳鼻咽喉科チーム医療の実践(3) ①頭頸部腫瘍術後		¥2,860
	Vol. 81#5 (2009) 増刊号 頭頸部再建外科 日常臨床から理論まで		¥8,800
	Vol. 81#6 (2009) リスクマネジメント		¥2,860
	Vol. 81#7 (2009) 最近の頭頸部癌治療		¥2,860
	Vol. 81#8,9 (2009)	各号	¥2,860
	Vol. 81#10 (2009) 放射線治療における有害事象		¥2,860
	Vol. 81#11 (2009) 聴覚障害を生じる薬物		¥2,860
	Vol. 81#12 (2009) 外来手技とインシデント･アクシデント		¥2,860
	Vol. 81#13 (2009) 知っておきたい臨床解剖		¥2,860
	Vol. 82#1 (2010) 急性感音難聴の取り扱い		¥2,860
	Vol. 82#2 (2010) 経過中に自己免疫性膵炎を合併したIgG4関連硬化症		¥2,860
	Vol. 82#3 (2010) 診療ガイドライン･診療の手引き概要		¥2,860
	Vol. 82#4 (2010) 人工内耳医療の動向―両側人工内耳と補聴器併用型		¥2,860
	Vol. 82#5 (2010) 増刊号 耳鼻咽喉科･頭頸部外科の検査マニュアル―		¥8,800
	Vol. 82#6 (2010) 耳鼻咽喉科領域の術後機能評価		¥2,860
	Vol. 82#7 (2010) 耳鼻咽喉科領域と感染症		¥2,860
	Vol. 82#8 (2010) 急激に骨導閾値上昇を示した外リンパ瘻の症例		¥2,860
	Vol. 82#9 (2010) 耳介から耳前部に生じた動静脈奇形の1例		¥2,860
	Vol. 82#10 (2010) 好酸球関連の病変		¥2,860
	Vol. 82#11 (2010) 表在癌の新しい対応		¥2,860
	Vol. 82#12 (2010) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ―書類作成と		¥2,860
	Vol. 82#13 (2010) 耳鼻咽喉科における心因性疾患とその対応		¥2,860
	Vol. 83#1 (2011) めまい 最近のトピックス		¥2,860
	Vol. 83#2 (2011) 診療所における工夫 私はこうしている		¥2,860
	Vol. 83#3 (2011) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ―疼痛への対		¥2,860
	Vol. 83#4 (2011) 特殊疾患への対応		¥2,860
	Vol. 83#5 (2011) 増刊号 耳鼻咽喉科感染症の完全マスター		¥8,800
	Vol. 83#6 (2011) 最新技術―補聴器と人工中耳･人工内耳		¥2,860
	Vol. 83#7 (2011) こんなときどうする？―頭頸部外科編		¥2,860
	Vol. 83#8 (2011) 知っておきたい唾液腺疾患		¥2,860
	Vol. 83#9 (2011) こんなときどうする？―耳科手術編		¥2,860
	Vol. 83#10 (2011) これを読めばPETがわかる		¥2,860
	Vol. 83#11 (2011) こんなときどうする？−鼻科手術編		¥2,860
	Vol. 83#12 (2011) 知っておきたい皮膚科の知識−専門医の診方･治し方		¥2,860
	Vol. 83#13 (2011) 治りにくい症状への対応		¥2,860
	Vol. 84#1 (2012) 日常診療で遭遇するトラブルへの対応		¥2,860
	Vol. 84#2 (2012) ワクチン		¥2,860
	Vol. 84#3 (2012) 知っておきたい精神神経科の知識−専門医の診方･治		¥2,860
	Vol. 84#4 (2012) 最新の漢方診療		¥2,860
	Vol. 84#5 (2012) 増刊号 最新の診療NAVI 日常診療必携		¥8,800
	Vol. 84#6 (2012) 耳鼻咽喉科手術におけるナビゲーションとモニタリング		¥2,860
	Vol. 84#7 (2012) 診療ガイドラインのエッセンスとその活用法		¥2,860
	Vol. 84#8 (2012) 耳鼻咽喉科領域のアンチエイジング		¥2,860
	Vol. 84#9 (2012) HPV･EBVと頭頸部腫瘍		¥2,860
	Vol. 84#10 (2012) 睡眠医学と耳鼻咽喉科／知っておきたい眼科の知識		¥2,860
品切	Vol. 84#11 (2012) 扁桃とアデノイドUpdate		¥2,860

	Vol. 84#12 (2012) 耳鼻咽喉科疾患と遺伝子/知っておきたい小児科の	¥2,860
	Vol. 84#13 (2012) メニエール病Update	¥2,860
	Vol. 85#1 (2013) 花粉症の治療－新たな展開	¥2,860
	Vol. 85#2 (2013) ここまでできる外来手術	¥2,860
	Vol. 85#3 (2013) 知っておきたい放射線治療の新しい知識／コンビーム	¥2,860
	Vol. 85#4 (2013) 身につけたいリハビリテーションの最新スキル	¥2,860
	Vol. 85#5 (2013) 増刊号 急患･急変　対応マニュアル	¥8,800
	Vol. 85#6 (2013) 耳管機能障害Update／知っておきたい神経内科の知	¥2,860
	Vol. 85#7 (2013) 分子標的薬時代の耳鼻咽喉科診療－処方するとき、服	¥2,860
	Vol. 85#8 (2013) 甲状腺･副甲状腺診療Update／知っておきたい呼吸器	¥2,860
	Vol. 85#9 (2013) 局所副腎皮質ステロイドの正しい使い方	¥2,860
	Vol. 85#10 (2013) 院内感染を防ぐ／知っておきたい消化管疾患の知識	¥2,860
	Vol. 85#11 (2013) 帰してはいけない耳鼻咽喉科外来患者	¥2,860
品切	Vol. 85#12 (2013) においと嗅覚障害／耳鼻咽喉科領域のジェネリック医	¥2,860
	Vol. 85#13 (2013) 耳鼻咽喉科･頭頸部外科領域疾患の最新疫学	¥2,860
	Vol. 86#1 (2014) 耳鼻咽喉科･頭頸部外科領域の最新トピックス	¥2,860
	Vol. 86#2 (2014) 小児難聴Update	¥2,860
	Vol. 86#3 (2014) アレルギー用薬の上手な使い方/知っておきたい血液	¥2,860
	Vol. 86#4 (2014) 音声外科Update	¥2,860
	Vol. 86#5 (2014) 増刊号 画像診断パーフェクトガイド 読影のポイントとピ	¥8,800
	Vol. 86#6 (2014) 学校保健と耳鼻咽喉科／歯科口腔外科の話題	¥2,860
	Vol. 86#7 (2014) 鼻副鼻腔内視鏡手術Update	¥2,860
	Vol. 86#8 (2014) 特殊な外耳･中耳炎の治療／特集2　緩和医療･支持	¥2,860
	Vol. 86#9 (2014) 前庭機能検査の新展開	¥2,860
	Vol. 86#10 (2014) 咽頭癌･頸部食道癌の治療戦略Update	¥2,860
	Vol. 86#11 (2014) インフルエンザ	¥2,860
品切	Vol. 86#12 (2014) 良性発作性頭位めまい症Update/創管理の最前線?	¥2,860
	Vol. 86#13 (2014) 口腔粘膜の難治疾患への対応法	¥2,860
	Vol. 87#1 (2015) 新しい治療機器	¥2,860
	Vol. 87#2 (2015) 膿瘍-マネジメントとピットフォール	¥2,860
	Vol. 87#3 (2015) 痛みの鑑別診断	¥2,860
	Vol. 87#4 (2015) 最新の補聴器診療－補聴器による聴覚リハビリテーショ	¥2,860
	Vol. 87#5 (2015) 増刊号 こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術	¥8,800
	Vol. 87#6 (2015) 注意すべき真菌症診療の落とし穴	¥2,860
品切	Vol. 87#7 (2015) All　about頭頸部再建-多彩な皮弁を使いこなす！	¥2,860
	Vol. 87#8 (2015) 突発性難聴とその周辺疾患/味と味覚障害の最前線	¥2,860
	Vol. 87#9 (2015) 外来で要注意！ アレルギー周辺疾患／今また結核を	¥2,860
	Vol. 87#10 (2015) 長引く咳を診る	¥2,860
	Vol. 87#11 (2015) 心へのアプローチー心療耳鼻咽喉科外来	¥2,860
	Vol. 87#12 (2015) これだけは知っておこうー鼻出血への対応法	¥2,860
	Vol. 87#13 (2015) 漢方薬を使いこなす	¥2,860
	Vol. 88#1 (2016) 小児の中耳炎を究める	¥2,970
	Vol. 88#2 (2016) 特集①走り出した舌下免疫療法ー現況と展望 特集②	¥2,970
	Vol. 88#3 (2016) 新しい指定難病制度を理解する	¥2,970
	Vol. 88#4 (2016) 嚥下障害の完全マスター	¥2,970
品切	Vol. 88#5 (2016) 増刊号 耳鼻咽喉科処方マニュアル	¥8,800
品切	Vol. 88#6 (2016) いまさら聞けない聴覚検査のABC	¥2,970
品切	Vol. 88#7 (2016) 顔面神経麻痺ー新たな展開	¥2,970
	Vol. 88#8 (2016) もう困らない！異物摘出マニュアル	¥2,970
	Vol. 88#9 (2016) 頸部腫瘤を見極める	¥2,970
	Vol. 88#10 (2016) 外リンパ瘻診療の新しい展開	¥2,970
品切	Vol. 88#11 (2016) 頸部郭清術のNew Concept	¥2,970
	Vol. 88#12 (2016) 外来に必須！外用薬の上手な使い方	¥2,970
	Vol. 88#13 (2016) 聴神経腫瘍診療のNew Concept	¥2,970
	Vol. 89#1 (2017) めまい診療のNew Trend	¥2,970
	Vol. 89#2 (2017) こどもの上手な診かた	¥2,970
	Vol. 89#3 (2017) 女性と耳鼻咽喉科ー診療のポイント	¥2,970

	Vol. 89#4 (2017) 内視鏡手術の上達ポイント	¥2,970
	Vol. 89#5 (2017) 増刊号 臨床力UP！ 耳鼻咽喉科検査マニュアル	¥8,800
	Vol. 89#6 (2017) 抗菌薬を使いこなす	¥2,970
	Vol. 89#7 (2017) 耳鼻咽喉科で診る睡眠障害	¥2,970
	Vol. 89#8 (2017) ここが知りたい！ 高齢化時代の頭頸部がん診療	¥2,970
	Vol. 89#9 (2017) 自宅でできるリハビリテーションのレシピ	¥2,970
	Vol. 89#10 (2017) レーザー治療の最前線－コツとピットフォール	¥2,970
	Vol. 89#11 (2017) 明日から役立つ頭頸部領域の核医学－最新情報/知	¥2,970
	Vol. 89#12 (2017) 知っておきたい難治性副鼻腔疾患の診療	¥2,970
	Vol. 89#13 (2017) どこが変わった頭頸部がんTNM分類	¥2,970
	Vol. 90#1 (2018) こんなときどうする？ 術中・術後のトラブル対応	¥2,970
	Vol. 90#2 (2018) 耳鳴診療のNew Trend／知っておきたい眼科疾患の知	¥2,970
	Vol. 90#3 (2018) 頭頸部癌に対する薬物療法－最新情報	¥2,970
	Vol. 90#4 (2018) 基本診察・処置・手術のABC	¥2,970
	Vol. 90#5 (2018) 増刊号　患者・家族への説明ガイド	¥8,800
	Vol. 90#6 (2018) 目からウロコ 内視鏡時代の臨床解剖	¥2,970
	Vol. 90#7 (2018) 知っておきたい麻酔の知識	¥2,970
	Vol. 90#8 (2018) 知っておきたい遺伝学的検査と遺伝外来ABC	¥2,970
	Vol. 90#9 (2018) 知っておきたい顎顔面形成外科の知識	¥2,970
	Vol. 90#10 (2018) どこが変わった頭頸部癌診療ガイドライン	¥2,970
	Vol. 90#11 (2018) 今さら聞けないかぜ診療のABC	¥2,970
	Vol. 90#12 (2018) 見逃してはならない耳鼻咽喉科疾患	¥2,970
	Vol. 90#13 (2018) 扁桃診療最前線－扁桃を取り巻く諸問題	¥2,970
	Vol. 91#1 (2019) 役に立つ！ アレルギー診療の最新情報	¥2,970
	Vol. 91#2 (2019) ここまできた！ 頭頸部希少癌の治療戦略	¥2,970
	Vol. 91#3 (2019) 一側性難聴の現状とその対応	¥2,970
	Vol. 91#4 (2019) 初診時に必要十分な 問診・検査オーダー虎の巻	¥2,970
	Vol. 91#5 (2019) 増刊号　救急・当直マニュアル　いざというときの対応法	¥8,800
	Vol. 91#6 (2019) 細菌感染に立ち向かう　抗菌薬使用の新常識	¥2,970
	Vol. 91#7 (2019) 甲状腺腫瘍の診療最前線	¥2,970
	Vol. 91#8 (2019) 耳管診療の手引き　基本から最新治療まで	¥2,970
	Vol. 91#9 (2019) 内視鏡下鼻副鼻腔手術	¥2,970
	Vol. 91#10 (2019) 嚥下障害を診る！ プロに学ぶ実践スキル	¥2,970
	Vol. 91#11 (2019) 進化する経外耳道的内視鏡下耳科手術（TEES）	¥2,970
	Vol. 91#12 (2019) 診療で役に立つ味覚・嗅覚障害の知識	¥2,970
	Vol. 91#13 (2019) 舌がん・口腔がん治療の最前線	¥2,970
	Vol. 92#1 (2020年1月) 補聴器と人工聴覚器の最前線2020	¥2,970
	Vol. 92#2 (2020年2月) カラーアトラス 口腔・咽頭粘膜疾患	¥2,970
品切	Vol. 92#3 (2020年3月) 頸部エコーを使いこなす	¥2,970
	Vol. 92#4 (2020年4月) 耳鼻咽喉科医が知っておくべきワクチン医療	¥2,970
	Vol. 92#5 (2020年増刊号) フローチャートと検査一覧で　ひと目でわかる	¥8,800
	Vol. 92#6 (2020年5月) 高齢者のめまいを治す	¥2,970
	Vol. 92#7 (2020年6月) 耳鼻咽喉科領域の外傷を診る！	¥2,970
	Vol. 92#8 (2020年7月) エキスパートに学ぶ手術記録の描き方	¥2,970
	Vol. 92#9 (2020年8月) 唾液腺腫瘍の診療最前線	¥2,970
	Vol. 92#10 (2020年9月) 今さら聞けない自己免疫疾患の基礎知識	¥2,970
	Vol. 92#11 (2020年10月) Voiceを診る－音声障害を知ろう！	¥2,970
	Vol. 92#12 (2020年11月) 漢方医学入門	¥2,970
	Vol. 92#13 (2020年12月) 達人による頭頸部がん拡大切除	¥2,970
	Vol. 93#1 (2021年1月) 好酸球性副鼻腔炎up-to-date	¥2,970
	Vol. 93#2 (2021年2月) 新型コロナウイルス感染症－備え、守り、治す	¥2,970
	Vol. 93#3 (2021年3月) カラーアトラス 基本から学ぶ病理組織の見方	¥2,970
	Vol. 93#4 (2021年4月) あたらしい聴覚・平衡機能検査の見方と臨床応	¥2,970
	Vol. 93#6 (2021年5月) 遠隔医療の”いま”と”これから”	¥2,970
	Vol. 93#7 (2021年6月) 必見！頭頸部がんのあたらしい治療	¥2,970
	Vol. 93#8 (2021年7月) 小児難聴を究める！	¥2,970
	Vol. 93#9 (2021年8月) 副腎皮質ステロイドーどこに注意し、どう使う？	¥2,970

	Vol. 93#10 (2021年9月) 知っておきたい 効果的なリハビリテーション		¥2,970
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
254	**耳鼻と臨床（耳鼻と臨床会）**		
	Vol. 1-17 (1955-1971) 各1-4号 & supplements	各号	¥3,300
	Vol. 18-58 (1972-2012) 各1-6号 & supplements	各号	¥3,300
	文献集号 Vol. 19-58 (1973-2012)	各号	¥3,300
255	**児童文学研究（日本児童文学学会）**		
	No. 38-43 (2005-2010)	各号	¥2,200
256	**児童青年精神医学とその近接領域（日本児童青年精神医学会）**		
	Vol. 24-28 (1983-1987) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 29#1-6 (1988)	各号	¥3,300
	Vol. 30-40 (1989-1999) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 41#1-5,Supplement (2000)	各号	¥3,300
	Vol. 42#1-5 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 43-49 (2002-2008) 各1-5号,Supplement	各号	¥3,300
	Vol. 50#1-5,Supplement,50周年記念特集号 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 51-54 (2010-2013) 各1-5号,Supplement,総会抄録集	各号	¥3,300
	Vol. 55-61 (2014-2020) 各1-5号	各号	¥3,300
257	**児童精神医学とその近接領域**		
	Vol. 1-3 (1960-1962) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 4#1,4 (1963)	各号	¥3,300
	Vol. 4#2/3 (1963)		¥6,600
	Vol. 5-7 (1964-1966) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 8,10-23 (1967-1982) 各1-5号	各号	¥3,300
258	**自動車技術 Journal of Society of Automotive Engineeris of Japan（自動車技術会）**		
	Vol. 54#3-12 (2000)	各号	¥2,750
	Vol. 55-57 (2001-2003) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 58#1,2,10-12 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 59-65 (2005-2011) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 66#1-3 (2012)	各号	¥2,750
259	**実験動物 Experimental Animals（日本実験動物学会）**		
	Vol. 1-10 (1952-1961) 各1-6号	各号	¥1,100
	Vol. 11-47 (1962-1998) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 48-50 (1999-2001) 各1-5号	各号	¥2,200
	Vol. 52-57 (2003-2008) 各1-5号	各号	¥2,200
260	**実験医学 Experimental Medicine（羊土社）**		
	Vol. 32#1,3,6,8,11,13,14,16,18,19 (2014)	各号	¥2,200
	Vol. 32#2,10,12,15,20 (2014)	各号	¥5,940
261	**実験社会心理学研究（日本グループ･ダイナミックス学会）**		
	Vol. 33-35 (1993/1994-1995/96) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 36-54 (1996-2014/2015) 各1-2号	各号	¥3,300

262 JIM: Journal of Integrated Medicine (医学書院)

	Vol. 2#3 (1992) 医師の考え・患者の考え	¥2,420
	Vol. 2#5 (1992) 癌患者の症状を緩和する	¥2,420
	Vol. 2#7 (1992) 外来診療のcontroversies	¥2,420
	Vol. 2#10 (1992) 臨床医のコモンセンス1	¥2,420
	Vol. 3#2 (1993)「シマウマ探し」に陥らない	¥2,420
	Vol. 3#3 (1993) 内科的治療か外科的治療か	¥2,420
	Vol. 3#6 (1993) 作業関連疾患への対応	¥2,420
	Vol. 3#7 (1993) 見逃させている軽い意識障害	¥2,420
	Vol. 3#10 (1993) 一般医が知っておきたい先端医療	¥2,420
	Vol. 3#11 (1993) 肥満の総合診療	¥2,420
	Vol. 4#1 (1994) 日常医薬品の上手な使い方(1)	¥2,420
	Vol. 4#2 (1994) 日常医薬品の上手な使い方(2)	¥2,420
	Vol. 4#3 (1994) 直腸診を見直す	¥2,420
	Vol. 4#5 (1994) スポーツ医学を外来で利用する	¥2,420
	Vol. 4#6 (1994) 動機の全体像を把握する	¥2,420
	Vol. 4#7 (1994) 隠されたアルコール問題を発見する	¥2,420
	Vol. 4#8 (1994) 診察の守備範囲をひろげる	¥2,420
	Vol. 4#9 (1994) 外来のコモンセンス	¥2,420
	Vol. 4#10 (1994) 抗菌薬選択の基準を確立する	¥2,420
	Vol. 4#11 (1994) 高齢者の総合診療	¥2,420
	Vol. 4#12 (1994) 消化器症状へのアプローチ	¥2,420
	Vol. 5#1 (1995) 内科治療のスタンダード	¥2,420
	Vol. 5#2 (1995) 更年期外来	¥2,420
	Vol. 5#3 (1995) 生検ガイドライン	¥2,420
	Vol. 5#4 (1995) 神経疾患エマージェンシー	¥2,420
	Vol. 5#5 (1995) 癌検診のメリット・デメリット	¥2,420
	Vol. 5#6 (1995) 脱水を見逃していないか	¥2,420
	Vol. 5#7 (1995) 在宅医療を成功させる	¥2,420
	Vol. 5#8 (1995) ショック症状への対応	¥2,420
	Vol. 5#9 (1995) コミュニケーション上手な医師になる	¥2,420
品切	Vol. 5#10 (1995) かぜ診療のクオリティを高める	¥2,420
	Vol. 5#11 (1995) 外来診療における画像診断	¥2,420
	Vol. 5#12 (1995) 痴呆の外来診療	¥2,420
品切	Vol. 6#1 (1996) 妊婦が一般外来に来たとき	¥2,420
	Vol. 6#2 (1996) 印象に残る身体所見	¥2,420
	Vol. 6#3 (1996) 治せるけが・うちみ・ねんざ	¥2,420
	Vol. 6#4 (1996) 効果的な食事療法ｶﾞｲﾄﾞ	¥2,420
	Vol. 6#5 (1996) 腹痛診療のガイドラインを求めて	¥2,420
	Vol. 6#6 (1996) 海外渡航者の診療マニュアル	¥2,420
	Vol. 6#7 (1996) 卒後臨床研修へのアドバイス	¥2,420
	Vol. 6#8 (1996) ふるえとけいれん	¥2,420
	Vol. 6#9 (1996) 中毒--一般医はこうして対応する	¥2,420
	Vol. 6#10 (1996) 口の中を診る	¥2,420
品切	Vol. 6#11 (1996) 子供を上手に診るための15ヵ条	¥2,420
	Vol. 6#12 (1996) 診断の難しい体重減少	¥2,420
	Vol. 7#1 (1997) 外来治療のTopics & Evidence '97	¥1,980
	Vol. 7#2 (1997) ポスト急性期ケアの質を高める	¥1,980
品切	Vol. 7#3 (1997) 外来での抗菌薬のベストチョイス	¥1,980
品切	Vol. 7#4 (1997) 貧血診療の疑問に答えて	¥1,980
	Vol. 52#9 (2010) ホスピタリストと病院総合医	¥2,750
	Vol. 7#5 (1997) 診療ガイドラインをガイドする	¥1,980
	Vol. 7#6 (1997) 手・肘・肩の訴えで困ったら	¥1,980
	Vol. 7#7 (1997) 倦怠感(だるさ) への対応	¥1,980
	Vol. 7#8 (1997) 対論 病診連携	¥1,980
	Vol. 7#9 (1997) 気管支喘息治療のガイドラインを活かす	¥1,980
	Vol. 7#10 (1997) 眠れない患者へのアプローチ	¥1,980

品切	Vol. 7#11 (1997) かぜ治療の最前線	¥1,980
	Vol. 7#12 (1997) 死をみとる1週間	¥1,980
品切	Vol. 8#1 (1998) 腰痛診療アップグレード10ヵ条	¥2,090
	Vol. 8#2 (1998) 外来でできる運動処方 最新ｶﾞｲﾄﾞ	¥2,090
	Vol. 8#3 (1998) ひと目でわかる視診所見	¥2,090
	Vol. 8#4 (1998) (胸痛+α) から何を考える	¥2,090
	Vol. 8#5 (1998) いま処方を見直す	¥2,090
	Vol. 8#6 (1998) 夜間診療でみる感染症	¥2,090
品切	Vol. 8#7 (1998) 救急症状への対応10ヵ条	¥2,090
	Vol. 8#8 (1998) 困っている食欲不振	¥2,090
	Vol. 8#9 (1998) 診断室でできる禁煙指導	¥2,090
	Vol. 8#10 (1998) 最新・糖尿病対策	¥2,090
	Vol. 8#11 (1998) 微熱を見分ける	¥2,090
品切	Vol. 8#12 (1998) 誤嚥をどうする	¥2,090
	Vol. 9#1 (1999) 最新・診療ガイドライン	¥2,090
	Vol. 9#2 (1999) 今、なぜ産業医なのか	¥2,090
品切	Vol. 9#3 (1999) 便秘と下痢	¥2,090
	Vol. 9#4 (1999) 必見・総合診療のリーダーたち	¥2,090
	Vol. 9#5 (1999) 在宅高齢者の医療と介護－医師の役割	¥2,090
	Vol. 9#6 (1999) いつ膠原病を疑うか	¥2,090
品切	Vol. 9#7 (1999) リンパ節腫脹を正しく診よう	¥2,090
	Vol. 9#8 (1999) 女の更年期／男の更年期	¥2,090
	Vol. 9#9 (1999) めまいにどう対応するか	¥2,090
	Vol. 9#10 (1999) 日常診断／救急外来で役立つ診断機器・キット	¥2,090
	Vol. 9#11 (1999) インフルエンザに備える	¥2,090
	Vol. 9#12 (1999) 目・耳・鼻・口を診る	¥2,090
	Vol. 10#1 (2000) 診療ガイドライン2000	¥2,200
品切	Vol. 10#2 (2000) 頭痛百科	¥2,200
	Vol. 10#3 (2000) 卒後臨床研修医必必携	¥2,200
	Vol. 10#4 (2000) いつ内分泌疾患を疑うか	¥2,200
	Vol. 10#5 (2000) 背骨に目を向けよう	¥2,200
	Vol. 10#6 (2000) 無敵のダイエット	¥2,200
	Vol. 10#7 (2000) やってみて覚えよう救急医療	¥2,200
	Vol. 10#8 (2000) 夏のスポーツ・メディスン	¥2,200
	Vol. 10#9 (2000) プライマリ・ケアにおける精神症状とその対応	¥2,200
	Vol. 10#10 (2000) 正しい入浴法のすすめ	¥2,200
	Vol. 10#11 (2000) ここまで進んだ自己管理	¥2,200
	Vol. 10#12 (2000) 症例から学ぶ”息苦しさ”への対応	¥2,200
	Vol. 11#1 (2001) めざせ新世紀-20世紀のエビデンスはどうなる	¥2,200
	Vol. 11#2 (2001) プライマリケアで診る脳血管障害	¥2,200
	Vol. 11#3 (2001) 今のままで良いか-日常診療でのコミュニケー	¥2,200
品切	Vol. 11#4 (2001) 浮腫からのクイックアプローチ	¥2,200
	Vol. 11#5 (2001) 今、求められる尿閉・尿失禁への対応	¥2,200
品切	Vol. 11#6 (2001) 外来での子供への薬の使い方	¥2,200
	Vol. 11#7 (2001) 自律神経症状に強くなる	¥2,200
	Vol. 11#8 (2001) プライマリ・ケアにおける性をめぐる問題	¥2,200
	Vol. 11#9 (2001) コモンディジーズとしてのうつ病	¥2,200
	Vol. 11#10 (2001) 高脂血症をどうする	¥2,200
	Vol. 11#11 (2001) 新世紀のかぜ診療	¥2,200
	Vol. 11#12 (2001) プライマリ・ケアにおけるアルコール問題	¥2,200
	Vol. 12#1 (2002) 症例から学ぶクリニカル・ルール	¥2,310
	Vol. 12#2 (2002) 外来診療実習・研修の心得	¥2,310
	Vol. 12#3 (2002) 痴呆患者と患者家族-今日からできる支援を考える	¥2,310
	Vol. 12#4 (2002) 最新・感染症事情	¥2,310
	Vol. 12#5 (2002) プライマリ・ケアで役立つ整形外科的診療	¥2,310
	Vol. 12#6 (2002) 保険診療の心得	¥2,310
	Vol. 12#7 (2002) 意識障害への迅速な対応	¥2,310

Vol. 12#8 (2002) チーム医療を実践する	¥2,310
Vol. 12#9 (2002) 症例が明かす腹痛診療のコツ	¥2,310
Vol. 12#10 (2002) いつ専門医にコンサルトするか-心血管疾患の場合	¥2,310
Vol. 12#11 (2002) 抗菌薬の特徴と使い方のコツ	¥2,310
Vol. 12#12 (2002) Generalist に必要な皮膚科の知識	¥2,310
Vol. 13#1 (2003) 診療ガイドラインーわが国における現状と使い方	¥2,310
Vol. 13#2 (2003) アレルギーの臨床―第一線での診断と治療	¥2,310
Vol. 13#3 (2003) いま日常診療で注目すべき原虫症・寄生虫症	¥2,310
Vol. 13#4 (2003) 健診で異常を指摘された人へのベストガイド	¥2,310
Vol. 13#5 (2003) 卒後臨床研修の必修化を控えて	¥2,310
Vol. 13#6 (2003) 悪心・嘔吐へのアプローチ	¥2,310
Vol. 13#7 (2003) Generalistのための糖尿病診療10カ条	¥2,310
Vol. 13#8 (2003) いま求められる肝炎の知識	¥2,310
Vol. 13#9 (2003) 小児の救急ーこれがminimum	¥2,310
Vol. 13#10 (2003) 医療における“物語”―Narrative-Based Medicine(NB	¥2,310
Vol. 13#11 (2003) 高齢者と薬	¥2,310
Vol. 13#12 (2003) 長引く咳	¥2,310
Vol. 14#1 (2004) 診断過程を解き明かすEvidence-based Diagnosis	¥2,310
Vol. 14#2 (2004) 知っておきたいゲノムの知識	¥2,310
Vol. 14#3 (2004) Generalist必携 睡眠障害へのアプローチ	¥2,310
Vol. 14#4 (2004) 開業医の魅力に迫る	¥2,310
Vol. 14#5 (2004) 地域で医師を育てる 地域保健・医療研修で何をするか	¥2,310
Vol. 14#6 (2004)トラベルメディスンのすすめ	¥2,310
Vol. 14#7 (2004) 真夏の総合診療	¥2,310
Vol. 14#8 (2004) Common Diseaseの診断・治療の新しい常識	¥2,310
Vol. 14#9 (2004) 今そこにあるHIV感染症	¥2,310
Vol. 14#10 (2004) せん妄・妄想・幻覚へのアプローチ	¥2,310
Vol. 14#11 (2004) 足を診る	¥2,310
Vol. 14#12 (2004) 高齢者のQOLを高める	¥2,310
Vol. 15#1 (2005) 眼のみかた	¥2,420
Vol. 15#2 (2005) MRIの使い方	¥2,420
Vol. 15#3 (2005) 外来診療の質を評価する	¥2,420
Vol. 15#4 (2005) 失神診療をきわめる	¥2,420
Vol. 15#5 (2005) 結核を見逃すな！	¥2,420
Vol. 15#6 (2005) 外科系疾患に遭遇した時	¥2,420
Vol. 15#7 (2005) 一般診療の薬　Essential Medicine 80	¥2,420
Vol. 15#8 (2005) 災害被災地におけるプライマリ・ケア	¥2,420
Vol. 15#9 (2005) ケーススタディ 不明熱	¥2,420
Vol. 15#10 (2005) 腰痛診療　サイエンスとアート	¥2,420
Vol. 15#11 (2005) 学校医をたのまれたら	¥2,420
Vol. 15#12 (2005) 日常診療に求められるリハビリテーション	¥2,420
Vol. 16#1 (2006) 副作用を見逃すな！	¥2,420
Vol. 16#2 (2006) 増える超高齢者への医療	¥2,420
Vol. 16#3 (2006) 胸痛患者をみたら	¥2,420
Vol. 16#4 (2006) 行動変容を促そう	¥2,420
Vol. 16#5 (2006) プライマリ・ケア医／危機一髪　日常診療で困ったら	¥2,420
Vol. 16#6 (2006) プライマリ・ケアにおける精神疾患―generalistと精神科	¥2,420
Vol. 16#7 (2006) ジェネラリストのキャリアパス―“初期研修”から“後期研	¥2,420
Vol. 16#8 (2006) 診療所での上手な抗菌薬の使い方	¥2,420
Vol. 16#9 (2006) しびれにご用心	¥2,420
Vol. 16#10 (2006) 臨床検査の達人になる！	¥2,420
Vol. 16#11 (2006) ズバッと答える臨床知識―学生・患者に説明できます	¥2,420
Vol. 16#12 (2006) Clinical preventive serviceー外来で行う予防医療	¥2,420
Vol. 17#1 (2007) 帰してはいけない外来患者	¥2,420
Vol. 17#2 (2007) クリニカル・リサーチはおもしろい	¥2,420
Vol. 17#3 (2007) 顔の総合診療 顔をみればわかること	¥2,420
Vol. 17#4 (2007) 家庭医のためのウイメンズ・ヘルス読本	¥2,420

Vol. 17#5 (2007) 医師と法律 トラブル防止の心得と対策	¥2,420
Vol. 17#6 (2007) 片頭痛だけが頭痛じゃない	¥2,420
Vol. 17#7 (2007) 体重減少へのスーパー・アプローチ	¥2,420
Vol. 17#8 (2007) 疾患・治療概念の最近の変化	¥2,420
Vol. 17#9 (2007) 子どものミカタ！	¥2,420
Vol. 17#10 (2007) 在宅医療のスキルアップ	¥2,420
Vol. 17#11 (2007) ストップ・ザ・医原性疾患	¥2,420
Vol. 17#12 (2007) 論争の現場を見にいく	¥2,420
Vol. 18#1 (2008) 特定健診時代の生活習慣病対策	¥2,420
Vol. 18#2 (2008) 家庭医のためのメンズ・ヘルス読本	¥2,420
Vol. 18#3 (2008) 妊婦が外来に来たら	¥2,420
Vol. 18#3 (2008) 妊婦が外来に来たら	¥2,420
Vol. 18#4 (2008) ホームレスを診る	¥2,420
Vol. 18#5 (2008) 急変に備える 予防処置から緊急対応まで	¥2,420
Vol. 18#6 (2008) 手をみせて	¥2,420
Vol. 18#7 (2008) 変貌する感染症	¥2,420
Vol. 18#8 (2008) 高齢社会の看取りのサイエンスとアート	¥2,420
Vol. 18#9 (2008) 不整脈診療ステップアップ	¥2,420
Vol. 18#10 (2008) 真夜中の総合診療	¥2,420
Vol. 18#11 (2008) 医師に必要な臨床栄養学	¥2,420
Vol. 18#12 (2008) 医師のためのビジネス・スキル	¥2,420
Vol. 19#1 (2009) からむ痰、うっとうしい咳	¥2,420
Vol. 19#2 (2009) 医療シミュレーション教育 21世紀の医学教育の潮流	¥2,420
Vol. 19#3 (2009) プロの技としての身体診察	¥2,420
Vol. 19#4 (2009) 肩こりを解きほぐす	¥2,420
Vol. 19#5 (2009) 診療所診療とIT	¥2,420
Vol. 19#6 (2009) 昆虫などによる健康問題	¥2,420
Vol. 19#7 (2009) 非専門医のための糖尿病診療 最新のエビデンスととも	¥2,420
Vol. 19#8 (2009) マイナー・エマージェンシー 診療所外来の救急疾患	¥2,420
Vol. 19#9 (2009) 診療現場での倫理 Case Study	¥2,420
Vol. 19#10 (2009) 今日の代替医療	¥2,420
Vol. 19#11 (2009) BPSDを診ていく	¥2,420
Vol. 19#12 (2009) ジェネラリストのためのがん診療エッセンス	¥2,420
Vol. 20#1 (2010) 診療の終わりにこの質問！ライフサイクルの視点から	¥2,420
Vol. 20#2 (2010) 高齢者の誤嚥	¥2,420
Vol. 20#3 (2010) 腹痛診療の達人になる	¥2,420
Vol. 20#4 (2010) 診療を変える新しい薬2010	¥2,420
Vol. 20#5 (2010) ヘルシー・シティ，ヘルシー・コミュニティ	¥2,420
Vol. 20#6 (2010) 診療ガイドライン盛り合わせ	¥2,420
Vol. 20#7 (2010) 看護学を知りたい！―医師のための看護学入門	¥2,420
Vol. 20#8 (2010) 病理診断に親しもう！	¥2,420
Vol. 20#9 (2010) ホスピタリストと病院総合医	¥2,420
Vol. 20#10 (2010) プライマリー・ケア医のための関節リウマチ診療のすべ	¥2,420
Vol. 20#11 (2010) 疲れとだるさ	¥2,420
Vol. 20#12 (2010) めまいがするんです	¥2,420
Vol. 21#1 (2011) 歯科口腔外科との連携	¥2,420
Vol. 21#2 (2011) 精神疾患と誤診してはならない器質的疾患	¥2,420
Vol. 21#3 (2011) Systems-based Practice	¥2,420
Vol. 21#4 (2011) 家庭医のための循環器診療レベルアップ	¥2,420
Vol. 21#5 (2011) 症状別副作用逆引き事典	¥2,420
Vol. 21#6 (2011) すべては地域医療に	¥2,420
Vol. 21#7 (2011) EBMアップデード	¥2,420
Vol. 21#8 (2011) 病院総合医 免許皆伝	¥2,420
Vol. 21#9 (2011) エクストリーム困難事例への挑戦	¥2,420
Vol. 21#10 (2011) 思春期女子への診療	¥2,420
Vol. 21#11 (2011) 知っておくべき高齢者の評価法	¥2,420
Vol. 21#12 (2011) 痛みで困ったとき	¥2,420

Vol. 22#1 (2012) グローバル時代のジェネラリスト ¥2,420
Vol. 22#2 (2012) One step up 水・電解質・体液管理 ¥2,420
Vol. 22#3 (2012) チームを動かすコンサルテーション ¥2,420
Vol. 22#4 (2012) 高齢者の皮膚トラブル ¥2,420
品切 Vol. 22#5 (2012) 健診データで困ったら 検査値異常への対応策 ¥2,420
品切 Vol. 22#6 (2012) Prediction rule 診療に役立つ臨床予測ルール ¥2,420
Vol. 22#7 (2012) 耳・鼻・のどのトラブル対応 耳鼻咽喉科コンサルテーシ ¥2,420
Vol. 22#8 (2012) ジェネラリストのためのクリニカル・パール ¥2,420
Vol. 22#9 (2012) 家庭医のためのワクチン・プラクティス ¥2,420
Vol. 22#10 (2012)「…血が出たんです」肛門・会陰部出血へのアプロー ¥2,420
Vol. 22#11 (2012) 実践! 家族アプローチ ¥2,420
Vol. 22#12 (2012) 高齢者診療アップグレード コツとピットフォール ¥2,420
Vol. 23#1 (2013) 2023年のプライマリ・ケアを夢想する―新世代の挑戦 ¥2,420
Vol. 23#2 (2013) かゆみ大全 ¥2,420
Vol. 23#3 (2013) 血液疾患ブラッシュアップ ¥2,420
Vol. 23#4 (2013) 今日の外科―連携のための最新知識 ¥2,420
Vol. 23#5 (2013) この組み合わせに注意!日常診療で陥りやすいpitfall ¥2,420
Vol. 23#6 (2013) 不明熱診療 最前線 基本アプローチから「横綱級」困難 ¥2,420
品切 Vol. 23#7 (2013) 症候別"見逃してはならない"疾患の除外ポイント ¥2,420
Vol. 23#8 (2013) 完全解説 ロコモティブシンドローム ¥2,420
Vol. 23#9 (2013)「息苦しい」が主訴の時 ¥2,420
Vol. 23#10 (2013) 高齢者「主治医」事典 ¥2,420
Vol. 23#11 (2013) 見逃してはいけない! アルコール関連問題 ¥2,420
Vol. 23#12 (2013) あなたの臨床能力をチェックする Quick Assessment ¥2,420
Vol. 24#1 (2014) 気絶するほど悩ましい―危険な失神の見分け方 ¥2,420
Vol. 24#2 (2014) むくんでいるんです―浮腫とむくみ感の間に ¥2,420
Vol. 24#3 (2014) 足をみせて―靴下に隠れた重要所見 ¥2,420
Vol. 24#4 (2014) 帰してはいけない「こども」を見逃さないために ¥2,420
Vol. 24#5 (2014) 見える！わかる！できる！プライマリ・ケア手技/処置 ¥2,420
Vol. 24#6 (2014)「それは古い！」と言われない 診療スタンダード Up to ¥2,420
Vol. 24#7 (2014) 症候別"見逃してはならない"疾患の除外ポイント Part I ¥2,420
Vol. 24#8 (2014) 感染症を病歴と診察だけで診断する！ ¥2,420
Vol. 24#9 (2014) 臨床医のための産業医マニュアル ¥2,420
Vol. 24#10 (2014) 帰してはいけない疾患を除外した後の外来診療 ¥2,420
Vol. 24#11 (2014) 症候別"見逃してはならない"疾患の除外ポイント Part ¥2,420
Vol. 24#12 (2014) 総合診療医のための結核診療 Update ¥2,420
※Vol.25#1(2015)→総合診療(医学書院)

263 腎移植・血管外科 Rental Transplantation Vascular Surgery (腎移植・血管外科研究会)

Vol. 10#2; 13#2; 14#2; 15#1,2; 16#2 (1999-2004) 各号 ¥3,300

264 人工知能学会誌 (人工知能学会)

Vol. 1#1-2 (1986) 各号 ¥2,619
Vol. 2#1-4 (1987) 各号 ¥2,619
Vol. 3-19 (1988-2004) 各1-6号 各号 ¥2,619

265 腎と透析 (東京医学社)

Vol. 56-83 (2004-2017) 各1-6号,増刊号,別冊
※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。
(Webショップでもご確認いただけます。)

266 自律訓練研究 (日本自律訓練学会)

Vol. 7-28 (1987-2008) 各1-2号 各号 ¥2,096
Vol. 33#1/2 (2013) ¥4,191

267 地震 (地震学会)

Vol. 1-16 (1929-1944) 各1-12号 各号 ¥1,650
Vol. 17-18 (1945) 各1/4号 各巻 ¥8,800

268	**地震 2輯 (日本地震学会)**		
	Vol. 1-4 (1948-1951) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 5-48 (1952-1995) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 34#Special (1981)		¥2,750
	Vol. 44#Supplement (1991)		¥2,750
269	**地すべり (Journal of the Japan Landslide Society)**		
	Vol. 20#1-4 (1983/1984)	各号	¥2,200
	Vol. 21#1-4 (1984/1985)	各号	¥2,200
	Vol. 22#1-4 (1985/1986)	各号	¥2,200
	Vol. 23#1-4 (1986/1987)	各号	¥2,200
	Vol. 24#1-4 (1987/1988)	各号	¥2,200
	Vol. 25#1-4 (1988/1989)	各号	¥2,200
	Vol. 26#1-4 (1989/1990)	各号	¥2,200
	Vol. 27#1-4 (1990/1991)	各号	¥2,200
	Vol. 28#1-4 (1991/1992)	各号	¥2,200
	Vol. 29#1-4 (1992/1993)	各号	¥2,200
	Vol. 30#1-4 (1993/1994)	各号	¥2,200
	Vol. 31#1-3 (1994)	各号	¥2,200
	Vol. 32#1-4 (1995/1996)	各号	¥2,200
	Vol. 33#1-4 (1996/1997)	各号	¥2,200
	Vol. 34#1-4 (1997/1998)	各号	¥2,200
	Vol. 35#1-4 (1998/1999)	各号	¥2,200
	Vol. 36#1-4 (1999/2000)	各号	¥2,200
	Vol. 37#1-4 (2000/2001)	各号	¥2,200
	Vol. 38#1,2,4 (2001/2002)	各号	¥2,200
	Vol. 39#1-4 (2002/2003)	各号	¥2,200
270	**JJNスペシャル (医学書院)**		
	No. 1 (1986)		¥1,320
	No. 2-18 (1986-1990)	各号	¥1,650
	No. 19-30 (1991-1992)	各号	¥1,870
	No. 31,35,38,41,43,44,47,48,51-55,57,59,66 (1993-2000)	各号	¥2,200
	No. 32-34,40,42 (1993-1994)	各号	¥1,870
	No. 36,37,39,46,49,57,58,60-62,65,68 (1994-2000)	各号	¥2,420
	No. 67 (2000)		¥2,640
	No. 72 (2002)		¥2,860
	No. 74 (2003)		¥3,080
271	**J.M.E.F. Japan Medical Education Foundation (医学教育振興財団)**		
	No. 15-23,25 (1996-2005)	各号	¥2,200
272	**JNET : Journal of Neuroendovascular Therapy : 脳神経血管内治療**		
	Vol. 2#2; 3#1-3,supplement; 4#1,2 (2008-2010)	各号	¥2,200
	Vol. 3#4; 4#4 (2009-2010)	各号	¥4,400

273	**JOHNS Journal of Otolarygology, Head and Neck Surgery (東京医学社)**		
	Vol. 1#10 (1985)		¥1,870
	Vol. 2#2,3,6; 3#11 (1986-1987)	各号	¥1,980
	Vol. 4#2 (1988)		¥4,400
	Vol. 5#12 (1989)		¥2,090
	Vol. 6#1-8,10,12 (1990)	各号	¥2,243
	Vol. 7#8;8#1,3,6-8,10 (1992-1991)	各号	¥2,350
	Vol. 9#6 (1993)		¥3,204
	Vol. 9#11 (1993)		¥2,511
	Vol. 10#1,2,4-8,10-12 (1994)	各号	¥2,563
	Vol. 10#3 (1994)		¥2,990
	Vol. 10#9 (1994)		¥3,845
	Vol. 11#1,2,4-8,10-12 (1995)	各号	¥2,563
	Vol. 11#3,9 (1995)	各号	¥4,058
	Vol. 12#1-3,5-8,10-12 (1996)	各号	¥2,563
	Vol. 12#4 (1996)		¥3,738
	Vol. 12#9 (1996)		¥4,806
	Vol. 13#1,2,4-9,11,12 (1997)	各号	¥2,640
	Vol. 13#3 (1997)		¥4,400
	Vol. 13#10 (1997)		¥3,960
	Vol. 14#1,2,4,7,8,10-12 (1998)	各号	¥2,640
	Vol. 14#3 (1998)		¥3,850
	Vol. 14#9 (1998)		¥4,180
	Vol. 15#1,2,4-8,10-12 (1999)	各号	¥2,640
	Vol. 15#3,9 (1999)	各号	¥4,400
	Vol. 16#9 (2000)		¥4,840
	Vol. 17#11,12; 18#12; 19#1,2,4-8,10-12 (2001-2003)	各号	¥2,724
	Vol. 18#3 (2002) 増大号 お母さんへの回答マニュアル 耳鼻咽喉科Q&A		¥5,500
	Vol. 19#3,9 (2003)	各号	¥4,400
	Vol. 20#1,2,4-7,10-12; 21#1,2,4-8,10-12 (2004-2005)	各号	¥2,745
	Vol. 20#3; 21#3,9 (2004-2005)	各号	¥4,976
	Vol. 20#9 (2004)		¥5,447
	Vol. 22#1,2,4-8,10-12; 23#1,2,4-8,10-12 (2006-2007)	各号	¥2,797
	Vol. 22#3,9; 23#3,9 (2006-2007)	各号	¥5,028
	Vol. 24#1,2,4-8,10,12; 25#1,2,4-8,10-12 (2008-2009)	各号	¥2,818
	Vol. 24#3,9; 25#3,9 (2008-2009)	各号	¥5,028
	Vol. 28#5 (2012)		¥2,860
274	**情報知識学会誌**		
	Vol. 19#2,4 (2009)	各号	¥2,750
	Vol. 20#1,3,4 (2010)	各号	¥2,750
	Vol. 21#2,4 (2011)	各号	¥2,750
275	**情報地質 (日本情報地質学会)**		
	Vol. 14#1,2,4 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 15-16 (2004-2005) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 17#2,3 (2006); 18#2-4 (2007); 19#1,3,4 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 20#1 (2009); 21#2 (2010); 22#3 (2011)	各号	¥2,200
276	**情報管理 Journal of information Processing and Management (日本科学技術情報センター)**		
	Vol. 3-7,9-42,45-48 (1960-2005/2006) 各1-12号	各号	¥1,210
	Vol. 8#1-15 (1965/1966)	各号	¥1,210

277	**情報の科学と技術 (情報科学技術協会)**		
	Vol. 11,13-17 (1961-1967) 各1-6号	各号	¥1,826
	Vol. 12#1-4 (1962)	各号	¥1,826
	Vol. 18-50,57-61 (1968-2011) 各1-12号	各号	¥1,826
278	**情報処理 Journal of Information Processing Society of Japan (情報処理学会)**		
	Vol. 1#1-4 (1960)	各号	¥1,760
	Vol. 2-10 (1961-1969) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 11-53 (1970-2012) 各1-12号	各号	¥1,760
279	**情報処理学会論文誌 (情報処理学会)**		
	Vol. 20-26 (1979-1985) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 27-49 (1986-2008) 各1-12号	各号	¥2,750
280	**助産婦 日本助産婦会雑誌 (日本助産婦会)**		
	Vol. 15#1-3,5,7-11 (1961)	各号	¥1,760
	Vol. 55#2 (2001)		¥1,760

281 助産婦雑誌（医学書院）

	Vol. 15-18 (1961-1964) 各1-12号	各号	¥1,430
	Vol. 19#2,5-12 (1965)	各号	¥1,430
	Vol. 20-48 (1966-1994) 各1-12号	各号	¥1,430
	Vol. 49#1 (1995) ゆらぐ「家族」		¥1,430
	Vol. 49#2 (1995) 救急搬送とケア		¥1,430
	Vol. 49#3 (1995) 新しい時代を見すえた分娩実習		¥1,430
	Vol. 49#4 (1995) ルチーンの医療処置を見直す		¥1,430
	Vol. 49#5 (1995) 出生前診断の倫理的問題を問う		¥1,430
	Vol. 49#6 (1995) 切迫早産長期入院妊婦の看護		¥1,430
	Vol. 49#7 (1995) 父親への保健指導とサポート		¥1,430
	Vol. 49#8 (1995) 性暴力被害と向き合う		¥1,430
	Vol. 49#9 (1995) NST		¥1,430
	Vol. 49#10 (1995) 助産診断-共通概念の探究		¥1,430
	Vol. 49#11 (1995) 先輩たちの助産術		¥1,430
	Vol. 49#12 (1995) 性科学の水準-第12回性科学学会		¥1,430
	Vol. 50#1 (1996) がんばれ中堅助産婦		¥1,430
	Vol. 50#2 (1996) 今日の助産婦外来		¥1,430
	Vol. 50#3 (1996) 低用量ピルのすべて 女性が避妊の主人公に		¥1,430
	Vol. 50#4 (1996) 助産婦トコウ・カウンセリング		¥1,430
	Vol. 50#5 (1996) 難産のとらえ方と対応		¥1,430
	Vol. 50#6 (1996) 母乳トラブルの解決		¥1,430
	Vol. 50#7 (1996)「助産士」を考えよう		¥1,430
	Vol. 50#8 (1996) 自由な分娩体位-寝ないお産の達人になる		¥1,430
	Vol. 50#9 (1996) 第24回ICM大会		¥1,430
	Vol. 50#10(1996) 1か月健診までの赤ちゃんの成長・生活		¥1,430
	Vol. 50#11(1996) 1か月健診までのお母さんの成長・生活		¥1,430
	Vol. 50#12 (1996) 助産婦と「専門看護師・認定看護師」		¥1,430
	Vol. 51#1 (1997) 助産婦たちの勉強会		¥1,430
	Vol. 51#2 (1997) 尿失禁ケア-女性のQOL改善		¥1,430
	Vol. 51#3 (1997) STDの理解とケア		¥1,430
	Vol. 51#4 (1997) 異常分娩をめぐる最新マネージメント		¥1,430
	Vol. 51#5 (1997) 助産婦とパソコンネットワーキング		¥1,430
	Vol. 51#6 (1997) 先駆的産科ケア活動		¥1,430
	Vol. 51#7 (1997) 妊婦の体重コントロール,どう考える		¥1,430
	Vol. 51#8 (1997) 助産診断の実際-診断名確立に向けて		¥1,430
	Vol. 51#9 (1997) 産痛の解明とケア		¥1,430
	Vol. 51#10 (1997) 変わります変えます地域母子保健(上)		¥1,430
	Vol. 51#11 (1997) 変わります変えます地域母子保健(下)		¥1,430
	Vol. 51#12 (1997)「ハイリスク」にも強くなる		¥1,430
	Vol. 52#1 (1998) 助産婦のキャリア開発		¥1,430
	Vol. 52#2 (1998) 双子のお母さん		¥1,430
	Vol. 52#3 (1998) CTGに強くなる		¥1,430
	Vol. 52#4 (1998) 証拠にもとづく助産ケア		¥1,430
	Vol. 52#5 (1998) 周産期ケアの地域システム化		¥1,430
	Vol. 52#6 (1998) 基本・周産期の薬剤		¥1,430
	Vol. 52#7 (1998) 切迫早産-最近の治療とケア-		¥1,430
	Vol. 52#8 (1998) こどもの虐待を防ごう		¥1,430
品切	Vol. 52#9 (1998) 母乳育児成功のコンセプト(上)		¥1,430
	Vol. 52#10 (1998) 母乳育児成功のコンセプト(下)		¥1,430
	Vol. 52#11 (1998) フィットネス出産準備教育		¥1,430
	Vol. 52#12 (1998) 必修.周産期の心のケア		¥1,430
	Vol. 53#1 (1999) もっとコミット. 助産婦をめぐる法律と行政		¥1,430
	Vol. 53#2 (1999) 周産期のアロマテラピー		¥1,430
	Vol. 53#3 (1999) 知らないではすまされない不妊治療		¥1,430
	Vol. 53#4 (1999) 助産婦教育. どこで行うかー質と量の確保		¥1,430
	Vol. 53#5 (1999) 出産前診断と助産婦		¥1,430

	Vol. 53#6 (1999) 周産期の「食」		¥1,430
	Vol. 53#7 (1999) 女性HIV感染者を援助する		¥1,430
	Vol. 53#8 (1999) 助産診断名の開発［Ｉ］		¥1,430
	Vol. 53#9 (1999) 第25回ICMマニラ大会		¥1,430
	Vol. 53#10 (1999) 深谷赤十字病院の、これが助産婦の仕事だ		¥1,430
	Vol. 53#11 (1999) ピル解禁．避妊法のエキスパートになろう		¥1,430
	Vol. 53#12 (1999) EBMにもとづく周産期ケア		¥1,430
	Vol. 54#1 (2000) 助産婦たちのグループ・プラクティス		¥1,430
	Vol. 54#2 (2000) 生同一性障害とインターセックス		¥1,430
	Vol. 54#3 (2000) 周産期医療事故－母と子を守る助産婦になる		¥1,430
	Vol. 54#4 (2000) クオリティーの高いマタニティクラス		¥1,430
	Vol. 54#5 (2000) 周産期ホリスティック・ケア		¥1,430
品切	Vol. 54#6 (2000) 国際認定ラクテーション・コンサルタント(IBCLC)による		¥1,430
	Vol. 54#7 (2000) DVは女性の健康問題である		¥1,430
	Vol. 54#8 (2000) どう援助してますか．外国人妊産婦		¥1,430
	Vol. 54#9 (2000) 母性・父性から「育児性」へ		¥1,430
	Vol. 54#10 (2000) どう考える．硬膜外麻酔分娩		¥1,430
	Vol. 54#11 (2000) 周産期クリニカルパス		¥1,430
	Vol. 54#12 (2000) 助産婦の100年－世紀を超えるもの		¥1,430
	Vol. 55#1 (2001) 21世紀のいのち		¥1,430
	Vol. 55#2 (2001) タッチケア(上)		¥1,430
	Vol. 55#3 (2001) タッチケア(下)		¥1,430
	Vol. 55#4 (2001) 出産のヒューマニゼーション ブラジルJICA家族計画母		¥1,430
	Vol. 55#5 (2001) ウィメンズヘルスケア		¥1,430
	Vol. 55#6 (2001) 進化する助産診断		¥1,430
	Vol. 55#7 (2001) 妊娠中毒症		¥1,430
	Vol. 55#8 (2001) 助産婦のになう性教育		¥1,430
	Vol. 55#9 (2001)「三歳児神話」の検証		¥1,430
	Vol. 55#10 (2001) 女性の産む力を引き出すケア		¥1,430
	Vol. 55#11 (2001) 婦人科がん患者のケア		¥1,430
	Vol. 55#12 (2001) 周産期の記録		¥1,430
	Vol. 56#1 (2002) もっともっと助産婦に		¥1,430
	Vol. 56#2 (2002) 生殖補助医療		¥1,430
	Vol. 56#3 (2002) 新生児黄疸．母と子のケア		¥1,430
	Vol. 56#4 (2002) ダイナミック助産婦外来		¥1,430
	Vol. 56#5 (2002) 障害児のノーマライゼーション		¥1,430
	Vol. 56#6 (2002) スタンダードとしての母乳育児を科学的効果的に(上)		¥1,430
	Vol. 56#7 (2002) スタンダードとしての母乳育児を科学的効果的に(下)		¥1,430
	Vol. 56#8 (2002) 第26回ICMウィーン大会		¥1,430
	Vol. 56#9 (2002) 死産・流産のケア		¥1,430
	Vol. 56#10 (2002) 周産期の糖尿病ケア		¥1,430
	Vol. 56#11 (2002) 知っておきたい歯と口の健康		¥1,430
	Vol. 56#12 (2002) 子ども虐待防止支援ネットワーキング		¥1,430
	※Vol. 57#1 (2003)→助産雑誌		

282　助産師 日本助産師会機関誌（日本助産師会）

	Vol. 60#1 (2006)		¥1,760
	Vol. 62#1,2 (2007)	各号	¥1,760

283　助産雑誌（医学書院）

※Vol.1-56 (1947-2002)→助産婦雑誌

	Vol. 57#1 (2003) 日本の助産師づくり-最高の助産ケア提供のための	¥1,430
	Vol. 57#2 (2003) 精神疾患をもつ女性の周産期ケア	¥1,430
	Vol. 57#3 (2003) 中絶のケア	¥1,430
	Vol. 57#4 (2003) 周産期のナラティヴ-助産師の語りの世界から	¥1,430
	Vol. 57#5 (2003) インターネットが助産を変える	¥1,430
	Vol. 57#6 (2003)「対話」がひらくリスクを超えた関係	¥1,430
	Vol. 57#7 (2003) 骨盤位外回転術	¥1,430
	Vol. 57#8 (2003)「成育医療」がめざす周産期ケア	¥1,430
	Vol. 57#9 (2003) 妊娠期の新・臨床栄養 成人病は胎児期につくられる	¥1,430
	Vol. 57#10 (2003)「ナラティヴ」を読む	¥1,430
	Vol. 57#11 (2003) 分娩監視装置をどう使っていますか？	¥1,430
	Vol. 57#12 (2003) 地域と施設を結ぶコラボレーションシステム	¥1,430
	Vol. 58#1 (2004) なぜ参加型なのか助産に必要なファシリテーターの	¥1,430
	Vol. 58#2 (2004) 知っておきたい「アレルギー」の話	¥1,430
	Vol. 58#3 (2004)「技術教育」のあり方を考える	¥1,430
	Vol. 58#4 (2004) 助産師による性教育を実現するために	¥1,430
	Vol. 58#5 (2004) 母乳育児成功のための10カ条	¥1,430
	Vol. 58#6 (2004) 命をめぐる「話し合い」のガイドライン	¥1,430
	Vol. 58#7 (2004) 育児グループへの支援と助産師のかかわり	¥1,430
	Vol. 58#8 (2004) 混合化する産科病棟 地域格差と時代の要請を超える「	¥1,430
	Vol. 58#9 (2004) 理想の分娩第1期のケア	¥1,430
	Vol. 58#10 (2004) やっぱり開業助産師になろう!開業への一歩を踏み出	¥1,430
	Vol. 58#11 (2004) 妊娠と放射線	¥1,430
	Vol. 58#12 (2004)「転換点」を迎える助産師に送る7のメッセージ	¥1,430
	Vol. 59#1 (2005) 集まれ!元気印助産師	¥1,430
	Vol. 59#2 (2005) わかること・わからないことの間にある遺伝の話	¥1,430
	Vol. 59#3 (2005) 母乳外来からみる“お金とケア”の関係	¥1,430
	Vol. 59#4 (2005) 実録!正常出産カンファレンス	¥1,430
	Vol. 59#5 (2005) 産後のかかわりもっと気にしませんか?	¥1,430
	Vol. 59#6 (2005)「陣痛」と「麻酔」	¥1,430
	Vol. 59#7 (2005) 緊急帝王切開,事前・事後にできること	¥1,430
	Vol. 59#8 (2005) 現場の疑問に答えますアロマ実践のための「あれ」「こ	¥1,430
	Vol. 59#9 (2005) 胎児の心地よい環境に必要なこと妊娠と高血圧のメカ	¥1,430
	Vol. 59#10 (2005) 当事者に学ぶ不妊治療を受ける人々の声	¥1,430
	Vol. 59#11 (2005) 食事指導に加えたいスローフードの視点	¥1,430
	Vol. 59#12 (2005) 第27回ICMブリスベン大会レポート	¥1,430
	Vol. 60#1 (2006) 病院でできる，産婦にやさしい分娩体位	¥1,430
	Vol. 60#2 (2006) チームで育つ助産のチカラ	¥1,430
	Vol. 60#3 (2006) 障害のある子どもの母親を支える	¥1,430
	Vol. 60#4 (2006) 満足で安全なお産 「院内助産院」をめざそう	¥1,430
	Vol. 60#5 (2006) 助産ケアで大活躍の自然療法	¥1,430
品切	Vol. 60#6 (2006) 母乳育児支援の基本のき	¥1,430
	Vol. 60#7 (2006) 海外を通して見る，日本の産科の医療安全	¥1,430
	Vol. 60#8 (2006) 診療所に助産師を	¥1,430
	Vol. 60#9 (2006) 開業助産院からの報告　わたしが実践する，助産ケア	¥1,430
	Vol. 60#10 (2006) 助産師とメンタルヘルス	¥1,430
	Vol. 60#11 (2006) 周産期に子どもを亡くした家族に寄り添う	¥1,430
	Vol. 60#12 (2006) 助産を学ぶということ	¥1,430
	Vol. 61#1 (2007) 産科閉鎖の危機に際してすべきこと　助産師の力でお	¥1,430
	Vol. 61#2 (2007) 新生児の蘇生 アメリカNRP2006ガイドラインの紹介	¥1,430
	Vol. 61#3 (2007) お腹の「張り」に強くなる	¥1,430
	Vol. 61#4 (2007) 参加型マタニティクラスのつくり方	¥1,430
	Vol. 61#5 (2007) ケースレポートで学ぶ母乳育児支援	¥1,430
	Vol. 61#6 (2007) モデル事例で学ぶ「根拠にもとづく助産ケア」の進め方	¥1,430
	Vol. 61#7 (2007) 周産期のアロマテラピー基本のき	¥1,430

Vol. 61#8 (2007) 分娩進行のアセスメント	¥1,430
Vol. 61#9 (2007) 助産倫理とは何か	¥1,430
Vol. 61#10 (2007) エビデンスと楽しさを両立させよう 妊産婦への食育指	¥1,430
Vol. 61#11 (2007) 周産期の「うつ」への対応法	¥1,430
Vol. 61#12 (2007) 助産師外来解説のストラテジー	¥1,430
Vol. 62#1 (2008) 医師・勤務助産師・開業助産師の理想的な「連携」を求	¥1,430
Vol. 62#2 (2008) 妊婦が主体的に産むということ 助産外来のかかわり	¥1,430
Vol. 62#3 (2008) 実践！助産外来 いつ、何をすれば、「大丈夫！」と言	¥1,430
Vol. 62#4 (2008) 糖代謝異常のサインをどうキャッチするか	¥1,430
Vol. 62#5 (2008) 私のキャリアデザイン 語ることでみえてくるもの	¥1,430
Vol. 62#6 (2008) 母乳育児支援のニュー・トレンド	¥1,430
Vol. 62#7 (2008) 助産実習が好きになる	¥1,430
Vol. 62#8 (2008) 助産師が伝える性教育	¥1,430
Vol. 62#9 (2008) 産後も頼られる助産師になろう	¥1,430
Vol. 62#10 (2008) 誕生の環境 豊かな出産経験がもたらすもの/ICMグラ	¥1,430
Vol. 62#11 (2008) このCTGをどう読むか	¥1,430
Vol. 62#12 (2008) あらためて出産前診断を勉強してみませんか	¥1,430
Vol. 63#1 (2009) いいお産・再考	¥1,430
Vol. 63#2 (2009) 周産期からの子どもの虐待予防	¥1,430
Vol. 63#3 (2009) 災害時の母子支援を考える	¥1,430
Vol. 63#4 (2009) わかる！ フリースタイル分娩の介助技術	¥1,430
Vol. 63#5 (2009) 救急搬送 助産師のスキルと施設間連携のポイントとは	¥1,430
Vol. 63#6 (2009) 妊産婦の身体づくり	¥1,430
Vol. 63#7 (2009) ケースレポートで学ぶ乳腺炎への対応	¥1,430
Vol. 63#8 (2009) 女性の排泄ケア	¥1,430
Vol. 63#9 (2009) 助産師を続ける・もう一度はじめる	¥1,430
Vol. 63#10 (2009) 産む力を育てる周産期のアロマテラピー	¥1,430
Vol. 63#11 (2009) 産科の医療安全と助産師	¥1,430
Vol. 63#12 (2009) 早期退院時代の黄疸管理	¥1,430
Vol. 64#1 (2010) 先輩が語る 私が歩んできた道	¥1,430
Vol. 64#2 (2010) 行動変容をうながす！食事指導のアプローチ	¥1,430
Vol. 64#3 (2010) NICUで働くということ	¥1,430
Vol. 64#4 (2010) 産後早期退院と地域における母子の支援	¥1,430
Vol. 64#5 (2010) 多問題家族の妊娠・出産・子育てに寄り添う	¥1,430
Vol. 64#6 (2010) 離島・へき地のお産を支援する	¥1,430
Vol. 64#7 (2010) 産科におけるアメニティ	¥1,430
Vol. 64#8 (2010) 周産期救急の人材を育成する	¥1,430
Vol. 64#9 (2010) 女性の健康と暴力	¥1,430
Vol. 64#10 (2010) 母性・父性をはぐくむ	¥1,430
Vol. 64#11 (2010) 母乳育児を成功に導くために	¥1,430
Vol. 64#12 (2010) 大学院で助産を学ぼう	¥1,430
Vol. 65#1 (2011) 分娩時出血への対応	¥1,430
Vol. 65#2 (2011) 分娩時の胎児心拍数モニタリングをマスターしよう	¥1,430
Vol. 65#3 (2011) 助産外来のための超音波検査の基本のき	¥1,430
Vol. 65#4 (2011) 女性の健康と性を考える―緊急避妊の基礎知識	¥1,430
Vol. 65#5 (2011) 硬膜外麻酔分娩について知ろう	¥1,430
Vol. 65#6 (2011) お産の痛みのケア	¥1,430
Vol. 65#7 (2011) 予防接種について，いま知っておきたいこと	¥1,430
Vol. 65#8 (2011) 妊娠と糖尿病	¥1,430
Vol. 65#9 (2011) 現場からの変革	¥1,430
Vol. 65#10 (2011) 女性と乳がん ブレスト・アウェアネスを助産実践に活	¥1,430
Vol. 65#11 (2011) ICM大会2011レポート/母子の健康と環境影響	¥1,430
Vol. 65#12 (2011) 感染対策どうしていますか	¥1,430
Vol. 66#1 (2012) 入院の短期化に伴う母乳育児支援	¥1,430
Vol. 66#2 (2012) 分娩時の"いきみ"について考える	¥1,430
Vol. 66#3 (2012) 周産期ハイリスクケアの構築	¥1,430
Vol. 66#4 (2012) 働くお母さんの妊娠・出産・母乳育児を支援する	¥1,430

	Vol. 66#5 (2012) 正しい情報を得て、続けよう 出生直後のカンガルーケ	¥1,430
	Vol. 66#6 (2012) 東日本大震災の記録	¥1,430
	Vol. 66#7 (2012) 助産師と会陰裂傷縫合	¥1,430
	Vol. 66#8 (2012) 混合病棟でもモチベーションを保つ!	¥1,430
	Vol. 66#9 (2012) 事例検討から学び,活かす	¥1,430
	Vol. 66#10 (2012) 不育症を知る	¥1,430
	Vol. 66#11 (2012)「冷え」と妊娠・出産	¥1,430
	Vol. 66#12 (2012) 分娩中のもしもに備える	¥1,430
	Vol. 67#1 (2013) 母乳育児推進の「壁」とその解決方法	¥1,430
	Vol. 67#2 (2013) 開業助産師を応援したい!	¥1,430
	Vol. 67#3 (2013) 助産師と産科医師の“ちょっといい関係″	¥1,430
	Vol. 67#4 (2013) “なんだか気になる妊婦さん″への対応	¥1,430
	Vol. 67#5 (2013) 女性と出生前診断 助産師の役割	¥1,430
	Vol. 67#6 (2013) 予防接種の最新知識2013	¥1,430
	Vol. 67#7 (2013) いま知りたい!母子感染対策 トキソプラズマ,サイトメガロ	¥1,430
	Vol. 67#8 (2013) 実習，どうしていますか？ 臨床・教育それぞれの立場	¥1,430
	Vol. 67#9 (2013) 高齢期妊娠・出産を支える	¥1,430
	Vol. 67#10 (2013) 産後ケアを始めましょう	¥1,430
	Vol. 67#11 (2013) 懸賞論文「私を変えたお産」受賞作発表	¥1,430
	Vol. 67#12 (2013) 産科超音波をよんでみよう	¥1,430
	Vol. 68#1 (2014) HTLV-1と母乳育児	¥1,540
	Vol. 68#2 (2014) 帝王切開のお産をケアしよう	¥1,540
	Vol. 68#3 (2014) 助産ケアって，やっぱりすごい！	¥1,540
	Vol. 68#4 (2014) 多胎の支援－妊娠中から育児まで	¥1,540
	Vol. 68#5 (2014) 科学的根拠からみなおす助産技術	¥1,540
	Vol. 68#6 (2014) 母乳不足と補足を考える	¥1,540
	Vol. 68#7 (2014) タッチケアの新たな時代	¥1,540
	Vol. 68#8 (2014) 知っておきたい，新生児・乳児のこと－病気の不安から	¥1,540
	Vol. 68#9 (2014) お父さんの「父親力」を高める	¥1,540
	Vol. 68#10 (2014) コミュニケーション術をみがいて，いいお産をめざす	¥1,540
	Vol. 68#11 (2014)『産婦人科診療ガイドライン-産科編2014』の改訂ポイ	¥1,540
	Vol. 68#12 (2014) キャリアを積むということ-助産師としての私の働き方	¥1,540
	Vol. 69#1 (2015) 少子化,分娩施設の集約,就業場所の偏在etc.から 助	¥1,540
	Vol. 69#2 (2015) 助産師がしっかり実施したい 新生児蘇生法（NCPR）	¥1,540
品切	Vol. 69#3 (2015) ペリネイタル・ロスのケアを考える	¥1,540
	Vol. 69#4 (2015) 産婦の身体の声をきく アセスメント能力を高めよう	¥1,540
	Vol. 69#5 (2015) 女性が主体的に産むための助産ケア	¥1,540
品切	Vol. 69#6 (2015) 地域でつくる妊娠から育児までの切れ目ない支援 今	¥1,540
	Vol. 69#7 (2015) 助産師が専門職としてかかわるべき母乳育児支援 「寄	¥1,540
	Vol. 69#8 (2015) 妊娠高血圧症候群2015 知識と支援をアップデートし	¥1,540
	Vol. 69#9 (2015) 効果的な実習指導をしよう！―学校とともに学生を支援	¥1,540
品切	Vol. 69#10 (2015)「特定妊婦」にどうかかわる？―助産師ができる支援と	¥1,540
	Vol. 69#11 (2015) 新しい視点で保健指導を変えよう！	¥1,540
品切	Vol. 69#12 (2015) バースレビューの心得	¥1,540
	Vol. 70#1 (2016) 70巻記念号 『助産雑誌』と私の歩み	¥1,540
	Vol. 70#2 (2016) 新生児の疾患とその徴候―見逃してはいけない異常徴	¥1,540
	Vol. 70#3 (2016) 遺伝カウンセラーとは異なる 出生前検査における助産	¥1,540
	Vol. 70#4 (2016) 制度の根底にあるもの・期待されること アドバンス助産	¥1,540
	Vol. 70#5 (2016) 胎児心拍数モニタリングを極める 見逃してはいけない	¥1,540
	Vol. 70#6 (2016) 次世代につなげる妊婦の栄養指導 厳しい体重増加	¥1,540
	Vol. 70#7 (2016) 助産師教育で伝えたい，大切な助産ケア	¥1,540
	Vol. 70#8 (2016) 助産師が知っておきたい 妊娠期の「運動」	¥1,540
	Vol. 70#9 (2016) オキシトシンと妊娠・出産・育児の関係	¥1,540
	Vol. 70#10 (2016) 周産期救急で助産師ができること	¥1,540
	Vol. 70#11 (2016) 開業助産師の実践する助産ケア 後輩に伝え、残して	¥1,540
	Vol. 70#12 (2016) 赤ちゃんのもつ力を最大限に引き出す母乳育児支援	¥1,540
	Vol. 71#1 (2017) 麻酔分娩に、どう向き合うか	¥1,540

助産雑誌（医学書院）	税込価格
Vol. 71#2 (2017) 院内助産の新しい形 クリニック・病院併設助産所の取り	¥1,540
Vol. 71#3 (2017) 産後ケアを成功に導くコツ	¥1,540
Vol. 71#4 (2017) 周産期のメンタルヘルスのために助産師ができること、	¥1,540
Vol. 71#5 (2017) がんばってます、新人助産師教育	¥1,540
Vol. 71#6 (2017) 超音波検査の今と助産師のかかわり方	¥1,540
Vol. 71#7 (2017) 妊産婦の筋・骨格を理解して助産ケアへ活かす！	¥1,540
Vol. 71#8 (2017) 大学院で助産を学び直す	¥1,540
Vol. 71#9 (2017) とても大事な産後2週間健診	¥1,540
Vol. 71#10 (2017) 助産師は父親をどう支えるか	¥1,540
Vol. 71#11 (2017) ダウン症のある児をもつ親の将来の不安に寄り添う/第	¥1,540
Vol. 71#12 (2017) 周産期ボンディング障害を知っていますか？	¥1,540
Vol. 72#1 (2018) 私の会陰保護技術を振り返る	¥1,650
Vol. 72#2 (2018) 母乳育児と乳がん	¥1,650
Vol. 72#3 (2018) 10年目を迎えた 産科医療補償制度と助産師	¥1,650
Vol. 72#4 (2018) 産科混合病棟の中で助産師にできること	¥1,650
Vol. 72#5 (2018) 暴力被害から女性を救う－助産師が担う大きな役割	¥1,650
Vol. 72#6 (2018) 助産師が行なう産後ケア 自立を支援する視点から	¥1,650
Vol. 72#7 (2018) 助産師出向システムの今／助産師が寄り添う更年期	¥1,650
Vol. 72#8 (2018)「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」院内助産の	¥1,650
Vol. 72#9 (2018) 早産と助産師のケア	¥1,650
Vol. 72#10 (2018) 病棟助産師よ、地域へ出よう！妊娠中から産後まで、	¥1,650
Vol. 72#11 (2018) 乳腺炎の重症化予防　診療報酬点数化の意義と、助	¥1,650
Vol. 72#12 (2018) 習慣化されたケアをエビデンスから検証する	¥1,650
Vol. 73#1 (2019) 分娩を遷延させないために助産師ができること	¥1,650
Vol. 73#2 (2019) 最新！妊婦への栄養指導	¥1,650
Vol. 73#3 (2019) お悩み解決！指導者のための実習指導方法	¥1,650
Vol. 73#4 (2019) 数十年先まで見据えた周産期のケア　尿失禁や骨盤	¥1,650
Vol. 73#5 (2019) 子どもを取り巻く現状に即した性教育とは	¥1,650
Vol. 73#6 (2019) 助産師が知っておきたい　2週間健診＆1カ月健診での	¥1,650
Vol. 73#7 (2019) 最新！マイナートラブルへのアプローチ	¥1,650
Vol. 73#8 (2019) 分娩期と産後にも活用したい超音波	¥1,650
Vol. 73#9 (2019) みんなが参加したくなる　両親学級＆母親学級のヒケツ	¥1,650
Vol. 73#10 (2019)「助産師の自律」と「女性中心のケア」を実現するため	¥1,650
Vol. 73#11 (2019)「授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)」をよりよく活	¥1,650
Vol. 73#12 (2019) 多胎出産をした母親と家族へ必要なサポートとは	¥1,650
Vol. 74#1 (2020年1月) 自由な発想で助産ケアを発信しよう　社会に広が	¥1,650
Vol. 74#2 (2020年2月) 外国人妊産婦のケア転換期　在住者・旅行者を	¥1,650
Vol. 74#3 (2020年3月) 助産師が活用したい、出産・育児のためのマイン	¥1,650
Vol. 74#4 (2020年4月) 妊娠糖尿病　妊娠期から始める女性の健康支援	¥1,650
Vol. 74#5 (2020年5月) 妊娠期からできる虐待防止の方策「気になる妊婦	¥1,650
Vol. 74#6 (2020年6月)「助産」とは何か　改めてその専門性を問う／助	¥1,650
Vol. 74#7 (2020年7月) 災害時に母子を支える体制づくりを目指して	¥1,650
Vol. 74#8 (2020年8月) 胎児の病気が見つかった時　妊婦と家族のどん	¥1,650
Vol. 74#9 (2020年9月) 助産師が学び、実践したい骨盤ケア	¥1,650
Vol. 74#10 (2020年10月) What's new？ 最新情報をお届けします！『乳	¥1,650
Vol. 74#11 (2020年11月) 母子に向けた流行感染症対策　新型コロナウ	¥1,650
Vol. 74#12 (2020年12月) 臨床現場での"触れる"の今後を考える	¥1,650
Vol. 75#1 (2021年1月) 産後の母子を支える想いを聴く	¥1,650
Vol. 75#2 (2021年2月) 妊婦・母親との会話で役立つ質問と受け答えのコ	¥1,650
Vol. 75#3 (2021年3月) コロナ禍で必要な若年女性への支援とは？	¥1,650
Vol. 75#4 (2021年4月) 産後うつを防ぎたい！	¥1,650
Vol. 75#5 (2021年5月) 切迫早産のより良いケアを模索する	¥1,650
Vol. 75#6 (2021年6月) ポジティブな出産体験のための推奨項目56	¥1,650
Vol. 75#7 (2021年7月) 後期早産児を産んだお母さんへの適切な支援と	¥1,650
Vol. 75#8 (2021年8月) 妊婦も助産師も、冷え対策しませんか	¥1,650

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

284	**女性心身医学（日本女性心身医学会）**		
	Vol. 5-7 (2000-2002) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 8#1-3 (2003)	各号	¥4,400
	Vol. 12#3 (2007)		¥4,400
	Vol. 13#3 (2008)		¥4,400
	Vol. 14#1-3 (2009)	各号	¥4,400
	Vol. 15#1 (2010)		¥4,400
285	**Journal of Biochemistry（日本生化学会）**		
	Vol. 117-150 (1995-2011) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 151-154 (2012-2013) 各1-6号	各号	¥5,500
286	**Journal of Bone and Mineral Metabolism（日本骨代謝学会）**		
	Vol. 6#1-3 (1988)	各号	¥4,400
	Vol. 7#1-3 (1989)	各号	¥4,400
	Vol. 8#1-2 (1990)	各号	¥4,400
	Vol. 9#1-3,supplement (1991)	各号	¥4,400
	Vol. 10#1-2 (1992)	各号	¥4,400
	Vol. 11#supplement 1 (1993)		¥4,400
	Vol. 11#1/supplement 2 (1993)		¥4,400
	Vol. 11#2/supplement 3 (1993)		¥4,400
	Vol. 12#supplement 1 (1994)		¥4,400
	Vol. 12#1 (1994)		¥4,400
	Vol. 12#2/supplement 2 (1994)		¥4,400
	Vol. 13#1-2 (1995)	各号	¥4,400
	Vol. 14-17 (1996-1999) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 18-31 (2000-2013) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 23#supplement (2005)		¥4,400
287	**Journal of Brain Science 日本脳科学会会誌（日本脳科学会）**		
	Vol. 1-5 (1975-1979/1980) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 6#1-3,Supplement1 (1980)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1-3,Supplement2 (1981)	各号	¥2,200
	Vol. 8#1-3,Supplement3 (1982)	各号	¥2,200
	Vol. 9#1-3,Supplement5,Supplement6 (1983)	各号	¥2,200
	Vol. 10#1-2,Supplement7,Supplement8 (1984)	各号	¥2,200
	Vol. 11-17 (1985-1991) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 18#1-4,Supplement,Supplement2 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 19#1-4,Supplement1 (1993)	各号	¥2,200
	Vol. 20#1-4,Supplement (1994)	各号	¥2,200
288	**Journal of Clinical Rehabilitation クリニカルリハビリテーション（医歯薬出版）**		
	Vol. 1#4 (1992)		¥2,200
	Vol. 3-13 (1994-2004) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 14-17 (2005-2008) 各1-12号	各号	¥2,310
	Vol. 18-19 (2009-2010) 各1-12号	各号	¥2,420
	Vol. 20#3 (2011)		¥2,420
	別冊 (1994-2004) →お問い合わせ下さい。		
289	**Journal of General and Applied Microbiology（応用微生物学研究奨励会）**		
	Vol. 1-6 (1954/1960) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 7#1-4,Supplement (1961)	各号	¥2,200
	Vol. 8-10 (1962-1964) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 11#1-4,Supplement (1965)	各号	¥2,200
	Vol. 12-15 (1966-1969) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 16-52 (1970-2006) 各1-6号	各号	¥2,200
290	**Journal of Health Science (Pharmaceutical Society of Japan 日本薬学会)**		
	Vol. 45-55 (1999-2009) 各1-6号	各号	¥2,420

291	**Journal of Insect Biotechnology and Sericology (Japanese Society of Sericultural Science)**		
	Vol. 70#1-3 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 71#1-3 (2002)	各号	¥2,200
292	**Journal of Mammalian Ova Research (哺乳動物卵子学会)**		
	Vol. 12-14 (1995-1997) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 15-20 (1998-2003) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 21-28 (2004-2011) 各1-4号	各号	¥2,200
293	**Journal of Natural Disaster Science (日本自然災害学会)**		
	Vol. 20-30 (1998-2009) 各1-2号	各号	¥3,300
294	**Journal of Oceanography (日本海洋学会)**		
	Vol. 17-19 (1961-1963/64) 各1-4号	各号	¥6,600
	Vol. 20-27 (1964/65-1971) 各1-6号	各号	¥6,600
	Vol. 48#1-4 (1992)	各号	¥6,600
	Vol. 49-64 (1993-2008) 各1-6号	各号	¥6,600
	Vol. 65#1,2 (2009)		¥6,600
295	**Journal of Oral Biosciences (歯科基礎医学会)**		
	Vol. 46#1-6 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 47-53 (2005-2011) 各1-4号,supplement	各号	¥2,750
296	**Journal of Oral Science (Nihon University School of Dentistry)**		
	Vol. 40-47 (1998-2005) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 48#1-3 (2006)	各号	¥2,200
297	**Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (日本体力医学会)**		
	Vol. 1-2 (2012-2013) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 3#1-5 (2014)	各号	¥2,750
	Vol. 4#1-4 (2015)	各号	¥2,750
298	**Journal of Physical Therapy Science (理学療法科学学会)**		
	Vol. 7#1 (1995)		¥2,750
	Vol. 8-18 (1996-2006) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 19#1-4 (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 20#1 (2008)		¥2,750
299	**Journal of Radiation Research (日本放射線影響学会)**		
	Vol. 48#1-6,SupplementA (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 49#2-6 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 50#1-6,SupplementA (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 51#1-6 (2010)	各号	¥3,300
300	**Journal of Reproduction and Development (日本繁殖生物学会)**		
	Vol. 50#1-6 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 51#1-6 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 52#1-6, Supplement August (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 53#1-6 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 54#1-6 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 55#1-6 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 56#1-6, Suppl January, Suppl August (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 57#1-6, Suppl August (2011)	各号	¥2,200
301	**Journal of Rural Medicine : JRM (Japanese Association of Rural Medicine 日本農村医学会)**		
	Vol. 1#1,2 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 2#1,2 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1,2 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 4#1,2 (2008)	各号	¥2,200

302	**Journal of Signal Processing : 信号処理 (信号処理研究会)**		
	Vol. 1-9 (1997-2005) 各1-6号	各号	¥1,650
	Vol. 10#1,2 (2006)	各号	¥1,650
303	**Journal of Spine Research (日本脊椎脊髄病学会)**		
	Vol. 1#1,2,6 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 1#3,4,8 (2010)	各号	¥4,400
	Vol. 2#2,3 (2011)	各号	¥4,400
	Vol. 2#4-10,12 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1,2,5-12 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 4#1,2,4-12 (2013)	各号	¥2,200
	Vol. 4#3 (2013)		¥4,400
	Vol. 5#1,2,4-12 (2014)	各号	¥2,200
	Vol. 5#3 (2014)		¥4,400
	Vol. 6#1,2,4-12 (2015)		¥2,200
	Vol. 6#3 (2015)		¥4,400
	Vol. 7#1,2,4-10 (2016)		¥2,200
	Vol. 7#3 (2016)		¥4,400
304	**Journal of The Ceramic Society of Japan (日本セラミックス協会)**		
	Vol. 114#1328-1336 (2006)	各号	¥3,144
	Vol. 115#1337-1348 (2007)	各号	¥3,144
	Vol. 116#1349-1360 (2008)	各号	¥3,144
	Vol. 117#1361-1372 (2009)	各号	¥3,144
	Vol. 118#1373-1375,1377-1384 (2010)	各号	¥3,144
	Vol. 119#1385-1389 (2011)	各号	¥3,144
305	**Journal of the Japanese Society of Computational Statistics (日本計算機統計学会)**		
	Vol. 8-24 (1995-2011) 各No.1	各号	¥2,750
	Vol. 15#2 Special Issue (2003)		¥2,750
306	**Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan (無機マテリアル学会)**		
	Vol. 13#323 (2000)		¥1,650
	Vol. 14#327,331 (2007)	各号	¥1,650
	Vol. 15#333-337 (2007)	各号	¥1,650
	Vol. 16#338-343 (2009)	各号	¥1,650
	Vol. 17#344-349 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 18#350-352 (2011)	各号	¥1,650
307	**Journal of Veterinary Medical Science (日本獣医学会)**		
	Vol. 57#1-6 (1995)	各号	¥1,650
	Vol. 58-66 (1996-2004) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 67#1-12 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 68#5,7,9 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 69#4,5,7-12 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 70#1-12 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 71#1-6,11-12 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 72#1-8,11 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 73#1-12 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 74#1-12 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 75#1,2 (2013)	各号	¥2,200

308 **JSES 内視鏡外科 (医学書院)**

Vol. 1#1 (1996) 大腸癌に対する腹腔鏡下手術のcontroversy		¥2,970
Vol. 1#2 (1996) 腹腔鏡下手術-肺癌手術のフロンティア		¥2,970
Vol. 1#3 (1996) 腹腔鏡下手術における腹壁吊り上げ法		¥2,970
Vol. 1#4 (1996) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術		¥2,970
Vol. 1#5 (1996) 内視鏡下食道手術 胸腔鏡下縦隔腫瘍摘除術		¥2,970
Vol. 1#6 (1996) 腹腔鏡下虫垂炎手術 産婦人腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 2#1 (1997) 腹腔鏡下胃癌手術をめぐるcontroversy		¥2,970
Vol. 2#2 (1997) 直腸病変に対するEMRおよびTEM		¥2,970
Vol. 2#3 (1997) 肺気腫・肺嚢胞に対する腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 2#4 (1997) 小児における腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 2#5 (1997) 肝疾患に対する腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 2#6 (1997) 腹部急性疾患に対する腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 3#1 (1998) 整形外科領域における内視鏡下手術		¥2,970
Vol. 3#2 (1998) 腹腔鏡下脾臓摘出術の適応と工夫		¥2,970
Vol. 3#3 (1998) 形成外科領域における内視鏡下手術		¥2,970
Vol. 3#4 (1998) 心臓血管外科領域における内視鏡下手術		¥2,970
Vol. 3#5 (1998) 総胆管結石に対する腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 3#6 (1998) 胸腔鏡・腹腔鏡による新しい診断へのアプローチ		¥2,970

※Vol.4#1 (1999)→日本内視鏡外科学会雑誌

309 **循環器内科 (科学評論社)**

Vol. 77-84 (2015-2018) 各1-6号	各号	¥3,300
Vol. 85#1-6 (2019)	各号	¥3,300

310 **Jurist ジュリスト (有斐閣)**

No. 1270-1448 (2004-2012)

※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。

311 **JWE 日本風工学会誌 日本風工学会論文集 (日本風工学会)**

Vol. 24#78,80 (1999)	各号	¥3,300
Vol. 25#84,85 (2000)	各号	¥3,300
Vol. 26#86-30#105 (2001-2005)	各号	¥3,300
Vol. 31#106,107,109 (2006)	各号	¥3,300
Vol. 32#110-33#117 (2007-2008)	各号	¥3,300

312 **科学 (岩波書店)**

Vol. 74#7-12 (2004)	各号	¥1,466
Vol. 75-88 (2005-2018) 各1-12号	各号	¥1,466

313	**科学基礎論研究 (科学基礎論学会)**		
	Vol. 1#1-4 (1954/1955)	各号	¥880
	Vol. 2#5-8 (1955/1956)	各号	¥880
	Vol. 3#9-12 (1956/1957)	各号	¥880
	Vol. 4#13-15 (1958/1960)	各号	¥880
	Vol. 5#16-19 (19601962)	各号	¥880
	Vol. 6#20-22 (1962/1964)	各号	¥880
	Vol. 7#24-27 (1964/1966)	各号	¥880
	Vol. 8#28-31 (1966/1968)	各号	¥880
	Vol. 9#32-35 (1968-1970)	各号	¥880
	Vol. 10#36-39 (1970/1972)	各号	¥880
	Vol. 11#40-43 (1972/1974)	各号	¥880
	Vol. 12#44-15#59 (1974-1982)	各号	¥880
	Vol. 16#60 (1982)		¥1,760
	Vol. 16#61-18#70 (1982/1984-1988)	各号	¥880
	Vol. 19#72 (1988/1990)		¥880
	Vol. 20#75,76,78 (1990/1992)	各号	¥880
	Vol. 21#79 (1992)		¥880
	Vol. 22#83-23#86 (1994-1996)	各号	¥880
	Vol. 25#89-90 (1997-1998)	各号	¥880
	Vol. 27#93-94 (1999-2000)	各号	¥880
314	**化学工学 Chemical Engineering (化学機械協会)**		
	Vol. 64-69 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥1,925
315	**化学光学論文集 (化学工学協会)**		
	Vol. 26-27 (2000-2001) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 28#1-3 (2002)	各号	¥4,400
	Vol. 29-31 (2003-2008) 各1-6号	各号	¥4,400
316	**科学教育研究 (日本科学教育学会)**		
	Vol. 14#3,4 (1990)	各号	¥2,750
	Vol. 15-18 (1991-1994) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 19-22 (1995-1998) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 23#1-5 (1999)	各号	¥3,300
	Vol. 24#1-4; 25#1-5 (2000-2001)	各号	¥3,300
	Vol. 26-30 (2002-2006) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 31#1-4; 32#1-3; 33#1-4 (2007-2009)	各号	¥3,300
317	**化学療法の領域 Antibiotics & Chemotherapy**		
	Vol. 16-23 (2000-2007) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 24#1-12 (2008)	各号	¥2,530
	Vol. 25#1-12 (2009)	各号	¥2,530
	Vol. 16#増刊号-25#増刊号 (2000-2009)	各号	¥4,070
318	**科学史研究 Journal of History of Science, Japan (日本科学史学会)**		
	No. 1-60 (1941-1961)	各号	¥1,466
	No. 61-189,191,193-195,197-214 (1962-2000)	各号	¥1,466
	No. 243-248,252-264 (2007-2012)	各号	¥1,466
319	**化学と工業 (日本化学会)**		
	Vol. 63-65 (2010-2012) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 66#1,2 (2013)	各号	¥2,200

320	**化学と生物（日本農芸化学会）**		
	Vol. 38-42 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥1,100
	Vol. 43#1-12 (2005)	各号	¥1,100
	Vol. 44#1-4,6-11 (2006)	各号	¥1,100
	Vol. 46#1-12 (2008)	各号	¥1,100
	Vol. 47#1-12 (2008)	各号	¥1,100
	Vol. 48#1,3-12 (2010)	各号	¥1,100
	Vol. 49#1-10,12 (2011)	各号	¥1,100
	Vol. 50#1,2,4-12 (2012)	各号	¥1,100
321	**解剖学雑誌（日本解剖学会）**		
	Vol. 1#1/4 (1928/1929) 製本		¥30,800
	Vol. 2#1/6 (1929/1930) 製本		¥37,400
	Vol. 3#1/12 (1930/1931) 製本		¥57,200
	Vol. 4#1/12 (1931/1932) 製本		¥64,900
	Vol. 5#1/12 (1932/1933) 製本		¥56,100
	Vol. 6#1/12 (1933/1934) 製本		¥50,600
	Vol. 7#1/12 (1934/1935) 製本		¥61,600
	Vol. 8#1/12 (1935/1936) 製本		¥71,500
	Vol. 9#1/12 (1936/1937) 製本		¥59,400
	Vol. 10#1/9 (1937) 製本		¥37,400
	Vol. 11#1/6 (1938) 製本		¥22,000
	Vol. 12#1/6 (1938) 製本		¥30,800
	Vol. 13#1/6 (1939) 製本		¥44,000
	Vol. 14#1/6 (1939) 製本		¥37,400
	Vol. 15#1/6 (1940) 製本		¥20,900
	Vol. 16#1/6 (1940) 製本		¥14,300
	Vol. 17#1/6 (1941) 製本		¥22,000
	Vol. 18#1/6 (1941) 製本		¥18,700
	Vol. 19#1/6 (1942) 製本		¥19,800
	Vol. 20#1/6 (1942) 製本		¥19,800
	Vol. 21#1/12 (1943) 製本		¥31,900
	Vol. 22#1/8 (1944) 製本		¥19,800
	Vol. 23-27 (1946-1952) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 28#1-6 (1953)	各号	¥2,750
	Vol. 29#1-4 (1954)	各号	¥2,750
	Vol. 30-76 (1955-2001)　各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 77#1-4,supplement (2002)	各号	¥2,750
	Vol. 78-80 (2003-2005)　各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 81-86 (2006-2011)　各1-4号,supplement	各号	¥2,750
	Vol. 87#1,2,3,4 (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 88#1/2,3,4 (2013)	各号	¥2,750
	Vol. 89#1/2,3,4 (2014)	各号	¥2,750
	Vol. 90#1/2,3,4,supplement (2015)	各号	¥2,750
	Vol. 91#1/2,3,4,supplement (2016)	各号	¥2,750
	Vol. 92#1,supplement (2017)	各号	¥2,750
	Vol. 93#1,supplement (2018)	各号	¥2,750
	Vol. 94#1,supplement (2019)	各号	¥2,750
	Vol. 95#1,supplement (2020)	各号	¥2,750
	Vol. 96#1 (2021)		¥2,750
	Vol. 97#1,2 (2022)	各号	¥2,750
322	**海岸（全国海岸協会）**		
	No. 26,31 (1986-1991)	各号	¥2,090
	Vol. 31-42 (1991-2002) 各1-2号	各号	¥2,090

323	**会計・監査ジャーナル（日本公認会計士協会）**		
	Vol. 24#1-12 (2012)	各号	¥1,728
	Vol. 25#1-10 (2013)	各号	¥1,728
324	**海洋地質（海洋地質研究会）**		
	Vol. 1-8 (1962/63-1972) 各1-2号	各号	¥2,200
325	**核医学（日本核医学会）**		
	Vol. 42#4 (2005)		¥1,980
	Vol. 43#1,4 (2006)	各号	¥1,980
	Vol. 44-45 (2007-2008) 各1-4号	各号	¥1,980
	Vol. 46#2-4 (2009): 47#1 (2010); 48#4 (2011); 49#1-4 (2012)	各号	¥1,980
	Vol. 49-50 (2012-2013) 各1-4号	各号	¥1,980
326	**神奈川母性衛生学会誌 Kanagawa Journal of Maternal Health（神奈川母性衛生学会）**		
	Vol. 2-7 (1999-2004) 各1号	各号	¥3,300
327	**神奈川県温泉地学研究所報告**		
	Vol. 24-26,29-31,33-36,39-41 (1992/93-2009)	各号	¥3,300
328	**神奈川県精神医学会誌（神奈川県精神医学会）**		
	No. 45-52 (1995-2002)	各号	¥2,200
329	**神奈川整形災害外科医会雑誌（神奈川整形災害外科医会）**		
	Vol. 8-14 (1995-2001) 各1-5号	各号	¥1,650
	Vol. 15#1,2,4 (2002)	各号	¥1,650
	Vol. 16#2-5 (2003)	各号	¥1,650
	Vol. 17#1-5 (2004)	各号	¥1,650
	Vol. 18#1-5 (2005)	各号	¥1,650
	Vol. 19#1-4 (2006)	各号	¥1,650
330	**環動昆（日本環境動物昆虫学会）**		
	Vol. 2-3 (1990-1991) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 4-9 (1992-1998) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 10#1/2,3,4 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 11-18 (2000-2007) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 19#1,2,3/4 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 20#1-4 (2009)	各号	¥2,200

331 看護（日本看護協会出版会）

Vol. 2#4,8 (1950)	各号	¥1,210
Vol. 3-11 (1951-1959) 各1-12号	各号	¥1,210
Vol. 12#1-13 (1960)	各号	¥1,210
Vol. 13#1-12 (1961)	各号	¥1,210
Vol. 14#2,9 (1962)	各号	¥1,210
Vol. 15#8-12 (1963)	各号	¥1,210
Vol. 16#1,2,4-11 (1964)	各号	¥1,210
Vol. 17-42 (1965-1990) 各1-14号	各号	¥1,210
Vol. 43#1-14 (1991)	各号	¥1,210
Vol. 44#1-14 (1992)	各号	¥1,210
Vol. 45#1-15 (1993)	各号	¥1,210
Vol. 46#1-3,5-15 (1994)	各号	¥1,210
Vol. 46#4 (1994)		¥1,650
Vol. 47#1-3,5-15 (1995)	各号	¥1,210
Vol. 47#4 (1995)		¥1,650
Vol. 48#1-3,5-15 (1996)	各号	¥1,210
Vol. 48#4 (1996)		¥1,650
Vol. 49#1 (1997) 看護職能団体の可能性を探る		¥1,210
Vol. 49#2 (1997) 准看護婦問題に決着！		¥1,210
Vol. 49#3 (1997) ジョイス・クリフォード-世界最高の看護部組織を..		¥1,210
Vol. 49#4 (1997) 第27回日本看護学会特別講演・シンポジウム集録		¥1,650
Vol. 49#5 (1997) 4月の職場をどう過ごすか		¥1,210
Vol. 49#6 (1997) [1]看護サービスを拡充させる診療報酬活用		¥1,210
Vol. 49#7 (1997) 改革の時を迎えた看護制度		¥1,210
Vol. 49#8 (1997) 訪問看護ステーションの現状と課題		¥1,210
Vol. 49#9 (1997) 認定看護師誕生！		¥1,210
Vol. 49#10 (1997) 看護の第三者評価と質改善		¥1,210
Vol. 49#11 (1997) 第21回ICN大会リポート		¥1,210
Vol. 49#12 (1997) 早期退院を可能にするケアシステム		¥1,210
Vol. 49#13 (1997) 臨床実践能力の評価と適用		¥1,210
Vol. 49#14 (1997) 病院看護部の未来		¥1,210
Vol. 49#15 (1997) ケアマネジメントへの取り組み		¥1,650
Vol. 50#1 (1998) 看護管理者が取り組むべき課題		¥1,210
Vol. 50#2 (1998) 第三者評価による質改善		¥1,210
Vol. 50#3 (1998)「患者中心のケア」の新しい試み		¥1,210
Vol. 50#4 (1998) 第28回日本看護学会特別講座・シンポジウム		¥1,650
Vol. 50#5 (1998) 入院期間短縮への取り組み		¥1,210
Vol. 50#6 (1998) Q&A看護職が知っておくべき介護保険法チェック		¥1,210
Vol. 50#7 (1998) 専門看護師たちの事例報告		¥1,210
Vol. 50#8 (1998) 外来におけるプライマリー・ナーシング		¥1,210
Vol. 50#9 (1998) 創刊50周年記念企画 看護の価値が問われ..		¥1,210
Vol. 50#10 (1998) 選択の時代を迎えた交代制勤務		¥1,210
Vol. 50#11 (1998) 部門間の「壁」を破る		¥1,210
Vol. 50#12 (1998) 驚かされる「ケアのタペストリー」		¥1,210
Vol. 50#13 (1998) 世界の看護職規定法		¥1,210
Vol. 50#14 (1998) 看護を改善する第三者評価		¥1,210
Vol. 50#15 (1998) 看護教育の質を問う		¥1,210
Vol. 51#1 (1999) 未来を切り開くリーダーシップ		¥1,100
Vol. 51#2 (1999) 倫理的感受性		¥1,100
Vol. 51#3 (1999) 増加する緩和ケア病棟		¥1,100
Vol. 51#4 (1999) 臨時増刊号 第29回学会特別講演・シンポジウム集録		¥1,650
Vol. 51#5 (1999) 看護を「語る」ことの力		¥1,100
Vol. 51#6 (1999) 看護職の政治的戦略		¥1,100
Vol. 51#7 (1999) 臨時増刊号「ライフサポート」の世界		¥1,100

Vol. 51#8 (1999) 脚光をあびるグループホームケア	¥1,100
Vol. 51#9 (1999) 抑制廃止に向けて/平成11年度通常総会レポート	¥1,100
Vol. 51#10 (1999) リスク・マネジメント	¥1,100
Vol. 51#11 (1999) 看護の未来へ	¥1,100
Vol. 51#12 (1999) 看護職の社会経済福祉に関する指針 医療事故編	¥1,100
Vol. 51#13 (1999)「診療情報開示」はなぜ大切か？	¥1,100
Vol. 51#14 (1999) 臨時増刊号「抑制廃止」をめぐる神話と真実	¥1,100
Vol. 51#15 (1999)「医学」の進歩と「看護」の変化	¥1,100
Vol. 52#1 (2000) ''ケアの標準化''の時代	¥1,100
Vol. 52#2 (2000) 根拠に基づいた看護とは？	¥1,100
Vol. 52#3 (2000)「看護必要度」の意味	¥1,100
Vol. 52#4 (2000) 臨時増刊号 第30回日本看護学会	¥1,650
Vol. 52#5 (2000) 生涯学習 自らが選び取る「資質向上」	¥1,100
Vol. 52#6 (2000) もう一つのリスクマネジメント	¥1,100
Vol. 52#7 (2000) 臨時増刊号 看護記録のゆくえ	¥1,100
Vol. 52#8 (2000) 認定看護師導入の効果 現場の何が変わったか	¥1,100
Vol. 52#9 (2000) 施設内結核対策Q&A	¥1,100
Vol. 52#10 (2000) ''患者満足''を追求する看護部	¥1,100
Vol. 52#11 (2000) ベットサイドにおける情報収集の極意	¥1,100
Vol. 52#12 (2000) ナーシング・マインドを活かす広がる看護職の活躍の	¥1,100
Vol. 52#13 (2000) リスクマネージャー活動報告	¥1,100
Vol. 52#14 (2000) 臨時増刊号 診療報酬を使いこなす	¥1,100
Vol. 52#15 (2000) 21世紀の日本へ看護のアピール	¥1,100
Vol. 53#1 (2001) あなたに送る一通の手紙	¥1,100
Vol. 53#2 (2001) プリセプターへの支援	¥1,100
Vol. 53#3 (2001) 転換期における病いと癒し	¥1,100
Vol. 53#4 (2001) 3月臨増 第31回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,650
Vol. 53#5 (2001) 看護のネットワークづくり	¥1,100
Vol. 53#6 (2001) 看護管理のエキスパートを目指す	¥1,100
Vol. 53#7 (2001) 5月臨増 日本看護協会5つの看護業務基準	¥1,650
Vol. 53#8 (2001) IT革命と看護の未来	¥1,100
Vol. 53#9 (2001) ICN「2001年国際看護婦の日」資料	¥1,100
Vol. 53#10 (2001) 看護職のストレスマネジメント	¥1,100
Vol. 53#11 (2001) 第22回ICN4年毎大会リポート	¥1,100
Vol. 53#12 (2001) 医療・看護ケアの質を保証する4つのツール	¥1,100
Vol. 53#13 (2001) 病棟を変えた婦長たち	¥1,100
Vol. 53#14 (2001) 11月臨増 患者のための情報開示	¥1,650
Vol. 53#15 (2001)「まちの保健室」始動!	¥1,100
Vol. 54#1 (2002) 日本の医療制度改革と看護	¥1,100
Vol. 54#2 (2002)「災害看護」の可能性を考える	¥1,100
Vol. 54#3 (2002) 看護実践に役立つ基礎医学の現状とこれから	¥1,100
Vol. 54#4 (2002) 3月臨増 日本看護学会特別講演・シンポジウム集録号	¥1,650
Vol. 54#5 (2002) 看護におけつ「卒後臨床研修」必修化	¥1,100
Vol. 54#6 (2002) 看護の共通言語を探求する	¥1,100
Vol. 54#7 (2002) 5月臨増 21世紀の看護をリードする「家族看護」	¥1,650
Vol. 54#8 (2002) 看護のアートを追及する	¥1,100
Vol. 54#9 (2002) 平成14年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,100
Vol. 54#10 (2002) 経営的視点から考える看護とモノの管理	¥1,100
Vol. 54#11 (2002) ''包括評価''を考える	¥1,100
Vol. 54#12 (2002) 広告規制緩和	¥1,100
Vol. 54#13 (2002) ''機能する''リスクマネジメント	¥1,100
Vol. 54#14 (2002) 11月臨増 今こそ,感染管理体制整備を	¥1,650
Vol. 54#15 (2002) 看護職が読んでおくべき重要報告2001-2002	¥1,100
Vol. 55#1 (2003) 外国人看護職が語る心に響く日本の看護	¥1,100
Vol. 55#2 (2003) 沈黙から発言へ	¥1,100
Vol. 55#3 (2003) 改めて「病院機能評価」を考える	¥1,100
Vol. 55#4 (2003) 3月臨増第33回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,650

	Vol. 55#5 (2003) 地域連携における患者中心の情報共有	¥1,100
	Vol. 55#6 (2003) 組織刷新で何を変えるか	¥1,100
	Vol. 55#7 (2003) 5月臨増専門看護師を活用する	¥1,650
	Vol. 55#8 (2003) 新卒看護師の''看護基本技術''を支える	¥1,100
	Vol. 55#9 (2003) H15年度日本看護協会通常総会ﾘﾎﾟｰﾄ	¥1,100
	Vol. 55#10 (2003) 苦情マネジメント	¥1,100
	Vol. 55#11 (2003) 雇用の多様化を考える	¥1,100
	Vol. 55#12 (2003) 臨床の看護研究	¥1,100
	Vol. 55#13 (2003) 職務満足をどう引き出すか	¥1,100
	Vol. 55#14 (2003) 11月臨増いま専門職看護の真価が問われる	¥1,650
	Vol. 55#15 (2003) 看護理論の臨床活用	¥1,100
	Vol. 56#1 (2004) キャリア開発を支える	¥1,100
	Vol. 56#2 (2004) 医療事故を防ぐために	¥1,100
	Vol. 56#3 (2004) 新人に教えたいこと	¥1,100
	Vol. 56#4 (2004) 3月臨増 第34回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,650
	Vol. 56#5 (2004) “在院日数短縮”の光と影	¥1,100
	Vol. 56#6 (2004) DPC（診断群分類別包括評価）の看護への影響	¥1,100
	Vol. 56#7 (2004) 5月臨増「個人情報保護法」と看護	¥1,650
	Vol. 56#8 (2004) 看護職は“説明責任”を果たしているか	¥1,100
	Vol. 56#9 (2004) 平成16年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,100
	Vol. 56#10 (2004) 脱・安静の弊害	¥1,100
	Vol. 56#11 (2004) チームで展開する褥瘡ケア	¥1,100
	Vol. 56#12 (2004) 人が人を評価する	¥1,100
	Vol. 56#13 (2004) 成果の出せる転倒・転落事故防止対策	¥1,100
品切	Vol. 56#14 (2004) 11月臨増 電子カルテ時代の看護記録	¥1,650
	Vol. 56#15 (2004) 院内ルールを見直す	¥1,100
	Vol. 57#1 (2005) 適正な看護職員配置の工夫	¥1,100
	Vol. 57#2 (2005) 勤務異動を成功させるために	¥1,100
	Vol. 57#3 (2005)「リスク感性」を育てる、磨く	¥1,100
	Vol. 57#4 (2005) 3月臨増 第35回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,650
	Vol. 57#5 (2005) 看護管理者の倫理的感受性	¥1,100
	Vol. 57#6 (2005) 目指そう、認定看護管理者	¥1,100
	Vol. 57#7 (2005) 5月臨増 目標管理のコツとルール	¥1,650
	Vol. 57#8 (2005) 看護手順のつくり方・見直し方	¥1,100
	Vol. 57#9 (2005) 平成17年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,100
	Vol. 57#10 (2005) 第23回ICN4年毎大会リポート	¥1,100
	Vol. 57#11 (2005)「患者参加」で、何が変わったか	¥1,100
	Vol. 57#12 (2005) ジェネラリストの能力開発を考える	¥1,100
	Vol. 57#13 (2005) なぜ、あなたは部下とうまくいかないのか？	¥1,100
	Vol. 57#14 (2005) 11月臨増 ストレスや危険な労働環境への対策	¥1,650
	Vol. 57#15 (2005) 暴力に対して看護管理者ができること	¥1,100
	Vol. 58#1 (2006) 地域医療連携体制はこう構築する	¥1,210
	Vol. 58#2 (2006) あなたのコーチングは”コーチング未満”になっていま	¥1,210
	Vol. 58#3 (2006) 看護管理者は病院経営にどう関わるべきか	¥1,210
	Vol. 58#4 (2006) 3月臨増 第36回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,760
	Vol. 58#5 (2006) 新任師長ナビ 師長になったらまず何をしなければなら	¥1,210
	Vol. 58#6 (2006) スムーズな地域医療連携を実現する地域連携クリティ	¥1,210
	Vol. 58#7 (2006) 5月臨増 こうすれば成功する バランスト・スコア・カード(	¥1,760
	Vol. 58#8 (2006) 実例に学ぶ ナースのメンタルヘルスケア	¥1,210
	Vol. 58#9 (2006) 平成18年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,210
	Vol. 58#10 (2006) 患者中心の情報論理 CNSのさらなる活用を考える	¥1,210
	Vol. 58#11 (2006) 新卒ナースが辞める理由、辞めさせない工夫 療養通	¥1,210
	Vol. 58#12 (2006) 看護管理者の腕の見せ所”7対1”実現のためのマネジ	¥1,210
	Vol. 58#13 (2006) 看護記録の法的整備に向けて	¥1,210
	Vol. 58#14 (2006) 11月臨増 知っておくべき薬物療法と看護の役割	¥1,760
	Vol. 58#15 (2006) スタッフマネジメント 私のスタイル 未就業看護者の再	¥1,210
	Vol. 59#1 (2007) 看護職員配置を適正化する 看護必要度の導入と活用	¥1,210

	Vol. 59#2 (2007) 意思表示のできない患者への倫理的な関わり方	¥1,210
	Vol. 59#3 (2007) 実践！患者満足度向上のために	¥1,210
	Vol. 59#4 (2007) 3月臨増 第37回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,760
	Vol. 59#5 (2007) 新任師長ナビ2 新人看護職員を伸ばす関わり	¥1,210
	Vol. 59#6 (2007) 中堅ナース定着への環境づくり 現場でできる創意工夫	¥1,210
	Vol. 59#7 (2007) 5月臨増 看護管理者が知っておきたい経営参画ポイン	¥1,760
	Vol. 59#8 (2007) やり甲斐がスタッフを支える ナースの職務継続に向け	¥1,210
	Vol. 59#9 (2007) 平成19年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,210
	Vol. 59#10 (2007) 2007年CNR・ICN学術集会リポート	¥1,210
	Vol. 59#11 (2007) どうしていますか？ 人工呼吸器・栄養チューブの事故	¥1,210
	Vol. 59#12 (2007) 先進事例に学ぶ 地域連携 各地の取り組みと看護の	¥1,210
	Vol. 59#13 (2007) ワーク・ライフ・バランスを実現する中小病院	¥1,210
	Vol. 59#14 (2007) 11月臨増 看護師臨床研修制度 制度化に向けて	¥1,760
	Vol. 59#15 (2007) スタッフにどうアプローチするか？ 退職をマネジメント	¥1,210
	Vol. 60#1 (2008) 看護を社会に発信する 実践したいアピール法	¥1,210
	Vol. 60#2 (2008) 医療の見える化と標準化 質マネジメントシステムの構	¥1,210
	Vol. 60#3 (2008) 急増! 看護職副院長 その役割と展望	¥1,210
	Vol. 60#4 (2008) 第38回日本看護学会特別講演・シンポジウム集録号	¥1,760
	Vol. 60#5 (2008) 外来の未来に向けて 看護の質向上とシステム改革	¥1,210
	Vol. 60#6 (2008) 47都道府県庁全調査！ 活用したい確保定着支援事	¥1,210
	Vol. 60#7 (2008) この1冊で導入できる！ フィッシュ！哲学による活き活	¥1,760
	Vol. 60#8 (2008) 新卒・中途応募者を惹き付ける！ 魅力ある看護部HP	¥1,210
	Vol. 60#9 (2008) 平成20年度 日本看護協会通常総会リポート	¥1,210
	Vol. 60#10 (2008) 電子カルテで看護はこう変わる 導入病院の現状と成	¥1,210
	Vol. 60#11 (2008) 退院調整看護師（ディスチャージ ナース）の活躍と退	¥1,210
	Vol. 60#12 (2008) 患者の暴言・暴力 その実態と対処	¥1,210
	Vol. 60#13 (2008) 院内のがん看護実践力を底上げする！ がん看護の	¥1,210
品切	Vol. 60#14 (2008) Shift The Healthcare Safety Education 医療安全教育	¥1,760
	Vol. 60#15 (2008) 看護必要度活用の手引き	¥1,210
	Vol. 61#1 (2009) 看護職医療メディエーターへの期待と実践	¥1,210
	Vol. 61#2 (2009) 問題を共有しサポートし合う 看護管理者のネットワーク	¥1,210
	Vol. 61#3 (2009) リフレクションとは? 看護のやり甲斐を支える	¥1,210
	Vol. 61#4 (2009) 臨時増刊号 第39回日本看護学会特別講演・シンポジ	¥1,760
	Vol. 61#5 (2009) 相乗効果で組織力アップ! 新人看護師研修と教育担当	¥1,210
	Vol. 61#6 (2009) 日本のマグネット・ホスピタル　平成21年度介護報酬改	¥1,210
	Vol. 61#7 (2009) 臨時増刊号 働き続けられる職場づくりへ 短時間正職	¥1,760
	Vol. 61#8 (2009) 地域連携で支援する これからの糖尿病患者のセルフ	¥1,210
	Vol. 61#9 (2009) 院内助産システムの推進 安全で満足度の高い出産環	¥1,210
	Vol. 61#10 (2009) 看護の役割　今、何が問われているのか?	¥1,210
	Vol. 61#11 (2009) 施設の変化(チェンジ)をチャンスにかえよう 転換期の	¥1,210
	Vol. 61#12 (2009) 時間外勤務を見直そう 患者と職員のための労働時間	¥1,210
	Vol. 61#13 (2009) 救急患者のニーズに応えるトリアージナース その体制	¥1,210
	Vol. 61#14 (2009) 臨時増刊号 eラーニングに舵を切れ! 教育から学習へ	¥1,760
	Vol. 61#15 (2009) エビデンスを活用する 労働環境改善	¥1,210
	Vol. 62#1 (2010) 看護基礎教育の新たな時代に向けて	¥1,210
	Vol. 62#2 (2010) 多職種チームで取り組む高齢患者の転倒・転落防止	¥1,210
	Vol. 62#3 (2010) どう受け入れる? 平成生まれの新卒看護職	¥1,210
	Vol. 62#4 (2010) 臨時増刊号 第40回日本看護学会特別講演・シンポジ	¥1,760
	Vol. 62#5 (2010) ここがポイント! 病院機能評価Ver.6.0	¥1,210
	Vol. 62#6 (2010) 20代中堅看護師を支え、育む	¥1,210
品切	Vol. 62#7 (2010) 臨時増刊号 新人看護職員研修の手引き ガイドライン	¥1,760
	Vol. 62#8 (2010) 平成22年度診療報酬改定 専門性の高い看護師の評	¥1,210
	Vol. 62#9 (2010)「チーム医療の推進に関する検討会」報告書を読み解	¥1,210
	Vol. 62#10 (2010) 平成22年度 日本看護協会通常総会リポート	¥1,210
	Vol. 62#11 (2010) WLBを実現する夜勤体制	¥1,210
	Vol. 62#12 (2010) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が取り組む	¥1,210
	Vol. 62#13 (2010) 実例から学ぶ! 教育担当者研修のポイント	¥1,210

	Vol. 62#14 (2010) 臨時増刊号 事例から学ぶWLB実現プロセス 魅力あ	¥1,760
	Vol. 62#15 (2010) これからのキャリア支援 看護師として働き続けるため	¥1,210
	Vol. 63#1 (2011) 看護管理者のよりよい意思決定のために	¥1,210
	Vol. 63#2 (2011) 中小医療機関の医療安全研修 その研究と実例を役立	¥1,210
	Vol. 63#3 (2011) 師長さんの疑問にお答えします! 目標管理のお悩み解	¥1,210
	Vol. 63#4 (2011) 臨時増刊号 最新 看護師長ナビ 人と組織が成長する	¥1,760
	Vol. 63#5 (2011) 不安を軽減! 新人看護師サポートの工夫	¥1,210
	Vol. 63#6 (2011) 時間外勤務を短縮する 現場の対策と看護管理者の役	¥1,210
品切	Vol. 63#7 (2011) 臨時増刊号 看護師長を育てる、支える マネジメントラ	¥1,760
	Vol. 63#8 (2011) 看護の評価に根拠が求められる時代に! 看護必要度導	¥1,210
	Vol. 63#9 (2011) ナースのWLBを推進しよう 平成22年度「看護職のWLB	¥1,210
	Vol. 63#10 (2011) 平成23年度 日本看護協会通常総会リポート	¥1,210
	Vol. 63#11 (2011) 新人看護職員研修体制を検証する 継続することと、	¥1,210
	Vol. 63#12 (2011) 看護師長のためのタイムマネジメント	¥1,210
	Vol. 63#13 (2011) 新人ナース採用大作戦	¥1,210
	Vol. 63#14 (2011) 臨時増刊号 チーム医療・看護を変える! 対話と共感を	¥1,760
	Vol. 63#15 (2011) 新しい交代制勤務の時代に向けて 健康・安全に働き	¥1,210
	Vol. 64#1 (2012) つながる看護 病院から在宅へ 急性期病院のケアの視	¥1,320
	Vol. 64#2 (2012) 看護師特定能力認証制度(仮称)法制化に向けて「特	¥1,320
	Vol. 64#3 (2012) 看護管理者に求められる災害への備え 災害時のマネ	¥1,320
	Vol. 64#4 (2012) 臨時増刊号「チーム医療」実践的事例集	¥1,980
	Vol. 64#5 (2012) 新人のコミュニケーション力をどう育てるか／新人助産	¥1,320
	Vol. 64#6 (2012) 看護職が辞めない職場づくり 私の病棟マネジメント／	¥1,320
	Vol. 64#7 (2012) 臨時増刊号 成長と自律を促す 中堅看護師サポート体	¥1,980
	Vol. 64#8 (2012) 患者と看護職の安全・健康を守る 夜勤・交代制勤務の	¥1,320
	Vol. 64#9 (2012) “つなげる看護”を考える 病院の看護師に在宅療養支	¥1,320
	Vol. 64#10 (2012) 平成24年度日本看護協会通常総会リポート／「中堅	¥1,320
	Vol. 64#11 (2012)「看護職のWLBインデックス調査」を活用しよう 現状分	¥1,320
	Vol. 64#12 (2012) 看護職の勤務負担軽減に向けて看護補助者とどう連	¥1,320
	Vol. 64#13 (2012) 看護師特定能力認証制度モデル事業リポート／病院	¥1,320
	Vol. 64#14 (2012) 臨時増刊号 夜勤・交代制勤務改善のためのマネジメ	¥1,980
	Vol. 64#15 (2012) 労働環境改善の支援体制を活用しよう！さらなる「雇	¥1,320
	Vol. 65#1 (2013) 2025年問題を見すえた“これからの看護”を語る/看護	¥1,320
	Vol. 65#2 (2013) “ともに歩む”東日本大震災復興支援/よりよい看護職	¥1,320
	Vol. 65#3 (2013) 推進しよう! 助産師出向システム 安全・安心な妊娠・出	¥1,320
品切	Vol. 65#4 (2013) 臨時増刊号 これからの新人看護職員研修 努力義務	¥1,980
	Vol. 65#5 (2013) 注目したい! 看護師職能委員会2 介護・福祉関係施設	¥1,320
	Vol. 65#6 (2013) 看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン/“JCI	¥1,320
	Vol. 65#7 (2013)「看護師特定行為・業務試行事業」から見えてくるもの/	¥1,320
	Vol. 65#8 (2013) 臨時増刊号 地域に溶け込む 47都道府県の“看護”	¥1,980
	Vol. 65#9 (2013) 労働と看護の質向上のためのデータベース事業/「201	¥1,320
	Vol. 65#10 (2013) 平成25年度 日本看護協会通常総会リポート/「ICN4	¥1,320
	Vol. 65#11 (2013) 都道府県ナースセンターをこう活用する!/「保健師活	¥1,320
	Vol. 65#12 (2013) 活用しよう! “看護補助者”の力/“在宅医療支援病棟”	¥1,320
	Vol. 65#13 (2013) 本人・家族の“想い”がかなう「複合型サービス」/WLB	¥1,320
品切	Vol. 65#14 (2013) 臨時増刊号 “専門看護師”活用で病院が変わる! —	¥1,980
	Vol. 65#15 (2013) 組織で取り組む“医療安全”管理/看護の専門性を発	¥1,320
	Vol. 66#1(2014) 安全・安心なお産を実現! “助産師出向システム”/より	¥1,540
	Vol. 66#2(2014)「専門性の高い看護師」と訪問看護師による“同一日訪	¥1,540
	Vol. 66#3(2014)［日本看護協会重点政策・重点事業関連企画］看護職	¥1,540
	Vol. 66#4(2014) 臨時増刊号「医療安全推進のための標準テキスト」	¥1,980
	Vol. 66#5(2014)「被災地の看護は、いま」を考える/看護職だからこそで	¥1,540
	Vol. 66#6(2014) 平成26年度診療報酬改定/ポートフォリオ“活用・定着”	¥1,540
	Vol. 66#7(2014) “地域包括ケアシステム”に 保健師はどうかかわるか/マ	¥1,540
	Vol. 66#8(2014) 臨時増刊号 ベンチマーク評価で“看護”を変える!	¥1,980
	Vol. 66#9(2014) 助産師のためのキャリアパスとクリニカルラダーに注目/“	¥1,540
	Vol. 66#10(2014) 平成26年度 日本看護協会通常総会リポート/2013年	¥1,540

	Vol. 66#11(2014) よりよい“在宅復帰”をめざす看看連携/急性期病院で	¥1,540
	Vol. 66#12(2014)「夜勤・交代制勤務」の負担軽減で実現した看護職の“	¥1,540
	Vol. 66#13(2014) もっと上げたい! 看護職の賃金/中小病院での“新人看	¥1,540
	Vol. 66#14(2014) 臨時増刊号 生き生き働き続けるための 看護職のキャリ	¥1,980
	Vol. 66#15(2014) 患者の“在宅療養支援”を病院看護職が担う!/“地域包	¥1,540
	Vol. 67#1 (2015) 安全・安心な出産環境づくりを 推進! 産科混合病棟の	¥1,540
	Vol. 67#2 (2015) 求職者にも! 求人施設にも! より使いやすくなった“ナー	¥1,540
	Vol. 67#3 (2015) 東日本大震災、“もう4年”ではなく“まだ4年” 看護職が	¥1,540
	Vol. 67#5 (2015) “暮らしを支える看護”を考える/中堅看護師の成長は	¥1,540
	Vol. 67#6 (2015) 法改正で取り組む 医療勤務環境改善/病院看護職が	¥1,540
	Vol. 67#7 (2015) “データマネジメント”に生かそう! DiNQL(ディンクル)/「	¥1,540
	Vol. 67#8 (2015) 臨時増刊号 “地域包括ケアシステム” に乗り遅れない!	¥1,980
	Vol. 67#9 (2015)「特定行為に係る看護師の研修制度」始まる/2014年「	¥1,540
	Vol. 67#10 (2015) 平成27年度 日本看護協会通常総会リポート/「看護の	¥1,540
	Vol. 67#11 (2015) 認知症者が居心地よく暮らせる社会に向けて/2015年	¥1,540
	Vol. 67#12 (2015)「看護師等免許保持者の届出制度」始まる! みんなで	¥1,540
	Vol. 67#13 (2015) 動き出した「医療事故調査制度」 体制づくりと看護管	¥1,540
	Vol. 67#14 (2015) 臨時増刊号 認定看護管理者に学ぶ現場を変えるマ	¥1,980
	Vol. 67#15 (2015) 地域包括ケアの展開に向けて 高齢者ケア施設での	¥1,540
	Vol. 68#1 (2016) 地域包括ケア病棟の現状と課題/多様化する“新人看	¥1,540
	Vol. 68#2 (2016) 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）®レベルⅢ	¥1,540
	Vol. 68#3 (2016) 病院看護職が知っておくべき連携先 看護小規模多機	¥1,540
	Vol. 68#4 (2016) 臨時増刊号 日本看護サミット2015	¥1,980
	Vol. 68#5 (2016) チーム医療の中で看護の専門性を発揮するために 特	¥1,540
	Vol. 68#6 (2016) 平成28年度診療報酬改定 解説/承認・支援がキーワ	¥1,540
	Vol. 68#7 (2016) ついに公開！「看護師のクリニカルラダー（日本看護	¥1,540
	Vol. 68#8 (2016) 臨時増刊号 病院看護職の介護保険入門 地域包括ケ	¥1,980
	Vol. 68#9 (2016) 看護職なら認知症ケア！ 病院でも施設でも在宅でも/2	¥1,540
	Vol. 68#10 (2016) 平成28年度 日本看護協会通常総会リポート/新たな“	¥1,540
	Vol. 68#11 (2016) 病院で働く看護職の賃金のあり方/看護職を地域医療	¥1,540
	Vol. 68#12 (2016) 多様化する現場の拠りどころに 看護業務基準（2016	¥1,540
	Vol. 68#13 (2016) 看護人材は地域で育てる! 病院から訪問看護ステー	¥1,540
	Vol. 68#14 (2016) 臨時増刊号「看護必要度」取り組み事例集	¥1,980
	Vol. 68#15 (2016)「医療事故調査制度」1年の経過と「特定機能病院の	¥1,540
	Vol. 69#1 (2017) 小児在宅医療を強くする 真の地域包括ケア構築に向	¥1,540
	Vol. 69#2 (2017) これからの夜勤労働の考え方／入院前からの療養支援	¥1,540
	Vol. 69#3 (2017) 認定看護師対象の特定行為研修／効果的な認知症ケ	¥1,540
品切	Vol. 69#4 (2017) 臨時増刊号 DiNQLデータ活用事例集	¥1,980
	Vol. 69#5 (2017) 看護職として、働き続けよう! また働こう!／看護補助者	¥1,540
	Vol. 69#6 (2017) アドバンス助産師が活躍する院内助産・助産外来／在	¥1,540
	Vol. 69#7 (2017) 看護管理の“魅力”を伝える／医療機関のストレスチェ	¥1,540
	Vol. 69#8 (2017) 臨時増刊号 地域緩和ケアネットワーク シームレスな支	¥1,980
	Vol. 69#9 (2017) わがまちをつなぐ看護のネットワークづくり／介護施設	¥1,540
	Vol. 69#10 (2017) 平成29年度 日本看護協会通常総会／第26回国際看	¥1,540
	Vol. 69#11 (2017) 日本看護サミット2017 地域包括ケア時代の看護基礎	¥1,540
	Vol. 69#12 (2017) 看護管理者がもっと保健師を知れば地域包括ケアは	¥1,540
	Vol. 69#13 (2017) 中小規模病院の効果的な看護人材育成に向けて／	¥1,540
	Vol. 69#14 (2017) 臨時増刊号「看護師のクリニカルラダー(日本看護協	¥1,980
	Vol. 69#15 (2017) 病院助産師が発揮したい「ウィメンズヘルスケア能力」	¥1,540
	Vol. 70#1 (2018) 未来に向けて今必要とされる子育て世代への切れ目な	¥1,760
	Vol. 70#2 (2018) 病院看護職の人事評価と賃金処遇／「身体拘束をしな	¥1,760
	Vol. 70#3 (2018) 准看護師を対象とした研修・進学支援の実際／医療・	¥1,760
	Vol. 70#4 (2018) 臨時増刊号 看護師長ナビ・2018 地域包括ケア時代に	¥2,200
	Vol. 70#5 (2018) DiNQLの今と未来への重要な役割／看護職の仕事を	¥1,760
	Vol. 70#6 (2018) 平成30年度 診療報酬・介護報酬同時改定 解説	¥1,760
	Vol. 70#7 (2018) 未来に向けて認定看護師制度を再構築／“最期まで自	¥1,760
品切	Vol. 70#8 (2018) 臨時増刊号 看護職が働き続けられる ヘルシーワーク	¥2,200

	Vol. 70#9 (2018) 2017年「病院看護実態調査」「看護職員実態調査」解	¥1,760
	Vol. 70#10 (2018) 平成30年度 日本看護協会 通常総会リポート／在宅	¥1,760
	Vol. 70#11 (2018) 「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」を活用しよう	¥1,760
	Vol. 70#12 (2018) カリキュラム基準改正 これからの認定看護管理者の	¥1,760
	Vol. 70#13 (2018) 特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師制度	¥1,760
品切	Vol. 70#14 (2018) 臨時増刊号 活用しよう!「看護記録に関する指針」	¥2,200
	Vol. 70#15 (2018) 病院看護師の訪問看護ステーションへの出向／ソー	¥1,760
	Vol. 71#1 (2019) 勤務間インターバルの確保を!／多様な背景を持つ 新	¥1,760
	Vol. 71#2 (2019) ハラスメント「しない・させない・許さない」／一般病棟に	¥1,760
	Vol. 71#3 (2019) DiNQL活用に向けて／1人ひとりが取り組む認知症看	¥1,760
	Vol. 71#4 (2019) 臨時増刊号 “子どもの暮らし”と地域包括ケア 多様な	¥2,200
	Vol. 71#5 (2019) 看護チームにおける業務のあり方を見直そう	¥1,760
	Vol. 71#6 (2019) 看護管理者と保健師の連携強化／“外国人患者”受け	¥1,760
	Vol. 71#7 (2019) 医療施設のWLBを実現した看護の取り組みを振り返る	¥1,760
品切	Vol. 71#8 (2019) 臨時増刊号 本人を真ん中に“チーム”で意思決定を	¥2,200
	Vol. 71#9 (2019) 病院看護管理者のマネジメントラダー 日本看護協会	¥1,760
	Vol. 71#10 (2019) 令和元年度 日本看護協会 通常総会リポート／2018	¥1,760
	Vol. 71#11 (2019) 活動の場を広げ飛躍する認定看護師／2019年CNR・I	¥1,760
	Vol. 71#12 (2019) 地域で活躍 専門性の高い看護師／生活の視点を持	¥1,760
	Vol. 71#13 (2019) 現場で活きるハラスメント対策／「身寄りがない人の入	¥1,760
	Vol. 71#15 (2019) 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)を用いた	¥1,760
	Vol. 72#1 (2020年1月) 訪問看護師倍増に何が必要か／離島・へき地の	¥1,760
	Vol. 72#2 (2020年2月) ナース・プラクティショナー(仮称)制度創設の必	¥1,760
	Vol. 72#3 (2020年3月) 日本看護サミット2019・訪問看護サミット2019 看	¥1,760
	Vol. 72#4 (2020年3月臨時増刊号) 臨床実践にねざした研究で看護の質	¥2,200
	Vol. 72#5 (2020年4月) 母子に必要な地域包括ケア・これからの病院助	¥1,760
	Vol. 72#6 (2020年5月) 令和2年度診療報酬改定 解説／よりよい看護に	¥1,760
	Vol. 72#7 (2020年6月) 医療的ケア児の暮らしを支える／外国人患者に	¥1,760
	Vol. 72#8 (2020年6月臨時増刊号) 好事例に学ぶ 看護業務の効率化	¥2,200
	Vol. 72#9 (2020年7月) DiNQLデータ活用で働き方改革！ 労働と看護の	¥1,760
	Vol. 72#10 (2020年8月) 日本看護協会 2019年度事業報告・2020年度活	¥1,760
	Vol. 72#11 (2020年9月) 地域ニーズに合わせた確保対策／定着につな	¥1,760
	Vol. 72#12 (2020年10月) 地域の健康を支える これからの自治体保健師	¥1,760
	Vol. 72#13 (2020年11月) 地域における認知症ケアの質向上 認知症看	¥1,760
	Vol. 72#14 (2020年11月臨時増刊号) 希望を共に創る時代に 認知症の	¥2,200
	Vol. 72#15 (2020年12月) 特定行為研修「在宅・慢性期領域パッケージ」	¥1,760

332　看護学雑誌（医学書院）

	Vol. 1#1,6 (1946/47)	各号	¥1,320
	Vol. 2#2 (1947)		¥1,320
	Vol. 3#1-4,6 (1948)	各号	¥1,320
	Vol. 4#1-7 (1948)	各号	¥1,320
	Vol. 5#1-6 (1949)	各号	¥1,320
	Vol. 6#2-5 (1950)	各号	¥1,320
	Vol. 7#1-6 (1950)	各号	¥1,320
	Vol. 8#1,2,6 (1950)	各号	¥1,320
	Vol. 9#1,3,5,6 (1951)	各号	¥1,320
	Vol. 10-20 (1951-1956) 各1-6号	各号	¥1,320
	Vol. 21-54 (1957-1990) 各1-12号	各号	¥1,320
	Vol. 55#1-12 (1991)	各号	¥1,320
	Vol. 56#1-12 (1992)	各号	¥1,320
	Vol. 57#1-12 (1993)	各号	¥1,320
	Vol. 58#1-12 (1994)	各号	¥1,320
	Vol. 59#1 (1995) 看護学生を迎える病棟の若い友へ		¥1,320
	Vol. 59#2 (1995) 看護診断-臨床との接点		¥1,320
	Vol. 59#3 (1995) 見直しすすむ交代制勤務		¥1,320
	Vol. 59#4 (1995) 図書室へ行こう!		¥1,320
	Vol. 59#5 (1995) 日本的看護提供方式を探る		¥1,320
	Vol. 59#6 (1995) 変化の時代に入った看護労働市場		¥1,320
	Vol. 59#7 (1995) がん患者への継続看護		¥1,320
	Vol. 59#8 (1995) 精神科的問題をもつ患者と向き合う		¥1,320
	Vol. 59#9 (1995) いま,癒し手としての看護について		¥1,320
	Vol. 59#10 (1995) 看護のレベルアップと看護補助者導入		¥1,320
	Vol. 59#11 (1995) 医療の壁・医療者の壁		¥1,320
	Vol. 59#12 (1995) 使って便利な看護用品		¥1,320
	Vol. 60#1 (1996) 海外看護事情-日本人看護婦からの		¥1,320
	Vol. 60#2 (1996) ケアマネジャーとしての看護婦		¥1,320
	Vol. 60#3 (1996) がん患者の症状マネジメント		¥1,320
	Vol. 60#4 (1996) 高齢患者のせん妄へのアプローチ		¥1,320
	Vol. 60#5 (1996) フォーカスチャーティング 看護の中身が見える記録1		¥1,320
	Vol. 60#6 (1996) フォーカスチャーティング 看護の中身が見える記録2		¥1,320
	Vol. 60#7 (1996) 看護婦がつくった入院案内		¥1,320
	Vol. 60#8 (1996) 看護婦に生かす経済感覚		¥1,320
	Vol. 60#9 (1996) 動きはじめた外来		¥1,320
	Vol. 60#10 (1996) 口腔ケアに注目を		¥1,320
	Vol. 60#11 (1996) 退院改革に取り組む		¥1,320
	Vol. 60#12 (1996) 情報の開示・共有について考える		¥1,320
	Vol. 61#1 (1997) 家族にどうかかわるか		¥1,100
	Vol. 61#2 (1997) 褥創は予防し,治すことができる		¥1,100
	Vol. 61#3 (1997) 退院後に目くばりを		¥1,100
品切	Vol. 61#4 (1997) 人とのかかわりを職業とする意味		¥1,100
	Vol. 61#5 (1997) 看護が好きでたまらない		¥1,100
	Vol. 61#6 (1997) 今,子どもを看護する悩み		¥1,100
	Vol. 61#7 (1997) 現場から語る准看問題		¥1,100
	Vol. 61#8 (1997) 個を支えるグループ,グループで生きる個		¥1,100
	Vol. 61#9 (1997) 臨床で生活をみるということ		¥1,100
	Vol. 61#10 (1997) 脳死・臓器移植が問うもの		¥1,100
	Vol. 61#11 (1997) 在院日数短縮と看護の関係		¥1,100
	Vol. 61#12 (1997) 進歩する医療技術と看護		¥1,100
	Vol. 62#1 (1998) 看護系大学の今		¥1,100
	Vol. 62#2 (1998) 院内感染のなぜが知りたい		¥1,100
	Vol. 62#3 (1998) 急性期包括化の流れを追う-医療保険改革..		¥1,100

	Vol. 62#4 (1998) 情報ネットワークを活用する	¥1,100
	Vol. 62#5 (1998) 看護管理者って何だろう	¥1,100
	Vol. 62#6 (1998) 臨床シナリオで学ぶ-急性期呼吸理学療法	¥1,100
品切	Vol. 62#7 (1998) 患者とともに進める痛みのケア	¥1,100
	Vol. 62#8 (1998) 入力をみなおす	¥1,100
	Vol. 62#9 (1998) 快適排泄ケアのためのワンポイントアドバイス	¥1,100
	Vol. 62#10 (1998) 異なる職種との対話-その時互いに何を考え..	¥1,100
	Vol. 62#11 (1998) 服薬の行動科学-「指導」から「援助」へ	¥1,100
	Vol. 62#12 (1998) 変わる医療事故の概念とその対策	¥1,100
	Vol. 63#1 (1999) 食と栄養の可能性を探る	¥1,210
	Vol. 63#2 (1999) 訪室を避けたいと思おうとき-一般病棟での	¥1,210
	Vol. 63#3 (1999) ズバリ答えます！-放射線をめぐる看護の疑問	¥1,210
	Vol. 63#4 (1999) 変わる糖尿病患者教育-効果的な心理的	¥1,210
	Vol. 63#5 (1999) ケアビジネス時代に広がるナース活躍の場	¥1,210
	Vol. 63#6 (1999) こうして変えたベッドサイドの環境	¥1,210
	Vol. 63#7 (1999) ここまでできる外来看護	¥1,210
	Vol. 63#8 (1999) ベッドサイドでの疑問に答える薬・輸液のQ＆A	¥1,210
	Vol. 63#9 (1999) 何が”縛らない”看護を支えるのか	¥1,210
	Vol. 63#10 (1999) はじめての脳死・臓器移植-そのとき看護は	¥1,210
品切	Vol. 63#11 (1999) 生ある限りいきいきと-腹臥位療法のすすめ	¥1,210
	Vol. 63#12 (1999)「ヒヤリ・ハット」報告を看護事故防止に役立..	¥1,210
	Vol. 64#1 (2000) 新しい排泄ケアの視点から尿道留置カテーテル	¥1,210
	Vol. 64#2 (2000) 結核はナースが防ぐ	¥1,210
	Vol. 64#3 (2000) 嚥下訓練に踏み切るとき-ナースが切り開く..	¥1,210
	Vol. 64#4 (2000) 病・障害と生きる-患者からのメッセージ	¥1,210
	Vol. 64#5 (2000) 疾患・外傷のある顔-知っておきたい「見た目」	¥1,210
	Vol. 64#6 (2000) 家族のみつめ方・支え方	¥1,210
	Vol. 64#7 (2000) 看護介入技法としての代替・補完療法	¥1,210
	Vol. 64#8 (2000) 精神症状に強くなる	¥1,210
	Vol. 64#9 (2000) 病みの奇跡と回復	¥1,210
	Vol. 64#10 (2000) その病状は薬の副作用！？	¥1,210
	Vol. 64#11 (2000) 現代の病める子供-こころとからだ、社会	¥1,210
	Vol. 64#12 (2000) 新世紀前夜　いまこそ21世紀の看護を語ろう	¥1,210
	Vol. 65#1 (2001) 安静苦痛を緩和する 安全性とQOLの両立をめざして	¥1,210
	Vol. 65#2 (2001) 死後のケア 基本技術と家族への配慮	¥1,210
	Vol. 65#3 (2001) 臨床にEBNはどう貢献するのか	¥1,210
	Vol. 65#4 (2001) チームで取り込む 脳卒中患者のADL拡大作戦	¥1,210
	Vol. 65#5 (2001) ナースも患者も気持ちいい 臨床看護の用具と工夫	¥1,210
	Vol. 65#6 (2001) 病院枕を分析する	¥1,210
	Vol. 65#7 (2001) 住環境と看護 ナイチンゲールを在宅に生かす	¥1,210
	Vol. 65#8 (2001) 呼吸ケアのエビデンスを探せ	¥1,210
	Vol. 65#9 (2001) ストーマリハビリテーション最前線	¥1,210
	Vol. 65#10 (2001) 第22回ICNコペンハーゲン大会	¥1,210
	Vol. 65#11 (2001) 性暴力被害者の支援 看護婦だからできること	¥1,210
	Vol. 65#12 (2001) 痴呆のスケール きめこまかなケアのための客観的評	¥1,210
	Vol. 66#1 (2002) 臨床の「なぜ」に答える がん化学療法Q&A	¥1,210
	Vol. 66#2 (2002) ベンチレータと生きる人々	¥1,210
	Vol. 66#3 (2002) 最新情報でわかる褥瘡ケアの根拠	¥1,210
	Vol. 66#4 (2002) 進化する経腸栄養法	¥1,210
	Vol. 66#5 (2002) がん化学療法症状マネジメント15のQ	¥1,210
	Vol. 66#6 (2002) 看護の仕事って何だろう？	¥1,210
	Vol. 66#7 (2002) 危険な画像所見ぬかりはないか？[1]呼吸器編	¥1,210
	Vol. 66#8 (2002) 危険な画像所見ぬかりはないか？[1]循環器・頭頸部編	¥1,210
	Vol. 66#9 (2002) 患者に説明できる 検査の話	¥1,210
	Vol. 66#10 (2002) 意識障害者の介護教室 家族に自身と安心を	¥1,210
	Vol. 66#11 (2002) 女性看護師の皆さんへ ケアする男の物語	¥1,210
	Vol. 66#12 (2002)「寝たきり」の芽は急性期に摘む！	¥1,210

	Vol. 67#1 (2003) くじけてばかりはいられない　糖尿病看護の知恵袋	¥1,210
	Vol. 67#2 (2003) 結果の出せる褥瘡対策チームを作ろう	¥1,210
	Vol. 67#3 (2003) 発生リスクをみきわめる！　褥瘡予防の知恵とワザ	¥1,210
	Vol. 67#4 (2003) 1どうする？静脈注射―たしかめたい安全と安心,2 排	¥1,210
	Vol. 67#5 (2003) 基本から見直そう！　感染予防6つのポイント	¥1,210
	Vol. 67#6 (2003) 実例に学ぶ患者アドボカシー	¥1,210
	Vol. 67#7 (2003) これでは子どもが守れない!?小児看護の“危機”とは何	¥1,210
	Vol. 67#8 (2003) バイタルサインから読む!薬のリスクマネジメント	¥1,210
	Vol. 67#9 (2003) 急性期で行なう退院後の安心づくり	¥1,210
	Vol. 67#10 (2003) がん化学療法 セルフケア支援のABC前編	¥1,210
	Vol. 67#11 (2003) がん化学療法 セルフケア支援のABC後編	¥1,210
	Vol. 67#12 (2003) 口腔乾燥症のWhy＆How	¥1,210
	Vol. 68#1 (2004) 痴呆高齢者の転倒・転落事故は防げるか？	¥1,210
	Vol. 68#2 (2004) 糖尿病看護とバーンアウト「挫折」を宝に!	¥1,210
	Vol. 68#3 (2004) 原因から見直す「ストーマ管理困難症」	¥1,210
	Vol. 68#4 (2004) そこが知りたい!ポジショニングと褥瘡ケア	¥1,210
	Vol. 68#5 (2004) 博士と5ナースの「心電図道場」	¥1,210
	Vol. 68#6 (2004) 腹臥位療法のいま―実践・研究・根拠	¥1,210
	Vol. 68#7 (2004) 女性がん患者のリンパ浮腫ケア	¥1,210
	Vol. 68#8 (2004) ナースが病棟で行なう呼吸リハの理論と実践	¥1,210
品切	Vol. 68#9 (2004) 患者を守る!自分も守る!感染予防の“2つ”の基本	¥1,210
	Vol. 68#10 (2004) ここまでできる！外来看護 知恵を絞って成果につな	¥1,210
	Vol. 68#11 (2004) 乳がん看護はトータルケアへ	¥1,210
	Vol. 68#12 (2004) キャッチアップ!進化するがん性疼痛治療/透析の苦痛	¥1,210
	Vol. 69#1 (2005) 患者さんの治る力を引き出すリラクセーション法のススメ	¥1,320
品切	Vol. 69#2 (2005) こうすればうまくいく糖尿病エンパワーメント実践講座	¥1,320
	Vol. 69#3 (2005) 看護師として働くことをあきらめないために	¥1,320
	Vol. 69#4 (2005) 安全な車いすトランスファー/代理決定をめぐる看護の	¥1,320
	Vol. 69#5 (2005) 患者もあなたもよく眠れる睡眠をケアする知恵と技	¥1,320
品切	Vol. 69#6 (2005) 行動変容プログラムを用いた透析患者のセルフケア支	¥1,320
品切	Vol. 69#7 (2005) 患者を不安にさせないインターフェロン療法新情報C型	¥1,320
	Vol. 69#8 (2005) 看護が支える「安全」「確実」「安楽」ながん化学療法	¥1,320
	Vol. 69#9 (2005) エキスパートに聞く　嚥下障害ケアの極意	¥1,320
	Vol. 69#10 (2005) 今そこにいる認知症の人たち-病院内で困らないため	¥1,320
	Vol. 69#11 (2005) ドキドキしない心臓リハビリテーション/子どもを虐待か	¥1,320
品切	Vol. 69#12 (2005) 感染防止に効くリンクナースが何かを変える	¥1,320
	Vol. 70#1 (2006) からだのメカニズムから看護技術を見直そう	¥1,320
	Vol. 70#2 (2006) 不安な患者さんはあなたのすぐそばに　じつは身近な	¥1,320
	Vol. 70#3 (2006)「コーチング」で失敗しないために知っておくこと―患者	¥1,320
	Vol. 70#4 (2006) 人工呼吸器のアラームなんてこわくない！	¥1,320
	Vol. 70#5 (2006) 専門・認定看護師を活用して　深まるがん看護	¥1,320
	Vol. 70#6 (2006) 無理しない委員会活動　私たちそれぞれのやり方	¥1,320
	Vol. 70#7 (2006) その人らしい生活を実現するための退院支援	¥1,320
	Vol. 70#8 (2006) 根拠あるケアで患者の苦痛を減らすために　手術の疑	¥1,320
	Vol. 70#9 (2006)「臨床の知」ってなんだろう	¥1,320
	Vol. 70#10 (2006) インスリン注射で事故を起こさない　糖尿病ケアのセー	¥1,320
	Vol. 70#11 (2006)「自分で決める」を支えるために	¥1,320
	Vol. 70#12 (2006) 困難をバネにする　WOCケアのアレンジ術	¥1,320
	Vol. 71#1 (2007) ナース危機一髪！　日常にある「危機」への対処の仕方	¥1,320
	Vol. 71#2 (2007) ナースにしかできない！臨床栄養管理	¥1,320
	Vol. 71#3 (2007) ここまでできる！摂食・嚥下リハビリテーション	¥1,320
	Vol. 71#4 (2007) モチベーションが上がる看護研究の始めかた	¥1,320
	Vol. 71#5 (2007) 小児看護は大丈夫か？	¥1,320
	Vol. 71#6 (2007) 知識が安心につながる　ケアに役立つ薬のはなし	¥1,320
	Vol. 71#7 (2007) 東洋医学を看護に生かす 鍼灸の思想で西と東を結ぼ	¥1,320
	Vol. 71#8 (2007) 医療現場で「わかりあう」ための原理 構造構成主義の	¥1,320
	Vol. 71#9 (2007) 眠らなくては始まらない！　睡眠と看護師の健康につい	¥1,320

	Vol. 71#10 (2007) 腹臥位は特別なことじゃない 導入と継続のやめの道		¥1,320
	Vol. 71#11 (2007) スピリチュアルケアとは何か？		¥1,320
	Vol. 71#12 (2007)「病とともに生きる」を援助する クロニックイルネスの視		¥1,320
	Vol. 72#1 (2008) クレーマーを”つくらない”患者対応の極意		¥1,320
	Vol. 72#2 (2008) ナースが患者の性に向き合うとき		¥1,320
	Vol. 72#3 (2008) 自己治癒力を高める技法とエビデンス		¥1,320
	Vol. 72#4 (2008) 専門看護師がいる日常 協働の立場から考える		¥1,320
	Vol. 72#5 (2008) 新人が聞けないこと 先輩が言えないこと		¥1,320
	Vol. 72#6 (2008) ケア×ケア 看護と介護が協働するとき		¥1,320
	Vol. 72#7 (2008) 看取りを語る		¥1,320
	Vol. 72#8 (2008) いい運動、悪い運動「疾患と運動」にまつわる不安に		¥1,320
	Vol. 72#9 (2008) 仕事熱心もいいけれど働きすぎは法律違反です！		¥1,320
	Vol. 72#10 (2008) 病棟でこれをやれば退院はうまくいく		¥1,320
	Vol. 72#11 (2008) 触れる 皮膚感覚とケア		¥1,320
	Vol. 72#12 (2008) ついつい無理をしてしまう看護師に提案 看護研究は		¥1,320
	Vol. 73#1 (2009) ロングインタビュー 看護師の「自律」		¥1,320
	Vol. 73#2 (2009)「悩む力」の育て方		¥1,320
	Vol. 73#3 (2009) 中途・新卒採用看護師を受け入れるコツ		¥1,320
	Vol. 73#4 (2009) わたしは「同僚ストレス」とこうやってつきあう		¥1,320
	Vol. 73#5 (2009) 私たちのワーク・ライフ・バランス		¥1,320
	Vol. 73#6 (2009) 看護師さんが話す医療用語の意味がわかりません！		¥1,320
	Vol. 73#7 (2009) 古武術介護にできること		¥1,320
	Vol. 73#8 (2009) リンパ浮腫を見逃さない		¥1,320
	Vol. 73#9 (2009) 鼎談 農と脳 りんごのストレングスモデル		¥1,320
	Vol. 73#10 (2009) 糖尿病セルフケア支援		¥1,320
	Vol. 73#11 (2009) 病棟で緩和ケア		¥1,320
	Vol. 73#12 (2009) 無理と無駄のない看護研究		¥1,320
	Vol. 74#1 (2010) 政権交代！看護は変わる？		¥1,320
品切	Vol. 74#2 (2010) 師長・主任のためのExcel講座		¥1,320
	Vol. 74#3 (2010) 短時間正職員のいる病院		¥1,320
	Vol. 74#4 (2010) 認知症で困らない BPSDケアの新機軸		¥1,320
品切	Vol. 74#5 (2010) 1冊まるごと退院支援		¥1,320
	Vol. 74#6 (2010) 日本のナースプラクティショナー教育の実際		¥1,320
	Vol. 74#7 (2010) がん看護の潮流		¥1,320
	Vol. 74#8 (2010) カラー写真でわかる 褥瘡ラップ療法		¥1,320
	Vol. 74#9 (2010) 全身疾患と口腔ケア		¥1,320
	Vol. 74#10 (2010) せん妄であわてない		¥1,320
	Vol. 74#11 (2010) ストーマ長期管理		¥1,320
	Vol. 74#12 (2010) 医療を変えるiPhone/iPad　（最終号、休刊です）		¥1,320
333	**看護実践の科学（看護の科学社）**		
	Vol. 30#1,4,5,12 (2005)	各号	¥1,100
	Vol. 30#7 (2005) 臨時増刊号		¥1,650
	Vol. 31#1-6,8-13 (2006)	各号	¥1,100
	Vol. 31#7 (2006) 臨時増刊号		¥1,650
	Vol. 32#1,2,6,8,10-13 (2007)	各号	¥1,100
	Vol. 32#7 (2007) 臨時増刊号		¥1,650

334 看護管理（医学書院）

Vol. 1#1-6 (1991)	各号	¥1,540
Vol. 2#1-6 (1992)	各号	¥1,540
Vol. 3#1-7 (1993)	各号	¥1,540
Vol. 4#1-7 (1994)	各号	¥1,540
Vol. 5#1 (1995) 外来看護の評価		¥1,540
Vol. 5#2 (1995) 看護体制変革期の課題と取り組み		¥1,540
Vol. 5#3 (1995) 増刊号 固定チームナーシング(継続受持ち式)		¥1,540
Vol. 5#4 (1995) 阪神・淡路大震災が看護に問うもの		¥1,540
Vol. 5#5 (1995) 看護とセクシュアリティ		¥1,540
Vol. 5#6 (1995) モジュール型継続受持方式		¥1,540
Vol. 5#7 (1995) 専門職看護の新たな視点		¥1,815
Vol. 5#8 (1995) 臨床看護実践能力を考える		¥1,540
Vol. 6#1 (1996) 看護ケアの質改善と評価		¥1,540
Vol. 6#2 (1996) 固定チームナーシング(継続受持ち式)の展開		¥1,540
Vol. 6#3 (1996) 阪神・淡路大震災から1年-看護会の対応		¥1,540
Vol. 6#4 (1996) 看護部がつくる病棟の環境		¥1,540
Vol. 6#5 (1996) 二交替制勤務と管理者の課題		¥1,540
Vol. 6#6 (1996) 看護診断導入により変わったこと		¥1,540
Vol. 6#7 (1996) 看護診断導入は看護記録を変えたか		¥1,540
Vol. 6#8 (1996) 抑制をしない看護		¥1,540
Vol. 6#9 (1996) CNS/専門看護師の教育		¥1,540
Vol. 6#10 (1996) 緩和ケア病棟における看護管理上の悩み		¥1,540
Vol. 6#11 (1996) 後輩を育てる-臨床の教育的環境		¥1,540
Vol. 6#12 (1996) 婦長登用の基準と条件		¥1,540
Vol. 7#1 (1997) 看護のエンパワーメント		¥1,320
Vol. 7#2 (1997) 発展する固定チームナーシング		¥1,320
Vol. 7#3 (1997) あなたの病院の感染管理		¥1,320
Vol. 7#4 (1997) 二交替制導入を前に		¥1,320
Vol. 7#5 (1997) 専門看護婦の導入は病院を変える		¥1,320
Vol. 7#6 (1997) ケアの質の保証とクリティカルパス		¥1,320
Vol. 7#7 (1997) 魅力的な婦長		¥1,320
Vol. 7#8 (1997) 婦長研修担当者が期待する婦長像		¥1,320
Vol. 7#9 (1997) 看護におけるケースマネジメント		¥1,320
Vol. 7#10 (1997) それぞれのプライマリ・ナーシング		¥1,320
Vol. 7#11 (1997) 管理実践に役立つ研究		¥1,320
Vol. 7#12 (1997) 看護における質の評価		¥1,320
Vol. 8#1 (1998) 緩和ケア病棟オープン-そのとき看護は		¥1,430
Vol. 8#2 (1998) 看護の継続と看護チームの育成		¥1,430
Vol. 8#3 (1998) スタッフの評価とその活用		¥1,430
Vol. 8#4 (1998) 事務部門と組む		¥1,430
Vol. 8#5 (1998) 看護職をいかす組織-鳥取市立病院の看護		¥1,430
Vol. 8#6 (1998) 病院機能評価事業が病院にもたらすもの		¥1,430
Vol. 8#7 (1998) プリセクター制度成功のために		¥1,430
Vol. 8#8 (1998) 研修医を病院に迎える		¥1,430
Vol. 8#9 (1998) 変革期に看護の未来を見据える		¥1,430
Vol. 8#10 (1998)「わざ」と「知恵」を伝える-現場での人材育成		¥1,430
Vol. 8#11 (1998) 看護補助者との協働		¥1,430
Vol. 8#12 (1998) 医療界の動きと看護の対応		¥1,430
Vol. 9#1 (1999) 1年目ナースの危機		¥1,430
Vol. 9#2 (1999) 地域とのネットワークづくり		¥1,430
Vol. 9#3 (1999) 病院における死後の看護		¥1,430
Vol. 9#4 (1999) 患者にとっての退院を考える		¥1,430
Vol. 9#5 (1999) チーム医療のための環境づくり-浦添総合病院		¥1,430
Vol. 9#6 (1999) 日帰り手術の現在		¥1,430
Vol. 9#7 (1999) カルテ開示時代の看護記録		¥1,430

	Vol. 9#8 (1999) 医療事故は防げるか	¥1,430
	Vol. 9#9 (1999) 婦長・主任のための看護過程と看護診断	¥1,430
	Vol. 9#10 (1999) 抑制・隔離は本当になくせるのか	¥1,430
	Vol. 9#11 (1999) リスクマネジメント/患者になって分かったケア	¥1,430
	Vol. 9#12 (1999) 緊急医療の現在	¥1,430
	Vol. 10#1 (2000) 院内感染管理システムの再構築	¥1,430
	Vol. 10#2 (2000) 滝川市立病院看護職と行政との人事交流..	¥1,430
	Vol. 10#3 (2000) 誌上フォーラム・当院のリスクマネジメント	¥1,430
	Vol. 10#4 (2000) クリティカルパスの管理	¥1,430
	Vol. 10#5 (2000) 第4字医療法改正と看護	¥1,430
	Vol. 10#6 (2000) 医療材料の適正使用に向けて	¥1,430
	Vol. 10#7 (2000) 2000年診療報酬改定で何が変わる？	¥1,430
	Vol. 10#8 (2000) ある看護チームの挑戦-「脳治療革命の朝」の	¥1,430
	Vol. 10#9 (2000) 外来看護の新しい取り組み	¥1,430
	Vol. 10#10 (2000) 患者中心の面会を実践する	¥1,430
	Vol. 10#11 (2000) 専門看護師の導入と定着のために	¥1,430
	Vol. 10#12 (2000) 薬剤部と連携して事故を防止する	¥1,430
	Vol. 11#1 (2001) 21世紀における看護制度のあり方を問う	¥1,430
	Vol. 11#2 (2001) ニ交代勤務のいま	¥1,430
	Vol. 11#3 (2001) 新しい時代の新人教育システム	¥1,430
	Vol. 11#4 (2001) 手術室から見える看護の専門性と認定制度へ	¥1,430
	Vol. 11#5 (2001) 企業に学ぶ病院経営	¥1,430
	Vol. 11#6 (2001) 医療従事者を針刺し事故から守る	¥1,430
	Vol. 11#8 (2001) ケアの質を支える記録	¥1,430
	Vol. 11#7 (2001) 看護倫理が医療を変える	¥1,430
	Vol. 11#9 (2001) 医療連携は看護から	¥1,430
	Vol. 11#10 (2001) 看護の視点を生かすコーディネーター	¥1,430
	Vol. 11#11 (2001) 顧客満足が変える・支える医療と看護	¥1,430
	Vol. 11#12 (2001) 小集団活動による現場の活性化	¥1,430
	Vol. 12#1 (2002) これからの看護管理者がもつべき視点と発想	¥1,430
	Vol. 12#2 (2002) 実践能力の向上を支援するプログラム	¥1,430
	Vol. 12#3 (2002) ひとが育つ組織をつくるコーチングとカウンセリング	¥1,430
	Vol. 12#4 (2002) どんな看護方式を選ぶ？	¥1,430
	Vol. 12#5 (2002) 激変期に求められる看護管理者のリーダーシップ考	¥1,430
品切	Vol. 12#6 (2002) 看護の質を評価する指標開発の動向	¥1,430
	Vol. 12#7 (2002) 看護管理のナレッジマネジメント 現場に活かす知とワザ	¥1,430
	Vol. 12#8 (2002) 安全管理の視点から看護業務を見直す	¥1,430
	Vol. 12#9 (2002) 看護組織の人材マネジメントストラテジー	¥1,430
	Vol. 12#10 (2002) 明日に備える組織をめざして 聖マリアンナ医科大学	¥1,430
	Vol. 12#11 (2002) エラーを防止できるチーム体制めざして	¥1,430
	Vol. 12#12 (2002) 組織運営の悩み・人間関係マネジメント	¥1,430
	Vol. 13#1 (2003) トータル・クオリティ・マネジメントを目指し支える組織づ	¥1,430
	Vol. 13#2 (2003) 安全な看護を支える設備やモノの再点検	¥1,430
	Vol. 13#3 (2003) 医療事故と情報管理	¥1,430
	Vol. 13#4 (2003) 倫理的問題への対応を個人の悩みとしないために	¥1,430
	Vol. 13#5 (2003) 看護職副院長の役割と業務の実際	¥1,430
	Vol. 13#6 (2003) ITの導入で看護業務をどう変えるか	¥1,430
	Vol. 13#7 (2003) 大卒看護師をどう活用し育成するか	¥1,430
	Vol. 13#8 (2003) 経済学を看護の味方に	¥1,430
	Vol. 13#9 (2003) 横浜市立大学病院患者取り違え手術事件から何を学	¥1,430
	Vol. 13#10 (2003) 人材マネジメントとして産休・育休を考える	¥1,430
	Vol. 13#11 (2003) 療養病床・回復期リハにおける看護の役割―機能分	¥1,430
	Vol. 13#12 (2003) 現場が力を発揮できる組織づくり	¥1,430
	Vol. 14#1 (2004) 医療現場をカイゼンする力を育てる	¥1,540
	Vol. 14#2 (2004) 感染管理の担当者を専任にする理由と戦略	¥1,540
	Vol. 14#3 (2004) 人材育成プログラム 企画・運営の着想と工夫	¥1,540
	Vol. 14#4 (2004) 「何が大切か」を問い続ける看護管理実践	¥1,540

	Vol. 14#5 (2004) ケーススタディ 看護管理者が問題解決能力を発揮する	¥1,540
	Vol. 14#6 (2004) 看護提供者を支えるためにすべきこと	¥1,540
	Vol. 14#7 (2004) 目標管理で看護組織は進化したか 臨床と教育の現場	¥1,540
	Vol. 14#8 (2004) キャリアカウンセリング技術を磨く	¥1,540
	Vol. 14#9 (2004) 規律ある組織風土構築で医療安全に取り組む	¥1,540
	Vol. 14#10 (2004) 人材確保策としての看護師派遣労働のゆくえ	¥1,540
	Vol. 14#11 (2004) 第三者評価を活用した継続的な質改善への取り組み	¥1,540
	Vol. 14#12 (2004) 院内暴力にどう対処するか	¥1,540
	Vol. 15#1 (2005) 看護管理をクリエイティブに展開する方法	¥1,540
	Vol. 15#2 (2005) 新潟県中越地震・台風23号災害への救援活動―阪神	¥1,540
品切	Vol. 15#3 (2005) プリセプターシップの光と影-管理者の役割と責任	¥1,540
	Vol. 15#4 (2005) 地域におけるネットワーク医療・看護の取り組みのいま-	¥1,540
品切	Vol. 15#5 (2005) バランスト・スコアカードで看護部組織を変革する	¥1,540
	Vol. 15#6 (2005) 看護管理者に必要な地域連携スキル-都市・地域を支	¥1,540
	Vol. 15#7 (2005) 看護業務を支える病院システム-医療情報としての看護	¥1,540
	Vol. 15#8 (2005) 個人情報と患者の安全をどう守るか	¥1,540
	Vol. 15#9 (2005) 高齢者ケアの質をどうマネジメントするか-老人看護CN	¥1,540
	Vol. 15#10 (2005) 患者と医療者が満足できる療養環境を構築するため	¥1,540
品切	Vol. 15#11 (2005) 医療安全と質を保証する　患者状態適応型パス統合	¥1,540
	Vol. 15#12 (2005) 緩和ケアの質マネジメントとその評価を考える	¥1,540
	Vol. 16#1 (2006) NSTとクリニカルVEで考える医療・看護の機能を向上さ	¥1,540
	Vol. 16#2 (2006) 院内教育支援システムの構築と実際	¥1,540
	Vol. 16#3 (2006) 医療安全トレーニングをどう進めるかーKYTの実際と今	¥1,540
	Vol. 16#4 (2006) 看護管理者に求められる役割・能力―実力をつけるた	¥1,540
	Vol. 16#5 (2006) 看護現場のストレスマネジメント考―職場環境の活性化	¥1,540
	Vol. 16#6 (2006) 2006年診療報酬改定と医療制度改革を読む	¥1,540
	Vol. 16#7 (2006) 看護師に選ばれる病院の「新規採用」と「教育システム」	¥1,540
	Vol. 16#8 (2006)「手厚い看護」をどう実践するか―7対1入院基本料新	¥1,540
	Vol. 16#9 (2006) 看護必要度を看護管理に活用する―手厚い看護をより	¥1,540
	Vol. 16#10 (2006) 患者・医療職を“暴力”から守る環境をどうつくるか	¥1,540
	Vol. 16#11 (2006) よりスムーズな退院調整に向けたネットワークづくり	¥1,540
	Vol. 16#12 (2006) 医療安全研修で何を学ぶか現場でどう活かすか-研	¥1,540
	Vol. 17#1 (2007) 中堅看護師から組織の活性化を導く	¥1,540
	Vol. 17#2 (2007) 事故後の対応を考える 安全・安心・納得の医療をふま	¥1,540
	Vol. 17#3 (2007) 新人をいかに支えるか サポートシステムとシャドウ研修	¥1,540
	Vol. 17#4 (2007) 地域を支え、地域とともに生きる 連携施設とめざす患	¥1,540
	Vol. 17#5 (2007) バランスト・スコアカードで看護管理のPDCAサイクルを	¥1,540
	Vol. 17#6 (2007)「キャリア中期看護師」をいかに育てるか	¥1,540
	Vol. 17#7 (2007) 急性期病院におけるせん妄ケアの改善とシステム化	¥1,540
	Vol. 17#8 (2007) 外来看護に今求められていること	¥1,540
	Vol. 17#9 (2007) 新人教育を見直す 派遣指導者によるコンサルテーショ	¥1,540
	Vol. 17#10 (2007) 看護師長はどう選ばれ育てられるか	¥1,540
	Vol. 17#11 (2007) 超高齢社会の病院でどんな看護を提供するか 専門	¥1,540
	Vol. 17#12 (2007) 質向上のための安全管理者の知識とスキル	¥1,540
	Vol. 18#1 (2008) 看護のプロフェッショナルとその育成	¥1,650
	Vol. 18#2 (2008) 経験者の受入と定着	¥1,650
	Vol. 18#3 (2008) 論理的実勢を支える看護管理者の役割	¥1,650
	Vol. 18#4 (2008) 看護記録の質向上のために何ができるか	¥1,650
	Vol. 18#5 (2008) 新人教育担当者の支援に向けて	¥1,650
	Vol. 18#6 (2008) 2008年度診療報酬改定は現場にどのような影響をもた	¥1,650
	Vol. 18#7 (2008) 緩和ケアに求められる役割と質保証	¥1,650
	Vol. 18#8 (2008) 増刊号 ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽを実現し、成果を上げるﾏﾈｼﾞ	¥2,420
	Vol. 18#9 (2008) 産科医療の充実と看護管理	¥1,650
	Vol. 18#10 (2008) 地域医療を守る「10対1」病院は何をめざすか	¥1,650
	Vol. 18#11 (2008) よりよい医療サービス提供に向けた看護情報の活用	¥1,650
	Vol. 18#12 (2008) 自治体病院をめぐる課題と活性化への道	¥1,650
	Vol. 18#13 (2008) 医療安全管理者の働き方とその支援	¥1,650

	Vol. 19#1 (2009) 看護業務の拡大による可能性を探る	¥1,650
	Vol. 19#2 (2009) 新卒者の採用活動とフォロー	¥1,650
	Vol. 19#3 (2009) eラーニングで看護の質をどう確保するか	¥1,650
	Vol. 19#4 (2009) リソースナースの活用	¥1,650
	Vol. 19#5 (2009) 患者を受け入れるための病床管理の工夫−地域の安心	¥1,650
	Vol. 19#6 (2009) 高度看護実践者の技能と教育的効果	¥1,650
	Vol. 19#7 (2009) 職員を守り，安心・安全の医療を守るための院内暴力	¥1,650
	Vol. 19#8 (2009) 増刊号 行動する看護師長−これからの臨床看護マネジ	¥2,420
	Vol. 19#9 (2009) 地域が連携して行なう看護の質向上	¥1,650
	Vol. 19#10 (2009) 長期ケア施設における看護管理の魅力とその実際	¥1,650
	Vol. 19#11 (2009) 指導者の想像力・教育観で進化するシミュレーション	¥1,650
	Vol. 19#12 (2009) 退院支援で看護が見える	¥1,650
	Vol. 19#13 (2009) チームで取り組む医療安全	¥1,650
	Vol. 20#1 (2010) 医療体制の危機における看護の役割	¥1,650
品切	Vol. 20#2 (2010) 周術期看護を取り巻く諸問題	¥1,650
	Vol. 20#3 (2010) 看護現場に経営学的視点を	¥1,650
	Vol. 20#4 (2010) よりよい現任教育システムの構築をめざして	¥1,650
	Vol. 20#5 (2010) キャリアビジョンを描ける組織づくり	¥1,650
	Vol. 20#6 (2010) がん患者のシームレスな療養支援体制づくりに向けて	¥1,650
	Vol. 20#7 (2010) NSTが実現する医療の質向上	¥1,650
	Vol. 20#8 (2010) 増刊号 2010年度診療報酬改定から何を読みとるかほ	¥2,420
	Vol. 20#9 (2010) 看護部のマネジメントは病院移転でどう機能したか	¥1,650
	Vol. 20#10 (2010) フェア・マネジメント　健全で持続可能な組織をめざし	¥1,650
	Vol. 20#11 (2010) 看護管理者のネットワークが支える地域医療再生	¥1,650
	Vol. 20#12 (2010) 患者相談・クレーム対応の質向上をめざして	¥1,650
品切	Vol. 20#13 (2010) 医療安全管理者として働くということ	¥1,650
	Vol. 21#1 (2011) 社会からのニーズに応える看護管理の役割を再考する	¥1,650
	Vol. 21#2 (2011) 看護師として幸せに働き続けられる組織をめざして	¥1,650
	Vol. 21#3 (2011) 高齢者看護の質向上に向けて	¥1,650
	Vol. 21#4 (2011) 新任看護師長がぶつかる壁　それをどう乗り越えるか	¥1,650
	Vol. 21#5 (2011) 病棟の“新人を育てる力”を支援する	¥1,650
	Vol. 21#6 (2011) 引き継ぎ時間短縮から労働環境の改善につなげる	¥1,650
	Vol. 21#7 (2011) 東日本大震災への災害支援	¥1,650
	Vol. 21#8 (2011) 増刊号 東日本大震災への医療支援の記録	¥2,420
	Vol. 21#9 (2011) ちょっと気楽に！　みんなで支える臨床看護研究	¥1,650
	Vol. 21#10 (2011) 業務改善と標準化に向かってパスを見直そう	¥1,650
	Vol. 21#11 (2011) 看護師のための身体介護技能実力養成法 アムナス・	¥1,650
	Vol. 21#12 (2011) JCI受審の決断から組織が変化するまでのプロセス	¥1,650
	Vol. 21#13 (2011) 活動を評価し改善するプロジェクトマネジメント	¥1,650
	Vol. 22#1 (2012) 看護師長のための実践的マネジメント論	¥1,650
	Vol. 22#2 (2012) 戦略的に実施する人事考課のしくみ	¥1,650
	Vol. 22#3 (2012) 今、求められているのは「激しさ」−未来へのアクションを	¥1,650
	Vol. 22#4 (2012) 2012年度介護報酬との同時改定で診療報酬はどう変	¥1,650
	Vol. 22#5 (2012) 診療報酬・介護報酬同時改定2025年に向けた流れを	¥1,650
	Vol. 22#6 (2012) 多職種協働で推進する医療の力−先進的かつ効果を	¥1,650
	Vol. 22#7 (2012) 多職種協働時代におけるITの活用－看護職が専門性	¥1,650
	Vol. 22#8 (2012) 増刊号 特集1 組織の“医療安全力”を高める人材育成	¥2,420
	Vol. 22#9 (2012) みんなで支える! 業務実践への視野を広げる臨床看護	¥1,650
	Vol. 22#10 (2012) みんなで支える! 業務実践への視野を広げる臨床看	¥1,650
	Vol. 22#11 (2012) マネジメントリフレクションで管理の質向上をめざす	¥1,650
	Vol. 22#12 (2012) 看護管理の実力をつける マインド・スキル・ツールメソ	¥1,650
	Vol. 22#13 (2012) 助産師出向システム−地域・施設間偏在の是正とキャ	¥1,650
	Vol. 23#1 (2013) 病院の倫理リーダー養成講座/看護師“特定能力”の養	¥1,650
	Vol. 23#2 (2013) 有害事象をめぐる組織としての対応	¥1,650
	Vol. 23#3 (2013) 相互に学び合う教育と臨床―東邦大学看護キャリア支	¥1,650
	Vol. 23#4 (2013) ELNEC-J研修を振り返る	¥1,650
	Vol. 23#5 (2013) 組織内“医療安全ネットワーク”の強化!/アクションリサ	¥1,650

	Vol. 23#6 (2013) クリニカルコーチ育成研修/タイダルモデルで行なう院	¥1,650
	Vol. 23#7 (2013) 評価項目の見直しが進む看護必要度と記録の考え方	¥1,650
	Vol. 23#8 (2013) 増刊号　マインド・スキル・ツールメソッドの成果－組織	¥2,420
	Vol. 23#9 (2013) 看護師が働く環境を改善する/看護補助者の活用	¥1,650
	Vol. 23#10 (2013) ポジティブ・マネジメント入門/人口減少時代の人的資	¥1,650
品切	Vol. 23#11 (2013) チームで取り組む認知症ケアメソッド「ユマニチュード」	¥1,650
	Vol. 23#12 (2013) 地域包括ケア本格化！－退院支援・外来機能を再強	¥1,650
	Vol. 23#13 (2013) 看護師の業務整理・再編に向けた取り組み/看護部の	¥1,650
品切	Vol. 24#1 (2014)「対話」が現場を変える！ファシリテーター型リーダーシ	¥1,650
品切	Vol. 24#2 (2014) 病院機能評価の新体系-ケアプロセスの評価を看護に	¥1,650
	Vol. 24#3 (2014) 病院のリソースナースを地域で活用する-在宅療養の	¥1,650
	Vol. 24#4 (2014) 新任看護師長必読！ 育て上手のリーダーシップ-スタ	¥1,650
品切	Vol. 24#5 (2014) 真に効果的なダブルチェック体制とは－与薬インシデ	¥1,650
	Vol. 24#6 (2014) 特集1　新人看護職員研修の質向上に向けて／特集2	¥1,650
	Vol. 24#7 (2014) いよいよ制度化！ 「特定行為に係る看護師」研修制度	¥1,650
	Vol. 24#8 (2014) あなたの病院はどうしますか？ 2014年診療報酬改定	¥1,650
品切	Vol. 24#9 (2014) 新しい看護提供方式PNSを組織文化に－見えてきたア	¥1,650
	Vol. 24#10 (2014) 職場適応に困難を抱えるスタッフへの支援-“こぼれ落	¥1,650
	Vol. 24#11 (2014) 指導者間の連携で基礎と臨床のギャップを埋める	¥1,650
	Vol. 24#12 (2014) 決して後悔しない! 新病院プロジェクトの合意形成プロ	¥1,650
品切	Vol. 25#1 (2015) 最期まであなたらしく生きることを支える「アドバンス・ケ	¥1,650
品切	Vol. 25#2 (2015) がん患者への意思決定支援の質を高める－診断時か	¥1,650
品切	Vol. 25#3 (2015)「変化」に対応し看護の質を保証する　看護提供方式	¥1,650
品切	Vol. 25#4 (2015) 新任看護師長必読！ 実践　チーム・ビルディング　ス	¥1,650
	Vol. 25#5 (2015) 災害対応力の高い柔軟な組織へ　指示と行動を明確	¥1,650
	Vol. 25#6 (2015) 新人看護職員研修努力義務化から5年　今こそ育てる「	¥1,650
品切	Vol. 25#7 (2015) 看護管理者のコンピテンシー　広がる取り組みと進化	¥1,650
	Vol. 25#8 (2015) 地域包括的視点を重視した看護マネジメント“知識編”	¥1,650
	Vol. 25#9 (2015) 地域包括的視点を重視した看護マネジメント“実践編”	¥1,650
	Vol. 25#10 (2015) 真に現場で機能するeラーニング　主体的な学びやキ	¥1,650
	Vol. 25#11 (2015) 看護師長のための　実践！「データマネジメント」	¥1,650
	Vol. 25#12 (2015) クリニカルナースリーダー　ケアプロセスの質を保証	¥1,650
	Vol. 26#1 (2016) 看護管理者としての意思決定　新たな看護ケアの創出	¥1,650
	Vol. 26#2 (2016) 地域で暮らすがん患者への包括的支援　病期の進展	¥1,650
	Vol. 26#3 (2016) 採用活動を変えると組織が変わる　組織開発と人材育	¥1,650
品切	Vol. 26#4 (2016)「承認」が持つ力　相互に認め合える環境が，組織と個	¥1,650
	Vol. 26#5 (2016) 臨床看護師だからこそできる被験者ケア　臨床試験・治	¥1,650
品切	Vol. 26#6 (2016) 医療安全対策はここまで変わる！ ヒューマンエラーの	¥1,650
	Vol. 26#7 (2016) あなたの病院はどうしますか？2016年診療報酬改定か	¥1,650
	Vol. 26#8 (2016) ミッションマネジメント 対話と信頼による価値共創型の	¥1,650
	Vol. 26#9 (2016) 個々の強みを活かして、役割に応じた成果を達成する	¥1,650
品切	Vol. 26#10 (2019) 1冊まるごと特集！ 看護のためのファシリテーション 対	¥1,650
品切	Vol. 26#11 (2016) 現場改善のための「業務量調査」	¥1,650
品切	Vol. 26#12 (2016) 現場の変化を捉えた「転倒・転落」予防　患者の高齢	¥1,650
	Vol. 27#1 (2017) 2025年に伝えたい看護　医療の変革期を支えながら、	¥1,650
	Vol. 27#2 (2017) 病院と訪問看護「退院直後」を連携で支える	¥1,650
	Vol. 27#3 (2017) 病棟再編時の看護マネジメント	¥1,650
	Vol. 27#4 (2017) 新任看護師長必読！ 経験学習 自己と他者の経験か	¥1,650
	Vol. 27#5 (2017) 倫理的な組織文化を築く 意思決定支援の質向上に	¥1,650
	Vol. 27#6 (2017) 認知症を持つ患者の意思決定支援	¥1,650
	Vol. 27#7 (2017) 質の高い「看護診断」の運用 組織化と人材育成を基盤	¥1,650
	Vol. 27#8 (2017) 地域で“生きる”“暮らす”を支える看護連携の深化　20	¥1,650
	Vol. 27#9 (2017) 病院機能評価の最新報告 ケアプロセス評価を看護の	¥1,650
	Vol. 27#10 (2017)　高齢者の安心・安全な在宅療養を支える 病院の救	¥1,650
	Vol. 27#11 (2017)「特定行為に係る看護師の研修制度」の活用 地域の	¥1,650
品切	Vol. 27#12 (2017) 中堅看護師のリーダーシップ「組織が求める役割行	¥1,650
	Vol. 28#1 (2018) 人生100年時代のキャリアデザイン　一個人としての「	¥1,650

	Vol. 28#2 (2018) 認知症ケアプロセスの可視化「認知症ケア加算」がもた	¥1,650
	Vol. 28#3 (2018)「最期は家で」の希望をかなえる 在宅看取りの意思を	¥1,650
品切	Vol. 28#4 (2018) 新任看護師長必読！ 変化の時代を生き抜く一人と組	¥1,650
	Vol. 28#5 (2018) 医療事故調査制度と看護管理者の役割 将来の安全	¥1,650
	Vol. 28#6 (2018)「高齢者の治療選択」を支える 患者にとっての最善を	¥1,650
	Vol. 28#7 (2018) 2018年診療報酬・介護報酬同時改定への対応 病院	¥1,650
	Vol. 28#8 (2018) 多様性をいかす組織 成果につなげるダイバーシティ	¥1,650
	Vol. 28#9 (2018) 看護師長のための「地域分析」入門	¥1,650
品切	Vol. 28#10 (2018)「働きがい」のある組織 職務満足を構成する6つの概	¥1,650
品切	Vol. 28#11 (2018) 1冊まるごと特集！これからの入退院支援・在宅移行	¥1,650
品切	Vol. 28#12 (2018) 全員が「リーダーシップを発揮し合う」チーム 相互の	¥1,650
	Vol. 29#1 (2019) 次世代を担う看護管理者の育成	¥1,650
	Vol. 29#2 (2019)「ユマニチュード」の成果と展望 自由・平等・博愛・優し	¥1,650
	Vol. 29#3 (2019)「看護研究」を問い直す “現場主体の質改善”を目指	¥1,650
	Vol. 29#4 (2019) メンタリングを活用した人材育成 個人の成長を促し、	¥1,650
品切	Vol. 29#5 (2019)「関係の質」の高いチームをつくる 信頼と共感に基づく	¥1,650
品切	Vol. 29#6 (2019) 看護組織におけるサーバント・リーダーシップ 信頼とビ	¥1,650
品切	Vol. 29#7 (2019) 病院データは“宝の山”！データ分析に基づく看護マ	¥1,650
	Vol. 29#8 (2019) 対話のプロセスを支援する倫理カンファレンスの技法	¥1,650
	Vol. 29#9 (2019) 看護管理者必読！薬剤耐性（AMR）時代の感染対策	¥1,650
	Vol. 29#10 (2019) ケアプロセスを変革する新たな質指標 ペイシェント・	¥1,650
	Vol. 29#11 (2019) レジリエンス・エンジニアリング 「失敗事例」から「うまく	¥1,650
	Vol. 29#12 (2019) 会議記録が変わる！ 思考の整理ができる！ 対話が	¥1,650
	Vol. 30#1 (2020年1月) 30巻記念寄稿特集 30人が振り返り展望する 看	¥1,650
品切	Vol. 30#2 (2020年2月) 人を生かし自分を活かす 意思決定支援とACP	¥1,650
品切	Vol. 30#3 (2020年3月) “ムダ”を省き，看護サービスの質を高める セル	¥1,650
品切	Vol. 30#4 (2020年4月) 看護記録の効率化 働き方改革の中でケアする	¥1,650
	Vol. 30#5 (2020年5月) 今こそ再考したい事業継続計画(BCP) 地域医	¥1,650
	Vol. 30#6 (2020年6月) 一般病棟における身体拘束をしない看護の実現	¥1,650
	Vol. 30#7 (2020年7月)「重症度、医療・看護必要度」を俯瞰する 実態を	¥1,650
	Vol. 30#8 (2020年8月) データを用いた現場の可視化で、組織の質を高	¥1,650
	Vol. 30#9 (2020年9月) 危機のマネジメント 新型コロナウイルス感染拡大	¥1,650
	Vol. 30#10 (2020年10月) スタッフの自律的な成長を促す 1on1ミーティン	¥1,650
	Vol. 30#11 (2020年11月) セルフ・コンパッション リーダーが自分を思い	¥1,650
	Vol. 30#12 (2020年12月) どうする？ どうなる？ 2021年の継続教育計画	¥1,650
	Vol. 31#1 (2021年1月) 組織のダイナミクスを解明する質的研究 組織と	¥1,760
	Vol. 31#2 (2021年2月)「面会制限」が患者の意思決定にもたらした倫理	¥1,760
	Vol. 31#3 (2021年3月) 副看護師長が力を発揮する組織 経験から学び	¥1,760
	Vol. 31#4 (2021年4月) トランジション 新たな役割への移行期を活かす	¥1,760
品切	Vol. 31#5 (2021年5月) 心理的安全性 個々の強みを生かし、変化への	¥1,760
	Vol. 31#6 (2021年6月) エンゲイジメントの高い組織 「働きがい」のある職	¥1,760
	Vol. 31#7 (2021年7月) 救急外来における非入院帰宅患者への療養支	¥1,760
	Vol. 31#8 (2021年8月) 中小規模病院看護管理者へのアウトリーチ型支	¥1,760
	Vol. 31#9 (2021年9月) プリセプターシップの再構築 熟達者の実践と新	¥1,760

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

335 看護研究（医学書院）

Vol. 1-9 (1968-1976) 各1-4号	各号	¥1,980
Vol. 10#1-5 (1977)	各号	¥1,980
Vol. 11-14 (1978-1981) 各1-4号	各号	¥1,980
Vol. 15#1-5 (1982)	各号	¥1,980
Vol. 16-17 (1983-1984) 各1-4号	各号	¥1,980
Vol. 18-23 (1985-1990) 各1-5号	各号	¥1,980
Vol. 24#1 (1991) ロイ看護適応モデル		¥1,980
Vol. 24#2 (1991) 病院内外の環境をめぐる研究		¥1,980
Vol. 24#3 (1991) 国際看護理論家会議		¥1,980
Vol. 24#4 (1991) 臨時増刊 看護教育における教育方法		¥2,420
Vol. 24#5 (1991) 人間-環境系の看護研究[1]		¥1,980
Vol. 24#6 (1991) 人間-環境系の看護研究[2]		¥1,980
Vol. 25#1 (1992) 日本看護診断研究会・第1回学術集会報告		¥1,980
Vol. 25#2 (1992) 看護におけるQOLの研究[1]		¥1,980
Vol. 25#3 (1992) 看護におけるQOLの研究[2]		¥1,980
Vol. 25#4 (1992) 寝たきり老人の看護に関する研究[1]		¥1,980
Vol. 25#5 (1992) フェミニスト・セオリーから看護を見直す		¥2,420
Vol. 25#6 (1992) 寝たきり老人の看護に関する研究[2]		¥1,980
Vol. 26#1 (1993) 看護におけるケアリングの概念		¥1,980
Vol. 26#2 (1993) 日本看護診断研究会・第2回学術集会		¥2,420
Vol. 26#3 (1993) 臨床看護の概念化に向けて		¥1,980
Vol. 26#4 (1993) 看護における質的研究 質的研究で何が見える		¥2,420
Vol. 26#5 (1993) ヒューマンセンサー（感性）に関する看護研究		¥1,980
Vol. 26#6 (1993) 研究論文集		¥1,980
Vol. 26#7 (1993) 看護大学教育の理念とｶﾘｷｭﾗﾑ		¥1,980
Vol. 27#1 (1994) 集中治療室における看護ｹｱ		¥1,980
Vol. 27#2-3合併号 (1994) 家族看護学研究の動向		¥3,960
Vol. 27#4 (1994) 感染予防に関する看護研究		¥1,980
Vol. 27#5 (1994) 看護の専門分化とクリニカルナーススペシャリスト		¥2,420
Vol. 27#6 (1994) 老人ケアの教育とカリキュラム		¥1,980
Vol. 28#1 (1995) 医療における女性の意思決定		¥1,980
Vol. 28#2 (1995) 看護研究の活性化とネットワーキング		¥1,980
Vol. 28#3 (1995) 痴呆老人の家族介護に関する研究ほか		¥1,980
Vol. 28#4 (1995) 看護ケアの質の評価に関する研究		¥1,980
Vol. 28#5 (1995) 看護管理と情報テクノロジー		¥1,980
Vol. 28#6 (1995) 精神科看護者の境界性人格障害		¥1,980
Vol. 29#1 (1996) 看護ケアの質を構成する要素に関する質的研究		¥1,980
Vol. 29#2 (1996) 日本人妊婦における時間感覚母性課題		¥1,980
Vol. 29#3 (1996) 痴呆性老人の看護に関する研究		¥1,980
Vol. 29#4 (1996) 続・痴呆性老人の看護に関する研究		¥1,980
Vol. 29#5 (1996) 尿失禁患者の看護に関する研究		¥1,980
Vol. 29#6 (1996) 看護ケアパラダイムの変換をめぐって		¥1,980
Vol. 30#1 (1997) 在宅ケアに関する研究と課題		¥1,980
Vol. 30#2 (1997) レイニンガーの看護論と研究方法		¥1,980
Vol. 30#3 (1997) ヘルスプロモーションに関する研究		¥1,980
Vol. 30#4 (1997) 入院患者の環境認知特性の把握		¥1,980
Vol. 30#5 (1997) 在宅ケアのアウトカム		¥1,980
Vol. 30#6 (1997) 健康教育とヘルスプロモーション		¥1,980
Vol. 31#1 (1998) ヘルスプロモーション活動の実践と課題		¥1,980
Vol. 31#2 (1998) 看護ケアの質の評価指標と評価方法の開発		¥1,980
Vol. 31#3 (1998) がん患者用自己効力感尺度作成の試み・ほか		¥1,980
Vol. 31#4 (1998) 災害看護学の構築に向けて(I)		¥1,980
Vol. 31#5 (1998) 臨床看護実習プログラム鼓モデルの開発・ほか		¥1,980
Vol. 31#6 (1998) 看護診断に関する研究と今後の課題		¥1,980
Vol. 32#1 (1999) 家庭訪問/訪問看護の意味を見いだす質的..		¥1,980

	Vol. 32#2 (1999) 看護専門職における自律性と職場環境および	¥1,980
	Vol. 32#3 (1999) 災害看護学の構築に向けて(II)	¥1,980
	Vol. 32#4 (1999) 感染看護に関する研究と実践	¥1,980
	Vol. 32#5 (1999) 看護学の枠組みと学術用語としての看護用語	¥1,980
	Vol. 32#6 (1999) セクシュアリティに対する看護者の知識/態度..	¥1,980
	Vol. 33#1 (2000) 看護学における先端科学の推進	¥1,980
	Vol. 33#2 (2000) 続・看護学における先端科学の推進	¥1,980
	Vol. 33#3 (2000) 臨床看護に関する研究の動向と今後の課題	¥1,980
	Vol. 33#4 (2000) 臨床看護に関する研究の動向と今後..(II)	¥1,980
品切	Vol. 33#5 (2000) 研究の枠組みと研究方法のクリティーク	¥1,980
	Vol. 33#6 (2000) 臨床看護に関する研究の動向と今後..(III)	¥1,980
	Vol. 34#1 (2001) 看護研究方法としての疫学的研究方法	¥1,980
	Vol. 34#2 (2001) 看護研究と倫理	¥1,980
	Vol. 34#3 (2001) 臨床看護に関する研究の動向と今後の課題(IV)	¥1,980
	Vol. 34#4 (2001) IT時代における看護研究の取り組み	¥1,980
	Vol. 34#5 (2001) 臨床看護に関する研究の動向と今後の課題(V)	¥1,980
品切	Vol. 34#6 (2001) 看護実践・理論・研究をつなぐアクションリサーチ	¥1,980
	Vol. 35#1 (2002) 訪問看護の現状とグランドデザイン	¥1,980
	Vol. 35#2 (2002) Evidence Based Nursing-その基本と実践・研究・教育	¥1,980
	Vol. 35#3 (2002) 論文集 看護師の職業的アイデンティティに関する中範	¥1,980
	Vol. 35#4 (2002) 慢性性(Chronicity)と生活史に焦点を当てた看護学的	¥1,980
	Vol. 35#5 (2002) 実践に向けた高齢者ケア研究の方向性と課題	¥1,980
	Vol. 35#6 (2002) 看護継続教育論-3領域への研究的アプローチ	¥1,980
	Vol. 36#1 (2003) ロイ適応看護モデルを用いた看護研究	¥1,980
	Vol. 36#2 (2003) 看護における学術集会―意義・歩み・運営の実際	¥1,980
	Vol. 36#3 (2003) 患者教育のための「看護実践モデル」開発の試み	¥1,980
	Vol. 36#4 (2003) 看護の知の発展に向けた東アジア博士後期課程の協	¥1,980
	Vol. 36#5 (2003) 増刊号 質的アプローチが変える臨床研究	¥1,980
	Vol. 36#6 (2003) 小児の「痛み」に関する研究	¥1,980
品切	Vol. 36#7 (2003) グループ支援のための理論・技術・評価－地域看護に	¥1,980
	Vol. 37#1 (2004) 看護実践につながる実験研究	¥1,980
	Vol. 37#2 (2004) 看護安全への認知的アプローチ	¥1,980
	Vol. 37#3 (2004) 看護教育学における理論開発	¥1,980
	Vol. 37#4 (2004) 看護・医療の研究におけるタイムスタディ	¥1,980
品切	Vol. 37#5 (2004) 増刊号 看護研究と現象学的アプローチの動向	¥1,980
	Vol. 37#6 (2004) 糖尿病自己管理のアウトカム指標(I)―ナショナルスタン	¥1,980
	Vol. 37#7 (2004) 糖尿病自己管理のアウトカム指標(II) ナショナルスタン	¥1,980
品切	Vol. 38#1 (2005) 参加観察法トレーニング―データの収集・分析の実践	¥1,980
品切	Vol. 38#2 (2005) クリティカルケア看護領域における研究の動向と課題	¥1,980
品切	Vol. 38#3 (2005) 看護研究におけるメタアナリシス	¥1,980
	Vol. 38#4 (2005) 看護経済学の構築とその枠組み	¥1,980
品切	Vol. 38#5 (2005) 増刊号 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチをめ	¥1,980
	Vol. 38#6 (2005) 目的重視型保健師活動モデルの開発過程とその成果	¥1,980
	Vol. 38#7 (2005) 高度専門看護実践の可視化とアルゴリズムの抽出	¥1,980
	Vol. 39#1 (2006) 介入研究―理論とデータに結びついたケアプログラム	¥1,980
	Vol. 39#2 (2006) Community-Based Participatory Research-	¥1,980
	Vol. 39#3 (2006) 新しいケアの創造に向けたがん患者・家族の理解	¥1,980
	Vol. 39#4 (2006) 認知症高齢者の尊厳を維持する看護研究	¥1,980
品切	Vol. 39#5 (2006) 増刊号 看護学における「生活者」という視点「生活」の	¥1,980
	Vol. 39#6 (2006) 補完代替医療における看護療法の検証	¥1,980
品切	Vol. 39#7 (2006) 研究方法論セミナー	¥1,980
	Vol. 40#1 (2007) 看護学教育における方法論の探求と研究的視座	¥1,980
	Vol. 40#2 (2007) 国家試験問題の作成能力とブラッシュアップ能力の向	¥1,980
	Vol. 40#3 (2007) 増刊号 博士課程院生のための研究法特別講義	¥1,980
	Vol. 40#4 (2007) 高齢者訪問看護の質指標の開発	¥1,980
	Vol. 40#5 (2007) 看護研究における倫理を再考する	¥1,980
	Vol. 40#6 (2007) 予防看護学研究の進展	¥1,980

	Vol. 40#7 (2007) 日本の看護師の労働環境の実態 リンダ・エイケンとの	¥1,980
品切	Vol. 41#1 (2008) 科学的な質的研究のための質的統合法(KJ法)と考察	¥1,980
品切	Vol. 41#2 (2008) 科学的な質的研究のための質的統合法(KJ法)と考察	¥1,980
品切	Vol. 41#3 (2008) 増刊号 理論・研究・実践を総合するリフレクション	¥1,980
	Vol. 41#4 (2008) アリゾナ大学大学院博士課程におけるオンライン教育	¥1,980
品切	Vol. 41#5 (2008) 看護学の基盤形成にいかすメタ統合 質的研究の蓄積	¥1,980
	Vol. 41#6 (2008) 看護におけるeffectiveness research RCTを超えて	¥1,980
	Vol. 41#7 (2008) 看護研究におけるアフォーダンスの可能性	¥1,980
品切	Vol. 42#1 (2009) 看護に活用するレジリエンスの概念と研究	¥1,980
品切	Vol. 42#2 (2009) 研究の質を高めるコツと工夫	¥1,980
	Vol. 42#3 (2009) 超高齢社会における転倒予防のための看護研究(I)	¥1,980
	Vol. 42#4 (2009) 超高齢社会における転倒予防のための看護研究(II)	¥1,980
品切	Vol. 42#5 (2009) 増刊号 質的研究方法を用いた看護学の学位論文評	¥1,980
	Vol. 42#6 (2009) translational researchとしての小児の疼痛緩和方法の	¥1,980
品切	Vol. 42#7 (2009) 看護にSOCをどう活用するのか	¥1,980
	Vol. 43#1 (2010) 国際的に活躍できる研究者をどう育てるか	¥1,980
	Vol. 43#2 (2010) 理論の開発・活用のための中範囲理論	¥1,980
	Vol. 43#3 (2010) EBPを根づかせていくための概念モデルと方略(I)―〈	¥1,980
	Vol. 43#4 (2010) EBPを根づかせていくための概念モデルと方略(II)環	¥1,980
品切	Vol. 43#5 (2010) 増刊号 看護ケアの質評価と改善―研究の成果と今後	¥1,980
	Vol. 43#6 (2010) 看護科におけるTranslational Research	¥1,980
	Vol. 43#7 (2010) 新たな創造に向けた看護研究	¥1,980
品切	Vol. 44#1 (2011) 現象学的研究における「方法」を問う	¥1,980
品切	Vol. 44#2 (2011) 看護学におけるケアリングの現在	¥1,980
	Vol. 44#3 (2011) 慢性の病いにおける他者への「言いづらさ」―ライフスト	¥1,980
	Vol. 44#4 (2011) 増刊号 CT.Beck氏の研究から考える看護における研	¥1,980
	Vol. 44#5 (2011) 看護学研究発展の軌跡 研究方法論に着眼して	¥1,980
	Vol. 44#6 (2011) 看護と工学の連携 加速度センサの開発を出発点として	¥1,980
	Vol. 44#7 (2011) Good Nurse 研究にみる東アジア国際共同研究の意義	¥1,980
	Vol. 45#1 (2012) 研究者育成のための質保証におけるグローバルスタン	¥1,980
	Vol. 45#2 (2012) 研究の普及を支える基盤としての論文執筆	¥1,980
	Vol. 45#3 (2012) 質的研究を学び合う JRC-NQRの実践	¥1,980
品切	Vol. 45#4 (2012) 増刊号 経験を記述する 現象学と質的研究	¥1,980
	Vol. 45#5 (2012) 北欧ケアとは何か 看護研究への示唆	¥1,980
	Vol. 45#6 (2012) ケアリングが築く未来 国際ケアリング学会の成果	¥1,980
	Vol. 45#7 (2012) 臨床看護師が取り組む研究モデルの探究	¥1,980
	Vol. 46#1 (2013) 被ばく医療における看護の人材育成と研究	¥1,980
品切	Vol. 46#2 (2013) 看護学における事例研究法 新たな研究デザインへの	¥1,980
	Vol. 46#3 (2013) 認知症の当事者研究のために 老年看護学の新たな視	¥1,980
	Vol. 46#4 (2013) 増刊号 質的研究方法を用いた博士論文作成指導の	¥1,980
品切	Vol. 46#5 (2013) 看護研究におけるテキストマイニング（Ⅰ）	¥1,980
品切	Vol. 46#6 (2013) 看護研究におけるテキストマイニング（Ⅱ）	¥1,980
	Vol. 46#7 (2013) Person-centred Care の理論の現状と看護研究として	¥1,980
	Vol. 47#1 (2014) 看護学において若手研究者をどう育てるか？(I)	¥1,980
	Vol. 47#2 (2014) 看護学において若手研究者をどう育てるか？(II)	¥1,980
	Vol. 47#3 (2014) Mixed Methods Research　その意義と可能性	¥1,980
	Vol. 47#4 (2014) 増刊号 博士論文を書くということ　あのときの問いといま	¥1,980
	Vol. 47#5 (2014) 知的財産としての看護研究　研究成果の特許化	¥1,980
	Vol. 47#6 (2014) 看護ケアプログラムの体系化に向けて 看護研究と行動	¥1,980
	Vol. 47#7 (2014) 看護を語る 看護を創る	¥1,980
	Vol. 48#1 (2015) 看護研究から政策をうみだすために	¥2,090
	Vol. 48#2 (2015) 遠隔看護とイノベーション　在宅医療の新展開	¥2,090
	Vol. 48#3 (2015) 医療権力論　看護界・医療界はいま	¥2,090
	Vol. 48#4 (2015) 増刊号 大学院で学ぶ意味―新たな看護を創るために	¥2,090
	Vol. 48#5 (2015) NP教育の成果を探る―自律したHealth Care Provider	¥2,090
	Vol. 48#6 (2015) 現象学を語る	¥2,090
	Vol. 48#7 (2015) 査読を考える―査読ガイドラインの構築に向けて	¥2,090

	Vol. 49#1 (2016) 混合研究法が創る未来―第1回日本混合研究法学会	¥2,090
	Vol. 49#2 (2016) 看護学の発展にとっての理論構築―Transitions Theor	¥2,090
品切	Vol. 49#3 (2016) 看護におけるシステマティックレビュー	¥2,090
	Vol. 49#4 (2016) 増刊号特集　看護と哲学－共同がもたらす新たな知	¥2,090
	Vol. 49#5 (2016) 介入研究をどう進めるか	¥2,090
	Vol. 49#6 (2016) よい論文とは？ おもしろい論文とは？	¥2,090
	Vol. 49#7 (2016) 研究の意味―多領域との対話から	¥2,090
	Vol. 50#1 (2017) DNPの理念と実際―専門看護師をさらに育てる博士課	¥2,090
	Vol. 50#2 (2017) 若手研究者育成のさらなる進展―海外大学の視察を	¥2,090
	Vol. 50#3 (2017) 質的統合法の現在―グラウンデッド・セオリーとの比較	¥2,090
	Vol. 50#4 (2017) 増刊号 看護学の知をどう構築するか／若手研究者が	¥2,090
	Vol. 50#5 (2017) 事例研究をどううみだすか―事例がもたらす知の可能	¥2,090
	Vol. 50#6 (2017) 看護を変革する看護実践研究の可能性－英国のWBL	¥2,090
	Vol. 50#7 (2017) 理論家Royと理論分析家Fawcettの対話－看護学の未	¥2,090
	Vol. 51#1 (2018) 査読者の視点を学ぶ－質的研究論文のための査読セ	¥2,090
	Vol. 51#2 (2018) 未来語りのダイアローグとオープンダイアローグ－看護	¥2,090
品切	Vol. 51#3 (2018) 看護学における事例研究法の進化 質的記述的事例研	¥2,090
	Vol. 51#4 (2018) 増刊号　看護の未来を創造する　アクションリサーチ	¥2,090
品切	Vol. 51#5 (2018) ケアの意味を見つめる事例研究 現場発看護学の構築	¥2,090
	Vol. 51#6 (2018) 国際学会で発表しよう その研究が、世界をつなぐ	¥2,090
	Vol. 51#7 (2018) アジアの大学を知る 日本の看護研究力を高める	¥2,090
	Vol. 52#1 (2019) 英文論文と査読	¥2,200
	Vol. 52#2 (2019) よい質的研究論文を発表するために　セミナー「How to	¥2,200
	Vol. 52#3 (2019) Dr. Patricia A. Gradyを迎えて　看護研究者としての成	¥2,200
	Vol. 52#4 (2019) 増刊号　臨床実践を研究につなげる	¥2,200
	Vol. 52#5 (2019) その研究を世界へ　国際学会で発表しよう 2	¥2,200
	Vol. 52#6 (2019) 実践と結びついた看護理論をつくる－状況特定理論を	¥2,200
	Vol. 52#7 (2019) 拡がる看護研究の未来	¥2,200
品切	Vol. 53#1 (2020年2月) 看護研究における報告ガイドライン1	¥2,200
	Vol. 53#2 (2020年4月) 看護研究における報告ガイドライン2	¥2,200
	Vol. 53#3 (2020年6月) Dr. Patricia A. Grady特別講演　Example of a Na	¥2,200
	Vol. 53#4 (2020年7月) 増刊号　看護実践に関する事例研究の査読基準	¥2,200
	Vol. 53#5 (2020年8月) COVID-19は研究にどのような影響をもたらして	¥2,200
	Vol. 53#6 (2020年10月) ウィズ・コロナ時代の看護研究－COVID-19は	¥2,200
	Vol. 53#7 (2020年12月) M-GTA　その進化と展望	¥2,200
	Vol. 54#1 (2021年2月) 量的研究、質的研究の「危うさ」と混合研究法の	¥2,200
	Vol. 54#2 (2021年4月) 看護における混合研究法の進展	
	Vol. 54#3 (2021年6月) エビデンスを臨床実践に活かす挑戦　JBIを契機	¥2,200
	Vol. 54#4 (2021年8月) 若手研究者が挑む　国際基準のエビデンス構築	¥2,200

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

336 看護教育（医学書院）

Vol. 1#1-2 (1960)	各号	¥1,540
Vol. 2-8 (1961-1967) 各1-12号	各号	¥1,540
Vol. 9#1-13 (1968)	各号	¥1,540
Vol. 10-14 (1969-1973) 各1-12号	各号	¥1,540
Vol. 15#1-9,12 (1974)	各号	¥1,540
Vol. 15#10/11 (1974)		¥3,080
Vol. 16-18 (1975-1977) 各1-12号	各号	¥1,540
Vol. 19#1-13 (1978)	各号	¥1,540
Vol. 20#1-12 (1979)	各号	¥1,540
Vol. 21#1-12 (1980)	各号	¥1,540
Vol. 22-25 (1981-1984) 各1-13号	各号	¥1,540
Vol. 26#1-12 (1985)	各号	¥1,540
Vol. 27#1-14 (1986)	各号	¥1,540
Vol. 28-32 (1987-1991) 各1-13号	各号	¥1,540
Vol. 33#1-11,13 (1992)	各号	¥1,540
Vol. 33#12 (1992) 臨時増刊 チーム医療の中のPOS		¥2,310
Vol. 34#1-11,13 (1993)	各号	¥1,540
Vol. 34#12 (1993) 増刊号 医療の多様化とPOS		¥2,310
Vol. 35#1-11,13 (1994)	各号	¥1,540
Vol. 35#12 (1994) 増刊号 クオリティオブライフとPOS		¥2,310
Vol. 36#1 (1995) ナイティンゲール再考		¥1,540
Vol. 36#2 (1995) 看護と福祉新時代-教育に期待される		¥2,310
Vol. 36#3 (1995) よりよい臨床実習を目指して		¥1,540
Vol. 36#4 (1995) 看護教育をより豊かに		¥1,540
Vol. 36#5 (1995) やさしさと思いやりの育成		¥1,540
Vol. 36#6 (1995) 教員に必要な経営的感覚Part1		¥1,540
Vol. 36#7 (1995) 教員に必要な経営的感覚Part2		¥1,540
Vol. 36#8 (1995) 看護教育50年の評価		¥2,310
Vol. 36#9 (1995) 転換期における人材育成		¥1,540
Vol. 36#10 (1995) 教育・研究のための図書室の充実		¥1,540
Vol. 36#11 (1995) 患者経験を通して看護教育を考える		¥1,540
Vol. 36#12 (1995) POSの輪を広げよう		¥2,310
Vol. 36#13 (1995)「抑制」の重さと看護教育		¥1,540
Vol. 37#1 (1996) 看護における倫理教育		¥1,540
Vol. 37#2 (1996) 授業としての臨地実習		¥1,540
Vol. 37#3 (1996) 私学における看護教育の課題と展望		¥1,540
Vol. 37#4 (1996) 学生の心をとらえる授業の工夫		¥1,540
Vol. 37#5 (1996) 新カリキュラム中間報告書全文掲載		¥1,540
Vol. 37#6 (1996) 人間関係を学ぶワークショップ		¥1,540
Vol. 37#7 (1996) 看護の大学教育の死角		¥1,540
Vol. 37#8 (1996) 人権/インフォームド・コンセント		¥1,540
Vol. 37#9 (1996) 開かれた看護教育となるための転部編入学..		¥1,540
Vol. 37#10 (1996) 改定後の「指定規則」全文		¥1,540
Vol. 37#11 (1996) 試験問題の作り方		¥1,540
Vol. 37#12 (1996) 新しい在宅看護論・精神看護学		¥2,310
Vol. 37#13 (1996) ケーススタディ:試験問題の作り方		¥1,540
Vol. 38#1 (1997)「看護婦(士) 国家試験」問題		¥1,430
Vol. 38#2 (1997)「在宅看護論」私論		¥1,430
Vol. 38#3 (1997) 精神看護学実習の展開		¥1,430
Vol. 38#4 (1997) 在宅看護論実習の展開		¥1,430
Vol. 38#5 (1997) 大学院急増時代新設された6修士課程		¥1,430
Vol. 38#6 (1997) 看護学生と喫煙の問題		¥1,430
Vol. 38#7 (1997) 研究に必要な視点と戦略		¥1,430
Vol. 38#8 (1997) ナースのための健康スポーツ学		¥2,145

	Vol. 38#9 (1997) 学生が経験したICN大会	¥1,430
	Vol. 38#10 (1997) いま,ケアとは何かを問う	¥1,430
	Vol. 38#11 (1997) 増刊号 看護基礎教育改革への助走	¥2,145
	Vol. 38#12 (1997) 看護の国際協力と国看護学	¥1,430
	Vol. 39#1 (1998) 国家試験対策-わが校はこうしている	¥1,540
	Vol. 39#2 (1998) 入試に小論文を	¥1,540
	Vol. 39#3 (1998) 学生の声を聴く	¥1,540
	Vol. 39#4 (1998) 教員として育つために	¥1,540
	Vol. 39#5 (1998) 在宅看護論・精神看護学の実習をめぐって	¥1,540
	Vol. 39#6 (1998) 学生の主体性を読み取る-行動姿勢の視点..	¥1,540
	Vol. 39#7 (1998) 国家試験対策とその評価	¥1,540
	Vol. 39#8 (1998) 生涯人間発達学入門	¥2,310
	Vol. 39#9 (1998) 未来を見据えた看護教育を-いま､何を準備..	¥1,540
	Vol. 39#10 (1998) エイズを考える授業	¥1,540
	Vol. 39#11 (1998) 臨床に資する看護研究-私の研究指導	¥2,310
	Vol. 39#12 (1998) 看護教育をとりまくこの1年の動き	¥1,540
	Vol. 40#1 (1999) 育ち・教える	¥1,540
	Vol. 40#2 (1999) 現場に身を置く	¥1,540
	Vol. 40#3 (1999) 学生指導	¥1,540
	Vol. 40#4 (1999) ボランティア	¥1,540
	Vol. 40#5 (1999) 看護教育学研究20年の軌跡	¥1,540
	Vol. 40#6 (1999) 教育環境を整える	¥1,540
	Vol. 40#7 (1999) 国家試験の評価	¥1,540
	Vol. 40#8 (1999) 増刊号 看護婦国家試験出題基準	¥2,310
	Vol. 40#9 (1999) わかる授業の技術	¥1,540
	Vol. 40#10 (1999) 医療事故と看護教育	¥1,540
	Vol. 40#11 (1999) 増刊号 フィジカルアセスメント	¥2,310
	Vol. 40#12 (1999) 看護教育をとりまく1年の動き	¥1,540
	Vol. 41#1 (2000) 看護-生命にかかわる仕事	¥1,540
	Vol. 41#2 (2000) 看護教育における記録の問題	¥1,540
	Vol. 41#3 (2000) おとなの学びを支援する	¥1,540
	Vol. 41#4 (2000) 倫理的意思決定能力を育む	¥1,540
	Vol. 41#5 (2000) 臨床教育に「イチロー君」活躍する	¥1,540
	Vol. 41#6 (2000) 変容する家族と小児病棟の現在	¥1,540
	Vol. 41#7 (2000) 教育と臨床の実践的連携をめざして	¥1,540
品切	Vol. 41#8 (2000) 増刊号 日本の看護.. 私にとっての20世紀	¥2,310
	Vol. 41#9 (2000) 4年制大学における看護技術教育	¥1,540
	Vol. 41#10 (2000) 21世紀の看護教育に向けて	¥1,540
	Vol. 41#11 (2000) 増刊号 医療倫理.. 21世紀における看護者	¥2,310
	Vol. 41#12 (2000) 21世紀を歩むナースたちへ	¥1,540
	Vol. 42#1 (2001) 男子学生の現在	¥1,540
	Vol. 42#2 (2001) 臨地実習指導	¥1,540
	Vol. 42#3 (2001) 援助とは何か	¥1,540
	Vol. 42#4 (2001)「主体的に学ぶ」授業	¥1,540
	Vol. 42#5 (2001) 精神科看護に求められること	¥1,540
	Vol. 42#6 (2001) 問いなおす看護教育	¥1,540
	Vol. 42#7 (2001) 病態生理学・成人看護論・老人看護論の連結講義を試	¥1,540
	Vol. 42#8 (2001) 知識と実践を結ぶ 看護過程セミナー	¥2,310
	Vol. 42#9 (2001) 学生とともに学ぶ医療事故防止	¥1,540
	Vol. 42#10 (2001) 操作される生と死を前にして	¥1,540
	Vol. 42#11 (2001) 増刊号 看護技術教育のこれから	¥2,310
	Vol. 42#12 (2001) 医療事故の実態と基礎教育	¥1,540
	Vol. 43#1 (2002) 自己学習を中心としたフィジカルアセスメント教育の実	¥1,540
	Vol. 43#2 (2002) 著作権の利用・引用のルール	¥1,540
	Vol. 43#3 (2002) 看護視と看護実践	¥1,540
	Vol. 43#4 (2002) 教育の自己点検・自己評価	¥1,540
	Vol. 43#5 (2002) 第91回看護師国家試験を終えて	¥1,540

Vol. 43#6 (2002) 臨地実習のあり方を考える	¥1,540
Vol. 43#7 (2002) 人間の環でつくる精神看護学実習	¥1,540
Vol. 43#8 (2002) 8月9月合併増大号 現代の家族神話を超えて	¥2,310
Vol. 43#9 (2002) 米国コロラド大学保健科学センター看護学部の小児看	¥1,540
Vol. 43#10 (2002) 臨床能力を高める教育の試み	¥1,540
Vol. 43#11 (2002) 増刊号 クリティカルシンキングのスキルを育てる	¥2,310
Vol. 43#12 (2002) 学外学習の最新の取り組み	¥1,540
Vol. 44#1 (2003)「静脈注射」をめぐって	¥1,540
Vol. 44#2 (2003) 臨地実習の成果	¥1,540
Vol. 44#3 (2003) 学生の問題にどう対応するか	¥1,540
Vol. 44#4 (2003) 口と食べることとの関係―QOL向上を目指して	¥1,540
Vol. 44#5 (2003) 学生に国家試験の受験資格を与えることの意味	¥1,540
Vol. 44#6 (2003)「看護倫理」教育―国立相模原病院附属看護学校の	¥1,540
Vol. 44#7 (2003) 学生をめぐる今日的な問題―その法的な対処について	¥1,540
Vol. 44#8 (2003) 8・9合併増大号看護学生の論文－大賞・入選論文の	¥2,310
Vol. 44#9 (2003) 教師に求められるもの－新たな授業実践	¥1,540
Vol. 44#10 (2003) 看護師国家試験出題基準の改定	¥1,540
Vol. 44#11 (2003) 増刊号ペーパーペイシェントによる教育方法・教育評	¥2,310
Vol. 44#12 (2003) 看護実践能力育成への取り組み	¥1,540
Vol. 45#1 (2004) 新春対談：生涯人間発達論からみた思春期、そして青	¥1,540
Vol. 45#2 (2004) 看護事故防止カリキュラムの構築	¥1,540
Vol. 45#3 (2004) 卒直前の事故防止演習	¥1,540
Vol. 45#4 (2004) 看護師学校養成所「2年課程通信制」実施へ	¥1,540
Vol. 45#5 (2004) 当事者に学ぶ	¥1,540
Vol. 45#6 (2004) 看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達	¥1,540
Vol. 45#7 (2004) 3校の新しいカリキュラム紹介	¥1,540
Vol. 44#8 (2004) 8・9合併増大号 看護学生の論文 大賞・入選論文の発	¥2,310
Vol. 45#9 (2004) 臨地実習 学生を大切に育てたい	¥1,540
Vol. 45#10 (2004) 模擬患者（SP）参加の看護教育	¥1,540
Vol. 45#11 (2004) 増刊号 在宅看護論の授業展開	¥2,310
Vol. 45#12 (2004) 授業展開マトリックスの構築	¥1,540
Vol. 46#1 (2005) 看護技術チェックプログラム	¥1,540
Vol. 46#2 (2005) 臨地実習指導に問われるもの	¥1,540
Vol. 46#3 (2005) 地域に育てられる	¥1,540
Vol. 46#4 (2005) ユニフィケーションシステムを導入した神奈川県立の看	¥1,540
Vol. 46#5 (2005) 2000-2005年表で見るわが国の看護・看護教育の動向	¥1,540
Vol. 46#6 (2005) 看護学校の危機管理	¥1,540
Vol. 46#7 (2005) 卒業生のフォローをどうしていますか？	¥1,540
Vol. 46#8 (2005) 8・9合併増大号看護学生の論文優秀賞・入選論文の発	¥2,310
Vol. 46#9 (2005) 10年を迎えた認定看護師教育	¥1,540
Vol. 46#10 (2005) 高等教育機関の自己評価はなぜ必要か	¥1,540
Vol. 46#11 (2005) 増刊号 看護学実習-教員・指導者・学生，三者の体験	¥2,310
Vol. 46#12 (2005) 学生が臨床で暴力に遭遇したとき	¥1,540
Vol. 47#1 (2006) KJ法の思想と技術を学ぶ	¥1,540
Vol. 47#2 (2006) 災害看護の現場から-災害看護学構築に向けて・1	¥1,540
Vol. 47#3 (2006) 災害看護学構築に向けて・2	¥1,540
Vol. 47#4 (2006) 看護技術教育プログラムの改善―山梨県立看護大学	¥1,540
Vol. 47#5 (2006) 教員だからこそできる地域貢献	¥1,540
Vol. 47#6 (2006) 医療者と患者のパートナーシップ	¥1,540
Vol. 47#7 (2006) 看護の学びを問い直す 専門職の成長を促すものは何	¥1,540
Vol. 47#8 (2006) 8・9合併増大号特集1看護学生の論文入選エッセイ・論	¥2,310
Vol. 47#9 (2006) 射水市民病院の人工呼吸器取り外し問題が提起したこ	¥1,540
Vol. 47#10 (2006) 臨床との連携で効果をあげる看護教育	¥1,540
Vol. 47#11 (2006) 増刊号 看護の歴史はおもしろい語り継がれる人と時	¥2,310
Vol. 47#12 (2006)「看護師2年課程通信制」発足から3年	¥1,540
Vol. 48#1 (2007) いまなぜポートフォリオなのか 学生評価・教員評価の新	¥1,540
Vol. 48#2 (2007) 新人職員研修で人はどう育っているか	¥1,540

	Vol. 48#3 (2007) 教育の改善をめざして	¥1,540
	Vol. 48#4 (2007) 教育活動とe-learning	¥1,540
	Vol. 48#5 (2007) コミュニケーション技術の習得	¥1,540
	Vol. 48#6 (2007) フィジカルアセスメント教育―どこを強化するのか	¥1,540
	Vol. 48#7 (2007) カリキュラム改正案 詳細	¥1,540
	Vol. 48#8 (2007) 増大号 看護学生の論文 補完代替医療の基礎教育へ	¥2,310
	Vol. 48#9 (2007) 医療安全教育 カリキュラム改正をにらんで	¥1,540
	Vol. 48#10 (2007) 学生のヒヤリ・ハットから学ぶ看護技術テキストの作成	¥1,540
	Vol. 48#11 (2007) 看護教員養成とは何か	¥1,540
	Vol. 48#12 (2007) 新卒1年生の居る病院	¥1,540
品切	Vol. 49#1 (2008) カリキュラム改正手続きをスムーズに行う 看護教育の質	¥1,540
	Vol. 49#2 (2008) コミュニケーション能力と倫理	¥1,540
	Vol. 49#3 (2008) 臨床につなげる専門基礎科目	¥1,540
	Vol. 49#4 (2008) 看護の統合力を筆記試験で評価する	¥1,540
	Vol. 49#5 (2008) 専門職の実践的力量を形成していくために	¥1,540
	Vol. 49#6 (2008) 都立看護学校7校の新カリキュラムへの取り組み 課題	¥1,540
	Vol. 49#7 (2008) 精神「科」看護を教えるということ	¥1,540
	Vol. 49#8 (2008) 国家試験問題プール制 再考/看護学生論文	¥2,310
	Vol. 49#9 (2008) 看護教育がチーム医療にできること	¥1,540
	Vol. 49#10 (2008)「看護教育の大学化」提言のインパクト 実現に向けて	¥1,540
	Vol. 49#11 (2008)「いのちの授業」を学生に贈る	¥1,540
	Vol. 49#12 (2008) 災害看護論の定着に向けて	¥1,540
	Vol. 50#1 (2009) 教育に国際的視野を 国際看護学への道	¥1,540
	Vol. 50#2 (2009) 社会人入学者のいる教室 より適した教育を目指して	¥1,540
	Vol. 50#3 (2009) カリキュラム改正に対応した教育方法・1	¥1,540
	Vol. 50#4 (2009) カリキュラム改正に対応した教育方法・2	¥1,540
	Vol. 50#5 (2009)「学び方」を学ぶ 広まる初年次教育への取り組み	¥1,540
	Vol. 50#6 (2009) 医療安全カリキュラム 構築のためのキーポイント	¥1,540
	Vol. 50#7 (2009) 学習支援で学生を変える 取り組みの必要性と効果	¥1,540
	Vol. 50#8 (2009) 増大号 難しくない「経営と管理」 看護学生論文	¥2,310
	Vol. 50#9 (2009) シミュレーション教材は進化する	¥1,540
	Vol. 50#10 (2009) 思い込みと偏見	¥1,540
	Vol. 50#11 (2009) 授業の関係性を考えるマトリックス	¥1,540
	Vol. 50#12 (2009) PBLは報われる	¥1,540
	Vol. 51#1 (2010) 2010年看護教育の課題	¥1,540
	Vol. 51#2 (2010) ポートフォリオが花ひらくとき	¥1,540
	Vol. 51#3 (2010) 看護教育の臨床への継続	¥1,540
	Vol. 51#4 (2010) 看護倫理を教育のベースラインに	¥1,540
	Vol. 51#5 (2010) 地域に根ざした教育の実践	¥1,540
	Vol. 51#6 (2010) 学びは越境する―異領域の導き手から看護	¥1,540
	Vol. 51#7 (2010) 夜間実習に挑む	¥1,540
	Vol. 51#8 (2010) 増大号 当事者に聞く 障害をもつ学生をいかに育てる	¥2,310
	Vol. 51#9 (2010) 看護学生に本当に必要な教育学を探して	¥1,540
品切	Vol. 51#10 (2010) 生活機能・目標志向からみた老年看護	¥1,540
	Vol. 51#11 (2010)「教員を辞めたくなるとき」に学校で向き合う	¥1,540
品切	Vol. 51#12 (2010) 実践力向上の実習評価へ	¥1,540
	Vol. 52#1 (2011)「看護教員が教える形態機能学」への道	¥1,540
	Vol. 52#2 (2011) これからの看護教員養成―講習会ガイドライン活用と発	¥1,540
	Vol. 52#3 (2011) 中小病院や施設に実習を求めて	¥1,540
	Vol. 52#4 (2011) 男が看護を学ぶこと	¥1,540
	Vol. 52#5 (2011) 循環型教育の確立をめざして	¥1,540
	Vol. 52#6 (2011) チーム医療を培うIPE	¥1,540
	Vol. 52#7 (2011) 模擬患者を取り入れた教育を見直す Part 1 模擬患者	¥1,540
	Vol. 52#8 (2011) 増大号 模擬患者を取り入れた教育を見直す Part 2	¥2,310
	Vol. 52#9(2011) 専任教員の新たな継続教育プラン	¥1,540
	Vol. 52#10 (2011) 准看,進学コースでの教育はいま	¥1,540
	Vol. 52#11 (2011) さまざまな立場からの国試対策	¥1,540

	Vol. 52#12 (2011) 今、学生と共にいのちを考える	¥1,540
	Vol. 53#1 (2012) 看護教育の現場にプレゼンテーション力を活かす！	¥1,540
	Vol. 53#2 (2012) 私はこうして学生と向き合ってきた 日々出会うさまざま	¥1,540
	Vol. 53#3 (2012) 災害看護教育に生きたシミュレーションを 震災に焦点	¥1,540
	Vol. 53#4 (2012) 平成23年度教務主任養成講習会を振り返る	¥1,540
	Vol. 53#5 (2012) 看護学生が学ぶ地域看護学再考	¥1,540
	Vol. 53#6 (2012) 地域看護学と公衆衛生看護学 Part2 保健師学生が学	¥1,540
	Vol. 53#7 (2012) 学校をアピールする! 学生確保のためにできること	¥1,540
	Vol. 53#8 (2012) 増大号 教務主任養成講習会での学びを活かす	¥2,310
	Vol. 53#9 (2012) 学問としての在宅看護論の確立へ	¥1,540
	Vol. 53#10 (2012) コミュニケーション力を育む 実習前に教員としてでき	¥1,540
	Vol. 53#11 (2012)「複数受け持ち」実習をより効果的に	¥1,540
	Vol. 53#12 (2012)“特定能力”をもつ看護師の新たな役割とその人材育	¥1,540
	Vol. 54#1 (2013) 基礎看護学を再構成する・1 看護の「基礎」とは何か?	¥1,540
	Vol. 54#2 (2013) 基礎看護学を再構成する・2 看護の「基礎」を教えると	¥1,540
	Vol. 54#3 (2013) 看護師国家試験 合格率100%の秘密	¥1,540
	Vol. 54#4 (2013) 授業設計再入門	¥1,540
	Vol. 54#5 (2013)「狙い」に合わせたシミュレーション教育の方法	¥1,540
	Vol. 54#6 (2013) クリティカルシンキングは終わらない	¥1,540
	Vol. 54#7 (2013) スマホ時代のリスク管理 情報リテラシーを育みトラブル	¥1,540
	Vol. 54#8 (2013) 増大号 教育の質を高める学習方法 いまから始める協	¥2,310
	Vol. 54#9 (2013) 2014年の国試に向けてできること	¥1,540
	Vol. 54#10 (2013) 対話のスキルを教育に活かす!	¥1,540
	Vol. 54#11 (2013) 助産師教育の現状と課題	¥1,540
	Vol. 54#12 (2013) 移動介助技術の指導方法-ボディメカニクスを実践に	¥1,540
	Vol. 55#1 (2014) 授業研究のすすめ	¥1,540
	Vol. 55#2 (2014) 効果的な授業の工夫としてのeラーニング	¥1,540
	Vol. 55#3 (2014) さまざまなアプローチによるリフレクション	¥1,540
	Vol. 55#4 (2014)「おかしいな」と思ったときの学生指導	¥1,540
	Vol. 55#5 (2014) ピアの力を信じよう 学生同士で教え合うしくみの活用	¥1,540
	Vol. 55#6 (2014) 学生から看護師へのホップ！ステップ！を支える教育	¥1,540
	Vol. 55#7 (2014) 精神看護教育に改めて向き合う	¥1,540
	Vol. 55#8 (2014) 学習の「質」を高めるパフォーマンス評価	¥2,310
	Vol. 55#9 (2014) 求める学生確保のための方策 面接をめぐる課題を中	¥1,540
	Vol. 55#10 (2014) 論文執筆のススメ 実例から学ぶ良い論文の書き方	¥1,540
	Vol. 55#11 (2014) 基礎と臨床がともに学ぶ場をつくる 自治体が協力する	¥1,540
	Vol. 55#12 (2014) 理想的な「入学前学習」を求めて	¥1,540
	Vol. 56#1 (2015) 看護教員の教育力をUPする!	¥1,650
	Vol. 56#2 (2015) IPEの達成とこれから 「地域で学ぶ」を中心に	¥1,650
	Vol. 56#3 (2015) コースポートフォリオで授業改善！	¥1,650
	Vol. 56#4 (2015) 本当に伸ばすためのコミュニケーション教育	¥1,650
	Vol. 56#5 (2015)「やってくる」事前課題をつくろう！	¥1,650
	Vol. 56#6 (2015)「つまらない」授業よ，さらば！	¥1,650
品切	Vol. 56#7 (2015) 看護過程再考	¥1,650
	Vol. 56#8 (2015) 増大号 グループワークを「本物」にしよう！/看護学生・	¥2,420
	Vol. 56#9 (2015)「看護研究」で実践力を鍛える	¥1,650
品切	Vol. 56#10 (2015) あらためてHow toロールプレイ！	¥1,650
	Vol. 56#11 (2015) 学生の答え，ちゃんと待てますか 今こそ知りたいファ	¥1,650
	Vol. 56#12 (2015) グラフィック・シラバスとカリキュラム・マップ 授業とカリ	¥1,650
	Vol. 57#1 (2016) 形・型・可で技術教育の「安楽」を考えよう！	¥1,650
品切	Vol. 57#2 (2016) 看護観の伝承	¥1,650
	Vol. 57#3 (2016) カリキュラムを「拡張」しよう！	¥1,650
	Vol. 57#4 (2016) あなたの「見方」に現象学を	¥1,650
	Vol. 57#5 (2016)「気持ちのいい」ケアを教えよう！	¥1,650
	Vol. 57#6 (2016) 看護過程再再考	¥1,650
	Vol. 57#7 (2016) 論理的に話そう！	¥1,650
	Vol. 57#8 増大号特集 論理的に書こう！	¥2,420

品切	Vol. 57#9 (2016) さぁ, 臨床判断モデル	¥1,650
	Vol. 57#10 (2016)「病態関連図」をおもしろく！	¥1,650
	Vol. 57#11 (2016) 使える「患者役」になろう！	¥1,650
	Vol. 57#12 (2016) 身体知をリベラルアーツに	¥1,650
	Vol. 58#1 (2017) 教える力を養うための継続研修を	¥1,650
	Vol. 58#2 (2017) キャリアを支援する赤十字看護専門学校教員ラダー	¥1,650
	Vol. 58#3 (2017) 学生のセクシュアリティに向き合う	¥1,650
	Vol. 58#4 (2017) 思考にきく発問	¥1,650
	Vol. 58#5 (2017)「楽しい」解剖学を求めて	¥1,650
	Vol. 58#6 (2017) 実践知の学びを再考する“わざ言語”	¥1,650
	Vol. 58#7 (2017) リフレクションから授業研究（レッスン・スタディ）へ	¥1,650
	Vol. 58#8 (2017) 増大号「読む,書く,話す」で,教育力の充実を	¥2,420
	Vol. 58#9 (2017) 学生とつくる授業 学生がつくる授業	¥1,650
	Vol. 58#10 (2017) 実践的思考力を育む	¥1,650
	Vol. 58#11 (2017) ティーチング・ポートフォリオで得られること	¥1,650
	Vol. 58#12 (2017) 省察的実践者を育むーショーンからの提起とともに	¥1,650
品切	Vol. 59#1 (2018) インストラクショナルデザインを活かす	¥1,650
	Vol. 59#2 (2018) VRで未来を変える	¥1,650
	Vol. 59#3 (2018) 私たちのストレスケア	¥1,650
	Vol. 59#4 (2018) 問題解決志向に疲れたら……	¥1,650
	Vol. 59#5 (2018) 授業にゲームを	¥1,650
	Vol. 59#6 (2018) 身体拘束から考える 基礎教育と臨床の関係	¥1,650
	Vol. 59#7 (2018) 主体性を育む「問いづくり」	¥1,650
品切	Vol. 59#8 (2018) 増大号 実習指導 虎の巻	¥2,420
	Vol. 59#9 (2018) 統合実習は“統合”されているか？	¥1,650
	Vol. 59#10 (2018) 発達障害の特性がみられる学生への理解と支援	¥1,650
	Vol. 59#11 (2018)「母性」「小児」「老年」の概念を変える 家族のダイバ	¥1,650
	Vol. 59#12 (2018) 看護教育をとらえる新たな発想 コンセプト・ベースド・	¥1,650
	Vol. 60#1 (2019) VR/AR/MR 教育への応用最前線	¥1,760
	Vol. 60#2 (2019) 指定規則改正前の今こそ！ 未来をみすえたカリキュラ	¥1,760
	Vol. 60#3 (2019)「地域包括ケア」にむけた教育ってなに？	¥1,760
	Vol. 60#4 (2019) 実習でともに育つ学生と教員 学生・実習指導者・教員	¥1,760
	Vol. 60#5 (2019) 授業はプレゼンだ！	¥1,760
	Vol. 60#6 (2019) まず、自分をいたわるために マインドフルネス&セル	¥1,760
	Vol. 60#7 (2019) あらためて協同学習を理解する	¥1,760
	Vol. 60#8 (2019) 増大号 シミュレーション教育 虎の巻	¥2,640
	Vol. 60#9 (2019) 看護教育における効果的なOSCEの実施	¥1,760
	Vol. 60#10 (2019) 苦手な方こそ！この1冊 ー ICT導入・活用に一歩踏	¥1,760
	Vol. 60#11 (2019) 実習病院と教育機関の関係づくり	¥1,760
	Vol. 60#12 (2019) 自ら学び、生きる力を育む ポートフォリオが照らすそ	¥1,760
	Vol. 61#1 (2020年1月) のばすべきコミュニケーション能力とは	¥1,760
	Vol. 61#2 (2020年2月) カリキュラム編成のヒント 臨床判断能力を育む取	¥1,760
	Vol. 61#3 (2020年3月) 板書の基本と授業での活用	¥1,760
	Vol. 61#4 (2020年4月) あらためて学ぶ、なぜリフレクションか	¥1,760
	Vol. 61#5 (2020年5月) ナイチンゲール生誕200年に看護を考える／遠	¥1,760
	Vol. 61#6 (2020年6月) すべての看護師にとっての「地域・在宅看護論」	¥1,760
	Vol. 61#7 (2020年7月)「地域・在宅看護論」をカリキュラムにどう取り入れ	¥1,760
	Vol. 61#8 (2020年8月) 増大号 カリキュラム編成の指針／新型コロナウ	¥2,640
	Vol. 61#9 (2020年9月) 看護実践につながる専門基礎科目の教授法	¥1,760
	Vol. 61#10 (2020年10月) 新型コロナウイルス感染症 これからの学校・	¥1,760
	Vol. 61#11 (2020年11月) 工夫が光る！在宅看護演習・実習	¥1,760
	Vol. 61#12 (2020年12月) 教養・基礎科目をとらえ直す	¥1,760
	Vol. 62#1 (2021年1月) 医療安全教育力を向上しよう	¥1,760
	Vol. 62#2 (2021年2月) 討論！ なぜ、地域で家族看護が求められるのか	¥1,760
	Vol. 62#3 (2021年3月) 災害看護教育の現在 東日本大震災から10年を	¥1,760
	Vol. 62#4 (2021年4月) 電子教科書とICT活用	¥1,760
	Vol. 62#5 (2021年5月) なにを、どう教える？はじめての看護学概論	¥1,760

	Vol. 62#6 (2021年6月) コロナ禍の経験をふまえた これからのシミュレー		¥1,760
	Vol. 62#7 (2021年7月) 看護技術の効果的な習得をめざして		¥1,760
	Vol. 62#8 (2021年8月) 増大号 ルーブリックの活用／オンラインで学び		¥2,640
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
337	**看護mook（金原出版）**		
	No. 1-39 (1982-1992)	各号	¥3,300
338	**看護診断（日本看護診断学会）**		
	Vol. 1#1 (1996)		¥3,080
	Vol. 2#1,2 (1997)	各号	¥3,080
	Vol. 3#1,2 (1998)	各号	¥3,080
	Vol. 4#1 (1999)		¥3,080
	Vol. 5#1 (2000)		¥3,080
	Vol. 6#1 (2001)		¥3,080
	Vol. 7#1 (2002)		¥3,520
	Vol. 7#2 (2002)		¥3,080
339	**看護展望（メヂカルフレンド社）**		
	Vol. 33#10,11,13 (2008)	各号	¥1,540
	Vol. 34#1,2,5,7-12 (2009)	各号	¥1,540
	Vol. 35#10,11 (2010)	各号	¥1,540
	Vol. 36#1,3-8,11 (2011)	各号	¥1,540
340	**感覚統合障害研究（日本感覚統合障害研究会）**		
	Vol. 1#1 (1988)		¥3,300
	Vol. 2#1 (1991)		¥3,300
	Vol. 3#1 (1993)		¥3,300
	Vol. 4#1,2 (1994)	各号	¥3,300
	Vol. 5#1,2 (1994/1995)	各号	¥3,300
	Vol. 6#1/2 (1998)		¥3,300
	Vol. 7#1/2 (1999)		¥3,300
	Vol. 8 (2002)		¥3,300
	Vol. 9 (2002)		¥3,300
	Vol. 10 (2004)		¥3,300
	Vol. 11 (2006)		¥3,300

341	**関係学研究（日本関係学会）**		
	Vol. 1 (1972)		¥550
	Vol. 2 (1974)		¥1,100
	Vol. 3 (1975)		¥1,100
	Vol. 4 (1976)		¥1,100
	Vol. 5 (1977)		¥2,200
	Vol. 6 (1978)		¥1,100
	Vol. 7 (1979)		¥1,100
	Vol. 8 (1980)		¥1,100
	Vol. 9 (1981)		¥1,100
	Vol. 10 (1982)		¥1,100
	Vol. 11 (1983)		¥1,100
	Vol. 12 (1984)		¥1,100
	Vol. 13 (1985)		¥2,200
	Vol. 14 (1986)		¥2,200
	Vol. 15 (1987)		¥5,500
	Vol. 16 (1988)		¥2,200
	Vol. 17 (1989)		¥2,200
	Vol. 18 (1990)		¥2,200
	Vol. 19 (1991)		¥2,200
	Vol. 20 (1992)		¥2,200
	Vol. 21 (1993)		¥2,200
	Vol. 22 (1994)		¥2,200
	Vol. 23 (1995)		¥2,200
	Vol. 24 (1996)		¥2,200
	Vol. 25 (1997)		¥2,200
	Vol. 26 (1998)		¥2,200
342	**観光ホスピタリティ教育（日本観光ホスピタリティ教育学会）**		
	No. 1,2,3 (2006-2008)	各号	¥3,300
343	**環境アセスメント学会誌 The Japan Society for Impact Assessment（環境アセスメント学会）**		
	Vol. 1-6 (2003-2008) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 7#1 (2009)		¥2,200
344	**環境毒性学会誌 Japanese Journal of Environmental Toxicology（日本環境毒性学会）**		
	Vol. 1-5 (1998-2002) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 6#1 (2003)		¥2,200
345	**環境技術会誌（日本廃棄物処理施設技術管理者協議会）**		
	No. 115-132 (2004-2008)	各号	¥2,096

346	**環境変異原研究（日本環境変異原学会）**		
	Vol. 1#1 (1978)		¥5,500
	Vol. 3#1 (1981)		¥5,500
	Vol. 4#1 (1982)		¥5,500
	Vol. 5#1,2 (1983)	各号	¥5,500
	Vol. 6#1/2 (1984)		¥11,000
	Vol. 7#1 (1985)		¥5,500
	Vol. 8#1,3 (1986)	各号	¥5,500
	Vol. 9#1 (1987)		¥5,500
	Vol. 10#1,2 (1988)	各号	¥5,500
	Vol. 11#1,2 (1989)	各号	¥5,500
	Vol. 12#1-3 (1990)	各号	¥5,500
	Vol. 13#1 (1991)		¥5,500
	Vol. 15#1 (1993)		¥5,500
	Vol. 16#2-3 (1994)	各号	¥5,500
	Vol. 17#1,3 (1995/1996)	各号	¥5,500
	Vol. 18#1-3 (1996)	各号	¥5,500
	Vol. 19#1-3 (1997)	各号	¥5,500
	Vol. 20#1-3,第27回大会プログラム要旨集 (1998)	各号	¥5,500
	Vol. 21＃1-3 (1999)	各号	¥5,500
	Vol. 22#1-3 (2000)	各号	¥5,500
	Vol. 23#2 (2001)		¥5,500
	Vol. 24#1,3 (2002)	各号	¥5,500
	Vol. 25第32回大会プログラム要旨集 (2003)		¥5,500
347	**環境情報科学（環境情報科学センター）**		
	Vol. 1-27 (1972-1998) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 28#2,3,4 (1999)	各号	¥2,750
	Vol. 29-41 (2000-2012/13) 各1-4号	各号	¥2,750
348	**環境情報科学 別冊 環境情報科学論文集**		
	No. 7-20,22-25 (1994-2011)	各号	¥3,520
349	**環境化学 Journal of Environmental Chemistry（日本環境化学会）**		
	Vol. 4#2-4 (1994)	各号	¥2,750
	Vol. 5#1,3,4 (1995)	各号	¥2,750
	Vol. 6#1-4 (1996)	各号	¥2,750
	Vol. 7#1 (1997)		¥2,750
	Vol. 8#2 (1998)	各号	¥2,750
	Vol. 9-16 (1999-2006) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 17#4 (2007)		¥2,750
	Vol. 18#1-4 (2008)	各号	¥2,750
350	**環境科学会誌 Environmental Science**		
	Vol. 1#1-2 (1988)	各号	¥3,300
	Vol. 2-12 (1989-1999) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 13#1-5 (2000)	各号	¥3,300
	Vol. 14#1-6 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 15#-3,5,6 (2002)	各号	¥3,300
	Vol. 16#1-6 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 18-20 (2003-2007) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 21#1,3-6 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 22#3-6 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 23#1-4 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 24#1-4,6 (2011)	各号	¥3,300

351	**環境管理 Environmental Management (産業環境管理協会)**		
	Vol. 36#1-7,9-12 (2000)	各号	¥1,100
	Vol. 39#8-12 (2003)	各号	¥1,100
	Vol. 40-43 (2004-2007) 各1-12号	各号	¥1,100
	Vol. 44#1,3-12 (2008)	各号	¥1,100
	Vol. 45#1-12 (2009)	各号	¥1,100
	Vol. 46#1-5 (2010)	各号	¥1,100
352	**環境感染 (日本環境感染学会)**		
	Vol. 8#1-2 (1993)	各号	¥2,750
	Vol. 9#1-3 (1994)	各号	¥2,750
	Vol. 10-12 (1995-1997) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 13#1,4 (1998)	各号	¥2,750
	Vol. 14-16 (1999-2001) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 15#Supplement (2000)		¥2,750
	Vol. 17#2,3,4 (2002)	各号	¥2,750
	Vol. 18-22 (2003-2007) 各1-4号	各号	¥2,750
353	**環境経済・政策学会年報 (環境経済・政策学会)**		
	No. 6-7 (2001-2002)	各号	¥2,750
	No. 9 (2004)		¥2,750
	No. 11 (2006)		¥3,300
354	**環境教育 Environmental Education**		
	Vol. 10-13 (2000/2001-2003/2004) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 14-15 (2004/2005-2005/2006) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 16#1,2 (2006/2007)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-3 (2007/2008)	各号	¥2,200
355	**環境施設 (公共投資ジャーナル社)**		
	No. 95-113 (2004-2008)	各号	¥2,420
356	**環境システム研究 (土木学会環境システム委員会)**		
	Vol. 24-28 (1996-2000)	各号	¥6,600
357	**関西大学哲学 (関西大学哲学会)**		
	No. 12-14,16-19,21-26,28,29 (1986-2011)	各号	¥3,300
358	**感染症学雑誌 (日本感染症学会)**		
	Vol. 74#1-12,増刊3月 (2000)	各号	¥1,572
	Vol. 75#1-12,増刊2月 (2001)	各号	¥1,572
	Vol. 76#1-12,増刊3月 (2002)	各号	¥1,572
	Vol. 77#1-12 (2003)	各号	¥1,572
	Vol. 78#2-12,増刊3月 (2004)	各号	¥1,572
	Vol. 79#1-12,増刊3月 (2005)	各号	¥1,572
	Vol. 80-82 (2006-2008) 各1-6号	各号	¥2,619
	Vol. 82#臨時増刊号 (2008)		¥2,619
	Vol. 84-85 (2010-2011) 各1-6,臨時増刊号	各号	¥2,619
359	**感染対策ICTジャーナル (ヴァンメディカル)**		
	Vol. 3-5 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥2,200
360	**関節外科 Journal of Joint Surgery (メジカルビュー社)**		
	Vol. 23#9-12 (2004)		¥2,420
	Vol. 23#10月増刊 (2004)		¥5,500
	Vol. 24#1-12 (2005)	各号	¥2,420
	Vol. 24#4月増刊 (2005)		¥5,500
361	**関節鏡 (日本関節鏡学会)**		
	Vol. 30#1-3; 31#1-3; 32#1,2; 33#1,2 (2005-2008)	各号	¥5,500
	第25回関節鏡セミナー (2007)		¥5,500

362	**関節の外科 Surgery of Joints (リウマチの外科研究会)**		
	Vol. 18#2-4 (1991)	各号	¥1,650
	Vol. 19#1,2 (1992)	各号	¥1,650
	Vol. 21#2-4 (1994)	各号	¥1,650
	Vol. 22#1 (1995)		¥1,650
	Vol. 25-26 (1998-1999) 各1-4号	各号	¥1,650
	Vol. 27#1,3,4 (2000)	各号	¥1,650
	Vol. 28-29 (2001-2002) 各1-4号	各号	¥1,650
	Vol. 30#1,3,4 (2003)	各号	¥1,650
	Vol. 31-32 (2004-2005) 各1-4号	各号	¥1,650
	Vol. 35#2,4 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 36#1-4 (2009)	各号	¥1,650
	Vol. 37#1,4 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 39#2,3,4 (2012)	各号	¥1,650
	Vol. 40#1,2,3 (2013)z	各号	¥1,650
	Vol. 41#4 (2014)		¥1,650
	Vol. 42#2 (2015)		¥1,650
	Vol. 43#2 (2016)		¥1,650
363	**肝胆膵 (アークメディア)**		
	Vol. 48-62 (2004-2011) 各1-6号	各号	¥3,080
	Vol. 48-62 (2004-2011) 特大6号	各号	¥6,915

364 肝胆膵画像（医学書院）

※Vol.1-9 (1999-2007)→消化器画像

Vol. 10#1 (2008) 肝脂肪沈着の病態と画像		¥3,850
Vol. 10#2 (2008) MDCTは膵・胆道癌の診断にどこまで迫れるか		¥3,850
Vol. 10#3 (2008) Interventional US CD-ROM(動画)付		¥4,400
Vol. 10#4 (2008) 胆嚢腺筋腫症の画像を見直す-癌との鑑別を中心に		¥3,850
Vol. 10#5 (2008) いま、胆道鏡検査 PTCS・POCSを見直す		¥3,850
Vol. 10#6 (2008) 早期膵癌-Stage I へのアプローチ		¥3,850
Vol. 11#1 (2009) CTHA/CTAPの今日的意義を考える		¥3,850
Vol. 11#2 (2009) 肝胆膵のIntervention ｴｷｽﾊﾟｰﾄからのﾒｯｾｰｼﾞ CD-RO		¥4,400
Vol. 11#3 (2009) 肛門部胆管癌に対する術前ドレナージ		¥3,850
Vol. 11#4 (2009) SPNのすべて-典型例から非典型例まで		¥3,850
Vol. 11#5 (2009) 肝細胞胆道系MRI造影剤のインパクト		¥3,850
Vol. 11#6 (2009) 自己免疫性膵炎の最前線		¥3,850
Vol. 12#1 (2010) 肝移植の画像診断		¥3,850
Vol. 12#2 (2010) 肝胆膵の悪性腫瘍の早期診断をめざして―ハイリスク		¥3,850
Vol. 12#3 (2010) 胆管狭窄に迫る―悪性との鑑別が問題となる良性胆管		¥3,850
Vol. 12#4 (2010) 肝胆膵の転移性腫瘍		¥3,850
Vol. 12#5 (2010) 肝胆膵の転移性腫瘍		¥3,850
Vol. 12#6 (2010) 膵の漿液性嚢胞腫瘍(SCN)と粘液性嚢胞腫瘍(MCN)―		¥3,850
Vol. 13#1 (2011) 肝画像診断―US・CT・MRIのNext Stage		¥4,180
Vol. 13#2 (2011) 肝門部胆管癌の進展度と手術術式		¥4,180
Vol. 13#3 (2011) 経過を追えた小膵癌―この所見に気をつけろ！		¥4,180
Vol. 13#4 (2011) 増刊号 肝区域と画像診断update		¥4,730
Vol. 13#5 (2011) 膵・胆管合流異常と胆嚢病変		¥4,180
Vol. 13#6 (2011) 肝細胞癌の化学療法-分子標的治療の進歩と効果判		¥4,180
Vol. 13#7 (2011) 膵炎-診断と治療の最前線		¥4,180
Vol. 14#1 (2012) 進行胆嚢癌の診断と治療		¥4,290
Vol. 14#2 (2012) 膵画像診断の最新動向		¥4,290
Vol. 14#3 (2012) 肝癌－治療計画・支援のための画像診断		¥4,290
Vol. 14#4 (2012) 増刊号 早期肝細胞癌の画像診断update		¥4,730
Vol. 14#5 (2012) 肝細胞癌と鑑別を要する多血性腫瘤		¥4,290
Vol. 14#6 (2012) 十二指腸主乳頭と副乳頭の病態に迫る		¥4,290
Vol. 14#7 (2012) 肝胆膵疾患に挑む―次世代へのメッセージ		¥4,290

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

365 関東近世史研究（関東近世史研究会）

No. 59 (2005); 60 (2006); 62,63 (2007); 64,65 (2008)	各号	¥2,200
No. 66,67 (2009); 68,69 (2010); 70 (2011)	各号	¥2,200

366 関東整形災害外科学会雑誌（関東整形災害外科学会）

Vol. 22-34 (1991-2003) 各1-6号,増刊号外	各号	¥2,200
Vol. 35-37 (2004-2009) 各1-6,臨時増刊号	各号	¥2,200
Vol. 38#1-6,臨時増刊号外3月 (2007)	各号	¥2,200
Vol. 39#1-6,臨時増刊号外2月 (2008)	各号	¥2,200
Vol. 40-41 (2009-2010) 各1-6号,臨時増刊号外3月	各号	¥2,200
Vol. 42#1-6,臨時増刊号外9月 (2011)	各号	¥2,200
Vol. 43#1-6 (2012)	各号	¥2,750
Vol. 44#1-6,臨時増刊号外 (2013)	各号	¥2,750
Vol. 45#1-6,臨時増刊号外 (2014)	各号	¥2,750
Vol. 46#1 (2015)		¥2,750
Vol. 47#3-5 (2016)	各号	¥2,750

367	**緩和ケア（青梅社）**		
	Vol. 15#1-4,6 (2005)	各号	¥1,650
	Vol. 15#5 (2005)		¥3,300
	Vol. 16#1-6 (2006)	各号	¥1,650
	Vol. 16#増刊号 (2006)		¥3,300
	Vol. 17#1-6 (2007)	各号	¥1,650
	Vol. 18#1-6 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 18#増刊号 (2008)		¥3,300
	Vol. 19#1-6 (2009)	各号	¥1,650
	Vol. 19#増刊号 (2009)		¥3,300
	Vol. 20#1-6 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 20#増刊号 (2010)		¥3,300
	Vol. 21#1-6 (2011)	各号	¥1,650
	Vol. 21#増刊号 (2011)		¥3,300
	Vol. 22#1-6 (2012)	各号	¥1,650
	Vol. 22#増刊号 (2012)		¥3,300
368	**緩和医療学 : Japanese Journal of Palliative Medicine（先端医学社）**		
	Vol. 3#1,2,4 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 4#3 (2002)		¥2,200
	Vol. 5#1,3,4 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 6#1,3,4 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1,4 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 8-9 (2006-2007) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 10#1-3 (2008)	各号	¥2,200
369	**からだの科学 Popular Medicine（日本評論社）**		
	No. 1-155 (1965-1990)	各号	¥1,175
	No. 156-185 (1990-1995)	各号	¥1,175
	No. 186-191 (1996-1996)	各号	¥1,175
	No. 192-203 (1997-1998)	各号	¥1,320
	No. 205-216,218 (1999-2001)	各号	¥1,320
	No. 229,231,232 (2003)	各号	¥1,309
	No. 234,239 (2004)	各号	¥1,466
	No. 237 (2004)		¥1,415
	No. 240 (2004)		¥1,309
	No. 241 (2005)		¥1,466
	No. 242 (2005)		¥1,415
	No. 243,245 (2005)	各号	¥1,309
	No. 245 (2005)		¥1,309
	No. 246-248(2006)	各号	¥1,309
	No. 249 (2006)		¥1,466
	No. 250 (2006)		¥1,676
	No. 251-252 (2006-2007)	各号	¥1,885
	No. 253 (2007)		¥2,305
	No. 254 (2007)		¥1,885
	No. 256,258,259 (2008-2009)		¥1,885
	No. 257 (2008)		¥2,305
	No. 260-263 (2009)	各号	¥2,200

370	**からだの科学 臨時増刊（日本評論社）**		
	戦後医療の30年 (1975), 難病の事典 (1977), 東洋の医学 (1978)	各号	¥2,096
	ライフサイエンス入門 (1979), 現代の性 (1981)	各号	¥2,096
	学童の保健 (1980), からだの事典 (1982), 成人病の事典 (1983)	各号	¥2,096
	プライマリ・ケア (1983), 現代の生と死 (1984), 医療とコンピューター (198	各号	¥2,096
	交通と人間 (1986), 新版難病の事典 (1986), 新版東洋の医学 (1987)	各号	¥2,096
	エイズ戦略,患者学ガイダンス (1989), がんの事典 (1990)	各号	¥2,096
	環境保健入門 (1990), 看護とリハビリテーション (1992)	各号	¥2,096
	医療改革 (1997), 事例から学ぶ医療事故防止 (2000)	各号	¥1,676
	介護保険NOW (2000)		¥1,572
	小児科医が変わる (2002)		¥1,885
371	**からだの科学 増刊 Popular Medicine（日本評論社）**		
	Year 1974-1982 (1974-1982)	各号	¥2,096
	Year 1983 保育学,新栄養学 (1983)	各号	¥2,096
	Year 1984 分子生物学,新生理学 (1984)	各号	¥2,096
	特別増刊 精神医学入門シリーズ No.1-3 (1984)	各号	¥2,096
	Year 1985 周産期医学,新育児学 (1985)	各号	¥2,096
	Year 1986 老年学 (1986)		¥2,096
	Year 1987 スポーツ医学,新薬学 (1987)	各号	¥2,096
	Year 1988 ウイルス学,新病態生理学 (1988)	各号	¥2,096
	Year 1989 中毒医学,新医療心理学 (1989)	各号	¥2,096
	Year 1990 遺伝医学,新臨床検査 (1990)	各号	¥2,096
	Year 1991 新免疫学 (1991)		¥2,096
	Year 1992 心臓病,肝臓病,糖尿病,アルツハイマー病 (1992)	各号	¥2,350
	Year 1993 高血圧 (1993)		¥2,136
	Year 1993 腎臓病,リウマチ・膠原病 (1993)	各号	¥2,350
	Year 1994 脳卒中 (1994)		¥2,136
	Year 1994 女性の病気 (1994)		¥2,096
	Year 1994 エイズ (1994)		¥2,350
	Year 1995 スポーツ療法の新知識,漢方医学の新知識,栄養療法の新知	各号	¥2,096
	Year 1998 人間ドックの新知識 (1998)		¥2,096
	Year 2001 糖尿病2001 (2001)		¥2,619
372	**軽石学雑誌（万国軽石学会）**		
	No. 11,14,18 (2004-2010)	各号	¥3,300
373	**家庭医療 The Japanese Journal of Family Practice（家庭医療学研究会）**		
	Vol. 3#1,2 (1995)	各号	¥2,200
	Vol. 4-8 (1996-2001) 各1号	各号	¥2,200
	Vol. 6#supplement (1999)		¥2,200
	Vol. 10#2 (2003)		¥2,200
	Vol. 11#1 (2004)		¥2,200
	Vol. 15#1,2 (2009)	各号	¥2,200
374	**活断層研究（活断層研究会）**		
	No. 1 (1986); 4 (1987); 5 (1988); 7-10 (1989-1992); 13 (1995)	各号	¥2,200

375	**家族看護学研究（日本家族看護学会）**		
	Vol. 1#1 (1995)		¥2,750
	Vol. 2#1 (1996)		¥2,750
	Vol. 3#1 (1997)		¥2,750
	Vol. 4-5 (1998-2000) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 6#2 (2001)		¥2,750
	Vol. 7#1-2 (2001/2002)	各号	¥2,750
	Vol. 8#2 (2002)		¥2,750
	Vol. 9#1,3 (2003)	各号	¥2,750
	Vol. 10#1,3 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 11#1-3 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 12#1,2 (2006)	各号	¥2,750
376	**家族療法研究（日本家族研究・家族療法学会）（金剛出版）**		
	Vol. 3#1 (1986)		¥2,200
	Vol. 4-10 (1987-1993) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 11-33 (1994-2016) 各1-3号	各号	¥2,200
	別冊 家族療法を築いた人々 (2003)		¥2,200
377	**家族社会学研究（日本家族社会学会）**		
	Vol. 1-8 (1989-1996) 各1号	各号	¥2,409
	Vol. 10#1-2 (1998)	各号	¥2,409
	Vol. 11#1 (1999)		¥2,409
	Vol. 12-19 (2000/2001-2007) 各1-2号	各号	¥2,409
	Vol. 20#1 (2008)		¥2,409
378	**家族心理学研究（日本家族心理学会）**		
	Vol. 6#2,特別号 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 7-26 (1993-2012) 各1-2号	各号	¥2,200
379	**家族研究年報（家族問題研究会）**		
	No. 19,23-32,34-36,38 (1994-2013)	各号	¥2,750
380	**京浜歴科研年報（京浜歴史科学研究会）**		
	No. 19 (2007); 20 (2008); 21 (2009); 22 (2010); 23 (2011)	各号	¥1,320
381	**景観生態学 旧国際景観生態学会日本支部会報**		
	Vol. 9#1,2 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 10#1,2 (2005/06)	各号	¥3,300
	Vol. 11#1,2 (2006/07)	各号	¥3,300
	Vol. 12#1,2 (2007/08)	各号	¥3,300
	Vol. 13#1/2 (2009)		¥6,600
	Vol. 14#1,2 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 15#1,2 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 16#1,2 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 17#1,2 (2012)	各号	¥3,300
382	**軽金属学会春期大会講演概要（軽金属学会）**		
	第88回-第93回 (1995-1997)	各冊	¥11,000

383	**計量生物学. Japanese Journal of Biometrics (日本計量生物学会)**		
	Vol. 16#1/2; 17#supplement; 18#1/2; 19#1/2,special issue (1995-1998)	各冊	¥2,200
	Vol. 20#1,2 (1999/2000)	各号	¥2,200
	Vol. 21#1,2,特集号 (2000/2001)	各号	¥2,200
	Vol. 22#1/2 (2001)		¥2,200
	Vol. 23#2 (2003)		¥2,200
	Vol. 24#2,特別号 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 25#1,2 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 26#1,2 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 27#1,2,特別号 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 28#1,2,特別号1 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 29#1,特別号1 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 31#1 (2010)		¥2,200
384	**計算機統計学 (日本計算機統計学会)**		
	Vol. 8#1,2 (1995)		¥2,750
	Vol. 9-12 (1996-1999) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 13-19 (2000-2005) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 20#1/2 (2007)		¥2,750
	Vol. 21#1/2 (2008)		¥2,750
	Vol. 22-23 (2009-2010) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 24#1 (2011)		¥2,750
385	**形成外科 (克誠堂出版)**		
	Vol. 1-5 (1958-1962) 各1-4号	各号	¥2,530
	Vol. 7-12 (1964-1969)	各号	¥2,530
	Vol. 13-15 (1970-1972) 各1-6号	各号	¥2,530
	Vol. 17#11-6 (1974)	各号	¥2,530
	Vol. 18#1-7 (1975)	各号	¥2,530
	Vol. 19-25 (1976-1982) 各1-6号	各号	¥2,530
	Vol. 26-30 (1983-1987) 各1-7号	各号	¥2,530
	Vol. 31-34 (1988-1991) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 35#1-13 (1992)	各号	¥2,530
	Vol. 36-39 (1993-1996) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 37#増刊号 (1994); 39#増刊号 (1996)	各号	¥5,874
	Vol. 38#増刊号 (1995)		¥4,806
	Vol. 40#1-6,8-12 (1997)	各号	¥2,530
	Vol. 41#1-3,5-12 (1998)	各号	¥2,530
	Vol. 42#1-10,12,Supplement (1999)	各号	¥2,530
	Vol. 43#1-3,5-12 (2000)	各号	¥2,530
386	**経済地理学年報 (経済地理学会)**		
	Vol. 20#2 (1974); 21#2 (1975); 22#1 (1976); 24#1 (1978); 25#4(1979); 26#1,3 (1980); 27#1 (1981); 29#2,4 (1983); 30#4 (1984); 31#2 (1985); 34#2 (1988); 36#1 (1990) 39#2,4 (1993); 41#3 (1995); 42#1,3 (1996); 43#4 (1997); 44#1,3 (1998); 45#2,3,4 (1999); 46#2,3 (2000); 47#1-3 (2001)	各号	¥2,750
	Vol. 50#1-4 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 51#1-5 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 52#1-4 (2006)	各号	¥2,750
	Vol. 53#1-5 (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 54-56 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥2,750
387	**結核 (日本結核病学会)**		
	Vol. 86#1-12 (2011)	各号	¥1,309
388	**建築文化 (彰国社)**		
	Vol. 18#195-Vol. 59#674 (1963-2004)	各号	¥3,300

389	**建築雑誌（建築学会）**		
	Vol. 120#1-12 (2005)	各号	¥1,430
	Vol. 121#1-7,12 (2006)	各号	¥1,430
	Vol. 122-123 (2007-2008) 各1-12号	各号	¥1,430
	Vol. 124#1,3-8,10-12 (2009)		¥1,430
	Vol. 125#3,5,6,10 (2010)		¥1,430
	Vol. 126#1-5,7-12 (2011)		¥1,430
	Vol. 127#1-12 (2012)		¥1,430
390	**健康文化（明治生命厚生事業団）**		
	No. 1-6 (1995-2000)	各号	¥2,200
391	**健康医科学（明治生命厚生事業団）**		
	No. 12-15,17,25 (1997-2010)	各号	¥3,300
392	**健康心理学研究（日本健康心理学会）**		
	Vol. 16-17,19-21,23-24 (2003-2011) 各1-2号	各号	¥3,300

393 検査と技術（医学書院）

	Vol. 12#1-12 (1984)	各号	¥1,265
	Vol. 13#1-12 (1985)	各号	¥1,265
	Vol. 14#1-13 (1986)	各号	¥1,265
	Vol. 17#6 (1989) 増刊号 感染症の検査法		¥3,300
品切	Vol. 18#6 (1990) 増刊号 血液・尿以外の体液検査法		¥3,300
	Vol. 19#1-2,4-6,8-13 (1991)	各号	¥1,265
	Vol. 20#1-2,4-5,7-13 (1992)	各号	¥1,265
品切	Vol. 20#6 (1992) 増刊号 尿検査法		¥5,060
	Vol. 21#1,2,4,6-13 (1993)	各号	¥1,265
	Vol. 22#1,2,4,6-13 (1994)	各号	¥1,265
品切	Vol. 22#5 (1994) 増刊号 免疫検査実践マニュアル		¥5,060
	Vol. 23#1,2,4,7-13 (1995)	各号	¥1,265
品切	Vol. 23#3 (1995) 二級臨床病理技術士資格認定試験		¥1,265
	Vol. 23#5 (1995) 増刊号 臨床生理検査実践マニュアル		¥5,060
	Vol. 23#6 (1995) 第41回臨床検査技師国家試験問題		¥1,265
	Vol. 24#1 (1996) 病気のはなし・出血熱		¥1,265
	Vol. 24#2 (1996) 病気のはなし・肥大型心筋症		¥1,265
	Vol. 24#3 (1996) 異常ヘモグロビン 二級臨床病理技術士資格認定..		¥1,265
	Vol. 24#4 (1996) 病気のはなし・脳腫瘍		¥1,265
	Vol. 24#5 (1996) 病気のはなし・前立腺癌		¥1,265
	Vol. 24#6 (1996) 第42回臨床検査技師国家試験問題		¥1,265
	Vol. 24#7 (1996) 増刊号 感染症検査実践マニュアル		¥5,060
	Vol. 24#8 (1996) 病気のはなし・悪性リンパ腫		¥1,265
	Vol. 24#9 (1996) 病気のはなし・痛風		¥1,265
	Vol. 24#10 (1996) 病気のはなし・習慣流産と免疫		¥1,265
	Vol. 24#11 (1996) 病気のはなし・食中毒		¥1,265
	Vol. 24#12 (1996) 病気のはなし・ヘルペス		¥1,265
	Vol. 24#13 (1996) 病気のはなし・肺アスペルギルス症		¥1,265
	Vol. 25#1 (1997) RS ウィルス呼吸器感染症		¥1,155
	Vol. 25#2 (1997) アトピー性皮膚炎		¥1,155
	Vol. 25#3 (1997) 筋ジストロフィ 二級臨床病理技術士資格認定..		¥1,155
	Vol. 25#4 (1997) 出血性大腸菌感染症		¥1,155
	Vol. 25#5 (1997) めまい		¥1,155
	Vol. 25#6 (1997) 第43回臨床検査技師国家試験問題		¥1,155
品切	Vol. 25#7 (1997) 増刊号 輸血検査実践マニュアル		¥3,850
	Vol. 25#8 (1997) 骨髄異形成症候群		¥1,155
	Vol. 25#9 (1997) ファロー四徴症		¥1,155
	Vol. 25#10 (1997) IgA腎症		¥1,155
	Vol. 25#11 (1997) 肺癌		¥1,155
	Vol. 25#12 (1997) 敗血症		¥1,155
	Vol. 25#13 (1997) 成人T細胞白血病(ATL)		¥1,155
	Vol. 26#1 (1998) 肝細胞癌		¥1,155
	Vol. 26#2 (1998) 更年期障害		¥1,155
品切	Vol. 26#3 (1998) BOOP 二級臨床病理技術士資格認定試験		¥1,155
	Vol. 26#4 (1998) 原発性胆汁性肝硬変(PBC)		¥1,155
	Vol. 26#5 (1998) 溶血性尿毒症症候群		¥1,155
	Vol. 26#6 (1998) 第44回臨床検査技師国家試験問題		¥1,155
品切	Vol. 26#7 (1998) 増刊号 病理組織・細胞診実践マニュアル		¥4,400
	Vol. 26#8 (1998) ヘリコバクター感染症		¥1,155
	Vol. 26#9 (1998) 心不全		¥1,155
	Vol. 26#10 (1998) 自己免疫性肝炎		¥1,155
	Vol. 26#11 (1998) 急性肺血栓塞栓症		¥1,155
	Vol. 26#12 (1998) 先天性血栓傾向		¥1,155
	Vol. 26#13 (1998) 家族性高コレステロール血症		¥1,155
	Vol. 27#1 (1999) 川崎病		¥1,210

	Vol. 27#2 (1999) 筋萎縮性側索硬化症		¥1,210
	Vol. 27#3 (1999) 血友病 二級臨床病理技術士資格認定試験		¥1,210
	Vol. 27#4 (1999) ウイルス性髄膜炎		¥1,210
	Vol. 27#5 (1999) クッシング症候群		¥1,210
	Vol. 27#6 (1999) 全身性強皮症		¥1,210
品切	Vol. 27#7 (1999) 増刊号　緊急検査実践マニュアル		¥5,500
	Vol. 27#8 (1999) 多発性硬化症		¥1,210
	Vol. 27#9 (1999) 遺伝性黄疸		¥1,210
	Vol. 27#10 (1999) 手足口病		¥1,210
	Vol. 27#11 (1999) MGUS		¥1,210
	Vol. 27#12 (1999) 老人の貧血		¥1,210
	Vol. 27#13 (1999) インフルエンザ		¥1,210
	Vol. 28#1 (2000) 家族性アミロイドーシス		¥1,210
品切	Vol. 28#2 (2000) クリプトスポリジウム症(二級臨床病理技術士・・問題と回		¥1,210
	Vol. 28#3 (2000) 原発性硬化性胆肝炎		¥1,210
	Vol. 28#4 (2000) 結核		¥1,210
	Vol. 28#5 (2000) 潰瘍性大腸炎		¥1,210
	Vol. 28#6 (2000) 突発性血小板減少性紫斑病		¥1,210
	Vol. 28#7 (2000) 増刊号　血液検査実践マニュアル		¥5,500
	Vol. 28#8 (2000) ヘモクロマトーシス		¥1,210
	Vol. 28#9 (2000) IgA腎症		¥1,210
	Vol. 28#10 (2000) ヒトパピローマウイルス感染症		¥1,210
	Vol. 28#11 (2000) ANCA関連血管炎		¥1,210
	Vol. 28#12 (2000) 高脂血症-血漿リポ蛋白質代謝から		¥1,210
	Vol. 28#13 (2000) 市中肺炎		¥1,210
	Vol. 29#1 (2001) 全身性炎症反応症候群(SIRS)		¥1,210
品切	Vol. 29#2 (2001) 赤白血病（二級臨床病理技術士・・問題と回答）		¥1,210
	Vol. 29#3 (2001) 麻疹(はしか)		¥1,210
	Vol. 29#4 (2001) 骨髄線維症		¥1,210
	Vol. 29#5 (2001) 急性冠症候群（第47回臨床検査・・回答速報）		¥1,210
	Vol. 29#6 (2001) 巨赤芽球性貧血（第47回臨床・・回答と解説）		¥1,210
	Vol. 29#7 (2001) 増刊号 病理組織・細胞診のための日常染色法ガイダ		¥5,500
	Vol. 29#8 (2001) 間質性肺炎		¥1,210
	Vol. 29#9 (2001) 劇症肝炎		¥1,210
	Vol. 29#10 (2001) グッドパスチャー症候群		¥1,210
	Vol. 29#11 (2001) 下肢深部静脈血栓症		¥1,210
	Vol. 29#12 (2001) 原発性アルドステロン症		¥1,210
	Vol. 29#13 (2001) ビタミンK欠乏症		¥1,210
	Vol. 30#1 (2002) 糞線虫症		¥1,210
	Vol. 30#2 (2002) 急速進行腎炎（二級臨床病理技術士・・・問題と回答）		¥1,210
	Vol. 30#3 (2002) 胆道閉鎖症		¥1,210
	Vol. 30#4 (2002) 糖尿病		¥1,210
	Vol. 30#5 (2002) 脳下垂体腫瘍		¥1,210
	Vol. 30#6 (2002) フォンウィルブランド病		¥1,210
	Vol. 30#7 (2002) 細菌性髄膜炎		¥1,210
	Vol. 30#8 (2002) 甲状腺ペルオキシダーゼ異常によるクレチン症		¥1,210
	Vol. 30#9 (2002) 播種性血管内凝固症候群		¥1,210
	Vol. 30#10 (2002) 増刊号 誰でもわかる遺伝子検査		¥5,060
	Vol. 30#11 (2002) Q熱		¥1,210
	Vol. 30#12 (2002) 梅毒		¥1,210
	Vol. 30#13 (2002) 僧帽弁逸脱症		¥1,210
	Vol. 31#1,3,4,7-9,11,12 (2003)	各号	¥1,210
	Vol. 31#2 (2003) 発生性夜間血色素尿症／平成14年度二級臨床病理		¥1,210
	Vol. 31#5 (2003) クロイツフェルト・ヤコブ病／第49回臨床検査技術国家		¥1,210
	Vol. 31#6 (2003) 第49回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,210
	Vol. 31#10 (2003) 増刊号 包括医療と臨床検査		¥5,060
	Vol. 32#1,3,5,7-9,11-13 (2004)	各号	¥1,265

	Vol. 32#2 (2004) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験 問題と回答		¥1,265
	Vol. 32#4 (2004) 第50回臨床検査技師国家試験・回答速報		¥1,265
	Vol. 32#6 (2004) 第50回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,265
品切	Vol. 32#10 (2004) 増刊号 細胞像の見かた 病理・血液・尿沈渣		¥5,060
	Vol. 33#1,3,5,7-10,12,13 (2005)	各号	¥1,265
	Vol. 33#2 (2005) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験 問題と回答		¥1,265
	Vol. 33#4 (2005) 第51回臨床検査技師国家試験 解答速報		¥1,265
	Vol. 33#6 (2005) 第51回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,265
	Vol. 33#11 (2005) 増刊号 一線診療のための臨床検査		¥5,060
	Vol. 34#1,3,4,7-10,12,13 (2006)	各号	¥1,265
	Vol. 34#2 (2006) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験　問題と回答		¥1,265
	Vol. 34#5 (2006) 第52回臨床検査技師国家試験・解答速報		¥1,265
	Vol. 34#6 (2006) 第52回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,265
	Vol. 34#11 (2006) 増刊号新しい臨床検査・未来の臨床検査		¥5,060
	Vol. 35#1,3,4,10,13 (2007)	各号	¥1,265
	Vol. 35#2 (2007) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験　問題と回答		¥1,265
	Vol. 35#5 (2007) 第53回臨床検査技師国家試験・解答速報		¥1,265
	Vol. 35#6 (2007) 第53回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,265
	Vol. 35#7 (2007) 消化管悪性リンパ腫 赤血球増加症 制度管理図の書き		¥1,265
	Vol. 35#8 (2007) 下垂体腺腫 糖尿病 髄液一般検査法 糖尿病検査の標		¥1,265
	Vol. 35#9 (2007) リヒター症候群 甲状腺機能低下症 管状臓器の断端迅		¥1,265
	Vol. 35#11 (2007) 増刊号 メタボリックシンドローム健診検査技術マニュア		¥5,060
	Vol. 35#12 (2007) 精巣腫瘍(セミノーマ)・ネフローゼ症候群ほか		¥1,265
	Vol. 36#1,3,4,7-9,11-13 (2008)	各号	¥1,320
	Vol. 36#2 (2008) 2007年度二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定		¥1,320
	Vol. 36#5 (2008) 第54回臨床検査技師国家試験・解答速報		¥1,320
	Vol. 36#6 (2008) 第54回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,320
	Vol. 36#10 (2008) 増刊号 これから広がる生理検査・新たにはじまる生理		¥5,060
	Vol. 37#1,3-9,11-13 (2009)	各号	¥1,320
品切	Vol. 37#2 (2009) 2008年度二級臨床検査士・緊急臨床検査士認定試験		¥1,320
	Vol. 37#10 (2009) 増刊号 顕微鏡検査のコツ		¥5,060
	Vol. 38#1 (2010) マクログロブリン血症		¥1,320
	Vol. 38#2 (2010) 2009年二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定試		¥1,320
	Vol. 38#3 (2010) 新型インフルエンザ(A/H1N1)		¥1,320
	Vol. 38#4 (2010) 原発性胆汁性肝硬変		¥1,320
	Vol. 38#5 (2010) 病気のはなし 口腔咽頭梅毒 第56回臨床検査技師国		¥1,320
	Vol. 38#6 (2010) 心不全 第56回臨床検査技師国家試験―解答と解説		¥1,320
	Vol. 38#7 (2010) 日本脳炎と新しい日本脳炎ワクチン		¥1,320
	Vol. 38#8 (2010)		¥1,320
	Vol. 38#9 (2010) CADASIL		¥1,320
	Vol. 38#10 (2010) 増刊号 免疫反応と臨床検査2010		¥5,060
	Vol. 38#12 (2010) Q熱		¥1,320
	Vol. 38#12 (2010) 子宮の肉腫		¥1,320
	Vol. 38#13 (2010) 肺炎球菌性肺炎		¥1,320
	Vol. 39#1 (2011) ハンチントン病		¥1,540
	Vol. 39#2 (2011) 高安病		¥1,540
	Vol. 39#3 (2011) 2010年二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定試		¥1,540
	Vol. 39#4 (2011) 最近のリケッチア症		¥1,540
	Vol. 39#5 (2011)　タンジール病　第57回臨床検査技師国家試験―解答		¥1,540
	Vol. 39#6 (2011)　病気のはなし 輸血関連急性肺障害		¥1,540
	Vol. 39#7 (2011)　アルツハイマー病		¥1,540
	Vol. 39#8 (2011)　子宮内膜癌		¥1,540
	Vol. 39#9 (2011)　マルファン症候群		¥1,540
品切	Vol. 39#10 (2011) 増刊号 緊急報告すべき検査結果のすべて		¥5,060
	Vol. 39#11 (2011) 子宮頸部腺癌		¥1,540
	Vol. 39#12 (2011) 皮膚の悪性リンパ腫		¥1,540
	Vol. 39#13 (2011) 解離性大動脈瘤		¥1,540

	Vol. 40#1 (2012) ギラン・バレー症候群	¥1,650
	Vol. 40#2 (2012) 慢性膵炎	¥1,650
	Vol. 40#3 (2012) 化膿性脊椎炎	¥1,650
	Vol. 40#4 (2012) 2011年二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定試	¥1,650
	Vol. 40#5 (2012) 急性虫垂炎	¥1,650
	Vol. 40#6 (2012) 狭心症・心筋梗塞／第58回臨床検査技師国家試験－	¥1,650
	Vol. 40#7 (2012) 子宮内膜症	¥1,650
品切	Vol. 40#8 (2012) 血管炎	¥1,650
	Vol. 40#9 (2012) 川崎病	¥1,650
	Vol. 40#10 (2012) 増刊号 この検査データを読めますか? 検査値から病	¥5,060
	Vol. 40#11 (2012) 大腸癌の発生と遺伝子異常	¥1,650
	Vol. 40#12 (2012) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	¥1,650
	Vol. 40#13 (2012) 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	¥1,650
	Vol. 41#1 (2013) POEMS症候群	¥1,650
	Vol. 41#2 (2013) 風疹	¥1,650
	Vol. 41#3 (2013) 先天性心疾患－大血管転位	¥1,650
	Vol. 41#4 (2013) 関節リウマチ／平成24年(2012年)二級臨床検査士・緊	¥1,650
	Vol. 41#5 (2013) 播種性血管内凝固症候群（DIC）／第59回臨床検査技	¥1,650
	Vol. 41#6 (2013) 筋ジストロフィー／第59回臨床検査技師国家試験問題	¥1,650
	Vol. 41#7 (2013) Gastrointestinal stromal tumor（GIST）	¥1,650
	Vol. 41#8 (2013) 甲状腺髄様癌	¥1,650
	Vol. 41#9 (2013) ファブリ病	¥1,650
	Vol. 41#10 (2013) 増刊号 解剖と正常像がわかる！　エコーの撮り方完	¥5,060
	Vol. 41#11 (2013) 骨肉腫	¥1,650
	Vol. 41#12 (2013) 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)	¥1,650
	Vol. 41#13 (2013) 尿路結石	¥1,650
	Vol. 42#1 (2014) ノロウイルス胃腸炎	¥1,650
	Vol. 42#2 (2014) 先天性血小板機能異常症―ベルナール・スーリエ症候	¥1,650
	Vol. 42#3 (2014) てんかん	¥1,650
	Vol. 42#4 (2014) シェーグレン症候群／平成25年(2013年)二級臨床検査	¥1,650
	Vol. 42#5 (2014)	¥1,650
	Vol. 42#6 (2014) 小児の腎疾患/第60回臨床検査技師国家試験問題―	¥1,650
	Vol. 42#7 (2014) リンチ症候群（遺伝性非ポリポーシス大腸癌：HNPCC）	¥1,650
	Vol. 42#8 (2014) 熱中症	¥1,650
	Vol. 42#9 (2014) 水痘・帯状疱疹ウイルス感染症	¥1,650
	Vol. 42#11 (2014) 病気のはなし ハイド症候群	¥1,650
	Vol. 42#12 (2014) 多発性キャッスルマン病	¥1,650
	Vol. 42#13 (2014) 成人T細胞白血病（ATL）	¥1,650
	Vol. 43#1 (2015) ヘリコバクター・ピロリ感染症	¥1,650
	Vol. 43#2 (2015) 卵円孔開存（PFO）	¥1,650
	Vol. 43#3 (2015) 人工関節感染症	¥1,650
	Vol. 43#4 (2015) 肝癌・肝細胞癌	¥1,650
	Vol. 43#5 (2015) 多発性骨髄腫	¥1,650
	Vol. 43#6 (2015) 卵巣腫瘍／第61回臨床検査技師国家試験―解答と解	¥1,650
	Vol. 43#7 (2015) デング熱	¥1,650
	Vol. 43#8 (2015) 鉄欠乏性貧血	¥1,650
	Vol. 43#9 (2015) 慢性閉塞性肺疾患	¥1,650
	Vol. 43#10 (2015) 増刊号　血液形態アトラス	¥5,060
	Vol. 43#11 (2015) 膵臓癌	¥1,650
	Vol. 43#12 (2015) 関節リウマチ	¥1,650
	Vol. 43#13 (2015) 急性糸球体腎炎（A群溶連菌感染後）	¥1,650
	Vol. 44#1 (2016) 糖尿病	¥1,650
	Vol. 44#2 (2016) 前立腺癌	¥1,650
	Vol. 44#3 (2016) 甲状腺機能亢進症・低下症	¥1,650
	Vol. 44#4 (2016) 血友病	¥1,650
	Vol. 44#5 (2016) 気管支喘息	¥1,650
	Vol. 44#6 (2016) 大腸癌	¥1,650

Vol. 44#7 (2016) 急性肝炎（ウイルス性肝炎）	¥1,650
Vol. 44#8 (2016) 慢性腎臓病	¥1,650
Vol. 44#9 (2016) 悪性リンパ腫	¥1,650
Vol. 44#10 (2016) 増刊号 はじめて出会う 検査画像	¥5,060
Vol. 44#11 (2016) 播種性血管内凝固症候群（DIC）	¥1,650
Vol. 44#12 (2016) 膀胱炎	¥1,650
Vol. 44#13 (2016) 白内障	¥1,650
Vol. 45#1 (2017) 肺炎	¥1,650
Vol. 45#2 (2017)「検査と健康展」の全国開催	¥1,650
Vol. 45#3 (2017) 増刊号　一般検査ベーシックマスター	¥5,500
Vol. 45#4 (2017) 肺結核	¥1,650
Vol. 45#5 (2017) 認知症	¥1,650
Vol. 45#6 (2017) 第63回臨床検査技師国家試験　解答と解説	
Vol. 45#7 (2017) Clostridium botulinumを知る	¥1,650
Vol. 45#8 (2017) 炎症性腸疾患	¥1,650
Vol. 45#9 (2017) 増刊号 メディカルスタッフのための心電図教室	¥5,500
Vol. 45#10 (2017) 内視鏡的に病理組織診断をするという時代へ	¥1,650
Vol. 45#11 (2017) 疾患と検査値の推移 前立腺癌	¥1,650
Vol. 45#12 (2017) 慢性骨髄性白血病	¥1,650
Vol. 46#1 (2018) 研究のすゝめ　専門性を活かした現場研究への展開	¥1,650
Vol. 46#2 (2018) 病気のはなし　細菌性髄膜炎	¥1,650
Vol. 46#3 (2018) 増刊号 感染症クイックリファレンス	¥5,500
Vol. 46#4 (2018) 研究のすゝめ 臨床現場から教育現場へ	¥1,650
Vol. 46#5 (2018) 病気のはなし 胃癌	¥1,650
Vol. 46#6 (2018) 第64回臨床検査技師国家試験 解答と解説	¥1,650
Vol. 46#7 (2018) Staphylococcus pseudintermediusを見逃さないために	¥1,650
Vol. 46#8 (2018) 臨床検査技師による検体採取	¥1,650
Vol. 46#9 (2019) 増刊号　現場で“パッ”と使える　免疫染色クイックガイド	¥5,500
Vol. 46#10 (2018) 新たな検体採取等業務に必要とされる医療安全管理	¥1,650
Vol. 46#11 (2018) 臨床検査技師そして臨床エンブリオロジストとして	¥1,650
Vol. 46#12 (2018) 疾患と検査値の推移 全身性エリテマトーデス	¥1,650
Vol. 47#1 (2019年1月) ヒトパピローマウイルス感染の実態	¥1,650
Vol. 47#2 (2019年2月) コンパニオン診断としての肺癌遺伝子検査	¥1,650
Vol. 47#3 (2019年3月・増刊号) エキスパートが教える　心・血管エコー計	¥5,500
Vol. 47#4 (2019年4月) トピックス 医療法・臨床検査技師等に関する法律	¥1,650
Vol. 47#5 (2019年5月) 病気のはなし 睡眠時無呼吸症候群	¥1,650
Vol. 47#6 (2019年6月) 第65回臨床検査技師国家試験－解答と解説	¥1,650
Vol. 47#7 (2019年7月) 病気のはなし　うつ病、双極性障害	¥1,650
Vol. 47#8 (2019年8月) トピックス 3Dオルガノイドが拓く新ゲノム医療時代	¥1,650
Vol. 47#9 (2019年9月・増刊号) 染色画像を比べて学ぶ　体腔液アトラス	¥5,500
Vol. 47#10 (2019年10月) 病気のはなし 慢性膵炎	¥1,650
Vol. 47#11 (2019年11月) フォーカス　心エコー検査で患者を救う　いか	¥1,650
Vol. 47#12 (2019年12月) 技術講座　臨床で求められる嫌気性菌検査	¥1,650
Vol. 48#1 (2020年1月) がんゲノム医療中核拠点病院における臨床検査	¥1,650
Vol. 48#2 (2020年2月) 褐色脂肪による全身の代謝制御	¥1,650
Vol. 48#3 (2020年3月・増刊号) 採血のすべて　手技から採血室の運用	¥5,500
Vol. 48#4 (2020年4月) 病気のはなし　ウイルス発疹症－単純疱疹、水痘	¥1,650
Vol. 48#5 (2020年5月) 疾患と検査値の推移　薬疹	¥1,650
Vol. 48#6 (2020年6月) 第66回臨床検査技師国家試験－解答と解説	¥1,650
Vol. 48#7 (2020年7月) 病気のはなし　脂肪肝	¥1,650
Vol. 48#8 (2020年8月) トピックス　ディスク法による迅速薬剤感受性検査	¥1,650
Vol.48#9 (2020年9月・増刊号) 学会発表・論文執筆はもう怖くない！臨	¥5,500
Vol. 48#10 (2020年10月) 病気のはなし　骨粗鬆症	¥1,650
Vol. 48#11 (2020年11月) 病気のはなし　頭痛	¥1,650
Vol. 48#12 (2020年12月) トピックス　新型コロナウイルス遺伝子検査	¥1,650
Vol. 49#1 (2021年1月) トピックス コリスチン耐性機序と薬剤感受性試験	¥1,650
Vol. 49#2 (2021年2月) トピックス　酸化型アルブミン(HNA)測定法の臨床	¥1,650

	Vol. 49#4 (2021年4月) 病気のはなし 梅毒		¥1,650
	Vol. 49#5 (2021年5月) 病気のはなし 感染性心内膜炎		¥1,650
	Vol. 49#6 (2021年6月) 第67回臨床検査技師国家試験－解答と解説		¥1,650
	Vol. 49#7 (2021年7月) 病気のはなし 悪性中皮腫		¥1,650
	Vol. 49#8 (2021年8月) 技術講座 溶血性貧血の診断と検査		¥1,650
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
394	**血栓と循環（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 17#1 (2009)		¥2,090
	Vol. 19#2,4 (2011)	各号	¥2,090
	Vol. 20#2 (2012)		¥2,090
395	**血圧 Journal of Blood Pressure（先端医学社）**		
	Vol. 12#7,8,9,11,12 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 13#1-6,8-12 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 14#2-12 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 15#1-12 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 16#1,5-12 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-12 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 18#1-8,11,12 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 19#1-5,7,8,11 (2012)	各号	¥2,200
396	**血液フロンティア Hematology Frontier（医薬ジャーナル社）**		
	Vol. 7#1,2,4-12 (1997)	各号	¥2,420
	Vol. 8#1-12 (1998)	各号	¥2,420
	Vol. 11#1-3,9-12 (2001)	各号	¥2,420
	Vol. 12-14 (202002-2004) 各1-12号	各号	¥2,420
	Vol. 14#Supplement1 (2004)		¥2,420
	Vol. 18#1,3,4,9,10,12 (2008)	各号	¥2,420
397	**血液内科 Hematology（科学評論社）**		
	Vol. 62-63 (2011) 各1-6号	各号	¥2,970
398	**血液・腫瘍科 Hematology & Oncology（科学評論社）**		
	Vol. 40#1,2,5,6; 41#2,5,6; 42#1-6 (2000-2001)	各号	¥2,420
	Vol. 43-53 (2001-2006) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 54-61 (2007-2010) 各1-6号	各号	¥2,970
399	**危険と管理（日本リスクマネジメント学会）**		
	No. 34-46 (RM双書第22-34集) (2003-2015)	各号	¥3,300
400	**近畿小児整形外科**		
	Vol. 19-22 (2006-2009)	各巻	¥2,200
401	**近畿東海矯正歯科学会雑誌（近畿東海矯正歯科学会）**		
	Vol. 11-14,16,18-30,32,39-49,51-56 (1976-2021) 各1号	各号	¥3,300
402	**機能的脳神経外科 Functional Neurosurgery（日本定位・機能神経外科学会）**		
	Vol. 28 (1989); 29 (1990); 33-37 (1994-1998)	各号	¥3,300
	Vol. 38#1 (1999)		¥3,300
	Vol. 40#1,2 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 41#2 (2002)		¥3,300
	Vol. 42#1,2 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 43#1,2 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 44#2,第44回プログラム抄録集 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 45#1,2 (2006)	各号	¥3,300
	Vol. 46#2 (2007)		¥3,300
	Vol. 47#1,2 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 48#1,2 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 49#1,2 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 50#1 (2011)		¥3,300

403	**旬刊金融法務事情（金融財政事情研究会）**		
	No. 1272-1286,1288-1296,1298-1308 (1991)	各号	¥1,100
	No. 1309-1318,1320-1341 (1992)	各号	¥1,100
	No. 1342-1374 (1993)	各号	¥1,100
	No. 1375-1406 (1994)	各号	¥1,100
	No. 1407-1438 (1995)	各号	¥1,100
	No. 1439-1470 (1996)	各号	¥1,100
	No. 1471-1502 (1997)	各号	¥1,100
	No. 1503-1534 (1998)	各号	¥1,100
	No. 1535-1566 (1999)	各号	¥1,100
	No. 1567-1598 (2000)	各号	¥1,100
	No. 1599-1630 (2001)	各号	¥1,100
	No. 1631-1662 (2002)	各号	¥1,100
	No. 1663-1694 (2003)	各号	¥1,100
	No. 1695-1726 (2004)	各号	¥1,100
	No. 1727-1758 (2005)	各号	¥1,100
	No. 1759-1784,1786-1790 (2006)	各号	¥1,100
	No. 1791-1800,1802,1803,1805-1822 (2007)	各号	¥1,100
	No. 1823-1836,1838-1854 (2008)	各号	¥1,100
	No. 1855-1879,1881-1886 (2009)	各号	¥1,100
	No. 1887-1894 (2010)	各号	¥1,100
	No. 1895-1897,1902-1912 (2010)	各号	¥1,320
	No. 1913-1915,1918-1929,1931-1936 (2011)	各号	¥1,320
	No. 1937-1960 (2012)	各号	¥1,320
	No. 1961-1976 (2013)	各号	¥1,320
404	**週刊金融財政事情（金融財政事情研究会）**		
	Vol. 41#1-31,33-47 (1990)	各号	¥660
	Vol. 42#1-16,18-30,32-47 (1991)	各号	¥660
	Vol. 43#1-48 (1992)	各号	¥660
	Vol. 44#1-47 (1993)	各号	¥660
	Vol. 45#1-47 (1994)	各号	¥660
	Vol. 46#1-47 (1995)	各号	¥660
	Vol. 47#1-47 (1996)	各号	¥660
	Vol. 48#1-47 (1997)	各号	¥660
	Vol. 49#1-48 (1998)	各号	¥660
	Vol. 50#1-47 (1999)	各号	¥660
	Vol. 51#1-7,9-47 (2000)	各号	¥660
	Vol. 52#1-47 (2001)	各号	¥660
	Vol. 53#1-47 (2002)	各号	¥660
	Vol. 54#1-33,35-48 (2003)	各号	¥660
	Vol. 55#1-48 (2004)	各号	¥660
	Vol. 56#1-47 (2005)	各号	¥660
	Vol. 57#1-47 (2006)	各号	¥660
	Vol. 58#1-47 (2007)	各号	¥660
	Vol. 59#1-47 (2008)	各号	¥660
	Vol. 60#1-48 (2009)	各号	¥660
	Vol. 61#創刊60周年特別号:自由化行政苦闘の軌跡 (2010)		¥660
	Vol. 61#1-47 (2010)	各号	¥660
	Vol. 62#1-47 (2011)	各号	¥660
	Vol. 63#1-47 (2012)	各号	¥660
	Vol. 64#1-36 (2013)	各号	¥660

405	**基礎心理学研究（日本基礎心理学会）**		
	Vol. 1#2 (1982)		¥2,200
	Vol. 2-13 (1983-1995) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 16-17 (1997-1999) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 18-30 (1999-2012) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 31#1 (2012)		¥2,750
	Vol. 32-33 (2013-2015) 各1-2号	各号	¥2,750
406	**Kitakanto Medical Journal 北関東医学（北関東医学会）**		
	Vol. 60#1-4 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 61#1,2,4 (2011)	各号	¥1,650
	Vol. 62#1-4 (2012)	各号	¥1,650
	Vol. 63#1-3 (2013)	各号	¥1,650
407	**高分子（高分子学会）**		
	Vol. 59-61 (2010-2012) 各1-12号	各号	¥2,096
	Vol. 62#1,2 (2013)	各号	¥2,096
	Vol. 42#1-12 (1993)	各号	¥2,096
	Vol. 43#1-11 (1994)	各号	¥2,096
	Vol. 44#1-3,5-7,9-12 (1995)	各号	¥2,096
	Vol. 45#1,3-12 (1996)	各号	¥2,096
	Vol. 46#1-12 (1997)	各号	¥2,096
	Vol. 47#1-6 (1998)	各号	¥2,096
408	**高分子論文集（高分子学会）**		
	Vol. 57#1-12 (2000)	各号	¥4,715
	Vol. 58#1,4-12 (2001)	各号	¥4,715
	Vol. 59-61 (2002-2004) 各1-12号	各号	¥4,715
	Vol. 62#1-9,11 (2005)	各号	¥4,715
409	**鉱物学雑誌（日本鉱物学会）**		
	Vol. 1-19 (1952-1990)　各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 20-28 (1991-1999)　各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 29#1 (2000)		¥2,750
	Vol. 10 supplement 2 (1971)		¥4,400
	Vol. 11 supplement 1-2 (1974)	各号	¥4,400
	Vol. 12 supplement (1976)		¥5,500
	Vol. 13 supplement (1977)		¥5,500
	Vol. 16 supplement 1 (1983)		¥7,700
	All other supplements	各号	¥2,750
410	**甲虫ニュース Coleopterists' News（日本鞘翅学会）**		
	No. 145-155, 157 (2004-2007)	各号	¥550
411	**古代文化（古代学協会）**		
	Vol. 43-57 (1991-2005) 各1-12号	各号	¥1,100
	Vol. 58-66 (2006/2007-2014/2015) 各1-4号	各号	¥2,750
412	**古代学研究（古代学研究会）**		
	Vol. 43#3 (1996)		¥2,750
	Vol. 44-57 (1997/1998-2010/2011) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 58#1 (2011)		¥2,750
413	**光弾性学論文集（日本光弾性学会）**		
	Vol. 1#1/2 (1979)		¥6,600
	Vol. 2#1; 3#1 (1980-1981)	各号	¥3,300
	Vol. 4-21 (1982-2001) 各1/2号	各号	¥6,600

414	**行動分析学研究（日本行動分析学会）**		
	Vol. 1-4 (1986-1989)	各巻	¥2,200
	Vol. 5-10 各1-2号 (1990-1996)	各号	¥2,200
	Vol. 11#1/2 (1997)		¥2,200
	Vol. 12#1/2 (1998)		¥2,200
	Vol. 13-29 各1-2号 (1998-2014/2015)	各号	¥2,200
415	**行動医学研究（日本行動医学会）**		
	Vol. 5#1; 6#1; 7#1,2; 8#1; 9#1; 10#2 (1999-2004)	各号	¥2,200
416	**子ども家庭福祉情報（日本子ども家庭総合研究所）**		
	Vol. 10-16 (1995-2000)	各号	¥2,200
417	**子どもの虐待とネグレクト（日本子ども虐待防止学会）**		
	Vol.1#1-Vol.18#3 (通巻第1号-通巻第48号) (1999-2016)	各号	¥2,200
418	**子ども社会研究（日本子ども社会学会）**		
	No. 12-16 (2006-2010)	各号	¥2,200
419	**行動療法研究（日本行動療法学会）**		
	Vol. 1#1 (1976)		¥2,750
	Vol. 2-4 (1976/1977-1979) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 5#1/2 (1980)		¥2,750
	Vol. 6-12 (1980/1981-1986/1987) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 13#1-2 (1987/1988)	各号	¥2,750
	Vol. 13#H.J.アイゼンク特集号 (1988)		¥2,750
	Vol. 14-33 (1988/1989-2007) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 34-42 (2008-2016) 各1-3号	各号	¥2,750
420	**光学（日本光学会）**		
	Vol. 18-23 (1989-1994) 各1-12号	各号	¥1,572
	Vol. 24#1-6,10-12 (1995)	各号	¥1,572
	Vol. 25-27 (1996-1998) 各1-12号	各号	¥1,572
	Vol. 28#1-8,12 (1999)	各号	¥1,572
	Vol. 29-33 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥1,572
	Vol. 34#1-7,9-12 (2005)	各号	¥1,572
	Vol. 35-40 (2006-2011) 各1-12号	各号	¥1,572
421	**工学教育（日本工学教育協会）**		
	Vol. 54#1,2,5,6 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 55-56 (2007-2008) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 57#1-4,6 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 58#1-6 (2010)	各号	¥2,200
422	**甲北信越矯正歯科学会雑誌（甲北信越矯正歯科学会）**		
	Vol. 7#1 (1999)		¥2,750
	Vol. 8#1 (2000)		¥2,750
	Vol. 9#1 (2001)		¥2,750
	Vol. 11#1 (2003)		¥2,750
	Vol. 12#1 (2004)		¥2,750
	Vol. 13#1 (2005)		¥2,750
	Vol. 14#1 (2006)		¥2,750
	Vol. 15#1 (2007)		¥2,750
	Vol. 16#1 (2008)		¥2,750
	Vol. 17#1 (2009)		¥2,750
	Vol. 18#1 (2010)		¥2,750
	Vol. 19#1 (2011)		¥2,750
	Vol. 20#1 (2012)		¥2,750
	Vol. 21#1 (2013)		¥2,750
	Vol. 22#1 (2014)		¥2,750
	Vol. 23#1 (2015)		¥2,750

423	**高次脳機能研究（日本高次脳機能障害学会）**		
	※Vol. 1-22 (1981-2002) →失語症研究		
	Vol. 23-32 (2003-2012) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 33#1,2,4 (2013)	各号	¥2,200
	Vol. 34#1-4 (2014)	各号	¥2,200
	Vol. 35#1,2,4 (2014)	各号	¥2,200
424	**考古学と自然科学（日本文化財科学会）**		
	Vol. 1-14,21-29,33-39,42-66 (1968-2014)	各冊	¥3,300
	Vol. 31/32 (1995)		¥4,400
	Vol. 40/41 (2000)		¥5,500
425	**こころの看護学（星和書店）**		
	Vol. 1-3 (1997-1999) 各1-4号	各号	¥1,760
426	**こころの科学 Human Mind（日本評論社）**		
	No. 2,3,5-81 (1985-1998)	各号	¥1,257
	No. 83,84,86,88-96 (1999-2001)	各号	¥1,257
	No. 97,103,104 (2001-2002)		¥1,362
427	**こころの健康（日本精神衛生学会）**		
	Vol. 1-29 (1986-2014) 各1-2号	各号	¥1,650
428	**こころの臨床ア・ラ・カルト（星和書店）**		
	No. 1-6,8-10,12-13 (1982-1985)	各号	¥660
	No. 14-21 (1986-1987)	各号	¥1,320
	Vol. 7#1-4 (1988) 通巻22-25号	各号	¥1,320
	Vol. 8#1-4 (1989) 通巻26-29号	各号	¥1,320
	Vol. 9#1 (1990) 通巻30号		¥1,540
	Vol. 10#1-4 (1991) 通巻34-37号	各号	¥1,815
	Vol. 11#2,3 (1992) 通巻38-41号	各号	¥1,998
	Vol. 12#2-4,増刊号 (1993) 通巻43-46号	各号	¥2,125
	Vol. 13#1,3,増刊号 (1994) 通巻47,49,51号	各号	¥2,125
	Vol. 14#増刊号 (1995) 通巻56号		¥2,125
	Vol. 15#1,3,4 (1996) 通巻57,59,60号	各号	¥2,125
	Vol. 16#1,2,4 (1997) 通巻62,64号	各号	¥2,125
	Vol. 17#1,4 (1998) 通巻65,68号	各号	¥2,090
	Vol. 18#1,2 (1999) 通巻70,71号	各号	¥2,200
	Vol. 19#1-4 (2000) 通巻74-77号	各号	¥2,200
	Vol. 20#3 (2001) 通巻81号		¥2,200
	Vol. 22#1,4 (2003)	各号	¥2,420
	Vol. 22 増刊号 (2003年2月) ほんとうに困った症例集：神経内科編		¥4,950
	Vol. 22 増刊号 (2003年5月) 精神科臨床のための必読100文献		¥6,380
	Vol. 22 増刊号 (2003年7月) ほんとうに困った症例集：心療内科編		¥4,950
	Vol. 23-24 (2004-2005) 各1-4号	各号	¥2,530
	Vol. 25-30 (2006-2011) 各1-4号	各号	¥1,760
	以降休刊		

429	**口腔病学会雑誌(口腔病学会)**		
	Vol. 37-39,41-52 (1970-1985) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 53-70 (1986-2003) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 71#1-3 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 71#4/72#1 (2004-2005) 合併号		¥4,400
	Vol. 72#2-4 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 73#1-2 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 73#3/74#1 (2006-2007) 合併号		¥4,400
	Vol. 74#2-3 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 75-80 (2008-2013) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 81#1,2 (2014)	各号	¥2,200
	Vol. 81#3 (2014)/82#1 (2015) 合併号		¥2,200
	Vol. 82#2,3 (2015)	各号	¥2,200
	Vol. 83-86 (2016-2019) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 87#1 (2020)		¥2,200
	Vol. 87#2/3 (2020) 合併号		¥2,200
	Vol. 88#1 (2021)		¥2,200
	Vol. 88#2/3 (2021) 合併号		¥2,200
	Vol. 89#1 (2022)		¥2,200
430	**口腔衛生学会雑誌(日本口腔衛生学会)**		
	Vol. 1-5 (1952-1955) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 6-10 (1956-1960) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 11#1 (1961)		¥3,300
	Vol. 12-29 (1962-1979) 各1-4号	各号	¥3,300
	Supplement v.21,22,24 (1971,1972,1974)	各号	¥5,500
	Vol. 30-47 (1980-1997) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 48-52 (1998-2002) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 53#2-5 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 54-60 (2004-2010) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 61#1-5,増刊号 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 62#1,3-5 (2012)	各号	¥3,300
	Vol. 63-66 (2013-2016) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 67-72 (2017-2022) 各1-4号,増刊号	各号	¥3,300
431	**口腔顎顔面外傷(日本口腔顎顔面外傷学会)**		
	Vol. 1#1 (2002)		¥3,300
	Vol. 2-7 (2003-2008) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 8#1 (2009)		¥3,300
	Vol. 9-11 (2010-2012) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 12#1 (2013)		¥3,300
	Vol. 13-14 (2014/2015-2015/2016) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 15#1/2 (2016)		¥3,300
	Vol. 17-21 (2018-2022) 1-2号	各号	¥3,300

432	**口腔・咽頭科（日本口腔・咽頭科学会）**		
	Vol. 1#1 (1989)		¥4,400
	Vol. 2-4 (1989/1990-1991/1992) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 5#2 (1993)		¥4,400
	Vol. 6-10 (1993/1994-1997/1998) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 11#2,3 (1999)	各号	¥4,400
	Vol. 12#1,2 (1999/2000)	各号	¥4,400
	Vol. 13#1,2 (2000/2001)	各号	¥4,400
	Vol. 14-16 (2001/2002-2003/2004) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 18#2,3 (2006)	各号	¥4,400
	Vol. 19-20 (2006/2007-2007/2008) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 21#1 (2008)		¥4,400
	Vol. 22-34 (2009-2021) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 35#1,3 (2022)	各号	¥4,400
433			
	Vol. 2#1 ;6#2; 7#4; 8#4; 9#3; 10#1-3; 11#2,4; 12#1; 13#1,3 (1978-1988	各号	¥2,200
	Vol. 14#1,2,4; 15#3,4; 16#1,3,4; 17#1-4; 18#4 (1989-1993)	各号	¥2,200
	Vol. 19#1-4; 20#1-4; 21#1,3; 23#1; 24#1; 25#3; 27#1,2 (1994-2002)	各号	¥2,200
	Vol. 35#1 (2010)		¥2,200
434	**国立天文台報**		
	Vol. 1#1-4 (1990/1993)	各号	¥8,800
	Vol. 2#1-4 (1993/1995)		¥8,800
	Vol. 3#1-4 (1996/1998)		¥8,800
	Vol. 4#1-4 (1998/2000)		¥8,800
	Vol. 5#1-4 (2000/2002)		¥8,800
	Vol. 6#1,2,3/4 (2002/2004)		¥8,800
	Vol. 7#1/2,3/4 (2004)		¥8,800
	Vol. 8#1/2,3/4 (2005)		¥8,800
	Vol. 9#1/2,3/4 (2006)		¥8,800
	Vol. 10#1/2,3/4 (2007)		¥8,800
	Vol. 11#1/2,3/4 (2008)		¥8,800
	Vol. 13#1/2 (2010)		¥4,400
435	**国際安全保障 Journal of International Security（国際安全保障学会）**		
	Vol. 29#1-4 (2001/02); 30#3,4 (2002/03); 31#1/2,3,4 (2003/04)	各号	¥1,100
	Vol. 32#1-3 (2004); 33#1-4 (2005/06); 34#1-4 (2006/07)	各号	¥1,100
	Vol. 35#1-4 (2007/08); 36#1-4 (2008/09); 37#1-4 (2009/10)	各号	¥1,100
	Vol. 38#1-4 (2010/11); 39#1-3 (2011); 40#1-4 (2012/13)	各号	¥1,100
	Vol. 41#2 (2012)		¥1,100
436	**国際服飾学会誌**		
	No. 16 (1999)		¥3,300
	No. 17,18 (2000)	各号	¥3,300
	No. 19,20 (2001)	各号	¥3,300
	No. 21 (2002)		¥3,300
	No. 24 (2003)		¥3,300
	No. 26 (2004)		¥3,300
	No. 28 (2005)		¥3,300
	No. 29,30 (2006)	各号	¥3,300
	No. 31,32 (2007)	各号	¥3,300
	No. 33,34 (2008)	各号	¥3,300
	No. 35,36 (2009)	各号	¥3,300
	No. 37,38 (2010)	各号	¥3,300
	No. 39,40 (2011)	各号	¥3,300
	No. 41 (2012)		¥3,300

437	**国際保健医療（日本国際保健医療学会）**		
	Vol. 19#1; 20#1,2; 21#1-3; 22#1,2,4; 23#1-4; 24#3 (2004-2009)	各号	¥2,200
438	**国際景観生態学会日本支部会報 IALE-Japan**		
	Vol. 5#1-3 (2000)	各号	¥2,200
	Vol. 6#1-3 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1-3 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 8#1-3 (2003)	各号	¥2,200
439	**国際問題（日本国際問題研究所）**		
	No. 255-263,265-355,357 (1981-1989)	各号	¥692
	No. 358-400,402-476 (1990-1999)	各号	¥692
	No. 478-482,484-496,498-549 (2000-2005)	各号	¥692
	No. 555 (2006)		¥692
	No. 588-602,604-611 (2010-2012)	各号	¥692
	総目次 No.1-465 (1960-1998)		¥1,100
	国際問題年表 (1999-2004)	各号	¥1,100
440	**国際政治（日本国際政治学会）**		
	Vol. 16,31-35,37,38,41-46 (1960-1971)	各号	¥770
	Vol. 48-50 (1971-1973)	各号	¥1,320
	Vol. 54-60,63-68,70 (1975-1982)	各号	¥1,650
	Vol. 71-73,75-99,101 (1983-1992)	各号	¥1,980
	30周年記念号 (1986)		¥1,980
	Vol.100 (1992)「国際政治」第100号記念特別号		¥2,750
	Vol.102,104-122,124-163,165,166,170 (1993-2012)	各号	¥2,200
	内戦をめぐる政治学的考察 (2000)		¥4,180
	20世紀ドイツ政治理論 (2002)		¥4,180
441	**国際政治と文化研究（日本国際政治学会）**		
	No.16,31-35,37,38,41-46,48-50,54-60,63-102, 104-122,124-163,165,166,170 (1960-2012)	各号	¥2,200
442	**口腔腫瘍研究会誌（口腔腫瘍研究会）**		
	第5号 (1987)		¥2,750
	第6巻 (1988)		¥2,750
443	**口腔腫瘍懇話会記録（口腔腫瘍懇話会）**		
	第1回 (1983)		¥2,750
	第2回 (1984)		¥2,750
	第3回 (1985)		¥2,750
	第4回 (1986)		¥2,750
444	**呼吸器ケア Respiratory care（メディカ出版）**		
	Vol. 1#6 (2003)		¥1,980
	Vol. 2#3,7-9,11,12 (2004)	各号	¥1,980
	Vol. 5#1,5,6,9 (2007)	各号	¥1,980
445	**呼吸器ジャーナル（医学書院）**		
	Vol. 65#1 (2017年2月) 呼吸器画像診断ーエキスパートの視点		¥4,400
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい。		
446	**呼吸器科 Respiratory Medicine（科学評論社）**		
	Vol. 1#1,5,6; 2#4-6 (2002)	各号	¥2,970
	Vol. 3#1,3,4; 4#1-6 (2003)	各号	¥2,970
	Vol. 5#1-5; 6#3-6 (2004)	各号	¥2,970
	Vol. 7#1-6; 8#1,3-6 (2005)	各号	¥2,970
	Vol. 11#2,6; 12#1,2,4 (2007)	各号	¥2,970

447 呼吸と循環（医学書院）

Vol. 1#1-5 (1953)	各号	¥2,860
Vol. 2#1-6 (1954)	各号	¥2,860
Vol. 3-4 (1955-1956) 各1-12号	各号	¥2,860
Vol. 5-6 (1957-1958) 各1-13号	各号	¥2,860
Vol. 7-43 (1959-1995) 各1-12号	各号	¥2,860
Vol. 44#1 (1996) 自律神経と心肺疾患-最近の知見		¥2,860
Vol. 44#2 (1996) NOと循環調節		¥2,860
Vol. 44#3 (1996) 気腫化病変の早期診断をめぐって		¥2,860
Vol. 44#4 (1996) 呼吸循環領域の運動負荷		¥2,860
Vol. 44#5 (1996) Angiotensin Converting Enzyme		¥2,860
Vol. 44#6 (1996) 肺機能検査による病変部位診断		¥2,860
Vol. 44#7 (1996) 肺における水の動態		¥2,860
Vol. 44#8 (1996) 呼吸循環器治療薬の狙いと効果の現実		¥2,860
Vol. 44#9 (1996) 手法が確立するまで		¥2,860
Vol. 44#10 (1996) エンドセリンの研究の新展開		¥2,860
Vol. 44#11 (1996) 不整脈のカテーテルアブレーション療法		¥2,860
Vol. 44#12 (1996) 気管支喘息重積発作をめぐって		¥2,860
Vol. 45#1 (1997) 心不全と気道閉塞		¥2,640
Vol. 45#2 (1997) KチャネルとQT延長症候群		¥2,640
Vol. 45#3 (1997) 呼吸困難の病態と対策		¥2,640
Vol. 45#4 (1997) 肺動脈血栓塞栓症の基礎と臨床		¥2,640
Vol. 45#5 (1997) 僧帽弁弁膜症治療の現況		¥2,640
Vol. 45#6 (1997) サーファクタント-最近の知見		¥2,640
Vol. 45#7 (1997) 制御からみる呼吸と循環		¥2,640
Vol. 45#8 (1997) 血小板と心疾患-その新展開		¥2,640
Vol. 45#9 (1997) volume Reduction Surgery(VRS)		¥2,640
Vol. 45#10 (1997) 呼吸循環系の順応と適応		¥2,640
Vol. 45#11 (1997) 循環器の大規模臨床研究-臨床治験		¥2,640
Vol. 45#12 (1997) 気管支喘息と受容体		¥2,640
Vol. 46#1 (1998) サルコイドーシス		¥2,750
Vol. 46#2 (1998) 圧受容体反射異常の病態		¥2,750
Vol. 46#3 (1998) 手術はどう呼吸を損なうか		¥2,750
Vol. 46#4 (1998) 蘇生をめぐる新しい展開と問題点		¥2,750
Vol. 46#5 (1998) 慢性心筋炎-診断のｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ提示とその後..		¥2,750
Vol. 46#6 (1998) 好酸球と肺疾患-最新の知見		¥2,750
Vol. 46#7 (1998) 最近話題の薬物誘起性心肺障害		¥2,750
Vol. 46#8 (1998) 心肺疾患における抗血栓療法		¥2,750
Vol. 46#9 (1998) 吸入療法の基礎と臨床		¥2,750
Vol. 46#10 (1998) 冠動脈血行再建術に関するcontroversy		¥2,750
Vol. 46#11 (1998) 好中球と肺疾患		¥2,750
Vol. 46#12 (1998) 睡眠呼吸障害-生活習慣病の危険因子として		¥2,750
Vol. 47#1 (1999) 慢性心不全治療の新しい可能性を探る		¥2,750
Vol. 47#2 (1999) 肺疾患とレドックス		¥2,750
Vol. 47#3 (1999) 心房細動をめぐって		¥2,750
Vol. 47#4 (1999) 肺癌-診断と治療の最前線		¥2,750
Vol. 47#5 (1999) 血管新生と臨床医学		¥2,750
Vol. 47#6 (1999) ハイポキシアへの耐性		¥2,750
Vol. 47#7 (1999) 肺結核臨床の現場から		¥2,750
Vol. 47#8 (1999) 急性心筋梗塞とその発症メカニズム		¥2,750
Vol. 47#9 (1999) 肺疾患と細胞内シグナル		¥2,750
Vol. 47#10 (1999) 循環器系薬剤を見直す-薬剤選択と用量を..		¥2,750
Vol. 47#11 (1999) 気管支喘息と気道リモデリング		¥2,750
Vol. 47#12 (1999) 循環器疾患の遺伝子診断と遺伝子治療		¥2,750
Vol. 48#1 (2000) 非侵襲的陽圧換気法(NPPV)の汎用性を..		¥2,750
Vol. 48#2 (2000) 心不全例の不整脈管理		¥2,750

	Vol. 48#3 (2000) 呼吸筋不全	¥2,750
	Vol. 48#4 (2000) 血圧の調整機構を再考する	¥2,750
	Vol. 48#5 (2000) 特殊な環境における呼吸と循環	¥2,750
	Vol. 48#6 (2000) わが国に心臓移植が定着するには何が必要か	¥2,750
	Vol. 48#7 (2000) 大気環境と肺疾患	¥2,750
	Vol. 48#8 (2000) 酸化ストレスと心血管病態	¥2,750
	Vol. 48#9 (2000) 手術と肺塞栓	¥2,750
	Vol. 48#10 (2000) 右心不全をめぐって	¥2,750
	Vol. 48#11 (2000) インフルエンザウイルス感染	¥2,750
	Vol. 48#12 (2000) 不整脈-診断と治療のトピックス2000	¥2,750
	Vol. 49#1 (2001) 虚血再灌流と臓器障害	¥2,860
	Vol. 49#2 (2001) ポスト・ゲノム時代における呼吸器疾患への・・	¥2,860
	Vol. 49#3 (2001) 感染症心内膜炎	¥2,860
	Vol. 49#4 (2001) 急性肺傷害の発症因子をめぐって	¥2,860
品切	Vol. 49#5 (2001) Brugada症候群	¥2,860
	Vol. 49#6 (2001) 気管支喘息とその周辺	¥2,860
	Vol. 49#7 (2001) 突然死をめぐって	¥2,860
	Vol. 49#8 (2001) 耐性菌呼吸器感染症の現状と治療	¥2,860
	Vol. 49#9 (2001) 急性心筋梗塞治療の新展開-心筋保護の観点	¥2,860
	Vol. 49#10 (2001) 呼吸と循環のパソコンソフトウェア	¥2,860
	Vol. 49#11 (2001) 睡眠呼吸障害をめぐって	¥2,860
	Vol. 49#12 (2001) 循環器疾患とQOL	¥2,860
	Vol. 50#1 (2002) 神経活性物質と呼吸	¥2,860
	Vol. 50#2 (2002) 循環器系薬剤の新しい視点-検証と展望	¥2,860
	Vol. 50#3 (2002) 呼吸器疾患のQOL	¥2,860
	Vol. 50#4 (2002) 心疾患系における再生医療・遺伝子治療	¥2,860
	Vol. 50#5 (2002) 慢性細気管支炎-間質性肺炎との接点をめぐって	¥2,860
	Vol. 50#6 (2002) セロトニンと循環器疾患	¥2,860
	Vol. 50#7 (2002) 加齢と肺	¥2,860
	Vol. 50#8 (2002) 心エコー図の最前線	¥2,860
	Vol. 50#9 (2002) 特発性間質性肺炎の治療	¥2,860
	Vol. 50#10 (2002) 21世紀の心不全治療の展望	¥2,860
	Vol. 50#11 (2002)「結核緊急事態宣言」と対策	¥2,860
	Vol. 50#12 (2002) 心筋モデリング	¥2,860
	Vol. 51#1 (2003) 非侵襲的換気療法・ガイドライン作成に向けて	¥2,860
	Vol. 51#2 (2003) 心房細動治療の新展開	¥2,860
	Vol. 51#2 (2003) 新しいテクノロジーによる肺末梢病変の解析	¥2,860
	Vol. 51#3 (2003) 新しいテクノロジーによる肺末梢病変の解析	¥2,860
	Vol. 51#4 (2003) 循環器診療と医療経済学	¥2,860
	Vol. 51#5 (2003) 肺気腫―最新の研究成果と今後の方向性	¥2,860
	Vol. 51#6 (2003) 動脈硬化の臨床	¥2,860
	Vol. 51#7 (2003) 肺構造の変性と修復	¥2,860
	Vol. 51#8 (2003) スタチンのプレイオトロピック効果と心血管疾患	¥2,860
	Vol. 51#9 (2003) 肺高血圧症の最近の治療	¥2,860
	Vol. 51#10 (2003) 肺疾患の最新画像診断	¥2,860
	Vol. 51#11 (2003) AHA心肺蘇生国際ガイドライン2000の普及に向けて	¥2,860
	Vol. 51#12 (2003) 難治性喘息－その機序の解明と対策	¥2,860
	Vol. 51#13 (2003) 総目次・著者索引第1巻～第51巻CD-ROM（検索機	¥4,620
	Vol. 52#1 (2004) 循環器疾患の予防医学	¥2,860
	Vol. 52#2 (2004) 呼吸器感染症・最新の話題	¥2,860
	Vol. 52#3 (2004) 低侵襲心臓外科手術	¥2,860
	Vol. 52#4 (2004) 睡眠呼吸障害の新展開と展望	¥2,860
	Vol. 52#5 (2004) 高血圧と心血管病	¥2,860
	Vol. 52#6 (2004) 非結核性抗酸菌症の病態と治療	¥2,860
	Vol. 52#7 (2004) 冠動脈病変の画像診断－CT、MRIは冠動脈造影にど	¥2,860
	Vol. 52#8 (2004) ARDS/ALIの薬物療法	¥2,860
	Vol. 52#9 (2004) 強心薬のコントロバーシー急性心不全に使うべきか、避	¥2,860

	Vol. 52#10 (2004) 呼吸器疾患のガイドラインをめぐって	¥2,860
	Vol. 52#11 (2004) 心血管病の薬物療法－ACEIとARBをどう使い分ける	¥2,860
	Vol. 52#12 (2004) COPD診断・治療概念のup-to-date	¥2,860
	Vol. 53#1 (2005) Acute Coronary Syndromeの病態を解明する	¥2,860
	Vol. 53#2 (2005) 肺の再生医療―現状と展望	¥2,860
	Vol. 53#3 (2005) 糖尿病と心疾患	¥2,860
	Vol. 53#4 (2005) 自然免疫と肺	¥2,860
	Vol. 53#5 (2005) 急性冠症候群(ACS)におけるPCIの現況	¥2,860
	Vol. 53#6 (2005) 咳喘息と周辺疾患	¥2,860
	Vol. 53#7 (2005) 急性肺塞栓症の最新の知見	¥2,860
	Vol. 53#8 (2005) レニン・アンジオテンシン系と臓器保護	¥2,860
	Vol. 53#9 (2005) 機能異常からみた呼吸器疾患	¥2,860
	Vol. 53#10 (2005) 心臓画像の三次元化-その到達点と問題点	¥2,860
品切	Vol. 53#11 (2005) 低酸素と生体	¥2,860
	Vol. 53#12 (2005) 循環器疾患治療の新たなアプローチ：アルドステロン	¥2,860
	Vol. 54#1 (2006) 呼吸器疾患におけるアポトーシスの最新知見	¥2,860
	Vol. 54#2 (2006) レニン・アンジオテンシン系薬剤の最近のトピックス	¥2,860
	Vol. 54#3 (2006) 肺疾患の炎症メカニズムとその制御	¥2,860
	Vol. 54#4 (2006) ACE阻害薬を見直す	¥2,860
	Vol. 54#5 (2006) 循環器用薬剤の他臓器作用，非循環器用薬剤の循環	¥2,860
	Vol. 54#6 (2006) 呼吸器疾患のバイオマーカー	¥2,860
	Vol. 54#7 (2006) 僧帽弁疾患の新しい治療戦略	¥2,860
	Vol. 54#8 (2006) 呼吸器疾患と遺伝子多型	¥2,860
	Vol. 54#9 (2006) 心臓サルコイドーシス診療の新しい展開	¥2,860
	Vol. 54#10 (2006) 間質性肺炎の病態と治療	¥2,860
	Vol. 54#11 (2006) 心臓リハビリテーションの最前線	¥2,860
	Vol. 54#12 (2006) 呼吸器疾患におけるプロテオミクス解析の現状と将来	¥2,860
	Vol. 55#1 (2007) 不整脈非薬物療法の現況と5年後の展望	¥2,860
	Vol. 55#2 (2007) 気管支鏡手技を用いた医療の最新動向	¥2,860
	Vol. 55#3 (2007) 臨床研究・大規模研究の進め方	¥2,860
	Vol. 55#4 (2007) COPDの急性増悪をめぐって	¥2,860
	Vol. 55#5 (2007) Drug-Eluting Stent-その問題点と展望	¥2,860
	Vol. 55#6 (2007) ALI/ARDSの病態と治療	¥2,860
	Vol. 55#7 (2007) 心筋再生と心筋保護	¥2,860
	Vol. 55#8 (2007) 在宅呼吸管理をめぐって	¥2,860
	Vol. 55#9 (2007) メタボリックシンドロームと循環器疾患	¥2,860
	Vol. 55#10 (2007) 人工呼吸管理をめぐって	¥2,860
	Vol. 55#11 (2007) 心血管疾患とエージング	¥2,860
	Vol. 55#12 (2007) 呼吸器疾患ガイドラインの課題	¥2,860
	Vol. 56#1 (2008) 呼吸困難からみた呼吸器・循環器疾患	¥2,860
	Vol. 56#2 (2008) 循環器疾患のリスク管理	¥2,860
	Vol. 56#3 (2008) 呼吸機能を考える	¥2,860
	Vol. 56#4 (2008) 重症心不全治療戦略の新展開	¥2,860
	Vol. 56#5 (2008) 低線量CT検診の現状と展望	¥2,860
	Vol. 56#6 (2008) 循環器医からみた糖尿病治療薬の考え方・使い方	¥2,860
	Vol. 56#7 (2008) 結核対策の現状を考える	¥2,860
	Vol. 56#8 (2008) 心房細動における脳卒中の発症予防	¥2,860
	Vol. 56#9 (2008) 肺疾患動物実験モデルの意義と展開	¥2,860
	Vol. 56#10 (2008) 肺高血圧症治療の現状と展望	¥2,860
	Vol. 56#11 (2008) 脂質異常症治療の展望と課題	¥2,860
	Vol. 56#12 (2008) 肺癌診療の進歩	¥2,860
	Vol. 57#1 (2009) 循環器疾患と地域連携	¥2,860
	Vol. 57#2 (2009) 喘息とCOPDの増悪をめぐって	¥2,860
	Vol. 57#3 (2009) 拡張期心不全をめぐって	¥2,860
	Vol. 57#4 (2009) 呼吸器疾患診断の進歩-形態と機能の系統的評価	¥2,860
	Vol. 57#5 (2009) ARBの選び方・使い方	¥2,860
	Vol. 57#6 (2009) 呼吸器疾患治療の進歩：薬物療法と非薬物療法	¥2,860

Vol. 57#7 (2009) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)と心血管障害	¥2,860
Vol. 57#8 (2009) COPD 大規模臨床研究からわかるもの	¥2,860
Vol. 57#9 (2009) 循環器診療における放射線防護	¥2,860
Vol. 57#10 (2009) 喫煙の呼吸器・循環器に及ぼす影響―エビデンスに	¥2,860
Vol. 57#11 (2009) マルファン症候群	¥2,860
Vol. 57#12 (2009) コンピュータを用いた呼吸器病態解析の進歩と展望	¥2,860
Vol. 58#1 (2010) 特発性心室細動―病態から治療まで	¥2,860
Vol. 58#2 (2010) COPDの依存症・合併症	¥2,860
Vol. 58#3 (2010) プロレニン―レニン・アンジオテンシン系(RAS)の最近の	¥2,860
Vol. 58#4 (2010) 間質性肺炎治療法の新展開	¥2,860
Vol. 58#5 (2010) 冠動脈画像診断の進歩―冠動脈CTの現状と将来	¥2,860
Vol. 58#6 (2010) ALI/ARDS治療の新展開	¥2,860
Vol. 58#7 (2010) 循環器疾患の逆リモデリング	¥2,860
Vol. 58#8 (2010) 呼吸器診療のリスク管理	¥2,860
Vol. 58#9 (2010) 血管の非侵襲的な評価法のインパクト　その意義と最	¥2,860
Vol. 58#10 (2010) 呼吸器疾患と分子標的治療	¥2,860
Vol. 58#11 (2010) AEDを検証する	¥2,860
Vol. 58#12 (2010) リンパ脈管筋腫症(LAM)の新展開	¥2,860
Vol. 59#1 (2011) 冠攣縮性狭心症	¥2,860
Vol. 59#2 (2011) 呼吸不全を来す難治性呼吸器疾患克服への取り組み	¥2,860
Vol. 59#3 (2011) 心血管治療としての心臓リハビリテーション	¥2,860
Vol. 59#4 (2011) 最新の呼吸器疾患のガイドライン	¥2,860
Vol. 59#5 (2011) 冠血行再建術のエビデンスをどうみるか―PCIとCABG	¥2,860
Vol. 59#6 (2011) 呼吸器疾患とエイジング	¥2,860
Vol. 59#7 (2011) 再灌流療法をめぐる諸問題	¥2,860
Vol. 59#8 (2011) 生活習慣と呼吸器疾患	¥2,860
Vol. 59#9 (2011) 慢性炎症と循環器疾患	¥2,860
Vol. 59#10 (2011) インフルエンザウイルス感染症の最新の話題	¥2,860
Vol. 59#11 (2011) テネイシンCと心臓・血管病変	¥2,860
Vol. 59#12 (2011) 呼吸器における画像診断の最新の動向	¥2,860
Vol. 60#1 (2012) 肺高血圧症の新しい展開	¥2,970
Vol. 60#2 (2012) 気管支喘息の最新の話題	¥2,970
Vol. 60#3 (2012) 自律神経系と循環器疾患	¥2,970
Vol. 60#4 (2012) 難治性びまん性肺疾患克服への取り組み	¥2,970
Vol. 60#5 (2012) ips細胞を用いた心臓病の診断と治療	¥2,970
Vol. 60#6 (2012) 新しい肺炎の概念：医療・介護関連肺炎	¥2,970
Vol. 60#7 (2012) 生活習慣と心腎連関	¥2,970
Vol. 60#8 (2012) 全身性疾患としての睡眠時無呼吸症候群(SAS)	¥2,970
Vol. 60#9 (2012) 大震災と循環器・呼吸器疾患	¥2,970
Vol. 60#10 (2012) COPDの最新の話題	¥2,970
Vol. 60#11 (2012) 心血管病における免疫機構の関わり―循環器医が知	¥2,970
Vol. 60#12 (2012) 肺癌個別化治療におけるバイオマーカー	¥2,970
Vol. 61#1 (2013) 糖尿病と心血管疾患:インクレチン導入後を検証する	¥2,970
Vol. 61#2 (2013) 特発性間質性肺炎を見直すー特発性間質性肺炎臨床	¥2,970
Vol. 61#2 (2013) 特発性間質性肺炎を見直すー特発性間質性肺炎臨床	¥2,970
Vol. 61#3 (2013) 内科医が診る 大人になった先天性心疾患―Adult Con	¥2,970
Vol. 61#4 (2013) 薬剤性肺障害の臨床	¥2,970
Vol. 61#5 (2013) 抗凝固薬の新展開	¥2,970
Vol. 61#6 (2013) 喘息病態の修飾因子・難治化因子	¥2,970
Vol. 61#7 (2013) 血管内イメージングを再考する	¥2,970
Vol. 61#8 (2013) 急性呼吸不全の呼吸管理	¥2,970
Vol. 61#9 (2013) 末梢動脈疾患	¥2,970
Vol. 61#10 (2013) 疾患感受性遺伝子解析による呼吸器疾患の病態解	¥2,970
Vol. 61#11 (2013) 心臓病における核医学検査の進歩	¥2,970
Vol. 61#12 (2013) 多方面からの肺高血圧症へのアプローチ	¥2,970
Vol. 62#1 (2014) Structural Heart Diseaseに対するカテーテルインター	¥2,970
Vol. 62#2 (2014) COPD治療のさらなる展開を目指す-ガイドライン第4版	¥2,970

	Vol. 62#3 (2014) 最新の心房細動治療戦略－長期持続性心房細動に対		¥2,970
	Vol. 62#4 (2014) 呼吸器領域の新しい薬物療法		¥2,970
	Vol. 62#5 (2014) 利尿薬をめぐる諸問題		¥2,970
	Vol. 62#6 (2014) 疾患と運動時低酸素血症		¥2,970
	Vol. 62#7 (2014) 高血圧治療ガイドライン2014を考える		¥2,970
	Vol. 62#8 (2014) 呼吸器感染症診療の変貌		¥2,970
	Vol. 62#9 (2014) 遺伝性不整脈		¥2,970
	Vol. 62#10 (2014) 環境因子と呼吸器疾患		¥2,970
	Vol. 62#11 (2014) CABGを科学する		¥2,970
	Vol. 62#12 (2014) 気管支喘息 最新の話題		¥2,970
	Vol. 63#1 (2015) 川崎病		¥2,970
	Vol. 63#2 (2015) IPF治療の最新の話題		¥2,970
	Vol. 63#3 (2015) 急性心筋炎をめぐる最近の話題		¥2,970
	Vol. 63#4 (2015) 呼吸器疾患治療の標的分子		¥2,970
	Vol. 63#5 (2015) ペースメーカ治療の合併症への対応		¥2,970
	Vol. 63#6 (2015) 創薬を視野に入れた呼吸器疾患の病態解明		¥2,970
	Vol. 63#7 (2015) 肥大型心筋症の基礎と臨床		¥2,970
品切	Vol. 63#8 (2015) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)－臨床に役立つ最新知識		¥2,970
	Vol. 63#9 (2015) スタチン投与後のレジデュアル・リスク		¥2,970
	Vol. 63#10 (2015) アレルギー疾患モデルからの最新知見		¥2,970
	Vol. 63#11 (2015) 膠原病に伴う循環器疾患		¥2,970
	Vol. 63#12 (2015) LAMに対するシロリムス療法の実用化時代を迎えて		¥2,970
	Vol. 64#1 (2016) わが国における脳・心血管疾患予防のための疫学研究		¥2,970
	Vol. 64#2 (2016) 呼吸器疾患における慢性炎症を考える		¥2,970
	Vol. 64#3 (2016) 症状別・疾患別にみた注意を要する心電図所見		¥2,970
	Vol. 64#4 (2016) 呼吸器病学 黎明期から現在		¥2,970
	Vol. 64#5 (2016) Acute Aortic Syndrome―最新の話題と今後の展望		¥2,970
	Vol. 64#6 (2016) 肺高血圧症の病態と治療2016 Up to Date		¥2,970
	Vol. 64#7 (2016) 二次性心筋症の見分け方と治療		¥2,970
	Vol. 64#8 (2016) COPD合併肺癌：病因論から治療まで		¥2,970
	Vol. 64#9 (2016) Onco-Cardiology―がんと循環器における新しい関係		¥2,970
	Vol. 64#10 (2016) 呼吸器疾患：症例から病態生理学／分子病態学へ		¥2,970
	Vol. 64#11 (2016) 家族性高コレステロール血症(FH)診療のパラダイムシ		¥2,970
	Vol. 64#12 (2016) 呼吸不全患者を取り巻く課題		¥2,970
448	**昆蟲（日本昆虫学会）**		
	Vol. 44#2,4 (1976)	各号	¥3,300
	Vol. 45-56 (1977-1988) 各1-4号	各号	¥3,300
449	**昆蟲. ニューシリーズ（日本昆虫学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1998)	各号	¥3,300
	Vol. 2-11 (1999-2008)	各号	¥3,300
450	**混相流（日本混相流学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1987)	各号	¥2,750
	Vol. 2-19 (1988-2005) 各1-4号	各号	¥2,750
451	**高齢者安心安全ケア 実践と記録（日総研出版）**		
	Vol. 10#3-6 (2013)	各号	¥2,750
	Vol. 11#1-6 (2013/2014)	各号	¥2,750
	Vol. 12#1-2 (2014)	各号	¥2,750
452	**高齢者問題研究（北海道高齢者問題研究協会）**		
	No. 1-23 (1985-2007)	各号	¥2,200
453	**交流分析研究（日本交流分析学会）**		
	Vol. 17#1/2 (1992); 19#1/2 (1994)	各冊	¥1,650
	Vol. 18, 20-40 (1993,1995-2015) 各1-2号	各号	¥1,650

454 厚生の指標（厚生統計協会）

Vol. 52#1-4,6-8,10,13,15 (2005)	各号	¥943
Vol. 53#1-8,10,11,13,15 (2006)	各号	¥943
Vol. 54#1-8,10,11,13,15 (2007)	各号	¥943
Vol. 55#1-8,10,11,13,15 (2008)	各号	¥943
Vol. 56#1-8,10,11,13,15 (2009)	各号	¥943
Vol. 57#1-8,10,12,13,15 (2009)	各号	¥943
国民衛生の動向 Year 2005-2010/2011 (2005-2011)	各冊	¥2,515
国民福祉の動向 Year 2005-2007 (2005-2007)	各冊	¥2,515
保険と年金の動向 Year 2005-2008 (2005-2008)	各冊	¥2,515

455　公衆衛生（医学書院）

	Vol. 1#1-6 (1946/47)	各号	¥2,530
品切	Vol. 2#1-5 (1947)	各号	¥2,530
	Vol. 3#5,6 (1947/48)	各号	¥2,530
	Vol. 4#1-6 (1948)	各号	¥2,530
	Vol. 5#1-8 (1948/49)	各号	¥2,530
	Vol. 6#1-6 (1949)	各号	¥2,530
	Vol. 7#1-6 (1950)	各号	¥2,530
	Vol. 8#1-4 (1950)	各号	¥2,530
	Vol. 9-20 (1951-1956) 各1-6号	各号	¥2,530
	Vol. 21-58 (1957-1994) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 59#1 (1995) 公衆衛生の新たな地平		¥2,530
	Vol. 59#2 (1995) 労働によるストレスと健康		¥2,530
	Vol. 59#3 (1995) 医療の機能分化と連携		¥2,530
	Vol. 59#4 (1995) 地方自治体はどのように地域保健を推進..		¥2,530
	Vol. 59#5 (1995) 水銀汚染-水俣病よりグローバルな環境問題へ		¥2,530
	Vol. 59#6 (1995) 少子化時代への対応		¥2,530
	Vol. 59#7 (1995) 阪神・淡路大震災時における保健医療活動		¥2,530
	Vol. 59#8 (1995) 現代の予防接種-その意義と課題		¥2,530
	Vol. 59#9 (1995) 地域リハビリテーション		¥2,530
	Vol. 59#10 (1995) 高齢者介護と公的介護保険		¥2,530
	Vol. 59#11 (1995) 高度化された食品・栄養システムの現状と課題		¥2,530
	Vol. 59#12 (1995) 公衆衛生/予防医学と分子生物学		¥2,530
	Vol. 60#1 (1996) 市町村における母子保健活動の推進		¥2,530
	Vol. 60#2 (1996) 精神保健福祉法と精神保健活動の新たな視点		¥2,530
	Vol. 60#3 (1996) 産業保健の国際動向		¥2,530
	Vol. 60#4 (1996) 生活をささえる防災計画		¥2,530
	Vol. 60#5 (1996) マルチメディアの保健活動への活用を考える		¥2,530
	Vol. 60#6 (1996) 感染症の新たな動向		¥2,530
	Vol. 60#7 (1996) 交通事故の予防医学		¥2,530
	Vol. 60#8 (1996) 保健所の組織改革と機能強化		¥2,530
	Vol. 60#9 (1996) 歯周疾患の予防-8020運動の達成に向けて		¥2,530
	Vol. 60#10 (1996) 女性の健康づくり		¥2,530
	Vol. 60#11 (1996) 産業精神保健		¥2,530
	Vol. 60#12 (1996) 小児期の成人病		¥2,530
	Vol. 61#1 (1997) 地域保健元年		¥2,310
	Vol. 61#2 (1997) 病原性大腸菌O157の脅威		¥2,310
	Vol. 61#3 (1997) コミュニティヘルス・アプローチの昨日,今日,明日		¥2,310
	Vol. 61#4 (1997) 検診を検診する		¥2,310
	Vol. 61#5 (1997) 介護保険制度の特質と論点		¥2,310
	Vol. 61#6 (1997) ノーマライゼーションの実現へ		¥2,310
	Vol. 61#7 (1997) 大学の公衆衛生50年		¥2,310
	Vol. 61#8 (1997) 新しい地域保健体制における保健婦活動		¥2,310
	Vol. 61#9 (1997) 今,WHOの歩みから学ぶもの		¥2,310
	Vol. 61#10 (1997) 公衆衛生をささえるもの-情報		¥2,310
	Vol. 61#11 (1997) 現場における研究のすすめ		¥2,310
	Vol. 61#12 (1997) 現場の危機管理		¥2,310
	Vol. 62#1 (1998) 新しい地域保健の視点-実践例に学ぶ方法論		¥2,420
	Vol. 62#2 (1998) 成人病から生活習慣病へ		¥2,420
	Vol. 62#3 (1998) 海外の公衆衛生専門教育-日本と比較して		¥2,420
	Vol. 62#4 (1998) 公衆衛生の視点から見た事故予防		¥2,420
	Vol. 62#5 (1998) 産業医の新たな体制と活動		¥2,420
	Vol. 62#6 (1998) エイズ対策の再検証-人権の視点から		¥2,420
	Vol. 62#7 (1998) 環境保健のトピックス		¥2,420
	Vol. 62#8 (1998) 公衆衛生の現地訓練		¥2,420
	Vol. 62#9 (1998) 地方分権の推進について考える		¥2,420

	Vol. 62#10 (1998) 計画づくりの理念と方法	¥2,420
	Vol. 62#11 (1998) 21世紀へ向けての産業看護活動	¥2,420
	Vol. 62#12 (1998)「感染症新法」下における予防活動	¥2,420
	Vol. 63#1 (1999) 公衆衛生の経済学	¥2,420
	Vol. 63#2 (1999) 依存症の公衆衛生	¥2,420
	Vol. 63#3 (1999) 結核とハンセン病について考える	¥2,420
	Vol. 63#4 (1999) 飲酒の行動医学	¥2,420
	Vol. 63#5 (1999) 地域保健の財政基盤	¥2,420
	Vol. 63#6 (1999) 産業歯科保健	¥2,420
	Vol. 63#7 (1999) 思春期を支える公衆衛生	¥2,420
	Vol. 63#8 (1999) 女性への暴力	¥2,420
	Vol. 63#9 (1999) 21世紀に向けての老人保健事業	¥2,420
	Vol. 63#10 (1999) 地域保健法で保健所は変わった？	¥2,420
	Vol. 63#11 (1999) 地域におけるたばこ対策の取り組み	¥2,420
	Vol. 63#12 (1999) 地域保健活動とボランティア	¥2,420
	Vol. 64#1 (2000) 大都市における地域保健サービス-その体制と	¥2,530
	Vol. 64#2 (2000) 公衆衛生におけるリスクの管理	¥2,530
	Vol. 64#3 (2000) 性の公衆衛生	¥2,530
	Vol. 64#4 (2000) 地域における生活廃棄物対策	¥2,530
	Vol. 64#5 (2000) 児童虐待の防止に向けて	¥2,530
	Vol. 64#6 (2000) 地研における公衆衛生情報ネットワーク	¥2,530
	Vol. 64#7 (2000) 大学の公衆衛生教育	¥2,530
	Vol. 64#8 (2000) 公衆衛生と個人情報保護	¥2,530
	Vol. 64#9 (2000) マスコミュニケーション公衆衛生	¥2,530
	Vol. 64#10 (2000) 新エンゼルプランの推進と展望	¥2,530
	Vol. 64#11 (2000) 現代の保健婦-その課題と展望	¥2,530
	Vol. 64#12 (2000) 難病と共に生きる	¥2,530
	Vol. 65#1 (2001) 根拠に基づく公衆衛生の展開	¥2,530
	Vol. 65#2 (2001) 公衆栄養のトピックス	¥2,530
	Vol. 65#3 (2001) 地域保健の危機管理	¥2,530
品切	Vol. 65#4 (2001) ヘルスプロモーションの実践・1	¥2,530
品切	Vol. 65#5 (2001) ヘルスプロモーションの実践・2	¥2,530
	Vol. 65#6 (2001) 放射線被爆のアセスメント	¥2,530
	Vol. 65#7 (2001) 21世紀の地域歯科保健の展開	¥2,530
	Vol. 65#8 (2001) 市町村の保健と福祉の専門職	¥2,530
	Vol. 65#9 (2001) 精神障害者が暮らしやすい地域づくり	¥2,530
	Vol. 65#10 (2001) 公衆衛生の新しい世紀	¥2,530
	Vol. 65#11 (2001) 青少年暴力・1	¥2,530
	Vol. 65#12 (2001) 青少年暴力・2	¥2,530
	Vol. 66#1 (2002) 健康日本21と職場の健康管理	¥2,530
	Vol. 66#2 (2002) 思春期の薬物乱用予防-生きる力をやしなう活動を求	¥2,530
	Vol. 66#3 (2002) 国立保健医療科学院への期待・提言	¥2,530
	Vol. 66#4 (2002) これからの国際保健医療協力	¥2,530
	Vol. 66#5 (2002) 若者にはびこる性感染症	¥2,530
	Vol. 66#6 (2002) 食品の安全について考える	¥2,530
	Vol. 66#7 (2002) 改めて問う保健事業はどれだけの成果をあげてきたか	¥2,530
	Vol. 66#8 (2002) 老人保健法20周年-新たな展開を目指して	¥2,530
	Vol. 66#9 (2002) 文化と健康生態・1	¥2,530
	Vol. 66#10 (2002) 文化と健康生態・2	¥2,530
	Vol. 66#11 (2002) 公衆衛生におけるNPOの役割	¥2,530
	Vol. 66#12 (2002) 公衆衛生における医療	¥2,530
	Vol. 67#1 (2003) 今日の学校保健	¥2,530
	Vol. 67#2 (2003) 公衆衛生が進めるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ	¥2,530
	Vol. 67#3 (2003) 地域から取り組むリプロダクティブ・ヘルスー新しい出産	¥2,530
	Vol. 67#4 (2003) 感染症法の成果と提言	¥2,530
	Vol. 67#5 (2003) 現代の保健所論・1	¥2,530
	Vol. 67#6 (2003) 現代の保健所論・2	¥2,530

Vol. 67#7 (2003) 健康危機における情報ネットワーク	¥2,530
Vol. 67#8 (2003) 公衆衛生とプライマリ・ケア	¥2,530
Vol. 67#9 (2003) 自殺予防	¥2,530
Vol. 67#10 (2003) 新医師臨床研修「地域保健・医療」研修の使命	¥2,530
Vol. 67#11 (2003) 検証「SARS」	¥2,530
Vol. 67#12 (2003) エイズ対策は成功したか	¥2,530
Vol. 68#1 (2004) 公衆衛生の構造改革	¥2,530
Vol. 68#2 (2004) 地域精神保健活動―医療の質とその周辺	¥2,530
Vol. 68#3 (2004) 結核対策のリフォーム	¥2,530
Vol. 68#4 (2004) 保健師を考える・1　保健師のニュービジョン	¥2,530
Vol. 68#5 (2004) 保健師を考える・2市町村保健師のアイデンティティ	¥2,530
Vol. 68#6 (2004) 転換期のリーダーシップ	¥2,530
Vol. 68#7 (2004) 公衆衛生対策におけるリスクコミュニケーション	¥2,530
Vol. 68#8 (2004) 公衆衛生対策における クライシスコミュニケーション	¥2,530
Vol. 68#9 (2004) 各方面で進む「ヘルスプロモーション」	¥2,530
Vol. 68#10 (2004) 人と動物の共通感染症・1鳥インフルエンザ	¥2,530
Vol. 68#11 (2004) 人と動物の共通感染症・2BSEを中心に	¥2,530
Vol. 68#12 (2004) 喫煙対策はどこまで進んだか	¥2,530
Vol. 69#1 (2005) 子ども虐待予防	¥2,530
Vol. 69#2 (2005) 地域保健法10年	¥2,530
Vol. 69#3 (2005) 結核対策新時代―結核予防法のリビジョン	¥2,530
Vol. 69#4 (2005) 公衆衛生と監察医制度	¥2,530
Vol. 69#5 (2005) こころの健康問題への挑戦	¥2,530
Vol. 69#6 (2005) 自然災害と公衆衛生活動	¥2,530
Vol. 69#7 (2005) 地域医療のトピック「救急医療」を考えよう	¥2,530
Vol. 69#8 (2005) 介護予防をどうすすめる？老人保健，介護保険制度の	¥2,530
Vol. 69#9 (2005) 介護予防をどうすすめる？2介護予防事業の多角的取	¥2,530
Vol. 69#10 (2005) ウイルス肝炎	¥2,530
Vol. 69#11 (2005) 感染症情報	¥2,530
Vol. 69#12 (2005) アニマルセラピー	¥2,530
Vol. 70#1 (2006) コミュニティと関係性の再構築	¥2,530
Vol. 70#2 (2006)「健康格差社会」とセーフティネット	¥2,530
Vol. 70#3 (2006) 健康危機管理	¥2,530
Vol. 70#4 (2006) 予防接種	¥2,530
Vol. 70#5 (2006)「食育」の時代へ	¥2,530
Vol. 70#6 (2006) 越境！公衆衛生	¥2,530
Vol. 70#7 (2006) 市町村合併後の保健師活動	¥2,530
Vol. 70#8 (2006) 子どもを守る	¥2,530
Vol. 70#9 (2006) 認知症―予防とケアの最前線	¥2,530
Vol. 70#10 (2006) インフルエンザ	¥2,530
Vol. 70#11 (2006) 医療制度改革と疾病予防活動	¥2,530
Vol. 70#12 (2006) クスリと公衆衛生	¥2,530
Vol. 71#1 (2007) がん対策・1	¥2,530
Vol. 71#2 (2007) がん対策・2	¥2,530
Vol. 71#3 (2007) メタボリックシンドローム 現状とその課題	¥2,530
Vol. 71#4 (2007) 過労死・過労自死	¥2,530
Vol. 71#5 (2007) 歯周病予防からのヘルスプロモーション	¥2,530
Vol. 71#6 (2007) 環境問題の多様性	¥2,530
Vol. 71#7 (2007) 狂犬病・デング熱・マラリア・コクシジオイデス症・海外で	¥2,530
Vol. 71#8 (2007) スポーツと公衆衛生-地域の関係性の構築	¥2,530
Vol. 71#9 (2007) 性差医療から考える 患者の望む医療とは？	¥2,530
Vol. 71#10 (2007) 感染症の危機管理 関連法規改正後の新たな展開	¥2,530
Vol. 71#11 (2007) 超高齢社会の地域医療制度の展望	¥2,530
Vol. 71#12 (2007) ノロウイルス ウイルス性下痢症	¥2,530
Vol. 72#1 (2008) 憲法と公衆衛生	¥2,530
Vol. 72#2 (2008) 総合医療への期待 21世紀の予防医学と健康づくり	¥2,530
Vol. 72#3 (2008) アレルギー対策 花粉症・食物アレルギー・アトピー等へ	¥2,530

	Vol. 72#4 (2008) 自閉症・アスペルガー症候群・LD・ADHD 母子保健事	¥2,530
	Vol. 72#5 (2008) うつの時代 うつ病を改めて理解する	¥2,530
	Vol. 72#6 (2008) 若者を性感染症から守る	¥2,530
	Vol. 72#7 (2008) たばこ研究	¥2,530
	Vol. 72#8 (2008) 地域における医師職のあり方	¥2,530
	Vol. 72#9 (2008) 現代の貧困と健康	¥2,530
	Vol. 72#10 (2008) 揺らぐ食品への信頼	¥2,530
	Vol. 72#11 (2008) 日本の食を守れるか？	¥2,530
	Vol. 72#12 (2008) 地球温暖化対策−京都の約束	¥2,530
	Vol. 73#1 (2009) 健康食品をめぐって	¥2,530
	Vol. 73#2 (2009) 公衆衛生の人づくり・1 変わりゆく地域保健の人材育成	¥2,530
	Vol. 73#3 (2009) 公衆衛生の人づくり・2 専門性を支える公衆衛生人教	¥2,530
	Vol. 73#4 (2009) 介護予防 3年間の検証から	¥2,530
	Vol. 73#5 (2009) 自然毒食中毒	¥2,530
	Vol. 73#6 (2009) 地域精神保健・医療の今日的課題	¥2,530
	Vol. 73#7 (2009) 自治体中心の新たな健康政策 Health Impact Assessm	¥2,530
	Vol. 73#8 (2009) 超少子化と向き合う	¥2,530
	Vol. 73#9 (2009) 弱者への暴力	¥2,530
	Vol. 73#10 (2009) これからの予防接種	¥2,530
	Vol. 73#11 (2009) 薬物乱用	¥2,530
	Vol. 73#12 (2009) がん予防	¥2,530
	Vol. 74#1 (2010) 感染症再見	¥2,530
	Vol. 74#2 (2010) 現代の更年期	¥2,530
	Vol. 74#3 (2010) 公衆衛生再考	¥2,530
	Vol. 74#4 (2010) 環境リスク	¥2,530
	Vol. 74#5 (2010) 自然毒　刺傷・咬傷―野外危険生物	¥2,530
	Vol. 74#6 (2010) 肥満とやせ	¥2,530
	Vol. 74#7 (2010) 現場が求める保健師教育	¥2,530
品切	Vol. 74#8 (2010) 検証「パンデミックインフルエンザ2009」	¥2,530
	Vol. 74#9 (2010) 分子遺伝疫学	¥2,530
	Vol. 74#10 (2010) 母子保健をめぐる今日的課題	¥2,530
	Vol. 74#11 (2010) 再考：HIV/AIDS予防対策	¥2,530
	Vol. 74#12 (2010) 救急医療を救う	¥2,530
	Vol. 75#1 (2011) ヒトと家畜・ペット・野生動物の感染症―口蹄疫から学	¥2,530
	Vol. 75#2 (2011) 医薬品・ワクチン開発をめぐる諸課題	¥2,530
	Vol. 75#3 (2011) 子どもを護る　社会的不利への介入と支援	¥2,530
	Vol. 75#4 (2011) 超高齢社会に備える	¥2,530
	Vol. 75#5 (2011) 基礎から学ぶ食品衛生	¥2,530
	Vol. 75#6 (2011) 基礎から学ぶ環境衛生	¥2,530
	Vol. 75#7 (2011) 健康危機兆候のモニタリング	¥2,530
	Vol. 75#8 (2011) 高齢者の事故	¥2,530
	Vol. 75#9 (2011) 分権型社会における公衆衛生の課題	¥2,530
	Vol. 75#10 (2011) 睡眠と健康	¥2,530
	Vol. 75#11 (2011) 放射線と向き合う	¥2,530
	Vol. 75#12 (2011) 広域・複合災害に備える 自治体の公衆衛生活動	¥2,530
	Vol. 76#1 (2012) 生食のリスク	¥2,640
	Vol. 76#2 (2012) セルフケアを支援する	¥2,640
	Vol. 76#3 (2012) アルコール関連問題	¥2,640
	Vol. 76#4 (2012) 地域医療の現状と将来展望	¥2,640
	Vol. 76#5 (2012) 高齢者の身近な疾患	¥2,640
	Vol. 76#6 (2012) 運動とは何か	¥2,640
	Vol. 76#7 (2012) 在宅医療・地域包括ケア	¥2,640
	Vol. 76#8 (2012) 国際感染症対策の現状と課題	¥2,640
	Vol. 76#9 (2012) 独居高齢者と健康	¥2,640
	Vol. 76#10 (2012) 糖尿病の今	¥2,640
	Vol. 76#11 (2012) スクリーニング その進化と課題	¥2,640
	Vol. 76#12 (2012) 原子力災害と公衆衛生	¥2,640

Vol. 77#1 (2013) 公衆衛生の危機	¥2,640
Vol. 77#2 (2013) 歯科口腔保健を巡る話題	¥2,640
Vol. 77#3 (2013) 慢性腎臓病～CKD	¥2,640
Vol. 77#4 (2013) 転換期の結核対策 医療と予防	¥2,640
Vol. 77#5 (2013) 若者の精神保健①	¥2,640
Vol. 77#6 (2013) 若者の精神保健②	¥2,640
Vol. 77#7 (2013) 医療安全のさらなる推進に向けて	¥2,640
Vol. 77#8 (2013) 血液事業のトピックス 身近な献血からiPS細胞の活用ま	¥2,640
Vol. 77#9 (2013) 衛生行政を担う人材 獣医師・薬剤師	¥2,640
Vol. 77#10 (2013) 日常生活とアレルギー	¥2,640
Vol. 77#11 (2013) 院内感染対策	¥2,640
Vol. 77#12 (2013) がん対策の強化	¥2,640
Vol. 78#1 (2014) 公衆衛生の原点を学ぶ　イギリスの挑戦	¥2,640
Vol. 78#2 (2014) 予防接種	¥2,640
Vol. 78#3 (2014) 出生前診断	¥2,640
Vol. 78#4 (2014) 自殺・自死対策	¥2,640
Vol. 78#5 (2014) NCD（非感染性疾患）対策	¥2,640
Vol. 78#6 (2014) 発達障害	¥2,640
Vol. 78#7 (2014) 行為への依存症　スマホ・ネット・ギャンブル	¥2,640
Vol. 78#8 (2014) 公害・環境問題の変貌と新展開	¥2,640
Vol. 78#9 (2014) 超高齢社会―大都市の高齢者支援の課題	¥2,640
Vol. 78#10 (2014) 認知症のケア	¥2,640
Vol. 78#11 (2014) 脳血管疾患最前線	¥2,640
Vol. 78#12 (2014) 医療・介護の制度改革	¥2,640
Vol. 79#1 (2015) 公衆衛生のリーダーシップ	¥2,640
Vol. 79#2 (2015) 女性の健康を考える	¥2,640
Vol. 79#3 (2015) 男性の健康を考える	¥2,640
Vol. 79#4 (2015) 危険ドラッグ対策	¥2,640
Vol. 79#5 (2015) 死因究明制度の現状と将来展望	¥2,640
Vol. 79#6 (2015) 熱中症	¥2,640
Vol. 79#7 (2015) 感染症の新たな脅威	¥2,640
Vol. 79#8 (2015) 公衆栄養への期待	¥2,640
Vol. 79#9 (2015) 医療情報の利活用	¥2,640
Vol. 79#10 (2015) たばこ対策	¥2,640
Vol. 79#11 (2015) 食品の安全と安心をめぐる話題	¥2,640
Vol. 79#12 (2015) 進めよう！ COPD対策	¥2,640
Vol. 80#1 (2016) 自治体行政と公衆衛生	¥2,640
Vol. 80#2 (2016) 子どもへのがん教育	¥2,640
Vol. 80#3 (2016) 心疾患最前線	¥2,640
Vol. 80#4 (2016) 産業保健のトピックス	¥2,640
Vol. 80#5 (2016) 専門医制度の確立と地域医療	¥2,640
Vol. 80#6 (2016) 難病対策	¥2,640
Vol. 80#7 (2016) 子どもの貧困と健康	¥2,640
Vol. 80#8 (2016) 地域包括ケアの進化	¥2,640
Vol. 80#9 (2016) 災害時の公衆衛生活動	¥2,640
Vol. 80#10 (2016) 包括的な糖尿病対策	¥2,640
Vol. 80#11 (2016) 精神保健医療福祉の改革	¥2,640
Vol. 80#12 (2016) 行政保健師の質の保証―卒後教育・CPD	¥2,640
Vol. 81#1 (2017) 歯科口腔保健の推進	¥2,640
Vol. 81#2 (2017) 人に死を招く動物―人・昆虫・寄生虫	¥2,640
Vol. 81#3 (2017) がん対策の加速化	¥2,640
Vol. 81#4 (2017) 原子力災害と公衆衛生―避難指示解除後の地域復興	¥2,640
Vol. 81#5 (2017) 眼の健康とQOL	¥2,640
Vol. 81#6 (2017) 食中毒の新たな課題	¥2,640
Vol. 81#7 (2017) 予防接種政策	¥2,640
Vol. 81#8 (2017) 衛生監視・指導行政の現状と課題	¥2,640
Vol. 81#9 (2017) アルコール健康障害対策の推進	¥2,640

	Vol. 81#10 (2017) 薬剤耐性(AMR)対策	¥2,640
	Vol. 81#11 (2017) 薬局・薬剤師の地域展開－コミュニティ・ファーマシー	¥2,640
	Vol. 81#12 (2017) 地球温暖化対策－2020年以降の新たな国際枠組み	¥2,640
	Vol. 82#1 (2018) 感染症に関するサーベイランス	¥2,640
	Vol. 82#2 (2018)「早期発見」をめぐる課題	¥2,640
品切	Vol. 82#3 (2018) 地域保健法20年	¥2,640
	Vol. 82#4 (2018) 地方自治体と公衆衛生－総合性と専門性の確保	¥2,640
	Vol. 82#5 (2018) 発達障害者支援の到達点－新しい支援の枠組みを考	¥2,640
	Vol. 82#6 (2018) 聴覚障害の早期発見と支援体制	¥2,640
	Vol. 82#7 (2018) 脳性麻痺と産科医療補償制度	¥2,640
	Vol. 82#8 (2018) アレルギー疾患対策	¥2,640
	Vol. 82#9 (2018) 日本におけるWHO協力センター	¥2,640
	Vol. 82#10 (2018) 子ども政策の総合化・包括化	¥2,640
	Vol. 82#11 (2018)「放射線リテラシー」をめぐる課題	¥2,640
	Vol. 82#12 (2018) 公衆衛生活動と疫学	¥2,640
	Vol. 83#1 (2019) 人獣共通感染症－獣医衛生領域から見た対策	¥2,640
	Vol. 83#2 (2019) インバウンドと在留外国人－その増加と諸課題	¥2,640
	Vol. 83#3 (2019) 公衆衛生の実践倫理	¥2,640
	Vol. 83#4 (2019) 企業経営と公衆衛生の接点	¥2,640
	Vol. 83#5 (2019) 循環器疾患を予防する	¥2,640
	Vol. 83#6 (2019) 学校における子どもの健康課題	¥2,640
	Vol. 83#7 (2019) SDGsと地域の公衆衛生活動	¥2,640
	Vol. 83#8 (2019) 新型たばこ－健康影響と規制のあり方	¥2,640
	Vol. 83#9 (2019) ヘルスサービスリサーチ－サービスの効率と質の向上	¥2,640
	Vol. 83#10 (2019) 摂食障害の理解と対応	¥2,640
	Vol. 83#11 (2019) 歯科口腔保健をどう進めるか	¥2,640
	Vol. 83#12 (2019) 栄養と健康　糖質制限食を中心に	¥2,640
	Vol. 84#1 (2020年1月) データヘルスの活用－公衆衛生活動に生かす	¥2,640
	Vol. 84#2 (2020年2月) 保健医療サービスの経済評価－費用対効果評	¥2,640
	Vol. 84#3 (2020年3月) がん検診－見えてきた問題にどう取り組む？	¥2,640
	Vol. 84#4 (2020年4月) ゲノム革命－予防・医療のイノベーション	¥2,640
	Vol. 84#5 (2020年5月) 徹底解説 東京2020対策－今こそ！マスギャザリ	¥2,640
	Vol. 84#6 (2020年6月) 次代の公衆衛生を展望する	¥2,640
	Vol. 84#7 (2020年7月) 認定専門家・専門医になる！－どうやって？役に	¥2,640
	Vol. 84#8 (2020年8月) 統括保健師の役割－環境をつくる、人材を育て	¥2,640
	Vol. 84#9 (2020年9月) スマホ・ネット・ゲーム依存対策－子ども・若者を	¥2,640
	Vol. 84#10 (2020年10月) SNSで防ぐ災害関連死－「Society 5.0」時代の	¥2,640
	Vol. 84#11 (2020年11月) 日本型MPH教育の軌跡と展望－公衆衛生専	¥2,640
	Vol. 84#12 (2020年12月) 2030年に向けたHIV/AIDS対策	¥2,640
	Vol. 85#1 (2021年1月) 病気の治療と仕事の両立支援－キャリアをあきら	¥2,640
	Vol. 85#2 (2021年2月) 飲料水の安全と安心の確保	¥2,640
	Vol. 85#3 (2021年3月) コロナ時代の自殺対策	¥2,640
	Vol. 85#4 (2021年4月) 感染症法施行20年の歩みと到達点－COVID-19	¥2,640
	Vol. 85#5 (2021年5月) 多様化する環境問題に挑む－ポストコロナ、気候	¥2,640
	Vol. 85#6 (2021年6月) COVID-19が流行しない社会を目指す－社会医	¥2,640
	Vol. 85#7 (2021年7月) 健康的な住まいが欲しい！－暮らしやすくて、寿	¥2,640
	Vol. 85#8 (2021年8月) 高齢者の低栄養予防・フレイル予防	¥2,640
	Vol. 85#9 (2021年9月) 児童虐待予防に求められる医療・保健の役割－	¥2,640

※上記以外は医学書院 販売部

品切 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

456	**喉頭（日本喉頭科学会）**		
	Vol. 1-3 (1989-1991) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 5-6 (1993-1994) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 8-9 (1996-1997) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 10#1 (1998)		¥4,400
	Vol. 11-13 (1999-2001) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 14#1 (2002)		¥4,400
	Vol. 15#1-2 (2003)	各号	¥4,400
	Vol. 16#1 (2004)		¥4,400
	Vol. 17-27 (2005-2015) 各1-2号	各号	¥4,400
457	**骨粗鬆症治療（先端医学社）**		
	Vol. 8#1-4 (2009)	各号	¥2,200
458	**骨代謝（日本骨代謝学会）**		
	Vol. 1#1 (1967)		¥2,200
	Vol. 2#1 (1968)		¥2,200
	Vol. 3#1 (1970)		¥2,200
	Vol. 4#1 (1971)		¥2,200
	Vol. 5#1-2 (1971/72)	各号	¥2,200
	Vol. 6#1 (1972)		¥2,200
	Vol. 7#1-2 (1973/74)	各号	¥2,200
	Vol. 8#1-2 (1974/75)	各号	¥2,200
	Vol. 9#1 (1976)		¥2,200
	Vol. 10#1 (1977)		¥2,200
	Vol. 11#1 (1978)		¥2,200
	Vol. 12#1 (1979)		¥2,200
	Vol. 13#1 (1980)		¥2,200
	Vol. 14#1-4 (1981)	各号	¥2,200
	Vol. 15#1-4 (1982)	各号	¥2,200
	Vol. 14 抄録号 (1981)		¥3,300
	Vol. 15 抄録号 (1982)		¥3,300
	[日本骨代謝学会雑誌 Vol. 1 (1983) へ続く]		
459	**骨転移-病態・診断・治療**		
	Vol. 13-17 (1995-2001/2002) 各1号	各号	¥3,300
460	**教授学習心理学研究（日本教授学習心理学会）**		
	Vol. 1-7 (2005-2011) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 8#1 (2012)		¥3,300
461	**教育学研究（日本教育学会）**		
	Vol. 20#4,6 (1953); 22#1-6; 23#2,3; 24#2,4-6; 25#1-6 (1955-1958)	各号	¥2,750
	Vol. 26-35 (1959-1968) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 37-60 (1970-1993) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 78#1-4 (2011)	各号	¥2,750
462	**教育医学（日本教育医学会）**		
	Vol. 24-32 (1978-1987) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 34-37 (1988-1992) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 38#1-5 (1992/1993)	各号	¥2,200
	Vol. 39-44 (1993-1999) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 45-49 (1999-2004) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 50#1-4 (2004/2005)	各号	¥2,200
	Vol. 51#1,2 (2005/2006)	各号	¥2,200
	Vol. 54#1-4 (2008/2009)	各号	¥2,200

463	**教育と医学 (教育と医学の会)**		
	Vol. 55#1-10,12 (2007)	各号	¥755
	Vol. 56#1-8 (2008)	各号	¥755
	Vol. 57#1-12 (2009)	各号	¥755
464	**救急・集中治療 (総合医学社)**		
	Vol. 13-14 (2001-2002) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 15#1,2,4-9,11; 16#1-10,12; 17#1,2,6,8-10 (2003-2005)	各号	¥2,750
	Vol. 18#1/2,3/4,9/10,11/12; 19#3/4,5/6,9/10; 20#3/4,5/6(2006-2008	各冊	¥6,160
	Vol. 21#1/2,3/4,9/10,11/12 (2009)	各冊	¥6,160
	Vol. 18#5/6; 20#7/8,9/10 (2006,2008)	各冊	¥7,150
	Vol. 18#7/8; 19#1/2 (2006-2007)	各冊	¥6,820
	Vol. 20#1/2; 21#5/6 (2007-2009)	各冊	¥6,600
	Vol. 20#11/12 (2008)		¥6,380
465	**LD研究 (日本LD学会)**		
	Vol. 12#2,3 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 13#1,2 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 14#1,3 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 15-19 (2006-2010) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 20#1 (2011)		¥3,300
466	**The Lipid (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 19-22 (2008-2011) 各1-4号	各号	¥2,530
	Vol. 24-27 (2013-2016) 各1-4号	各号	¥2,530
467	**LiSA 周術期管理を核とした総合誌 リサ (メディカル・サイエンス・インターナショナル)**		
	Vol. 23#1-12 (2016)	各号	¥2,420
	Vol. 23#別冊 (2016)		¥4,180
	Vol. 24#1-12 (2017)	各号	¥2,420
	Vol. 24#別冊 (2017)		¥4,180
	Vol. 25#1-12 (2018)	各号	¥2,530
	Vol. 25#別冊春号 (2018)		¥3,850
	Vol. 25#別冊秋号 (2018)		¥4,950
	Vol. 26#1-6 (2019)	各号	¥2,530
	Vol. 26#別冊春号 (2019)		¥3,850
468	**Liver Cancer (癌と化学療法社)**		
	Vol. 4#2 (1998)		¥3,300
	Vol. 5-9 (1999-2003) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 15#1,2 (2009) 各1-2号	各号	¥3,300
469	**慢性疼痛 (日本慢性疼痛学会)**		
	Vol. 14,15,17 (1995-1998) 各1号	各号	¥4,191
	Vol. 22,24,25,26 (2003-2007) 各1号	各号	¥4,191
470	**マンガ研究 (日本マンガ学会)**		
	Vol. 8-17 (2005-2011)	各号	¥1,980
471	**マルチェッロ　マルピーギ　マルピーギ全著作集　ロンドン 1686年版**		
	Malpighii Marcelli Philofophi & Medici Bononienfis, e Regia Societate Opera Omnia, Figuris elegantiffimis in aes incifis Illustrata Londini 1686 Bound Reprint 574 page Saikon Publishing Tokyo 1979		¥55,000
472	**麻酔 (克誠堂出版)**		
	Vol. 58#1-12 (2009)	各号	¥2,860

473	**まてりあ 日本金属学会会報（日本金属学会）**		
	Vol. 39-44 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 45#1,2,5-12 (2006)	各号	¥2,750
474	**Mebio メビオ Graphic Medical Magazine（メジカルビュー社）**		
	Vol. 22-24 (2005-2007) 各1-12号	各号	¥2,640
475	**Medical Practice M.P.(文光堂)**		
	Vol. 22#1-6,8-11; 23#1-12; 24#1-4,6,8-12 (2005-2007)	各号	¥2,640
	Vol. 25-26 (2008-2009) 各1-12号	各号	¥2,640
	Vol. 26#臨時増刊号 (2009)		¥8,800

476 Medicina メディチーナ（医学書院）

	Vol. 10#9-11,13 (1973)	各号	¥2,530
	Vol. 11#1,3-12 (1974)	各号	¥2,530
	Vol. 12#1-3,5,6,9-13 (1975)	各号	¥2,530
	Vol. 13#1-4,6-8,10,11,13 (1976)	各号	¥2,530
	Vol. 14#1-11,13 (1977)	各号	¥2,530
	Vol. 15#1-3,5,6,8-11,13 (1978)	各号	¥2,530
	Vol. 16#1-9,12,13 (1979)	各号	¥2,530
	Vol. 17#1-11,13 (1980)	各号	¥2,530
	Vol. 18#1-11,13 (1981)	各号	¥2,530
	Vol. 19#1-11,13 (1982)	各号	¥2,530
	Vol. 19#12 (1982)		¥7,920
	Vol. 20#1-11,13 (1983)	各号	¥2,530
	Vol. 21#1-11,13 (1984)	各号	¥2,530
	Vol. 22#1-11 (1985)	各号	¥2,530
	Vol. 23#1-7,10-12 (1986)	各号	¥2,530
	Vol. 24#1-9,11-13 (1987)	各号	¥2,530
	Vol. 25#1-9,11-13 (1988)	各号	¥2,530
	Vol. 25#10 (1988)		¥7,920
	Vol. 26#1-9,11-13 (1989)	各号	¥2,530
	Vol. 26#10 (1989)		¥7,920
	Vol. 27#1-9,11-13 (1990)	各号	¥2,530
	Vol. 27#10 (1990) 増刊号 内科ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰと救急手技		¥7,920
	Vol. 28#1-10,12,13 (1991)	各号	¥2,530
	Vol. 28#11 (1991) 増刊号 わかりやすいｴｺｰの臨床		¥7,920
	Vol. 29#1-10,12,13 (1992)	各号	¥2,530
	Vol. 29#11 (1992) 増刊号 図解 診療基本手技 第2集		¥7,920
	Vol. 30#1-9,11-13 (1993)	各号	¥2,530
	Vol. 30#10 (1993) 増刊号 これだけは知っておきたいX線写真		¥7,920
	Vol. 31#1-10,12,13 (1994)	各号	¥2,530
	Vol. 31#11 (1994) 増刊号これだけは知っておきたい検査のポイント		¥7,920
	Vol. 32#1 (1995) 消化器疾患の画像診断		¥2,530
	Vol. 32#2 (1995) 小児疾患とｷｬﾘｰｵｰﾊﾞｰ診療		¥2,530
	Vol. 32#3 (1995) 免疫学の理解とその臨床		¥2,530
品切	Vol. 32#4 (1995) 脂質代謝と動脈硬化		¥2,530
	Vol. 32#5 (1995) 不整脈診療のための心電図の見方		¥2,530
	Vol. 32#6 (1995) 内科臨床における心身医療		¥2,530
	Vol. 32#7 (1995) 高齢者医療の新しい視点		¥2,530
	Vol. 32#8 (1995) 急性心筋梗塞Q&A		¥2,530
	Vol. 32#9 (1995) 呼吸器疾患の画像診断		¥2,530
	Vol. 32#10 (1995) 見えてきた腎疾患		¥2,530
	Vol. 32#11 (1995) 脳卒中		¥2,530
	Vol. 32#12 (1995) 増刊号 Common Diseases 200の治療戦略		¥7,920
	Vol. 32#13 (1995) 慢性関節ﾘｳﾏﾁとﾘｳﾏﾁ周辺疾患		¥2,530
	Vol. 33#1 (1996) 抗生物質をどう使うか		¥2,530
	Vol. 33#2 (1996) 糖尿病臨床の最先端		¥2,530
	Vol. 33#3 (1996) 肝疾患Q&A		¥2,530
	Vol. 33#4 (1996) 皮膚科から内科医へのｱﾄﾞﾊﾞｲｽ		¥2,530
	Vol. 33#5 (1996) 心不全を見直す		¥2,530
	Vol. 33#6 (1996) 内科医のためのInterventional Radiology		¥2,530
	Vol. 33#7 (1996) 血栓症とDIC		¥2,530
	Vol. 33#8 (1996) 炎症性腸疾患治療のｼﾞｬｲｱﾝﾄ・ｽﾃｯﾌﾟ		¥2,530
	Vol. 33#9 (1996) ﾚﾃﾞｨｰｽｸﾘﾆｯｸ		¥2,530
	Vol. 33#10 (1996) 内科医のための痴呆の最新知識		¥2,530
	Vol. 33#11 (1996) 心ｴｺｰToday		¥2,530

Vol. 33#12 (1996) 増刊号 Common Drugs 350の投与戦略	¥7,920
Vol. 33#13 (1996) 内分泌疾患の検査	¥2,530
Vol. 34#1 (1997) 臓器感染症へのｱﾌﾟﾛｰﾁ	¥2,200
Vol. 34#2 (1997) ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患の最近の考え方と治療	¥2,200
Vol. 34#3 (1997) 消化器疾患の低侵襲治療手技	¥2,200
Vol. 34#4 (1997) 高血圧の治療-新しい時代を迎えて	¥2,200
Vol. 34#5 (1997) 日常臨床にみる水・電解質と酸塩基平衡	¥2,200
Vol. 34#6 (1997) 白血病-日常の診療に必要な知識	¥2,200
Vol. 34#7 (1997) 頭痛とめまいの外来診療	¥2,200
Vol. 34#8 (1997) 循環器薬の使い方 1997	¥2,200
Vol. 34#9 (1997) 外来診療でここまでできる	¥2,200
Vol. 34#10 (1997) 肺炎と肺臓炎	¥2,200
Vol. 34#11 (1997) 増刊号 内科医のMRIとのつきあいかた	¥7,645
Vol. 34#12 (1997) 臨床医のための遺伝子工学	¥2,200
Vol. 34#13 (1997) 脳卒中ﾌﾟﾗｸﾃｨｽ	¥2,200
Vol. 35#1 (1998) 自己免疫性感疾患のNew Wave	¥2,310
Vol. 35#2 (1998) 経静脈・経腸栄養療法のｽﾄﾗﾃｼﾞｰ	¥2,310
Vol. 35#3 (1998) 内科医に必要な癌のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	¥2,310
Vol. 35#4 (1998) 狭心症-日常臨床へのExpertise	¥2,310
Vol. 35#5 (1998) 内科医がよく遭遇する血管疾患	¥2,310
Vol. 35#6 (1998) ｶﾙｼｳﾑ・骨代謝異常症と骨粗鬆症	¥2,310
Vol. 35#7 (1998) 腎・尿路系の問題とﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	¥2,310
Vol. 35#8 (1998) 循環器疾患の低侵襲治療	¥2,310
Vol. 35#9 (1998) 腹部ｴｺｰToday	¥2,310
Vol. 35#10 (1998) 膠原病・ﾘｳﾏﾁ性疾患	¥2,310
Vol. 35#11 (1998) 増刊号 内科ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰと救急手技	¥7,920
Vol. 35#12 (1998) 糖尿病の患者を受け持ったら	¥2,310
Vol. 35#13 (1998) 内科evidenceは果たしてあるのか	¥2,310
Vol. 36#1 (1999) 抗菌薬の適切な使い方	¥2,420
Vol. 36#2 (1999) 肝疾患診療1999	¥2,420
Vol. 36#3 (1999) 高脂結晶と動脈硬化	¥2,420
Vol. 36#4 (1999) 検査異常から考える血液疾患	¥2,420
Vol. 36#5 (1999) 高齢者医療-現状と展望	¥2,420
Vol. 36#6 (1999) 慢性呼吸不全に必要な基礎知識	¥2,420
Vol. 36#7 (1999) 不整脈患者のマネジメント	¥2,420
Vol. 36#8 (1999) ニューロパチーとミオパチー	¥2,420
Vol. 36#9 (1999) 下痢と便秘	¥2,420
Vol. 36#10 (1999) 見逃しやすい内分泌疾患	¥2,420
Vol. 36#11 (1999) 増刊号　これだけは　検査のポイント	¥8,030
Vol. 36#12 (1999) 内科医のためのCT	¥2,420
Vol. 36#13 (1999) Evidenceに基づいた内科疾患の予防	¥2,420
Vol. 37#1 (2000) 急性冠症候群	¥2,530
Vol. 37#2 (2000) アレルギー診断の実際	¥2,530
Vol. 37#3 (2000) 高血圧の診療-新しい話題	¥2,530
Vol. 37#4 (2000) 内科医のための皮膚所見の見方	¥2,530
Vol. 37#5 (2000) 血栓症と抗血栓薬	¥2,530
Vol. 37#6 (2000) 症例から学ぶ水電解質・酸塩基平衡異常	¥2,530
Vol. 37#7 (2000) ブレイン アタック　Brain attack	¥2,530
Vol. 37#8 (2000) 循環器薬の使い方2000	¥2,530
Vol. 37#9 (2000)「考える」診断学-病歴と診断のEBM	¥2,530
Vol. 37#10 (2000) 肺炎-市中感染と院内感染	¥2,530
Vol. 37#11 (2000) 増刊号　臨床医のための最新エコー法	¥8,250
Vol. 37#12 (2000) 消火器薬の使い方2001	¥2,530
Vol. 37#13 (2000) 糖尿病と合併症へのアプローチ	¥2,530
Vol. 38#1 (2001) 抗菌薬マネジメント-細菌感染症治療の基礎と実践	¥2,530
Vol. 38#2 (2001) Hematological malignancy	¥2,530
Vol. 38#3 (2001) 内科医が診るリウマチ	¥2,530

	Vol. 38#4 (2001) Geriatrics-高齢者のQOLをみる医療	¥2,530
	Vol. 38#5 (2001) 動きながら考える 内科エマージェンシー	¥2,530
	Vol. 38#6 (2001) 臨床に活かす免疫学	¥2,530
	Vol. 38#7 (2001) 内科医が知っておきたい 外科的治療のUpdate	¥2,530
	Vol. 38#8 (2001) Cognitive Disorder-内科医が知っておくべき認知機能	¥2,530
	Vol. 38#9 (2001) 内科医ができる癌患者への対応	¥2,530
	Vol. 38#10 (2001) 新しい概念に基づいた慢性心不全診療	¥2,530
品切	Vol. 38#11 (2001) 増刊号 CT・MRIアトラス 正常解剖と読影のポイント	¥8,250
	Vol. 38#12 (2001) 腎・尿路系疾患を診る	¥2,530
	Vol. 38#13 (2001) 内科医のための レディース・クリニックII	¥2,530
	Vol. 39#1 (2002) 呼吸器薬の使い方2002	¥2,530
	Vol. 39#2 (2002) 臨床栄養Update	¥2,530
	Vol. 39#3 (2002) わかりやすいゲノム・再生医療の基礎・現状・展望	¥2,530
	Vol. 39#4 (2002) 動脈硬化と高脂血症	¥2,530
	Vol. 39#5 (2002) 腸疾患診療のノウハウ	¥2,530
	Vol. 39#6 (2002) 頭痛とめまい	¥2,530
	Vol. 39#7 (2002) わかりやすい不整脈診療	¥2,530
	Vol. 39#8 (2002) 内分泌疾患の拾い上げとマネジメント	¥2,530
	Vol. 39#9 (2002) 内科医に必要な血管疾患診療の知識	¥2,530
品切	Vol. 39#10 (2002) 一般医も診なければならないB型・C型肝炎	¥2,530
	Vol. 39#11 (2002) 増刊号 内科医が使う薬の副作用・相互作用	¥7,480
品切	Vol. 39#12 (2002) 画像でせまる呼吸器疾患	¥2,530
	Vol. 39#13 (2002) 内科臨床における''こころ''と''からだ''	¥2,530
	Vol. 40#1 (2003) 内科医と虚血性心疾患	¥2,530
	Vol. 40#2 (2003) 臓器感染と抗菌薬のえらび方	¥2,530
	Vol. 40#3 (2003) 糖尿病にどう対処するか	¥2,530
	Vol. 40#4 (2003) 緊急時に画像診断を使いこなす	¥2,530
	Vol. 40#5 (2003) 一般医も診る血液疾患	¥2,530
	Vol. 40#6 (2003) 内科医のための皮膚科的スキル	¥2,530
品切	Vol. 40#7 (2003) ブレイン アタック超急性期から維持期まで	¥2,530
	Vol. 40#8 (2003) 循環器薬の使い方2003	¥2,530
	Vol. 40#9 (2003) 消化器疾患のエビデンスとエキスパート・オピニオン	¥2,530
	Vol. 40#10 (2003) 前期高齢者・後期高齢者を診る	¥2,530
	Vol. 40#11 (2003) 水・電解質と輸液	¥2,530
	Vol. 40#12 (2003) 増刊号臨床研修 コアスキル	¥7,700
	Vol. 40#13 (2003) 肺炎	¥2,530
	Vol. 41#1 (2004) 高血圧診療のエビデンスと個別的治療 主治医の役割	¥2,530
	Vol. 41#2 (2004) 腹部疾患をエコーで診る	¥2,530
	Vol. 41#3 (2004) アレルギー診療Update	¥2,530
	Vol. 41#4 (2004) 内科コモンプロブレム	¥2,530
	Vol. 41#5 (2004) 臨床行動に結びつく検査戦略	¥2,530
	Vol. 41#6 (2004) 血栓症の予防と治療	¥2,530
	Vol. 41#7 (2004) 臨床医のための呼吸調節と障害	¥2,530
	Vol. 41#8 (2004) 内科医が診るしびれと痛み	¥2,530
	Vol. 41#9 (2004) 内科レッド・フラッグサイン よくある症候から危険を見抜	¥2,530
	Vol. 41#10 (2004) 肝疾患の疑問に答える―研修医と内科医のために	¥2,530
	Vol. 41#11 (2004) 慢性心不全を最近の知見から整理する－病態生理か	¥2,530
	Vol. 41#12 (2004) 増刊号 臨床医必携　単純X線写真の読み方・使い方	¥7,920
	Vol. 41#13 (2004) ミネラルと骨代謝異常と骨粗鬆症	¥2,530
	Vol. 42#1 (2005) 日常診療で診るGERD(胃食道逆流症)	¥2,530
	Vol. 42#2 (2005) 肥満症―診断・治療の新展開	¥2,530
	Vol. 42#3 (2005) Digital時代の脳神経画像診断	¥2,530
	Vol. 42#4 (2005) これだけは知っておきたい不整脈の診かたと治療のポ	¥2,530
	Vol. 42#5 (2005) 内科医が診る関節リウマチ	¥2,530
	Vol. 42#6 (2005) 内科emergency―爆弾を踏まない！	¥2,530
	Vol. 42#7 (2005) 臨床で出遭う内分泌疾患	¥2,530
	Vol. 42#8 (2005) 胆膵疾患はこう診る―緊急処置からフォローアップまで	¥2,530

	Vol. 42#9 (2005) アルコールと内科疾患	¥2,530
	Vol. 42#10 (2005) これだけは知っておきたい呼吸器薬の使い方	¥2,530
	Vol. 42#11 (2005) 内科医が知っておくべき がん治療	¥2,530
	Vol. 42#12 (2005) 増刊号 これだけは検査のポイント第7集	¥7,920
	Vol. 42#13 (2005) 急性冠症候群へのアプローチ	¥2,530
	Vol. 43#1 (2006) 糖尿病の臨床-基礎知識を実践に生かす	¥2,530
	Vol. 43#2 (2006) ブレインアタック2006- t-PA時代の診断と治療	¥2,530
	Vol. 43#3 (2006) 腎・尿路疾患・一般診療から専門診療へ	¥2,530
品切	Vol. 43#4 (2006) 抗菌薬を使いこなそう!-実地臨床での正しい選択と投	¥2,530
	Vol. 43#5 (2006) 経静脈・経腸栄養―プランニングとその実践	¥2,530
	Vol. 43#6 (2006) ベッドサイドの免疫学-免疫疾患に強くなるために	¥2,530
	Vol. 43#7 (2006) 血液腫瘍はどこまで治し得るのか	¥2,530
	Vol. 43#8 (2006) 消化器内視鏡治療の現在	¥2,530
	Vol. 43#9 (2006) 循環器薬の使い方2006	¥2,530
	Vol. 43#10 (2006) 皮膚から見つける内科疾患	¥2,530
	Vol. 43#11 (2006) 頭痛治療の疑問を解決する	¥2,530
	Vol. 43#12 (2006) 増刊号 Common Diseaseインストラクションマニュアル-	¥7,920
	Vol. 43#13 (2006) 理解しよう!下痢と便秘	¥2,530
	Vol. 44#1 (2007) 高血圧の臨床	¥2,530
	Vol. 44#2 (2007) 症例からみる肺疾患のCT画像	¥2,530
品切	Vol. 44#3 (2007) 日常診療・当直のための酸塩基平衡、水・電解質、輸	¥2,530
	Vol. 44#4 (2007) 内科エマージェンシー2007鬼門を克服する	¥2,530
	Vol. 44#5 (2007) ウイルス肝炎 実地診療A to Z	¥2,530
	Vol. 44#6 (2007) 認知症のプライマリケア	¥2,530
	Vol. 44#7 (2007) 内科医が診る睡眠障害	¥2,530
	Vol. 44#8 (2007) 動脈硬化のトータルマネジメント	¥2,530
	Vol. 44#9 (2007) 消化器薬の使い方Update	¥2,530
	Vol. 44#10 (2007) 最新ガイドラインに基づく喘息とCOPDの診療	¥2,530
	Vol. 44#11 (2007) 内科臨床に役立つ心療内科的アプローチ	¥2,530
	Vol. 44#12 (2007) 増刊号 一般医のためのエコー活用法	¥7,920
	Vol. 44#13 (2007) 内科外科でみるウィメンズ・ヘルス	¥2,530
品切	Vol. 45#1 (2008) 膠原病・関節リウマチの早期診断・早期治療	¥2,640
	Vol. 45#2 (2008) しびれと痛み	¥2,640
	Vol. 45#3 (2008) 内科医が診る骨粗鬆症	¥2,640
	Vol. 45#4 (2008) 一般内科医が診る循環器疾患	¥2,640
	Vol. 45#5 (2008) 炎症性腸疾患と機能性腸疾患	¥2,640
	Vol. 45#6 (2008) 実践！ 糖尿病診療	¥2,640
	Vol. 45#7 (2008) 主治医として診る後期高齢者	¥2,640
	Vol. 45#8 (2008) 内科医のためのがん診療Update	¥2,640
	Vol. 45#9 (2008) Multiple problemsの治療戦略	¥2,640
	Vol. 45#10 (2008) 内科の基本 肺炎をきわめる	¥2,640
品切	Vol. 45#11 (2008) 浮腫をどう診るか	¥2,640
	Vol. 45#12 (2008) 抹消血検査異常	¥2,640
	Vol. 45#13 (2008) 増刊号 目でみる診療基本手技	¥7,920
	Vol. 46#1 (2009) 循環器薬の使い方2009	¥2,640
	Vol. 46#2 (2009) 訴え・症状から考える神経所見のとり方	¥2,640
	Vol. 46#3 (2009) 膵炎のマネジメント-急性膵炎・慢性膵炎・自己免疫性	¥2,640
	Vol. 46#4 (2009) 苦手感染症の克服	¥2,640
	Vol. 46#5 (2009) 肺血栓塞栓症	¥2,640
	Vol. 46#6 (2009) 内分泌疾患を診るこつ	¥2,640
	Vol. 46#7 (2009) 一般内科診療に役立つ消化器内視鏡ガイド	¥2,640
	Vol. 46#8 (2009) 心不全の個別診療	¥2,640
品切	Vol. 46#9 (2009) 内科医のためのクリニカル・パール	¥2,640
	Vol. 46#10 (2009) 一般内科診療における呼吸器薬の使い方	¥2,640
	Vol. 46#11 (2009) 脳卒中の征圧をめざして	¥2,640
	Vol. 46#12 (2009) 増刊号 CT・MRIアトラスUpdate	¥7,920
	Vol. 46#13 (2009) 腎臓病診療のエッセンス	¥2,640

	Vol. 47#1 (2010) ズバリ！見えてくる不整脈	¥2,640
	Vol. 47#2 (2010) アレルギー患者を疑ったら、こう診る！	¥2,640
	Vol. 47#3 (2010) ウイルス肝炎	¥2,640
品切	Vol. 47#4 (2010) 抗菌薬の使い方を究める	¥2,640
	Vol. 47#5 (2010) ワンランク上の内科エマージェンシー	¥2,640
	Vol. 47#6 (2010) 酸塩基・電解質―日常で出くわす異常の診かた	¥2,640
	Vol. 47#7 (2010) 高血圧診療―わかっていること・わからないこと	¥2,640
	Vol. 47#8 (2010) 呼吸不全の診療	¥2,640
	Vol. 47#9 (2010) 虚血性心疾患	¥2,640
	Vol. 47#10 (2010) Helicobacter pylori	¥2,640
	Vol. 47#11 (2010) 増刊号 これだけは知っておきたい検査のポイント第8	¥7,920
	Vol. 47#12 (2010) 糖尿病診療Update―いま何が変わりつつあるのか	¥2,640
	Vol. 47#13 (2010) これ血液悪性疾患？自分の守備範囲？―非専門医	¥2,640
	Vol. 48#1 (2011) 皮膚から内科疾患を疑う	¥2,640
	Vol. 48#2 (2011) 関節リウマチを疑ったら	¥2,640
	Vol. 48#3 (2011) 臨床栄養Update2011	¥2,640
	Vol. 48#4 (2011) 緊急画像トラブルシューティング―内科医のためのPear	¥2,640
	Vol. 48#5 (2011) 脂質異常症―動脈硬化症を予防するためのStrategy	¥2,640
	Vol. 48#6 (2011) 睡眠呼吸障害の克服―内科医が知っておきたい病態・	¥2,640
	Vol. 48#7 (2011) 内科疾患の予防戦略	¥2,640
	Vol. 48#8 (2011) common diseaseの診かた―内科医のためのminimum re	¥2,640
	Vol. 48#9 (2011) 視ないで診る消化器疾患	¥2,640
	Vol. 48#10 (2011) 一般内科医がみる血液疾患	¥2,640
	Vol. 48#11 (2011) 増刊号 内科疾患インストラクションガイド	¥7,920
	Vol. 48#12 (2011) 内科診療に役立つメンズヘルス	¥2,640
	Vol. 48#13 (2011) ″がん診療″を内科医が担う時代	¥2,640
	Vol. 49#1 (2012) 外してならない循環器薬の使い方2012	¥2,750
	Vol. 49#2 (2012) 下痢と便秘	¥2,750
	Vol. 49#3 (2012) 内科医のための気管支喘息とCOPD診療	¥2,750
	Vol. 49#4 (2012) 神経内科エマージェンシー	¥2,750
	Vol. 49#5 (2012) 糖尿病治療薬2012	¥2,750
	Vol. 49#6 (2012) 新規経口抗凝固薬の光と影	¥2,750
	Vol. 49#7 (2012) 肝硬変update より良き診療のために	¥2,750
	Vol. 49#8 (2012) 痛風・高尿酸血症診療の新展開	¥2,750
	Vol. 49#9 (2012) 内科診断の本道―病歴と身体診察情報からどこまでわ	¥2,750
	Vol. 49#10 (2012) 外来・病棟でのプライマリケアに必要な感染症の知識	¥2,750
	Vol. 49#11 (2012) 増刊号 いま、内科薬はこう使う	¥7,920
	Vol. 49#12 (2012) 連携して診る腎疾患 タイムリーな紹介から患者マネジ	¥2,750
	Vol. 49#13 (2012) 急性心不全への挑戦	¥2,750
	Vol. 50#1 (2013) 進化し続ける内科診療 世界が認めたブレイクスルー	¥2,750
	Vol. 50#2 (2013) 大きく変貌した脳梗塞の診断と治療	¥2,750
	Vol. 50#3 (2013) 免疫反応と疾患	¥2,750
	Vol. 50#4 (2013) エマージェンシーの予兆を察知する―リスクを評価して	¥2,750
	Vol. 50#5 (2013) 胃食道逆流症(GERD) “胸焼け”を診療する	¥2,750
	Vol. 50#6 (2013) 最新の動脈硬化診療 どう診断し,どう治療するか?	¥2,750
	Vol. 50#7 (2013) “実践的”抗菌薬の使い方 その本質を理解する	¥2,750
	Vol. 50#8 (2013) 今日から役立つ高血圧診療のノウハウ	¥2,750
	Vol. 50#9 (2013) 内科医のためのクリニカル・パール2	¥2,750
	Vol. 50#10 (2013) 内分泌疾患に強くなる	¥2,750
	Vol. 50#11 (2013) 増刊号 内科診療にガイドラインを生かす	¥7,920
	Vol. 50#12 (2013) 新時代の肺炎診療	¥2,750
	Vol. 50#13 (2013) 不整脈の診断と治療―ポイントをおさえよう	¥2,750
	Vol. 51#1 (2014) 消化器薬―新時代の治療指針	¥2,750
	Vol. 51#2 (2014) 水・電解質管理と輸液	¥2,750
	Vol. 51#3 (2014) 非血液専門医のための血液診療	¥2,750
	Vol. 51#4 (2014) 虚血性心疾患 up to date	¥2,750
	Vol. 51#5 (2014) 内科医のための皮疹の診かたのロジック	¥2,750

	Vol. 51#6 (2014) 炎症性腸疾患攻略の手引きーこれだけは知っておきた	¥2,750
	Vol. 51#7 (2014) 神経診察　そのポイントと次の一手	¥2,750
	Vol. 51#8 (2014) 糖尿病患者を診る　治療と兼科のポイント	¥2,750
	Vol. 51#9 (2014) ここが知りたい循環器診療　パールとピットフォール	¥2,750
	Vol. 51#10 (2014) すぐ役に立つ　呼吸器薬の標準的使い方	¥2,750
	Vol. 51#11 (2014) 増刊号CT・MRIー“戦略的”活用ガイド	¥7,920
	Vol. 51#12 (2014) 関節リウマチ・膠原病 症例で学ぶ診断と治療	¥2,750
	Vol. 51#13 (2014) 最新情報をおさえる! 臨床栄養の活用ガイド	¥2,750
	Vol. 52#1 (2015) 循環器薬 up to date 2015	¥2,750
	Vol. 52#2 (2015) ウイルス肝炎の薬物治療　変わりゆく治療戦略	¥2,750
	Vol. 52#3 (2015) がんを診る	¥2,750
	Vol. 52#4 (2015) 増刊号 これだけは知っておきたい検査のポイントー第9	¥7,920
	Vol. 52#5 (2015) 救急疾患，重症はこうして見極める　いつまでもヤブと	¥2,750
	Vol. 52#6 (2015) 感染症診療　それ，ホント？	¥2,750
	Vol. 52#7 (2015) 心不全クロニクル　患者の人生に寄り添いながら診る	¥2,750
	Vol. 52#8 (2015) 自信がもてる頭痛診療	¥2,750
	Vol. 52#9 (2015) 外来で出会う呼吸器common疾患	¥2,750
	Vol. 52#10 (2015) 内科プライマリケアのための消化器診療Update	¥2,750
	Vol. 52#11 (2015) いまアレルギー外来がおもしろいー安全で効果の高い	¥2,750
	Vol. 52#12 (2015) 外来で診るリンパ腫・骨髄腫ー治癒または長期共存を	¥2,750
	Vol. 52#13 (2015) 抗血栓療法ーおさえておきたい最新のエッセンス	¥2,750
	Vol. 53#1 (2016) 糖尿病治療薬Updateー適正使用に向けて	¥2,750
	Vol. 53#2 (2016) 脳卒中はこう診るー新ガイドラインで何が変わったか	¥2,750
	Vol. 53#3 (2016) 内科医がになう骨粗鬆症ー診療と生活指導の最新情報	¥2,750
	Vol. 53#4 (2016) 増刊号 内科診断の道しるべーその症候、どう診る どう	¥7,920
	Vol. 53#5 (2016) 心電図を詠むー心に残る24症例から	¥2,750
	Vol. 53#6 (2016)　内科救急サバイバルブックー院内救急＆地域でのマネ	¥2,750
	Vol. 53#7 (2016) 抗菌薬の考え方、使い方ーホントのところを聞いてみま	¥2,750
	Vol. 53#8 (2016) 胸部画像診断ー症状や身体所見からのアプローチ	¥2,750
	Vol. 53#9 (2016) 誰も教えてくれなかったー慢性便秘の診かた	¥2,750
	Vol. 53#10 (2016) 超高齢時代の内科診療	¥2,750
	Vol. 53#11 (2016) 主治医として診る高血圧診療	¥2,750
	Vol. 53#12 (2016) どうする？ メンタルな問題ー精神症状に対して内科医	¥2,750
	Vol. 53#13 (2016) 内分泌疾患を診きわめる	¥2,750
	Vol. 54#1 (2017) 肺炎への最新アプローチージェネラリストの立場とスペ	¥2,860
	Vol. 54#2 (2017) おさらい腎疾患ー明日から役立つアプローチの基本	¥2,860
	Vol. 54#3 (2017) トリコになる不整脈ー診断と治療のすべて！	¥2,860
	Vol. 54#4 (2017) 増刊号 総合内科医の必修臨床問題182問	¥7,920
	Vol. 54#5 (2017) 症候別 すぐ役に立つ 救急画像診断 いつ撮る？ どう	¥2,860
	Vol. 54#6 (2017) プライマリ・ケア医のための消化器症候学	¥2,860
	Vol. 54#7 (2017) 外来診療必読エビデンスー日米比較で考える内科Stan	¥2,860
	Vol. 54#8 (2017) がん診療ー内科医が知りたい30のエッセンス	¥2,860
	Vol. 54#9 (2017) 皮膚疾患が治らない！ 皮膚科医が教える“次の一手”	¥2,860
	Vol. 54#10 (2017) 内科医のためのクリニカル・パール3	¥2,860
	Vol. 54#11 (2017) 自信をもって対応するー虚血性心疾患	¥2,860
	Vol. 54#12 (2017)　救急外来で役立つ！ーー意識障害の診かたー“あたま	¥2,860
品切	Vol. 54#13 (2017) 骨関節内科	¥2,860
	Vol. 55#1 (2018) 気管支喘息・COPD診療に強くなる	¥2,860
	Vol. 55#2 (2018) デキる内科医の神経内科コンサルト	¥2,860
	Vol. 55#3 (2018) クリニカル・クエスチョンで学ぶ 循環器薬の使い方	¥2,860
	Vol. 55#4 (2018) 増刊号 プライマリ・ケアでおさえておきたい 重要薬・頻	¥7,920
品切	Vol. 55#5 (2018) 明日のために解くべし！総合内科問題集	¥2,860
	Vol. 55#6 (2018) プロブレムから学ぶ感染症診療　すぐに役立つ厳選シ	¥2,860
	Vol. 55#7 (2018) ここさえ分かれば　輸液・水・電解質	¥2,860
	Vol. 55#8 (2018) 血液疾患を見逃さないために	¥2,860
	Vol. 55#9 (2018) もっともっとフィジカル！黒帯級の技とパール	¥2,860
	Vol. 55#10 (2018) クリティカル・ケアを極める	¥2,860

	Vol. 55#11 (2018) どんとこい！内科医が支える エンド・オブ・ライフ		¥2,860
	Vol. 55#12 (2018) 内科医のための「ちょいあて」エコー		¥2,860
	Vol. 55#13 (2018) これからの心不全診療への最新アプローチ		¥2,860
	Vol. 56#1 (2019) 枠組みとケースから考える 消化器薬の選び方・使い方		¥2,860
	Vol. 56#2 (2019) 抗血栓療法のジレンマ　予防すべきは血栓か、出血か		¥2,860
	Vol. 56#3 (2019) TPOで読み解く心電図		¥2,860
	Vol. 56#4 (2019) 増刊号 一人でも慌てない！「こんなときどうする？」の		¥7,920
	Vol. 56#5 (2019) しまった！日常診療のリアルから学ぶ エラー症例問題		¥2,860
	Vol. 56#6 (2019) 糖尿病診療の“Q”現場の疑問に答えます		¥2,860
	Vol. 56#7 (2019) 抗菌薬をアップデートせよ！		¥2,860
	Vol. 56#8 (2019) 一歩踏み込んだ 内科エマージェンシーのトリセツ		¥2,860
	Vol. 56#9 (2019) みんなが知っておきたい透析診療　透析のキホンと患		¥2,860
	Vol. 56#10 (2019) 脱・「とりあえずCT」！　スマートな腹痛診療		¥2,860
	Vol. 56#11 (2019) 不明熱を不明にしないために 実践から考えるケース		¥2,860
	Vol. 56#12 (2019) 内科医が押さえておくべき　検査の考えかたと落とし		¥2,860
	Vol. 56#13 (2019) プライマリ・ケアのための　ポリファーマシー「超」整理		¥2,860
	Vol. 57#1 (2020年1月) プライマリ・ケアでの呼吸器疾患の診かた、薬の		¥2,860
	Vol. 57#2 (2020年2月) 臨床に役立つ解剖・生理学		¥2,860
	Vol. 57#3 (2020年3月) 症状・治療歴から考える　薬の副作用の診断プロ		¥2,860
	Vol. 57#4 (2020年4月) 増刊号　早わかり診療ガイドライン100　エッセン		¥7,920
	Vol. 57#5 (2020年4月) デキル内科医のコンサルト　専門医が教える隠れ		¥2,860
品切	Vol. 57#6 (2020年5月) 教えて! 健診/検診“ホントのところ”エビデンスを		¥2,860
	Vol. 57#7 (2020年6月) 運動・スポーツ×内科－内科医に求められるスポ		¥2,860
	Vol. 57#8 (2020年7月) 真夏の診察室		¥2,860
	Vol. 57#9 (2020年8月) 患者満足度の高い便秘診療		¥2,860
	Vol. 57#10 (2020年9月) 循環器診療2020　どこまで攻めて、どこから引く		¥2,860
	Vol. 57#11 (2020年10月) 皮疹はこう見る、こう表現する		¥2,860
	Vol. 57#12 (2020年11月) 膠原病・自己免疫疾患を「見える化」する		¥2,860
	Vol. 57#12 (2020年12月) プライマリ・ケアにおける神経症候へのアプロ		¥2,860
	Vol. 58#1 (2021年1月) エキスパートに学ぶ　最新の循環器治療薬の使		¥2,860
	Vol. 58#2 (2021年2月) 外来で出会うアレルギー疾患　Total Allergist入		¥2,860
	Vol. 58#3 (2021年3月) いまさら聞けない！ 肝胆膵疾患　みなさんのギモ		¥2,860
	Vol. 58#5 (2021年4月) その考えはもう古い！最新・感染症診療		¥2,860
	Vol. 58#6 (2021年5月) デジタル内科学の勃興　オンライン診療、AI、治		¥2,860
	Vol. 58#7 (2021年6月) “のど・はな・みみ”の内科学		¥2,860
	Vol. 58#8 (2021年7月) ジェネラリスト・漢方　とっておきの漢方活用術		¥2,860
	Vol. 58#9 (2021年8月) 日常診療で内分泌疾患を見逃さない！		¥2,860
	Vol. 58#10 (2021年9月) 腎疾患－エキスパートへの質問で学ぶ診療の		¥2,860
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
477	**明治維新史研究（明治維新史学会）**		
	No. 3 (2006); 4 (2007); 5,6 (2009); 7 (2011)	各号	¥1,320
478	**明海歯科医学（明海歯科医学会）**		
	Vol. 35#1/2 (2006)		¥6,600
	Vol. 36#1,2 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 37#1,2 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 38#1,2 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 39#1,2 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 40#1,2 (2011)	各号	¥3,300
479	**明治鍼灸医学（明治鍼灸大学）**		
	No. 16-30,32,33,36 (1995-2005)	各号	¥3,300
480	**メタボリックシンドローム**		
	Vol. 2#1; 3#1; 4#1 (2005-2007)	各号	¥3,300

481	**Microbes and Environments (日本微生物生態学会)**		
	Vol. 11#3 (1996)		¥4,400
	Vol. 12-13 (1997-1998) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 14#1,4 (1999)	各号	¥4,400
	Vol. 15-19 (2000-2004) 各1-4号	各号	¥4,400
482	**Mineralogical Journal (日本鉱物学会)**		
	Vol. 1-7 (1953-1975)　各1-6号	各号	¥1,870
	Vol. 8-17 (1975-1995)　各1-8号	各号	¥1,870
	Vol. 18-21 (1996-1999)　各1-4号	各号	¥1,870
483	**木材学会誌 (日本木材学会)**		
	Vol. 18-24 (1972-1978) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 25#8,9 (1979)	各号	¥1,650
	Vol. 26-30 (1980-1984) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 31#1-4,8-12 (1985)	各号	¥1,650
	Vol. 32-43 (1986-1997) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 44-48 (1998-2002) 各1-6号	各号	¥1,650
	Vol. 49#1-3,6 (2003); 50#1,2 (2004)	各号	¥1,650
484	**Monthly Book Derma. デルマ (全日本病院出版会)**		
	No. 30 (1999)		¥2,619
	No. 95 (2004)		¥2,619
	No. 102,103,105,108 (2005)	各号	¥2,619
	No. 112,115,120 (2006)	各号	¥2,619
	No. 125 (2007)	各号	¥2,640

485 Monthly Book Orthopaedics オルソペディクス（全日本病院出版会）

	Vol. 1#1-8 (1988)	各号	¥2,200
	Vol. 2#9-20 (1989)	各号	¥2,200
	Vol. 3#21-32 (1990)	各号	¥2,200
	Vol. 4#33,34,36-45 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 4#35 (1991) 最新薬物療法マニュアル		¥5,169
	Vol. 5#1-10,12,13 (1992)	各号	¥2,296
	Vol. 6#1-8,11-13 (1993)	各号	¥2,296
	Vol. 6#9 (1993) 最新頸部椎間板ヘルニア診療マニュアル		¥5,126
	Vol. 6#10 (1993) 有痛性疾患に対する整形外科的保存療法のコツ		¥3,738
	Vol. 7#1-8,10,12,13 (1994)	各号	¥2,296
	Vol. 7#9 (1994) 整形外科先端医療マニュアル		¥3,845
	Vol. 7#11 (1994) 整形外科MRI診断マニュアル		¥6,301
	Vol. 8#1-5,7-9,11-13 (1995)	各号	¥2,296
	Vol. 8#6 (1995) 整形外科神経ブロック実践マニュアル		¥5,874
	Vol. 8#10 (1995) 整形外科医用材料臨床応用実践マニュアル		¥4,272
	Vol. 9#1-3,5-9,11-13 (1996)	各号	¥2,296
	Vol. 9#4 (1996) スポーツによる運動器過労性障害診療マニュアル		¥4,486
	Vol. 9#10 (1996) 最新スポーツ障害・外傷診療マニュアル		¥6,194
	Vol. 10#1-5,8-10,12,13 (1997)	各号	¥2,299
	Vol. 10#6 (1997) 最新頸椎症診療実践マニュアル		¥6,072
	Vol. 10#11 (1997) 最新腰椎分離・すべり症診療マニュアル		¥4,730
	Vol. 11#1-4,6-10,12,13 (1998)	各号	¥2,305
	Vol. 11#11 (1998) 最新関節周辺骨折診療マニュアル		¥4,536
	Vol. 12#1-3,5-8,10-13 (1999)	各号	¥2,305
	Vol. 12#4 (1999) 四肢疾患MRIマニュアル		¥4,536
	Vol. 12#9 (1999) 整形外科計測・評価法実践マニュアル		¥6,076
	Vol. 13#1-3,5-8,10-13 (2000)	各号	¥2,305
	Vol. 13#4 (2000) 成長期のスポーツ障害		¥4,536
	Vol. 13#9 (2000) 整形外科リハビリテーション実践マニュアル		¥6,076
	Vol. 14#1-4,6-8,10-13 (2001)	各号	¥2,305
	Vol. 14#5 (2001) 四肢新鮮解放骨折治療実践マニュアル		¥4,536
	Vol. 15#1-3,5-8,10-13 (2002)	各号	¥2,305
	Vol. 15#4 (2002) 膝靭帯損傷の診断治療マニュアル		¥4,536
	Vol. 15#9 (2002) 脊椎・脊髄画像診断マニュアル		¥6,076
	Vol. 16#1-4,6-8,10-13 (2003)	各号	¥2,305
	Vol. 16#5 (2003) 外傷性肩関節障害診療マニュアル		¥4,536
	Vol. 16#9 (2003) 実践腰部椎間板ヘルニア診療テクニックマニュアル		¥6,076
	Vol. 17#1-4,6-9,11-13 (2004)		¥2,305
	Vol. 17#5 (2004) 最新腰部脊柱管狭窄症診療マニュアル		¥4,536
	Vol. 17#10 (2004) 整形外科手術侵入路-私の工夫-		¥6,076
	Vol. 18#1-4,6-9,11-13 (2005)	各号	¥2,305
	Vol. 18#5 (2005) 股関節疾患外来診療マニュアル		¥4,536
	Vol. 18#10 (2005) 最新関節リウマチ診断・治療マニュアル		¥6,076
	Vol. 19#1-4,6-10,12,13 (2006)	各号	¥2,305
	Vol. 19#5 (2006) 高齢者の骨折治療実践マニュアル		¥6,076
	Vol. 19#11 (2006) 外来診療に必要な超音波診断マニュアル		¥4,536
	Vol. 20#1-4,6-10,12,13 (2007)	各号	¥2,310
	Vol. 20#5 (2007) 膝関節疾患保存療法マニュアル		¥6,160
	Vol. 20#11(2007) 足の疾患―私の外来診療のコツ-		¥4,510
	Vol. 21#1-4,6-10,12,13 (2008)	各号	¥2,310
品切	Vol. 21#5 (2008) 整形外科手術に役立つ皮弁とそのコツ		¥6,160
	Vol. 22#1-4,6-11,13 (2009)	各号	¥2,420
	Vol. 22#5 (2009) すぐに役立つ日常整形外科診療に対する私の工夫		¥6,270
	Vol. 22#12 (2009) 見落としやすい整形外科疾患-診かた治しかたのコツ		¥4,620

	Vol. 23#6,13 (2010)	各号	¥2,420
	Vol. 24#1-4,6 (2011)	各号	¥2,420
	Vol. 25#4 (2012)		¥2,420
486	**Monthlyミクス : Medical Information Express (エルゼビア・ジャパン)**		
	Vol. 38#1-3,5-10,12-14 (2010)	各号	¥4,453
	Vol. 39#2,3,5-9,12,13 (2011)	各号	¥4,453
	Vol. 41#1-4,6,7,9,10,12-14 (2013)	各号	¥4,453
	Vol. 42#3,5-10,12-14 (2014)	各号	¥4,453
487	**無菌生物 (日本無菌生物ノートバイオロジー学会)**		
	Vol. 25-26 (1995-1996) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 28-29 (1998-1999) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 30#1 (2000); 31#1 (2001)	各号	¥2,750
488	**Museum ミューゼアム 国立博物館美術誌**		
	No. 212-227,229,230,232,236,266,268,272,278,279,285 (1968-1974)	各号	¥550
	No. 286,288-290,292,293,302,304-306,309 (1975-1976)	各号	¥550
	No. 312-318,321-327,336,337,340,342,345-381,393 (1977-1983)	各号	¥550
	No. 398,402,403,413,415,416,431-466,468-485,500 (1984-1992)	各号	¥550
489	**脈管学 (日本脈管学会)**		
	Vol. 40-45 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥1,320
	Vol. 46-51 (2006-2011) 各1-6号,Supplement	各号	¥1,320
490	**ながれ 日本流体力学会誌 (日本流体力学会)**		
	Vol. 1-12 (1982-1993) 各1-4号	各号	¥2,619
	Vol. 13-19 (1994-2000) 各1-6号	各号	¥2,619
	Vol. 20#1-4,6 (2001); 21#1-3,5,6 (2002)	各号	¥2,619
	Vol. 22-23 (2003-2004) 各1-6号	各号	¥2,619
	Vol. 24#1-4,6 (2005)	各号	¥2,619
491	**内分泌・糖尿病・代謝内科 (科学評論社)**		
	Vol. 36-37 (2013) 各1-6号	各号	¥2,970
	Vol. 36#特別増刊号 (2013) 内分泌ホルモンのすべて		¥1,650
	Vol. 38-43 (2014-2016) 各1-6号	各号	¥3,300
492	**内科 (南江堂)**		
	Vol. 93#6 (2004)		¥7,700
	Vol. 94#1-3,5,6 (2004); 95#2-5 (2005); 96#1-6 (2005); 97#2 (2006)	各号	¥2,530
	Vol. 95#6 (2005)		¥9,350
	Vol. 97#6 (2006)		¥8,800
	Vol. 98#1,2,4,5,6 (2006); 99#1,2,3,5 (2007); 100#1,2,5 (2007)	各号	¥2,530
	Vol. 100#6 (2007)		¥4,400
	Vol. 101#1-5 (2008); 102#1-5 (2008)	各号	¥2,530
	Vol. 102#6 (2008)		¥6,050
	Vol. 103#1-5 (2009); 104#1-5 (2009); 105#1,3,4,5 (2010)	各号	¥2,640
	Vol. 104#6 (2009)		¥4,950
	Vol. 106#1-4 (2010); 107#2-5 (2011); 108#1-3 (2011)	各号	¥2,640
	Vol. 107#6 (2011)		¥8,800
493	**内観医学 (内観医学会)**		
	Vol. 1-7,10-11 (1999-2009) 各1号	各号	¥2,750
494	**内観研究 (日本内観学会)**		
	Vol. 7-12,14,15 (2001-2009) 各1号	各号	¥1,650

495	**Nature: international weekly journal of science**		
	Vol. 529#7584-Vol. 540#7634 (2016)	各号	¥5,500
	Vol. 541#7635-Vol. 552#7685 (2017)	各号	¥5,500
	Vol. 553#7686-Vol. 564#7736 (2018)	各号	¥5,500
	Vol. 565#7737-Vol. 576#7787 (2019)	各号	¥5,500
	Vol. 577#7788-Vol.583#7817 (2020)	各号	¥5,500
496	**NBL New Business Law 取引実務の法律ガイド (商事法務)**		
	別冊 No. 38 (1996) 会社法務部		¥2,990
	No. 640-655 (1998)	各号	¥1,452
	別冊 No. 51 (1998)		¥4,180
	No. 656-679 (1999)	各号	¥1,452
	No. 680-703 (2000)	各号	¥1,452
	No. 704-727 (2001)	各号	¥1,452
	No. 728-751 (2002)	各号	¥1,452
	No. 752-775 (2003)	各号	¥1,452
	No. 776-799 (2004)	各号	¥1,452
	No. 800-823 (2005)	各号	¥1,452
	No. 824-847 (2006)	各号	¥1,452
	No. 848-871 (2007)	各号	¥1,452
	No. 872-895 (2008)	各号	¥1,452
	No. 896-919 (2009)	各号	¥1,452
	No. 920-943 (2010)	各号	¥1,452
	No. 944-967 (2011)	各号	¥1,452
	No. 953 付録 (2011)		¥1,452
	No. 968-991 (2012)	各号	¥1,452
	No. 992-1015 (2013)	各号	¥1,452
	No. 1016-1019,1022-1040 (2014)	各号	¥1,452
497	**根の研究 Root Research (根研究会)**		
	Vol. 2-14 (1993-2005) 各1-4号	各号	¥3,300
498	**熱傷 Japanese Journal of Burn Injuries (日本熱傷学会)**		
	Vol. 28#4,5 (2002); 29#1 (2003); 31#2,3,5 (2005); 32#3,5 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 33-37 (2007-2011) 各1-5号	各号	¥2,200
499	**熱物性 (日本熱物性学会)**		
	Vol. 1-2 (1987-1988) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 3-4 (1989-1990) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 5-25 (1991-2011) 各1-4号	各号	¥2,200
500	**熱帯 (日本熱帯医学協会)**		
	Vol. 28-34 (1995-2001) 各1-4号	各号	¥2,200

501	**Neurological Surgery 脳神経外科 (医学書院)**		
	Vol. 1#1-6 (1973)	各号	¥2,860
	Vol. 2-4 (1974-1976) 各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 5#1-13 (1977)	各号	¥2,860
	Vol. 6-8 (1978-1980) 各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 9#1-13 (1981)	各号	¥2,860
	Vol. 10#1-12 (1982)	各号	¥2,860
	Vol. 11#1-12 (1983)	各号	¥2,860
	Vol. 12#1-13 (1984)	各号	¥2,860
	Vol. 13#1-12 (1985)	各号	¥2,860
	Vol. 14#1-13 (1986)	各号	¥2,860
	Vol. 15#1-12 (1987)	各号	¥2,860
	Vol. 16#1-13 (1988)	各号	¥2,860
	Vol. 17#1-12 (1989)	各号	¥2,860
	Vol. 18#1-12 (1990)	各号	¥2,860
	Vol. 19#1-12 (1991)	各号	¥2,860
	Vol. 20#1-3,5-12 (1992)	各号	¥2,860
	Vol. 20#4 (1992) 特別増大号		¥4,620
	Vol. 21#1-12 (1993)	各号	¥2,860
	Vol. 22#1-12 (1994)	各号	¥2,860
	Vol. 23#1-12 (1995)	各号	¥2,860
	Vol. 24#1-12 (1996)	各号	¥2,860
	Vol. 25#1-12 (1997)	各号	¥2,640
	Vol. 26#1-12 (1998)	各号	¥2,640
	Vol. 27#1-12 (1999)	各号	¥2,750
	Vol. 28#1-12 (2000)	各号	¥2,750
	Vol. 29#1-12 (2001)	各号	¥2,750
	Vol. 30#1-12 (2002)	各号	¥2,750
	Vol. 30#13 (2002) 増刊号 総目次・著者索引 第1巻～第30巻		¥4,400
	Vol. 31#1-12 (2003)	各号	¥2,860
	Vol. 32#1-12 (2004)	各号	¥2,860
	Vol. 33#1-12 (2005)	各号	¥2,860
	Vol. 34#1-12 (2006)	各号	¥2,860
	Vol. 35#1-12 (2007)	各号	¥2,860
	Vol. 36#1-12 (2008)	各号	¥2,860
	Vol. 37#1-12 (2009)	各号	¥2,860
	Vol. 38#1-12 (2010)	各号	¥2,860
	Vol. 39#1-12 (2011)	各号	¥2,860
	Vol. 40#1-12 (2012)	各号	¥2,860
	Vol. 41#1-12 (2013)	各号	¥2,860
	Vol. 42#1-12 (2014)	各号	¥2,860
	Vol. 43#1-12 (2015)	各号	¥2,860
	Vol. 44#1-12 (2016)	各号	¥2,860
	Vol. 45#1-12 (2017)	各号	¥2,860
	Vol. 46#1-12 (2018)	各号	¥2,860
	Vol. 47#1-12 (2019)	各号	¥2,860
	Vol. 48#1-12 (2020)	各号	¥2,860
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
502	**Neurotrauma Research**		
	Vol. 11-18 (1999-2006)	各巻	¥5,500

503	**Newton ニュートン（教育社→ニュートンプレス）**		
	Vol. 1#0,1-6 (1981)	各号	¥1,100
	Vol. 2#1-12 (1982)	各号	¥1,100
	Vol. 3#1-4,6,8-12 (1983)	各号	¥1,100
	Vol. 4#1-8,12 (1984)	各号	¥1,100
	Vol. 5#2-5,7-11,13 (1985) ※2-10,12月号	各号	¥1,100
	Vol. 6-7 (1986-1987) 各1-12号	各号	¥1,100
	Vol. 8-12 (1988-1992) 各1,2,4-13号 ※1-12月号	各号	¥1,100
	Vol. 13#1-5,7-13 (1993) ※1-12月号	各号	¥1,100
	Vol. 14#1-12 (1994)	各号	¥1,100
	Vol. 15#1-3,5-12 (1995)	各号	¥1,100
	Vol. 16#1-9 (1996) ※#8→附録付き	各号	¥1,100
504	**日大口腔科学（日本大学松戸歯学部口腔科学研究所）**		
	Vol. 24#4; 25#1-4; 26#1-4 (1998-2000)	各号	¥3,300
	Vol. 27#1-4; 28#2,4; 29#1,2 (2001-2003)	各号	¥3,300
	Vol. 30#3; 33#3; 36#2 (2004-2010)	各号	¥3,300
505	**日本エイズ学会誌 The Journal of Aids Research**		
	Vol. 1#4 (1999)		¥7,150
	Vol. 11#3 (2009)		¥3,850
	Vol. 11#4 (2009)		¥6,600
	Vol. 13#4 (2011)		¥6,600
506	**日本アフェレシス学会雑誌 Japanese Journal of Apheresis**		
	Vol. 15-28 (1996-2009) 各1-3号,Supplement	各号	¥3,300
	Vol. 29#1 (2010)		¥3,300
507	**日本アロマセラピー学会誌（日本アロマセラピー学会）**		
	Vol. 3#2; 5#1; 6#1; 7#2; 8#1; 9#1; 10#1 (2004-2011)	各号	¥1,650
	Vol. 11#2,Supplement (2012)	各号	¥1,650
508	**日本足の外科学会雑誌**		
	Vol. 28#2 (2007); 29#2 (2008); 31#2 (2010); 32#1 (2011)	各号	¥5,500
509	**日本ベントス学会誌 Benthos research**		
	No. 1-56 (1970-2001)	各号	¥3,300
510	**日本バイオミュージック学会誌（日本バイオミュージック学会）**		
	Vol. 1,6,8,9,11-18 (1987-2000) 各1-2号	各号	¥3,300
511	**日本美容医療テクノロジー学会誌（日本美容医療テクノロジー学会）**		
	No. 1-3 (2006-2008)	各号	¥2,200
512	**日本母乳哺育学会雑誌**		
	Vol. 1#2 (2007)		¥2,200
	Vol. 3#2 (2009)		¥2,200
	Vol. 4#1,2 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 5#1 (2011)		¥2,200

513	**日本文学（日本文学協会）**		
	Vol. 49#3-12 (2000) No. 561-570	各号	¥996
	Vol. 50#1-12 (2001) No. 571-582	各号	¥996
	Vol. 51#1-12 (2002) No. 583-594	各号	¥996
	Vol. 52#1-12 (2003) No. 595-606	各号	¥996
	Vol. 53#1-12 (2004) No. 607-618	各号	¥996
	Vol. 54#1-12 (2005) No. 619-630	各号	¥996
	Vol. 55#1-12 (2006) No. 631-642	各号	¥996
	Vol. 56#1-12 (2007) No. 643-654	各号	¥996
	Vol. 57#1-12 (2008) No. 655-666	各号	¥996
	Vol. 58#1-12 (2009) No. 678-678	各号	¥996
	Vol. 59#1-12 (2010) No. 679-690	各号	¥996
	Vol. 60#1-12 (2011) No. 691-702	各号	¥996
514	**日本病態栄養学会誌**		
	Vol. 11#3,4 ; 12#4; 13#1,3,4; 14#1-4 (2008-2011)	各号	¥2,200
	Vol. 12#5 (2009); 13#5 (2010); 15#Supplement (2012)	各号	¥4,400
515	**日本地域看護学会誌（日本地域看護学会）**		
	Vol. 4-11 (2002-2008/09) 各1-2号 通常号	各号	¥1,980
	Vol. 4-11 (2002-2008/09) 増刊号	各号	¥4,180
516	**日本畜産学会報**		
	Vol. 80#4 (2009)		¥2,750
	Vol. 81#1,2,4 (2010)	各号	¥2,750
	Vol. 82#1-4 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 83#1-4 (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 84#1 (2013)		¥2,750
517	**日本鳥学会誌（日本鳥学会）**		
	Vol. 18-25 (1968-1976) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 26-50 (1977-2001) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 51-60 (2002-2011) 各1-2号	各号	¥2,200
518	**日本聴能言語学会学術講演会予稿集**		
	第25回, 第26回, 第27回 (1999-2001)	各号	¥3,080
519	**日本中東学会年報（日本中東学会）**		
	No.8,9,11-16 (1993-2001)	各号	¥3,300
	No.17(1,2)-19(1,2),20(1),21(1),22(2),23(1,2)-28(1,2) (2002-2012)	各号	¥3,300
520	**日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集**		
	第30回, 第32回 (2004,2006)	各号	¥3,080
521	**日本コンピュータ外科学会誌 Journal of Japan Society of Computer Aided Surgery（日本コンピュータ外科学会）**		
	Vol. 5#3; 6#3; 7#3; 8#2,3 (2003-2006)	各号	¥3,300
	Vol. 9#2; 10#1,2,4 (2007-2008)	各号	¥3,300
	Vol. 11#1-3; 12#1,2 (2009-2010)	各号	¥3,300
522	**日本デザイン学会誌 デザイン学研究特集号（日本デザイン学会）**		
	No. 41-64 (2004-2009)	各号	¥2,640
523	**日本栄養・食糧学会誌（日本栄養・食糧学会）**		
	Vol. 36-62 (2001-2009) 各1-6号	各号	¥1,650
524	**日本沿岸域学会論文集 Journal of JACZS（日本沿岸域学会）**		
	No. 12-16 (2000-2004)	各号	¥3,300

525	**日本婦人科腫瘍学会雑誌（日本婦人科腫瘍学会）**		
	Vol. 16#2; 17#1,2; 18#2; 19#2 (1998-2001)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1,3,4; 21#1,4; 22#1 (2002-2004)	各号	¥3,300
	Vol. 23#3,4; 24#2,3; 25#1,3 (2005-2007)	各号	¥3,300
	Vol. 26#4; 27#1-4; 28#1-4 (2008-2010)	各号	¥3,300
526	**日本腹部救急医学会雑誌**		
	Vol. 30#7 (2010); 31#3-7 (2011); 32#1,5 (2012); 33#1-4 (2013)	各号	¥2,200
527	**日本外傷歯学会雑誌（日本外傷歯学会）**		
	Vol. 1#1 (2005)		¥3,300
528	**日本顎変形症学会雑誌（日本顎変形症学会）**		
	Vol. 1#1 (1991)		¥2,750
	Vol. 2#1 (1992)		¥2,750
	Vol. 3#1,2 (1993)	各号	¥2,750
	Vol. 5#1 (1995)		¥2,750
	Vol. 6#1,2 (1996)	各号	¥2,750
	Vol. 7#1,2 (1997)	各号	¥2,750
	Vol. 8#1-3 (1998)	各号	¥2,750
	Vol. 10-12 (2000-2002) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 13#1,3 (2003)	各号	¥2,750
	Vol. 14-15 (2004-2005) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 16-20 (2006-2010) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 21#1-3 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 22#2-4,Supplement (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 23-25 (2013-2015) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 26#1-3 (2016)	各号	¥2,750
	Vol. 27-32 (2017-2022) 各1-4号	各号	¥2,750
529	**日本顎関節学会雑誌（日本顎関節学会）**		
	Vol. 3#2 (1991)		¥4,400
	Vol. 7#1 (1995)		¥4,400
	Vol. 8#3 (1996)		¥4,400
品切	Vol. 9#1,2 (1997)	各号	¥4,400
	Vol. 11#1,3 (1999)	各号	¥4,400
	Vol. 12-19 (2000-2007) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 20-28 (2008-2016) 各1-3号,大会特別号	各号	¥4,400
	Vol. 22#30周年記念号 (2010)		¥4,400
	Vol. 29#1,2,3,大会特別号 (2017)	各号	¥4,400
	Vol. 30#1,2,3,大会特別号 (2018)	各号	¥4,400
	Vol. 30#学会創立30周年記念号 (2018)		¥4,400
	Vol. 31#2 (2019)		¥4,400

530	**日本顎咬合学会誌：咬み合わせの科学（日本顎咬合学会）**		
	The journal of Asian gnathology (International Academy of Gnathology.		
	Vol. 1#1 (1979)		¥3,300
	Vol. 2#1 (1980)		¥3,300
	日本顎咬合学会誌（日本顎咬合学会）02892030		
	Vol. 3#1/2,3,4 (1982)	各号	¥3,300
	Vol. 4#1,2,3/4 (1983)	各号	¥3,300
	Vol. 5-8 (1984-1987) 各1/2,3/4号	各号	¥3,300
	Vol. 9#1/2,3 (1988)	各号	¥3,300
	Vol. 10-11 (1989-1990) 各1,2/3,4号	各号	¥3,300
	Vol. 12-15 (1991-1994) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 16-17 (1995-1996) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 18#1-4 (1997)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1 (1998)		¥3,300
	日本口腔健康医学会誌：咬み合わせの科学（日本口腔健康医学会）		
品切	Vol. 21#1,2 (2000)	各号	¥3,300
品切	Vol. 21#3,4 (2001)	各号	¥3,300
	日本顎咬合学会誌：咬み合わせの科学（日本顎咬合学会）13468111		
	Vol. 22#3,4 (2002)	各号	¥3,300
	Vol. 23#1 (2003)		¥3,300
	Vol. 24#1,2/3 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 25#1/2 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 27#3 (2007)		¥3,300
	Vol. 29#3,4 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 30#1/2 (2010)		¥3,300
531	**日本顎頭蓋機能学会誌（日本顎頭蓋機能学会）**		
	Vol. 17-23 (2004-2010) 各1号	各号	¥3,300
532	**日本眼科学会雑誌（日本眼科学会）**		
	Vol. 112#3,9,11,12,臨時増刊号 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 113#1-12,臨時増刊号 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 114#1-9,11,12,臨時増刊号 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 115#1-12 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 116#1-7,9-12 (2012)	各号	¥3,300
	Vol. 117#1-5,7,9-12 (2013)	各号	¥3,300
	Vol. 118#1-12,,臨時増刊号 (2014)	各号	¥3,300
	Vol. 119#1,2,8,9,12 (2015)	各号	¥3,300
	Vol. 120-122 (2016-2018) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥3,300
	Vol. 123#4-6,臨時増刊号 (2019)	各号	¥3,300
533	**日本がん看護学会誌（日本がん看護学会）**		
	Vol. 2,4,5,7,9-11 (1988-1997) 各1号	各号	¥2,750
	Vol. 12-22 (1998/1999-2008) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 17#特別号 (2003)		¥2,750
	Vol. 23-29 (2009-2015) 各1-3号	各号	¥2,750
534	**日本外科感染症学会雑誌（日本外科感染症学会）**		
	Vol. 1-10 (2004-2013) 各1-6,Supplement	各号	¥2,200
535	**日本外科系連合学会誌**		
	Vol. 34#5 (2009)		¥2,200
	Vol. 35#1,6 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 36#1-6 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 37#1-5 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 38#1,2 (2013)	各号	¥2,200

536	**日本原子力学会誌**		
	Vol. 34#4-12 (1992)	各号	¥1,650
	Vol. 35-43 (1993-2001) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 44#1,2,4,6,7,9-12 (2002)	各号	¥1,650
	Vol. 45#1-12 (2003)	各号	¥1,650
	Vol. 46#1-3 (2004)	各号	¥1,650
537	**日本ゴム協会誌 Journal of the Society of Rubber Industry, Japan**		
	Vol. 38#5,6,8,11,12; 39#1,3,4; 40#3,5,7,9; 41#3,6,12 (1965-1968)	各号	¥1,320
	Vol. 42#1-12; 43#1-4,6-12; 44#1-5,7-12; 45#1-3,5-12 (1969-1972)	各号	¥1,320
	Vol. 46#1-12; 47#1-12; 48#1-3,5,12 (1973-1975)	各号	¥1,320
	Vol. 49#1-9,12; 50#1,2,4-7,9-12; 51#1-6,8-12 (1976-1978)	各号	¥1,320
	Vol. 52#1,39,11,12; 53#1-12; 54#1-4,6-12; 55#1-11 (1979-1982)	各号	¥1,320
	Vol. 56#2-7,9-12; 57#1-9,11,12; 58#1-12; 59#1-10,12 (1983-1986)	各号	¥1,320
	Vol. 60#1-9,11,12; 61#1-12; 62#1,2,4-12; 63#1-12 (1987-1990)	各号	¥1,320
	Vol. 64#1-12; 65#1,2,4,5,7-12; 66#1-4,6-12; 67#1-12 (1991-1994)	各号	¥1,320
	Vol. 68#1-12; 70#1-12; 71＃1-7,9-12 (1995-1998)	各号	¥1,320
538	**日本排尿機能学会誌 (日本排尿機能学会)**		
	Vol. 13#1,2 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 14#1,2 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 16#2 (2005)		¥2,200
	Vol. 17#2 (2006)		¥2,200
	Vol. 19#2 (2008)		¥2,200
	Vol. 20#2 (2009)		¥2,200
539	**日本ヘリコバクター学会誌 Japanese Journal of Helicobacter Research**		
	Vol. 4#2,3,Supplement (2002/2003)	各号	¥2,200
	Vol. 5-10 (2003/2004-2008/2009) 各1-2号	各号	¥2,200
540	**日本肘関節学会雑誌 (日本肘関節学会)**		
	Vol. 1-9 (1994-2002) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 12#2 (2005)		¥3,300
	Vol. 13-17 (2006-2010) 各1-2号	各号	¥3,300
541	**日本泌尿器科学会雑誌 (日本泌尿器科学会)**		
	Vol. 98-103 (2007-2012) 各1-7号	各号	¥2,200
542	**日本補完代替医療学会誌 (日本補完代替医療学会)**		
	Vol. 1#1; 2#1,2; 3#1,2; 6#1-3; 7#1,2 (2004-2010)	各号	¥3,300
543	**日本放射線技師会雑誌 JART**		
	Vol. 55#672-674 (2008)	各号	¥1,650
	Vol. 56#676-678,680-696 (2009)	各号	¥1,650
	Vol. 57#687-697 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 58#699-710 (2011)	各号	¥1,650
	Vol. 59#711 (2012)		¥1,650
544	**日本補綴歯科学会誌 (日本補綴歯科学会)**		
	Vol. 1#1-4 (2009)	各号	¥4,400
	Vol. 1#118回学術大会プログラム・抄録集 (2009)		¥4,400
	Vol. 2#1-4 (2010)	各号	¥4,400
	Vol. 3#1-3 (2011)	各号	¥4,400
	Vol. 3#120回学術大会プログラム・抄録集 (2011)		¥4,400
	Vol. 6#3 (2014)		¥4,400
	Vol. 7-10 (2015-2018) 各1-4号	各号	¥4,400

545	**日本補綴歯科学会雑誌（日本補綴歯科学会）**		
	Vol. 1#1 (1957)		¥4,400
	Vol. 2-15 (1958-1971) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 16#1-3 (1972)	各号	¥4,400
	Vol. 17-20 (1973-1976) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 21#1-3 (1977)	各号	¥4,400
	Vol. 22-25 (1978-1981) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 26-27 (1982-1983) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 28#1-7 (1984)	各号	¥4,400
	Vol. 29-45 (1985-2001) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 46-49 (2002-2005) 各1-5号	各号	¥4,400
	Vol. 50-52 (2006-2008) 各1-4号	各号	¥4,400
	Supplement nos. 77-117 (1987-2008)	各号	¥4,400
546	**日本遺伝カウンセリング学会誌（日本遺伝カウンセリング学会）**		
	Vol. 25#2 (2004)		¥3,300
	Vol. 27#1,2 (2006/2007)	各号	¥3,300
	Vol. 28#2 (2008)		¥3,300
	Vol. 30#3 (2010)		¥4,400
	Vol. 31#1 (2010)		¥4,400
547	**日本医療・病院管理学会誌（日本医療・病院管理学会）**		
	Vol. 45-49 (2008-2012) 各1-4号,Supplement	各号	¥1,650
548	**日本医療マネジメント学会雑誌（日本医療マネジメント学会）**		
	Vol. 5#3,4 (2004/05)	各号	¥2,200
	Vol. 6#1-4 (2005/06)	各号	¥2,200
	Vol. 7#1-4 (2006/07)	各号	¥2,200
	Vol. 8#1-4 (2007/08)	各号	¥2,200
	Vol. 9#1-4 (2008/09)	各号	¥2,200
	Vol. 10#2-4 (2009/10)	各号	¥2,200
	Vol. 11#1-3,Supplement (2010)	各号	¥2,200
549	**日本医史学雑誌（日本医史学会）**		
	Vol. 1-4 (1941-1944) 各1-12号	各号	¥2,200
550	**日本医師会雑誌（日本医師会）**		
	Vol. 135-145 (2006/2007-2016/17) 各1-12号	各号	¥1,650
	医師の職業倫理指針 第3版 平成28年10月 (2016)		¥1,650
	Vol. 146#1-5 (2017)	各号	¥1,650
	別冊	各号	¥1,320
551	**日本医師会雑誌 付録 生涯教育シリーズ（日本医師会）**		
	No. 13-78 (1987-2010)	各号	¥3,300
552	**日本医真菌学会雑誌（日本医真菌学会）**		
	Vol. 1-36,39,42,44-51 (1960-2010) 各1-4号	各号	¥2,750
553	**日本弱視斜視学会報 The Bulletin of the Japanese Association of Strabismus and Amblyopia（日本弱視斜視学会）**		
	Vol. 42#3; 43#1-3; 44#1-3; 45#1 (2006-2009)	各号	¥1,650
554	**日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌（日本耳鼻咽喉科感染症研究会）**		
	Vol. 24#1; 25#1 (2006-2007)	各号	¥3,300
555	**日本磁気共鳴医学会雑誌（日本磁気共鳴医学会）**		
	Vol. 17#6; 18#7; 19#2-8 (1997-1999)	各号	¥2,409
	Vol. 20#1-4,6-8; 21#1-4; 23#2,4 (2000-2003)	各号	¥2,409
	Vol. 25#4; 26#1-4; 27#1-4 (2005-2007)	各号	¥2,409
	Vol. 27#Supplement (2007)		¥4,190
	Vol. 28#1-4; 29#1-4; 30#1 (2008-2010)	各号	¥2,409

556	**日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌（日本腎泌尿器疾患予防医学研究会）**		
	Vol. 14,15,17,18 (2006-2010) 各1号	各号	¥2,200
557	**日本人工関節学会誌（日本人工関節学会誌）**		
	Vol. 26,29 (1996-1999)	各巻	¥6,600
	Vol. 37-39 (2007-2009)	各巻	¥6,600
558	**日本地すべり学会誌（Journal of the Japan Landslide Society）**		
	Vol. 40#1-6 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 41#1-6 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 42#1-6 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 43#1-6 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 44#1-6 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 45#1-6 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 46#1-4 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 47#1-6 (2010)	各号	¥2,200
559	**日本助産学会誌（日本助産学会）**		
	Vol. 2-4,7-24 (1988-2010/11) 各1-3号	各号	¥3,300
560	**日本女性骨盤底医学会誌**		
	Vol. 3-7 (2006-2010) 各1号	各号	¥5,500
561	**日本化学療法学会雑誌**		
	Vol. 59#1-6 (2011)	各号	¥2,200
562	**日本看護学会論文集 母性看護（日本看護学会）**		
	Vol. 5-20,22-26,28 (1974-1997)	各巻	¥3,457
563	**日本看護学会論文集 地域看護（日本看護協会）**		
	Vol. 5,7,9,10,12-28 (1974-1997)	各巻	¥3,457
564	**日本看護学会論文集 看護管理（日本看護協会）**		
	Vol. 11-28 (1980-1997)	各巻	¥3,457
565	**日本看護学会論文集 看護教育（日本看護協会）**		
	Vol. 5-7,9-20,22,24-27 (1974-1997)	各巻	¥3,457
566	**日本看護学会論文集 看護総合（日本看護協会）**		
	Vol. 11-28,39 (1981-1997,2008)	各巻	¥3,457
567	**日本看護学会論文集 老人看護（日本看護協会）**		
	Vol. 20-28 (1989-1997)	各巻	¥3,457
568	**日本看護学会論文集 成人看護（日本看護協会）**		
	Vol. 5-9,11-28 (1974-1997)	各冊	¥3,457
	Vol. 40#II (2009)		¥4,180
569	**日本看護学会論文集 小児看護（日本看護協会）**		
	Vol. 11-27 (1980-1996)	各巻	¥3,457
570	**日本看護学会誌（日本看護協会）**		
	Vol. 1-3,7-16 (1991-2006) 各1-2号	各号	¥1,320
571	**日本看護学校協議会雑誌（日本看護学校協議会）**		
	Vol. 1-20 (1970-1989) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 21-25 (1990-1994) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 30-35 (1999-2004) 各1-4号	各号	¥2,750
572	**日本看護学教育学会誌（日本看護学教育学会）**		
	Vol. 1-22 (1991-2012/2013) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 23#1-2 (2013)	各号	¥3,300
573	**日本看護技術学会誌（日本看護技術学会）**		
	Vol. 1#1 (2002)		¥2,750
574	**日本看護科学会誌（日本看護科学学会）**		
	Vol. 1-33 (1981-2013) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 34 (2014)		¥8,800

575	**日本看護科学学会学術集会講演集（日本看護科学学会）**			
	19回(1999); 25回(2005); 27回(2007)		各号	¥2,750
576	**日本看護管理学会誌（日本看護管理学会）**			
	Vol. 1-6,8,9 (1997-2005) 各1-2号		各号	¥2,200
577	**日本看護研究学会雑誌（日本看護研究学会）**			
	Vol. 1-6,8-35 (1978-2012) 各1-5号		各号	¥3,300
578	**日本看護協会調査研究報告（日本看護協会）**			
	No. 1-6,20,21-25,29-32,34-40,42,43,45-48,	50-52,54,60,80 (1	各号	¥1,572
579	**日本環境感染学会誌（日本環境感染学会）**			
	Vol. 23-26 (2008-2011) 各1-6,Supplement		各号	¥2,750
580	**日本関節病学会誌（日本関節病学会）**			
	Vol. 27#1-3; 28#1,3,4; 29#1-4 (2008-2010)		各号	¥5,500
581	**日本建築学会技術報告集**			
	No.1-12 (1995-2001)		各号	¥2,200
582	**日本建築学会環境系論文集（日本建築学会）**			
	No. 566-661 (2003-2011)		各号	¥1,572
583	**日本建築学会計画系論文集（日本建築学会）**			
	No. 347-673 (1985-2012)		各号	¥1,572
584	**日本建築学会構造系論文集（日本建築学会）**			
	No. 347-682 (1985-2012)		各号	¥1,572
585	**日本建築学会大会学術講演梗概集**			
	東北 2009年8月 F-2 建築歴史・意匠			¥3,143
	北陸 2010年9月 F-2 建築歴史・意匠			¥3,143
	関東 2011年8月 F-2 建築歴史・意匠			¥3,143
586	**日本血栓止血学会誌 Japanese Journal of Thrombosis and Hemostasis**			
	Vol. 18#1,4 (2007)		各号	¥2,200
	Vol. 19#3,5 (2008)		各号	¥2,200
	Vol. 20#1-6 (2009)		各号	¥2,200
587	**日本機械学会誌（日本機械学会）**			
	Vol. 112#1-3,6-8 (2009)		各号	¥2,640
	Vol. 116-119 (2013-2016) 各1-12号		各号	¥2,640
	Vol. 120#1-10 (2017)		各号	¥2,640
588	**日本菌学会会報（日本菌学会）**			
	Vol. 1-34 (1956/59-1993) 各1-4号		各号	¥2,200
589	**日本気象学会講演予稿集（日本気象学会）**			
	No. 67-68 (1995)		各号	¥5,500
	No. 69-70 (1996)		各号	¥5,500
	No. 71-72 (1997)		各号	¥5,500
	No. 73-74 (1998)		各号	¥5,500
	No. 75-76 (1999)		各号	¥5,500
	No. 77-78 (2000)		各号	¥5,500
	No. 79-80 (2001)		各号	¥5,500
	No. 81-82 (2002)		各号	¥5,500
	No. 83-84 (2003)		各号	¥5,500
	No. 85-86 (2004)		各号	¥5,500
	No. 87-88 (2005)		各号	¥5,500
	No. 89 (2006)			¥5,500

590	**日本口蓋裂学会雑誌（日本口蓋裂学会）**		
	Vol. 1#1 (1976)		¥2,200
	Vol. 2#2 (1977)		¥2,200
	Vol. 3-13 (1978-1988) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 14-15 (1989-1990) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 16#1,2,増刊 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-4 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 18#1,3,4 (1993)	各号	¥2,200
	Vol. 19#4 (1994)		¥2,200
	Vol. 20#1,2,4 (1995)	各号	¥2,200
	Vol. 21#2,3 (1996)	各号	¥2,200
	Vol. 22#2-4 (1997)	各号	¥2,200
	Vol. 23#1,3,4 (1998)	各号	¥2,200
	Vol. 24#1-3 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 25#1-3 (2000)	各号	¥2,200
	Vol. 26#1,3 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 27-30 (2002-2005) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 31#2,3 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 32-34 (2007-2009) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 35#2,3 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 36#1-3 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 37#1,3 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 38-45 (2013-2020) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 46#1,3 (2021)	各号	¥2,200
	Vol. 47#1-3 (2022)	各号	¥2,200
591	**日本股関節学会学術集会プログラム・抄録集（日本股関節学会）**		
	第34回-第37回 (2007-2010)	各冊	¥6,600
592	**日本高気圧環境・潜水医学会雑誌**		
	Vol. 40#1,2,4 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 41#1-4 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 42#1-4 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 43#1-4 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 44#2,3 (2009)	各号	¥2,200
593	**日本口腔顔面痛学会雑誌（日本口腔顔面痛学会）**		
品切	Vol. 1#1 (2008)		¥3,300
品切	Vol. 2#1 (2009)		¥3,300
品切	Vol. 3#1 (2010)		¥3,300
品切	Vol. 4#1,2 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 7#1 (2014)		¥3,300
594	**日本口腔外科学会雑誌（日本口腔外科学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1955)	各号	¥2,200
	Vol. 2-15 (1956-1969) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 16#1-4 (1970)	各号	¥2,200
	Vol. 17-26 (1971-1980) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 27-60 (1981-2014) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 62#3-7,9-12 (2016)	各号	¥2,200
	Vol. 63#1 (2017)		¥2,200

595	**日本口腔インプラント学会誌（日本口腔インプラント学会）**		
	Vol. 13-20 (2000-2007)　各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 21-26 (2008-2013)　各1-4号,特別号	各号	¥3,300
	Vol. 27#1-3,特別号 (2014)	各号	¥3,300
	Vol. 28#1,2 (2015)	各号	¥3,300
	Vol. 29#1,2 (2016)	各号	¥3,300
596	**日本航空医療学会雑誌（日本航空医療学会）**		
	Vol. 3#1; 5#2; 6#1; 7#2 (2002-2006)	各号	¥3,300
	Vol. 8-14 (2007-2013) 各1-3号	各号	¥3,300
597	**日本口腔科学会雑誌（日本口腔科学会）**		
	Vol. 1#2-4 (1952)	各号	¥2,200
	Vol. 2-36 (1953-1987) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 37-47 (1988-1998) 各1-5号	各号	¥2,200
	Vol. 48-52 (1999-2003) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 53-61 (2004-2012) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 62#1-4,増刊号 (2013)	各号	¥2,200
	Vol. 63-66 (2014-2017) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 67 (2018) 1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 68-69 (2019-2020) 各1-4号	各号	¥2,200
598	**日本口腔内科学会雑誌（日本口腔内科学会）**		
	Vol. 18-22 (2012-2016) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 23#1 (2017)		¥3,300
	Vol. 24#2 (2018)		¥3,300
	Vol. 25#1 (2019)		¥3,300
	Vol. 26#1-2 (2020)	各号	¥3,300
599	**日本口腔粘膜学会雑誌（日本口腔粘膜学会）**		
	Vol. 2#1 (1996)		¥3,300
	Vol. 5-15 (1999-2009) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 16#1 (2010)		¥3,300
	Vol. 17#1-2 (2011)	各号	¥3,300
600	**日本口腔リハビリテーション学会雑誌（日本口腔リハビリテーション学会）**		
	Vol. 26#1 (2013)		¥3,300
601	**日本口腔診断学会雑誌（日本口腔診断学会）**		
	Vol. 1#1 (1988)		¥3,850
	Vol. 7#2 (1994)		¥3,850
	Vol. 12-21 (1999-2008) 各1-2号	各号	¥3,850
	Vol. 22#2: 23#2 (2009,2010)		¥3,850
	Vol. 24-33 (2011-2020) 各1-3号	各号	¥3,850
	Vol. 34#1 (2021)		¥3,850
602	**日本口腔腫瘍学会誌（日本口腔腫瘍学会）**		
	Vol. 1-4 (1989-1992) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 5-6 (1993-1994) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 7-8 (1995-1996) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 9#1-3 (1997)	各号	¥2,750
	Vol. 10-12 (1998-2000) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 13#1-4,Suppl. (2001)	各号	¥2,750
	Vol. 14-21 (2002-2009) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 22#2-4 (2010)	各号	¥2,750
	Vol. 23#1,3,4 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 24#1,4 (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 25-30 (2013-2018) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 31-32 (2019-2020) 各1-4号	各号	¥3,575

603	**日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌**		
	Vol. 16#2 (2006)		¥3,300
	Vol. 17#1,2,3,増刊号 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 18#1,2,増刊号 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 19#1,2,3,増刊号 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1,2,3,増刊号 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 21#1,2,3,増刊号 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 22#1 (2012)	各号	¥3,300
604	**日本呼吸管理学会誌**		
	Vol. 15#1-4 (2005)	各号	¥3,300
605	**日本呼吸器学会雑誌 Journal of the Japanese Respiratory Society**		
	Vol. 47-49 (2009-2011) 各1-12号,増刊号 (2011)	各号	¥1,650
606	**日本高齢消化器病学会誌 (日本高齢消化器病学会)**		
	Vol. 12#1 (2009)		¥2,200
607	**日本高齢消化器医学会議会誌 (日本高齢消化器医学会議)**		
	Vol. 2#2 (2000)		¥2,200
	Vol. 5#2 (2003)		¥2,200
	Vol. 6#1 (2004)		¥2,200
608	**日本古生物学会 報告・紀事 オールドシリーズ (日本古生物学会)**		
	No. 1-21 (1935-1941)	各号	¥2,200
609	**日本古生物学会 報告・紀事 新篇 (日本古生物学会)**		
	No. 1-184 (1951-1996)	各号	¥2,200
610	**日本交通科学協議会誌 Journal of the Japanese Council of Traffic Science (日本交通科学協議会)**		
	Vol. 1#1; 2#1; 3#1 (2001-2003)	各号	¥2,200
	Vol. 4-9 (2004-2009) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 10#1 (2010)		¥2,200
611	**日本骨形態計測学会雑誌 (日本骨形態計測学会)**		
	Vol. 1#1 (1991)		¥5,500
	Vol. 2-5 (1992-1995) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 6-9 (1996-1999) 各1-3号	各号	¥5,500
	Vol. 10#1,2 (2000)	各号	¥5,500
	Vol. 11#1,2 (2001)	各号	¥5,500
	Vol. 12#1-3 (2002)	各号	¥5,500
	Vol. 13#1-3 (2003)	各号	¥5,500
	Vol. 14#1,2 (2004)	各号	¥5,500
	Vol. 15#1 (2005)	各号	¥5,500
	Vol. 16#1-3 (2006)	各号	¥5,500
	Vol. 17#1-3 (2007)	各号	¥5,500
	Vol. 21#1-2 (2011)	各号	¥5,500

612	**日本骨代謝学会雑誌（日本骨代謝学会）**		
	Vol. 1#1-3 (1983)	各号	¥2,750
	Vol. 2#1-5 (1984)	各号	¥2,750
	Vol. 3#1-5 (1985)	各号	¥2,750
	Vol. 4#1-4 (1986)	各号	¥2,750
	Vol. 5#1-2 (1987)	各号	¥2,750
	Vol. 6-9 (1988-1991)　各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 10#1-3 (1992)	各号	¥2,750
	Vol. 10#4/11#1合併 (1993)		¥5,500
	Vol. 11#2,3 (1993)	各号	¥2,750
	Vol. 12-13 (1994-1995) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 14-17 (1996-1999)　各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 18#1-3(2000-2001)	各号	¥2,750
	Vol. 19#1,3 (2001)	各号	¥2,750
613	**日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集（日本骨代謝学会）**		
	第25回-第28回 (2007-2010)	各巻	¥5,500
614	**日本矯正歯科学会雑誌・Orthodontic Waves（日本矯正歯科学会）**		
	Vol. 1-3 (1932-1934) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 4-9 (1935-1941) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 10-15 (1942-1956) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 16-34 (1957-1975) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 35-47 (1976-1988) 各1-4号	各号	¥3,300
	総目次 vol. 1-40 (1932-1981)		¥3,300
	Vol. 48-62 (1989-2003) 各1-6号	各号	¥3,300
	第51回大会 (1992)		¥3,300
	第52回大会 (1993)		¥3,300
	第57回学会大会 プログラム・抄録集 (1998)		¥3,300
	第58回学会大会 プログラム・抄録集 (1999)		¥3,300
	第59回学会大会 プログラム・抄録集 (2000)		¥3,300
	* Vol.63 no.1 (2004)から、Orthodontic Waves（英文誌）と Orthodontic Waves-Japanese Edition（日本語版）を別途発行		
615	**日本救急医学会雑誌 Journal of Japanese Association for Acute Medicine**		
	Vol. 19#1-7,9-12 (2008); 20#1-3 (2009); 21#1,11,12 (2010)	各号	¥1,572
	Vol. 19#8 (2008); 20#8 (2009); 21#8 (2010); 22#8 (2011)	各号	¥2,096
	Vol. 22#1-12 (2011)	各号	¥1,572
616	**日本救急医学会関東地方会雑誌（日本救急医学会関東地方会）**		
	Vol. 16#2; 17#1,2; 18#1 (1995-1997)	各号	¥4,400
	Vol. 22; 23 (2001-2002)	各巻	¥4,400
617	**日本救急看護学会雑誌（日本救急看護学会）**		
	Vol. 9#2 (2007)		¥4,400
	Vol. 10#1-3 (2008/2009)	各号	¥4,400
	Vol. 11#1-2 (2009)	各号	¥4,400
	Vol. 12#1 (2010)		¥4,400
618	**日本救命医療研究会雑誌**		
	Vol. 10,11,13,14 (1995-1999)	各巻	¥4,400
619	**日本LCA学会誌 Journal of Life Cycle Assessment, Japan**		
	Vol. 1#1-3 (2005)	各号	¥4,400
	Vol. 2-7 (2006-2011) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 8#1,2 (2012)	各号	¥4,400

620	**日本レーザー歯学会誌 (日本レーザー歯学会)**		
	Vol. 1-10 (1990-1999) 各1号	各号	¥5,500
	Vol. 11-18 (2000-2007) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 19-21 (2008-2010) 各1-3号	各号	¥5,500
	Vol. 22#1 (2011)		¥5,500
	Vol. 22#2/3 (2011)		¥5,500
	Vol. 23#1-3 (2012)	各号	¥5,500
	Vol. 24#1,2 (2013)	各号	¥5,500
	Vol. 25-27 (2014-2016) 各1-3号	各号	¥5,500
	Vol. 28#1 (2017)		¥5,500
	Vol. 28#2/3 (2017)		¥5,500
	Vol. 29-31 (2018/2019-2021) 各1-3号	各号	¥5,500
	Vol. 32#1,2 (2022)	各号	¥5,500
621	**日本免疫学会総会・学術集会記録 (日本免疫学会)**		
	Vol. 35-40 (2005-2011)	各巻	¥5,500
622	**日本未病システム学会雑誌 (日本未病システム学会)**		
	Vol. 9#1 (2003)		¥2,200
	Vol. 12#2 (2006)		¥2,200
	Vol. 13#1 (2007)		¥2,200
	Vol. 14#1 (2008)		¥2,200
	Vol. 15#1,2 (2008/2009)	各号	¥2,200
	Vol. 16#1 (2010)		¥2,200
623	**日本未熟児新生児学会雑誌 Journal of Japan Society for Premature and Newborn Medicine**		
	Vol. 20#2.; 21#1-3; 22#1-3; 23#1-3; 24#1,2 (2008-2012)	各号	¥3,300
624	**日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌**		
	Vol. 1#1; 2#1 (2009-2010)	各号	¥2,200
	Vol. 1#2; 2#2 (2009-2010)	各号	¥1,650
625	**日本水処理生物学会誌 (日本水処理生物学会)**		
	Vol. 28-43 (1992-2007) 各1-4号	各号	¥2,200
626	**日本水処理生物学会誌 別巻 (日本水処理生物学会)**		
	No. 13-25 (1993-2005)	各号	¥2,200
627	**日本門脈圧亢進症学会雑誌 Japanese Journal of Portal Hypertension**		
	Vol. 3#2; 4#1-4; 5#1,3,4; 6#1-4; 7#1-3; 8#2,4; 9#2 (1997-2003)	各号	¥3,300
	Vol. 11#1-4; 12#1,2,4; 13#1-3; 14#1-4; 15#1-4; 16#1-3 (2005-2010)	各号	¥3,300
	Vol. 17#1-4 (2011)	各号	¥3,300
628	**日本内科学会雑誌 (日本内科学会)**		
	Vol. 105#1,2,4-9,11,臨時増刊号 (2016)	各号	¥2,200
	Vol. 1065#1,2,4,臨時増刊号 (2017)	各号	¥2,200

629　日本内視鏡外科学会雑誌（医学書院）

※Vol.1-3 (1996-1998)→JSES 内視鏡外科

Vol. 4#1 (1999) いま、腹腔鏡下胆嚢摘出摘出術困難例を考える		¥2,860
Vol. 4#2 (1999) 泌尿器科領域の腹腔鏡下手術の新しい展開..		¥2,860
Vol. 4#3 (1999) HALS:Hand-assisted Laparoscopic Surgery		¥2,860
Vol. 4#4 (1999) 食道疾患に対する内視鏡下手術の進歩		¥2,860
Vol. 4#5 (1999) 超音波凝固切開装置による内視鏡下手術の..		¥2,860
Vol. 4#6 (1999) 小児悪性腫瘍に対する内視鏡下手術		¥2,860
Vol. 5#1 (2000) 21世紀の内視鏡下手術の展望		¥2,860
Vol. 5#3 (2000) 手術既往例における内視鏡下手術		¥2,860
Vol. 5#5 (2000) 内視鏡下手術のクリニカルパス		¥2,860
Vol. 5#2,4,6 (2000)	各号	¥2,860
Vol. 6#1 (2001) 乳腺内視鏡外科手術の最前線		¥2,970
Vol. 6#2 (2001) 内視鏡下手術における癌のリンパ節郭清		¥2,970
Vol. 6#3 (2001)		¥2,970
Vol. 6#4 (2001) 婦人科領域における内視鏡下手術のup to date		¥2,970
Vol. 6#5 (2001) 内視鏡下手術のトレーニング・システム		¥2,970
Vol. 6#6 (2001) 内視鏡下手術における血管損傷の予防と対処法		¥2,970
Vol. 7#1 (2002) 大腸癌の腹腔鏡下手術-問題点は解決されたか？-		¥2,970
Vol. 7#2 (2002) 胸腔鏡下肺癌手術の現況		¥2,970
Vol. 7#3 (2002)		¥2,970
Vol. 7#4 (2002) 進行癌に対する内視鏡下手術		¥2,970
Vol. 7#5 (2002) 肝疾患に対する内視鏡下手術のUp to Date		¥2,970
Vol. 7#6 (2002) 泌尿器科悪性腫瘍の腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 8#1 (2003) Robotic Surgery		¥2,970
Vol. 8#2 (2003) 内視鏡外科手術における技術認定		¥2,970
Vol. 8#3 (2003) 内視鏡下甲状腺・副甲状腺手術		¥2,970
Vol. 8#4 (2003) 下肢静脈瘤に対する内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離		¥2,970
Vol. 8#5 (2003) LigaSureTM新しい血管シーリングシステム		¥2,970
Vol. 8#6 (2003)		¥2,970
Vol. 9#1 (2004) 胸腔鏡下交感神経遮断術の現況と展望		¥2,970
Vol. 9#2 (2004)		¥2,970
Vol. 9#3 (2004) 各科における内視鏡下手術のトレーニング		¥2,970
Vol. 9#4 (2004) 胃癌に対する内視鏡外科		¥2,970
Vol. 9#5 (2004) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査―第7回集計		¥2,970
Vol. 9#6 (2004) 内視鏡下脊椎手術の進歩		¥2,970
Vol. 9#7 (2004) 第17回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
Vol. 10#1 (2005) 妊孕能温存と妊娠継続を考慮した内視鏡手術		¥2,970
Vol. 10#2 (2005) 乳腺内視鏡外科手術の適応とその限界		¥2,970
Vol. 10#3 (2005) 小児に対する内視鏡下手術-up to date-		¥2,970
Vol. 10#4 (2005)		¥2,970
Vol. 10#5 (2005) エピドラスコピー		¥2,970
Vol. 10#6 (2005) 食道内視鏡外科		¥2,970
Vol. 11#1 (2006) 消化器一般外科における技術認定-審査の実際と採点		¥2,970
Vol. 11#2 (2006) 泌尿器科，産婦人科，整形外科，呼吸器外科における		¥2,970
Vol. 11#3 (2006) 下肢静脈瘤に対する内視鏡手術の現状と進歩		¥2,970
Vol. 11#4 (2006)		¥2,970
Vol. 11#5 (2006) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査-第8回集計		¥2,970
Vol. 11#6 (2006) 呼吸器疾患を中心とした胸腔鏡下手術のPros and Con		¥2,970
Vol. 11#7 (2006) 第19回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
Vol. 12#1 (2007)		¥2,970
Vol. 12#2 (2007) 腹部救急疾患に対する腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 12#3 (2007) 婦人科疾患に対する腹腔鏡下手術における関連科と		¥2,970
Vol. 12#4 (2007)		¥2,970
Vol. 12#5 (2007) 嚢胞性疾患と内視鏡下手術		¥2,970
Vol. 12#6 (2007)		¥2,970
Vol. 12#7 (2007) 第20回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500

	Vol. 13#1 (2008) 進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術 新たなる展開		¥3,080
	Vol. 13#2 (2008) 腹腔鏡下胃癌手術における工夫		¥3,080
	Vol. 13#3 (2008) 甲状腺疾患に対する内視鏡下手術		¥3,080
	Vol. 13#4 (2008)		¥3,080
	Vol. 13#5 (2008)		¥3,080
	Vol. 13#6 (2008) 先端医療機器と内視鏡外科手術		¥3,080
	Vol. 13#7 (2008) 第21回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
	Vol. 14#1 (2009)		¥3,080
	Vol. 14#2 (2009) 臓器移植と内視鏡下手術		¥3,080
	Vol. 14#3 (2009)		¥3,080
	Vol. 14#4 (2009)		¥3,080
	Vol. 14#5 (2009)		¥3,080
	Vol. 14#6 (2009)		¥3,080
	Vol. 15#1 (2010)		¥3,080
	Vol. 15#2 (2010) 腹腔鏡補助下直腸癌手術症例の検討他		¥3,080
	Vol. 15#3 (2010) 腹腔鏡下胃手術における簡便で安全な肝挙上法		¥3,080
	Vol. 15#4 (2010)		¥3,080
	Vol. 15#5 (2010) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査		¥3,080
	Vol. 15#6 (2010)		¥3,080
	Vol. 15#7(2010) 第23回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
	Vol. 16#1-6 (2011)	各号	¥3,080
	Vol. 16#7 (2011) 第24回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
	Vol. 17#1-4 (2012)	各号	¥3,080
	Vol. 17#5 (2012) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査―第11回集		¥3,080
	Vol. 17#6 (2012)		¥3,080
	Vol. 17#7 (2012) 第25回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
	Vol. 18#1-6 (2013)	各号	¥3,080
	Vol. 18#7 (2013) 第26回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
	Vol. 19#1-6 (2014)	各号	¥3,080
	Vol. 19#7 (2014) 第27回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,500
	Vol. 20#1-6 (2015)	各号	¥3,080
	Vol. 20#7 (2015) 第28回日本内視鏡外科学会総会プログラム		¥2,750
	Vol. 21#1-6 (2016)	各号	¥3,080
	Vol. 21#7 (2016) 第29回日本内視鏡外科学会総会プログラム		¥2,750
	Vol. 22#1-6 (2017)	各号	¥3,080
	Vol. 23#1-6 (2018)	各号	¥3,080
630	**日本熱帯医学会雑誌（日本熱帯医学会）**		
	Vol. 16-31 (1988-2003) 各1-4号,Supplement	各号	¥2,200
631	**日本認知症ケア学会誌（日本認知症ケア学会）**		
	Vol. 11-14 (2012/2013-2015/2016) 各1-4号	各号	¥2,828
632	**日本妊娠中毒症学会雑誌（日本妊娠中毒症学会）**		
	Vol. 2 (1994)		¥5,500
	Vol. 12-17 (2004-2009)	各巻	¥5,500
633	**日本の眼科（日本眼科医学）**		
	Vol. 68#1,2,4,6-8,10-12 (1997)	各号	¥2,200
	Vol. 69#1,3,5-12 (1998)	各号	¥2,200
	Vol. 70#1,2,4-12 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 71#1-8,10-12 (2000)	各号	¥2,200
	Vol. 72#1,3,4,6,9,11,12 (2001)	各号	¥2,200
	Vol. 73#2-5,7-9,11 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 74-87 (2003-2016) 各1-12号	各号	¥2,200
634	**日本農芸化学会誌（日本農芸化学会）**		
	Vol. 74-78 (2000-2004) 各1-12	各号	¥1,980

635	**日本農村医学会雑誌**		
	Vol. 30-43 (1981/1982-1994/1995) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 44#2-4 (1995/1996)	各号	¥2,200
	Vol. 46#1,2,4-6 (1997/1998)	各号	¥2,200
	Vol. 47-48 (1998/1999-1999/2000)	各号	¥2,200
	Vol. 49#1,3-6 (2000/2001)	各号	¥2,200
	Vol. 50#1-6,特別号 (2001/2002)	各号	¥2,200
	Vol. 51-54 (2002/2003-2005/2006) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 55#1-5 (2006/2007)	各号	¥2,200
	Vol. 56-57 (2007/2008-2008/2009) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 58#1-4 (2009)	各号	¥2,200
636	**日本音楽療法学会誌 Japanese Journal of Music Therapy**		
	Vol. 1#1 (2001)		¥3,300
	Vol. 4#2 (2004)		¥3,300
	Vol. 6#2 (2006)		¥3,300
	Vol. 7#1 (2007)		¥3,300
	Vol. 8#1,2 (2008)	各号	¥3,300
637	**日本音響学会誌 (日本音響学会)**		
	Vol. 56-65 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥1,650
638	**日本温泉気候物理医学会雑誌**		
	Vol. 65#3,4; 66#2-4; 67#1-4;68#2-4 (2002-2005)	各号	¥2,750
	Vol. 69-71 (2005-2008) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 72#1,2; 73#2,4; 74#3; 75#1 (2008-2011)	各号	¥2,750
639	**日本応用動物昆虫学会誌 (日本応用動物昆虫学会)**		
	Vol. 40-53 (1996-2009) 各1-4号	各号	¥1,100
640	**日本応用数理学会論文誌 (日本応用数理学会)**		
	Vol. 1-13 (1991-2003) 各1-4号	各号	¥1,100
	Vol. 16-24 (2006-2012) 各1-4号	各号	¥1,100
641	**日本ペインクリニック学会誌 Journal of Japan Society of Pain Clinicians**		
	Vol. 15#2,3 (2008); 16#1,2,4 (2009); 17#1,4 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 18#3 (2011); 19#2,4 (2012); 20#1 (2013)	各号	¥2,200
642	**日本パラプレジア医学会雑誌 (日本パラプレジア医学会)**		
	Vol. 8,9,11,12 (1995-1999) 各1号	各号	¥6,600
643	**日本リモートセンシング学会誌 Journal of the Remote Sensing Society of Japan**		
	Vol. 7#1-3 (1987)	各号	¥2,750
	Vol. 8-14 (1988-1994) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 15-19 (1995-1999) 各1-5号	各号	¥2,750
	Vol. 20#1-4 (2000)	各号	¥2,750
	Vol. 21-23 (2001-2003) 各1-5号	各号	¥2,750
	Vol. 24#1-4 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 25-30 (2005-2010) 各1-5号	各号	¥2,750
644	**日本レオロジー学会誌 (日本レオロジー学会)**		
	Vol. 1-29 (1973-2001) 各1-4号	各号	¥2,750
645	**日本臨床 (日本臨牀社)**		
	Vol. 58-68 (2000-2010) 各1-12号	各号	¥2,750
646	**日本臨床バイオメカニクス学会誌 (日本臨床バイオメカニクス学会)**		
	Vol. 22, 24-29 (2001-2008)	各巻	¥11,000
647	**日本臨床バイオメカニクス学会プログラム・抄録集 (日本臨床バイオメカニクス学会)**		
	第34回,35回,36回,37回 (2007-2011)	各冊	¥6,600

648	**日本臨床微生物学雑誌 (日本臨床微生物学会)**		
	Vol. 19#1-4; 20#1; 21#1-4 (2009-2011)	各号	¥1,320
649	**日本臨床検査自動化学会会誌 Japanese Journal of Clinical Laboratory Automation**		
	Vol. 21#1-3,5,6 (1996)	各号	¥3,300
	Vol. 22#1-3,5,6 (1997)	各号	¥3,300
	Vol. 22#4 (1997)		¥5,500
	Vol. 23#1-3,5,6,7 (1998)	各号	¥3,300
	Vol. 23#4 (1998)		¥5,500
	Vol. 24#1-3,5,6 (1999)	各号	¥3,300
	Vol. 25#1,2 (2000)	各号	¥3,300
	Vol. 33-34 (2008-2009) 各1-5号	各号	¥3,300
	Vol. 35#1-3 (2010)	各号	¥3,300
650	**日本臨床矯正歯科医会雑誌 (日本臨床矯正歯科医会)**		
	Vol. 1-11 (1989-1999) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 12-26,28-33 (2000/2001-2021/2022) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 34#1 (2022)		¥3,300
651	**日本臨床救急医学会雑誌 (日本臨床救急医学会)**		
	Vol. 1#2 (1998)		¥2,200
	Vol. 2#1-4 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 3-7 (2000-2004) 各1-5号	各号	¥2,200
	Vol. 8-12 (2005-2009) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 13#1-6,増刊号 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 14-16 (2011-2013) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-3 (2014)	各号	¥2,200
652	**日本臨床麻酔学会誌 (日本臨床麻酔学会)**		
	Vol. 29-30 (2009-2010) 各1-7号	各号	¥3,300
653	**日本臨床免疫学会会誌 Japanese Journal of Clinical Immunology (日本臨床免疫学会)**		
	Vol. 33#3,5,6 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 34-36 (2011-2013) 各1-6号	各号	¥1,650
654	**日本臨床内科医会会誌 The Journal of Japan Physicians Association (日本臨床内科医会)**		
	Vol. 11#1,2,4,5,7 (1996)	各号	¥2,200
	Vol. 12#1,4,7 (1997)	各号	¥2,200
	Vol. 14#1,2,5-7 (1999/2000)	各号	¥2,200
	Vol. 15#2,4 (2000)	各号	¥2,200
	Vol. 16#1,2,4,5 (2001/2002)	各号	¥2,200
	Vol. 16#1,2,4,5 (2001/2002)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1-5 (2002/2003)	各号	¥2,200
	Vol. 18#1,4,5 (2003/2004)	各号	¥2,200
	Vol. 19-20 (2004-2006) 各1-5号	各号	¥2,200
	Vol. 21#1-3 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 23#1 (2008)		¥2,200
	Vol. 25#2,3 (2010)	各号	¥2,200

655	**日本臨床細胞学会雑誌（日本臨床細胞学会）**		
	Vol. 43#補冊2 (2004)		¥2,750
	Vol. 44#5,補冊1,2 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 45#3,4,補冊2 (2006)	各号	¥2,750
	Vol. 46#2-6,補冊1,2 (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 47#1-6,補冊1,2 (2008)	各号	¥2,750
	Vol. 48#1-6,補冊1,2 (2009)	各号	¥2,750
	Vol. 49#1-6,補冊1,2 (2010)	各号	¥2,750
656	**日本臨床心理士会雑誌（日本臨床心理士会）**		
	No. 37-82 (2003-2017)	各号	¥2,200
657	**日本臨床歯周病学会会誌（日本臨床歯周病学会）**		
	Vol. 1-26 (1983-2008)	各巻	¥2,200
	Vol. 27-36 (2009-2018) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 37#1-2 (2019)	各号	¥2,200
品切	Vol. 38#1 (2020)		¥2,200
	Vol. 38#2 (2020)		¥2,200
	Vol. 39#1-2 (2021)	各号	¥2,200
	Vol. 40#1 (2022)		¥2,200
658	**日本臨床スポーツ医学会誌（日本臨床スポーツ医学会）**		
	Vol. 2#4 (1994)		¥3,300
	Vol. 5#4 (1997)		¥3,300
	Vol. 11#4 (2003)		¥3,300
	Vol. 12#1,2,4 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 13-21 (2005-2013) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 22#1-3 (2014)	各号	¥3,300
	Vol. 23#3 (2015)		¥3,300
	Vol. 24#1,2,4 (2016)	各号	¥3,300
659	**日本ロボット学会誌（日本ロボット学会）**		
	Vol. 1-26 (1983-2008) 各1-8号	各号	¥2,750
	Vol. 29#1-10 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 30#1-10 (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 32#1,2 (2012)	各号	¥2,750
660	**日本老年泌尿器科学会誌（日本老年泌尿器科学会）**		
	Vol. 17,18,20-23 (2004-2010)	各巻	¥2,200
661	**日本老年看護学会 学術集会抄録集（日本老年看護学会）**		
	第9回-第10回 (2004-2005)	各号	¥2,200
662	**日本旅行医学会学会誌（日本旅行医学会）**		
	Vol. 1#1 (2003)		¥3,300
	Vol. 3#1,2 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 4#1 (2006)		¥3,300
	Vol. 7#2 (2009)		¥3,300
663	**日本緑化工学会研究発表会 研究発表要旨集（日本緑化工学会）**		
	第28回 (1997)		¥5,500
	第30回 (1999)		¥5,500
664	**日本緑化工学会誌（日本緑化工学会）**		
	Vol. 20-36 (1994/95-2010/11) 各1-4号	各号	¥2,200
665	**日本災害医学会会誌（日本災害医学会）**		
	Vol. 28-47 (1980-1999) 各1-12号, 臨時増刊号	各号	¥2,200

666	**日本災害看護学会誌 (日本災害看護学会)**		
	Vol. 1#1,2 (1999)	各号	¥2,090
	Vol. 2#1 (2000)		¥2,090
	Vol. 8-11 (2006/2007-2009/2010) 各1-3号	各号	¥2,090
	Vol. 12#1 (2010)		¥2,090
	Vol. 13#2,3 (2011/2012)	各号	¥2,090
	Vol. 14#1 (2012)		¥4,400
	Vol. 14#2,3 (2013)	各号	¥2,200
	Vol. 15#1 (2013)		¥4,400
	Vol. 15#2,3 (2013/2014)	各号	¥2,200
	Vol. 16#1 (2014)		¥4,400
667	**日本細菌学雑誌 (日本細菌学会) Japanese Journal of Bacteriology**		
	Vol. 32-49 (1977-1994) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 50-62 (1995-2007) 各1-4号	各号	¥4,950
	Vol. 63#1 (2008)		¥4,950
	Vol. 63#2/3/4 (2008)		¥4,950
	Vol. 64#1 (2009)		¥4,950
	Vol. 64#2/3/4 (2009)		¥4,950
	Vol. 65#1 (2010)		¥4,950
	Vol. 65#2/3/4 (2010)		¥4,950
	Vol. 66#1,2/3,4 (2011)	各号	¥4,950
	Vol. 67#1,2/3/4 (2012)	各号	¥4,950
	Vol. 68#1(2013)		¥4,950
	Vol. 69#1,2,3/4 (2014)	各号	¥4,950
	Vol. 70#1 (2015)	各号	¥4,950
	Vol. 71#第89回日本細菌学会総会プログラム集 (2016)		¥4,950
	Vol. 73#第91回日本細菌学会総会プログラム集 (2018)		¥4,950
	Vol. 74#第92回日本細菌学会総会プログラム集 (2019)		¥4,950
	Vol. 75#第93回日本細菌学会総会プログラム集 (2020)		¥4,950
668	**日本再生歯科医学会誌 (日本再生歯科医学会)**		
	Vol. 1#1; 2#1,3; 3#1 (2003-2005)	各号	¥3,300
669	**日本作物学会記事 (日本作物学会)**		
	Vol. 1-11,25-61,64-68,74 (197/29-2005) 各1-4号	各号	¥2,200
670	**日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 (日本産科婦人科内視鏡学会)**		
	Vol. 21-26 (2005-2010) 各1-2号	各号	¥3,300
671	**日本成人矯正歯科学会雑誌 (日本成人矯正歯科学会)**		
	Vol. 11#2; 12#1; 13#2 (2004-2006)	各号	¥3,300
672	**日本整形外科超音波研究会会誌**		
	Vol. 7#1 (1995)		¥2,200
	Vol. 14#1 (2002)		¥2,200
	Vol. 19#1 (2007)		¥2,200
	Vol. 20#1 (2008)		¥2,200
673	**日本整形外科学会雑誌 (日本整形外科学会)**		
	Vol. 89#1,4,5,7,9-12 (2015)	各号	¥1,650
	Vol. 89#2,3,6,8 (2015)	各号	¥2,750
	Vol. 90#1,4,5,7,9-12 (2016)	各号	¥1,650
	Vol. 90#2,3,6,8 (2016)	各号	¥2,750
	Vol. 91#1 (2017)		¥1,650
	Vol. 91#3 (2017)		¥2,750

674	**日本整形外科スポーツ医学会雑誌 (日本整形外科スポーツ医学会)**		
	Vol. 5#1 (1986)		¥3,300
	Vol. 8#1,第15回抄録集 (1989)	各号	¥3,300
	Vol. 9#1-2,第16回抄録集 (1990)	各号	¥3,300
	Vol. 10#1-2,第17回抄録集 (1991)	各号	¥3,300
	Vol. 11#1-2,第18回抄録集 (1992)	各号	¥3,300
	Vol. 12#1-2 (1993)	各号	¥3,300
	Vol. 13#1-3 (1994)	各号	¥3,300
	Vol. 14-33 (1995-2013) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 36#2,3 (2016)	各号	¥3,300
675	**日本生理学雑誌 Journal of the Physiological Society of Japan (日本生理学会)**		
	Vol. 63-73 (2001-2011) 各1-12号	各号	¥1,100
676	**日本生理人類学会誌**		
	Vol. 1#2-4 (1996)	各号	¥2,200
	Vol. 2-12 (1997-2007) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 13#1 (2008)	各号	¥2,200
677	**日本精神保健看護学会誌 (日本精神保健看護学会)**		
	Vol. 1-16 (1992-2007)	各号	¥2,200
678	**日本生態学会誌 (日本生態学会)**		
	Vol. 1-8 (1951/1952-1958) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 9-23 (1959-1973) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 24-34 (1974-1984) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 35#1-5 (1985/1986)	各号	¥2,750
	Vol. 36-63 (1986-2013) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 64#2,3 (2014)	各号	¥2,750
	Vol. 65-68 (2015-2018) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 69#1,2,3,別冊 (2019)	各号	¥2,750
	Vol. 70-71 (2020-2021) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 72#1-2 (2022)	各号	¥2,750
	Vol. 73#1 (2023)		¥2,750
679	**日本生体磁気学会誌 (日本生体磁気学会)**		
	Vol. 16#2; 20#2; 21#2 (2003-2008)	各号	¥2,200
	Vol. 18#1; 19#1; 22#1; 23#1 (2005-2010)	各号	¥4,400
680	**日本赤十字看護学会誌 (日本赤十字看護学会)**		
	Vol. 1#1; 5#1; 6#1; 11#1,2; 12#1 (2001-2012)	各号	¥2,200
681	**日本脊椎脊髄病学会雑誌 The Journal of the Japan Spine Research Society**		
	Vol. 15#1; 18#1,4; 19#1; 20#2 (2004-2009)	各号	¥5,500
682	**日本船舶海洋工学会論文集 (日本船舶海洋工学会)**		
	No. 3-5,8-15 (2006-2012)	各号	¥4,400
683	**日本社会精神医学会雑誌 (日本社会精神医学会)**		
	Vol. 1#1 (1993)		¥2,750
	Vol. 2-13 (1993/1994-2004/2005) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 14#1-3,supplement (2005/2006)	各号	¥2,750
	Vol. 16#3 (2008)		¥2,750
684	**日本歯科衛生教育学会雑誌 (日本歯科衛生教育学会)**		
品切	Vol. 1#1 (2011)		¥3,300
	Vol. 2-3 (2011/2012-2012/2013) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 4-13 (2013-2022) 各1-2号	各号	¥3,300

685	**日本歯科技工学会雑誌（日本歯科技工士学会会誌）（日本歯科技工学会）**		
	Vol. 1#1 (1980)		¥4,400
	Vol. 2#1-2 (1981)	各号	¥4,400
	Vol. 3-13 (1982-1992) 各1号	各号	¥4,400
	Vol. 14#1(特集号), 2 (1993)	各号	¥4,400
	Vol. 15-21 (1994-2000) 各1号	各号	¥4,400
	Vol. 22-28 (2001-2007) 各1-2号	各号	¥4,400
	学術大会プログラム 第9-13,15-19,21-29回 (1987-2007)	各冊	¥4,400
	Vol. 29#1-2 (2008)	各号	¥4,400
	Vol. 29#特別号 学術大会プログラム 第30回 (2008)		¥4,400
	Vol. 30#1-2 (2009/2010)	各号	¥4,400
	Vol. 30#特別号 学術大会プログラム 第31回 (2009)		¥4,400
	Vol. 31#1-2 (2010/2011)	各号	¥4,400
	Vol. 31#特別号 学術大会プログラム 第32回 (2010)		¥4,400
	Vol. 32#1-2 (2011/2012)	各号	¥4,400
	Vol. 32#特別号 学術大会プログラム 第33回 (2011)		¥4,400
	Vol. 33#1-2 (2012/2013)	各号	¥4,400
	Vol. 34#1-2 (2013/2014)	各号	¥4,400
	Vol. 35#1-2,特別号 学術大会プログラム 第36回 (2014)	各号	¥4,400
	Vol. 36#1,特別号 学術大会プログラム 第37回 (2015)	各号	¥4,400
	Vol. 37#1-2,特別号 学術大会プログラム 第38回 (2016)	各号	¥4,400
	Vol. 38#1-2,特別号 学術大会プログラム 第39回 (2017)	各号	¥4,400
	Vol. 39#1-2,特別号 学術大会プログラム 第40回 (2018)	各号	¥4,400
	Vol. 40#1-2,特別号 学術大会プログラム 第41回 (2019)	各号	¥4,400
686	**日本歯科保存学雑誌（日本歯科保存学会）**		
	Vol. 1#1 (1958)		¥4,400
	Vol. 2-20 (1959-1977) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 21-26 (1978-1983) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 27-28 (1984-1985) 各1-4号	各号	¥4,400
	総目次 Vol. 1-28 (1958-1985)		¥4,400
	Vol. 29-50 (1986-2007) 各1-6号,春季特別号・秋季特別号	各号	¥4,400
	総目次およびキーワード集 Vol. 29/47 (1986-2004)		¥4,400
	Vol. 51#1-6,春季特別号 (2008)	各号	¥4,400
	Vol. 52-62 (2009-2019) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 63#1-3 (2020)	各号	¥4,400
687	**日本歯科医学教育学会雑誌（日本歯科医学教育学会）**		
	Vol. 1-5 (1986-1990) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 6-20 (1990-2004/2005) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 21-34 (2005-2018) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 35#1-2 (2019)	各号	¥3,300
	Vol. 36#3 (2020)		¥3,300
	Vol. 37#1,3 (2021)	各号	¥3,300
688	**日本歯科医療福祉学会雑誌（日本歯科医療福祉学会）**		
	Vol. 1,3-8,10,11 (1996-2006) 各1号	各巻	¥3,300

689	**日本歯科医療管理学会雑誌（日本歯科医療管理学会）**		
	Vol. 1-22#2 通刊1-33号 (1966/1967-1987/1988)	各号	¥3,300
	Vol. 23-27 (1988/1889-1992/1993) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 28#1/2 (1993)		¥6,600
	Vol. 29-30 (1994-1995) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 31-35 (1996/1997-2000) 各1-3号	各号	¥3,300
	38回大会プログラム・特別講演・一般講演要旨 (1997)		¥3,300
	40回総会・学術大会プログラム・抄録集 (1999)		¥3,300
	Vol. 36-54 (2001/2002-2019/2020) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 55#2,3,4 (2020/2021)	各号	¥3,300
	Vol. 56#2,3,4 (2021/2022)	各号	¥3,300
	Vol. 57#1,2 (2022)	各号	¥3,300
690	**日本歯科麻酔学会雑誌（日本歯科麻酔学会）**		
	Vol. 1-3 (1973-1975) 各1-2号	各号	¥4,400
	Vol. 4-9 (1976-1981) 各1-3号	各号	¥4,400
	Vol. 10-12 (1982-1984) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 13-17 (1985-1989) 各1-4号,抄録号	各号	¥4,400
	Vol. 18#1,3,4,抄録号 (1990)	各号	¥4,400
	Vol. 19-23 (1991-1995) 各1-4号,抄録号	各号	¥4,400
	Vol. 21#特別号 (1993) 総目次と索引		¥4,400
	Vol. 24-28 (1996-2000) 各1-5号	各号	¥4,400
	Vol. 29#2-5 (2001)	各号	¥4,400
	Vol. 30-45 (2002-2017) 各1-5号	各号	¥4,400
691	**日本歯科人間ドック学会誌（日本歯科人間ドック学会）**		
	Vol. 1,2,5-12 (1999-2017) 各1号		¥3,300
	※Vol. 13#1 (2018)→ジャパンオーラルヘルス学会誌（ジャパンオーラル		
692	**日本歯科理工学会誌（日本歯科理工学会）**		
	Vol. 29-36 (2010-2017) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vol. 37#1-4 (2018)	各号	¥3,300
	Vol. 38-41 (2019-2022) 各1-3号	各号	¥3,300
693	**日本歯科心身医学会雑誌（日本歯科心身医学会）**		
	Vol. 1-5 (1986-1990) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 6-14 (1991-1999) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 17#1 (2002)		¥3,300
	Vol. 18#2 (2003)		¥3,300
	Vol. 20#1-2 (2005)	各号	¥3,300

694	**日本歯科東洋医学会誌（日本歯科東洋医学会）**		
	Vol. 1-8 (1983-1990) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 9#1-2 (1990)	各号	¥3,300
	Vol. 10#1-2 (1991)	各号	¥3,300
	Vol. 11#1/2 (1992)		¥3,300
	日本歯科東洋医学会十周年記念学術大会プログラム (1992)		¥1,100
	Vol. 12#1/2 (1993)		¥3,300
	日本歯科東洋医学会10年のあゆみ (1993)		¥1,100
	Vol. 13#1/2 (1994)		¥3,300
	Vol. 14#1/2 (1995)		¥3,300
	Vol. 15#1 (1996)		¥3,300
	Vol. 16-19 (1997-2000)　各1-2号	各号	¥3,300
	第16回学術大会 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ”生きる・癒す”(1998)		¥1,100
	Vol. 20-24 (2001-2005) 各1/2号	各号	¥3,300
	日本歯科東洋医学会20年のあゆみ (2005)		¥1,100
	Vol. 25-26 (2006-2007) 各1/2号	各号	¥3,300
	Vol. 30-31,33 (2011-2014) 各1/2号	各号	¥3,300
	Vol. 35-40 (2016-2021) 各1/2号	各号	¥3,300
695	**日本色彩学会誌（日本色彩学会）**		
	Vol. 27#2-4,Supplement (2003)	各号	¥2,750
	Vol. 28-31 (2004-2007) 各1-4号,Supplement	各号	¥2,750
	Vol. 32#2 (2008)		¥2,750
696	**日本歯内療法学会雑誌（旧:日本歯内療法学会雑誌）（日本歯内療法学会）**		
	Vol. 1-9 (1980-1988) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 11#1 (1990)		¥3,300
	Vol. 12-23 (1991-2002) 各1-2号	各号	¥3,300
	21回学術大会プログラム抄録集 (2000)		¥3,300
	Vol. 24#1/2 (2003)		¥6,600
	Vol. 24#3 (2003)		¥3,300
	Vol. 25-43 (2004-2022)　各1-3号	各号	¥3,300
697	**日本神経精神薬理学雑誌（日本神経精神薬理学会）**		
	Vol. 1-10 (1981-1990)	各号	¥2,200
	Vol. 11-17,20-37 (1991-2017) 各1-6号	各号	¥2,200
698	**日本心血管インターベンション学会誌（日本心血管インターベンション学会）**		
	Vol. 15-24 (2000-2009) 各1-6号	各号	¥3,300
699	**日本心理学会発表論文集（日本心理学会）**		
	第33回-36,38-40,42,43,45,47-49,52,56,61,68-69,72,74 (1969-2010)	各冊	¥8,800
700	**日本森林学会誌（日本森林学会）**		
	Vol. 87-91 (2005-2009) 各1-6号	各号	¥2,200
701	**日本心臓病学会誌（日本心臓病学会）**		
	Vol. 1-6 (2008-2011) 各1-3,Supplement	各号	¥4,400
702	**日本歯周病学会会誌（日本歯周病学会）**		
	Vol. 1-4 (1959-1962)　　各1号	各号	¥2,200
	Vol. 5-17 (1963-1975)　各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 18-24 (1976-1982)　各1-4号	各号	¥2,200
	総目次 Vol. 1-22 (1959-1980)		¥2,200
	Vol. 25-56 (1983-2014)　各1-4号	各号	¥3,300
	春季特別号・秋季特別号 Vol. 29-64 (1987-2022)	各号	¥3,300
703	**日本消化器病学会雑誌**		
	Vol. 107-109 (2010-2012) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥1,650
	Vol. 110#1-7,臨時増刊号 (2013)	各号	¥1,650

704	**日本消化器がん検診学会雑誌**		
	Vol. 49#2,5,6,Supplement (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 50#1,2,3,5,6 (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 51#1,2,3,4 (2013)	各号	¥2,750
705	**日本消化器内視鏡学会雑誌 = Gastroenterological Endoscopy**		
	Vol. 54#4-12 (2012)	各号	¥1,650
	Vol. 54#Supplement2 第84回総会抄録集 (2012)		¥2,200
	Vol. 55#1-12 (2013)	各号	¥1,650
	Vol. 55#Supplement1 第85回総会抄録集 (2013)		¥2,200
	Vol. 55#Supplement2 第86回総会抄録集 (2013)		¥2,200
	Vol. 56#1-12 (2014)	各号	¥1,650
	Vol. 56#Supplement1 第87回総会抄録集 (2014)		¥2,200
	Vol. 56#Supplement2 第88回総会抄録集 (2014)		¥2,200
	Vol. 57#1-8 (2015)	各号	¥1,650
	Vol. 57#Supplement1 第89回総会抄録集 (2015)		¥2,200
	Vol. 57#Supplement2 第90回総会抄録集 (2015)		¥2,200
706	**日本職業アレルギー学会雑誌 Occupational and Environmental Allergy (日本職業アレルギー学会)**		
	Vol. 4#2; 5#2; 6#2; 7#1,2; 8#1; 10#2; 11#1 (1997-2003)	各号	¥2,200
707	**日本職業・災害医学会会誌 (日本職業・災害医学会)**		
	Vol. 28-47 (1980-1999) 各1-12号,増刊号	各号	¥2,200
	Vol. 48-51 (2000-2003) 各1-6号,増刊号	各号	¥2,200
	Vol. 59-60 (2011-2012) 各1-6号	各号	¥2,200
708	**日本食品保蔵科学会誌**		
	Vol. 1-27 (1975-2001) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 28-38 (2002-2012) 各1-6号	各号	¥2,750
709	**日本食品科学工学会誌**		
	Vol. 50-59 (2003-2012) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 60#1-2 (2013)	各号	¥2,200
710	**日本小児アレルギー学会誌 (日本小児アレルギー学会)**		
	Vol. 18#3; 19#5; 20#1-3; 21#1,2,3,5; 22#5 (2004-2008)	各号	¥1,650
	Vol. 20#4; 21#4; 22#4 (2006-2008)	各号	¥3,300
	Vol. 24#2-5; 25#1,2; 26#1-5; 27#1-4 (2010-2013)	各号	¥3,300
711	**日本小児循環器学会雑誌 Pedoatric Cardiology and Cardiac Surgery**		
	Vol. 24#3 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 25#16 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 26#1-5,Supplement June, Supplement September (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 27#1-6,Supplement (2010)	各号	¥2,200
712	**日本小児看護学会誌 (日本小児看護学会誌)**		
	Vol. 8-11 (1999-2002) 各1-2号,学術集会	各号	¥2,200
	Vol. 15-17 (2006-2008) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 18-21 (2009-2012) 各1-3号	各号	¥2,200
713	**日本小児救急医学会雑誌 (日本小児救急医学会)**		
	Vol. 1#2; 2#1,2; 3#1; 5#2; 8#3 (2003-2009)	各号	¥2,200
714	**日本小児臨床薬理学会雑誌 (日本小児臨床薬理学会)**		
	Vol. 10-13,15-18 (1997-2005) 各1号	各巻	¥3,300
	Vol. 14#2 (2001)		¥3,300

715	**日本咀嚼学会雑誌 咀嚼と健康（日本咀嚼学会）**		
	Vol. 11-15 (2001/2002-2005) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 16#1 (2006)		¥5,500
	Vol. 17-23 (2007-2013) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 25 (2015) 1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 28#2 (2018)		¥5,500
716	**日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌（日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会）**		
	Vol. 21 No.3 (2005)		¥3,300
717	**日本数値流体力学会誌（日本数値流体力学会）**		
	Vol. 2-4 (1993/94-1995/96) 各1-4号	各号	¥1,650
718	**日本数学教育学会誌（日本数学教育学会誌）**		
	Vol. 1-83 (1919-2001)	各巻	¥13,200
	Vol. 84-91 (2002-2009) 各1-12号	各号	¥1,650
719	**日本数学教育学会誌 臨時増刊 数学教育学論究（日本数学教育学会誌）**		
	Vol. 45-78 (1986-2002)	各巻	¥1,760
	Vol. 83,86,93,94 (2004-2009)		¥1,760
720	**日本水産学会誌（日本水産学会）**		
	Vol. 1-14 (1932-1948) 各1-6号	各号	¥1,650
	Vol. 15-39 (1949-1973) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 40-51 (1974-1985) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 52-59 (1986-1993) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 60-67 (1994-2001) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 68-77 (2002-2011) 各1-6号	各号	¥4,400
	Vol. 78#1-5 (2012)	各号	¥4,400
	Vol. 79#4-6 (2013)	各号	¥4,400
	Vol. 80#1 (2014)		¥4,400
721	**日本水産学会秋季大会(日本農学大会水産部会)講演要旨集（日本水産学会）**		
	Year 2007, 2009, 2010	各年	¥8,800
722	**日本水産学会春季大会(日本農学大会水産部会)講演要旨集（日本水産学会）**		
	Year 2007-2010	各年	¥8,800
723	**日本小児循環器学会雑誌 Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery**		
	Vol. 24#3 (2008)		¥2,200
	Vol. 25#1-6 (2009)	各号	¥2,200
724	**日本集団災害医療研究会誌 Japanese Journal of Disaster Medicine**		
	Vol. 1#1; 2#1; 3#2; 4#1,2 (1996-2000)	各号	¥1,760
	Vol. 5-10 (2001-2006) 各1-3号	各号	¥1,760
	Vol. 11#1,2; 13#3; 14#1-3; 15#1 (2006-2010)	各号	¥1,760
725	**日本体育学会**		
	第37回大会号A,B (1986)	各号	¥5,500
	第41回大会号B (1990)		¥5,500
	第52回,54回,55回,56回 (2001-2005)	各号	¥5,500
726	**日本統合医療学会**		
	統合医療 基礎と臨床 2005年11月25日 第1版第1刷発行		¥6,600
	統合医療：理論と実践 Revised Edition. 2012 Part 1.【理論篇】 Part 2.【実践編】	セット	¥22,000

727	**日本統合医療学会誌（日本統合医療学会）**		
	Vol. 1#2 (2008)		¥3,850
	Vol. 2-4 (2009-2011) 各1-2号	各号	¥3,850
	Vol. 5-11 (2012-2018) 各1-3号	各号	¥3,850
	Vol. 12#1/2 (2019)		¥3,850
	Vol. 12#3 (2019)		¥3,850
	Vol. 13-14 (2020-2021) 各1-3号	各号	¥3,850
	Vol. 15#1-2 (2022)	各号	¥3,850
728	**日本統計学会誌（日本統計学会）**		
	Vol. 1-39 (1970/71-2009) 各1-3号	各号	¥3,300
729	**日本統計年鑑（総務庁統計局）**		
	Vol. 4,9,11,13,15-53 (1952-2005)	各巻	¥5,500
730	**日本糖尿病教育・看護学会誌（日本糖尿病教育・看護学会）**		
	Vol. 3-8 (1999-2004) 各1-2号	各号	¥2,640
731	**日本糖尿病眼学会誌**		
	Vol. 11-14 (2005-2008)	各巻	¥4,400
732	**日本東洋医学雑誌（日本東洋医学会）**		
	Vol. 1-30,32-37,39-63 (1950-2012) 各1-6号,別冊	各号	¥3,300
	Vol. 64#1,2,別冊 (2013)		¥3,300
733	**日本東洋心身医学研究（日本東洋心身医学研究会）**		
	Vol. 9-11,13-17,19 (1994-2004) 各1/2号	各巻	¥3,300
	Vol. 24-28,30 (2009-2013,2015) 各1/2号	各巻	¥3,300
734	**日本運動生理学雑誌（日本運動生理学会）**		
	Vol. 1-20 (1994-2013) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 21#1 (2014)		¥3,300
735	**日本運動器疼痛研究会誌（日本運動器疼痛研究会）**		
	Vol. 1#1; 2#1 (2009-2010)	各号	¥3,300
736	**日本バーチャルリアリティ学会論文誌**		
	Vol. 10-12 (2005-2007) 各1-4号	各号	¥3,850
737	**日本バーチャルリアリティ学会誌（日本バーチャルリアリティ学会）**		
	Vol. 10-12 (2005-2007) 各1-4号	各号	¥4,950
738	**日本薬局方フォーラム（日本公定書協会）**		
	Vol. 10-12,17 (2001-2008) 各1-4号	各号	¥2,750
739	**日本薬物脳波学会雑誌（日本薬物脳波学会）**		
	Vol. 1-11 (1999-2010) 各1号	各号	¥2,200
740	**日本薬理学雑誌（日本薬理学会）**		
	Vol. 115-142 (2000-2013) 各1-6号	各号	¥990
741	**日本腰痛研究会雑誌（日本腰痛研究会）**		
	Vol. 2,5-8,10-11,13-15 (1996-2009) 各1号	各号	¥2,200
742	**日本在宅医学会雑誌（日本在宅医学会）**		
	Vol. 1#1 (2000)		¥3,300
	Vol. 2#1,2 (2000/2001)	各号	¥3,300
	Vol. 5#2 (2004)		¥3,300
	Vol. 6-8 (2004/2005-2006/2007) 各1-2号	各号	¥3,300

743	**日本全身咬合学会雑誌（日本全身咬合学会）**		
	Vol. 1-5 (1995-1999) 各1号	各号	¥5,500
	第2回学術大会プログラム (1994)		¥3,300
	第8回学術大会プログラム・抄録集 (1998)		¥3,300
	Vol. 6-12 (2000-2006) 各1-2号	各号	¥5,500
	第10回学術大会プログラム・抄録集 (2000)		¥3,300
	第11回学術大会プログラム・抄録集 (2001)		¥3,300
	第13回学術大会「咬合と脳活動」プログラム・抄録集 (2003)		¥3,300
	第16回学術大会プログラム・抄録集 (2006)		¥3,300
	Vol. 13#1-2 (2007)	各号	¥5,500
	Vol. 14-16 (2008-2010) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 17#1/2 (2011)		¥5,500
	Vol. 18#1/2 (2012)		¥5,500
	Vol. 19-28 (2013-2022) 各1-2号	各号	¥5,500
744	**新潟医療福祉学会誌**		
	Vol. 3#1,2 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 4#1 (2004); 5#1 (2005); 6#1 (2006); 7#1 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 8#1,2 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 9#2 (2009)		¥3,300
	Vol. 10-11 (2010-2011) 各1-2号	各号	¥3,300
745	**Niigata Journal of Health and Welfare**		
	Vol. 9-10 (2009-2010) 各1号	各号	¥3,300
746	**日経ヘルスケア21（日経BP社）**		
	No. 164-172,225-257 (2003-2011)	各号	¥2,200
747	**日経流通新聞縮刷版（日本経済新聞社）**		
	2017年1-2月号/3-4月号/5-6月号 (Vol.36#1,2,3)	各号	¥6,380
	2017年7-8月号/9-10月号/11-12月号 (Vol.36#4,5,6)	各号	¥6,380
	2018年1-2月号/3-4月号/5-6月号 (Vol.37#1,2,3)	各号	¥6,380
	2018年7-8月号/9-10月号/11-12月号 (Vol.37#4,5,6)	各号	¥6,380
	2019年1-2月号 (Vol.38#1)		¥6,380
748	**認知科学（日本認知科学会）**		
	Vol. 1#1,2; 2#3; 9#2,3; 10#1,2,4; 11#1-3; 12#2,3 (1994-2005)	各号	¥2,750
	Vol. 13#1-3; 14#2,4; 15#1,2; 16#3; 18#2-4; 19#1,2,4 (2006-2012)	各号	¥2,750
749	**認知療法研究（日本認知療法学会）**		
	Vol. 1-3 (2008-2010)	各巻	¥2,200
	Vol. 4-9 (2011-2016) 各1-2号	各号	¥2,200
750	**認知神経科学 Japanese Journal of Cognitive Neuroscience（認知神経科学会）**		
	Vol. 1#2 (1999)		¥3,300
	Vol. 2#1,2 (2000)	各号	¥3,300
	Vol. 3-9 (2001-2007) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 3#supplement (2001)		¥3,300
	Vol. 11#1,2,3/4 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 12#1,2 (2010)		¥3,300
	Vol. 13#1 (2011)		¥3,300
751	**認知症ケア事例ジャーナル（日本認知症ケア学会）**		
	Vol. 2#2 (2009)		¥1,885
	Vol. 3-8 (2010/2011-2015/2016) 各1-4号	各号	¥1,885
752	**認知運動療法研究（日本認知運動療法研究会）**		
	No. 3-8 (2003-2008)	各号	¥4,400

753	**人間性心理学研究**		
	No. 8-9 (1990-1991)	各号	¥3,300
	Vol. 10-11 (1992-1993) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 12#1 (1994)		¥3,300
	Vol. 13#1,2 (1995)	各号	¥3,300
	Vol. 14#1 (1996)		¥3,300
	Vol. 15#1,2 (1997)	各号	¥3,300
754	**人間総合科学会誌 (人間総合科学大学人間総合科学会)**		
	Vol. 1#1 (2005)		¥2,200
	Vol. 2#2 (2006)		¥2,200
	Vol. 3-5 (2007-2009) 各1-2号	各号	¥2,200
755	**脳神経外科ジャーナル (日本脳神経外科コングレス)**		
	Vol. 13-21 (2004-2012) 各1-12,Supplement	各号	¥2,136
756	**脳卒中の外科 (日本脳卒中の外科研究会)**		
	Vol. 15-24,26-38 (1987-2010) 各1-6号	各巻	¥2,409
757	**脳と発達 (日本小児神経学会)**		
	Vol. 38-45 (1997-2013) 各1-6号,総会号	各号	¥1,650
758	**脳と循環 (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 1-8 (1996-2003) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 9-18 (2004-2001) 各1-3号	各号	¥2,200
759	**ナーシングカレッジ (医学芸術社)**		
	Vol. 1#0,1-9 (1997)	各号	¥1,100
	Vol. 2#1,2,4-13 (1998)	各号	¥1,100
	Vol. 3#1-13 (1999)	各号	¥1,100
	Vol. 4#1-14 (2000)	各号	¥1,100
	Vol. 5#1-15 (2001)	各号	¥1,100
	Vol. 6#1-3,5,6,8,10-12,14-19,21 (2002)	各号	¥1,100
	Vol. 7#1-7,9-16,18-21 (2003)	各号	¥1,100
	Vol. 8#1,3-14 (2004)	各号	¥1,100
	Vol. 9#1-3 (2005)	各号	¥1,100
	Vol. 9#4-14 (2005)	各号	¥964

760 Nursing Today ナーシング トゥデイ（日本看護協会出版会）

Vol. 1#1-9 (1986)	各号	¥990
Vol. 2-3 (1987-1988) 各1-12号	各号	¥990
Vol. 4#2-12 (1989)	各号	¥990
Vol. 5#1-6,8-12 (1990)	各号	¥990
Vol. 6-9 (1991-1994) 各1-12号	各号	¥990
Vol. 10#1-10,12,13 (1995)	各号	¥990
Vol. 10#11 (1995) ケアに生かせる新しい臨床看護研究		¥1,650
Vol. 11#1-10,12,13 (1996)	各号	¥990
Vol. 11#11 (1996) 最新「がん看護の知識と技術」		¥1,650
Vol. 12#1 (1997) 医療を社会へ開く『患者よ、がんと闘うな』		¥990
Vol. 12#2 (1997) 患者とともにつくる看護計画		¥990
Vol. 12#3 (1997) Q&A現場で困ったときの法律活用術 Part.3		¥990
Vol. 12#4 (1997) 効率的なカンファレンスの工夫		¥990
Vol. 12#5 (1997) あなたもなれる言葉遣いの達人		¥990
Vol. 12#6 (1997) 臨時増刊号 まるごと一冊勤務表！		¥1,650
Vol. 12#7 (1997) NT版 看護大学・大学院便覧		¥990
Vol. 12#8 (1997) 院内教育:有効活用へのアプローチ		¥990
Vol. 12#9 (1997) 褥創ケアの気になる疑問に答えます！		¥990
Vol. 12#10 (1997) ベテランナースのよりどころ ナースの法則200		¥990
Vol. 12#11 (1997) 腰痛 ナースのための予防と対策		¥990
Vol. 12#12 (1997) ナースの心をノックする”患者さん”の法則50		¥990
Vol. 12#13 (1997) 最新 がん患者のペインマネジメント		¥990
Vol. 12#14 (1997) 臨時増刊号 患者主体の症状マネジメント		¥1,650
Vol. 13#1 (1998) 看護アセスメントに使えるME機器活用法Part.1		¥990
Vol. 13#2 (1998) 看護アセスメントに使えるME機器活用法Part.2		¥990
Vol. 13#3 (1998) 宮子あずさ+森津純子の「癒し」をめぐる対話		¥990
Vol. 13#4 (1998) 誰もが気になる薬の疑問50		¥990
Vol. 13#5 (1998) 患者からの暴力		¥990
Vol. 13#6 (1998) 臨時増刊号 クリティカル・パスの使い方		¥1,650
Vol. 13#7 (1998) 看護に役立つ？インターネット		¥990
Vol. 13#8 (1998) こんな雑誌が. . 世界の看護雑誌総めぐり		¥990
Vol. 13#9 (1998) 看護技術..特別編 Part.1 安全な浣腸の技術		¥990
Vol. 13#10 (1998) 看護技術..特別編 Part.2 安全な吸引の技術		¥990
Vol. 13#11 (1998) せん妄患者対応マニュアル		¥990
Vol. 13#12 (1998) 臨時増刊号 CSマネジメント入門		¥1,650
Vol. 13#13 (1998) 自己決定 患者への情報開示と看護		¥990
Vol. 13#14 (1998) 看護と宗教		¥990
Vol. 14#1 (1999) 今年、看護界を賑わす19のテーマ		¥990
Vol. 14#2 (1999) 結核が怖い！増える感染症事故と患者への対応		¥990
Vol. 14#3 (1999) あなたは満足？いまの職場		¥990
Vol. 14#4 (1999) ナースのためのシネマ・ライブラリー		¥990
Vol. 14#5 (1999) 代替医療-西洋医学は万能か		¥990
Vol. 14#6 (1999) 臨時増刊号 気負わずに始めよう！How to「事例検討		¥1,650
Vol. 14#7 (1999)「看護必要度」って何？		¥990
Vol. 14#8 (1999) 知っておきたい「治験」のしくみ		¥990
Vol. 14#9 (1999) ケアマネジャーになろう！		¥990
Vol. 14#10 (1999) <保存版>外国人への看護		¥990
Vol. 14#11 (1999) どうしたらいい？ナースの子育て		¥990
Vol. 14#12 (1999) 臨時増刊号 先輩ナースから学ぶME機器の使い方		¥1,650
Vol. 14#13 (1999) 褥創スキャンダル		¥990
Vol. 14#14 (1999) 最終チェック2000年問題		¥990
Vol. 15#1 (2000) ナースが創る病院		¥990
Vol. 15#2 (2000)「事故報告書」の生かし方		¥990
Vol. 15#3 (2000)「知っ得!介護保険」最終回スペシャル介護保険が日本		¥990
Vol. 15#4 (2000) 創刊15周年記念特集 看護の''進化''		¥990

Vol. 15#5 (2000) 症状体験を聴く	¥990
Vol. 15#6 (2000) 臨時増刊号 学会の楽しみ方・活かし方・創り方	¥1,650
Vol. 15#7 (2000) クリティカル・パス作成に欠かせないもの	¥990
Vol. 15#8 (2000) 看護をめぐるデータ白書	¥990
Vol. 15#9 (2000) 転倒・転落を防ぐ	¥990
Vol. 15#10 (2000) 世代間ギャップを克服する	¥990
Vol. 15#11 (2000) チーム作りのためのレシピ	¥990
Vol. 15#12 (2000) 臨時増刊号 看護事故の教訓	¥1,650
Vol. 15#13 (2000) 告知を受ける''家族''への配慮	¥990
Vol. 15#14 (2000) 介護保険が変える!理想の入退院	¥990
Vol. 16#1 (2001) 21世紀を乗り切るために読んでおきたい-羅針盤として	¥990
Vol. 16#2 (2001) 患者のこころがわかる15話-ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞの基本を学ぶ	¥990
Vol. 16#3 (2001) 今年も新人がやってくる!-先輩ナースとして知っておき	¥990
Vol. 16#4 (2001)「自己学習」成功への道-NT版・看護研究のすすめ方	¥990
Vol. 16#5 (2001) あなたの力になります!プリセプターへの応援歌	¥990
Vol. 16#6 (2001) 5月臨増 こうして防ぐ輸液事故	¥1,650
Vol. 16#7 (2001) ナースが「離職」を考えるとき-先輩たちの選択	¥990
Vol. 16#8 (2001)「栄養サポートチーム(NST)」がもたらす8つの恩恵	¥990
Vol. 16#9 (2001) 在宅で本当に活かせる退院指導	¥990
Vol. 16#10 (2001) 知っておきたい「基本とコツ」安全な点滴管理	¥990
Vol. 16#11 (2001)「副作用のない抗がん治療」を知っていますか？	¥990
Vol. 16#12 (2001) 10月臨増 バイタルサインの捉え方 34事例収録!	¥1,650
Vol. 16#13 (2001) 医療の質を見直せる患者用クリティカル・パス	¥990
Vol. 16#14 (2001) 2001年NTが選ぶ今年活躍したナースたち	¥990
Vol. 17#1 (2002) 小泉首相は,何を考えているの?	¥1,100
Vol. 17#2 (2002) 脳卒中の急性期リハビリ最前線	¥1,100
Vol. 17#3 (2002) 新人ナースのための予薬のルール	¥1,100
Vol. 17#4 (2002) Q&A輸血業務完全マスター	¥1,100
Vol. 17#5 (2002) 医療・看護の新しい常識	¥1,100
Vol. 17#6 (2002) 5月臨増 やってはいけない!人工呼吸管理50	¥1,650
Vol. 17#7 (2002) 一般病棟のナースはどこまで心電図が読めればいいの	¥1,100
Vol. 17#8 (2002) わかりやすさ・説得力をアップする書く,話すコツ	¥1,100
Vol. 17#9 (2002)〈10月実施〉「褥瘡対策未実施減算」って何?	¥1,100
Vol. 17#10 (2002) 医療行為との境界線	¥1,100
Vol. 17#11 (2002) 疾病予防・転等予防にも役立つメディカルフットケアの	¥1,100
Vol. 17#12 (2002) 10月臨増 きらりと光るケアの達人たち	¥1,650
Vol. 17#13 (2002) 日米比較・問題解決のヒントを探るこれが臨地実習の	¥1,100
Vol. 17#14 (2002) いまさら聞けない糖尿病インスリン治療の基礎	¥1,100
Vol. 18#1 (2003) ベットサイドから現在が見える	¥1,100
Vol. 18#2 (2003) 電子カルテで看護はこう変わる!	¥1,100
Vol. 18#3 (2003) かゆみのケア	¥1,100
Vol. 18#4 (2003) 4月から始める新人教育	¥1,100
Vol. 18#5 (2003) 教えて!他科のナースの得意技	¥1,100
Vol. 18#6 (2003) 5月臨増 糖尿病の患者さんによく聞かれる質問100	¥1,650
Vol. 18#7 (2003) ナースが対処すべき倫理的諸問題	¥1,100
Vol. 18#8 (2003) エッセンシャルメディシンとデビルピル	¥1,100
Vol. 18#9 (2003) ストレスと折り合いをつけるために	¥1,100
Vol. 18#10 (2003) 注射薬混合はナースの仕事か？	¥1,100
Vol. 18#11 (2003) 不眠への総合的アプローチ	¥1,100
Vol. 18#12 (2003) 10月臨増 ナースが本当に知りたいくすりの知識	¥1,650
Vol. 18#13 (2003) この冬に備える感染管理	¥1,100
Vol. 18#14 (2003) 院内研究の進め方	¥1,100
Vol. 19#1 (2004) 新しいチーム医療のあり方	¥1,100
Vol. 19#2 (2004) ケアとしてのエンゼルメイク（死化粧）	¥1,100
Vol. 19#3 (2004) 高齢患者を知るための60冊	¥1,100
Vol. 19#4 (2004) がんサバイバーへの看護	¥1,100
Vol. 19#5 (2004)「看護必要度」で何が変わるの？	¥1,100

Vol. 19#6 (2004) 5月臨増 病棟でできる！痴呆ケア	¥1,650
Vol. 19#7 (2004) 在院日数短縮化の正しい常識	¥1,100
Vol. 19#8 (2004) CORD患者へのケア	¥1,100
Vol. 19#9 (2004) 海外文献からケアの根拠を探る	¥1,100
Vol. 19#10 (2004) 薬の相互作用	¥1,100
Vol. 19#11 (2004) 慢性疾患患者への新しい自己管理援助	¥1,100
Vol. 19#12 (2004) 10月臨増　急変の予測と回避	¥1,650
Vol. 19#13 (2004) 最近の経腸栄養をめぐるケア	¥1,100
Vol. 19#14 (2004) 痛みへのケア	¥1,100
Vol. 20#1 (2005)「患者のため」は患者のため？	¥1,100
Vol. 20#2 (2005)「起こす」看護を変える！	¥1,100
Vol. 20#3 (2005) 魅力的な病棟づくり	¥1,100
Vol. 20#4 (2005) ナースの基本ルール1 ～マナー編	¥1,100
Vol. 20#5 (2005) ナースの基本ルール2～ケア・業務編	¥1,100
Vol. 20#6 (2005) 5月臨増 一般病棟での緩和ケア	¥1,650
Vol. 20#7 (2005) 夜勤とうまくつき合おう	¥1,100
Vol. 20#8 (2005) 糖尿病患者のフットケア	¥1,100
Vol. 20#9 (2005) 急変サインを見抜く	¥1,100
Vol. 20#10 (2005) これからの臨地実習	¥1,100
Vol. 20#11 (2005) 入院中の患者のアレルギーへの対処	¥1,100
Vol. 20#12 (2005) 10月臨増 主訴・身体徴候と心電図	¥1,650
Vol. 20#13 (2005) ナースの健康・生活改善	¥1,100
Vol. 20#14 (2005) 認定看護師という選択	¥1,100
Vol. 21#1 (2006)「患者のみだしなみ」へのケア	¥1,210
Vol. 21#2 (2006) 感染対策に潜む感染リスク	¥1,210
Vol. 21#3 (2006) 自立への「排尿ケア」	¥1,210
Vol. 21#4 (2006) NSTに学ぶ患者の栄養サポート	¥1,210
Vol. 21#5 (2006) 口腔ケアのテクニック＆チームプレイ	¥1,210
Vol. 21#6 (2006) 5月臨増 がん看護専門看護師に聞く一般病棟でのが	¥1,980
Vol. 21#7 (2006) 培った経験を「トリアージ」に活かす	¥1,210
Vol. 21#8 (2006) ケースから考える夜間のケア	¥1,210
Vol. 21#9 (2006) ぜったい見逃せない、与薬のリスク	¥1,210
Vol. 21#10 (2006) みんなで考える転倒・転落防止	¥1,210
Vol. 21#11 (2006)「環境調整」の為の10のヒント	¥1,210
Vol. 21#12 (2006) 10月臨増 ケアの根拠100	¥1,980
Vol. 21#13 (2006)「不定愁訴」の落とし穴	¥1,210
Vol. 21#14 (2006)「スクイージング」の効果と目的	¥1,210
Vol. 22#1 (2007) はじめの一歩！リンパ浮腫のケア	¥1,210
Vol. 22#2 (2007) 経験いろいろ、研究いろいろ。温めるケア	¥1,210
Vol. 22#3 (2007) ｸﾞﾘｰﾌｹｱとしてのｴﾝｾﾞﾙﾒｲｸ（死化粧）	¥1,210
Vol. 22#4 (2007) 看護形態機能学で納得！ バイタルサイン	¥1,210
Vol. 22#5 (2007) CPRの最新ガイドライン 心肺蘇生法を科学する	¥1,210
Vol. 22#6 (2007) 5月臨増 褥瘡予防・ケアのﾍﾞｽﾄﾌﾟﾗｸﾃｨｽ	¥1,980
Vol. 22#7 (2007) 最新！人工呼吸療法 一般病棟で必須の7つのﾄﾋﾟｯｸｽ	¥1,210
Vol. 22#8 (2007) だいじょうぶ？ 静脈注射 教わる新人・教える先輩	¥1,210
Vol. 22#9 (2007) 排液は語るドレーン管理のみどころ	¥1,210
Vol. 22#10 (2007) フットケア指導での対話 こう話せば伝わる 意識・行動	¥1,210
Vol. 22#11 (2007) 緩和ケアにおける意思決定支援	¥1,210
Vol. 22#12 (2007) 10月臨増 転倒・転落・骨折を防ごう！	¥1,980
Vol. 22#13 (2007) わかる！血液の病気とケア	¥1,210
Vol. 22#14 (2007) 入院患者のうつ 院内での予防と看護ケア	¥1,210
Vol. 23#1 (2008) これならできる！ 糖尿病患者へのケア 専門病棟でなく	¥1,210
Vol. 23#2 (2008) 脳卒中の初発症状を見逃さず、合併症を防ぐ 一般病	¥1,210
Vol. 23#3 (2008) リハビリ看護の今が知りたい！ 障害を抱えた患者を支	¥1,210
Vol. 23#4 (2008) エラー防止につなげる 新人ナースへの看護技術指導	¥1,210
Vol. 23#5 (2008) ここまではやってみよう！ 病棟での摂食・嚥下障害へ	¥1,210
Vol. 23#6 (2008) 5月臨増 急変の原因を見抜け その時ナースは何をす	¥1,980

	Vol. 23#7 (2008) “何かおかしい？”から始める せん妄「予測」と「予防」	¥1,210
	Vol. 23#8 (2008) 最新の治療に対応する 関節リウマチ患者の看護	¥1,210
	Vol. 23#9 (2008) お悩み解決！ PEGのカテーテル管理と退院時の患者	¥1,210
	Vol. 23#10 (2008) 早期対応と体制づくりで 廃用症候群は予防できる！	¥1,210
	Vol. 23#11 (2008) チームでやってみよう！ 効果を上げる退院支援	¥1,210
	Vol. 23#12 (2008) 10月臨増 チームで行うがん化学療法 安全・安楽な治	¥1,980
	Vol. 23#13 (2008) 不安に寄り添い、支援する C型肝炎患者の看護	¥1,210
	Vol. 23#14 (2008)「いつもと違う！」に対応する 手術創・医療器具挿入	¥1,210
	Vol. 24#1 (2009) 基礎から学ぶ さまざまな患者への口腔ケア	¥1,210
	Vol. 24#2 (2009) こんな時どうする? がん性疼痛ケアQ&A	¥1,210
	Vol. 24#3 (2009) 虐待被害者へのケア 院内・院外連携の必要性	¥1,210
	Vol. 24#4 (2009) 新人の入ってくる春に見直す ナースの心構え	¥1,210
	Vol. 24#5 (2009) 一般病棟で行うクリティカルケア	¥1,210
	Vol. 24#6 (2009) 5月臨増 患者の選択を支えるために 最期まで考えるQ	¥1,980
	Vol. 24#7 (2009) ナースのケアでこれだけ変わるよ 心リハやってみよう!	¥1,210
	Vol. 24#8 (2009) 認定看護師が教える 栄養サポートと摂食・嚥下障害看	¥1,210
	Vol. 24#9 (2009) 災害時の実践看護 疾病・外傷の特徴とその対応	¥1,210
	Vol. 24#10 (2009) 学会資格でケアの技術向上を目指そう	¥1,210
	Vol. 24#11 (2009) 脳卒中看護から学ぶ “起きる”看護ケアプログラム	¥1,210
	Vol. 24#12 (2009) 10月臨増 病棟でもココまでできる 口腔ケア実践ガイド	¥1,980
	Vol. 24#13 (2009) 病棟でできる家族へのケア	¥1,210
	Vol. 24#14 (2009) これからの皮膚・排泄ケア	¥1,210
	Vol. 25#1 (2010) がん治療は最期まで緩和ケアは早期から	¥1,210
	Vol. 25#2 (2010) ここが知りたい、経腸栄養	¥1,210
	Vol. 25#3 (2010) 不要な吸引はするな! 危険性を再チェック	¥1,210
	Vol. 25#4 (2010) 3月臨増 認定看護17分野のトゥデイズ・ケア〈コレクショ	¥1,980
	Vol. 25#5 (2010) わかる! NPPV 導入時のケアと管理のポイント	¥1,210
	Vol. 25#6 (2010) “接遇”で患者・家族を癒す 知識や技術だけではない	¥1,210
	Vol. 25#7 (2010) 認定看護師から事例で学ぶ 認知症患者への対応方	¥1,210
	Vol. 25#8 (2010) “シナリオづくり”で学びを深める 急変対応のシミュレー	¥1,210
	Vol. 25#9 (2010) 事例でわかる! 創傷ケアの基本技術	¥1,210
品切	Vol. 25#10 (2010) セルフケア能力を高める看護 患者の生活が見える質	¥1,210
	Vol. 25#11 (2010) 9月臨増　ナースのための 臨床に生かせる薬の最	¥1,980
	Vol. 25#12 (2010) 日々の実践に生かす がん遺伝看護	¥1,210
	Vol. 25#13 (2010) “訪問看護”の魅力 患者・家族の“笑顔”に支えられて	¥1,210
	Vol. 25#14 (2010) 2011年の新人看護職員研修	¥1,210
	Vol. 26#1 (2011) 院内トリアージ 緊急度・重症度を見抜け!	¥1,540
	Vol. 26#2 (2011) 下肢救済 真のQOL向上をめざすフットケア	¥1,540
	Vol. 26#3 (2011) 成人科ナースに知ってほしい小児慢性疾患患者の移	¥1,540
	Vol. 26#4 (2011) 震災後を支える看護 心のケアを中心に	¥1,540
	Vol. 26#5 (2011) さまざまな形のエンドオブライフ 慢性疾患の最後を支え	¥1,540
品切	Vol. 26#6 (2011) ナースが変わる!患者教育改革 看護の教育的関わりモ	¥1,540
	Vol. 27#1 (2012) 一般病棟の認知症患者 日常生活と療養を支える	¥1,540
	Vol. 27#2 (2012) 高齢患者へのかかわり方ワンポイントアドバイス	¥1,540
	Vol. 27#3 (2012) 治療・ケア後に注意! 急変回避の法則	¥1,540
	Vol. 27#4 (2012) これからのストーマ管理 在宅・施設へ安全につなぐ	¥1,540
品切	Vol. 27#5 (2012) がん患者の意思決定支援入門	¥1,540
	Vol. 27#6 (2012) 糖尿病の併発 主疾患との相互性からアセスメントを深	¥1,540
	Vol. 28#1 (2013) 術中を知らなきゃわからない! 周術期ケア向上のコツ	¥1,540
	Vol. 28#2 (2013) 急変の“予測と対応”9つのポイント	¥1,540
	Vol. 28#3 (2013) 実践! エンド・オブ・ライフケア	¥1,540
	Vol. 28#4 (2013)「つらくない」「痛くない」褥瘡ケア	¥1,540
	Vol. 28#5 (2013) 病院と在宅をつなぐ 高齢糖尿病患者への看護	¥1,540
	Vol. 28#6 (2013) がん患者への支持療法(supportive care)	¥1,540
	Vol. 29#1 (2014) 認知症をもつ入院患者へのケア 回復過程に応じた援	¥1,760
	Vol. 29#2 (2014) 見逃さない! 高齢者の急変	¥1,760
	Vol. 29#3 (2014) 病棟から在宅につなぐ緩和ケア	¥1,760

	Vol. 29#4 (2014) 疾患別「つらくない」「痛くない」褥瘡ケア		¥1,760
	Vol. 29#5 (2014) 糖尿病ケア　インシデント防止への取り組みと連携		¥1,760
品切	Vol. 29#6 (2014) がんの親と子どもをチームで支える		¥1,760
761	**乳癌の臨床（篠原出版新社）**		
	Vol. 1-4,11,12,14-25 (1986-2010) 各1-6号	各号	¥2,530
762	**お茶の水史学**		
	No. 49 (2005); 50 (2006); 51,52 (2008); 53 (2009); 54 (2010)	各号	¥1,320
763	**音楽知覚認知研究（日本音楽知覚認知学会）**		
	Vol. 4-6 (1998-2000) 各1-2号	各号	¥2,200
764	**音声言語医学（日本音声言語医学会）**		
	Vol. 3-48 (1962-2007) 各1-4号	各号	¥2,750
765	**温泉科学（日本温泉科学会）**		
	Vol. 4,7,9,12-44,51,53 (1949/51-2003/04) 各1-4号	各号	¥2,200
766	**オペナーシング（メディカ出版）**		
	Vol. 17#4 (2002); 18#11,12 (2003); 19#12 (2004)	各号	¥1,980
	Vol. 20#1-3,5,6 (2005); 21#2,3,5 (2006)	各号	¥1,980
767	**オペレーションズ・リサーチ（日本オペレーションズ・リサーチ学会）**		
	Vol. 1-54 (1956/57-2009) 各1-12号	各号	¥1,016
768	**Oral Medicine and Pathology (The Japanese Society for Oral Pathology)**		
	Vol. 1-3 (1996-1998) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 4#2 (1999)		¥3,300
	Vol. 5#1 (2000)		¥3,300
	Vol. 9#3 (2004)		¥3,300
769	**Oral Radiology（日本歯科放射線学会）**		
	Vol. 1-7 (1985-1991) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 8#2 (1992)		¥2,200
	Vol. 9#1-2 (1993)	各号	¥2,200
	Vol. 10#1 (1994)		¥2,200
	Vol. 11#2 (1995)		¥2,200
	Vol. 12-23 (1996-2007) 各1-2号	各号	¥2,200
770	**Oral Science International（日本口腔科学会）**		
	Vol. 1-7 (2004-2010) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 8#1 (2011)		¥2,200
771	**Organ Biology（日本臓器保存生物医学会）**		
	Vol. 14#1,4 (2007)	各号	¥1,991
	Vol. 15#2,3,,4 (2008)	各号	¥1,991
	Vol. 16#1-4 (2009)	各号	¥1,991
	Vol. 17#1,2 (2010)	各号	¥1,991
772	**Orthodontic Waves（英文誌）（日本矯正歯科学会）**		
	Vol. 63-74 (2004-2015) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 75#1 (2016)		¥3,300
品切	Vol. 76#1 (2017)		¥3,300
	Vol. 77#1,2 (2018)	各号	¥3,300
	Vol. 79#1 (2020)		¥3,300
	Vol. 80#2-3 (2021)	各号	¥3,300

773	**Orthodontic Waves Japanese Edition・日本矯正歯科学会雑誌（日本矯正歯科学会）**		
	Vol. 63-73 (2004-2014) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 74-80 (2015-2021) 各1-2号	各号	¥3,300
	日本の歯科矯正の歴史（日本矯正歯科学会設立75周年記念出版）(20		¥3,300
	第65回学会大会プログラム・抄録集 (2006)		¥3,300
	第66回学会大会プログラム・抄録集 (2007)		¥3,300
	第67回学会大会プログラム・抄録集 (2008)		¥3,300
	第68回学会大会プログラム・抄録集 (2009)		¥3,300
	第69回学会大会プログラム・抄録集 (2010)		¥3,300
	第70回学会大会プログラム・抄録集 (2011)		¥3,300
	第71回学会大会プログラム・抄録集 (2012)		¥3,300
	第72回学会大会プログラム・抄録集 (2013)		¥3,300
	第73回学会大会プログラム・抄録集 (2014)		¥3,300
774	**大阪大学看護学雑誌（大阪大学医学部保健学科看護学専攻・大阪大学医学部附属病院看護部）**		
	Vol. 1-8 (1995-2002) 各1号	各号	¥3,300
775	**大阪透析研究会会誌（大阪透析研究会）**		
	Vol. 26#2; 27#1,2; 28#1,2 (2008-2010)	各号	¥2,200
776	**Otology Japan（日本耳科学会）**		
	Vol. 1-22 (1991-2012) 各1-5号	各号	¥2,750
777	**奥羽大学歯学誌（奥羽大学歯学会）**		
	Vol. 25-28 (1998-2001) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 29#2,4 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 30#1,2; 31#4 (2003-2004)	各号	¥2,200
	Vol. 32#1-3 (2005)	各号	¥2,200
778	**応用地質（日本応用地質学会）**		
	Vol. 10-50 (1969-20090) 各1-6号	各号	¥2,200
779	**応用生態工学 Ecology and Civil Engineering（応用生態工学研究会）**		
	Vol. 1#1 (1998)		¥3,300
	Vol. 2-13 (1999-2010/2011) 各1-2号	各号	¥3,300
780	**応用心理学研究（日本応用心理学会）**		
	Vol. 27-33 (2001-2007/2008) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 34#1,2,特集号 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 35-37 (2009/2010-2011/2012) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 38#1,2,特集号,3 (2012/2013)	各号	¥2,200
	Vol. 39-40 (2013/2014-2014/2015) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 41#1 (2015)		¥2,200
781	**応用数理（日本応用数理学会）**		
	Vol. 16#3 (2006)	各号	¥1,927
	Vol. 17-21 (2007-2011) 各1-4号	各号	¥1,927
	Vol. 22#1-3 (2012)	各号	¥1,927
	Vol. 22#4 (2012)		¥1,466
	Vol. 23#1-4 (2013)	各号	¥1,466
	Vol. 24#1 (2014)	各号	¥1,466
782	**ペインクリニック（真興交易）**		
	Vol. 31-33 (20101-2012) 各1-12号	各号	¥2,515
	Vol. 34#5,6,7,9,11 (2013)	各号	¥2,515
	Vol. 35#1,2,6,7,9 (2014)	各号	¥2,515
	Vol. 37#1-12 (2016)	各号	¥2,515
	Vol. 28,29,31,33,37 (2007-2016) 別冊春号,別冊秋号	各号	¥5,238

783	**Pain Research 日本疼痛学会誌 (マイライフ社)**		
	Vol. 15#3 (2000)		¥2,750
	Vol. 16#1-3 (2001)	各号	¥2,750
	Vol. 17#3 (2002)		¥2,750
	Vol. 18#1,2,4 (2003)	各号	¥2,750
	Vol. 19#2,5 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 23#4 (2008)		¥2,750
	Vol. 25#1 (2010)		¥2,750
784	**Palliative Care Research 日本緩和医療学会雑誌 (日本緩和医療学会)**		
	Vol. 2-4 (2007-2009)	各巻	¥3,300
785	**PDA Journal of GMP and Validation in Japan (日本PDA製薬学会)**		
	Vol. 1#1,2; 2#1; 3#1,2; 4#2; 7#2 (1999-2005)	各号	¥5,500
786	**Pediatric Dental Journal (International Journal of Japanese Society of Pediatric Dentistry)**		
	Vol. 1#1 (1991)		¥3,300
	Vol. 4#1 (1994)		¥3,300
	Vol. 5#1 (1995)		¥3,300
787	**ペドロジスト (日本ペドロジー学会)**		
	Vol. 1-38 (1957/58-1994) 各1-2号	各号	¥2,200
788	**ペリネイタルケア (メディカ出版)**		
	Vol. 20-22 (2001-2003) 各1-12号	各号	¥1,870
	Vol. 23-31 (2004-2012) 各1-12号	各号	¥1,980
	増刊号 Vol. 9,12,13,14,16,21,26 (1990-2007)	各号	¥4,400
789	**プチナース (照林社)**		
	Vol. 15#1-5,7-9,11-13,15 (2006)	各号	¥943
	Vol. 15#10,14 (2006)	各号	¥1,362
	Vol. 16#1-5,7-9,11-13,15 (2007)	各号	¥943
	Vol. 16#6 (2007)		¥1,362
	Vol. 17#,1,3,5 (2008)	各号	¥943
790	**Pharmacoanesthesiology (日本麻酔・薬理学会)**		
	Vol. 5-11 (1992-1998) 各1-2号	各号	¥3,300
	薬剤シンポジウム特集 第15回-19回総会編 (1994-1998)	各号	¥3,300
791	**Pharma Medica (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 31-36 (2013-2018) 各1-12号	各号	¥1,870
	Vol. 37#1-6 (2019)	各号	¥1,870
792	**Pharmstage ファームステージ (技術情報協会)**		
	Vol. 9#10,11 (2010)	各号	¥4,400
	Vol. 10#1-12 (2010)	各号	¥4,400
	Vol. 11#2-4,6-9 (2011)	各号	¥4,400
793	**Phosphorus Letter (日本無機リン化学会)**		
	No. 43 (2002)		¥4,400
	No. 59,60 (2007)	各号	¥4,400
	No. 69 (2010)		¥4,400
	No. 70 (2011)		¥4,400

794	**Plant Biotechnology (日本植物細胞分子生物学会)**		
	Vol. 14#1-3 (1997)	各号	¥3,300
	Vol. 15#1-4 (1998)	各号	¥3,300
	Vol. 16#1-5 (1999)	各号	¥3,300
	Vol. 17#1-4 (2000)	各号	¥3,300
	Vol. 18#1-4 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 19#1-5 (2002)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1-4 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 21#1-5 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 22#1,2 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 23#1-5 (2006)	各号	¥3,300
	Vol. 24#1-5 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 25#1-6 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 26#1-5 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 27#1-5 (2010)	各号	¥3,300
795	**Prosthodontic Research & Practice (日本補綴歯科学会)**		
	Vol. 1-4 (2002-2005) 各1号	各号	¥4,400
	Vol. 5-6 (2006-2007) 各1-4号	各号	¥4,400
	Vol. 7#1-2 (2008)	各号	¥4,400
796	**Pro-Vet (インターズー)**		
	No. 1-98 (1988-1996)	各号	¥2,200
	Vol. 7#臨時増刊号 (1994)		¥3,850
	Vol. 8#臨時増刊号 (1995)		¥5,500
797	**Quality nursing (文光堂)**		
	Vol. 1-10 (1995-2004) 各1-12号	各号	¥2,200

798 **リハビリテーション医学: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (医学書院)**

Vol. 1#1,2 (1964)	各号	¥1,885
Vol. 2-13 (1965-1976) 各1-4号	各号	¥1,885
Vol. 2-13 (1965-1976) supplement 特別号	各号	¥3,143
Vol. 14#1-5 (1977)	各号	¥1,885
Vol. 14#supplement 特別号 (1977)		¥3,143
Vol. 15#1-4 (1978)	各号	¥1,885
Vol. 15#supplement 特別号 (1978)		¥3,143
Vol. 16-17 (1979-1980) 各1-5号	各号	¥1,885
Vol. 18-26 (1981-1989) 各1-6号	各号	¥1,885
Vol. 27#1-6 (1990)	各号	¥1,885
Vol. 27#7 (1990)		¥3,256
Vol. 28#1-10 (1991)	各号	¥1,602
Vol. 28#11-12 (1991)	各号	¥2,670
Vol. 29#1-10 (1992)	各号	¥1,602
Vol. 29#11-12 (1992)	各号	¥2,670
Vol. 30#1-10 (1993)	各号	¥1,602
Vol. 30#11-12 (1993)	各号	¥2,670
Vol. 31#1-10 (1994)	各号	¥1,602
Vol. 31#11-12 (1994)	各号	¥2,670
Vol. 32#1-10 (1995)	各号	¥1,923
Vol. 32#11-12 (1995)	各号	¥3,204
Vol. 33#1-10 (1996)	各号	¥1,923
Vol. 33#11-12 (1996)	各号	¥3,204
Vol. 34#1-3 (1997)	各号	¥1,923
Vol. 34#4-10 (1997)	各号	¥1,885
Vol. 34#11-12 (1997)	各号	¥3,143
Vol. 35#1-10 (1998)	各号	¥1,885
Vol. 35#11-12 (1998)	各号	¥3,143
Vol. 36#1-10 (1999)	各号	¥1,885
Vol. 36#11-12 (1999)	各号	¥3,143
Vol. 37#1-10 (2000)	各号	¥1,885
Vol. 37#11-12 (2000)	各号	¥3,143
Vol. 38#1-12 (2001)	各号	¥1,885
Vol. 38#Supplement (2001) 特別号 第38回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 39#1-12 (2002)	各号	¥1,885
Vol. 39#Supplement (2002) 特別号 第39回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 40#1-12 (2003)	各号	¥1,885
Vol. 40#Supplement (2003) 特別号 第40回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 41#1-12 (2004)	各号	¥1,885
Vol. 41#Supplement (2004) 特別号 第41回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 42#1-12 (2005)	各号	¥1,885
Vol. 42#Supplement (2005) 特別号 第42回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 43#1-12 (2006)	各号	¥1,885
Vol. 43#Supplement (2006) 特別号 第43回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 44#1-12 (2007)	各号	¥1,885
Vol. 44#Supplement (2007) 特別号 第44回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 45#1-12 (2008)	各号	¥1,885
Vol. 45#Supplement (2008) 特別号 第45回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 46#1-12 (2009)	各号	¥1,885
Vol. 46#Supplement (2009) 第46回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
Vol. 47#1-12 (2010)	各号	¥1,885

	Vol. 47#Supplement (2010) 第47回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
	Vol. 48#1-12 (2011)	各号	¥1,885
	Vol. 48#Supplement (2011) 第48回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
	Vol. 49#1-12 (2012)	各号	¥1,885
	Vol. 49#Supplement (2012) 第49回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
	Vol. 50#1-12 (2013)	各号	¥1,885
	Vol. 50#Supplement (2013) 第50回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,143
	Vol. 51#1-3 (2014)	各号	¥1,885
	Vol. 51#4/5 (2014)		¥3,871
	Vol. 51#6,7 (2014)	各号	¥1,935
	Vol. 51#8/9 (2014)		¥3,870
	Vol. 51#10-12 (2014)	各号	¥1,935
	Vol. 51#Supplement (2014) 第51回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,157
	Vol. 52#1-3 (2015)	各号	¥1,935
	Vol. 52#4/5 (2015)		¥3,871
	Vol. 52#6,7 (2015)	各号	¥1,935
	Vol. 52#8/9 (2015)		¥3,871
	Vol. 52#10-12 (2015)	各号	¥1,935
	Vol. 52#Supplement (2015) 第52回日本リハビリテーション医学会学術集		¥3,157
799	**Reports of Faculty of Science, Shizuoka University (静岡大学理学部)**		
	Vol. 1-37,39,40 (1965/66-2006)	各号	¥4,400
	Special Volume, Special Volume 2 (1978,1988)	各号	¥4,400
800	**Reports of Liberal Arts and Science Faculty Shizuoka University (静岡大学文理学部研究報告. 自然科学)**		
	No. 2,5-10 (1951-1957)	各号	¥2,200
	Vol. 2#1-5;3#1,3 (1957-1962)	各号	¥2,200
801	**Reproductive Immunology and Biology (日本生殖免疫学会)**		
	Vol. 18-20,22 (2003-2007) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 23#1 (2008)		¥3,300
802	**RESTEC (リモート・センシング技術センター)**		
	No. 29,35,36,38-54,56,57 (1992-2006)	各号	¥2,200
803	**理学療法 (メディカルプレス)**		
	Vol. 1#1-4 (1984)	各号	¥1,650
	Vol. 2-13 (1985-1996) 各1-6号	各号	¥1,650
	Vol. 14-16 (1997-1999) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 17#1 (2000)		¥3,080
	Vol. 18#1 (2001)		¥3,300
	Vol. 19#1 (2002)		¥4,400
	Vol. 17-19 (2000-2002) 各2-12号	各号	¥1,650
	Vol. 20#1 (2003)		¥3,300
	Vol. 20#2-12 (2003)	各号	¥1,705
	Vol. 21#1 (2004) ; Vol. 22#1 (2005)	各号	¥4,400
	Vol. 21-22 (2004-2005) 各2-12号	各号	¥1,815
	Vol. 23#1 (2006) ; Vol. 25#1 (2008)	各号	¥4,620
	Vol. 24#1 (2007) ; Vol. 26#1 (2009) ; Vol. 27#1 (2010)	各号	¥4,400
	Vol. 23-27 (2006-2010) 各2-12号	各号	¥1,870
	Vol. 28-30 (2011-2013) 各1-12号	各号	¥1,870
	Vol. 31-33 (2014-2016) 各1-12号	各号	¥1,925

804 理学療法ジャーナル・PTジャーナル（医学書院）理学療法と作業療法

Vol. 1#1-4 (1967)	各号	¥1,870
Vol. 2-4 (1968-1970) 各1-6号	各号	¥1,870
Vol. 5#1-7 (1971)	各号	¥1,870
Vol. 6#1-4,5/6,7 (1972)	各号	¥1,870
Vol. 7#1-12 (1973)	各号	¥1,870
Vol. 8#1-6,7/8,9-12 (1974)	各号	¥1,870
Vol. 9#1,2/3,4-12 (1975)	各号	¥1,870
Vol. 10-19 (1976-1985) 各1-12号	各号	¥1,870
Vol. 20#1-13 (1986)	各号	¥1,870
Vol. 21-28 (1987-1994) 各1-12号	各号	¥1,870
Vol. 29#1 (1995) 世界は今		¥1,870
Vol. 29#2 (1995) Duchenne型筋ジストロフィー		¥1,870
Vol. 29#3 (1995) 疼痛		¥1,870
Vol. 29#4 (1995) 脳卒中片麻痺に対する理学療法;15年の変遷		¥1,870
Vol. 29#5 (1995) 外来理学療法の再検討		¥1,870
Vol. 29#6 (1995) 運動発達障害;新生児からのアプローチ		¥1,870
Vol. 29#7 (1995) 関連領域-頭頸部の障害とリハビリテーション		¥1,870
Vol. 29#8 (1995) 骨・関節疾患のバイオメカにクスと理学療法		¥1,870
Vol. 29#9 (1995) カンファレンスの在り方		¥1,870
Vol. 29#10 (1995) 運動コントロールと運動学習		¥1,870
Vol. 29#11 (1995) 病棟訓練		¥1,870
Vol. 29#12 (1995) 廃用症候群と理学療法		¥1,870
Vol. 30#1 (1996) O2Kinetics		¥1,870
Vol. 30#2 (1996) 高齢脊髄損傷		¥1,870
Vol. 30#3 (1996) スポーツ外傷		¥1,870
Vol. 30#4 (1996) 脳卒中における実用歩行訓練		¥1,870
Vol. 30#5 (1996) 姿勢調節		¥1,870
Vol. 30#6 (1996) 高齢者と運動		¥1,870
Vol. 30#7 (1996) 地域リハと病院リハの連携-理学療法士の役割		¥1,870
Vol. 30#8 (1996) 理学療法における基礎研究		¥1,870
Vol. 30#9 (1996) 高次脳機能障害をもつ患者の理学療法		¥1,870
Vol. 30#10 (1996) 退院前指導とそのフォローアップ		¥1,870
Vol. 30#11 (1996) 特別養護老人ホームにおける理学療法		¥1,870
Vol. 30#12 (1996) 増大号 理学療法の展望		¥2,475
Vol. 30#13 (1996) 臨時増刊 総索引・総目次(第21～30巻)		¥1,100
Vol. 31#1 (1997) 整形外科系運動療法の新展開		¥1,760
Vol. 31#2 (1997) 4年制大学における理学療法教育		¥1,760
Vol. 31#3 (1997) チームワーク		¥1,760
Vol. 31#4 (1997) 脳卒中理学療法の効果		¥1,760
Vol. 31#5 (1997) 杖・歩行補助具		¥1,760
Vol. 31#6 (1997) 小児の理学療法		¥1,760
Vol. 31#7 (1997) 関連領域-腎障害と運動療法		¥1,760
Vol. 31#8 (1997) 急性期の理学療法		¥1,760
Vol. 31#9 (1997) 家屋改造とフォローアップ		¥1,760
Vol. 31#10 (1997) ひとり職場の運営		¥1,760
Vol. 31#11 (1997) 難病と理学療法		¥1,760
Vol. 31#12 (1997) プラトー?		¥1,760
Vol. 32#1 (1998) Welcome to the 13th WCPT Congress		¥1,760
Vol. 32#2 (1998) 合併障害をもつ片麻痺者の理学療法		¥1,760
Vol. 32#3 (1998) 転倒と骨折		¥1,760
Vol. 32#4 (1998) 動作分析		¥1,760
Vol. 32#5 (1998) ケアマネジメント		¥1,760
Vol. 32#6 (1998) 身体障害者スポーツ		¥1,760
Vol. 32#7 (1998) 臨床実習の課題と工夫		¥1,760
Vol. 32#8 (1998) 認知障害		¥1,760

	Vol. 32#9 (1998) 救急医療と理学療法	¥1,760
	Vol. 32#10 (1998) 産業理学療法	¥1,760
	Vol. 32#11 (1998) インフォームド・コンセント	¥1,760
	Vol. 32#12 (1998) 物理療法 今と昔	¥1,760
	Vol. 33#1 (1999) 脳卒中患者の体力	¥1,760
	Vol. 33#2 (1999) 最新・バイオフィードバック療法	¥1,760
	Vol. 33#3 (1999) 上肢帯機能障害と理学療法	¥1,760
	Vol. 33#4 (1999) 嚥下障害／熱傷	¥1,760
	Vol. 33#5 (1999) 学際的分野での理学療法士の研究活動	¥1,760
	Vol. 33#6 (1999) 最新・理学療法関連機器	¥1,760
	Vol. 33#7 (1999) 進行性疾患-QOL向上への取り組み	¥1,760
	Vol. 33#8 (1999) 中高年者のスポーツ障害	¥1,760
	Vol. 33#9 (1999) 脳科学の進歩と理学療法	¥1,760
	Vol. 33#10 (1999) 小児理学療法の動向	¥1,760
	Vol. 33#11 (1999) 関連領域-代謝疾患と理学療法	¥1,760
	Vol. 33#12 (1999) 予後予測	¥1,760
	Vol. 34#1 (2000) 理学療法士のアイデンティティー	¥1,815
	Vol. 34#2 (2000) ICUにおける理学療法	¥1,815
	Vol. 34#3 (2000) 臨床実習の課題と展望	¥1,815
	Vol. 34#4 (2000) 義足-新しい技術と適応	¥1,815
	Vol. 34#5 (2000) 認知と理学療法	¥1,815
	Vol. 34#6 (2000) 精神疾患をもつ患者の理学療法	¥1,815
	Vol. 34#7 (2000) 福祉機器の適用基準	¥1,815
	Vol. 34#8 (2000) 訪問リハビリテーションの実際	¥1,815
	Vol. 34#9 (2000) 早期理学療法-そのリスクと効果	¥1,815
	Vol. 34#10 (2000) 悪性腫瘍治療の進歩と理学療法	¥1,815
	Vol. 34#11 (2000) 脳卒中のバランス障害	¥1,815
	Vol. 34#12 (2000) 21世紀の理学療法教育	¥1,815
	Vol. 35#1 (2001) 整形外科疾患に対する外来運動療法	¥1,815
	Vol. 35#2 (2001) 公的介護保険	¥1,815
	Vol. 35#3 (2001) 回復期リハビリテーション病棟	¥1,815
	Vol. 35#4 (2001) 理学療法におけるパラダイム転換	¥1,815
	Vol. 35#5 (2001) EBP in Physical Therapy	¥1,815
	Vol. 35#6 (2001) 筋力再検討	¥1,815
	Vol. 35#7 (2001) 脊髄損傷-新しい下肢装具の活用	¥1,815
	Vol. 35#8 (2001) 病棟理学療法	¥1,815
	Vol. 35#9 (2001) 自営理学療法士の活動	¥1,815
品切	Vol. 35#10 (2001) リスクマネジメント	¥1,815
	Vol. 35#11 (2001) 症例報告	¥1,815
	Vol. 35#12 (2001) 理学療法の効果判定	¥1,815
	Vol. 35#13 (2001) 増刊号 総目次・著者索引(第21巻-35巻)CD附	¥2,750
	Vol. 36#1 (2002) 臨床現場にいかす障害構造・障害分類	¥1,815
	Vol. 36#2 (2002) 理学療法に関わる整形外科の最新知見	¥1,815
	Vol. 36#3 (2002) 介護保険制度下のリハビリテーション	¥1,815
	Vol. 36#4 (2002) バランス障害と理学療法	¥1,815
	Vol. 36#5 (2002) 高齢者の転倒	¥1,815
	Vol. 36#6 (2002) 低出生体重児の理学療法	¥1,815
	Vol. 36#7 (2002) 理学療法専門職の管理・運営とリーダーシップ	¥1,815
	Vol. 36#8 (2002) ファシリテーションは今	¥1,815
	Vol. 36#9 (2002) 新しい下肢装具	¥1,815
	Vol. 36#10 (2002) 医療事故管理	¥1,815
	Vol. 36#11 (2002) 超高齢者の骨・関節疾患の理学療法	¥1,815
	Vol. 36#12 (2002) 運動障害がある場合の内部障害への対応	¥1,815
	Vol. 37#1 (2003) 脳卒中片麻痺患者の歩行	¥1,870
	Vol. 37#2 (2003) 整形外科疾患のクリティカルパス	¥1,870
	Vol. 37#3 (2003) 医療保険・介護保険と理学療法	¥1,870
	Vol. 37#4 (2003) 理学療法教育施設の自己点検・評価	¥1,870

	Vol. 37#5 (2003) こどもの理学療法	¥1,870
	Vol. 37#6 (2003) “活動”水準を高める理学療法士の専門性	¥1,870
	Vol. 37#7 (2003) 物理療法の効果	¥1,870
	Vol. 37#8 (2003) 脳卒中の理学療法の展開	¥1,870
	Vol. 37#9 (2003) 早期理学療法	¥1,870
	Vol. 37#10 (2003) 身体と環境	¥1,870
	Vol. 37#11 (2003) 介護保険対応の理学療法	¥1,870
	Vol. 37#12 (2003)「注意」の障害に対する理学療法	¥1,870
	Vol. 38#1 (2004) 整形外科疾患に対する徒手的運動療法	¥1,870
	Vol. 38#2 (2004) 難病の理学療法	¥1,870
	Vol. 38#3 (2004) 物理療法の鎮痛作用	¥1,870
品切	Vol. 38#4 (2004) 脳血管障害による摂食・嚥下障害の理学療法	¥1,870
	Vol. 38#5 (2004) 理学療法モデル	¥1,870
	Vol. 38#6 (2004) ヘルスプロモーション	¥1,870
	Vol. 38#7 (2004) 生活機能向上のための理学療法	¥1,870
	Vol. 38#8 (2004) 移動動作（分析・介入・介助者への指導）	¥1,870
	Vol. 38#9 (2004) 運動療法の基礎	¥1,870
	Vol. 38#10 (2004) 診療報酬	¥1,870
	Vol. 38#11 (2004) 認知運動療法の適応と限界	¥1,870
	Vol. 38#12 (2004) 理学療法士の国際協力	¥1,870
	Vol. 39#1 (2005) 高齢者骨折の外科的治療と理学療法	¥1,870
	Vol. 39#2 (2005) 実践能力を高めるカリキュラム	¥1,870
	Vol. 39#3 (2005) 脳科学からみた理学療法の可能性と限界	¥1,870
品切	Vol. 39#4 (2005) 脳性麻痺	¥1,870
	Vol. 39#5 (2005) 回復期リハビリテーション病棟における理学療法	¥1,870
	Vol. 39#6 (2005) 介護老人保健施設における理学療法の課題	¥1,870
	Vol. 39#7 (2005) 介護予防動向―理学療法士はどうかかわるのか	¥1,870
	Vol. 39#8 (2005) 脳卒中の理学療法を再考する	¥1,870
	Vol. 39#9 (2005) 心臓外科治療の進歩と理学療法	¥1,870
	Vol. 39#10 (2005) 急性期に必要な薬物療法と理学療法	¥1,870
品切	Vol. 39#11 (2005) 精神障害者の理学療法	¥1,870
品切	Vol. 39#12 (2005) ボディイメージ	¥1,870
	Vol. 40#1 (2006) 臨床実習教育	¥1,870
	Vol. 40#2 (2006) 物理療法の有効性とリスク管理	¥1,870
品切	Vol. 40#3 (2006) 腰部・下肢関節疾患の理学療法-姿勢・動作の臨床的	¥1,870
	Vol. 40#4 (2006) 脳卒中治療ガイドラインと理学療法	¥1,870
	Vol. 40#5 (2006) 創傷治癒と理学療法	¥1,870
	Vol. 40#6 (2006) アスリートのための理学療法	¥1,870
	Vol. 40#7 (2006) 認知症へのアプローチ	¥1,870
品切	Vol. 40#8 (2006) 歩行練習	¥1,870
	Vol. 40#9 (2006) 理学療法と連携	¥1,870
	Vol. 40#10 (2006) 理学療法における運動療法と装具療法の融合	¥1,870
	Vol. 40#11 (2006) 緩和ケアとしての理学療法	¥1,870
	Vol. 40#12 (2006) 末梢循環障害と理学療法	¥1,870
	Vol. 40#13 (2006) 増刊号 理学療法の展望2006	¥2,750
	Vol. 41#1 (2007) 高齢者の運動療法の効果と限界	¥1,870
	Vol. 41#2 (2007)「腰痛症」の要因と理学療法	¥1,870
	Vol. 41#3 (2007) 臨床実習の具体的展開	¥1,870
	Vol. 41#4 (2007) 慢性期脳卒中者の理学療法	¥1,870
	Vol. 41#5 (2007) 実践理学療法のエビデンス	¥1,870
	Vol. 41#6 (2007) NST(nutrition support team)と理学療法	¥1,870
	Vol. 41#7 (2007) 脳性麻痺児の理学療法	¥1,870
	Vol. 41#8 (2007) 病棟理学療法の視点と実践	¥1,870
	Vol. 41#9 (2007) 理学療法士の卒後教育	¥1,870
	Vol. 41#10 (2007) 外来・通所理学療法	¥1,870
	Vol. 41#11 (2007) メタボリックシンドロームと理学療法	¥1,870
	Vol. 41#12 (2007) 大腿骨 整形外科的治療と理学療法	¥1,870

	Vol. 42#1 (2008) 地域リハビリテーションにおける理学療法	¥1,870
	Vol. 42#2 (2008) 痛みの病態生理と理学療法	¥1,870
	Vol. 42#3 (2008) WCPT(世界理学療法連盟)	¥1,870
	Vol. 42#4 (2008) 認知運動療法の臨床アプローチと効果	¥1,870
	Vol. 42#5 (2008) アジアの理学療法	¥1,870
	Vol. 42#6 (2008) Stroke Unitと理学療法	¥1,870
	Vol. 42#7 (2008) ヘルスプロモーションと理学療法	¥1,870
	Vol. 42#8 (2008) 介護保険下の理学療法	¥1,870
	Vol. 42#9 (2008) 褥瘡の予防と治療－理学療法の役割	¥1,870
	Vol. 42#10 (2008) 骨関節疾患の理学療法とバイオメカニクス	¥1,870
	Vol. 42#11 (2008) がん治療における理学療法の可能性と課題	¥1,870
	Vol. 42#12 (2008) ニューロリハビリテーションと理学療法	¥1,870
	Vol. 43#1 (2009) 大量養成時代に求められる教育	¥1,870
	Vol. 43#2 (2009) クリニカルリーズニング	¥1,870
	Vol. 43#3 (2009) 不全型脊髄損傷の病態と理学療法	¥1,870
	Vol. 43#4 (2009) 理学療法士による起業	¥1,870
	Vol. 43#5 (2009) 小児の地域理学療法	¥1,870
	Vol. 43#6 (2009) パーキンソン病の理学療法最前線	¥1,870
	Vol. 43#7 (2009) 筋再生と理学療法	¥1,870
	Vol. 43#8 (2009) ICFと理学療法	¥1,870
	Vol. 43#9 (2009) 膝関節疾患の理学療法	¥1,870
	Vol. 43#10 (2009) 老化による身体機能低下と理学療法	¥1,870
	Vol. 43#11 (2009) 地域の高齢者に対する理学療法士の視点	¥1,870
	Vol. 43#12 (2009) 連携教育	¥1,870
	Vol. 44#1 (2010) これからの理学療法	¥1,870
	Vol. 44#2 (2010) 脳卒中のゴール設定	¥1,870
	Vol. 44#3 (2010) 病期別理学療法モデル	¥1,870
	Vol. 44#4 (2010) 筋力増強―update	¥1,870
	Vol. 44#5 (2010) 新人教育	¥1,870
	Vol. 44#6 (2010) 呼吸機能障害とチーム医療	¥1,870
	Vol. 44#7 (2010) 在宅理学療法の実践	¥1,870
	Vol. 44#8 (2010) 徒手理学療法	¥1,870
	Vol. 44#9 (2010) 画像を活かした脳腫瘍のケーススタディ	¥1,870
	Vol. 44#10 (2010) 身体障害者スポーツと理学療法の関わり	¥1,870
	Vol. 44#11 (2010) 症例検討―脳血管障害患者を多側面から診る	¥1,870
	Vol. 44#12 (2010) 股関節疾患の理学療法―update	¥1,870
	Vol. 45#1 (2011) 自立支援	¥1,870
	Vol. 45#2 (2011) 通所サービスにおける理学療法	¥1,870
	Vol. 45#3 (2011) 脳卒中片麻痺患者の装具と運動療法	¥1,870
	Vol. 45#4 (2011) ロコモティブシンドローム	¥1,870
	Vol. 45#5 (2011) がん患者のリハビリテーションと理学療法	¥1,870
	Vol. 45#6 (2011) 小児理学療法の新たなる展開	¥1,870
	Vol. 45#7 (2011) 神経生理学的アプローチの転換	¥1,870
	Vol. 45#8 (2011) 糖尿病の理学療法	¥1,870
品切	Vol. 45#9 (2011) 足部・足関節の機能と理学療法	¥1,870
	Vol. 45#10 (2011) 認知症と理学療法	¥1,870
	Vol. 45#11 (2011) チーム医療における理学療法士の役割	¥1,870
	Vol. 45#12 (2011) 下肢機能再建と理学療法	¥1,870
品切	Vol. 46#1 (2012) 運動学習と理学療法	¥1,980
	Vol. 46#2 (2012) 慢性疼痛への包括的アプローチ	¥1,980
	Vol. 46#3 (2012) 東日本大震災と理学療法	¥1,980
	Vol. 46#4 (2012) 理学療法技能の評価と学習支援	¥1,980
	Vol. 46#5 (2012) 理学療法士のキャリアデザイン	¥1,980
品切	Vol. 46#6 (2012) 脳卒中理学療法のクリニカルリーズニング	¥1,980
	Vol. 46#7 (2012) スポーツと理学療法	¥1,980
	Vol. 46#8 (2012) 外来理学療法	¥1,980
	Vol. 46#9 (2012) 心疾患に対する理学療法の新たな展開	¥1,980

	Vol. 46#10 (2012) 地域包括ケアシステムと訪問理学療法	¥1,980
	Vol. 46#11 (2012) はたらく理学療法士の動機づけ	¥1,980
	Vol. 46#12 (2012) 高齢下肢切断の理学療法	¥1,980
品切	Vol. 47#1 (2013) 脳のシステム障害と理学療法	¥1,980
	Vol. 47#2 (2013) 心理・精神領域の理学療法	¥1,980
	Vol. 47#3 (2013) 関節リウマチの最新治療と理学療法	¥1,980
	Vol. 47#4 (2013) 予防と理学療法	¥1,980
	Vol. 47#5 (2013) 医療系教育における臨床実習の現状と展望	¥1,980
	Vol. 47#6 (2013) 脳卒中理学療法のシームレス化にむけて	¥1,980
	Vol. 47#7 (2013) 頸肩腕障害と理学療法	¥1,980
	Vol. 47#8 (2013) 物理療法の再興	¥1,980
	Vol. 47#9 (2013) 在宅理学療法の可能性を探る	¥1,980
	Vol. 47#10 (2013) ウィメンズ・ヘルスと理学療法士のかかわり	¥1,980
	Vol. 47#11 (2013) 呼吸理学療法の進歩	¥1,980
	Vol. 47#12 (2013) 神経筋疾患の治療と理学療法	¥1,980
	Vol. 48#1 (2014) バランス update－実用的な動作・活動の獲得のために	¥1,980
	Vol. 48#2 (2014) 発達障害児の理学療法と生活指導	¥1,980
	Vol. 48#3 (2014) 地域における理学療法のパラダイムシフト	¥1,980
	Vol. 48#4 (2014) 理学療法実践に役立つコミュニケーション技術	¥1,980
	Vol. 48#5 (2014) 老年症候群と理学療法	¥1,980
	Vol. 48#6 (2014) 臨床実習教育の実態と展望	¥1,980
	Vol. 48#7 (2014) 股関節の運動機能と評価方法	¥1,980
	Vol. 48#8 (2014) 慢性腎臓病と理学療法	¥1,980
品切	Vol. 48#9 (2014) 脳卒中片麻痺患者の体性感覚障害と理学療法	¥1,980
	Vol. 48#10 (2014) 安全管理	¥1,980
	Vol. 48#11 (2014) 脊椎・脊髄疾患と理学療法	¥1,980
	Vol. 48#12 (2014) 認知行動療法	¥1,980
	Vol. 49#1 (2015) 姿勢と歩行－理学療法士の診るべきこと	¥1,980
	Vol. 49#2 (2015) 障害者権利条約の実現と理学療法	¥1,980
	Vol. 49#3 (2015) 大規模災害の支援・防災活動－大震災からの学び	¥1,980
	Vol. 49#4 (2015) 世界の理学療法－激動のAsia Western Pacific地区の	¥1,980
品切	Vol. 49#5 (2015) 頭頸部および肩凝りに対する理学療法	¥1,980
	Vol. 49#6 (2015) 急性期からの理学療法	¥1,980
	Vol. 49#7 (2015) 慢性期の理学療法－目標設定と治療・介入効果	¥1,980
	Vol. 49#8 (2015) 地域包括ケアシステムの構築に向けて	¥1,980
	Vol. 49#8 (2015) 地域包括ケアシステムの構築に向けて	¥1,980
	Vol. 49#9 (2015) 脳機能回復と理学療法	¥1,980
	Vol. 49#10 (2015) 歩行支援機器による歩行up to date	¥1,980
	Vol. 49#11 (2015) 地域包括ケアシステムと小児理学療法	¥1,980
	Vol. 49#12 (2015) 理学療法士界における継往開来	¥1,980
	Vol. 50#1 (2016) 理学療法50年の変遷「理学療法関連用語セレクション	¥1,980
	Vol. 50#2 (2016) 最新の糖尿病治療と運動療法	¥1,980
	Vol. 50#3 (2016) TENS	¥1,980
	Vol. 50#4 (2016) 理学療法からみた「予防」の取り組みと効果	¥1,980
品切	Vol. 50#5 (2016) 運動器疾患ーエキスパートはこうみる	¥1,980
	Vol. 50#6 (2016) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて	¥1,980
品切	Vol. 50#7 (2016) 被殻出血と理学療法	¥1,980
	Vol. 50#8 (2016) 社会の要請に応える理学療法教育	¥1,980
	Vol. 50#9 (2016) 重症下肢虚血と理学療法	¥1,980
	Vol. 50#10 (2016) 生活支援につなぐ小児理学療法	¥1,980
	Vol. 50#11 (2016) 臨床に役立つ臨床推論の実際	¥1,980
	Vol. 50#12 (2016) 地域包括ケア病棟	¥1,980
	Vol. 51#1 (2017) 多職種で取り組むがん診療と理学療法	¥1,980
	Vol. 51#2 (2017) 現任研修ー求められる臨床技能の習得	¥1,980
	Vol. 51#3 (2017) 通院・通所における理学療法を再考する	¥1,980
	Vol. 51#4 (2017) 理学療法と下肢装具	¥1,980
	Vol. 51#5 (2017) 歩行の安全性	¥1,980

	Vol. 51#6 (2017) 理学療法士のはたらき方	¥1,980
	Vol. 51#7 (2017) 理学療法のプロフェッショナルをめざして	¥1,980
	Vol. 51#8 (2017) 理学療法と臓器連関	¥1,980
	Vol. 51#9 (2017) ACL損傷と動作	¥1,980
	Vol. 51#10 (2017) 半側空間無視	¥1,980
	Vol. 51#11 (2017) 多分野に広がる理学療法	¥1,980
	Vol. 51#12 (2017) エキスパートが語る小児理学療法	¥1,980
	Vol. 52#1 (2018) 筋力低下と理学療法	¥1,980
	Vol. 52#2 (2018) 低栄養／摂食嚥下機能障害と理学療法	¥1,980
	Vol. 52#3 (2018) 理学療法における動作のアセスメント	¥1,980
品切	Vol. 52#4 (2018) 変形性膝関節症に対する最新の保存療法	¥1,980
品切	Vol. 52#5 (2018) 視床出血と理学療法	¥1,980
	Vol. 52#6 (2018) 地域に広がる心臓リハビリテーション	¥1,980
	Vol. 52#7 (2018) 疼痛管理	¥1,980
	Vol. 52#8 (2018) ジェネラリストとスペシャリスト	¥1,980
	Vol. 52#9 (2018) バランス再考	¥1,980
	Vol. 52#10 (2018) オリンピック・パラリンピック－世界と向き合うために	¥1,980
	Vol. 52#11 (2018) 生涯学習－卒前教育との連動と発展性	¥1,980
	Vol. 52#12 (2018) 退院支援－理学療法士はその先が見えているか	¥1,980
	Vol. 53#1 (2019) 高齢者の転倒と予防	¥1,980
	Vol. 53#2 (2019) 変形性股関節症とメカニカルストレス	¥1,980
	Vol. 53#3 (2019) こころの問題と理学療法	¥1,980
	Vol. 53#4 (2019) 理学療法士がめざす安心と安全	¥1,980
	Vol. 53#5 (2019) 全体像を把握する	¥1,980
	Vol. 53#6 (2019) 上肢運動器疾患－若年者と中高年者の特徴	¥1,980
	Vol. 53#7 (2019) 脳卒中患者の上肢に対する理学療法up to date	¥1,980
	Vol. 53#8 (2019) IADL－生活をもっと科学的に	¥1,980
	Vol. 53#9 (2019) 栄養を学ぶ－学際と実際	¥1,980
	Vol. 53#10 (2019) これからの理学療法－2025年以降の姿を見据えて	¥1,980
	Vol. 53#11 (2019) 今と将来を見据えた小児整形外科理学療法	¥1,980
	Vol. 53#12 (2019) 装具の臨床	¥1,980
	Vol. 54#1 (2020年1月) 急性期理学療法の今－育成・働き方・連携・エビ	¥1,980
	Vol. 54#2 (2020年2月) 薬と運動療法	¥1,980
	Vol. 54#3 (2020年3月) 地域における予防の効果－理学療法の可能性	¥1,980
	Vol. 54#4 (2020年4月) 症例から考える脳幹病変へのアプローチ	¥1,980
	Vol. 54#5 (2020年5月) 投球障害を捉える－動作、機能解剖、エコーの	¥1,980
	Vol. 54#6 (2020年6月) Pusher現象の謎「傾き」への挑戦－臨床像と治	¥1,980
	Vol. 54#7 (2020年7月) 脊椎・脊髄疾患の多彩な症状と理学療法	¥1,980
	Vol. 54#8 (2020年8月) パフォーマンス向上のための筋力トレーニング	¥1,980
	Vol. 54#9 (2020年9月) 軟部組織に着目した理学療法の最前線	¥1,980
	Vol. 54#10 (2020年10月) 疼痛に対する最新の理学療法－治療効果を	¥1,980
	Vol. 54#11 (2020年11月) 歩行 PART 1　脳神経疾患と歩行	¥1,980
	Vol. 54#12 (2020年12月) 歩行 PART 2　運動器疾患と歩行指導	¥1,980
	Vol. 55#1 (2021年1月) 高齢者の膝関節の痛み	¥1,980
	Vol. 55#2 (2021年2月) 関節可動域評価のABC－治療計画につなぐ応	¥1,980
	Vol. 55#3 (2021年3月) 重症化予防	¥1,980
	Vol. 55#4 (2021年4月) 皮神経滑走と運動療法の新知見	¥1,980
	Vol. 55#5 (2021年5月) 目標に基づく理学療法のための臨床推論－症状	¥1,980
品切	Vol. 55#6 (2021年6月) Inner & Intrinsic Muscles－筋による関節の安定	¥1,980
	Vol. 55#7 (2021年7月) 移動－理学療法からみた学際的探求	¥1,980
	Vol. 55#8 (2021年8月) がん治療のリアル	¥1,980

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい

805　リハビリテーション連携科学（日本リハビリテーション連携科学学会）

	Vol. 1-4 (2000-2003) 各1号	各号	¥2,860

806	**陸水学雑誌（日本陸水学会）**		
	Vol. 1-9,11-15,18-71 (1932/33-2010) 各1-3号	各号	¥3,300
807	**臨床バイオメカニクス（日本臨床バイオメカニクス学会）**		
	Vol. 30, 31 (2009-2010)	各巻	¥11,000
808	**臨床病理（日本臨床病理学会）**		
	Vol. 53-56 (2005-2008) 各1-12号,Supplement	各号	¥2,310
	Vol. 57#1-8 (2009)	各号	¥2,310
809	**臨床栄養（医歯薬出版）**		
	Vol. 108#1-5,7 (2006)	各号	¥1,320
	Vol. 108#6 (2006)		¥2,640
	Vol. 109#1-3,5-7 (2006)	各号	¥1,320
	Vol. 109#4 (2006)		¥2,640
	Vol. 110#1-5,7 (2007)	各号	¥1,320
	Vol. 111#1-3,5-7 (2007)	各号	¥1,320
	Vol. 112#1-5,7 (2008)	各号	¥1,430
	Vol. 113#1-3,5-7 (2008)	各号	¥1,430

810 臨床婦人科産科（医学書院）

Vol. 26-37 (1972-1983) 各1-12号	各号	¥2,750
Vol. 38#1,3-12 (1984)	各号	¥2,750
Vol. 39-46 (1985-1992) 各1-12号	各号	¥2,750
Vol. 47#1-4,6-12 (1993)	各号	¥2,750
Vol. 47#5 (1993) 増大号 産科外来検診マニュアル		¥9,350
Vol. 48#1-3,5-12 (1994)	各号	¥2,750
Vol. 48#4 (1994) 増大号 婦人科外来検診マニュアル		¥9,350
Vol. 49#1 (1995) CTかMRIか-婦人科腫瘍読影のポイント		¥2,750
Vol. 49#2 (1995) 分娩発来-しくみと調節		¥2,750
Vol. 49#3 (1995) GnRH療法-刺激と抑制		¥2,750
Vol. 49#4 (1995) 病態生理の最前線		¥2,750
Vol. 49#5 (1995) 妊娠と血液		¥2,750
Vol. 49#6 (1995) イラスト 小手術		¥2,750
Vol. 49#7 (1995) 婦人科癌の免疫療法		¥2,750
Vol. 49#8 (1995) 増大号 体外受精マニュアル		¥9,350
Vol. 49#9 (1995) 婦人の尿失禁-トラブルへの対処		¥2,750
Vol. 49#10 (1995) 初期治療60分-産科救急		¥2,750
Vol. 49#11 (1995) 無排卵-病態と治療をめぐるトピックス		¥2,750
Vol. 49#12 (1995) いまなぜ胎児仮死か		¥2,750
Vol. 50#1 (1996) 子宮内膜症Controversy'96		¥2,750
Vol. 50#2 (1996) 妊婦の糖尿病マネジメント		¥2,750
Vol. 50#3 (1996) 産婦人科とウィルス感染		¥2,750
Vol. 50#4 (1996) 増大号 産婦人科エコー診断		¥7,150
Vol. 50#5 (1996) 習慣流産をとめる		¥2,750
Vol. 50#6 (1996) 妊婦と自己免疫疾患		¥2,750
Vol. 50#7 (1996) 乳房-管理のポイント		¥2,750
Vol. 50#8 (1996) 婦人科腫瘍境界悪性		¥2,750
Vol. 50#9 (1996) 新生児診療-産科医のためのポイント		¥2,750
Vol. 50#10 (1996) ホルモン療法-新しい動向を探る		¥2,750
Vol. 50#11 (1996) 不妊治療-ここが聞きたい		¥2,750
Vol. 50#12 (1996) 初期治療60分-婦人科救急		¥2,750
Vol. 51#1 (1997) 着床		¥2,640
Vol. 51#2 (1997) 婦人科外来治療-Dos & Don'ts		¥2,640
Vol. 51#3 (1997) 妊婦中毒症-どのように変わったか		¥2,640
Vol. 51#4 (1997) 使用量ピル-新しい避妊法を知る		¥2,640
Vol. 51#5 (1997) エコーガイド下で何ができるか		¥2,640
Vol. 51#6 (1997) 治療困難例の排卵誘発		¥2,640
Vol. 51#7 (1997) 婦人科がんの化学療法		¥2,640
Vol. 51#8 (1997) 産科における検査法		¥2,640
Vol. 51#9 (1997) 婦人科における検査法		¥2,640
Vol. 51#10 (1997) 妊婦初期を診る		¥2,640
Vol. 51#11 (1997) 男性不妊をどうする		¥2,640
Vol. 51#12 (1997) 子宮筋腫-最新情報		¥2,640
Vol. 52#1 (1998) 先天異常をどう診るか		¥2,640
Vol. 52#2 (1998) 腫瘍マーカーは何を語るか		¥2,640
Vol. 52#3 (1998) 産科と凝固異常		¥2,640
Vol. 52#4 (1998) 増大号 経膣超音波を使いこなす		¥7,920
Vol. 52#5 (1998) 早産対策-いま臨床医ができること		¥2,640
Vol. 52#6 (1998) 卵管性不妊症への対応		¥2,640
Vol. 52#7 (1998) 難治性細菌感染症		¥2,640
Vol. 52#8 (1998) サイトカインと産婦人科		¥2,640
Vol. 52#9 (1998) 胎児・新生児のBrain Damage		¥2,640
Vol. 52#10 (1998) 羊水		¥2,640
Vol. 52#11 (1998) HRT-ベストテクニック		¥2,640
Vol. 52#12 (1998) 内視鏡手術-どこまで進んだか		¥2,640

Vol. 53#1 (1999) 性の分化とその異常−どこまで解明されたか	¥2,750
Vol. 53#2 (1999) GnRH療法の新展開	¥2,750
Vol. 53#3 (1999) 新生児トラブルの初期対応産科医アドバイス	¥2,750
Vol. 53#4 (1999) 増大号　婦人科外来	¥8,030
Vol. 53#5 (1999) PCO症候群を斬る	¥2,750
Vol. 53#6 (1999) 卵巣がんと闘うために	¥2,750
Vol. 53#7 (1999) 胎児へのlife line臍帯	¥2,750
Vol. 53#8 (1999) 生殖医療とバイオエシックス	¥2,750
Vol. 53#9 (1999) 増えてきた子宮体癌	¥2,750
Vol. 53#10 (1999) リニューアル　帝王切開	¥2,750
Vol. 53#11 (1999) 不正性器出血−原因と対応	¥2,750
Vol. 53#12 (1999) 産褥の異常と対策	¥2,750
Vol. 54#1 (2000) 胎盤異常と臨床	¥2,750
Vol. 54#2 (2000) ホルモン療法..ピットフォール−あなたの方法は	¥2,750
Vol. 54#3 (2000) 新生児外科..最前線−産科医としての必須知識	¥2,750
Vol. 54#4 (2000) 増大号　生殖内分泌と不妊診療の最新データ	¥8,030
Vol. 54#5 (2000) ハイリスク分娩の管理指針	¥2,750
Vol. 54#6 (2000) 子宮頸癌−最近のトピック	¥2,750
Vol. 54#7 (2000) 避妊法−問題点とその対策	¥2,750
Vol. 54#8 (2000) 無痛分娩・和痛分娩	¥2,750
Vol. 54#9 (2000) 思春期外来−診療上の留意点	¥2,750
Vol. 54#10 (2000) 女性の泌尿器疾患−最新情報	¥2,750
Vol. 54#11 (2000) 母子感染−最新の管理指針を考える	¥2,750
Vol. 54#12 (2000) ART最新情報−妊娠率向上のために	¥2,750
Vol. 55#1 (2001) 性感染症−胎児から癌まで	¥2,750
Vol. 55#2 (2001) 妊娠中毒症−新しい視点から	¥2,750
Vol. 55#3 (2001) 腹腔鏡下手術−知っておくべき最新情報	¥2,750
Vol. 55#4 (2001) 増大号 婦人科医のための乳癌検診	¥8,250
Vol. 55#5 (2001) 一歩先行く超音波胎児検診	¥2,750
Vol. 55#6 (2001) Obstetrics is a bloody business	¥2,750
Vol. 55#7 (2001) 排卵誘発の問題点−新しい工夫と対策	¥2,750
Vol. 55#8 (2001) 遺伝子医療−現況と将来	¥2,750
Vol. 55#9 (2001) 子宮外妊娠−新しい視点から	¥2,750
Vol. 55#10 (2001) ライフスタイルの変化と女性の健康	¥2,750
Vol. 55#11 (2001) 周産期救急と周産母子センター	¥2,750
Vol. 55#12 (2001) 子宮内膜症治療のストラテジー	¥2,750
Vol. 56#1 (2002) 女性内科的アプローチー循環器系を中心に	¥2,750
Vol. 56#2 (2002) 産婦人科と糖尿病　基礎知識と実地臨床	¥2,750
Vol. 56#3 (2002) 子宮筋腫　最近の話題	¥2,750
Vol. 56#4 (2002) 増大号 産婦人科手術における合併症管理のすべて	¥8,250
Vol. 56#5 (2002) ここまでわかる産婦人科のMRI	¥2,750
Vol. 56#6 (2002) 多胎妊娠管理　レベルアップのために	¥2,750
Vol. 56#7 (2002) 頸管無力症と頸管縫縮術	¥2,750
Vol. 56#8 (2002) どこまで可能か−悪性腫瘍治療と妊孕能温存	¥2,750
Vol. 56#9 (2002) 妊婦健診のピットフォール	¥2,750
Vol. 56#10 (2002) 不妊診療のピットフォール	¥2,750
Vol. 56#11 (2002) 更年期・老年期医療のピットフォール	¥2,750
Vol. 56#12 (2002) 分娩の多様化とリスク管理	¥2,750
Vol. 57#1 (2003) 婦人科がん検診	¥2,750
Vol. 57#2 (2003) 産婦人科診療における心のケア	¥2,750
Vol. 57#3 (2003) 母体症候ー救急疾患の鑑別と初期対応	¥2,750
Vol. 57#4 (2003) 増大号ここが聞きたい産婦人科外来における対処と処	¥9,350
Vol. 57#5 (2003) 妊娠と薬物	¥2,750
Vol. 57#6 (2003) ホルモン補充療法を再考する	¥2,750
Vol. 57#7 (2003) UAE子宮筋腫塞栓療法	¥2,750
Vol. 57#8 (2003) 妊娠と免疫	¥2,750
Vol. 57#9 (2003) 思春期のヘルスケアとメンタルケア	¥2,750

	Vol. 57#10 (2003) 周産期の難題を解く最新のエビデンスを考慮した解説	¥2,750
	Vol. 57#11 (2003) 不妊治療の難題を解く最新のエビデンスを考慮した解	¥2,750
	Vol. 57#12 (2003) 婦人科がん治療の難題を解く最新のエビデンスを考	¥2,750
	Vol. 58#1 (2004) 周産期の感染症―管理と対策	¥2,750
	Vol. 58#2 (2004) 産婦人科診療とリスクマネージメント	¥2,750
	Vol. 58#3 (2004) 不正出血の患者が来たら	¥2,750
品切	Vol. 58#4 (2004) 増大号 無痛分娩・和痛分娩ガイダンス	¥9,350
	Vol. 58#5 (2004) 血栓症と肺塞栓―予防と対策	¥2,750
	Vol. 58#6 (2004) Urogynecology	¥2,750
	Vol. 58#7 (2004) 産婦人科医に必要な乳がんの知識	¥2,750
	Vol. 58#8 (2004) 妊娠中毒症―新しい名称と定義	¥2,750
	Vol. 58#9 (2004) 不育症診療―その理論と実践	¥2,750
	Vol. 58#10 (2004) ここが知りたい―婦人科がん化学療法	¥2,750
	Vol. 58#11 (2004) 症例から学ぶ前置胎盤	¥2,750
	Vol. 58#12 (2004) 症例から学ぶ子宮内膜症 子宮内膜症を侮るな	¥2,750
	Vol. 59#1 (2005) 症例から学ぶ多嚢胞卵巣	¥2,750
	Vol. 59#2 (2005) 症例から学ぶ常位胎盤早期剥離	¥2,750
	Vol. 59#3 (2005) 安全な腹腔鏡下手術をめざして	¥2,750
	Vol. 59#4 (2005) 増大号 妊産婦と薬物治療EBM時代に対応した必須知	¥9,350
	Vol. 59#5 (2005) 安全な婦人科手術をめざして	¥2,750
	Vol. 59#6 (2005) 安全な産科手術・処置をめざして	¥2,750
品切	Vol. 59#7 (2005) 月経前症候群と月経痛―どう対応するか	¥2,750
	Vol. 59#8 (2005) 骨粗鬆症をめぐる新しい話題	¥2,750
	Vol. 59#9 (2005) 胎児疾患の管理－胎内治療の時代を迎えて	¥2,750
	Vol. 59#10 (2005) 腫瘍マーカー－基礎知識と診療指針	¥2,750
	Vol. 59#11 (2005) 婦人科の新しい画像診断法－PETを中心として	¥2,750
	Vol. 59#12 (2005) FGR―Fetal Growth Restriction	¥2,750
	Vol. 60#1 (2006) ART 2006	¥2,750
	Vol. 60#2 (2006) 子宮内膜症の新しい治療戦略	¥2,750
	Vol. 60#3 (2006) 妊婦と胎児の栄養管理	¥2,750
	Vol. 60#4 (2006) 増大号 女性診療科外来プラクティス	¥9,350
	Vol. 60#5 (2006) 早産-予防と対策	¥2,750
	Vol. 60#6 (2006) 性差医療	¥2,750
	Vol. 60#7 (2006) 妊娠のリスク評価	¥2,750
	Vol. 60#8 (2006) 婦人科がんを見逃さないために	¥2,750
	Vol. 60#9 (2006) PCOS-新たな視点	¥2,750
	Vol. 60#10 (2006) 妊娠中の偶発症候-産科医のプライマリケア	¥2,750
	Vol. 60#11 (2006) エイジングと生殖医療	¥2,750
	Vol. 60#12 (2006) ピル-エビデンスに基づいて新ガイドラインを読み解く	¥2,750
	Vol. 61#1 (2007) 高年出産－母児ケアのポイント	¥2,750
	Vol. 61#2 (2007) 子宮体癌の最新知見－専門医のために	¥2,750
	Vol. 61#3 (2007) 周産期医療の崩壊を防ごう	¥2,750
	Vol. 61#4 (2007) 増大号 産婦人科外来ベストナビゲーション－ここが聞	¥9,350
	Vol. 61#5 (2007) 母体救急	¥2,750
	Vol. 61#6 (2007) 子宮頸癌の治療-現状と展望	¥2,750
	Vol. 61#7 (2007) 中高年女性のトータルヘルスケア	¥2,750
	Vol. 61#8 (2007) 産科超音波診断 正診への道筋	¥2,750
	Vol. 61#9 (2007) 臨床遺伝学 診療に必要な最新情報	¥2,750
	Vol. 61#10 (2007) ここまできた分子標的治療	¥2,750
	Vol. 61#11 (2007) 胎盤と臍帯の臨床	¥2,750
	Vol. 61#12 (2007) 不妊治療 現在の課題と将来展望	¥2,750
	Vol. 62#1 (2008) 子宮筋腫の治療 大きく広がった選択の幅	¥2,860
	Vol. 62#2 (2008) 新生児の蘇生と管理	¥2,860
	Vol. 62#3 (2008) 不妊治療と多胎妊娠	¥2,860
	Vol. 62#4 (2008) 増大号 産婦人科臨床の難題を解く－私はこうしている	¥9,350
	Vol. 62#5 (2008) 婦人科がん化学療法 up to date	¥2,860
	Vol. 62#6 (2008) 妊婦の感染症	¥2,860

品切	Vol. 62#7 (2008) エキスパートに学ぶ-体外受精実践講座	¥2,860
	Vol. 62#8 (2008) エキスパートに学ぶ-漢方療法実践講座	¥2,860
	Vol. 62#9 (2008) 妊産婦の薬物療法-あなたの処方は間違っていません	¥2,860
	Vol. 62#10 (2008) 卵巣癌診療の最新情報	¥2,860
	Vol. 62#11 (2008) 子宮内膜症治療の最前線-症状に応じた治療戦略	¥2,860
	Vol. 62#12 (2008) 胎児機能不全	¥2,860
	Vol. 63#1 (2009) 産科出血-診断・治療のポイント	¥2,860
	Vol. 63#2 (2009) 性感染症 up to date	¥2,860
	Vol. 63#3 (2009) 多胎妊娠-母児のリスクとその管理	¥2,860
	Vol. 63#4 (2009) 増大号 ここが聞きたい 不妊・不育症診療ベストプラク	¥9,350
	Vol. 63#5 (2009) 性器脱診療の最前線	¥2,860
	Vol. 63#6 (2009) HRTの新ガイドラインを読み解く	¥2,860
	Vol. 63#7 (2009) 胎児の診断と治療	¥2,860
	Vol. 63#8 (2009) 若年女性の月経異常を診る	¥2,860
	Vol. 63#9 (2009) 婦人科がん検診	¥2,860
	Vol. 63#10 (2009) 妊娠高血圧症候群と関連疾患	¥2,860
	Vol. 63#11 (2009) 生殖医療のトピックス	¥2,860
	Vol. 63#12 (2009) QOLを考慮した婦人科がん治療	¥2,860
	Vol. 64#1 (2010) 母体救命搬送	¥2,860
	Vol. 64#2 (2010) ここが知りたい PCOSの最新情報	¥2,860
	Vol. 64#3 (2010) 子宮頸がんの予防戦略―ワクチンと検診	¥2,860
品切	Vol. 64#4 (2010) 増大号 これを読めばすべてわかる―最新の産婦人科	¥9,350
	Vol. 64#5 (2010) 着床障害―生殖医療のブラックボックス	¥2,860
	Vol. 64#6 (2010) 産婦人科画像診断のセカンドチョイス	¥2,860
	Vol. 64#7 (2010) 異所性妊娠	¥2,860
	Vol. 64#8 (2010) 子宮内膜症・腺筋症の外科的治療―機能温存をめざし	¥2,860
	Vol. 64#9 (2010) ここが問題　若年女性のやせ・肥満	¥2,860
	Vol. 64#10 (2010) ハイリスク妊娠　ここがチェックポイント	¥2,860
	Vol. 64#11 (2010) 低用量OCの普及をめざして	¥2,860
	Vol. 64#12 (2010) 子宮体癌診療の動向―これだけは知っておきたい	¥2,860
	Vol. 65#1 (2011) 胎児心拍数モニタリング	¥2,860
	Vol. 65#2 (2011) 静脈血栓塞栓症―予防・診断・治療	¥2,860
	Vol. 65#3 (2011) 絨毛と胎盤をめぐる新知見	¥2,860
	Vol. 65#4 (2011) 増大号 婦人科内分泌療法―病態の理解と正しい診断	¥9,350
	Vol. 65#5 (2011) 母体と胎児の栄養学	¥2,860
	Vol. 65#6 (2011) ART-いま何が問題か	¥2,860
	Vol. 65#7 (2011) 卵巣がん―最新の治療戦略	¥2,860
	Vol. 65#8 (2011) 母子感染―新しい制御戦略	¥2,860
品切	Vol. 65#9 (2011) 不妊治療のABC-ARTの前にできること	¥2,860
	Vol. 65#10 (2011) 子宮頸癌-予防と妊孕性温存のための治療戦略	¥2,860
	Vol. 65#11 (2011) 常位胎盤早期剥離-ワンランク上の診断と治療	¥2,860
	Vol. 65#12 (2011) 早産-ワンランク上の予防と管理	¥2,860
品切	Vol. 66#1 (2012) ワンランク上の漢方診療	¥2,970
品切	Vol. 66#2 (2012) 分娩誘発と陣痛促進法の見直し 安全な分娩管理を目	¥2,970
品切	Vol. 66#3 (2012) 不育症の診療指針	¥2,970
	Vol. 66#4 (2012) 最小侵襲手術アップデート minimally invasive surgery	¥2,970
	Vol. 66#5 (2012) 増刊号 オフィスギネコロジー 女性のプライマリ・ケア	¥9,350
	Vol. 66#6 (2012) 診療ガイドライン産科編2011 改訂と追加のポイント	¥2,970
	Vol. 66#7 (2012) 卵子の加齢 避けては通れないARTの課題	¥2,970
品切	Vol. 66#8 (2012) 絨毛性疾患アップデート「取扱い規約」改訂をふまえて	¥2,970
	Vol. 66#9 (2012) 前置胎盤と癒着胎盤 ワンランク上の診断と治療	¥2,970
	Vol. 66#10 (2012) 子宮内膜症の薬物療法 薬物特性の理解と個別化治	¥2,970
品切	Vol. 66#11 (2012) ホルモン補充療法ガイドライン2012年度版 改訂版を	¥2,970
品切	Vol. 66#12 (2012) 出生前診断の新しいトレンド	¥2,970
	Vol. 66#13 (2012) これだけは知っておきたい 婦人科がんの緩和ケア	¥2,970
	Vol. 67#1 (2013) 1・2月合併増大号 性感染症と母子感染 最新の診断と	¥4,180
	Vol. 67#2 (2013) 急速遂娩の基本ートラブルを避けるために	¥2,970

	Vol. 67#3 (2013) 女性骨盤底外科手術 Up to Date 増加する患者への	¥2,970
品切	Vol. 67#4 (2013) 増刊号 産婦人科当直医マニュアル―慌てないための	¥9,350
	Vol. 67#5 (2013) 子宮体がん診療アップデート	¥2,970
	Vol. 67#6 (2013) 産婦人科超音波診断－新しい技法とその臨床応用	¥2,970
	Vol. 67#7 (2013) 思春期診療グレードアップ	¥2,970
	Vol. 67#8 (2013) 婦人科がんの予防戦略と早期診断	¥2,970
	Vol. 67#9 (2013) 脳性麻痺－発症防止への挑戦	¥2,970
	Vol. 67#10 (2013) ART成功の秘訣－どうすれば妊娠率は向上するか	¥2,970
	Vol. 67#11 (2013) 進行婦人科がんの集学的治療	¥2,970
	Vol. 67#12 (2013) 多胎妊娠管理の最新スタンダード　ガイドラインを踏ま	¥2,970
	Vol. 68#1 (2014) 生殖医療の進歩と課題　安全性の検証から革新的知	¥4,180
	Vol. 68#2 (2014) 生殖医療の進歩と課題　安全性の検証から革新的知	¥2,970
	Vol. 68#3 (2014) メタボとロコモ　これからの女性医療のキーワード	¥2,970
品切	Vol. 68#4 (2014) 増刊号 産婦人科処方のすべて　すぐに使える実践ガ	¥9,350
	Vol. 68#5 (2014) 妊婦のアレルギー・自己免疫・炎症性疾患　病態と妊婦	¥2,970
	Vol. 68#6 (2014) 性ホルモン製剤を使いこなす	¥2,970
	Vol. 68#7 (2014) あなたにもできる　最先端の婦人科手術	¥2,970
	Vol. 68#8 (2014) 診療ガイドライン産科編 2014　改訂と追加のポイントを	¥2,970
	Vol. 68#9 (2014) いま注目されている　早発卵巣不全（POI）	¥2,970
	Vol. 68#10 (2014) 診療ガイドライン婦人科外来編 2014　改訂と追加のポ	¥2,970
	Vol. 68#11 (2014) 妊娠高血圧症候群のベストマネジメント	¥2,970
	Vol. 68#12 (2014) 子宮内膜症治療の未来図	¥2,970
	Vol.69 No.1 1/2月 合併増大号 (2015) ゲノム時代の婦人科がん診療を	¥4,180
	Vol. 69#2 (2015) 総合診療における産婦人科医の役割　あらゆるライフス	¥2,970
	Vol. 69#3 (2015) 早産の予知・予防の新たな展開	¥2,970
品切	Vol. 69#4 (2015) 増刊号 妊婦健診のすべて―週数別・大事なことを見逃	¥9,350
	Vol. 69#5 (2015) 月経異常・不妊症の診断力を磨く	¥2,970
	Vol. 69#6 (2015) 産婦人科医必読―乳がん予防と検診Up to date	¥2,970
	Vol. 69#7 (2015) 専攻医必読　基礎から学ぶ周産期超音波診断のポイン	¥2,970
	Vol. 69#8 (2015) 体外受精治療の行方　問題点と将来展望	¥2,970
	Vol. 69#9 (2015) がん妊孕性温存治療の適応と注意点―腫瘍学と生殖	¥2,970
	Vol. 69#10 (2015) 婦人科疾患の妊娠・産褥期マネジメント	¥2,970
	Vol. 69#11 (2015) 婦人科腹腔鏡手術の進歩と“落とし穴”	¥2,970
	Vol. 69#12 (2015) 婦人科がん診療を支えるトータルマネジメント―各領	¥2,970
	Vol. 70#1 (2016) 合併増大号　難治性の周産期common diseaseへの挑	¥4,180
	Vol. 70#2 (2016) 不妊女性に対する手術療法―適応・タイミングと手技の	¥2,970
	Vol. 70#3 (2016) 産科大出血に慌てない！！	¥2,970
	Vol. 70#4 (2016) 増刊号 知りたい最新情報がすぐわかる！ 不妊・不育	¥9,350
	Vol. 70#5 (2016) 糖尿病が女性ヘルスケア・がんに与えるリスク	¥2,970
	Vol. 70#6 (2016) 若年女性の外来診療に役立つ基礎知識	¥2,970
	Vol. 70#7 (2016) 胎児心拍数モニタリング パーフェクトマスター	¥2,970
	Vol. 70#8 (2016) 婦人科悪性腫瘍規約改訂のポイントと対応－「何が」「	¥2,970
	Vol.　70#9 (2016) 卵管は脇役か？－その生理と病態	¥2,970
	Vol. 70#10 (2016) 胎児発育不全（FGR）の管理Up To Date	¥2,970
	Vol. 70#11 (2016) 骨粗鬆症の最新トピックス－ガイドラインの大幅改訂を	¥2,970
	Vol. 70#12 (2016) 卵胞発育を理解する―知っておくべき基礎知識	¥2,970
	Vol. 71#1 (2017) 1月・2月合併増大号 今月の臨床 性ステロイドホルモン	¥4,180
品切	Vol. 71#2 (2017) 産科麻酔パーフェクトガイド	¥2,970
	Vol. 71#3 (2017) 婦人科がん低侵襲治療の現状と展望〈特別付録web動	¥2,970
	Vol. 71#4 (2017) 増刊号 産婦人科画像診断トレーニング－この所見をど	¥9,350
	Vol. 71#5 (2017) 万能幹細胞・幹細胞とゲノム編集－再生医療の進歩が	¥2,970
	Vol. 71#6 (2017) 周産期メンタルヘルスケアの最前線－ハイリスク妊産婦	¥2,970
	Vol. 71#7 (2017) 若年女性のスポーツ障害へのトータルヘルスケア－こ	¥2,970
	Vol. 71#8 (2017)「産婦人科診療ガイドライン－産科編 2017」の新規項	¥2,970
	Vol. 71#9 (2017) 着床不全・流産をいかに防ぐか－PGS時代の不妊・不	¥2,970
	Vol. 71#10 (2017) 最新！婦人科がん薬物療法－化学療法薬から分子	¥2,970
	Vol. 71#11 (2017) 遺伝子診療の最前線－着床前、胎児から婦人科がん	¥2,970

	Vol. 71#12 (2017) あなたと患者を守る！産婦人科診療に必要な法律・訴	¥2,970
	Vol. 72#1 (2018) 1月・2月合併増大号 産婦人科感染症の診断・管理－	¥4,180
品切	Vol. 72#2 (2018) ホルモン補充療法ベストプラクティス －いつから始める	¥2,970
	Vol. 72#3 (2018) ここが知りたい！早産の予知・予防の最前線	¥2,970
	Vol. 72#4 (2018) 増刊号 産婦人科外来パーフェクトガイド	¥9,350
	Vol. 72#5 (2018) 精子・卵子保存法の現在－「産む」選択肢をあきらない	¥2,970
	Vol. 72#6 (2018) がん免疫療法の新展開－「知らない」ではすまない今	¥2,970
	Vol. 72#7 (2018) 完全マスター！妊娠高血圧症候群 PIHからHDPへ	¥2,970
	Vol. 72#8 (2018) スペシャリストに聞く 産婦人科でのアレルギー対応法	¥2,970
	Vol. 72#9 (2018) 症例検討会で突っ込まれないための“実践的”婦人科	¥2,970
	Vol. 72#10 (2018) 糖代謝異常合併妊娠のベストマネジメント－成因から	¥2,970
	Vol. 72#11 (2018) 男性不妊アップデート－ARTをする前に知っておきた	¥2,970
	Vol. 72#12 (2018) 女性のアンチエイジング－老化のメカニズムから予防・	¥2,970
	Vol. 73#1 (2019) 1月・2月合併増大号 エキスパートに学ぶ 女性骨盤底	¥4,180
	Vol. 73#2 (2019) NIPT新時代の幕開け－検査の実際と将来展望	¥2,970
品切	Vol. 73#3 (2019) いまさら聞けない 体外受精法と胚培養の基礎知識	¥2,970
	Vol. 73#4 (2019) 増刊号 産婦人科救急・当直対応マニュアル	¥9,350
	Vol. 73#5 (2019) 妊婦の腫瘍性疾患の管理－見つけたらどう対応するか	¥2,970
	Vol. 73#6 (2019) 多胎管理のここがポイント－TTTSとその周辺	¥2,970
	Vol. 73#7 (2019) 卵巣刺激・排卵誘発のすべて－どんな症例に、どのよう	¥2,970
	Vol. 73#8 (2019) 産婦人科で漢方を使いこなす！－漢方診療の新しい	¥2,970
	Vol. 73#9 (2019) 産科危機的出血のベストマネジメント－知っておくべき	¥2,970
	Vol. 73#10 (2019) 進化する子宮筋腫診療－診断から最新治療・合併症	¥2,970
	Vol. 73#11 (2019) 基本手術手技の習得・指導ガイダンス－専攻医修了	¥2,970
	Vol. 73#12 (2019) 産婦人科領域で話題の新技術－時代の潮流に乗り遅	¥2,970
	Vol. 74#1 (2020年1月) 1月・2月合併増大号 周産期超音波検査バイブ	¥4,180
	Vol. 74#2 (2020年3月) はじめての情報検索－知りたいことの探し方・最	¥2,970
	Vol. 74#3 (2020年4月) 徹底解説！ 卵巣がんの最新治療－複雑化する	¥2,970
	Vol. 74#4 (2020年増刊号) 産婦人科処方のすべて2020 症例に応じた	¥9,350
	Vol. 74#5 (2020年5月) エコチル調査から見えてきた周産期の新たなリス	¥2,970
	Vol. 74#6 (2020年6月) 外来でみる子宮内膜症診療－患者特性に応じた	¥2,970
	Vol. 74#7 (2020年7月) 若年女性診療の「こんなとき」どうする？－多彩で	¥2,970
	Vol. 74#8 (2020年8月) 産婦人科医に最低限必要な正期産新生児管理	¥2,970
	Vol. 74#9 (2020年9月) 産婦人科医に最低限必要な正期産新生児管理	¥2,970
	Vol. 74#10 (2020年10月) 胎盤・臍帯・羊水異常の徹底理解－病態から	¥2,970
	Vol. 74#11 (2020年11月) 論文作成の戦略－アクセプトを勝ちとるために	¥2,970
	Vol, 74#12 (2020年12月) 着床環境の改善はどこまで可能か？－エキス	¥2,970
	Vol. 75#1 (2021年1月) 1月・2月合併増大号 生殖医療の基礎知識アップ	¥4,180
	Vol. 75#2 (2021年3月) 妊娠・分娩時の薬物治療－最新の使い方は？留	¥2,970
	Vol. 75#3 (2021年4月) 女性のライフステージごとのホルモン療法－この1	¥2,970
	Vol. 75#5 (2021年5月) 頸管熟化と子宮収縮の徹底理解！－安全な分	¥2,970
	Vol. 75#6 (2021年6月) 大規模災害時の周産期医療－災害に負けない	¥2,970
	Vol. 75#7 (2021年7月) 専攻医必携！ 術中・術後トラブル対処法－予期	¥2,970
	Vol. 75#8 (2021年8月) エキスパートに聞く 耐性菌と院内感染－産婦人	¥2,970
	Vol. 75#9 (2021年9月) 産科手術を極める (I)－妊娠中の処置・手術	¥2,970

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい

811 臨床眼科

Vol. 1#1-3 (1947)	各号	¥2,970
Vol. 2#1-6 (1948)	各号	¥2,970
Vol. 3-5 (1949-1951) 各1-12号	各号	¥2,970
Vol. 6-7 (1952-1953) 各1-13号	各号	¥2,970
Vol. 8#1-12 (1954)	各号	¥2,970
Vol. 9-11 (1955-1957) 各1-13号	各号	¥2,970
Vol. 13-42 (1959-1988) 各1-12号	各号	¥2,970
Vol. 43#1-13 (1989)	各号	¥2,970
Vol. 44#1-9,11-13 (1990)	各号	¥2,970
Vol. 44#10 (1990) 増刊号 小児眼科診療マニュアル		¥5,280
Vol. 45#1-10,13 (1991)	各号	¥2,970
Vol. 45#11 (1991) 増刊号 眼科基本診療 私はこうしている		¥5,280
Vol. 46#1-10,12-13 (1992)	各号	¥2,970
Vol. 46#11 (1992) 眼科治療薬マニュアル-私の処方箋-		¥5,280
Vol. 47#1-10,12-13 (1993)	各号	¥2,970
Vol. 47#11 (1993) 増刊号 白内障手術 Controversy '93		¥5,280
Vol. 48#1-10,12-13 (1994)	各号	¥2,970
Vol. 48#11 (1994) 増刊号 高齢患者の眼科手術		¥5,280
Vol. 49#1 (1995) ICG 螢光造影		¥4,400
Vol. 49#2,6-10,12-13 (1995)	各号	¥2,970
Vol. 49#3 (1995) 第48回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 49#4 (1995) 第48回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 49#5 (1995) 第48回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 50#1,2,6-10,12-13 (1996)	各号	¥2,970
Vol. 50#3 (1996) 第49回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 50#4 (1996) 第49回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 50#5 (1996) 第49回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 50#11 (1996) 増刊号 緑内障Today		¥7,480
Vol. 51#1,2,7-10,12-13 (1997)	各号	¥2,750
Vol. 51#3 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,750
Vol. 51#4 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,750
Vol. 51#5 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,750
Vol. 51#6 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,750
Vol. 51#11 (1997) 増刊号 オキュラーサーフェス Today		¥7,480
Vol. 52#1、2、7-8,10,12、13 (1998)	各号	¥2,750
Vol. 52#3 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,750
Vol. 52#4 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,750
Vol. 52#5 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,750
Vol. 52#6 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,750
Vol. 52#9 (1998) OCT		¥6,820
Vol. 52#11 (1998) 増刊号 眼科検査法を検証する		¥7,920
Vol. 53#1,2,7-9,11-13 (1999)	各号	¥2,860
Vol. 53#3 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,860
Vol. 53#4 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,860
Vol. 53#5 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,860
Vol. 53#6 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,860
Vol. 53#10 (1999) 増刊号　眼科外来診療マニュアル		¥7,920
Vol. 54#1,7-10,12,13 (2000)	各号	¥2,860
Vol. 54#2 (2000) シンポジウム　診断と治療の進歩		¥6,820
Vol. 54#3 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,860
Vol. 54#4 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,860
Vol. 54#5 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,860
Vol. 54#6 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,860
Vol. 54#11 (2000) 増刊号 眼科基本診療Update		¥8,250

	臨床眼科	税込価格
Vol. 55#1 (2001) 眼外傷の救急治療		¥2,860
Vol. 55#2,7,9,11-13 (2001)	各号	¥2,860
Vol. 55#3 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,860
Vol. 55#4 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,860
Vol. 55#5 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,860
Vol. 55#6 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,860
Vol. 55#8 (2001) 眼疾患の季節変動		¥2,860
Vol. 55#10 (2001) 増刊号 眼科EBM確率に向けての治療ガイド		¥8,250
Vol. 56#1,2,8,10,11,13 (2002)	各号	¥2,970
Vol. 56#3 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 56#4 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 56#5 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 56#6 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,970
Vol. 56#7 (2002) 角膜屈折矯正手術を手がける前に		¥2,970
Vol. 56#9 (2002) 増刊号 緑内障診療ガイド―今日の戦略		¥8,250
Vol. 56#12 (2002) 眼窩腫瘍		¥2,970
Vol. 57#1,9,12,13 (2003)	各号	¥2,970
Vol. 57#2 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 57#3 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 57#4 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 57#5 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,970
Vol. 57#6 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(5)		¥2,970
Vol. 57#7 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(6)		¥2,970
Vol. 57#8 (2003) ベーチェット病研究の最近の進歩		¥2,970
Vol. 57#10 (2003) 網膜色素変性症の最前線		¥2,970
Vol. 57#11 (2003) 増刊号 眼感染症診療ガイド		¥9,350
Vol. 58#1,2 (2004)	各号	¥2,970
Vol. 58#3 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 58#4 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 58#5 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 58#6 (2004) 緑内障神経保護治療の展望／第57回日本臨床眼科		¥2,970
Vol. 58#7 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(5)		¥2,970
Vol. 58#8 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(6)		¥2,970
Vol. 58#9 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(7)		¥2,970
Vol. 58#10 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(8)		¥2,970
Vol. 58#11 (2004) 増刊号 白内障手術の傾向と対策 術中・術後合併症		¥9,350
Vol. 58#12 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(9)		¥2,970
Vol. 58#13 (2004) コンタクトレンズ 2004		¥2,970
Vol. 59#1,13 (2005)	各号	¥2,970
Vol. 59#2 (2005) 結膜アレルギーの病態と対策		¥2,970
Vol. 59#3 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 59#4 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 59#5 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 59#6 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,970
Vol. 59#7 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(5)		¥2,970
Vol. 59#8 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(6)		¥2,970
Vol. 59#9 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(7)		¥2,970
Vol. 59#10 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(8)		¥2,970
Vol. 59#11 (2005) 眼科における最新医工学		¥9,350
Vol. 59#12 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(9)		¥2,970
Vol. 60#1,13 (2006)	各号	¥2,970
Vol. 60#2 (2006) どこまで進んだ 分子病態の解明と標的治療		¥2,970
Vol. 60#3 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,970
Vol. 60#4 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,970
Vol. 60#5 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,970
Vol. 60#6 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,970

Vol. 60#7 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,970
Vol. 60#8 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,970
Vol. 60#9 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,970
Vol. 60#10 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,970
Vol. 60#11 (2006) 増刊号 手術のタイミングとポイント	¥9,350
Vol. 60#12 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(9)	¥2,970
Vol. 60#13 (2006)	¥2,970
Vol. 61#1 (2007)	¥2,970
Vol. 61#2 (2007) 緑内障診療の新しい展開	¥2,970
Vol. 61#3 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,970
Vol. 61#4 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,970
Vol. 61#5 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,970
Vol. 61#6 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,970
Vol. 61#7 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,970
Vol. 61#8 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,970
Vol. 61#9 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,970
Vol. 61#10 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,970
Vol. 61#11 (2007) 増刊号 眼科専門医に必要な「全身疾患と眼」のすべ	¥9,350
Vol. 61#12 (2007) 眼の不定愁訴と結膜弛緩渉ほか	¥2,970
Vol. 61#13 (2007) アレルギー性結膜疾患の診断と治療	¥2,970
Vol. 62#1 (2008)	¥2,970
Vol. 62#2 (2008) 網膜病変の最近の考え方と新しい知見	¥2,970
Vol. 62#3 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,970
Vol. 62#4 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,970
Vol. 62#5 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,970
Vol. 62#6 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,970
Vol. 62#7 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,970
Vol. 62#8 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,970
Vol. 62#9 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,970
Vol. 62#10 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,970
Vol. 62#11 (2008) 増刊号 網膜硝子体診療update	¥9,350
Vol. 62#12 (2008) 糖尿病の眼合併症	¥2,970
Vol. 62#13 (2008)	¥2,970
Vol. 63#1 (2009) 巻末 眼科学教室名簿	¥2,970
Vol. 63#2 (2009) 未熟児網膜症診療の最前線	¥2,970
Vol. 63#3 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,970
Vol. 63#4 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,970
Vol. 63#5 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,970
Vol. 63#6 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,970
Vol. 63#7 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,970
Vol. 63#8 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,970
Vol. 63#9 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,970
Vol. 63#10 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,970
Vol. 63#11 (2009) 増刊号 緑内障診療 グレーゾーンを超えて	¥9,350
Vol. 63#12 (2009) 黄斑手術の基本手技	¥2,970
Vol. 63#13 (2009) 視神経炎の新しい考え方 “抗アクアポリン4抗体陽性	¥2,970
Vol. 64#1 (2010) iPS細胞と網膜再生	¥2,970
Vol. 64#2 (2010) OCTによって緑内障診療の何が変わるか	¥2,970
Vol. 64#3 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,970
Vol. 64#4 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,970
Vol. 64#5 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,970
Vol. 64#6 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,970
Vol. 64#7 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,970
Vol. 64#8 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,970
Vol. 64#9 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,970
Vol. 64#10 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,970
Vol. 64#11 (2010) 増刊号 新しい時代の白内障手術	¥9,350

Vol. 64#12 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(9)	¥2,970
Vol. 64#13 (2010) 基礎研究から難治性眼疾患のブレークスルーをねら	¥2,970
Vol. 65#1 (2011)	¥2,970
Vol. 65#2 (2011) 新しい手術手技の現状と今後の展望	¥2,970
Vol. 65#3 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,970
Vol. 65#4 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,970
Vol. 65#5 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,970
Vol. 65#6 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,970
Vol. 65#7 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,970
Vol. 65#8 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,970
Vol. 65#9 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,970
Vol. 65#10 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,970
Vol. 65#11 (2011) 増刊号 眼科診療:5年前の常識は,現在の非常識！	¥9,350
Vol. 65#12 (2011) 脈絡膜の画像診断	¥3,119
Vol. 65#13 (2011) 角膜輪部減張切開術による乱視矯正	¥2,970
Vol. 66#1 (2012)	¥3,080
Vol. 66#2 (2012) 疾患メカニズムの新しい理解と治療の展開	¥3,080
Vol. 66#3 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 66#4 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 66#5 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 66#6 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 66#7 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 66#8 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 66#9 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080
Vol. 66#10 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 66#11 (2012) 増刊号 オキュラーサーフェス診療アップデート	¥9,350
Vol. 66#12 (2012) 災害、震災時の眼科医療	¥3,080
Vol. 66#13 (2012) 眼にやさしい眼瞼腫瘍の切除後再建	¥3,080
Vol. 67#1 (2013) 新しい緑内障手術	¥3,080
Vol. 67#2 (2013) 中心性漿液性脈絡網膜症の病態と治療	¥3,080
Vol. 67#3 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 67#4 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 67#5 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 67#6 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 67#7 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 67#8 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 67#9 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080
Vol. 67#10 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 67#11 (2013) 増刊号 図で早わかり 実戦！眼科薬理	¥9,350
Vol. 67#12 (2013) 抗VEGF薬をどう使う?	¥3,080
Vol. 67#13 (2013) 新しい角膜パーツ移植	¥3,080
Vol. 68#1 (2014) 糖尿病黄斑症は今こう治療する/眼底疾患と悪性腫瘍	¥3,080
Vol. 68#2 (2014) ロービジョンケアの基本をマスターしよう	¥3,080
Vol. 68#3 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 68#4 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 68#5 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 68#6 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 68#7 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 68#8 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 68#9 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080
Vol. 68#10 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 68#11 (2014) 増刊号 ターゲット別！画像診断お助けガイド	¥9,350
Vol. 68#12 (2014) 網膜静脈閉塞の最新治療	¥3,080
Vol. 68#13 (2014) 新しい術式を評価する	¥3,080
Vol. 69#1 (2015) 眼感染症-知っておくべきことから最新の治療まで/硝	¥3,080
Vol. 69#2 (2015) 脈絡膜と網膜疾患／特集2　近年のコンタクトレンズ事	¥3,080
Vol. 69#3 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080

Vol. 69#5 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 69#6 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 69#7 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 69#8 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 69#9 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080
Vol. 69#10 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 69#11 (2015) 増刊号 緑内障なんでも質問箱ーエキスパートに聞い	¥9,350
Vol. 69#12 (2015) 遺伝性網膜疾患のトータルケア	¥3,080
Vol. 69#13 (2015) これからの眼底血管評価法	¥3,080
Vol. 70#1 (2016) 眼内レンズアップデート	¥3,080
Vol. 70#2 (2016) 緑内障治療の副作用・合併症対策総ざらい	¥3,080
Vol. 70#3 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[1]	¥3,080
Vol. 70#4 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[2]	¥3,080
Vol. 70#5 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[3]	¥3,080
Vol. 70#6 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[4]	¥3,080
Vol. 70#7 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[5]	¥3,080
Vol. 70#8 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[6]	¥3,080
Vol. 70#9 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[7]	¥3,080
Vol. 70#10 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[8]	¥3,080
Vol. 70#11 (2016) 増刊号 眼感染症の傾向と対策－完全マニュアル	¥9,350
Vol. 70#12 (2016) 美しさを追求する眼形成ー眼瞼手術の基本手技＋仕	¥3,080
Vol. 70#13 (2016) 脈絡膜から考える網膜疾患	¥3,080
Vol. 71#1 (2017) 眼疾患の一次予防と二次予防ー眼疾患はどこまで予防	¥3,080
Vol. 71#2 (2017) 前眼部診療の最新トピックス	¥3,080
Vol. 71#3 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 71#4 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 71#5 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 71#6 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 71#7 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 71#8 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 71#9 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080
Vol. 71#10 (2017) 第70回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 71#11 (2017) 増刊号 眼科基本検査パーフェクトガイドー理論と実	¥9,350
Vol. 71#12 (2017) 視神経炎最前線	¥3,080
Vol. 71#13 (2017) 網膜硝子体手術の新しいスタイル	¥3,080
Vol. 72#1 (2018) 黄斑円孔の最新レビュー	¥3,080
Vol. 72#2 (2018) 眼窩疾患の最近の動向	¥3,080
Vol. 72#3 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 72#4 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 72#5 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 72#6 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 72#7 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 72#8 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 72#9 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080
Vol. 72#10 (2018) 第71回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 72#11 (2018) 増刊号 7年前の常識は現在の非常識！眼科診療の	¥9,350
Vol. 72#12 (2018) 涙器涙道手術の最近の動向	¥3,080
Vol. 72#13 (2018) OCTアンギオグラフィを始めるためにーコツと落とし穴	¥3,080
Vol. 73#1 (2019) 今が旬！ アレルギー性結膜炎	¥3,080
Vol. 73#2 (2019) 眼内レンズ偏位・脱臼に対する手術－最新版	¥3,080
Vol. 73#3 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 73#4 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 73#5 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 73#6 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 73#7 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 73#8 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 73#9 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080

Vol. 73#10 (2019) 第72回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,080
Vol. 73#11 (2019) 増刊号　実戦 メディカル眼科治療アップデート	¥9,350
Vol. 73#12 (2019) 感染性角膜炎　もうガイドラインだけでは足りない！	¥3,080
Vol. 73#13 (2019) 緑内障の新しい診療法とその評価　ホントのところは	¥3,080
Vol. 74#1 (2020年1月) 画像が開く新しい眼科手術	¥3,080
Vol. 74#2 (2020年2月) 日常臨床でのロービジョンケアの勘どころ	¥3,080
Vol. 74#3 (2020年3月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (1)	¥3,080
Vol. 74#4 (2020年4月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (2)	¥3,080
Vol. 74#5 (2020年5月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (3)	¥3,080
Vol. 74#6 (2020年6月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (4)	¥3,080
Vol. 74#7 (2020年7月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (5)	¥3,080
Vol. 74#8 (2020年8月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (6)	¥3,080
Vol. 74#9 (2020年9月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (7)	¥3,080
Vol. 74#10 (2020年10月) 第73回日本臨床眼科学会講演集 (8)	¥3,080
Vol. 74#12 (2020年11月) ドライアイを極める！	¥3,080
Vol. 74#13 (2020年12月) 黄斑円孔／偽円孔手術を極める！	¥3,080
Vol. 75#1 (2021年1月) もう悩まない ぶどう膜炎の診断と治療　達人の診	¥3,080
Vol. 75#2 (2021年2月) 前眼部検査のコツ教えます。	¥3,080
Vol. 75#3 (2021年3月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,080
Vol. 75#4 (2021年4月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,080
Vol. 75#5 (2021年5月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,080
Vol. 75#6 (2021年6月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,080
Vol. 75#7 (2021年7月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,080
Vol. 75#8 (2021年8月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,080
Vol. 75#9 (2021年9月) 第74回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,080

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

812 臨床外科（医学書院）

Vol. 1#1-4 (1946/1947)	各号	¥2,750
Vol. 2#1-4 (1947)	各号	¥2,750
Vol. 3-39 (1948-1984) 各1-12号	各号	¥2,750
Vol. 40-46 (1985-1991) 各1-13号	各号	¥2,750
Vol. 34-46 (1979-1991) 各増刊号	各号	¥8,800
Vol. 47#1-10,12,13 (1992)	各号	¥2,750
Vol. 47#11 (1992) 増刊号 外来患者・薬物療法マニュアル		¥8,800
Vol. 48#1-10,12,13 (1993)	各号	¥2,750
Vol. 48#11 (1993)		¥8,800
Vol. 49#1-10,12-13 (1994)	各号	¥2,750
Vol. 49#11 (1994) 増刊号 施設別/新・悪性腫瘍治療		¥8,800
Vol. 50#1 (1995) 早期胃癌の内視鏡的根治切除		¥2,750
Vol. 50#2 (1995) 消化器癌画像診断のノウ・ハウ		¥2,750
Vol. 50#3 (1995) Q & A 人工呼吸管理とベンチレータ		¥2,750
Vol. 50#4 (1995) 新しい膵手術のテクニック		¥2,750
Vol. 50#5 (1995) 画像診断が変わる? MRIの新しい展開		¥2,750
Vol. 50#6 (1995) 外科臨床医のための基本手技		¥2,750
Vol. 50#7 (1995) 再発消化管癌を治療する		¥2,750
Vol. 50#8 (1995) 高齢者の外科-キュアとケア		¥2,750
Vol. 50#9 (1995) 出血させない消化器癌手術		¥2,750
Vol. 50#10 (1995) 多臓器不全-患者管理の実際		¥2,750
Vol. 50#11 (1995) 増刊号 術後1週間の患者管理		¥8,800
Vol. 50#12 (1995) 消化器癌手術における皮膚切開		¥2,750
Vol. 50#13 (1995) 外科医のための緩和ケア		¥2,750
Vol. 51#1 (1996) 乳房温存療法の適応と実際		¥2,750
Vol. 51#2 (1996) 甲状腺外科の新しい展開		¥2,750
Vol. 51#3 (1996) 肝炎・肝硬変患者の消化器外科手術		¥2,750
Vol. 51#4 (1996) 術後感染症-予防と治療の実際-		¥2,750
Vol. 51#5 (1996) 肛門疾患診療のポイント		¥2,750
Vol. 51#6 (1996) 外科医に必要な整形外科の知識		¥2,750
Vol. 51#7 (1996) 図解 成人鼠径ヘルニア手術		¥2,750
Vol. 51#8 (1996) 直腸癌に対する肛門機能温存手術		¥2,750
Vol. 51#9 (1996) 急性腹症-画像診断から初期治療まで		¥2,750
Vol. 51#10 (1996) 胃癌治療のup-to-date		¥2,750
Vol. 51#11 (1996) 増刊号 術前ワークアップマニュアル		¥8,800
Vol. 51#12 (1996) 外科医のためのペインクリニック		¥2,750
Vol. 51#13 (1996) 大災害に対する外科医の備え		¥2,750
Vol. 52#1 (1997) 転移性肺癌診療の最新ストラテジー		¥2,530
Vol. 52#2 (1997) 消化器の前癌病変とハイリスク病変		¥2,530
Vol. 52#3 (1997) ドレッシング-創傷管理の新たな展開-		¥2,530
Vol. 52#4 (1997) 膵瘻の予防・治療のノウハウ		¥2,530
Vol. 52#5 (1997) サイトカインからみた周術期管理		¥2,530
Vol. 52#6 (1997) 輸血後GHVDをめぐる諸問題		¥2,530
Vol. 52#7 (1997) 経腸栄養法-最新の動向		¥2,530
Vol. 52#8 (1997) 児童吻合器・縫合器の安全,有効な		¥2,530
Vol. 52#9 (1997) 甲状腺と上皮小体の外科-最近の進歩		¥2,530
Vol. 52#10 (1997) 食道癌診療のトピックス		¥2,530
Vol. 52#11 (1997) 増刊号 外来診療・小外科マニュアル		¥8,580
Vol. 52#12 (1997) 消化器外科領域におけるメタリックステント		¥2,530
Vol. 52#13 (1997) 血管系病変と腹部消化器外科		¥2,530
Vol. 53#1 (1998) 胆道ドレナージを考える		¥2,530
Vol. 53#2 (1998) 食道・胃静脈瘤攻略法		¥2,530
Vol. 53#3 (1998) 自己血輸血の現状と将来展望		¥2,530
Vol. 53#4 (1998) 早期直腸癌診療のストラテジー		¥2,530
Vol. 53#5 (1998) 病態別補充・補正のFormula		¥2,530

Vol. 53#6 (1998) ここまできたDay Surgery	¥2,530
Vol. 53#7 (1998) 分子生物学的診断は病理診断に迫れるか	¥2,530
Vol. 53#8 (1998) 肛門疾患診断・治療のノウハウ	¥2,530
Vol. 53#9 (1998) 急性腹膜炎-病態と治療の最前線	¥2,530
Vol. 53#10 (1998) 胃癌術後補助化学療法をめぐって	¥2,530
Vol. 53#11 (1998) 増刊号 縫合・吻合法のバイブル	¥8,580
Vol. 53#12 (1998) 肝癌治療のupdate	¥2,530
Vol. 53#13 (1998) 外科・形成外科の連携と展望	¥2,530
Vol. 54#1 (1999) 乳癌の手術：最適化への論点	¥2,640
Vol. 54#2 (1999) 癌転移治療のノウハウ	¥2,640
Vol. 54#3 (1999) 器械吻合・縫合におけるコツとピットフォール	¥2,640
Vol. 54#4 (1999) Surgical deviceの有効、安全な使い方	¥2,640
Vol. 54#5 (1999) 切除標本取扱ガイドライン-癌取扱い規制に	¥2,640
Vol. 54#6 (1999) 直腸癌の治療-機能温存手術のプログレス	¥2,640
Vol. 54#7 (1999) 膵臓外科に対するチャレンジ：切離・吻合の..	¥2,640
Vol. 54#8 (1999) 3D画像診断の肝胆膵手術への応用	¥2,640
Vol. 54#9 (1999) 在宅栄養療法の標準管理	¥2,640
Vol. 54#10 (1999) 消化管EMRの現状と問題点	¥2,640
Vol. 54#11 (1999) 増刊号　薬物療法マニュアル	¥8,580
Vol. 54#12 (1999) 胃・十二指腸の非腫瘍性疾患-外科医のため	¥2,640
Vol. 54#13 (1999) 大腸の非腫瘍性疾患-外科医のための診療..	¥2,640
Vol. 55#1 (2000) 肝臓移植を理解する	¥2,640
Vol. 55#2 (2000) イレウス診療のupdate	¥2,640
Vol. 55#3 (2000) Sentinel Node Navigation Surgery	¥2,640
Vol. 55#4 (2000) 各種ステント治療のノウハウ	¥2,640
Vol. 55#5 (2000) 輸液：その組成・アクセス・管理	¥2,640
Vol. 55#6 (2000) 胃全摘後の消化管再建-術式のベストチョイス	¥2,640
Vol. 55#7 (2000) 抗菌薬ベストチョイス-その理論と実際	¥2,640
Vol. 55#8 (2000) 肛門疾患診療の実際とコツ	¥2,640
Vol. 55#9 (2000) 外科医に求められる緩和医療プラクティス	¥2,640
Vol. 55#10 (2000) ベッドサイド基本手技とコツ	¥2,640
Vol. 55#11 (2000) 増刊号　癌治療のプロトコール-当施設は	¥8,580
Vol. 55#12 (2000) 胃癌術後のフォローアップ:再発と二次癌対策	¥2,640
Vol. 55#13 (2000) 超音波ガイド下の穿刺手技	¥2,640
Vol. 56#1 (2001) 21世紀の外科-Tissue Engineering	¥2,640
Vol. 56#2 (2001) 重症急性膵炎の診断Now	¥2,640
Vol. 56#3 (2001) 総胆管結石治療の最前線-手技と周辺機器の	¥2,640
Vol. 56#4 (2001) 外科におけるクリニカルパスの展開	¥2,640
Vol. 56#5 (2001) 家族性腫瘍-診断と治療の現況	¥2,640
Vol. 56#6 (2001) 大腸癌の術後再発をめぐって	¥2,640
Vol. 56#7 (2001) 肝良性疾患-鑑別診断と治療方法選択のup..	¥2,640
Vol. 56#8 (2001) 閉塞性黄疸の診療手順	¥2,640
Vol. 56#9 (2001) 外科と消毒と感染予防	¥2,640
Vol. 56#10 (2001) 甲状腺外科:最新の臨床	¥2,640
Vol. 56#11 (2001) 増刊号 画像で決める癌手術の切除範囲	¥8,580
Vol. 56#12 (2001) 新しい医療材料と器具	¥2,640
Vol. 56#13 (2001) IVRの現状と問題点	¥2,640
Vol. 57#1 (2002) 最先端の外科医療	¥2,640
Vol. 57#2 (2002) 食道癌治療におけるcontroversy	¥2,640
Vol. 57#3 (2002) 乳癌：初回治療の標準化	¥2,640
Vol. 57#4 (2002) 消化器外科における機能検査	¥2,640
Vol. 57#5 (2002) 肝切除術のコツ	¥2,640
Vol. 57#6 (2002) エビデンスから見直す癌術後患者のフォローアップ	¥2,640
Vol. 57#7 (2002) 外科診療とステロイド療法	¥2,640
Vol. 57#8 (2002) ヘルニアー最新の治療	¥2,640
Vol. 57#9 (2002) パソコン活用術とその周辺	¥2,640
Vol. 57#10 (2002) 内視鏡下手術の現状と問題点	¥2,640

	Vol. 57#11 (2002) 増刊号 癌診療に役立つ最新データ	¥8,580
	Vol. 57#12 (2002) 肛門疾患手術の up to date	¥2,640
	Vol. 57#13 (2002) 胃癌治療ガイドラインの検証	¥2,640
	Vol. 58#1 (2003) 外科における重症感染症とその対策	¥2,640
	Vol. 58#2 (2003) 胆嚢癌 NOW	¥2,640
	Vol. 58#3 (2003) Q&A器械吻合・縫合のコツ	¥2,640
	Vol. 58#4 (2003) 腹腔鏡下大腸切除術のコツ	¥2,640
	Vol. 58#5 (2003) 栄養療法と formula	¥2,640
	Vol. 58#6 (2003) 癌肝転移の治療戦略	¥2,640
	Vol. 58#7 (2003) 癌化学療法レジメンの選択とその根拠:乳癌・肺癌・甲	¥2,640
	Vol. 58#8 (2003) 癌化学療法レジメンの選択とその根拠：消化器癌	¥2,640
	Vol. 58#9 (2003) 癌と紛らわしい各領域の諸病変	¥2,640
	Vol. 58#10 (2003) 神経温存胃切除術	¥2,640
	Vol. 58#11 (2003) 増刊号クリニカルパスによる外科医療の進歩	¥8,800
	Vol. 58#12 (2003) 浸潤性膵管癌の診療をどうするか	¥2,640
	Vol. 58#13 (2003) 内視鏡下手術で発展した手技・器具の外科手術への	¥2,640
	Vol. 59#1 (2004) 癌 en bloc 切除と non－touch isolation technique の考	¥2,640
	Vol. 59#2 (2004) GIST（gastrointestinal stromal tumor）診療の最前線	¥2,640
	Vol. 59#3 (2004) 肝細胞癌治療の最前線	¥2,640
	Vol. 59#4 (2004) 甲状腺癌治療の最適化を目指して	¥2,640
	Vol. 59#5 (2004) Sentinel node navigation surgery 新たなる展開	¥2,640
	Vol. 59#6 (2004) 内視鏡外科手術を安全に行うために	¥2,640
	Vol. 59#7 (2004) 研修医のための外科基本手技とそのコツ	¥2,640
	Vol. 59#8 (2004) 肛門疾患診断・治療の実際	¥2,640
	Vol. 59#9 (2004) 乳癌初回の診療：ガイドラインと主治医の裁量	¥2,640
	Vol. 59#10 (2004) 周術期の輸液と感染対策	¥2,640
	Vol. 59#11 (2004) 増刊号 小外科・外来処置マニュアル	¥8,800
	Vol. 59#12 (2004) 術中の出血コントロールと止血のノウハウ	¥2,640
	Vol. 59#13 (2004) 直腸癌に対する手術のコツ	¥2,640
	Vol. 60#1 (2005) 手術のグッドタイミング	¥2,750
	Vol. 60#2 (2005) 再発食道癌を考える	¥2,750
品切	Vol. 60#3 (2005) 急性肺塞栓症の最新診療	¥2,750
	Vol. 60#4 (2005) Surgical Site Infection（SSI）の現状と対策	¥2,750
	Vol. 60#5 (2005) 外科栄養療法の新たな潮流	¥2,750
	Vol. 60#6 (2005) 化学放射線療法―現状とイメージングによる効果判定	¥2,750
	Vol. 60#7 (2005) 炎症性腸疾患―治療における最近の進歩	¥2,750
品切	Vol. 60#8 (2005) 肝切除のコツを知る―出血を少なくするために	¥2,750
	Vol. 60#9 (2005) 癌告知とインフォームド・コンセント	¥2,750
品切	Vol. 60#10 (2005) 自動吻合器・縫合器による消化管再建の標準手技と	¥2,750
	Vol. 60#11 (2005) 増刊号 癌治療のプロトコール2005-2006	¥8,800
	Vol. 60#12 (2005) 生体肝移植―最新の話題	¥2,750
	Vol. 60#13 (2005) 消化管機能温存を考えた外科手術最前線	¥2,750
	Vol. 61#1 (2006) GIST-診断と治療の最前線	¥2,750
	Vol. 61#2 (2006) 外科医に求められる緩和医療の知識	¥2,750
	Vol. 61#3 (2006) 乳腺疾患を取り巻くガイドラインと最新の知見-最適な	¥2,750
品切	Vol. 61#4 (2006) 最新の手術器械-使いこなすコツを学ぶ	¥2,750
	Vol. 61#5 (2006) 手術のための臨床局所解剖	¥2,750
	Vol. 61#6 (2006) 癌の播種性病変の病態と診断・治療	¥2,750
	Vol. 61#7 (2006) 消化器外科における非観血的ドレナージ	¥2,750
	Vol. 61#8 (2006) 急性腹症における低侵襲な治療法選択	¥2,750
	Vol. 61#9 (2006) 消化器外科医に必要な低侵襲治療の知識	¥2,750
	Vol. 61#10 (2006) 今どうして NST なのか？	¥2,750
	Vol. 61#11 (2006) 増刊号 イラストレイテッド外科標準術式	¥8,800
	Vol. 61#12 (2006) 生活習慣病および代謝性疾患と外科	¥2,750
品切	Vol. 61#13 (2006) 消化器外科術後合併症の治療戦略-私たちはこのよう	¥2,750
	Vol. 62#1 (2007) 良性腸疾患における腹腔鏡下手術の適応と限界	¥2,750
	Vol. 62#2 (2007) 外科領域におけるインフォームド・コンセントと医療安全	¥2,750

	Vol. 62#3 (2007) 術後呼吸器合併症 予防と対策の最新知識	¥2,750
	Vol. 62#4 (2007) 癌診療ガイドラインの功罪	¥2,750
	Vol. 62#5 (2007) 外来がん化学療法と外科	¥2,750
	Vol. 62#6 (2007) 肝胆膵術後合併症―その予防のために	¥2,750
	Vol. 62#7 (2007) 乳癌の治療戦略-エビデンスとガイドラインの使い方	¥2,750
	Vol. 62#8 (2007) Surgical Site Infection(SSI)対策	¥2,750
	Vol. 62#9 (2007) 多発肝転移をめぐって	¥2,750
	Vol. 62#10 (2007) 肛門疾患診断・治療のコツと実際	¥2,750
	Vol. 62#11 (2007) 増刊号 癌診療に役立つ最新データ2007-2008	¥9,020
	Vol. 62#12 (2007) Up-to-Date 外科医のための創傷治癒	¥2,750
	Vol. 62#13 (2007) 膵臓外科の新たな展開	¥2,750
	Vol. 63#1 (2008) 機能温存手術のメリット・デメリット	¥2,750
	Vol. 63#2 (2008) 安全な消化管器械吻合をめざして	¥2,750
	Vol. 63#3 (2008) 術前・術中のリンパ節転移診断の方法とその有用性	¥2,750
	Vol. 63#4 (2008) 消化器外科と漢方	¥2,750
	Vol. 63#5 (2008) 胆道癌外科診療を支えるエキスパートテクニック	¥2,750
	Vol. 63#6 (2008) 肝・胆・膵領域における腹腔鏡下手術の最前線	¥2,750
	Vol. 63#7 (2008) 実践に必要な術後創の管理	¥2,750
	Vol. 63#8 (2008) St.Gallen 2007に基づいた乳癌テーラーメイド補助療法	¥2,750
	Vol. 63#9 (2008) がんの切除範囲を考える-診断法とその妥当性	¥2,750
	Vol. 63#10 (2008) 鼠径ヘルニアの治療NOW-乳幼児から成人まで	¥2,750
	Vol. 63#11 (2008) 増刊号 肛門疾患診療のすべて	¥9,020
	Vol. 63#12 (2008) 十二指腸病変に対する外科的アプローチ	¥2,750
	Vol. 63#13 (2008) 外科における adjuvant/neoadjuvant chemotherapy up	¥2,750
	Vol. 64#1 (2009) 外科診療上知っておきたい新たな予後予測因子・スコ	¥2,860
	Vol. 64#2 (2009) 最近のGIST診療-診療ガイドラインの理解と実践	¥2,860
	Vol. 64#3 (2009) 直腸癌治療-最近の進歩と動向	¥2,860
	Vol. 64#4 (2009) 脾臓をめぐる最近のトピックス	¥2,860
	Vol. 64#5 (2009) 炎症性腸疾患患者外科治療のcontroversy	¥2,860
	Vol. 64#6 (2009) 消化器癌外科治療のrandomized controlled trial	¥2,860
	Vol. 64#7 (2009) 肝胆膵癌に対する補助療法―治療成績の向上を目指	¥2,860
	Vol. 64#8 (2009) 胆嚢癌根治手術をめぐる諸問題	¥2,860
	Vol. 64#9 (2009) 外科医に求められるチーム医療Practice	¥2,860
	Vol. 64#10 (2009) 消化器外科における経腸栄養の意義と役割	¥2,860
品切	Vol. 64#11 (2009) 増刊号 できる！縫合・吻合	¥9,020
	Vol. 64#12 (2009) 転移性腫瘍に対する治療戦略	¥2,860
	Vol. 64#13 (2009) 内視鏡下手術―もう一歩のステップアップのために	¥2,860
	Vol. 65#1 (2010) がん診療ガイドライン―臨床現場における有効活用法	¥2,860
	Vol. 65#2 (2010) 外科医に必要なPET検査の知識－その有用性と問題	¥2,860
	Vol. 65#3 (2010) エキスパートが伝える 消化器癌手術の流れと手術助手	¥2,860
	Vol. 65#4 (2010) 消化器癌neoadjuvant chemotherapyの新展開	¥2,860
	Vol. 65#5 (2010) 消化器外科手術における新しい潮流	¥2,860
	Vol. 65#6 (2010) 癌外科治療の日本と海外との相違点	¥2,860
品切	Vol. 65#7 (2010) 腹壁瘢痕ヘルニア治療up date	¥2,860
	Vol. 65#8 (2010) ESD時代の外科治療	¥2,860
	Vol. 65#9 (2010) 臓器別消化器癌終末期の特徴とターミナルケア	¥2,860
品切	Vol. 65#10 (2010) 乳糜胸水・腹水を考える―その原因と対策	¥2,860
	Vol. 65#11 (2010) 増刊号 外科医のための大腸癌の診断と治療	¥9,020
	Vol. 65#12 (2010) 新しいエネルギーデバイスの構造と使い方のコツ	¥2,860
	Vol. 65#13 (2010)「出血量ゼロ」をめざした消化管癌の内視鏡下手術	¥2,860
	Vol. 66#1 (2011) 医療経済からみた大腸癌化学療法	¥2,860
	Vol. 66#2 (2011) T4の癌―臓器別特性と治療戦略	¥2,860
	Vol. 66#3 (2011) 知っておくべき外科手術の神経系合併症	¥2,860
	Vol. 66#4 (2011) 悪性腫瘍の術中病理診断を効果的に活用する―どこ	¥2,860
	Vol. 66#5 (2011) いま必要な外科治療に関する臨床試験の最新知識	¥2,860
	Vol. 66#6 (2011) 栄養療法―最新の知見と新たな展開	¥2,860
	Vol. 66#7 (2011) 術前薬物療法は乳癌手術を縮小させるか	¥2,860

	Vol. 66#8 (2011) 画像診断の進歩をいかに手術に役立てるか	¥2,860
	Vol. 66#9 (2011) 下大静脈にかかわる病態を見直す	¥2,860
	Vol. 66#10 (2011) 進歩する癌転移診断 外科臨床はどう変わるのか	¥2,860
	Vol. 66#11 (2011) 増刊号 最新癌薬物療法	¥9,020
	Vol. 66#12 (2011) 目でわかる肛門疾患治療	¥2,860
	Vol. 66#13 (2011) 外科医のための消化器内視鏡 Up-to-Date	¥2,860
	Vol. 67#1 (2012)「切除困難例」への化学療法後の手術	¥2,860
	Vol. 67#2 (2012) 肝胆膵外科手術における術中トラブル	¥2,860
品切	Vol. 67#3 (2012) 消化器外科のドレーン管理を再考する	¥2,860
	Vol. 67#4 (2012) 内視鏡外科手術の腕をみがく	¥2,860
	Vol. 67#5 (2012) 次代のMinimally Invasive Surgery!	¥2,860
	Vol. 67#6 (2012) よくわかるNCD	¥2,860
	Vol. 67#7 (2012) 分子標的薬の有害事象とその対策	¥2,860
	Vol. 67#8 (2012) 知っておきたい放射線・粒子線治療	¥2,860
	Vol. 67#9 (2012) 高齢者外科手術における周術期管理	¥2,860
	Vol. 67#10 (2012) 炎症性腸疾患のすべて―新しい治療戦略	¥2,860
	Vol. 67#11 (2012) 増刊号 外科医のための癌診療データ	¥9,020
	Vol. 67#12 (2012) 食道癌・胃癌切除後の再建法を見直す 達人の選択	¥2,860
	Vol. 67#13 (2012) 本当は怖い臓器解剖変異 外科医が必ず知っておく	¥2,860
	Vol. 68#1 (2013) 進歩する消化器外科手術―術式の温故知新	¥2,860
	Vol. 68#2 (2013) 術後の血管系合併症―その診断と対策	¥2,860
	Vol. 68#3 (2013) CRT時代の直腸癌手術 ―最善の戦略は何か	¥2,860
	Vol. 68#4 (2013)「食道胃接合部癌」に迫る!	¥2,860
	Vol. 68#5 (2013) 一般外科医が知っておくべき 小児患者への対応	¥2,860
	Vol. 68#6 (2013) 胃癌腹膜転移治療の最前線	¥2,860
	Vol. 68#7 (2013) NOTSS－外科医に問われる手技以外のスキル	¥2,860
	Vol. 68#8 (2013) 外科医のための癌免疫療法－基礎と臨床	¥2,860
品切	Vol. 68#9 (2013) 大腸癌腹膜播種を極める－最近の進歩と今後の展望	¥2,860
	Vol. 68#10 (2013) 次代の外科専門医をめざしたトレーニングシステム	¥2,860
	Vol. 68#11 (2013) 増刊号 術前画像診断のポイントと術中の解剖認識	¥9,020
	Vol. 68#12 (2013) 漢方を上手に使う－エビデンスに基づいた外科診療	¥2,860
	Vol. 68#13 (2013) 切除可能なStage IV胃癌に対する外科治療	¥2,860
	Vol. 69#1 (2014) 見直される膵癌診療の新展開	¥2,860
	Vol. 69#2 (2014) ディベート★消化器・一般外科手術-選ぶのはどっちだ	¥2,860
	Vol. 69#3 (2014) 究極の肛門温存術式ISR-長期成績からわかる有用性	¥2,860
	Vol. 69#4 (2014) サルベージとコンバージョン	¥2,860
	Vol. 69#5 (2014) 消化器外科での救急医療	¥2,860
	Vol. 69#6 (2014) 癌の補助療法アップデート	¥2,860
	Vol. 69#7 (2014) 術後合併症への対処法Surgical vs Non-Surgical-いつ	¥2,860
	Vol. 69#8 (2014) 肝胆膵癌の血管浸潤をどう治療するか	¥2,860
	Vol. 69#9 (2014) 外科医が知っておくべき小腸疾患	¥2,860
	Vol. 69#10 (2014) 直腸癌局所再発に対する治療戦略	¥2,860
	Vol. 69#11 (2014) 増刊号 ERAS時代の周術期管理マニュアル	¥9,020
	Vol. 69#12 (2014) 外科切除適応の境界領域-Borderline resectable canc	¥2,860
	Vol. 69#13 (2014) 早期胃癌の外科治療を極める?「EMR適応外」への安	¥2,860
	Vol. 70#1 (2015) 胆道癌外科切除-再発防止のストラテジー	¥2,970
	Vol. 70#2 (2015) 肛門良性疾患を極める－目で見る 多彩な病態へのア	¥2,970
	Vol. 70#3 (2015) 生検材料を手術に活かす	¥2,970
	Vol. 70#4 (2015) 膵・消化管神経内分泌腫瘍（GEP-NET）のアップデート	¥2,970
	Vol. 70#5 (2015) 外科医が知っておくべき がん薬物療法の副作用とそ	¥2,970
	Vol. 70#6 (2015) 胃切除後再建術式の工夫とその評価	¥2,970
	Vol. 70#7 (2015) 臨床外科 Vol.70 No.7 (2015) Neoadjuvant therapyの最	¥2,970
	Vol. 70#8 (2015) 大腸癌腹腔鏡手術の新展開-Reduced port surgeryか	¥2,970
	Vol. 70#9 (2015) 再発に挑む！ー外科治療の役割	¥2,970
	Vol. 70#10 (2015) エキスパートの消化管吻合を学ぶ	¥2,970
	Vol. 70#11 (2015) 増刊号 消化器・一般外科手術のPearls＆Tipsーワン	¥9,020
	Vol. 70#12 (2015) 同時性・異時性の重複がんを見落とさないーがん診療	¥2,970

	Vol. 70#13 (2015) 外科医に求められる積極的緩和医療ー延命と症状緩	¥2,970
	Vol. 71#1 (2016) 十二指腸乳頭部病変に対する新たな治療戦略ー新規	¥2,970
	Vol. 71#2 (2016) イラストでみる大腸癌腹腔鏡手術のポイント	¥2,970
	Vol. 71#3 (2016) 術後障害のリアルー外来フォローの実力が臓器損失を	¥2,970
	Vol. 71#4 (2016) 大腸癌肝転移ー最新の治療ストラテジー	¥2,970
	Vol. 71#5 (2016) 外科臨床研究のノウハウと重要研究の総まとめ	¥2,970
	Vol. 71#6 (2016) 必携 腹腔鏡下胃癌手術の完全マスターービギナーから	¥2,970
	Vol. 71#7 (2016) 胆管系合併症のすべてーその予防とリカバリー	¥2,970
	Vol. 71#8 (2016) 外科医が攻める高度進行大腸癌	¥2,970
	Vol. 71#9 (2016) 食道癌手術のコツと要点	¥2,970
品切	Vol. 71#10 (2016) エキスパートが教える 鼠径部ヘルニアのすべて	¥2,970
	Vol. 71#11 (2016) 増刊号 消化器・一般外科医のためのー救急・集中治	¥9,020
	Vol. 71#12 (2016) 転移性肝腫瘍のいまーなぜ・どこが原発臓器ごとに違	¥2,970
	Vol. 71#13 (2016) 名手からの提言ー手術を極めるために	¥2,970
	Vol. 72#10 (2017) Conversion Surgeryー進行消化器がんのトータル治療	¥2,970
	Vol. 72#1 (2017) 最新の内視鏡外科手術の適応と注意点	¥2,970
	Vol. 72#2 (2017) ビッグデータにもとづいたー術前リスクの評価と対処法	¥2,970
	Vol. 72#3 (2017) 目で見る腹腔鏡下肝切除ーエキスパートに学ぶ！	¥2,970
	Vol. 72#4 (2017) 消化管吻合アラカルトーあなたの選択は？	¥2,970
	Vol. 72#5 (2017) 百花繚乱！ エネルギーデバイスを使いこなす	¥2,970
	Vol. 72#6 (2017) 術後重大合併症ーこれだけは知っておきたい緊急処置	¥2,970
	Vol. 72#7 (2017) イラストでわかる！ー消化器手術における最適な剝離層	¥2,970
	Vol. 72#8 (2017) がん治療医のための漢方ハンドブック	¥2,970
	Vol. 72#9 (2017) 知っておきたい 乳がん診療のエッセンス	¥2,970
	Vol. 72#10 (2017) Conversion Surgeryー進行消化器がんのトータル治療	¥2,970
	Vol. 72#11 (2017) 増刊号 手術ステップごとに理解する 標準術式アトラス	¥9,020
	Vol. 72#12 (2017) 徹底解説！ここが変わった膵癌診療ー新規約・ガイド	¥2,970
	Vol. 72#13 (2012) 最新の胆道癌診療トピックスー新たな治療戦略の可	¥2,970
	Vol. 73#1 (2018) 閉塞性大腸癌ーベストプラクティスを探す	¥2,970
	Vol. 73#2 (2018) 外科医が知っておくべきー最新Endoscopic Interventio	¥2,970
品切	Vol. 73#3 (2018) 徹底解説！膵頭十二指腸切除の手術手技	¥2,970
	Vol. 73#4 (2018) 機能温存と機能再建をめざした消化器外科手術ー術	¥2,970
	Vol. 73#5 (2018) 縦隔を覗き、さらにくり抜くーこれからの食道・胃外科手	¥2,970
	Vol. 73#6 (2018) こうやって教える・学ぶ 高難度消化器外科手術	¥2,970
	Vol. 73#7 (2018) 最新版 “腸閉塞”を極める！	¥2,970
	Vol. 73#8 (2018) 徹底解説！ 膵尾側切除を極める	¥2,970
	Vol. 73#9 (2018) 癌手術エキスパートになるための道	¥2,970
	Vol. 73#10 (2018) 胃癌治療ガイドライン最新版を読み解く	¥2,970
品切	Vol. 73#11 (2018) 増刊号 あたらしい外科局所解剖全図 ランドマーク	¥9,020
	Vol. 73#12 (2018) 炎症性腸疾患アップデート	¥2,970
	Vol. 73#13 (2018) ここがポイント！サルコペニアの病態と対処法	¥2,970
	Vol. 74#1 (2019) 当直医必携！「右下腹部痛」を極める	¥2,970
	Vol. 74#2 (2019) 急性胆嚢炎診療をマスターしよう	¥2,970
	Vol. 74#3 (2019) これからはじめるロボット手術	¥2,970
	Vol. 74#4 (2019) こんなときどうする！？ 消化器外科の術中トラブル対処	¥2,970
	Vol. 74#5 (2019) JSES技術認定取得をめざせ！	¥2,970
	Vol. 74#6 (2019) 肛門を極める	¥2,970
	Vol. 74#7 (2019) 徹底解説！ 噴門側胃切除術	¥2,970
	Vol. 74#8 (2019) 大腸癌取扱い規約・治療ガイドライン 改訂のポイント	¥2,970
	Vol. 74#9 (2019) 膵・消化管神経内分泌腫瘍 診断・治療の基本と最新	¥2,970
	Vol. 74#10 (2019) 腹腔鏡下胃手術のすべて	¥2,970
	Vol. 74#11 (2019) 増刊号 すぐに使える周術期管理マニュアル	¥9,020
	Vol. 74#12 (2019) 特殊な鼠径部ヘルニアに対する治療戦略	¥2,970
	Vol. 74#13 (2019) 見せます！ できる外科医のオペ記事	¥2,970
	Vol. 75#1 (2020年1月) ″超″高難度手術！ 他臓器合併切除術を極める	¥2,970
	Vol. 75#2 (2020年2月) 「縫合不全!!」を防ぐ	¥2,970
	Vol. 75#3 (2020年3月) 一般・消化器外科医のための できる！ 漢方	¥2,970

	Vol. 75#4 (2020年4月) 実践！ 手術が上達するトレーニング法		¥2,970
	Vol. 75#5 (2020年5月) taTMEのすべて		¥2,970
	Vol. 75#6 (2020年6月) 膵癌診療ガイドライン改訂を外科医はこう読み解		¥2,970
	Vol. 75#7 (2020年7月) 若手外科医必携！緊急手術の適応と術式		¥2,970
	Vol. 75#8 (2020年8月) 遺伝性腫瘍とゲノム医療を学ぶ		¥2,970
	Vol. 75#9 (2020年9月) 変貌する肝移植　適応拡大・ドナー選択・治療戦		¥2,970
	Vol. 75#10 (2020年10月) ガイドラインには書いていない　胃癌治療のC		¥2,970
	Vol. 75#12 (2020年11月) 消化器外科手術 助手の極意－開腹からロボッ		¥2,970
	Vol. 75#13 (2020年12月) 膵頭十二指腸切除の完全ガイド		¥2,970
	Vol. 76#1 (2021年1月) 徹底解説　術後後遺症をいかに防ぐか		¥2,970
	Vol. 76#2 (2021年2月) 外科医のための 悪性腫瘍補助療法のすべて		¥2,970
	Vol. 76#3 (2021年3月) ロボット膵切除の導入ガイド　先行施設にノウハウ		¥2,970
	Vol. 76#4 (2021年4月) 肥満外科 A to Z		¥2,970
	Vol. 76#5 (2021年5月) 側方リンパ節郭清のすべて－開腹からロボット手		¥2,970
	Vol. 76#6 (2021年6月) 神経・神経叢を極める さらに精緻な消化器外科		¥2,970
	Vol. 76#7 (2021年7月) 若手外科医のための食道手術ハンドブック　良性		¥2,970
	Vol. 76#8 (2021年8月) 横行結腸癌の腹腔鏡下D3郭清手術　私のやり方		¥2,970
	Vol. 76#9 (2021年9月) 血管外科的手技を要する肝胆膵・移植手術		¥2,970
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
813	**臨床発達心理実践研究（日本臨床発達心理士会）**		
	Vol. 7-8 (2012-2013)	各巻	¥2,750
	Vol. 9-12 (2014-2016) 各1-2号	各号	¥2,750

814 臨床皮膚科(医学書院)

Vol. 21-22 (1967-1968) 各1-13号	各号	¥2,970
Vol. 23-24 (1969-1970) 各1-12号	各号	¥2,970
Vol. 25#1-13 (1971)	各号	¥2,970
Vol. 26#1-12 (1972)	各号	¥2,970
Vol. 27＃1-4,6-12 (1973)	各号	¥2,970
Vol. 28-40 (1974-1986) 各1-12号	各号	¥2,970
Vol. 41#1-13 (1987)	各号	¥2,970
Vol. 42#1-12 (1988)	各号	¥2,970
Vol. 43#1-13 (1989)	各号	¥2,970
Vol. 44#1-5,7-13 (1990)	各号	¥2,970
Vol. 44#6 (1990) 増刊号 最近のトピックス1990		¥4,950
Vol. 45#1-4,6-13 (1991)	各号	¥2,970
Vol. 45#5 (1991) 増刊号 最近のトピックス1991		¥5,060
Vol. 46#1-4,6-13 (1992)	各号	¥2,970
Vol. 46#5 (1992) 増刊号 最近のトピックス1992		¥5,060
Vol. 47#1-4,6-13 (1993)	各号	¥2,970
Vol. 47#5 (1993) 増刊号 最近のトピックス1993		¥5,280
Vol. 48#1-4,6-13 (1994)	各号	¥2,970
Vol. 48#5 (1994) 増刊号 最近のトピックス1994		¥5,280
Vol. 49#1-4,6-13 (1995)	各号	¥2,970
Vol. 49#5 (1995) 増刊号 最近のトピックス1995		¥5,280
Vol. 50#1-4,6-12 (1996)	各号	¥2,970
Vol. 50#5 (1996) 増刊号 最近のトピックス1996		¥5,500
Vol. 51#1-4,6-13 (1997)	各号	¥2,750
Vol. 51#5 (1997) 増刊号 最近のトピックス1997		¥5,940
Vol. 52#1-4,6-13 (1998)	各号	¥2,750
Vol. 52#5 (1998) 増刊号 最近のトピックス1998		¥5,940
Vol. 53#1-4,6-13 (1999)	各号	¥2,860
Vol. 53#5 (1999) 増刊号 最近のトピックス1999		¥6,600
Vol. 54#1-4,6-13 (2000)	各号	¥2,860
Vol. 54#5 (2000) 増刊号 最近のトピックス2000		¥7,150
Vol. 55#1-4,6-13 (2001)	各号	¥2,860
Vol. 55#5 (2001) 増刊号 最近のトピックス2001		¥7,370
Vol. 56#1-4,6-13 (2002)	各号	¥2,860
Vol. 56#5 (2002) 増刊号 最近のトピックス2002		¥7,370
Vol. 57#1-4,6-13 (2003)	各号	¥2,970
Vol. 57#5 (2003) 増刊号 最近のトピックス2003		¥7,370
Vol. 58#1-4,6-13 (2004)	各号	¥2,970
Vol. 58#5 (2004) 増刊号 最近のトピックス2004		¥7,370
Vol. 59#1-4,6-13 (2005)	各号	¥2,970
Vol. 59#5 (2005) 増刊号 最近のトピックス2005		¥7,370
Vol. 60#1-4,6-13 (2006)	各号	¥2,970
Vol. 60#5 (2006) 増刊号 最近のトピックス2006		¥7,370
Vol. 61#1-4,6-13 (2007)	各号	¥2,970
Vol. 61#5 (2007) 増刊号 最近のトピックス2007		¥7,480
Vol. 62#1-4,6-13 (2008)	各号	¥2,970
Vol. 62#5 (2008) 増刊号 最近のトピックス2008		¥7,480
Vol. 63#1,2,4,6-13 (2009)	各号	¥2,970
Vol. 63#5 (2009) 増刊号 最近のトピックス2009		¥7,480
Vol. 64#1-4,6-13 (2010)	各号	¥2,970
Vol. 64#5 (2010) 増刊号 最近のトピックス2010		¥7,480
Vol. 65#1-4,6-13 (2011)	各号	¥2,970
Vol. 65#5 (2011) 増刊号 最近のトピックス2011		¥7,480

臨床皮膚科（医学書院）		税込価格
Vol. 66#1-4,6-13 (2012)	各号	¥3,080
Vol. 66#5 (2012) 増刊号 最近のトピックス2012		¥7,480
Vol. 67#1-4,6-13 (2013)	各号	¥3,080
Vol. 67#5 (2013) 増刊号 最近のトピックス2013		¥7,480
Vol. 68#1-4,6-13 (2014)	各号	¥3,080
Vol. 68#5 (2014) 増刊号 最近のトピックス2014		¥7,480
Vol. 69#1-4,6-13 (2015)	各号	¥3,080
Vol. 69#5 (2015) 増刊号 最近のトピックス2015		¥7,480
Vol. 70#1-4,6-13 (2016)	各号	¥3,080
Vol. 70#5 (2016) 増刊号 最近のトピックス2016		¥7,480
Vol. 71#1-4,6-13 (2017)	各号	¥3,080
Vol. 71#5 (2017) 増刊号 最近のトピックス2017 Clinical Dermatology 201		¥7,480
Vol. 72#1-4,6-13 (2018)	各号	¥3,080
Vol. 72#5 (2018) 増刊号 最近のトピックス2018		¥7,480
Vol. 73#1-4,6-13 (2019)	各号	¥3,080
Vol. 73#5 (2019) 増刊号 最近のトピックス2019 Clinical Dermatology 201		¥7,480
Vol. 74#1-4,6-13 (2020)	各号	¥3,080
Vol. 74#5 (2020年4月) 増刊号 最近のトピックス2020 Clinical Dermatolog		¥7,480
Vol. 75#1-4,6-9 (2021)	各号	¥3,080

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

815 臨床泌尿器科（医学書院）

Vol. 21#2-12 (1967)	各号	¥2,970
Vol. 22-26 (1968-1972) 各1-13号	各号	¥2,970
Vol. 27-43 (1973-1989) 各1-12号	各号	¥2,970
Vol. 44#1-12 (1990)	各号	¥2,970
Vol. 45#1-5,7-13 (1991)	各号	¥2,970
Vol. 45#6 (1991) 増刊号 外来泌尿器科マニュアル 私はこうしている		¥8,800
Vol. 46#1-10,12-13 (1992)	各号	¥2,970
Vol. 46#11 (1992) 増刊号 泌尿器科医のため 臨床超音波マニュアル		¥5,280
Vol. 47#1-3,5-13 (1993)	各号	¥2,970
Vol. 12#3 (2014)		¥3,080
Vol. 47#4 (1993) 増刊号 泌尿器科治療薬マニュアル		¥5,280
Vol. 48#1-3,5-13 (1994)	各号	¥2,970
Vol. 48#4 (1994) 増刊号 小児泌尿器科診療		¥8,800
Vol. 49#1-3,6-11,13 (1995)	各号	¥2,970
Vol. 49#4 (1995) 増刊号 泌尿器科病棟マニュアル		¥8,800
Vol. 49#5 (1995) 新しい抗生物質と感染症		¥2,970
Vol. 49#12 (1995) 泌尿器科領域での救急医療		¥2,970
Vol. 50#1-3,5,6,8-12 (1996)	各号	¥2,970
Vol. 50#4 (1996) 増刊号 前立腺肥大症		¥8,800
Vol. 50#7 (1996) 男性不妊症		¥2,970
Vol. 50#13 (1996) 排尿障害を診る-検査と治療		¥2,970
Vol. 51#1-4,6,8-13 (1997)	各号	¥2,640
Vol. 51#5 (1997) 増刊号 術者からみた局所解剖		¥8,800
Vol. 51#7 (1997) 泌尿器科領域の新しい画像診断		¥2,640
Vol. 52#1,2,5,6,8-13 (1998)	各号	¥2,750
Vol. 52#3 (1998) 泌尿器科領域..分子生物学..臨床応用:診断編		¥2,750
Vol. 52#4 (1998) 増刊号 膀胱全摘除術と尿路変向術のすべて		¥7,700
Vol. 52#7 (1998) 泌尿器科領域..分子生物学..臨床応用:治療編		¥2,750
Vol. 53#1-3,5-11,13 (1999)	各号	¥2,750
Vol. 53#4 (1999) 増刊号 泌尿器科画像診断		¥7,700
Vol. 53#12 (1999) 泌尿器科領域の救急疾患-診断・治療の..		¥2,750
Vol. 54#1-3,5,7-13 (2000)	各号	¥2,750
Vol. 54#4 (2000) 増刊号 泌尿器科外来診療-私はこうしている-		¥7,700
Vol. 54#6 (2000) 泌尿器切除標本の取り扱い方		¥5,500
Vol. 55#1-3,5-9,11-13 (2001)	各号	¥2,860
Vol. 55#4 (2001) 増刊号 泌尿器科手術における合併症管理のす		¥7,920
Vol. 55#10 (2001) 最新の手術機器を使いこなす		¥7,920
Vol. 56#1-3,5-13 (2002)	各号	¥2,860
Vol. 56#4 (2002) 増刊号 泌尿器科病棟管理マニュアル		¥7,920
Vol. 57#1-3,5-7,9-13 (2003)	各号	¥2,860
Vol. 57#4 (2003) 増刊号前立腺疾患のすべて		¥8,800
Vol. 57#8 (2003) 泌尿器悪性腫瘍の治療指針私たちはこうしている		¥2,860
Vol. 58#1 (2004) 泌尿器科領域の緊急手術と緊急処置		¥2,970
Vol. 58#2,3,5,6,8-11,13 (2004)	各号	¥2,970
Vol. 58#4 (2004) 増刊号 イラストレイテッド泌尿器科手術		¥8,800
Vol. 58#7 (2004) 前立腺生検の最前線		¥2,970
Vol. 58#12 (2004) 悪性腫瘍との鑑別が困難な各領域の諸病変		¥2,970
Vol. 59#1-3,5,6,8,10,11,13 (2005)	各号	¥2,970
Vol. 59#4 (2005) 増刊号ここが聞きたい泌尿器科外来における対処と処		¥8,800
Vol. 59#7 (2005) 手術によらない限局性前立腺癌の治療		¥2,970
Vol. 59#9 (2005) 泌尿器科体腔鏡下手術を安全に行うために		¥2,970
Vol. 59#12 (2005) 泌尿器切除標本の取り扱い方ー私たちはこうしている		¥2,970
Vol. 60#1-3,5-7,9,11,13 (2006)	各号	¥2,970
Vol. 60#4 (2006) 増刊号ここが聞きたい泌尿器科検査ベストプラクティス		¥8,800

Vol. 60#8 (2006) 泌尿器科臨床の難問を解く-EBMを考慮した解説		¥2,970
Vol. 60#10 (2006) Female urology		¥2,970
Vol. 60#12 (2006) ここが知りたい-癌薬物療法		¥2,970
Vol. 61#1 (2007) Aging male これからの展開		¥2,970
Vol. 61#2,3,6 (2007)	各号	¥2,970
Vol. 61#4 (2007) 増刊号 ここが聞きたい泌尿器科処置・手術とトラブル対		¥9,020
Vol. 61#5 (2007) 腎細胞癌診療の新しい展開		¥2,970
Vol. 61#7 (2007) これだけは知っておきたい―尿路結石症の再発予防		¥2,970
Vol. 61#8 (2007) 過活動膀胱のすべて		¥2,970
Vol. 61#9 (2007) 肥満と前立腺癌 腹腔鏡下手術時代における開放手術		¥2,970
Vol. 61#10 (2007) 性感染症の現状		¥2,970
Vol. 61#11 (2007) 尿管結石の積極的治療方針ほか		¥2,970
Vol. 61#12 (2007) マイクロ波手術器(マイクロターゼ)を用いた鏡視下腎		¥2,970
Vol. 61#13 (2007) 泌尿器科救急		¥2,970
Vol. 62#1,2,7,9,11,13 (2008)	各号	¥2,970
Vol. 62#3 (2008) 前立腺肥大症のいま 古くて新しい疾患		¥2,970
Vol. 62#4 (2008) 増刊号 泌尿器科外来ベストナビゲーション		¥9,020
Vol. 62#5 (2008) アカデミアにおける新規医療技術開発促進のためにほ		¥2,970
Vol. 62#6 (2008) 静脈内腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の手術治療と成績ほ		¥2,970
Vol. 62#8 (2008) 男性不妊症に対するマイクロサージェリー		¥2,970
Vol. 62#10 (2008) EBMに基づく小児泌尿器科診療		¥2,970
Vol. 62#12 (2008) 間質性膀胱炎を診る		¥2,970
Vol. 63#1,3 (2009)	各号	¥2,970
Vol. 63#2 (2009) 泌尿器科医のための内分泌学ことはじめ		¥2,970
Vol. 63#4 (2009) 増刊号 イラストレイテッド 膀胱全摘除術と尿路変向術		¥9,020
Vol. 63#5 (2009) 泌尿器科の癌薬物療法-ここが聞きたい		¥2,970
Vol. 63#6 (2009) 尿管形成術		¥2,970
Vol. 63#7 (2009) 泌尿器科医に必要な癌緩和ケア		¥2,970
Vol. 63#8 (2009) 異所開口尿管切除術		¥2,970
Vol. 63#9 (2009) 泌尿器科専門医のための臓器別画像診断のポイント		¥2,970
Vol. 63#10 (2009) 尿路系の手術		¥2,970
Vol. 63#11 (2009) 尿路変向術・膀胱再建術		¥2,970
Vol. 63#12 (2009) 泌尿器科領域の漢方療法―エキスパートに聞く		¥2,970
Vol. 63#13 (2009) 会陰式前立腺全摘除術アップデート		¥2,970
Vol. 64#1 (2010) 泌尿器腫瘍と機能温存手術		¥2,970
Vol. 64#2 (2010) 末梢血循環癌細胞（CTC）検出		¥2,970
Vol. 64#3 (2010) 泌尿器科領域における抗菌薬適正使用		¥2,970
Vol. 64#4 (2010) 増刊号 泌尿器科検査のここがポイント		¥9,020
Vol. 64#5 (2010) ここが聞きたい―尿路・性器感染症における抗菌薬の		¥2,970
Vol. 64#6 (2010) 泌尿器科領域におけるロボット手術		¥2,970
Vol. 64#7 (2010) 抗癌剤治療の副作用とそのコントロール		¥2,970
Vol. 64#8 (2010) 埋没陰茎・翼状陰茎に対する手術		¥2,970
Vol. 64#9 (2010) 筋層非浸潤性膀胱癌に関する最近の話題		¥2,970
Vol. 64#10 (2010) 前立腺肥大症の薬物治療		¥2,970
Vol. 64#11 (2010) 外来で行う泌尿器科手術-私のテクニック		¥2,970
Vol. 64#12 (2010) Focus PSA検診は有効か		¥2,970
Vol. 64#13 (2010)		¥2,970
Vol. 65#1 (2011) ワンランク上の泌尿器科エマージェンシー		¥2,970
Vol. 65#2 (2011) ロボット手術の現況と将来展望		¥2,970
Vol. 65#3 (2011) 泌尿器科における単孔式腹腔鏡下手術		¥2,970
Vol. 65#4 (2011) 増刊号 こんなときどうする!?―泌尿器科手術のトラブル		¥9,020
Vol. 65#5 (2011)		¥2,970
Vol. 65#6 (2011) ED診療のコツ―私はこうしている		¥2,970
Vol. 65#7 (2011)		¥2,970
Vol. 65#8 (2011)　特集　血液透析―カレントトピックス		¥2,970
Vol. 65#9 (2011)		¥2,970
Vol. 65#10 (2011) 頻尿・切迫性尿失禁		¥2,970

	Vol. 65#11 (2011)		¥2,970
	Vol. 65#12 (2011) 専門医のための性分化疾患講座		¥2,970
品切	Vol. 65#13 (2011)		¥2,970
	Vol. 66#1 (2012) 進行性腎癌に対する分子標的治療薬・薬剤選択ガイド		¥3,080
	Vol. 66#2 (2012)		¥3,080
	Vol. 66#3 (2012) 画像診断の進歩を腫瘍手術に役立てる！		¥3,080
	Vol. 66#4 (2012) 増刊号 泌尿器科ベッドサイドマニュアル		¥9,020
	Vol. 66#5 (2012)		¥3,080
	Vol. 66#6 (2012) Energy devicesの選択と使い方		¥3,080
	Vol. 66#7 (2012)		¥3,080
	Vol. 66#8 (2012) 薬剤投与と泌尿器科的副作用―泌尿器科医の必須知		¥3,080
	Vol. 66#9-10 (2012)	各号	¥3,080
品切	Vol. 66#11 (2012) 古くて新しい前立腺炎の臨床		¥3,080
	Vol. 66#12-13 (2012)	各号	¥3,080
	Vol. 67#1 (2013) 分子標的薬時代開幕5年目を迎えた進行腎癌の治療		¥3,080
	Vol. 67#2 (2013) Focus 泌尿器科の未来を拓くバイオ技術		¥3,080
	Vol. 67#3 (2013) 前立腺全摘除術後の合併症－予防と対処		¥3,080
	Vol. 67#4 (2013) 増刊号 泌尿器科診療　ベストNAVI		¥9,020
	Vol. 67#5 (2013) ロボット支援前立腺全摘除術		¥3,080
	Vol. 67#6 (2013)		¥3,080
	Vol. 67#7 (2013) 過活動膀胱と紛らわしい疾患・病態－鑑別診断のポイ		¥3,080
	Vol. 67#8 (2013)		¥3,080
	Vol. 67#9 (2013)		¥3,080
品切	Vol. 67#10 (2013) 泌尿器科救急疾患－あなたの対処は間違っていませ		¥3,080
	Vol. 67#11 (2013) 良性・悪性の鑑別に迷う泌尿器病変ラインアップ		¥3,080
	Vol. 67#12 (2013)		¥3,080
	Vol. 67#13 (2013) アンチエイジング医学と泌尿器科		¥3,080
	Vol. 68#1 (2014)		¥3,080
	Vol. 68#2 (2014) 男性性器疾患を診る－初期対応から専門的治療まで		¥3,080
	Vol. 68#3 (2014) 神経因性膀胱		¥3,080
	Vol. 68#4 (2014) 増刊号 前立腺癌の診療ナビゲーション わかりやすく丁		¥9,020
	Vol. 68#5 (2014)		¥3,080
	Vol. 68#6 (2014)　腎・尿管結石の治療－こんなときどう対処する？(1)		¥3,080
	Vol. 68#7 (2014)　腎・尿管結石の治療－こんなときどう対処する？(2)		¥3,080
	Vol. 68#8 (2014) 副腎腫瘍を再考する-診断と最新の低侵襲治療		¥3,080
	Vol. 68#9 (2014) 泌尿器科で起きる患者の急変－なにを考え，どのように		¥3,080
	Vol. 68#10 (2014)		¥3,080
	Vol. 68#11 (2014) 泌尿器科医のためのクリニカル・パール(1)		¥3,080
	Vol. 68#12 (2014) 泌尿器科医のためのクリニカル・パール(2)		¥3,080
	Vol. 68#13 (2014) 新時代を迎えたPET診断		¥3,080
品切	Vol. 69#1 (2015) LOH症候群診療-最近の進歩		¥3,080
	Vol. 69#2 (2015) 小児泌尿器科内視鏡手術“最前線”-適応とコツ		¥3,080
	Vol. 69#3 (2015) 女性下部尿路機能障害のベストマネジメント		¥3,080
品切	Vol. 69#4 (2015) 増刊号特集 泌尿器科外来パーフェクトガイド―誰にで		¥9,020
	Vol. 69#5 (2015) 前立腺癌の内分泌療法―気になる最新の動向		¥3,080
	Vol. 69#6 (2015) 夜間頻尿を診る-これを読めば解決！		¥3,080
	Vol. 69#7 (2015) Onco-Nephrology－がん治療の最新フロンティア		¥3,080
	Vol. 69#8 (2015) 抗菌薬の選択と上手な使い方！－私の処方箋		¥3,080
	Vol. 69#9 (2015) 誰も教えてくれなかった緩和医療－最新知識と実践		¥3,080
	Vol. 69#10 (2015) ロボット時代の泌尿器科手術①―前立腺癌に対する新		¥3,080
	Vol. 69#11 (2015) ロボット時代の泌尿器科手術②―新たな術式への挑戦		¥3,080
	Vol. 69#12 (2015) いまさら聞けない！泌尿器がん化学療法の理論と実		¥3,080
	Vol. 69#13 (2015) 知っておきたい腎移植の最新情報－基礎から臨床ま		¥3,080
	Vol. 70#1 (2016) 決定版! 過活動膀胱―All about OAB		¥3,080
	Vol. 70#2 (2016) ここが知りたい! 筋層非浸潤性膀胱癌―エキスパートが		¥3,080
品切	Vol. 70#3 (2016) ART時代の男性不妊診療―いま泌尿器科医に求めら		¥3,080
	Vol. 70#4 (2016) 増刊号 泌尿器科処方のすべて―すぐに使える実践ガ		¥9,020

	Vol. 70#5 (2016) これだけは伝えたい! 腎癌手術のコツ	¥3,080
	Vol. 70#6 (2016) 前立腺肥大症の薬物療法―使い分けのポイント	¥3,080
品切	Vol. 70#7 (2016) 進行期精巣腫瘍の診療―難治症例に挑む	¥3,080
	Vol. 70#8 (2016) もう慌てない!　重症尿路性器感染症のマネジメント	¥3,080
	Vol. 70#9 (2016) 泌尿器科医のための放射線治療学講座―基礎から徹	¥3,080
	Vol. 70#10 (2016) 最新泌尿器病理―世界の最先端を学ぶ	¥3,080
	Vol. 70#11 (2016) エキスパートが語る! 腹腔鏡下手術の落とし穴と対処	¥3,080
	Vol. 70#12 (2016) 90分で習得できる! 先天性水腎症と膀胱尿管逆流の	¥3,080
	Vol. 70#13 (2016) EDをあなどるなかれ―知っておきたい最近の話題	¥3,080
	Vol. 71#1 (2017) 免疫チェックポイント阻害薬って何?―基礎から理解す	¥3,080
品切	Vol. 71#2 (2017) 神経因性膀胱の完全制覇	¥3,080
	Vol. 71#3 (2017) 備えて安心! 泌尿器外傷の管理マニュアル	¥3,080
	Vol. 71#4 (2017) 増刊号 泌尿器科検査パーフェクトガイド	¥9,020
	Vol. 71#5 (2017)　エネルギーデバイスの極意―原理と特性を手術に活	¥3,080
	Vol. 71#6 (2017) 症状と向き合う漢方の処方―“二刀流”それとも“一刀流	¥3,080
	Vol. 71#7 (2017) 去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）―Key Questionsに答え	¥3,080
	Vol. 71#8 (2017) 前立腺肥大症に対する手術－古くて新しい泌尿器科	¥3,080
	Vol. 71#9 (2017) 尿路結石に対する外科的治療－Stone free 100％を目	¥3,080
	Vol. 71#10 (2017) 専門医として知っておきたい 性分化疾患の基礎知識	¥3,080
	Vol. 71#11 (2017) 透析療法のNew Concept－各種ガイドラインに基づく	¥3,080
	Vol. 71#12 (2017) 泌尿器科処置とトラブル対処法－日常臨床に潜むピ	¥3,080
	Vol. 71#13 (2017) 泌尿器癌局所療法－局所を制する者は全身を制す	¥3,080
	Vol. 72#1 (2018) 腎癌に対する薬物療法　最新エビデンスを実臨床に活	¥3,080
	Vol. 72#2 (2018) 深淵なる「夜間頻尿」の世界	¥3,080
	Vol. 72#3 (2018) この1冊で安心! 泌尿器科当直医マニュアル〈外来編〉	¥3,080
	Vol. 72#4 (2018) 増刊号 泌尿器内視鏡手術のすべて〈特別付録Web動	¥9,020
	Vol. 72#5 (2018) この1冊で安心! 泌尿器科当直医マニュアル〈入院編〉	¥3,080
	Vol. 72#6 (2018) 副腎疾患の基礎と臨床　最前線を知る	¥3,080
	Vol. 72#7 (2018) エキスパートが本音で語る! 膀胱癌診療の最前線	¥3,080
	Vol. 72#8 (2018) 必読! 尿失禁マネジメントの極意	¥3,080
	Vol. 72#9 (2018) 匠の伝承　手術を極めたいあなたへ	¥3,080
	Vol. 72#10 (2018) 停留精巣のすべて　小児から成人への架け橋	¥3,080
	Vol.. 72#11 (2018) 泌尿器科医のためのゲノム腫瘍学入門　時代に取り	¥3,080
	Vol. 72#12 (2018) 何が変わったのか？ 性感染症の動向	¥3,080
	Vol. 72#13 (2018) あなたは考えていますか？前立腺癌検診・生検・治療	¥3,080
	Vol. 73#1 (2019) 男性の百寿社会のために テストステロンの徹底理解!	¥3,080
	Vol. 73#2 (2019) もっと身近に!　Female Urologyを学ぶ	¥3,080
	Vol. 73#3 (2019) 基礎から学ぶ下部尿路機能障害－苦手意識を克服し	¥3,080
	Vol. 73#4 (2019) 増刊号　泌尿器科周術期パーフェクト管理	¥9,020
	Vol. 73#5 (2019) ロボット支援手術を極める－よりハイクラスな手技を求め	¥3,080
	Vol. 73#6 (2019) これだけは押さえておきたい! 泌尿器腫瘍に対する抗	¥3,080
	Vol. 73#7 (2019) メディカルスタッフとともに診る 高齢者の排尿マネジメン	¥3,080
	Vol. 73#8 (2019) ハイリスク前立腺癌を深掘りする－その変遷とM0 CRP	¥3,080
	Vol. 73#9 (2019) ここまで見える！泌尿器科における可視化の進歩	¥3,080
	Vol. 73#10 (2019) 腎移植臨床の進歩－集学的治療における泌尿器科	¥3,080
	Vol. 73#11 (2019) 希少癌に備える－いざという時のための基礎知識	¥3,080
	Vol. 73#12 (2019) Nicheな前立腺炎の全容に迫る!	¥3,080
	Vol. 73#13 (2019) リプロダクションの現在－いま精子力を考える	¥3,080
	Vol. 74#1 (2020年1月) 地域で診る・看取る緩和ケア－泌尿器科医として	¥3,080
	Vol. 74#2 (2020年2月) いま話題の低活動膀胱－これを読めば丸わかり	¥3,080
	Vol. 74#3 (2020年3月) 泌尿器科手術に潜むトラブル－エキスパートはこ	¥3,080
	Vol. 74#4 (2020年増刊号) 泌尿器科診療の最新スタンダード　平成の常	¥9,020
	Vol. 74#5 (2020年4月) ここが変わった! 膀胱癌診療－新ガイドラインを	¥3,080
	Vol. 74#6 (2020年5月) 高齢患者の泌尿器疾患を診る 転ばぬ先の薬と	¥3,080
	Vol. 74#7 (2020年6月) 小児泌尿器科オープンサージャリー －見て学ぶ	¥3,080
	Vol. 74#8 (2020年7月) これが最新版！　過活動膀胱のトリセツ	¥3,080
	Vol. 74#9 (2020年8月) 泌尿器腫瘍の機能温存手術－知っておくべき適	¥3,080

	Vol. 74#10 (2020年9月) 令和最新版! 泌尿器がん薬物療法－手元に置		¥3,080
	Vol. 74#11 (2020年10月) 泌尿器科医のためのクリニカル・パール －いま		¥3,080
	Vol. 74#12 (2020年11月) 泌尿器科医のためのクリニカル・パール －いま		¥3,080
	Vol. 74#13 (2020年12月) コロナ時代の泌尿器科領域における感染制御		¥3,080
	Vol. 75#1 (2021年1月) 朝まで待てない! 夜間頻尿完全マスター		¥3,080
	Vol. 75#2 (2021年2月) 複合免疫療法とは何か？ 腎細胞癌の最新治療		¥3,080
	Vol. 75#3 (2021年3月) 斜に構えて尿路結石を切る！－必ず遭遇するイ		¥3,080
	Vol. 75#5 (2021年4月) 前立腺癌のバイオロジーと最新の治療－いま起		¥3,080
	Vol. 75#6 (2021年5月) 躍動するオフィスウロロジー －その多様性に迫る		¥3,080
	Vol. 75#7 (2021年6月) 前立腺肥大症(BPH) 薬物治療のニューノーマル		¥3,080
	Vol. 75#8 (2021年7月) 油断大敵！ 透析医療－泌尿器科医が知ってお		¥3,080
	Vol. 75#9 (2021年8月) ED診療のフロントライン－この一冊で丸わかり！		¥3,080
	Vol. 75#10 (2021年9月) 今こそ知りたい！ロボット時代の腹腔鏡手術トレ		¥3,080
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
816	**臨牀看護（臨床看護）（へるす出版）**		
	Vol. 30-34 (2004-2008) 各1-14号	各号	¥1,210
	Vol. 30-34 (2004-2008) 臨時増刊号	各号	¥2,420

817 臨床検査（医学書院）

	Vol. 1-8 (1957-1964) 各1-12号	各号	¥1,870
	Vol. 9-33 (1965-1989) 各1-13号	各号	¥1,870
	Vol. 34#1-10,12,13 (1990)	各号	¥1,870
	Vol. 34#11 (1990) 電解質と微量元素の臨床検査ガイド		¥5,500
	Vol. 35#1-11,13 (1991)	各号	¥1,870
	Vol. 35#12 (1991) 増刊号 アレルギーと自己免疫		¥5,500
	Vol. 36#1-10,12,13 (1992)	各号	¥1,870
品切	Vol. 36#11 (1992) 増刊号 遺伝と臨床検査		¥5,500
	Vol. 37#1-5,7-10,12,13 (1993)	各号	¥1,870
	Vol. 37#11 (1993) 増刊号 ロボティクスと臨床検査		¥5,500
	Vol. 38#1-10,12 (1994)	各号	¥1,870
	Vol. 38#11 (1994) 増刊号 ホルモンと生理活性物質		¥5,500
	Vol. 39#1 (1995) 糖鎖の異常		¥1,870
	Vol. 39#2 (1995) 平衡機能検査		¥1,870
	Vol. 39#3 (1995) 骨髄移植		¥1,870
	Vol. 39#4 (1995) 薬物検査		¥1,870
	Vol. 39#5 (1995) 定量検査のQM-精度向上への道筋		¥1,870
	Vol. 39#6 (1995) 抗体蛋白		¥1,870
	Vol. 39#7 (1995) 赤血球-新しい展開		¥1,870
	Vol. 39#8 (1995) 脱中央化検査技術		¥1,870
	Vol. 39#9 (1995) 人畜共通感染症		¥1,870
	Vol. 39#10 (1995) 乳腺の検査		¥1,870
品切	Vol. 39#11 (1995) 増刊号 免疫組織・細胞化学検査		¥5,500
	Vol. 39#12 (1995) 腫瘍マーカー-最近の進歩		¥1,870
	Vol. 39#13 (1995) 臨床検査とQOL		¥1,870
	Vol. 40#1 (1996) 検査室の安全管理		¥1,870
	Vol. 40#2 (1996) 活性酸素とSOD		¥1,870
品切	Vol. 40#3 (1996) 悪性リンパ腫		¥1,870
	Vol. 40#4 (1996) 注目のグラム陽性菌		¥1,870
	Vol. 40#5 (1996) 心筋梗塞の生化学的マーカー		¥1,870
	Vol. 40#6 (1996) 性感染症(STD)		¥1,870
	Vol. 40#7 (1996) ニューロパチーの臨床検査		¥1,870
	Vol. 40#8 (1996) 造血幹細胞		¥1,870
	Vol. 40#9 (1996) 動脈硬化とリポ蛋白		¥1,870
	Vol. 40#10 (1996) 糖尿病-診断・治療の指標		¥1,870
	Vol. 40#11 (1996) 増刊 血栓症と血小板凝固線溶系検査		¥5,500
	Vol. 40#12 (1996) 臨床化学とHPLC		¥1,870
	Vol. 40#13 (1996) 基準値		¥1,870
	Vol. 41#1 (1997) スポーツと臨床検査		¥1,650
	Vol. 41#2 (1997) Helicobacter pylori		¥1,650
	Vol. 41#3 (1997) 白血病・最近の進歩		¥1,650
	Vol. 41#4 (1997) Internal Quality Control		¥1,650
	Vol. 41#5 (1997) 自己抗体・最近の動向		¥1,650
	Vol. 41#6 (1997) 感染症における病原因子		¥1,650
	Vol. 41#7 (1997) 母子医療と臨床検査		¥1,650
	Vol. 41#8 (1997) 臓器移植と臨床検査		¥1,650
	Vol. 41#9 (1997) 臨床化学分析の指示反応系		¥1,650
	Vol. 41#10 (1997) フローサイトメトリー-最近の進歩		¥1,650
	Vol. 41#11 (1997) 増刊号 神経系疾患と臨床検査		¥3,850
	Vol. 41#12 (1997) 標準物質		¥1,650
	Vol. 41#13 (1997) 臨床検査と医療経済		¥1,650
	Vol. 42#1 (1998) 骨髄腫細胞とその産生蛋白		¥1,760
	Vol. 42#2 (1998) 骨代謝マーカー		¥1,760
	Vol. 42#3 (1998) 生物・化学発光の新しい展開		¥1,760
	Vol. 42#4 (1998) 肥満		¥1,760

Vol. 42#5 (1998) 注目されている感染症-Emerging…	¥1,760
Vol. 42#6 (1998) 臨床検査情報処理の将来	¥1,760
Vol. 42#7 (1998) 多発性内分泌腫?症(MEN)	¥1,760
Vol. 42#8 (1998) 受容体	¥1,760
Vol. 42#9 (1998) in situ hybridization	¥1,760
Vol. 42#10 (1998) 蛋白尿の病態解析	¥1,760
Vol. 42#11 (1998) 増刊号 感染症診断へのアプローチ	¥4,400
Vol. 42#12 (1998) 遺伝子多型と疾患	¥1,760
Vol. 42#13 (1998) 検査項目の再評価	¥1,760
Vol. 43#1 (1999) TDMの臨床応用	¥1,760
Vol. 43#2 (1999) 深在性真菌症	¥1,760
Vol. 43#3 (1999) 肝炎	¥1,760
Vol. 43#4 (1999) 原発性免疫不全症	¥1,760
Vol. 43#5 (1999) 結核	¥1,760
Vol. 43#6 (1999) 高血圧と臨床検査	¥1,760
Vol. 43#7 (1999) マスト細胞	¥1,760
Vol. 43#8 (1999) 輸血検査	¥1,760
Vol. 43#9 (1999) 生活習慣病	¥1,760
Vol. 43#10 (1999) 血管壁細胞	¥1,760
Vol. 43#11 (1999) 増刊号　臨床検査の新しい展開-環境保全..	¥5,500
Vol. 43#12 (1999) 心電図	¥1,760
Vol. 43#13 (1999) 21世紀に向けての寄生虫症	¥1,760
Vol. 44#1 (2000) 質量分析-新しい臨床検査への展開	¥1,870
Vol. 44#2 (2000) 血流	¥1,870
Vol. 44#3 (2000) 糖化蛋白と蛋白のグリケーション	¥1,870
Vol. 44#4 (2000) 抗原認識と抗体産生	¥1,870
Vol. 44#5 (2000) 微生物培養検査のサンプリング	¥1,870
Vol. 44#6 (2000) イオンチャネルの変化と心臓	¥1,870
Vol. 44#7 (2000) 慢性閉塞性肺疾患	¥1,870
Vol. 44#8 (2000) 自動機器分析に要求される標準化	¥1,870
Vol. 44#9 (2000) テレメディスン（遠隔医療）	¥1,870
Vol. 44#10 (2000) 脂質代謝関連検査項目についての再検討	¥1,870
Vol. 44#11 (2000) 増刊号　細胞診-21世紀への展望	¥5,500
Vol. 44#12 (2000) 毒物検査	¥1,870
Vol. 44#13 (2000) 血管新生	¥1,870
Vol. 45#1 (2001) サイトカイン・ケモカイン	¥1,870
Vol. 45#2 (2001) 染色体-検査と社会とのかかわり	¥1,870
Vol. 45#3 (2001) 酸化ストレス	¥1,870
Vol. 45#4 (2001) 高齢化	¥1,870
Vol. 45#5 (2001) 在宅医療	¥1,870
Vol. 45#6 (2001) 生体リズム	¥1,870
Vol. 45#7 (2001) 鉄銅代謝	¥1,870
Vol. 45#8 (2001) 薬剤耐性菌をめぐる最近の話題	¥1,870
Vol. 45#9 (2001) 蛋白質の活性と蛋白量	¥1,870
Vol. 45#10 (2001) ビタミン	¥1,870
Vol. 45#11 (2001) 増刊号 超音波検査の技術と臨床	¥5,500
Vol. 45#12 (2001) 視機能検査と臨床検査	¥1,870
Vol. 45#13 (2001) 検査領域でのリスク・マネジメント	¥1,870
Vol. 46#1 (2002) テーラーメイド医療と臨床検査	¥1,870
Vol. 46#2 (2002) インフルエンザー新しい知見	¥1,870
Vol. 46#3 (2002) HBV・HCV検査法の新しい動向－標準化に向けて	¥1,870
Vol. 46#4 (2002) 再生医療と幹細胞	¥1,870
Vol. 46#5 (2002) 筋疾患	¥1,870
Vol. 46#6 (2002) 細胞診自動化	¥1,870
Vol. 46#7 (2002) 糖尿病	¥1,870
Vol. 46#8 (2002) 臨床検査測定値の標準化	¥1,870
Vol. 46#9 (2002) C反応性蛋白	¥1,870

	Vol. 46#10 (2002) 診察前検査	¥1,870
	Vol. 46#11 (2002) 増刊号 造血器腫瘍	¥5,500
	Vol. 46#12 (2002) プリオン病とその診断	¥1,870
	Vol. 46#13 (2002) 臨床検査技師の教育	¥1,870
	Vol. 47#1 (2003) 緊急検査	¥1,870
	Vol. 47#2 (2003) 病原微生物の迅速検査	¥1,870
	Vol. 47#3 (2003) 樹状細胞	¥1,870
	Vol. 47#4 (2003) 漢方医学と臨床検査	¥1,870
	Vol. 47#5 (2003) 食中毒, その発症をめぐって	¥1,870
	Vol. 47#6 (2003) アルコールと臨床検査	¥1,870
	Vol. 47#7 (2003) 補完・代替医療	¥1,870
	Vol. 47#8 (2003) プロテアーゼ, プロテアーゼインヒビター	¥1,870
	Vol. 47#9 (2003) PSA	¥1,870
	Vol. 47#10 (2003) 聴覚障害とその診断	¥1,870
	Vol. 47#11 (2003) 増刊号プロテオミクスに向かう臨床蛋白質検査	¥5,500
	Vol. 47#12 (2003) 生体材料の取扱いと倫理	¥1,870
	Vol. 47#13 (2003) イムノアッセイ	¥1,870
	Vol. 48#1 (2004) 感染症における危機管理	¥1,870
	Vol. 48#2 (2004) 薬物代謝酵素の遺伝的多型 特に個別化薬物治療を	¥1,870
	Vol. 48#3 (2004) 新しい自己抗体	¥1,870
	Vol. 48#4 (2004) ワクチン―その開発と将来展望	¥1,870
	Vol. 48#5 (2004) アルブミン	¥1,870
	Vol. 48#6 (2004) 小児の成長・発育と臨床検査	¥1,870
	Vol. 48#7 (2004) ドーピング・スポーツ薬物検査	¥1,870
	Vol. 48#8 (2004) 更年期障害と甲状腺ホルモン	¥1,870
	Vol. 48#9 (2004) 栄養管理のパラメーター	¥1,870
	Vol. 48#10 (2004) 輸血・細胞療法と臨床検査	¥1,870
	Vol. 48#11 (2004) 増刊号 動脈硬化その成り立ちと臨床検査	¥5,500
	Vol. 48#12 (2004) 自己健康管理のための検査	¥1,870
	Vol. 48#13 (2004) 脳機能	¥1,870
	Vol. 49#1 (2005) ミトコンドリア病	¥1,870
	Vol. 49#2 (2005) 酸化ストレスマーカーと疾患・病態	¥1,870
	Vol. 49#3 (2005) 私と臨床検査―先達の軌跡	¥1,870
	Vol. 49#4 (2005) 脳脊髄液	¥1,870
	Vol. 49#5 (2005) マイクロアレイ技術の進歩	¥1,870
	Vol. 49#6 (2005) 院内感染制御	¥1,870
	Vol. 49#7 (2005) アレルギー疾患の現況と今後の展望	¥1,870
	Vol. 49#8 (2005) これからの臨床検査技師教育を考える	¥1,870
	Vol. 49#9 (2005) キャピラリー電気泳動法	¥1,870
	Vol. 49#10 (2005) 視機能	¥1,870
	Vol. 49#11 (2005) 肝臓癌の臨床検査	¥1,870
品切	Vol. 49#12 (2005) 増刊号臨床検査のための情報処理技術の進歩	¥5,500
	Vol. 49#13 (2005) メタボリックシンドローム	¥1,870
	Vol. 50#1 (2006) PK/PD解析を指標とした感染症治療	¥1,870
	Vol. 50#2 (2006) 花粉症克服への展望	¥1,870
	Vol. 50#3 (2006) 採血	¥1,870
	Vol. 50#4 (2006) 検査室におけるインシデント・アクシデント	¥1,870
	Vol. 50#5 (2006) 腎疾患と臨床検査	¥1,870
	Vol. 50#6 (2006) 健康食品と臨床検査	¥1,870
	Vol. 50#7 (2006) ホルマリン固定パラフィン包埋標本からどこまで遺伝子	¥1,870
	Vol. 50#8 (2006) 皮膚科と臨床検査	¥1,870
	Vol. 50#9 (2006) 高齢者の臨床検査値	¥1,870
	Vol. 50#10 (2006) 認知症の動的神経病理	¥1,870
	Vol. 50#11 (2006) 海外旅行と臨床検査	¥1,870
	Vol. 50#12 (2006) 増刊号 ナノテクノロジーとバイオセンサ	¥5,500
	Vol. 50#13 (2006) 臨床検査史-国際的な流れとわが国の動向	¥1,870
	Vol. 51#1 (2007) 乳癌と臨床検査	¥1,870

	Vol. 51#2 (2007) 尿路感染症の診断	¥1,870
	Vol. 51#3 (2007) 血管超音波検査	¥1,870
	Vol. 51#4 (2007) 悪性リンパ腫	¥1,870
	Vol. 51#5 (2007) 脂質	¥1,870
	Vol. 51#6 (2007) 骨粗鬆症と臨床検査	¥1,870
	Vol. 51#7 (2007) 不整脈検査	¥1,870
	Vol. 51#8 (2007) ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)と子宮頸癌	¥1,870
	Vol. 51#9 (2007) フローサイトメトリー	¥1,870
	Vol. 51#10 (2007) 白血球	¥1,870
	Vol. 51#11 (2007) メタボリックシンドローム健診での注意点	¥1,870
	Vol. 51#12 (2007) 増刊号 遺伝子検査 診断とリスクファクター	¥5,500
	Vol. 51#13 (2007) 胎盤	¥1,870
	Vol. 52#1 (2008) インフルエンザ診療のブレークスルー	¥1,870
	Vol. 52#2 (2008) 輸血の安全管理	¥1,870
	Vol. 52#3 (2008) アルツハイマー病の最近の進歩	¥1,870
	Vol. 52#4 (2008) 歯科からみえる全身疾患	¥1,870
	Vol. 52#5 (2008) 自己免疫疾患の診断	¥1,870
	Vol. 52#6 (2008) エピジェネティクスと臨床検査	¥1,870
	Vol. 52#7 (2008) 腎移植	¥1,870
	Vol. 52#8 (2008) 自然免疫と生体防御レクチン	¥1,870
	Vol. 52#9 (2008) アスベストと中皮腫	¥1,870
	Vol. 52#10 (2008) 結核	¥1,870
	Vol. 52#11 (2008) 増刊号 ホルモンの病態異常と臨床検査	¥5,500
	Vol. 52#12 (2008) 平衡機能検査	¥1,870
	Vol. 52#13 (2008) 凝固制御	¥1,870
	Vol. 53#1 (2009) ウィルス感染症−最近の動向	¥1,980
品切	Vol. 53#2 (2009) 生体内微量元素	¥1,980
	Vol. 53#3 (2009) 臨床検査コンサルテーション/診療支援	¥1,980
	Vol. 53#4 (2009) 妊娠と臨床検査	¥1,980
	Vol. 53#5 (2009) 免疫不全症候群と遺伝子異常	¥1,980
	Vol. 53#6 (2009) 食中毒	¥1,980
	Vol. 53#7 (2009) 唾液の臨床検査	¥1,980
	Vol. 53#8 (2009) 漢方薬・生薬と臨床検査	¥1,980
	Vol. 53#9 (2009) 脳磁図で何がわかるか？	¥1,980
	Vol. 53#10 (2009) 血栓症と臨床検査	¥1,980
	Vol. 53#11 (2009) 増刊号 医療・福祉施設における感染制御と臨床検査	¥5,500
	Vol. 53#12 (2009) オートファジー	¥1,980
	Vol. 53#13 (2009) 前立腺癌	¥1,980
	Vol. 54#1 (2010) POCT、医療におけるその役割	¥1,980
	Vol. 54#2 (2010) Helicobacter pyloriの診断と臨床応用	¥1,980
	Vol. 54#3 (2010) 骨髄増殖性疾患	¥1,980
	Vol. 54#4 (2010) 広義のアポリポ蛋白	¥1,980
	Vol. 54#5 (2010) 薬剤耐性菌制御の最前線	¥1,980
	Vol. 54#6 (2010) 注目されるサイトカイン	¥1,980
	Vol. 54#7 (2010) 排尿障害	¥1,980
	Vol. 54#8 (2010) 未病を考える	¥1,980
	Vol. 54#9 (2010) 糖尿病の病態解析	¥1,980
	Vol. 54#10 (2010) ファーマコゲノミクス	¥1,980
	Vol. 54#11 (2010) 増刊号 新時代のワクチン戦略について考える	¥5,500
品切	Vol. 54#12 (2010) 脳卒中	¥1,980
	Vol. 54#13 (2010) 遺伝子検査の最近の展開ーヒトゲノム多様性と医療応	¥1,980
	Vol. 55#1 (2011) β2-ミクログロブリンーその多様な病因，病態と検査ア	¥2,310
	Vol. 55#2 (2011) 腸内細菌叢	¥2,310
	Vol. 55#3 (2011) 更年期医療	¥2,310
	Vol. 55#4 (2011) 静脈血栓塞栓症と凝固制御因子プロテインS	¥2,310
	Vol. 55#5(2011) 癌幹細胞と検査医学	¥2,310
	Vol. 55#6(2011) 脂肪細胞	¥2,310

品切	Vol. 55#7(2011) 臨床生理機能検査におけるリスクマネジメント	¥2,310
	Vol. 55#8(2011) IgG4関連疾患	¥2,310
	Vol. 55#9(2011) RNAの解析	¥2,310
	Vol. 55#10 (2011) カルシウム・リン・ビタミンDの再評価	¥2,310
	Vol. 55#11 (2011) 増刊号 ここまでわかった自己免疫疾患	¥5,500
	Vol. 55#12 (2011) 子宮頸癌の予防と検査	¥2,310
	Vol. 55#13 (2011) 骨疾患	¥2,310
	Vol. 56#1 (2012) 認知症と臨床検査	¥2,420
	Vol. 56#2 (2012) 生理活性脂質	¥2,420
	Vol. 56#3 (2012) 尿路結石	¥2,420
	Vol. 56#4 (2012) 感染症検査における境界値の取り扱い方	¥2,420
	Vol. 56#5 (2012) 成長と臨床検査値	¥2,420
品切	Vol. 56#6 (2012) めまいの生理検査	¥2,420
	Vol. 56#7 (2012) 周産期の臨床検査	¥2,420
	Vol. 56#8 (2012) 多剤耐性菌の検査と臨床	¥2,420
	Vol. 56#9 (2012) 間質性肺炎と臨床検査	¥2,420
	Vol. 56#10 (2012) 鉄代謝のバイオマーカー	¥2,420
	Vol. 56#11 (2012) 増刊号 教科書には載っていない 臨床検査Q&A	¥5,500
	Vol. 56#12 (2012) MDS（骨髄異形成症候群）	¥2,420
	Vol. 56#13 (2012) アルコール依存症	¥2,420
	Vol. 57#1 (2013) 臨床検査の展望／ウイルス性胃腸炎	¥2,420
	Vol. 57#2 (2013) 血管超音波検査／血液形態検査の標準化	¥2,420
	Vol. 57#3 (2013) 分子病理診断の進歩／血管炎症候群	¥2,420
	Vol. 57#4 (2013) 次世代の微生物検査／非アルコール性脂肪性肝疾患	¥2,420
	Vol. 57#5 (2013) 実践EBLM－検査値を活かす／ADAMTS13と臨床検	¥2,420
	Vol. 57#6 (2013) 尿バイオマーカー／連続モニタリング検査	¥2,420
	Vol. 57#7 (2013) 遺伝子関連検査の標準化に向けて／感染症と発癌	¥2,420
	Vol. 57#8 (2013) 特定検診項目の標準化と今後の展開／輸血関連副作	¥2,420
	Vol. 57#9 (2013) 肺癌診断update／日常検査から見える病態－生化学	¥2,420
	Vol. 57#10 (2013) 神経領域の生理機能検査の現状と新たな展開／Clos	¥2,420
	Vol. 57#11 (2013) 増刊号 はじめよう、検査説明	¥5,500
	Vol. 57#12 (2013) 前立腺癌マーカー／日常検査から見える病態－生化	¥2,420
	Vol. 57#13 (2013) 病理組織・細胞診検査の精度管理／今月の特集2	¥2,420
	Vol. 58#1 (2014) 診療ガイドラインに活用される臨床検査／深在性真菌	¥2,420
	Vol. 58#2 (2014) JSCC勧告法は磐石か？-課題と展望／I型アレルギー	¥2,420
	Vol. 58#3 (2014) 検査で切り込む溶血性貧血/知っておくべき睡眠呼吸	¥2,420
	Vol. 58#4 (2014) 検査室間連携が高める臨床検査の付加価値/話題の	¥2,420
	Vol. 58#5 (2014) 最新の輸血検査／改めて，精度管理を考える	¥2,420
	Vol. 58#6 (2014) 液状化検体細胞診（LBC）にはどんなメリットがあるか／	¥2,420
	Vol. 58#7 (2014) 電解質，酸塩基平衡検査を苦手にしない／夏に知って	¥2,420
	Vol. 58#8 (2014) 個別化医療を担う コンパニオン診断／血栓症時代の	¥2,420
	Vol. 58#9 (2014) 関節リウマチ診療の変化に対応する／てんかんと臨床	¥2,420
	Vol. 58#10 (2014) 血液培養検査を感染症診療に役立てる／尿沈渣検	¥2,420
	Vol. 58#11 (2014) 増刊号 微生物検査 イエローページ	¥5,500
	Vol. 58#12 (2014) 甲状腺疾患診断NOW/ブラックボックス化からの脱却	¥2,420
	Vol. 58#13 (2014) 検査でわかる! M蛋白血症と多発性骨髄腫/とても怖	¥2,420
	Vol. 59#1 (2015) 採血から分析前までのエッセンス/新型インフルエンザ	¥2,420
	Vol. 59#2 (2015) 動脈硬化症の最先端／血算値判読の極意	¥2,420
	Vol. 59#3 (2015) 検査システムの更新に備える／夜勤で必要な輸血の知	¥2,420
	Vol. 59#4 (2015) 奥の深い高尿酸血症／感染制御と連携　検査部門は	¥2,420
	Vol. 59#5 (2015) 1滴で捉える病態／乳癌病理診断の進歩	¥2,420
	Vol. 59#6 (2015) 日常検査としての心エコー／健診・人間ドックと臨床検	¥2,420
	Vol. 59#7 (2015) 検査と臨床のコラボで理解する腫瘍マーカー/血液細	¥2,420
	Vol. 59#8 (2015) 臨床検査の視点から科学する老化	¥2,420
	Vol. 59#9 (2015) 乳腺の臨床を支える超音波検査	¥2,420
	Vol. 59#10 (2015) 見逃してはならない寄生虫疾患	¥2,420
品切	Vol. 59#11 (2015) 増刊号 ひとりでも困らない！ 検査当直イエローペー	¥5,500

	Vol. 59#12 (2015) ウイルス性肝炎をまとめて学ぶ	¥2,420
	Vol. 59#13 (2015) 移植医療を支える臨床検査	¥2,420
	Vol. 60#1 (2016) 社会に貢献する臨床検査／グローバル化時代の耐性	¥2,420
	Vol. 60#2 (2016) 深く知ろう！ 血栓止血検査／実践に役立つ呼吸機能	¥2,420
	Vol. 60#3 (2016) 日常検査からみえる病態ー心電図検査編／smartに実	¥2,420
	Vol. 60#4 (2016) 血漿蛋白ーその病態と検査／感染症診断に使われるバ	¥2,420
	Vol. 60#5 (2016) 体腔液の臨床検査／感度を磨くー検査性能の追求	¥2,420
	Vol. 60#6 (2016) もっと知りたい！ 川崎病／CKDの臨床検査と腎病理診	¥2,420
	Vol. 60#7 (2016) The SLE／百日咳、いま知っておきたいこと	¥2,420
	Vol. 60#8 (2016) 好塩基球の謎に迫る／キャリアデザイン	¥2,420
	Vol. 60#9 (2016) 睡眠障害と臨床検査／臨床検査領域における次世代	¥2,420
	Vol. 60#10 (2016) 血球貪食症候群を知る／感染症の迅速診断ーPOCT	¥2,420
	Vol. 60#11 (2016) 増刊号 心電図が臨床につながる本。	¥5,500
	Vol. 60#12 (2016) 血液学検査を支える標準化／脂質検査の盲点	¥2,420
	Vol. 60#13 (2016) 認知症待ったなし！／がん分子標的治療にかかわる	¥2,420
	Vol. 61#1 (2017) 臨床検査の価値を高める/Antimicrobial stewardship	¥2,420
	Vol. 61#2 (2017) 血小板の異常を正しく診断するために/微量金属元素	¥2,420
	Vol. 61#3 (2017) 血管を読み解く/在宅現場でのPOCTへの期待	¥2,420
	Vol. 61#4 (2017) 増刊号 臨床検査スターターズガイド	¥5,500
品切	Vol. 61#5 (2017) ISO 15189取得簡易マニュアル	¥2,420
	Vol. 61#6 (2017) 新時代の健康課題と検査/膵臓の病気を見逃さない	¥2,420
	Vol. 61#7 (2017) 造血器・リンパ系腫瘍のWHO分類 2016 version	¥2,420
	Vol. 61#8 (2017) 病態から学ぶ生化学/リンパ球の増減を正しく評価する	
	Vol. 61#9 (2017) 知っておこう！周術期管理/臨床検査技師のためのワ	¥2,420
	Vol. 61#10 (2017) 増刊号 呼吸機能検査 BASIC and PRACTICE	¥5,500
	Vol. 61#11 (2017) 母子感染の検査診断	¥2,420
	Vol. 61#12 (2017) 推奨される抗核抗体検査／新鮮血を用いた血算の外	¥2,420
	Vol. 62#1 (2018) 知っておきたい感染症関連診療ガイドラインのエッセン	¥2,420
	Vol. 62#2 (2018) Strokeー脳卒中を診る／実は増えている“梅毒”	¥2,420
	Vol. 62#3 (2018) 症例から学ぶ血友病とvon Willebrand病／成人先天性	¥2,420
品切	Vol. 62#4 (2018) 増刊号 疾患・病態を理解する 尿沈渣レファレンスブッ	¥5,500
	Vol. 62#5 (2018) 肝線維化をcatch／不妊・不育症医療の最前線	¥2,420
	Vol. 62#6 (2018) The Boneー骨疾患の病態と臨床検査／筋疾患に迫る	¥2,420
	Vol. 62#7 (2018) 尿検査の新たな潮流／現場を変える！効果的な感染	¥2,420
	Vol. 62#8 (2018) 女性のライフステージと臨床検査	¥2,420
	Vol. 62#9 (2018) DIC診断基準／知っておきたい遺伝性不整脈	¥2,420
	Vol. 62#10 (2018) 増刊号 感染症関連国際ガイドライン 近年のまとめ	¥5,500
	Vol. 62#11 (2018) 循環癌細胞(CTC)とリキッドバイオプシー／ACSを見	¥2,420
	Vol. 62#12 (2018) 海外帰りでも慌てない旅行者感染症／最近の輸血・	¥2,420
	Vol. 63#1 (2019) 発症を予測する臨床検査ー先制医療で5疾病に立ち	¥2,420
	Vol. 63#2 (2019) てんかんup to date／災害現場で活かす臨床検査ー大	¥2,420
	Vol. 63#3 (2019) 血管エコー検査 まれな症例は一度みると忘れない	¥2,420
	Vol. 63#4 (2019年4月) 増刊号 検査項目と異常値からみた 緊急・重要	¥5,500
	Vol. 63#5 (2019) 現在のHIV感染症と臨床検査／症例から学ぶフローサ	¥2,420
	Vol. 63#6 (2019) 生理検査における医療安全／薬剤耐性菌のアウトブレ	¥2,420
	Vol. 63#7 (2019) 造血器腫瘍の遺伝子異常／COPDを知る	¥2,420
	Vol. 63#8 (2019) 知っておきたい がんゲノム医療用語集	¥2,420
	Vol. 63#9 (2019) 健診・人間ドックで指摘される悩ましい検査異常／現代	¥2,420
	Vol. 63#10 (2019年10月) 増刊号 維持・継続まで見据えたーISO15189	¥5,500
	Vol. 63#11 (2019) 腎臓を測る／大規模自然災害後の感染症対策	¥2,420
	Vol. 63#12 (2019) 糖尿病関連検査の動向／高血圧の臨床ー生理検査	¥2,420
	Vol. 64#1 (2020年1月) 免疫チェックポイント阻害薬ー押さえるべき特徴と	¥2,420
	Vol. 64#2 (2020年2月) 検査でわかる二次性高血圧／標準採血法アップ	¥2,420
	Vol. 64#3 (2020年3月) Clostridioides difficile感染症ー近年の話題／質	¥2,420
	Vol. 64#4 (2020年4月増刊号) これで万全！緊急を要するエコー所見	¥5,500
	Vol. 64#5 (2020年5月) 中性脂肪の何が問題なのか／EBLM(evidence b	¥2,420
	Vol. 64#6 (2020年6月) 超音波検査報告書の書き方ー良い例, 悪い例	¥2,420

	Vol. 64#7 (2020年7月) 骨髄不全症の病態と検査／薬剤耐性カンジダを		¥2,420
	Vol. 64#8 (2020年8月) AI医療の現状と課題／IgG4関連疾患の理解と検		¥2,420
	Vol. 64#9 (2020年9月) やっぱり大事なCRP／どうする？精度管理		¥2,420
	Vol. 64#11 (2020年11月) 基準範囲と臨床判断値を考える／パニック値		¥2,420
	Vol. 64#12 (2020年12月) 血栓止血学のトピックスー求められる検査の原		¥2,420
	Vol. 65#1 (2021年1月) 対比して学ぶエコー所見で鑑別に悩む疾患		¥2,420
	Vol. 65#2 (2021年2月) Diagnostic Stewardshipー微生物検査室の重要		¥2,420
	Vol. 65#3 (2021年3月) 臨地実習生を迎えるための手引き		¥2,420
	Vol. 65#5 (2021年5月) 薬剤耐性 (AMR) 対策の現状と今後		¥2,420
	Vol. 65#6 (2021年6月) 典型例の臨床検査を学ぶ		¥2,420
	Vol. 65#7 (2021年7月) 薬物療法に活用される検査		¥2,420
	Vol. 65#8 (2021年8月) 電解質異常をきたす内分泌疾患／図解 電気生		¥2,420
	Vol. 65#9 (2021年9月) スポーツを支える臨床検査		¥2,420
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
818	**臨床血液（日本臨床血液学会）**		
	Vol. 41-52 (2000-2011) 各1-12号	各号	¥1,650
819	**臨床肛門病学**		
	Vol. 1#1; 2#1 (2009-2010)	各号	¥3,300
820	**臨床麻酔（真興交易医書出版部）**		
	Vol. 29-34 (2005-2010) 各1-12号	各号	¥2,619
	Vol. 29-34 (2005-2010) 各臨時増刊号	各号	¥4,400
821	**臨床免疫・アレルギー科（科学評論社）**		
	Vol. 33-44,47-50 (2000-2008) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 51-54 (2009-2010) 各1-6号	各号	¥2,750
822	**臨床リウマチ（日本臨床リウマチ学会）**		
	Vol. 12#1-4 (2000)	各号	¥3,300
	Vol. 13#1-4 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 14#3,4 (2002)	各号	¥3,300
	Vol. 15#1-4 (2003)	各号	¥3,300
	Vol. 16#1,3,4 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 17#1-4 (2005)	各号	¥3,300
	Vol. 18#3 (2006)		¥3,300
	Vol. 19#2,3 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1,4 (2008)	各号	¥3,300
	Vol. 21#1-4 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 22#1-4 (2010)	各巻	¥3,300
823	**臨床老年看護（日総研出版）**		
	Vol. 18#2-6 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 19#1-6 (2012)	各号	¥2,750
	Vol. 22-23 (2015) 各1-6号	各号	¥2,750

824　臨床整形外科 (医学書院)

品切	Vol. 1#1-9 (1966)	各号	¥2,530
	Vol. 2-17 (1966-1982) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 18#1-13 (1983)	各号	¥2,530
	Vol. 19-24 (1984-1989) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 25#1-3,5-12 (1990)	各号	¥2,530
	Vol. 25#4 (1990) 不安定腰椎		¥5,280
	Vol. 26#1-3,5-9,11-12 (1991)	各号	¥2,530
	Vol. 26#4 (1991) Spinal Dysraphism/Pedicular Screwing		¥5,280
	Vol. 27#1-3,5-12 (1992)	各号	¥2,530
	Vol. 27#4 (1992) 腰部脊柱管狭窄症		¥5,280
	Vol. 28#1-3,5-12 (1993)	各号	¥2,530
	Vol. 28#4 (1993) 痛みをとらえる		¥5,280
	Vol. 29#1,3,5,7-12 (1994)	各号	¥2,530
	Vol. 29#4 (1994) 椎間版-基礎と臨床		¥5,280
	Vol. 30#1-3,5-12 (1995)	各号	¥2,530
品切	Vol. 30#4 (1995) 上位頚椎疾患-その病態と治療		¥5,280
	Vol. 31#1-3,5-12 (1996)	各号	¥2,530
	Vol. 31#4(1996) 脊椎外傷の最近の進歩(上位頚椎を除く)		¥5,280
	Vol. 32#1-3,5-12 (1997)	各号	¥2,420
	Vol. 32#4 (1997) 脊椎外科の最近の進歩		¥4,620
	Vol. 33#1-3,5-12 (1998)	各号	¥2,420
	Vol. 33#4 (1998) 脊椎外科の最近の進歩-OPLLを中心として		¥4,620
	Vol. 34#1-3,5-12 (1999)	各号	¥2,530
品切	Vol. 34#4 (1999) 脊椎外科最近の進歩		¥4,950
	Vol. 35#1,3-4,6-13 (2000)	各号	¥2,530
	Vol. 35#2 (2000) 臨時増刊　総目次・総索引(第18-34巻)		¥3,850
	Vol. 35#5 (2000) 脊椎外科最近の進歩		¥5,060
	Vol. 36#1-3,5-12 (2001)	各号	¥2,530
	Vol. 36#4 (2001) 脊椎外科最近の進歩-主題とパネル演題を中心に		¥5,170
	Vol. 37#1-3,5-12 (2002)	各号	¥2,530
	Vol. 37#4 (2002) 増大号 脊椎脊髄病学最近の進歩		¥5,170
	Vol. 38#1,7,12 (2003)	各号	¥2,530
	Vol. 38#2 (2003) 膝複合靱帯損傷に対する保存療法および観血的治療		¥2,530
	Vol. 38#3 (2003) 腰椎変性すべり症の治療		¥2,530
	Vol. 38#4 (2003) 増大号脊椎脊髄病学最近の進歩		¥5,170
	Vol. 38#5 (2003) 外傷に伴う呼吸器合併症の予防と治療		¥2,530
	Vol. 38#6 (2003) 脊椎転移癌に対する治療法の選択		¥2,530
	Vol. 38#8 (2003) 難治性骨折の治療		¥2,530
	Vol. 38#9 (2003) 全人工肩関節置換術の成績		¥2,530
	Vol. 38#10 (2003) 整形外科医療におけるリスクマネジメント		¥2,530
	Vol. 38#11 (2003) RSDを含む頑固なneuropathic painの病態と治療		¥2,530
	Vol. 39#1 (2004) 外傷に対するプライマリケア保存療法を中心に		¥2,530
	Vol. 39#2,3,6,7,9,11 (2004)	各号	¥2,530
	Vol. 39#4 (2004) 増大号 脊椎脊髄病学 最近の進歩2004		¥5,280
	Vol. 39#5 (2004) 手指の関節外骨折		¥2,530
	Vol. 39#8 (2004) 診療ガイドラインの方向性 臨床に役立つガイドラインと		¥2,530
	Vol. 39#10 (2004) 関節リウマチ頚椎病変の病態・治療・予後		¥2,530
	Vol. 39#12 (2004) 小児大腿骨頚部骨折の治療法とその成績		¥2,530
	Vol. 40#1,3,5,7,12 (2005)	各号	¥2,530
品切	Vol. 40#2 (2005) 前腕回旋障害の病態と治療		¥2,530
	Vol. 40#4 (2005) 増大号 脊椎脊髄病学 最近の進歩2005		¥5,280
	Vol. 40#6 (2005) 脊柱短縮術		¥2,530
	Vol. 40#8 (2005) 整形外科におけるリスクマネジメント		¥2,530
	Vol. 40#9 (2005) どうする日本の医療		¥2,530

	Vol. 40#10 (2005) 関節鏡を用いた腱板断裂の治療		¥2,530
	Vol. 40#11 (2005) 整形外科疾患における骨代謝マーカーの応用		¥2,530
	Vol. 41#1,3,5,6,9-11 (2006)	各号	¥2,640
	Vol. 41#2 (2006) de Quervain病の治療		¥2,640
	Vol. 41#4 (2006) 増大号 脊椎脊髄病学 最近の進歩2006		¥5,280
	Vol. 41#7 (2006) 運動器リハビリテーションの効果		¥2,640
	Vol. 41#8 (2006) 腰部脊柱管狭窄症-最近の進歩		¥2,640
	Vol. 41#12 (2006) 肘不安定症の病態と治療		¥2,640
	Vol. 42#1 (2007) 変形性膝関節症 最近の進歩		¥2,640
	Vol. 42#2 (2007) 上電皮神経の解剖学的研究 採骨時神経損傷の予防		¥2,640
	Vol. 42#3 (2007) 腰椎椎間板ヘルニア治療の最前線		¥2,640
	Vol. 42#4 (2007) 関節軟骨とヒアルロンサ酸		¥2,640
	Vol. 42#5 (2007) 肩こりの病態と治療		¥2,640
	Vol. 42#6 (2007) 整形外科疾患における痛みの研究		¥2,640
	Vol. 42#7 (2007) 人工股関節手術における骨セメント使用時の工夫と問		¥2,640
	Vol. 42#8 (2007) 人工膝関節置換術の術後回収式自己血輸血について		¥2,640
	Vol. 42#9 (2007) 骨折治療の最新知見-小侵襲骨接合術とNavigation sy		¥2,640
品切	Vol. 42#10 (2007) 外傷性頚部症候群-最近の進歩		¥2,640
	Vol. 42#11,12 (2007)	各号	¥2,640
	Vol. 43#1 (2008) 高齢者(80歳以上)に対する人工膝関節置換術		¥2,640
	Vol. 43#2 (2008) 整形外科手術におけるコンピュータナビゲーション支援		¥2,640
	Vol. 43#3 (2008) 変形性手関節症の治療		¥2,640
	Vol. 43#4 (2008) 骨粗鬆症脊椎骨折の病態		¥2,640
	Vol. 43#5 (2008) 手・肘関節鏡手術の現状と展望		¥2,640
	Vol. 43#6 (2008) 胸椎後縦靭帯骨化症の治療-最近の進歩		¥2,640
	Vol. 43#7 (2008) 人工股関節術後の骨折の治療		¥2,640
	Vol. 43#8 (2008) 腰椎変性側弯の治療選択		¥2,640
	Vol. 43#9 (2008)		¥2,640
	Vol. 43#10 (2008) 発育期大腿骨頭の壊死性病変への対応		¥2,640
	Vol. 43#11 (2008) 外傷性肩関節脱臼		¥2,640
	Vol. 43#12 (2008)		¥2,640
	Vol. 44#1 (2009) 整形外科における人工骨移植の現状と展望		¥2,640
	Vol. 44#2 (2009) 膝骨壊死の病態と治療		¥2,640
	Vol. 44#3-4 (2009)	各号	¥2,640
	Vol. 44#5 (2009) プレート骨接合術-従来型かLCPか		¥2,640
	Vol. 44#6 (2009) 手術部位感染の基本3		¥2,640
	Vol. 44#7 (2009) 手術部位感染の基本4		¥2,640
	Vol. 44#8 (2009) 創傷処置に関する最近の進歩		¥2,640
	Vol. 44#9 (2009) 高齢者骨折と転倒予防		¥2,640
	Vol. 44#10 (2009) 整形外科術後感染の実態と予防対策		¥2,640
	Vol. 44#11 (2009) 手術に至った骨粗鬆症性椎体偽関節の初期治療		¥2,640
	Vol. 44#12 (2009) 変形性股関節症における股関節痛の検討:疼痛領域		¥2,640
	Vol. 45#1 (2010) 慢性腰痛症の保存的治療		¥2,640
	Vol. 45#2 (2010) 肩腱板不全断裂		¥2,640
	Vol. 45#3 (2010) 軟部腫瘍の診断と治療		¥2,640
	Vol. 45#4 (2010) 破骨細胞と骨芽細胞の極性		¥2,640
	Vol. 45#6 (2010) 整形外科領域における抗菌薬の使い方		¥2,640
	Vol. 45#7 (2010) 腰部脊柱管狭窄の診断における歩行負荷試験の有用		¥2,640
	Vol. 45#8 (2010) 四肢のしびれ感		¥2,640
	Vol. 45#9 (2010) 軟骨再生ー基礎と臨床		¥2,640
	Vol. 45#10 (2010) 骨粗鬆症診断・治療の新展開		¥2,640
	Vol. 45#11 (2010) 骨強度と骨質		¥2,640
	Vol. 45#12 (2010) 小児の肩関節疾患		¥2,640
	Vol. 46#1-3,5,7-9,11,12 (2011)	各号	¥2,640
	Vol. 46#4 (2011) 運動器の慢性疼痛に対する薬物療法の新展開		¥2,640
	Vol. 46#6 (2011) 腰部脊柱管狭窄[症]に対する手術戦略		¥2,640
	Vol. 47#1 (2012) 整形外科領域における蛍光イメージング		¥2,750

Vol. 47#2 (2012)		¥2,750
Vol. 47#3 (2012) 大震災と整形外科医		¥2,750
Vol. 47#4 (2012) 壮年期変形性股関節症の診断と関節温存療法		¥2,750
Vol. 47#5 (2012) 重度後縦靭帯骨化症に対する術式選択と合併症		¥2,750
Vol. 47#6 (2012) 難治性良性腫瘍の治療		¥2,750
Vol. 47#7 (2012)		¥2,750
Vol. 47#8 (2012) 難治性足部スポーツ傷害の治療		¥2,750
Vol. 47#9 (2012) 脊椎脊髄手術の医療安全		¥2,750
Vol. 47#10 (2012) 内視鏡診断・治療の最前線		¥2,750
Vol. 47#11 (2012) 橈骨遠位端骨折の治療		¥2,750
Vol. 47#12 (2012) 高位脛骨骨切り術の適応と限界		¥2,750
Vol. 48#1 (2013)		¥2,750
Vol. 48#2 (2013) 高齢者の腱板断裂		¥2,750
Vol. 48#3 (2013) 創外固定の将来展望		¥2,750
Vol. 48#4 (2013) 腰椎変性側弯症の手術－現状と課題		¥2,750
Vol. 48#5 (2013)		¥2,750
Vol. 48#6 (2013)		¥2,750
Vol. 48#7 (2013) 転移性骨腫瘍－治療の進歩		¥2,750
Vol. 48#8 (2013)		¥2,750
Vol. 48#9 (2013)		¥2,750
Vol. 48#10 (2013) 低出力超音波パルス(LIPUS)による骨折治療－基礎		¥2,750
Vol. 48#11 (2013)		¥2,750
Vol. 48#12 (2013) 慢性疼痛と原因療法		¥2,750
Vol. 49#1 (2014) 下肢壊疽の最新治療		¥2,750
Vol. 49#2 (2014)		¥2,750
Vol. 49#3 (2014) 良性腫瘍に対する最新の治療戦略		¥2,750
Vol. 49#4 (2014) 整形外科外傷治療の進歩		¥2,750
Vol. 49#5 (2014)		¥2,750
Vol. 49#6 (2014) MIS人工膝関節置換術の現状と展望		¥2,750
Vol. 49#7,8,12 (2014)	各号	¥2,750
Vol. 49#9 (2014) 骨粗鬆症に対する治療戦略		¥2,750
Vol. 49#10 (2014) 検診からわかる整形外科疾患		¥2,750
Vol. 49#11 (2014) 運動器画像診断の進歩		¥2,750
Vol. 50#1 (2015)		¥2,750
Vol. 50#2 (2015) 関節リウマチ－生物学的製剤使用で変化したこと		¥2,750
Vol. 50#3 (2015) 骨軟部腫瘍における画像評価最前線		¥2,750
Vol. 50#4 (2015) 難治性テニス肘はこうみる		¥2,750
Vol. 50#5 (2015) 股関節鏡の現状と可能性		¥2,750
Vol. 50#6,7 (2015)	各号	¥2,750
Vol. 50#8 (2015) 反復性肩関節脱臼後のスポーツ復帰		¥2,750
Vol. 50#9 (2015) Life is Motion－整形外科医が知りたい筋肉の科学		¥2,750
Vol. 50#10 (2015) 人工骨移植の現状と展望		¥2,750
Vol. 50#11 (2015) 誌上シンポジウム 成人脊柱変形へのアプローチ		¥2,750
Vol. 50#12 (2015) 世界にインパクトを与えた日本の整形外科		¥2,750
Vol. 51#1 (2016)		¥2,860
Vol. 51#2 (2016) 誌上シンポジウム MISの功罪		¥2,860
Vol. 51#3 (2016) 誌上シンポジウム 半月変性断裂に対する治療		¥2,860
Vol. 51#4 (2016) 誌上シンポジウム THA後感染の予防・診断・治療の最		¥2,860
Vol. 51#5 (2016) 誌上シンポジウム 整形外科と慢性腎不全		¥2,860
Vol. 51#6 (2016)		¥2,860
Vol. 51#7 (2016) 誌上シンポジウム 脊椎腫瘍 最近の話題		¥2,860
Vol. 51#8 (2016) 誌上シンポジウム 脊椎診療ガイドライン―特徴と導入効		¥2,860
Vol. 51#9 (2016) 誌上シンポジウム THAのアプローチ		¥2,860
Vol. 51#10 (2016) 誌上シンポジウム　高気圧酸素治療の現状と可能性		¥2,860
Vol. 51#11 (2016) 誌上シンポジウム　骨粗鬆症診療―整形外科からの発		¥2,860
Vol. 51#12 (2016)		¥2,860
Vol. 52#1 (2017)　誌上シンポジウム　胸椎OPLL手術の最前線		¥2,860

	Vol. 52#2 (2017) 誌上シンポジウム リバース型人工肩関節手術でわかっ	¥2,860
	Vol. 52#3 (2017) 誌上シンポジウム 股関節疾患の保存的治療とリハビリ	¥2,860
	Vol. 52#4 (2017)	¥2,860
	Vol. 52#5 (2017) 誌上シンポジウム 成人脊柱変形の目指すポイント PI-	¥2,860
	Vol. 52#6 (2017)	¥2,860
	Vol. 52#7 (2017) 誌上シンポジウム 認知症の痛み	¥2,860
	Vol. 52#8 (2017) 誌上シンポジウム 創外固定でどこまでできるか？	¥2,860
	Vol. 52#9 (2017) 誌上シンポジウム パーキンソン病と疼痛	¥2,860
	Vol. 52#10 (2017)	¥2,860
	Vol. 52#11 (2017)	¥2,860
	Vol. 52#12 (2017) 誌上シンポジウム 慢性腰痛のサイエンス	¥2,860
	Vol. 53#1 (2018) 誌上シンポジウム 脂肪幹細胞と運動器再生	¥2,860
	Vol. 53#2 (2018) 誌上シンポジウム 骨関節外科への3Dプリンティングの	¥2,860
	Vol. 53#3 (2018) 誌上シンポジウム THAの低侵襲性と大腿骨ステム選択	¥2,860
	Vol. 53#4 (2018) 誌上シンポジウム 骨粗鬆症性脊椎骨折の治療 Cutting	¥2,860
	Vol. 53#5 (2018) 誌上シンポジウム 外傷後・術後骨髄炎の治療	¥2,860
	Vol. 53#6 (2018) 誌上シンポジウム　変形性足関節症のフロントライン	¥2,860
	Vol. 53#7 (2018) 誌上シンポジウム　膝前十字靱帯のバイオメカニクス	¥2,860
	Vol. 53#8 (2018) 誌上シンポジウム 椎弓形成術 アップデート	¥2,860
	Vol. 53#9 (2018) 誌上シンポジウム 外反母趾の成績不良例から学ぶ	¥2,860
	Vol. 53#10 (2018) 誌上シンポジウム 原発巣別転移性骨腫瘍の治療戦	¥2,860
	Vol. 53#11 (2018) 誌上シンポジウム 椎間板研究の最前線	¥2,860
	Vol. 53#12 (2018) 誌上シンポジウム 外傷における人工骨の臨床	¥2,860
	Vol. 54#1 (2019) 誌上シンポジウム 小児の脊柱変形と脊椎疾患－診断・	¥2,860
品切	Vol. 54#2 (2019) 誌上シンポジウム 足部・足関節疾患と外傷に対する保	¥2,860
	Vol. 54#3 (2019) 誌上シンポジウム サルコペニアと整形外科	¥2,860
	Vol. 54#4 (2019) 誌上シンポジウム 超高齢社会における脊椎手術	¥2,860
	Vol. 54#5 (2019) 誌上シンポジウム 整形外科を牽引する女性医師たち	¥2,860
	Vol. 54#6 (2019) 誌上シンポジウム 変形性膝関節症における関節温存	¥2,860
	Vol. 54#7 (2019) 誌上シンポジウム　骨軟部腫瘍の薬物治療アップデー	¥2,860
	Vol. 54#8 (2019) 誌上シンポジウム　整形外科治療の費用対効果	¥2,860
	Vol. 54#9 (2019) 誌上シンポジウム　肩腱板断裂 画像診断の進歩	¥2,860
	Vol. 54#10 (2019) 誌上シンポジウム　がん診療×整形外科「がんロコモ」	¥2,860
	Vol. 54#11 (2019) 誌上シンポジウム　腰椎前方アプローチ　その光と影	¥2,860
	Vol. 54#12 (2019) 誌上シンポジウム　患者の満足度を高める関節リウマ	¥2,860
品切	Vol. 55#1 (2020年1月) 新しい概念　"軟骨下脆弱性骨折"からみえてき	¥2,860
	Vol. 55#2 (2020年2月) 整形外科の職業被曝	¥2,860
	Vol. 55#3 (2020年3月) 頚椎を含めたグローバルアライメント	¥2,860
	Vol. 55#4 (2020年4月) 人工関節周囲感染の現状と展望　国際コンセン	¥2,860
品切	Vol. 55#5 (2020年5月) 増大号　臨床整形超音波学　エコー新時代、到	¥6,380
	Vol. 55#6 (2020年6月) 各種骨盤骨切り術とそのメリット	¥2,860
	Vol. 55#7 (2020年7月) 脊椎手術－前方か後方か？	¥2,860
	Vol. 55#8 (2020年8月) 整形外科×人工知能	¥2,860
	Vol. 55#9 (2020年9月) インプラント周囲骨折の治療戦略　THA・TKA・骨	¥2,860
	Vol. 55#10 (2020年10月) 座談会 withコロナ時代と整形外科診療	¥2,860
	Vol. 55#11 (2020年11月) 足部・足関節の画像解析－画像から病態を探	¥2,860
	Vol. 55#12 (2020年12月) 女性アスリートの運動器障害－悩みに答える	¥2,860
	Vol. 56#1 (2021年1月) パラスポーツ・メディシン入門	¥2,860
	Vol. 56#2 (2021年2月) ダメージ・コントロールとしての創外固定	¥2,860
	Vol. 56#3 (2021年3月) 骨折に対する積極的保存療法	¥2,860
	Vol. 56#4 (2021年4月) 成人脊柱変形　手術手技の考えかた・選びかた	¥2,860
	Vol. 56#5 (2021年5月) 増大号 整形外科 外来・当直　エマージェンシー	¥6,380
	Vol. 56#6 (2021年6月) ACL再断裂に対する治療戦略	¥2,860
	Vol. 56#7 (2021年7月) 手外科と労災	¥2,860
	Vol. 56#8 (2021年8月) 外来で役立つ　足部・足関節の超音波診療	¥2,860
	Vol. 56#9 (2021年9月) 膝周囲骨切り術を成功に導く基礎知識	¥2,860

※上記以外は医学書院 販売部

(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

825 **臨床精神病理（星和書店）**

Vol. 1,7,9-13,15,26,27 (1980-2006) 各1-3号	各号	¥2,934

826 **臨床精神医学（アークメディア）**

Vol. 1-4 (1972-1975) 各1-12号
Vol. 5#1-13 (1976)
Vol. 6-18 (1977-1989) 各1-12号
Vol. 19#1-13 (1990)
Vol. 20-22 (1991-1993) 各1-12号
Vol. 23#1-13 (1994)
Vol. 24-43 (1995-2014) 各1-12号,増刊号
※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。
(Webショップでもご確認いただけます。)

827 **臨床精神薬理（星和書店）**

Vol. 1-19 (1998-2016) 各1-12号	各号	¥3,190

828 **臨床神経学（日本神経学会）**

Vol. 50#1-9 (2010)	各号	¥1,650
Vol. 52#1-10 (2012)	各号	¥1,650
Vol. 53#1-10 (2013)	各号	¥1,650
Vol. 54#1-7 (2014)	各号	¥1,650

829 **臨床神経心理（東北神経心理懇話会）**

Vol. 3 (1993)		¥3,300
Vol. 9-16 (1998-2005)	各巻	¥3,300

830 **臨床心理学研究（日本臨床心理学会）**

Vol. 1-18,20-25,27-30 (1962/63-1992/93) 各1-4号	各号	¥2,200

831 **臨床心理士報（日本臨床心理士資格認定協会）**

Vol. 12#2 (2001)		¥2,200
Vol. 13#1,特別号 (2001)	各号	¥2,200
Vol. 14-27 (2002/2003-2016) 各1-2号	各号	¥2,200

832 **臨牀消化器内科（臨床消化器内科）（日本メディカルセンター）**

Vol. 1-3 (1986-1988) 各1-12号
Vol. 4-9 (1989-1994) 各1-13号
Vol. 10#1-14 (1995)
Vol. 11-26 (1996-2011) 各1-13号
※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。
(Webショップでもご確認いただけます。)

833 **臨床小児医学 Journal of Clinical Pediatrics, Sapporo（小児愛育協会）**

Vol. 54#1/2,3/4; 56#1/2,3/4; 57#1/2,3/4 (2006-2009)	各冊	¥3,300

834 **臨床スポーツ医学（文光堂）**

Vol. 3-26 (1986-2009) 各1-12号	各号	¥2,640
臨時増刊号	各号	¥7,700

835 **臨床と微生物（近代出版）**

Vol. 33,35-37 (2006-2010) 各1-6号	各号	¥2,310
Vol. 33,35-37 (2006-2010) 各増刊号	各号	¥4,180

836 **臨床と研究（大道学館出版部）**

Vol. 77-90 (2000-2013) 各1-12号	各号	¥2,619

837 **臨床透析（日本メディカルセンター）**

Vol. 16-25 (2000-2009) 各1-13号	各号	¥2,200
Vol. 16-25 (2000-2009) 増刊号	各号	¥5,500

838 **臨床と薬物治療（ミクス）**

Vol. 19-24 (2000-2005) 各1-12号	各巻	¥2,035

839	**臨床薬理（日本臨床薬理学会）**		
	Vol. 31-44 (2000-2013) 各1-6号,Supplement	各号	¥2,200
840	**臨床薬理の進歩（臨床薬理研究振興財団）**		
	No. 21-24,26-29,32-34 (2000-2013)	各号	¥5,500
841	**理療教育研究（日本理療科教員連盟）**		
	Vol. 26-34 (2004-2012) 各1号	各号	¥2,200
842	**老人ケア研究（全国老人ケア研究会／全国高齢者ケア協会）**		
	No. 22 (2005)		¥2,200
843	**老人泌尿器科（老人泌尿器科研究会）**		
	Vol. 8-11 (1995-1998)	各巻	¥1,650
844	**ロールレタリング研究（日本ロールレタリング学会）**		
	No .4 (2004)		¥2,200
845	**老年看護学（日本老年看護学会）**		
	Vol. 1-2,5-8,11,14-16 (1996-2011/12) 各1-2号	各号	¥2,750
846	**老年期痴呆（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 3#1,2,4 (1989)	各号	¥1,650
	Vol. 4#1-4 (1990)	各号	¥1,650
	Vol. 5#3,4 (1991)	各号	¥1,650
	Vol. 6#2,4 (1992)	各号	¥1,650
	Vol. 7#1 (1993)		¥1,650
	Vol. 8#2,4 (1994)	各号	¥1,650
	Vol. 9#1 (1995)		¥1,650
	Vol. 10#1,4 (1996)	各号	¥1,650
847	**老年期痴呆研究会誌（老年期痴呆研究会）**		
	Vol. 6-12 (1992-1999)	各巻	¥5,500
848	**老年精神医学（情報開発研究所）**		
	Vol. 1-5 (1984-1988) 各1-6号	各号	¥1,980
849	**老年精神医学雑誌（ワールドプランニング）**		
	Vol. 1-6,8-29 (1990-2018) 各1-12号,増刊号I,増刊号II	各号	¥2,096
850	**老年社会科学（日本老年社会科学会）**		
	Vol. 1 (1979)		¥2,828
	Vol. 5 (1983)		¥2,828
	Vol. 6#1-2 (1984)	各号	¥2,828
	Vol. 7-9 (1985-1987)	各巻	¥2,828
	Vol. 10#1-2 (1988)	各号	¥2,828
	Vol. 11-13 (1989-1991)	各巻	¥2,828
	Vol. 14#1,Suppl (1992)	各号	¥2,828
	Vol. 15-19 (1992/94-1997/98) 各1,2号	各号	¥2,828
	Vol. 20#1-2 (1998)	各号	¥2,828
	Vol. 21-24 (1999-2002) 各1-3号	各号	¥2,828
	Vol. 25-36 (2003/04-2014/15) 各1-4号	各号	¥2,828
	Vol. 37#1-2 (2015)	各号	¥2,828

851	**老年歯科医学（日本老年歯科医学会）**		
	Vol. 2#1 (1988)		¥3,143
	Vol. 4#1 (1990)		¥3,143
	Vol. 5#1 (1991)		¥3,143
	Vol. 6-8 (1991/1992-1993/1994) 各1-2号	各号	¥3,143
	Vol. 9-17 (1994/1995-2002/2003) 各1-3号	各号	¥3,143
	Vol. 18-29 (2003/2004-2014/2015) 各1-4号	各号	¥3,143
	第25回 学術大会 プログラム・抄録集 (2014)		¥3,143
	Vol. 30#1-4 (2015)	各号	¥3,143
	第26回 総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2015)		¥3,143
	Vol. 31-36 (2016/2017-2021/2022) 各1-4号	各号	¥3,143
	Vol. 37#1-2 (2022)	各号	¥3,143
852	**ロールシャッハ法研究（日本ロールシャッハ学会）**		
	Vol. 3-6,15 (1999-2002,2011)	各巻	¥2,200
853	**リウマチ（日本リウマチ学会）**		
	Vol. 40-43 (2000-2003) 各1-6号	各号	¥1,650
854	**リウマチ科（科学評論社）**		
	Vol. 53-56 (2015-2016) 各1-6号	各号	¥3,300
855	**流体熱工学研究（東海流体熱工学研究会）**		
	Vol. 35-37 (2000-2002) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 38#1 (2003)		¥3,300
	Vol. 39#1,2 (2004)	各号	¥3,300
	Vol. 40#1 (2005)		¥3,300
	Vol. 41#1 (2006)		¥3,300
	Vol. 42#2 (2008)		¥3,300
	Vol. 45#1 (2011)		¥3,300
856	**作業環境（日本作業環境測定協会）**		
	Vol. 4-24 (1983-2003) 各1-6号	各号	¥1,650
	特集号1-44 (1986-2003)	各号	¥1,650
857	**作業療法（日本作業療法士協会）**		
	Vol. 1-35 (1982-2016) 各1-6号	各号	¥1,430
	Vol. 36-37 (2017-2018) 各1-6号	各号	¥1,870
	Vol. 9-25 (1990-2006) 特別号	各号	¥2,860
858	**作業療法ジャーナル（三輪書店）**		
	Vol. 23-37 (1989-2003) 各1-12号	各号	¥1,705
	Vol. 26-37 (1992-2003) 増大／増刊号	各号	¥3,410
	Vol. 38#1-6,8-13 (2004)	各号	¥1,705
	Vol. 39#1-6,8-13 (2005)	各号	¥1,705
	Vol. 40#1-6,8-13 (2006)	各号	¥1,705
	Vol. 41#1-6,8-13 (2007)	各号	¥1,705
	Vol. 41#7 (2007) 増刊号		¥3,410
	Vol. 42-43 (2008-2009) 各1-6,8-13号	各号	¥1,815
	Vol. 42#7 (2008) 増刊号; Vol. 43#7 (2009) 増刊号	各号	¥3,630
	Vol. 44-46 (2010-2012) 各1-6,8-13号	各号	¥1,870
	Vol. 44#7 (2010) 増刊号; Vol. 45#7 (2011) 増刊号	各号	¥3,740
	Vol. 46#7 (2012) 増刊号		¥3,740
	Vol. 47-48 (2013-2014) 各1-6,8-13号	各号	¥1,925
	Vol. 47#7 (2013) 増刊号; Vol. 48#7 (2014) 増刊号	各号	¥4,180
859	**栽培漁業技術開発研究（日本栽培漁業協会）**		
	Vol. 31#1; 32#1 (2003-2005)	各号	¥2,200
	Vol. 33-35 (2005-2008) 各1-2号	各号	¥2,200

860	**栽培漁業センター技報（水産総合研究センター）**		
	No. 1-12 (2003-2010)	各号	¥2,200
861	**細胞工学（秀潤社）**		
	Vol. 19-28 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥1,980
862	**催眠学研究 Japanese Journal of Hypnosis（日本催眠医学心理学会）**		
	Vol. 19-24 (1975-1979) 各1-2号	各号	¥2,200
863	**再生医療（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 1#2 (2002)		¥2,200
	Vol. 2-12 (2002-2013) 各1-4号	各号	¥2,200
864	**最新医学（最新医学社）**		
	Vol. 61-62 (2006-2007) 各1-12号	各号	¥2,566
	Vol. 61#3月増刊号 (2006) メタボリックシンドローム 前篇		¥5,238
	Vol. 61#6月増刊号 (2006) メタボリックシンドローム 後篇		¥5,238
	Vol. 61#9月増刊号 (2006) 臨床遺伝子学'06		¥5,238
	Vol. 62#9月増刊号 (2007) 臨床遺伝子学'07-ゲノム科学の臨床へのイン		¥5,500
	Vol. 63-65 (2008-2010) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 63#3月増刊号 (2008) 新興・再興感染症（前篇）		¥5,500
	Vol. 63#9月増刊号 (2008) 臨床遺伝子学'08		¥5,500
	Vol. 64#6月増刊号 (2009) 幹細胞研究の最近の進歩(後篇)-組織幹細		¥5,500
	Vol. 64#9月増刊号 (2009) 臨床遺伝子学'09 -がんの遺伝子学-		¥5,500
	Vol. 65#6月増刊号 (2010) 乳癌		¥5,500
	Vol. 65#9月増刊号 (2010) 臨床遺伝子学'10		¥5,500
865	**最新精神医学（世論時報社）**		
	Vol. 3-7 (1998-2002) 各1-6号	各号	¥2,090
866	**産婦人科治療（永井書店）**		
	Vol. 80-103 (2000-2011) 各1-6号	各号	¥2,860
	Vol. 80,82,96 (2000-2008); 102 (2011) 増刊号	各号	¥8,250
867	**産婦人科の実際（金原出版）**		
	Vol. 49-53 (2000-2004) 各1-13号	各号	¥2,860
	Vol. 54#1 (2005) 増大号		¥4,840
	Vol. 54#2-10,12,13 (2005)	各号	¥2,860
	Vol. 54#11 (2005) 臨時増刊号		¥7,700
	Vol. 55-58 (2006-2009) 各1,2,4-10,12,13号	各号	¥2,860
	Vol. 55-58 (2006-2009) 各3号 増大号	各号	¥4,840
	Vol. 55-58 (2006-2009) 各11号 臨時増刊号	各号	¥7,700
868	**産婦人科の世界（医学の世界社）**		
	Vol. 52-59 (2000-2007) 各1-12号	各号	¥2,200
869	**産婦人科の進歩（近畿産科婦人科学会）**		
	Vol. 52#4; 53#5,6; 55#3,4; 56#2,3,4; 57#1 (2000-2005)	各号	¥3,080
	Vol. 58-62 (2006-2010) 各1-4号	各号	¥3,080
870	**産業医学レビュー（産業医学振興財団）**		
	Vol. 18-22 (2005-2009) 各1-4号	各号	¥1,320
871	**産業ストレス研究（日本産業ストレス学会）**		
	Vol. 4-15#1 (1997-2007) 各1-4号	各号	¥2,200

872	**産科と婦人科（診断と治療社）**		
	Vol. 67-71 (2000-2004) 各1-10,12号	各号	¥2,640
	Vol. 68#11 (2001)		¥6,600
	Vol. 69#11 (2002)		¥6,490
	Vol. 70#11 (2003)		¥6,490
	Vol. 71#11 (2004)		¥7,590
	Vol. 72-74 (2005-2007) 各1-10,12号	各号	¥2,750
	Vol. 72#11;73#11;74#11 (2005-2007)	各号	¥6,050
	Vol. 75-76 (2008-2009) 各1-10,12号	各号	¥2,860
	Vol. 75#11 (2008)		¥6,600
	Vol. 76#11 (2009)		¥5,500
	Vol. 77-79 (2010-2012) 各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 80#7,11 (2013)	各号	¥2,860
873	**Science (American Association Advancement of Science)**		
	Vol. 335#6064-Vol. 338#6114 (2012)	各号	¥5,500
	Vol. 339#6115-Vol. 342#6165 (2013)	各号	¥5,500
	Vol. 343#6166-Vol. 346#6216 (2014)	各号	¥5,500
	Vol. 347#6217-Vol. 350#6267 (2015)	各号	¥5,500
	Vol. 351#6268-Vol. 354#6319 (2016)	各号	¥5,500
	Vol. 355#6320-Vol. 358#6370 (2017)	各号	¥5,500
	Vol. 359#6371-Vol. 362#6421 (2018)	各号	¥5,500
	Vol. 364#6437,6438 (2019)	各号	¥5,500
	Vol. 365#6449,6460 (2019)	各号	¥5,500
	Vol. 366#6469-6472 (2019)	各号	¥5,500
874	**SD：スペースデザイン（鹿島出版会）**		
	No. 169-171,176,177,179,180,182,186,188 (1978-1980)	各号	¥2,200
875	**接着歯学（日本接着歯学会）**		
	Vol. 1#1 (1983)		¥3,300
	Vol. 2#1 (1984)		¥3,300
	Vol. 3#1 (1985)		¥3,300
	Vol. 4#1-2 (1986)	各号	¥3,300
	Vol. 5#1-2 (1987)	各号	¥3,300
	Vol. 5#3/4 (1987)		¥6,600
	Vol. 6-8 (1988-1990) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 9#3,4 (1991)	各号	¥3,300
	Vol. 10-24 (1992-2006/2007) 各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 25-26 (2007-2008) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 27#1-3 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 28#1-4 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 29#1-4 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 30#1-4 (2012)	各号	¥3,300
	Vol. 31-35 (2013-2017) 各1,2,4号 3号は電子ジャーナル	各号	¥3,300
	Vol. 36#1,2 (2018) 3号は電子ジャーナル	各号	¥3,300
	Vol. 37#1,2,4 (2019) 3号は電子ジャーナル	各号	¥3,300
	Vol. 38#2,4 (2020) 3号は電子ジャーナル	各号	¥3,300
	Vol. 39#4 (2021)		¥3,300
	Vol. 40#1,3 (2022)	各号	¥3,300
876	**生物物理（日本生物物理学会）**		
	Vol. 40-52 (2000-2012) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 53#1 (2013)		¥2,200
	年会講演予稿集 第38回-41回,43回,46回-50回 (2000-2012)	各号	¥2,200

877	**生物工学会誌（日本生物工学会）**		
	Vol. 71-80,83,86-90 (1993-2012) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 91#1-3 (2013)	各号	¥2,750
878	**成人病と生活習慣病（東京医学社）**		
	Vol. 30-35 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥2,640
	Vol. 36-37 (2006-2007) 各1-12号	各号	¥2,776
	Vol. 38-40 (2008-2010) 各1-12号	各号	¥2,807
879	**生化学（日本生化学会）**		
	Vol. 72-83 (2000-2011) 各1-12号	各号	¥1,540
880	**整形外科（南江堂）**		
	Vol. 5-63 (1954-2012) 各1-13号	各号	¥2,640
	Vol. 5-63 (1954-2012) 増大号	各号	¥6,050
881	**別冊整形外科（南江堂）**		
	No.9,18,22,25-32,34-37,39-42,46,47,49,50,55,57,58 (1986-2010)	各巻	¥5,500
882	**整形外科医療の周辺問題資料集（日本臨床整形外科医会）**		
	第2版 (2003)		¥5,500
	Vol. 2 (2004)		¥5,500
883	**整形外科 Mook（金原出版）**		
	No. 1-57,59-65 (1977-1993)	各号	¥6,050
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1A 保存療法		¥6,050
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1B 保存療法		¥6,050
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1D 観血療法		¥6,050
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1E 観血療法		¥6,050
884	**整形外科最小侵襲手術ジャーナル（全日本病院出版会）**		
	No. 2,6,8,9 (1997-1998)	各号	¥2,926
	No. 11,17,18,19,22,24-33,40,41,48,49 (1999-2008)	各号	¥3,080
	No. 52,55,57,58 (2009-2011)	各号	¥3,190
885	**整形外科 Surgical Technique（整形外科サージカルテクニック）（メディカ出版）**		
	Vol. 1#1-5 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 2-4 (2012-2014) 各#1-6号	各号	¥2,750
886	**整形・災害外科（金原出版）**		
	Vol. 47-52 (2004-2009) 各1-13号	各号	¥2,640
	Vol. 47-52 (2004-2009) 各増刊号	各号	¥7,260
887	**生命倫理（日本生命倫理学会）**		
	Nol. 3-21 (1993-2011)	各号	¥2,750
888	**精神分析研究（日本精神分析学会）**		
	Vol. 17,21 (1971/72,1976/77) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 18-20,22-44 (1973/74-2000) 各1-5号	各号	¥2,750
	Vol. 45-48 (2001-2004) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 48#50周年記念特集増刊号 (2004)		¥2,750
	Vol. 49-57 (2005-2013) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 58#2-4 (2014)	各号	¥2,750
	Vol. 59-64 (2015-2020) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 65#1-2 (2021)	各号	¥2,750
	総目次 (Vol.1#1-Vol.41#5) (1997)		¥2,750
	日本精神分析学会 抄録集 第47回大会－第60回大会 (2001-2016)	各回	¥2,750
889	**精神分析的精神医学（日本精神分析的精神医学会）**		
	No. 1,2,4 (2005-2010)	各号	¥2,200
890	**精神衛生研究 / 国立精神衛生研究所**		
	No. 1-33 (1953-1986)	各号	¥2,200
891	**精神衛生資料（国立精神衛生研究所）**		
	No. 1-25 (1953-1981)	各号	¥2,200

892　**精神保健福祉（日本精神保健福祉士協会）**
Vol. 34-39 (2003-2008) 各1-4号　各号　¥2,888

893　**精神保健研究（国立精神・神経センター精神保健研究所）**
No. 44,44,47-49,51 (1994-2005)　各号　¥2,200

894 精神医学（医学書院）

	Vol. 1-16 (1959-1974) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 17#1-13 (1975)	各号	¥2,750
	Vol. 18-32 (1976-1990) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 33#1-12 (1991)	各号	¥2,750
	Vol. 34#1-12 (1992)	各号	¥2,750
	Vol. 35#1-12 (1993)	各号	¥2,750
	Vol. 36#1-12 (1994)	各号	¥2,750
	Vol. 37#1 (1995) 分裂病者の社会復帰-新しい展開		¥2,750
	Vol. 37#2-6,9-12 (1995)	各号	¥2,750
	Vol. 37#7 (1995) 阪神・淡路大震災-現場からの報告		¥2,750
	Vol. 37#8 (1995) 外来精神科医療の現状と課題		¥2,750
	Vol. 38#1-4,6-10 (1996)	各号	¥2,750
	Vol. 38#5 (1996) 精神病理学の方法論-記述か計量か		¥2,750
	Vol. 38#11 (1996) 精神医学における分子生物学的研究		¥2,750
	Vol. 38#12 (1996) 痴呆の薬物療法の最前線		¥2,750
	Vol. 39#1-4,6,7,9,10,12 (1997)	各号	¥2,530
	Vol. 39#5 (1997) 学校精神保健-教育との連携の実際		¥2,530
	Vol. 39#8 (1997) スーパービジョンとコンサルテーション		¥2,530
	Vol. 39#11 (1997) 精神科の合理的薬物選択アルゴリズム		¥2,530
	Vol. 40#1,3,4,6,7,9-11 (1998)	各号	¥2,530
	Vol. 40#2 (1998) 精神病像を伴う躁うつ病および分裂感情障害		¥2,530
	Vol. 40#5 (1998) アジアにおける最近の精神医学事情		¥2,530
	Vol. 40#8 (1998) 災害のもたらすもの-阪神・淡路大震災復興期		¥2,530
	Vol. 40#12 (1998) がん、臓器移植とリエゾン精神医学		¥2,530
	Vol. 41#2-5,7-11 (1999)	各号	¥2,640
	Vol. 41#1 (1999) 記憶障害の臨床		¥2,640
	Vol. 41#6 (1999) 治療抵抗性の精神障害とその対応		¥2,640
	Vol. 41#12 (1999) 自動精神科医療の課題		¥2,640
	Vol. 42#1,4,6-9,11 (2000)	各号	¥2,640
	Vol. 42#2 (2000) シンポ・新しい精神医学の構築-21世紀への..		¥2,640
	Vol. 42#3 (2000) 精神医学、医療の将来		¥2,640
	Vol. 42#5 (2000) 精神疾患の発病規定因子		¥2,640
	Vol. 42#10 (2000) 職場の精神保健		¥2,640
	Vol. 42#12 (2000) シンポ・ライフサイクルと睡眠障害		¥2,640
	Vol. 43#1,3,4,7-9,12 (2001)	各号	¥2,640
	Vol. 43#2 (2001) 今、なぜ病跡学か		¥2,640
	Vol. 43#5 (2001) 薬物依存者に対する精神保健・精神科医療体		¥2,640
	Vol. 43#10 (2001) シンポ・精神分裂病の心理社会的治療の進歩		¥2,640
	Vol. 43#6 (2001) 社会構造の変化と高齢者問題		¥2,640
	Vol. 43#11 (2001) 青少年犯罪と精神医学		¥2,640
	Vol. 44#1,2,4,5,9,10,12 (2002)	各号	¥2,750
	Vol. 44#3 (2002) 新しい向精神薬の薬理・治療		¥2,750
	Vol. 44#6 (2002) 司法精神医学の今日的課題		¥2,750
	Vol. 44#7 (2002) 特別企画 WPA 2002横浜大会に期待する		¥2,750
	Vol. 44#8 (2002) 精神疾患と認知機能		¥2,750
	Vol. 44#11 (2002) 精神疾患の脳画像解析と臨床応用の将来		¥2,750
	Vol. 45#1,2,5,9 (2003)	各号	¥2,750
品切	Vol. 45#3 (2003) ひきこもりの病理と診断・治療		¥2,750
	Vol. 45#4 (2003) 新医師臨床研修制度の課題求められる医師像と精神		¥2,750
	Vol. 45#6 (2003) 統合失調症とは何かSchizophrenia 概念の変遷		¥2,750
	Vol. 45#7 (2003)		¥2,750
	Vol. 45#8 (2003) 痴呆症とパーキンソン病研究の新展開		¥2,750
	Vol. 45#10 (2003) 新医師臨床研修制度における精神科研修はどうある		¥2,750
	Vol. 45#11 (2003) ICF と精神医学		¥2,750

Vol. 45#12 (2003) 統合失調症と認知機能―最近の話題		¥2,750
Vol. 46#1 (2004) 臨床心理技術者の国家資格化についての主張		¥2,750
Vol. 46#2-5,7-9,11,12 (2004)	各号	¥2,750
Vol. 46#6 (2004) 精神科医療における危機介入		¥2,750
Vol. 46#10 (2004) 精神科医療における介護保険制度		¥2,750
Vol. 47#1,3-7,9,10,12 (2005)	各号	¥2,750
Vol. 47#2 (2005) 時代による精神疾患の病像変化		¥2,750
Vol. 47#8 (2005) リエゾン精神医学の現状と課題		¥2,750
Vol. 47#11 (2005) 電気けいれん療法		¥2,750
Vol. 48#1,2,4,7,8,10,11 (2006)	各号	¥2,750
Vol. 48#3 (2006) 災害精神医学の10年-経験から学ぶ		¥2,750
Vol. 48#5 (2006) シンポジウム MCIとLNTDをめぐって		¥2,750
Vol. 48#6 (2006) オグメンテーション療法か，多剤併用療法か		¥2,750
Vol. 48#9 (2006) 新医師臨床研修制度に基づく精神科ローテート研修の		¥2,750
Vol. 48#12 (2006) シンポジウム気分障害治療の新たな展開		¥2,750
Vol. 49#1 (2007) シンポ・児童思春期の攻撃性・衝動性の理解と援助－		¥2,750
Vol. 49#2,4,6,8,10,12 (2007)	各号	¥2,750
Vol. 49#3 (2007) 統合失調症と感情障害の補助診断法の最近の進歩		¥2,750
Vol. 49#5 (2007) 睡眠と精神医学:「睡眠精神医学」の推進		¥2,750
Vol. 49#7 (2007) レビー小体型認知症をめぐって		¥2,750
Vol. 49#9 (2007)「緩和ケアチーム」精神科医に期待すること、精神科医		¥2,750
Vol. 49#11 (2007) シンポ・ストレスと精神生物学 新しい診断法を目指し		¥2,750
Vol. 50#1 (2008) 精神医学的コミュニケーションとは何か 精神科専門医		¥2,750
Vol. 50#2,4,5,10,11 (2008)	各号	¥2,750
Vol. 50#3 (2008) 精神疾患に対する早期介入の現状と将来		¥2,750
Vol. 50#6 (2008) 疲労と精神障害－ストレス-疲労-精神障害について		¥2,750
Vol. 50#7 (2008) 成人期のアスペルガー症候群・I		¥2,750
Vol. 50#8 (2008) 成人期のアスペルガー症候群・II		¥2,750
Vol. 50#12 (2008) ACTは日本の地域精神医療の柱になれるか？		¥2,750
Vol. 51#1,5 (2009)	各号	¥2,750
Vol. 51#2 (2009) シンポ・統合失調症の脳科学		¥2,750
Vol. 51#3 (2009) 社会脳をめぐって		¥2,750
Vol. 51#4 (2009) シンポ・うつ病と自殺に医師はどう対応するのか		¥2,750
Vol. 51#6 (2009) 精神医学は進歩したか？		¥2,750
Vol. 51#7 (2009) 精神疾患と睡眠マネージメント		¥2,750
Vol. 51#8 (2009) 総合失調症概念の変遷		¥2,750
Vol. 51#9 (2009) 児童青年精神医学の現状		¥2,750
Vol. 51#10 (2009) 若年性認知症をめぐる諸問題		¥2,750
Vol. 51#11 (2009) 現代の自殺をめぐる話題		¥2,750
Vol. 51#12 (2009) アルツハイマー病に対する高用量donepezilの1年間の		¥2,750
Vol. 52#1 (2010) 認知機能リハビリテーション－総合失調症の治療にどう		¥2,750
Vol. 52#2 (2010) 児童青年期統合失調症患者の自傷行為に関する検討		¥2,750
Vol. 52#3 (2010) 総合病院精神科衰退の危機と総合病院精神医学会の		¥2,750
Vol. 52#4 (2010) 内因性精神疾患の死後脳研究		¥2,750
Vol. 52#5 (2010) 児童期における精神疾患の非定型性―成人期の精神		¥2,750
Vol. 52#6-9,12 (2010)	各号	¥2,750
Vol. 52#10 (2010) 高次脳機能障害をめぐって		¥2,750
Vol. 53#1,3,9 (2011)	各号	¥2,750
Vol. 53#2 (2011) 統合失調症の予後改善に向けての新たな戦略		¥2,750
Vol. 53#4 (2011) シンポジウム　気分障害の生物学的研究の最新動向―		¥2,750
Vol. 53#5 (2011) 成人てんかんの国際分類と医療の現状		¥2,750
Vol. 53#6,7 (2011)	各号	¥2,750
Vol. 53#8 (2011) 性同一性障害(GID)		¥2,750
Vol. 53#10 (2011) 裁判員制度と精神鑑定		¥2,750
Vol. 53#11 (2011) 震災時の避難大作戦:精神科編		¥2,750
Vol. 53#12 (2011) シンポ・精神医学研究の到達点と展望		¥2,750

	Vol. 54#1 (2012)		¥2,860
	Vol. 54#2 (2012) 障害者権利条約批准に係る国内法の整備:今後の精		¥2,860
	Vol. 54#3 (2012) オピニオン・認知症の終末期医療の対応		¥2,860
	Vol. 54#4 (2012) オピニオン・マインドフルネス/アクセプタンス認知行動		¥2,860
	Vol. 54#5-9 (2012)	各号	¥2,860
	Vol. 54#10 (2012) 医療法に基づく精神疾患の地域医療計画策定		¥2,860
	Vol. 54#11 (2012) アルコール・薬物関連障害		¥2,860
	Vol. 54#12 (2012)		¥2,860
	Vol. 55#1-2 (2013)	各号	¥2,860
	Vol. 55#3 (2013) SST 最近の進歩と広がり		¥2,860
	Vol. 55#4-7 (2013)	各号	¥2,860
	Vol. 55#8 (2013) 職場のメンタルヘルスと復職支援－その効果的な利用		¥2,860
	Vol. 55#9 (2013) オピニオン 精神科医にとっての精神療法の意味		¥2,860
	Vol. 55#10 (2013) アンチスティグマ活動の新しい転機 Ⅰ		¥2,860
	Vol. 55#11 (2013) アンチスティグマ活動の新しい転機Ⅱ		¥2,860
	Vol. 55#12 (2013)		¥2,860
	Vol. 56#1-4,6,7,11,12 (2014)	各号	¥2,970
	Vol. 56#5 (2014) 大学生とメンタルヘルス－保健管理センターのチャレン		¥2,970
品切	Vol. 56#8 (2014) うつ病の早期介入, 予防(I)		¥2,970
	Vol. 56#9 (2014) うつ病の早期介入, 予防(II)		¥2,970
	Vol. 56#10 (2014) 良質かつ適切な医療の提供-改正精神保健福祉法41		¥2,970
	Vol. 57#1 (2015) 今後の産業精神保健の課題－近年の行政施策の動向		¥2,970
	Vol. 57#2 (2015)	各号	¥2,970
	Vol. 57#3 (2015) リエゾン精神医学の現状と今後の展望(I)		¥2,970
	Vol. 57#4 (2015) リエゾン精神医学の現状と今後の展望(II)		¥2,970
	Vol. 57#5-7 (2015)	各号	¥2,970
	Vol. 57#8 (2015) オピニオンDSM-5ー私はこう思う		¥2,970
	Vol. 57#9 (2015) 統合失調症の認知機能障害の臨床的意義		¥2,970
	Vol. 57#10 (2015) 精神医学と神経学の境界領域ー最近のトピックスから		¥2,970
	Vol. 57#11 (2015) 家族と当事者からみた精神科医療・精神医学		¥2,970
	Vol. 57#12 (2015)		¥2,970
	Vol. 58#1 (2016) 社会認知研究の最近の動向		¥2,970
	Vol. 58#2 (2016) 妊娠・出産・育児とメンタルヘルスケア		¥2,970
	Vol. 58#3-4,6,8,10 (2016)	各号	¥2,970
	Vol. 58#5 (2016) 成人の自閉スペクトラム症とライフステージの課題		¥2,970
	Vol. 58#7 (2016) 精神疾患の予防と早期治療アップデート		¥2,970
	Vol. 58#9 (2016) 精神科臨床にみる家庭・家族の現在ー何が変わり何が		¥2,970
	Vol. 58#11 (2016) 認知症の人の認知機能障害, 生活障害, 行動・心理		¥2,970
	Vol. 58#12 (2016) 精神科リエゾンチームと公認心理師に思うこと		¥2,970
	Vol. 59#1 (2017) インターネット依存の現在		¥2,970
	Vol. 59#2 (2017) オピニオン 精神科医にとっての薬物療法の意味		¥2,970
	Vol. 59#3 (2017) ADHDをめぐる最近の動向		¥2,970
	Vol. 59#4 (2017) 改正道路交通法と医療の視点		¥2,970
	Vol. 59#5 (2017) 認知行動療法の現在とこれからー医療現場への普及と		¥2,970
	Vol. 59#6 (2017) 精神医学と睡眠学の接点		¥2,970
	Vol. 59#7 (2017) MRIのT2・FLAIR画像での白質高信号の意味を読み解		¥2,970
	Vol. 59#8 (2017) 国連障害者権利条約と権利ベースのアプローチ		¥2,970
	Vol. 59#9 (2017) 精神疾患の生物学的診断指標－現状と開発研究の展		¥2,970
	Vol. 59#10 (2017)		¥2,970
	Vol. 59#11 (2017)「統合失調症」再考(I)		¥2,970
	Vol. 59#12 (2017)「統合失調症」再考(II)		¥2,970
	Vol. 60#1 (2018) Research Domain Criteria (RDoC) プロジェクトの目指		¥2,970
	Vol. 60#2 (2018) 多様なアディクションとその対応		¥2,970
	Vol. 60#3 (2018) せん妄をめぐる最近の動向		¥2,970
	Vol. 60#4 (2018) 精神科診療におけるてんかん		¥2,970
	Vol. 60#5 (2018) サイコオンコロジー		¥2,970

	Vol. 60#6 (2018) 医療・医学の課題としての身体合併症		¥2,970
	Vol. 60#7 (2018) 双極Ⅱ型をめぐる諸問題		¥2,970
	Vol. 60#8 (2018) 作業療法を活用するには		¥2,970
	Vol. 60#9 (2018)　不眠症の治療と睡眠薬		¥2,970
	Vol. 60#10 (2018) こころの発達の問題に関する“古典”をふりかえる		¥2,970
	Vol. 60#11 (2018) 精神科臨床から何を学び、何を継承し、精神医学を改		¥2,970
	Vol. 60#12 (2018) 精神科臨床から何を学び、何を継承し、精神医学を改		¥2,970
	Vol. 61#1 (2019) 高齢者のメンタルヘルス		¥2,970
	Vol. 61#2 (2019) オピニオン　パーソナリティ障害の現在		¥2,970
品切	Vol. 61#3 (2019) ICD-11のチェックポイント		¥2,970
	Vol. 61#4 (2019) 統合失調症の治療ゴールをめぐって		¥2,970
	Vol. 61#5 (2019) 精神医学における主観と主体		¥2,970
	Vol. 61#6 (2019) マインドフルネス療法は他の精神療法と何が違うのか？		¥2,970
	Vol. 61#7 (2019) 今再び問う、内因性精神疾患と心因性精神疾患の概念		¥2,970
	Vol. 61#8 (2019) 光と精神医学		¥2,970
	Vol. 61#9 (2019) 高齢者の精神科救急・急性期医療		¥2,970
品切	Vol. 61#10 (2019) トラウマインフォームドケアと小児期逆境体験		¥2,970
	Vol. 61#11 (2019) 医療現場での怒りーどのように評価しどのように対応		¥2,970
	Vol. 61#12 (2019) 精神疾患における病識・疾病認識ー治療における意		¥2,970
	Vol. 62#1 (2020年1月) SUN☺D臨床試験のインパクト		¥2,970
	Vol. 62#2 (2020年2月) 発達障害と認知症をめぐって		¥2,970
	Vol. 62#3 (2020年3月) 精神医学・医療の未来を拓く人材育成		¥2,970
	Vol. 62#4 (2020年4月) ベンゾジアゼピン受容体作動薬の問題点と適正		¥2,970
	Vol. 62#5 (2020年5月) 増大号　精神科診療のエビデンスー国内外の重		¥5,500
	Vol. 62#6 (2020年6月) 精神科診断分類の背景にある考え方		¥2,970
	Vol. 62#7 (2020年7月)「大人の発達障害」をめぐる最近の動向		¥2,970
	Vol. 62#8 (2020年8月) 精神科医療における病名告知		¥2,970
	Vol. 62#9 (2020年9月) 周産期メンタルヘルスの今		¥2,970
	Vol. 62#10 (2020年10月) 精神科臨床における共同意思決定(SDM)		¥2,970
	Vol. 62#11 (2020年11月) 若年性認知症の疫学・臨床・社会支援		¥2,970
	Vol. 62#12 (2020年12月) 身体症状症の病態と治療		¥2,970
	Vol. 63#1 (2021年1月) 新型コロナウイルス感染症ただなかの精神医療		¥2,970
	Vol. 63#2 (2021年2月) いじめと精神医学		¥2,970
	Vol. 63#3 (2021年3月) サイコーシスとは何か		¥2,970
	Vol. 63#4 (2021年4月) 精神医療に関する疫学のトピックー記述疫学、リ		¥2,970
	Vol. 63#5 (2021年5月) 増大号 精神科クリニカル・パールー先達に学ぶ		¥5,500
	Vol. 63#6 (2021年6月) 強迫についてあらためて考える		¥2,970
	Vol. 63#7 (2021年7月) 自殺の現状と予防対策ーCOVID-19の影響も含		¥2,970
	Vol. 63#8 (2021年8月) 認知症診療における精神科医の役割を再考する		¥2,970
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
895	**精神科（科学評論社）**		
	Vol. 26-34 (2015-2019) 各1-6号	各号	¥3,300

896	**精神科治療学 （星和書店）**		
	Vol. 1-2 (1986-1987) 各1-4号	各号	¥2,618
	Vol. 3#1-6 (1988)	各号	¥2,618
	Vol. 4-18 (1989-2003) 各1-12号	各号	¥2,618
	Vol. 19-30 (2004-2015) 各1-12号	各号	¥3,168
	Vol. 10#増刊号 (1995) 十周年記念出版 精神科治療ガイドライン		¥6,248
	Vol. 13#増刊号 (1998) 精神科治療技法ガイドライン		¥6,490
	Vol. 14#増刊号 (1999) 痴呆の治療ガイドライン		¥6,490
	Vol. 15#増刊号 (2000) 分裂病の治療ガイドライン		¥6,490
	Vol. 16#増刊号 (2001) 小児・思春期の精神障害治療ガイドライン		¥6,490
	Vol. 17#増刊号 (2002) 気分障害の治療ガイドライン		¥6,490
	Vol. 18#増刊号 (2003) 精神科救急ガイドライン		¥6,490
	Vol. 19#増刊号 (2004) 精神科リエゾンガイドライン		¥6,490
	Vol. 20#増刊号 (2005) 新精神科治療ガイドライン		¥6,490
品切	Vol. 21#増刊号 (2006) 症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン		¥6,490
品切	Vol. 22#増刊号 (2007) 精神科治療薬の副作用:予防・早期発見・治療ガ		¥6,490
品切	Vol. 23#増刊号 (2008) 児童・青年期の精神障害治療ガイドライン		¥6,490
品切	Vol. 24#増刊号 (2009) 精神療法・心理社会療法ガイドライン		¥6,490
品切	Vol. 25#増刊号 (2010) 今日の精神科治療ガイドライン		¥6,490
品切	Vol. 26#増刊号 (2011) 神経症性障害の治療ガイドライン		¥6,490
897	**精神科看護 (日本精神科看護協会・精神看護出版)**		
	No,124-241 (2003-2012)	各号	¥1,100
898	**精神科救急 (日本精神科救急学会)**		
	Vol. 1-4 (1998-2001)	各巻	¥1,760

899 精神看護（医学書院）

	Vol. 1#1 (1998) 医療制度改革は日常ケアをどう変えるか	¥1,320
	Vol. 1#2 (1998) SSTのいまとこれから	¥1,320
	Vol. 1#3 (1998) いまさら聞けない精神科看護Q&A	¥1,320
	Vol. 1#4 (1998) 合併症ケアが問いかけるもの	¥1,320
	Vol. 1#5 (1998) 記録で見える看護の中身	¥1,320
	Vol. 1#6 (1998) 痴呆症老人のケアは環境づくりから	¥1,320
	Vol. 2#1 (1999) 長期入院者に何が提供できるのか	¥1,320
	Vol. 2#2 (1999) 拒む患者さんを前にして	¥1,320
	Vol. 2#3 (1999) 保護室を語ろう	¥1,320
	Vol. 2#4 (1999) 患者さんの回復過程と看護の手立て	¥1,320
	Vol. 2#5 (1999) 約束から見えるもの	¥1,320
	Vol. 2#6 (1999) 患者さんが「利用者」になる	¥1,320
	Vol. 3#1 (2000) クスリのターゲット	¥1,320
	Vol. 3#2 (2000) ケアの時間軸を探る	¥1,320
	Vol. 3#3 (2000) ケアの〈かたち〉づくり-看護管理の視点	¥1,320
	Vol. 3#4 (2000) 〈堂々めぐり〉からの跳躍	¥1,320
	Vol. 3#5 (2000) 患者さん参加型のカンファレンス	¥1,320
	Vol. 3#6 (2000)「消極的」な患者さんにどう対応するか	¥1,320
	Vol. 4#1 (2001) 患者さんの死と看護者の心のケア	¥1,320
	Vol. 4#2 (2001)「お金」にまつわる、いろいろ	¥1,320
	Vol. 4#3 (2001) となりの看護記録	¥1,320
	Vol. 4#4 (2001) アルコール看護にはツボがあった	¥1,320
	Vol. 4#5 (2001) 中井久夫を読む	¥1,320
	Vol. 4#6 (2001) 間違いだらけの「痴呆病棟の一日」	¥1,320
	Vol. 5#1 (2002) 疥癬と結核　発生したら、どうするか。	¥1,320
品切	Vol. 5#2 (2002) 好きで嫌いな,「境界例」	¥1,320
	Vol. 5#3 (2002) 地域でケアするって、なんてドラマ…？	¥1,320
	Vol. 5#4 (2002) 殴られているのは誰だ　精神病院のなかの「暴力」	¥1,320
品切	Vol. 5#5 (2002) これが薬を減らす道	¥1,320
	Vol. 5#6 (2002) 介護職とうまく協働する方法	¥1,320
品切	Vol. 6#1 (2003)「反社会性人格障害者」という人	¥1,320
	Vol. 6#2 (2003) いまここにあるセクハラ/身体の「心地良さ」を変化のきっ	¥1,320
	Vol. 6#3 (2003) 精神療法が知りたい	¥1,320
	Vol. 6#4 (2003) 薬物依存症看護が「苦手」だと感じる看護職のみなさん	¥1,320
	Vol. 6#5 (2003) その裏にある「虐待」問題	¥1,320
	Vol. 6#6 (2003) 集団療法のダイナミズム思春期・青年期の困難事例	¥1,320
	Vol. 7#1 (2004) 看護と死/特集2「心神喪失者等医療観察法」で精神医	¥1,320
品切	Vol. 7#2 (2004) つらい「幻聴」とうまくつきあう　コーピングスキルの獲得	¥1,320
	Vol. 7#3 (2004) 壁のバカ	¥1,320
	Vol. 7#4 (2004) 新薬が使える病院，使えない病院	¥1,320
	Vol. 7#5 (2004) 医療者が楽になる「リスクマネジメント」	¥1,320
品切	Vol. 7#6 (2004) 暴力に対峙するときの身体技術(実践CD付)／どうやって	¥1,320
品切	Vol. 8#1 (2005)「身体合併症」の極みとしての「がん」看護	¥1,320
	Vol. 8#2 (2005) 思わず膝打つ「現場の工夫」	¥1,320
	Vol. 8#3 (2005)「患者さん参加型」のカンファレンスと記録/暴力、そのあ	¥1,320
品切	Vol. 8#4 (2005) はじめての抗精神病薬「副作用」マニュアル　前編／もし	¥1,320
品切	Vol. 8#5 (2005) はじめての抗精神病薬　「副作用」マニュアル[中編]／	¥1,320
品切	Vol. 8#6 (2005) はじめての抗精神病薬「副作用」マニュアル[後編]／“	¥1,320
品切	Vol. 9#1 (2006) 一気に大量88人退院物語/「行動」に着目するMORI式	¥1,320
品切	Vol. 9#2 (2006) 看護がはじめる「認知療法」/「抗うつ薬」がわかる	¥1,320
	Vol. 9#3 (2006) 新人ナース必携お助けガイド!精神科でよく起きる自傷・	¥1,320
	Vol. 9#4 (2006) 新人ナース必携お助けガイド!わからない人が多いチュ	¥1,320
	Vol. 9#5 (2006)「支え」と「介入」をめぐる精神看護4話/新人ナース必携	¥1,320
	Vol. 9#6 (2006)「うつ」の看護の不全感を解消する/今どうなっているの?	¥1,320
	Vol. 10#1 (2007)「行動制限最小化」につながる看護をさがす／実は「痩	¥1,320
	Vol. 10#2 (2007) SST！私たちの「悩み克服法」/入院時こそ濃厚なかか	¥1,320

	Vol. 10#3 (2007) 「単純化」を成功させるために必要なこと/魅力があって	¥1,320
	Vol. 10#4 (2007) 水中毒への対応に革命を起こした病院のノウハウ／ア	¥1,320
	Vol. 10#5 (2007) 退院支援のツボ 精神科訪問看護 障害者自立支援法	¥1,320
	Vol. 10#6 (2007) イレウスの看護を確認しよう	¥1,320
	Vol. 11#1 (2008) 地震・火災発生! そのときどうする	¥1,320
	Vol. 11#2 (2008) 「発達障害」だと考えると、こういうアプローチのほうが有	¥1,320
	Vol. 11#3 (2008) 鑑定入院で看護は何をする？/指定通院医療機関の	¥1,320
	Vol. 11#4 (2008) 私たちはなぜ寂しいのか/事件・事故と法的対処	¥1,320
	Vol. 11#5 (2008) ”ケアする人”が楽になるための「認知行動療法」入門	¥1,320
	Vol. 11#6 (2008) それでもあなたは胃洗浄しますか？/高次脳機能障害	¥1,320
	Vol. 12#1 (2009) CD付録「ふまねっと運動」実践集/ぼくの給与明細、全	¥1,320
	Vol. 12#2 (2009) 精神科の薬 基本の“き”	¥1,320
	Vol. 12#3 (2009) 自傷行為からグチへ/搬送の判断をするとき	¥1,320
	Vol. 12#4 (2009) 保護室がいっぱい	¥1,320
	Vol. 12#5 (2009) なぬ！？「経時記録」はいらないって？	¥1,320
	Vol. 12#6 (2009) 精神科訪問看護の疑問に答えます	¥1,320
	Vol. 13#1 (2010) 思春期病棟を「発達障害」の視点から作り直した病院が	¥1,320
	Vol. 13#2 (2010) 行動制限最小化への道／クリニックで働く／看護学生	¥1,320
	Vol. 13#3 (2010) 看護が行う認知行動療法 ストレス軽減で離職を防ぐ！	¥1,320
	Vol. 13#4 (2010) マンガ「ほ・ん・へ」で振り返る精神科で看護師をすると	¥1,320
	Vol. 13#5 (2010) 胴拘束が、ドウもあぶない 認定看護師になりたい！　実	¥1,320
	Vol. 13#6 (2010) 女って大変。当事者ならわかる、木村敏。	¥1,320
	Vol. 14#1 (2011) 看護・介護する人が楽になる身体の使い方	¥1,320
	Vol. 14#2 (2011) 主任はつらいよ、楽しいよ	¥1,320
	Vol. 14#3 (2011) 多飲症看護/院内研修/東日本大震災	¥1,320
	Vol. 14#4 (2011) 認知症、どうしたらいい？	¥1,320
	Vol. 14#5 (2011) 拘束時の心理的ケア	¥1,320
品切	Vol. 14#6 (2011) 死なせない 積極的にかかわる自殺予防	¥1,320
品切	Vol. 15#1 (2012) 経験値MAX 90歳の精神科訪問看護師／中井久夫×	¥1,320
品切	Vol. 15#2 (2012) 新しい「精神疾患」この十年／特集2 中井久夫×神田	¥1,320
	Vol. 15#3 (2012) スーパー救急で拘束ゼロ	¥1,320
	Vol. 15#4 (2012) 観察の視点にプラスしたい 身体疾患治療薬と向精神	¥1,320
品切	Vol. 15#5 (2012) クロザピンがある看護現場	¥1,320
品切	Vol. 15#6 (2012) 身体の異変を見逃さない	¥1,320
	Vol. 16#1 (2013) 心が折れない看護研究	¥1,320
	Vol. 16#2 (2013) 拒否する人には「快」より始めよ	¥1,320
	Vol. 16#3 (2013) 使える! 理論とモデル	¥1,320
	Vol. 16#4 (2013) 精神疾患の治療動向2013/看護のための性格論―病名	¥1,320
	Vol. 16#5 (2013) マインドフルネスと新世代の認知行動療法	¥1,320
	Vol. 16#6 (2013) 勤務表の作り方	¥1,320
	Vol. 17#1 (2014) 「処方薬依存」と「脱法ドラッグ」が大変なことになってお	¥1,320
品切	Vol. 17#2 (2014) 近森病院総合心療センターがチーム医療で取り組んだ	¥1,320
品切	Vol. 17#3 (2014) 新しい認知症ケアメソッド「ユマニチュード」	¥1,320
品切	Vol. 17#4 (2014) フィンランドで効果を上げる驚きの救急対応「オープン	¥1,320
品切	Vol. 17#5 (2014) 地域につなげる「退院サマリー」を提案します	¥1,320
品切	Vol. 17#6 (2014) 「これがユマニチュードだ! 」開発者イヴ・ジネスト氏の	¥1,320
	Vol. 18#1 (2015) あっと驚くACTです 「暮らしを支える」ってこういうことだ	¥1,430
品切	Vol. 18#2 (2015) 地域との「連携」がうまい組織は、こんな手法を使ってい	¥1,430
	Vol. 18#3 (2015) A子がWRAPを作ったら／自分の病院に合った、持続	¥1,430
品切	Vol. 18#4 (2015) ストレングス・マッピングシートをケアに使ってみて、どう	¥1,430
	Vol. 18#5 (2015) 学校の先生に聞きました。	¥1,430
	Vol. 18#6 (2015) 自分を傷つける行為が止まらない人	¥1,430
	Vol. 19#1 (2016) 行って見て聞いた　オープンダイアローグ発祥の地ケロ	¥1,430
	Vol. 19#2 (2016) いいのかなと不安に思いながらやってしまっている　腹	¥1,430
	Vol. 19#3 (2016) オープンダイアローグの“キモ”はリフレクティングにある	¥1,430
	Vol. 19#4 (2016) 精神科ならではのファーストエイド（応急処置）と、とっさ	¥1,430
	Vol. 19#5 (2016) オープンダイアローグの理論的主導者　ヤーコ・セイッ	¥1,430

	Vol. 19#6 (2016) 足の爪切りは患者さんの人生を変える		¥1,430
	Vol. 20#1 (2017) 自殺発生→これが対応心得だ		¥1,430
	Vol. 20#2 (2017) iPadだけで日々の業務が完了できる。訪問看護ステー		¥1,430
	Vol. 20#3 (2017) 打つ手なしの行きづまり事例が、当事者研究で変化す		¥1,430
	Vol. 20#4 (2017) “精神看護”という、一見外側からは見えにくい学問を、		¥1,430
	Vol. 20#5 (2017) 増え続ける身体拘束に歯止めを！／スプーン介助を変		¥1,430
	Vol. 20#6 (2017) 精神科ならではのファーストエイド（応急処置）と、とっさ		¥1,430
	Vol. 21#1 (2018) 横綱級ケースに遭遇！私ならこうアセスメントし、こう介		¥1,430
品切	Vol. 21#2 (2018) オープンダイアローグ 対話実践のガイドライン／精神		¥1,430
	Vol. 21#3 (2018) 委員会、このままでいいの？		¥1,430
品切	Vol. 21#4 (2018) MSEを使って看護記録を書く！／精神科で看取るため		¥1,430
	Vol. 21#5 (2018) 栄養は精神に直結しているのです／レポート 当事者に		¥1,430
	Vol. 21#6 (2018) 認知症高齢者へ、こんな対応の工夫により身体拘束を		¥1,430
品切	Vol. 22#1 (2019) オープンダイアローグと中動態の世界		¥1,540
	Vol. 22#2 (2019) 現場のどうしよう、困ったを解消する看護理論		¥1,540
	Vol. 22#3 (2019) 松沢病院が身体拘束最小化を実現した25の方法		¥1,540
	Vol. 22#4 (2019) メリデン版訪問家族支援！「家族」を本人と同等の支援		¥1,540
	Vol. 22#5 (2019) グラフィックレコーディングのインパクト		¥1,540
	Vol. 22#6 (2019) 琵琶湖病院で始まっているオープンダイアローグを取り		¥1,540
	Vol. 23#1 (2020年1月) [座談会]統合失調症から自閉症へ／特集 コミ		¥1,540
	Vol. 23#2 (2020年3月) 松蔭病院の身体合併症病棟が、「身体拘束をや		¥1,540
	Vol. 23#3 (2020年5月) 現場のどうしよう、困ったを解消する看護理論「退		¥1,540
	Vol. 23#4 (2020年7月) 新型コロナでどうなりましたか？／GAF尺度のつ		¥1,540
	Vol. 23#5 (2020年9月) 思春期のゲーム依存、ネット依存		¥1,540
	Vol. 23#6 (2020年11月) あなたが仕事に関連してオススメしたいSNSの人		¥1,540
	Vol. 24#1 (2021年1月) 「生活保護」の本丸に迫る		¥1,650
	Vol. 24#2 (2021年3月) ピアサポーターを活用すると、こんなに素晴らし		¥1,650
	Vol. 24#3 (2021年5月) 「身体拘束最小化」をしていきたいが、どうしても		¥1,650
	Vol. 24#4 (2021年7月) 私が大事にしている看護観／忘れられない患者		¥1,650
	Vol. 24#5 (2021年9月) そうだったのか！「幻聴・妄想」 私たちができる		¥1,650
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
900	**精神療法（季刊精神療法）（金剛出版）**		
	Vol. 10-17 (1984-1991) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 18-44 (1992-2018) 各1-6号	各号	¥2,200
901	**精神神経学雑誌（日本精神神経学会）**		
	Vol. 115-119 (2013-2017) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 115-119#特別号 (2013-2017)	各号	¥3,300
	Vol. 120#1,2,4,7-12 (2018)	各号	¥1,650
	Vol. 121#1-5 (2019)	各号	¥1,650
902	**精神身体医学（日本精神身体医学会）**		
	Vol. 1#1-4 (1961)	各号	¥1,760
	Vol. 2#1-4 (1962)	各号	¥1,760
	Vol. 3#1,2,4,5,6 (1963)	各号	¥1,760
	Vol. 4-8 (1964-1968) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 11-15 (1971-1975) 各1-6号	各号	¥1,760
	心身医学 Vol.16 (1976) に続く		

903	**精神障害とリハビリテーション（日本精神障害者リハビリテーション学会）**		
	Vol. 2#1-2 (1998)	各号	¥1,650
	Vol. 4#2 (2000)		¥1,650
	Vol. 5-6 (2001-2002) 各1-2号	各号	¥1,650
	Vol. 7#1 (2003)		¥1,650
	Vol. 8-9 (2004-2005) 各1-2号	各号	¥1,650
	Vol. 10#2 (2006)		¥1,650
	Vol. 11-13 (2007-2009) 各1-2号	各号	¥1,650
	Vol. 14#2 (2010); 15#1 (2011)	各号	¥1,650
	Vol. 16#1-2 (2012)	各号	¥1,650
	Vol. 17#1 (2013)		¥1,650
904	**生態学研究（八甲田山植物実験所）**		
	Vol. 1-20 (1935-1985/1985)	各巻	¥8,800
905	**生体医工学：日本エム・イー学会誌（日本生体医工学会）**		
	Vol. 41-43 (2003-2005) 各1-4号	各号	¥2,640
	Vol. 45#1-4 (2007)	各号	¥2,640
	Vol. 46#1-6 (2008)	各号	¥2,640
	Vol. 47#1-4,6 (2009)	各号	¥2,640
	Vol. 48#2-5 (2010)	各号	¥2,640

906 生体の科学（医学書院）

	Vol. 2-6 (1950/51-1954/55) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 7#1-9 (1955/56)	各号	¥1,760
	Vol. 8-20 (1957-1969) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 21#1-7 (1970)	各号	¥1,760
	Vol. 22-40 (1971-1989) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 41#1-3,5-6 (1990)	各号	¥1,760
	Vol. 41#4 (1990) 増大号 New Proteins		¥4,950
	Vol. 42#1-4,6 (1991)	各号	¥1,760
	Vol. 42#5 (1991) 増大号 神経系に作用する薬物マニュアル		¥4,950
	Vol. 43#1-4,6 (1992)	各号	¥1,760
	Vol. 43#5 (1992) 研究室で役に立つ細胞株		¥5,280
	Vol. 44#1-4,6 (1993)	各号	¥1,760
	Vol. 44#5 (1993) 増大号 現代医学・生物学の仮説・学説		¥4,950
	Vol. 45#1-4,6 (1994)	各号	¥1,760
品切	Vol. 45#5 (1994) 動物の行動機能テスト		¥4,950
	Vol. 46#1-4,6 (1995)	各号	¥1,760
	Vol. 46#5 (1995) 増大号 遺伝子・タンパク質のファミリー・スーパーファミリ		¥6,050
	Vol. 47#1 (1996) 神経科学の最前線		¥1,760
	Vol. 47#2 (1996) カルシウム動態と細胞機能		¥1,760
	Vol. 47#3 (1996) 細胞分化		¥1,760
	Vol. 47#4 (1996) エンドサイトーシス		¥1,760
	Vol. 47#5 (1996) 増大号 器官-その新しい視点		¥4,950
	Vol. 47#6 (1996) 老化		¥1,760
	Vol. 48#1 (1997) 21世紀の脳科学		¥1,760
	Vol. 48#2 (1997) 最近のMAPキナーゼ系		¥1,760
	Vol. 48#3 (1997) 開口分泌のメカニズムにおける新しい展開		¥1,760
	Vol. 48#4 (1997) マトリックス生物学の最前線		¥1,760
	Vol. 48#5 (1997) 増大号 受容体 1997		¥4,950
	Vol. 48#6 (1997) 軸索誘導		¥1,760
	Vol. 49#1 (1998) 言語の脳科学		¥1,760
	Vol. 49#2 (1998) 血管-新しい観点から		¥1,760
	Vol. 49#3 (1998) 幹細胞研究の新展開		¥1,760
	Vol. 49#4 (1998) プロテインキナーゼCの多様な機能		¥1,760
	Vol. 49#5 (1998) 増大号 神経系に作用する薬物マニュアル1998		¥4,950
	Vol. 49#6 (1998) 発生・分化とホメオボックス遺伝子		¥1,760
	Vol. 50#1 (1999)「座談会」脳を守る		¥1,760
	Vol. 50#2 (1999) リソソーム:最近の研究		¥1,760
	Vol. 50#3 (1999) 時間生物学の新たな展開		¥1,760
	Vol. 50#4 (1999)トランスポーターの構造と機能協関		¥1,760
	Vol. 50#5 (1999) 増大号 病気の分子細胞生物学		¥4,950
	Vol. 50#6 (1999) 細胞内輸送		¥1,760
	Vol. 51#1 (2000) 脳を守る21世紀生命科学の展望		¥1,760
	Vol. 51#2 (2000) 細胞極性の形成機序		¥1,760
	Vol. 51#3 (2000) 自然免疫における異物認識と排除の分子機構		¥1,760
	Vol. 51#4 (2000) 臓器（組織）とアポトーシス		¥1,760
	Vol. 51#5 (2000) 増大号 ノックアウトマウスリスト		¥4,950
	Vol. 51#6 (2000) 機械的刺激需要の分子機構と細胞応答		¥1,760
	Vol. 52#1 (2001) [座談会]脳を育む		¥1,760
	Vol. 52#2 (2001) 情報伝達物質としてのATP		¥1,760
	Vol. 52#3 (2001) 脳の発達に関与する分子機構		¥1,760
	Vol. 52#4 (2001) 骨格筋研究の新展開		¥1,760
	Vol. 52#5 (2001) 増大号 モチーフ・ドメインリスト		¥4,950
	Vol. 52#6 (2001) 血液脳関門研究の最近の進歩		¥1,760
	Vol. 53#1 (2002) 脳とこころ－21世紀の課題		¥1,760
	Vol. 53#2 (2002) RNA		¥1,760

	Vol. 53#3 (2002) 細胞質分裂	¥1,760
	Vol. 53#4 (2002) 一価イオンチャネル	¥1,760
	Vol. 53#5 (2002) 増大号 加齢の克服－21世紀の課題	¥4,950
	Vol. 53#6 (2002) ゲノム全解読とポストゲノムの問題点	¥1,760
	Vol. 54#1 (2003) 座談会生命のナノテクノロジー	¥1,760
	Vol. 54#2 (2003) 樹状突起	¥1,760
	Vol. 54#3 (2003) クロマチン	¥1,760
	Vol. 54#4 (2003) ラフトと細胞機能	¥1,760
	Vol. 54#5 (2003) 増大号 創薬ゲノミクス・創薬プロテオミクス・創薬インフ	¥4,950
	Vol. 54#6 (2003) オートファジー	¥1,760
	Vol. 55#1 (2004) ニューロンと脳	¥1,760
	Vol. 55#2 (2004) アダプタータンパク	¥1,760
	Vol. 55#3 (2004) 分子進化学の現在	¥1,760
	Vol. 55#4 (2004) 心筋研究の最前線	¥1,760
	Vol. 55#5 (2004) 増大号 生命科学のNew Key Word	¥4,950
	Vol. 55#6 (2004) 脳の深部を探る	¥1,760
	Vol. 56#1 (2005) 情動-喜びと恐れの脳の仕組み	¥1,760
	Vol. 56#2 (2005) 味覚のメカニズムに迫る	¥1,760
	Vol. 56#3 (2005) Naチャネル	¥1,760
	Vol. 56#4 (2005) 脳の遺伝子－どこでどのように働いているのか	¥1,760
	Vol. 56#5 (2005) 増大号 タンパク・遺伝子からみた分子病―新しく解明	¥4,950
	Vol. 56#6 (2005) 構造生物学の現在と今後の展開	¥1,760
	Vol. 57#1 (2006) こころと脳：とらえがたいものを科学する	¥1,760
	Vol. 57#2 (2006) 膜リサイクリング	¥1,760
	Vol. 57#3 (2006) ミエリン化の機構とその異常	¥1,760
	Vol. 57#4 (2006) 脳科学が求める先端技術	¥1,760
	Vol. 57#5 (2006) 増大特集　生物進化の分子マップ	¥4,950
	Vol. 57#6 (2006) 血管壁	¥1,760
	Vol. 58#1 (2007) 意識－脳科学からのアプローチ	¥1,760
	Vol. 58#2 (2007) シナプス後部構造の形成・機構と制御	¥1,760
	Vol. 58#3 (2007) 骨の形成と破壊	¥1,760
	Vol. 58#4 (2007) 嗅覚受容の分子メカニズム	¥1,760
	Vol. 58#5 (2007) 増大号 タンパク質間相互作用	¥4,950
品切	Vol. 58#6 (2007) グリケーション(糖化)	¥1,760
	Vol. 59#1 (2008) コンピュータと脳	¥1,760
	Vol. 59#2 (2008) 細胞外基質－研究の新たな展開	¥1,760
	Vol. 59#3 (2008) アディポゲネシス	¥1,760
	Vol. 59#4 (2008) 免疫学の最近の動向	¥1,760
	Vol. 59#5 (2008) 増大特集 現代医学・生物学の仮説・学説2008	¥4,950
	Vol. 59#6 (2008) mTORをめぐるシグナルタンパク	¥1,760
	Vol. 60#1 (2009) 遺伝子-脳回路-行動	¥1,760
	Vol. 60#2 (2009) 感染症の現代的課題	¥1,760
	Vol. 60#3 (2009) 脳と糖脂質	¥1,760
	Vol. 60#4 (2009) 睡眠と脳回路の可塑性	¥1,760
	Vol. 60#5 (2009) 伝達物質と受容体	¥4,950
	Vol. 60#6 (2009) ユビキチン化による生体機能の調節	¥1,760
	Vol. 61#1 (2010) 脳科学のモデル実験動物	¥1,760
	Vol. 61#2 (2010) 糖鎖のかかわる病気：発症機構，診断，治療に向けて	¥1,760
	Vol. 61#3 (2010) SNARE複合体-膜融合の機構	¥1,760
	Vol. 61#4 (2010) miRNA研究の最近の進歩	¥1,760
	Vol. 61#5 (2010) シナプスをめぐるシグナリング	¥4,950
	Vol. 61#6 (2010) 細胞死か腫瘍化かの選択	¥1,760
	Vol. 62#1 (2011) 摂食制御の分枝過程	¥1,760
	Vol. 62#2 (2011) 筋ジストロフィーの分子病態から治療へ	¥1,760
	Vol. 62#3 (2011) インフラマソーム	¥1,760
	Vol. 62#4 (2011) 小脳研究の課題	¥1,760
	Vol. 62#5 (2011) 細胞核-構造と機能	¥4,950

	Vol. 62#6 (2011) コピー数変異	¥1,760
	Vol. 63#1 (2012) 小脳研究の課題(2)	¥1,760
	Vol. 63#2 (2012) RNA干渉の実現化に向けて	¥1,760
	Vol. 63#3 (2012) 細胞極性の制御	¥1,760
	Vol. 63#4 (2012) 質感脳情報学への展望	¥1,760
	Vol. 63#5 (2012) 細胞の分子構造と機能―核以外の細胞小器官	¥4,950
	Vol. 63#6 (2012) リンパ管	¥1,760
	Vol. 64#1 (2013) 神経回路の計測と操作	¥1,760
	Vol. 64#2 (2013) 特殊な幹細胞としての骨格筋サテライト細胞	¥1,760
	Vol. 64#3 (2013) 細胞接着の制御	¥1,760
	Vol. 64#4 (2013) 予測と意思決定の神経科学	¥1,760
	Vol. 64#5 (2013) 増大特集 細胞表面受容体	¥4,950
	Vol. 64#6 (2013) 顕微鏡で物を見ることの新しい動き	¥1,760
	Vol. 65#1 (2014) 精神疾患の病理機構	¥1,760
	Vol. 65#2 (2014) 細胞の小数性と多様性に挑む-シングルセルアナリシス	¥1,760
	Vol. 65#3 (2014) 器官の発生と再生の基礎	¥1,760
	Vol. 65#4 (2014) 古典的代謝経路の新しい側面	¥1,760
	Vol. 65#5 (2014) 増大特集 生命動態システム科学	¥4,950
	Vol. 65#6 (2014) エピジェネティクスの今	¥1,760
品切	Vol. 66#1 (2015) 脳と心の謎はどこまで解けたか	¥1,760
	Vol. 66#2 (2015) 使える最新ケミカルバイオロジー	¥1,760
	Vol. 66#3 (2015) 進化と発生からみた生命科学	¥1,760
	Vol. 66#4 (2015) 新興・再興感染症と感染症対策	¥1,760
	Vol. 66#5 (2015) 増大 細胞シグナル操作法	¥4,950
	Vol. 66#6 (2015) グリア研究の最先端	¥1,760
	Vol. 67#1 (2016) 記憶ふたたび	¥1,760
	Vol. 67#2 (2016) 細胞の社会学―細胞間で繰り広げられる協調と競争	¥1,760
	Vol. 67#3 (2016) 脂質ワールド	¥1,760
	Vol. 67#4 (2016) 認知症・神経変性疾患の克服への挑戦	¥1,760
	Vol. 67#5 (2016) 増大特集 病態バイオマーカーの“いま”	¥4,950
	Vol. 67#6 (2016) 時間生物学の新展開	¥1,760
	Vol. 68#1 (2017) 大脳皮質ー成り立ちから機能へ	¥1,760
品切	Vol. 68#2 (2017) 細菌叢解析の光と影	¥1,760
	Vol. 68#3 (2017) 核内イベントの時空間制御	¥1,760
	Vol. 68#4 (2017) 血管制御系と疾患	¥1,760
	Vol. 68#5 (2017) 増大特集 細胞多様性解明に資する光技術－見て、動	¥4,950
	Vol. 68#6 (2017) 心臓の発生・再生・創生	¥1,760
	Vol. 69#1 (2018) 社会性と脳	¥1,760
	Vol. 69#2 (2018) 宇宙の極限環境から生命体の可塑性をさぐる	¥1,760
	Vol. 69#3 (2018) 生体膜のバイオロジー	¥1,760
	Vol. 69#4 (2018) いかに創薬を進めるか	¥1,760
	Vol. 69#5 (2018) 増大特集　タンパク質・核酸の分子修飾	¥4,950
	Vol. 69#6 (2018) 細胞高次機能をつかさどるオルガネラコミュニケーショ	¥1,760
	Vol. 70#1 (2019) 脳神経回路のダイナミクスから探る脳の発達・疾患・老	¥1,760
	Vol. 70#2 (2019) 免疫系を介したシステム連関：恒常性の維持と破綻	¥1,760
	Vol. 70#3 (2019) 免疫チェックポイント分子による生体機能制御	¥1,760
	Vol. 70#4 (2019) メカノバイオロジー	¥1,760
	Vol. 70#5 (2019) 増大特集　現代医学・生物学の先駆者たち	¥4,950
	Vol. 70#6 (2019) 科学と芸術の接点	¥1,760
	Vol. 71#1 (2020年2月) 睡眠の制御と機能	¥1,760
	Vol. 71#2 (2020年4月) ビッグデータ時代のゲノム医学	¥1,760
	Vol. 71#3 (2020年6月) スポーツ科学－2020オリンピック・パラリンピックに	¥1,760
	Vol. 71#4 (2020年8月) 細胞機能の構造生物学	¥1,760
	Vol. 71#5 (2020年10月) 増大特集　難病研究の進歩	¥4,950
	Vol. 71#6 (2020年12月) 新組織学シリーズⅠ：最新の皮膚科学	¥1,760
	Vol. 72#1 (2021年2月) 小脳研究の未来	¥1,760
	Vol. 72#2 (2021年4月) 組織幹細胞の共通性と特殊性	¥1,760

	Vol. 72#3 (2021年6月) 生物物理学の進歩－生命現象の定量的理解へ		¥1,760
	Vol. 72#4 (2021年8月) グローバル時代の新興再興感染症への科学的ア		¥1,760
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
907	**脊椎外科（日本脊椎外科学会）**		
	Vol. 11#1-2 (1997)	各号	¥2,750
	Vol. 12-17 (1998-2003)　各1-3号	各号	¥2,750
908	**脊椎・脊髄ジャーナル（三輪書店）**		
	Vol. 1#1-9 (1988)	各号	¥2,420
	Vol. 2-8 (1989-1995) 各1-12号	各号	¥2,420
	Vol. 5#11; 6#11; 7#11 (1992-1994)	各号	¥4,400
	Vol. 11-17,19-20 (1998-2007) 各1-12号	各号	¥2,420
	Vol. 11#3 (1998)		¥4,400
	Vol. 12#6 (1999)		¥5,500
	Vol. 23#3,7-9 (2010)	各号	¥2,530
909	**脊椎・脊髄神経手術手技（日本脊椎・脊髄神経手術手技学会）**		
	Vol. 4#1; 5#1 (2002-2003)	各号	¥3,300
910	**石油技術協会誌（石油技術協会）**		
	Vol. 55-71 (1990-2006) 各1-6号	各号	¥1,650
911	**繊維製品消費科学（日本繊維製品消費科学会）**		
	Vol. 51#1,3-12 (2010)	各号	¥1,650
	Vol. 52#1,3-12 (2011)	各号	¥1,650
	Vol. 53#1-12 (2012)	各号	¥1,650
	Vol. 54#1-12 (2013)	各号	¥1,650
	Vol. 54#1-8,10-12 (2014)	各号	¥1,650
	Vol. 56#1-4 (2015)	各号	¥1,650
912	**染色体（染色体学会）**		
	No. 1-4,68-100 (1946-1975)	各号	¥1,100
913	**染色体Ⅱ（染色体学会）**		
	No. 1-68 (1976-1992)	各号	¥1,650
	No. 69-80 (1993-1995)	各号	¥1,925
	No. 81-84 (1996)	各号	¥2,200
914	**雪氷（日本雪氷学会）**		
	Vol. 1-6 (1939-1944) 各1-12号	各号	¥2,200
	Vol. 7-32 (1945-1970) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 33-55 (1971-1993) 各1-4号	各号	¥2,200
915	**社会福祉学（日本社会福祉学会）**		
	No. 1-3,10,12-20 (1960-1979)	各号	¥2,200
	Vol. 21-43 (1980-2002/2003) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 44-46 (2003/2004-2005/2006) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 47-57 (2006/2007-2016/2017) 各1-4号	各号	¥2,200

916	**社会福祉研究（鉄道弘済会）**		
	No. 14-79 (1974-2000)	各号	¥2,200
	No. 80 (2001)		¥2,934
	No. 81-89 (2001-2004)	各号	¥2,200
	No. 90 (2004)		¥2,934
	No. 91-99 (2004-2007)	各号	¥2,200
	No. 100 (2007)		¥3,143
	No. 101-109 (2008-2010)	各号	¥2,200
	No. 110 (2011)		¥3,143
	No. 111-119 (2011-2014)	各号	¥2,200
	No. 120 (2014)		¥3,056
	No. 121-129 (2014-2017)	各号	¥2,200
	No. 131-134 (2017-2019)	各号	¥2,200
917	**社会学評論（日本社会学会）**		
	Vol. 55#217-65#259 (2004-2015) 各1-4号	各号	¥1,650
918	**社会保険旬報（社会保険研究所）**		
	No.2410-2445 (2010)	各号	¥770
919	**社会保障研究（社会保障研究所）**		
	Vol. 17,18,20-26,28,29,30,33-37 (1981/82-2001/02) 各1-4号	各号	¥2,750
920	**社会科教育研究**		
	No. 106-108 (2009)	各号	¥2,200
	No. 109-111 (2010)	各号	¥2,200
	No. 112-114 (2011)	各号	¥2,200
	No. 115-117 (2012)	各号	¥2,200
921	**社会経済史学（社会経済史学会）**		
	Vol. 41-66 (1975/76-2000/2001) 各1-6号	各号	¥1,914
922	**社会精神医学（星和書店）**		
	Vol. 1#1-2 (1978)	各号	¥2,200
	Vol. 2-15 (1979-1992) 各1-4号	各号	¥2,200
923	**社会心理学研究（日本社会心理学会）**		
	Vol. 1-5 (1985/1986-1990) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 6-30 (1990/1991-2014/2015) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 31#1 (2015)		¥2,200
924	**Shakespeare Studies（日本シェイクスピア協会）**		
	Vol. 7-35,37-43 (1968/1969-2005)	各巻	¥2,200
925	**写真工業（写真工業出版社）**		
	Vol. 1-60 (1952-2002)	各巻	¥13,200
926	**写真測量とリモートセンシング（日本写真測量学会）**		
	Vol. 29#2-6 (1990)	各号	¥2,200
	Vol. 30#1-6 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 31#1-6,30周年記念号 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 32-41 (1993-2004) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 45-49 (2006-2010) 各1-6号	各号	¥2,200
927	**資源環境対策（公害対策技術同友会）**		
	Vol. 40-44 (2004-2008) 各1月-12月号	各号	¥1,549

928	**歯科放射線（日本歯科放射線学会）**		
	Vol. 27#4 (1987)		¥2,200
	Vol. 28#2,3,4,増刊号 (1988)	各号	¥2,200
	Vol. 29-38 (1989-1998) 各1-4号,増刊号	各号	¥2,200
	Vol. 39#1,2,4,増刊号 (1999)	各号	¥2,200
	Vol. 40-43 (2000-2003) 各1-4号,増刊号	各号	¥2,200
	Vol. 44-46 (2004-2006) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 47-55 (2007-2015) 各1/2/3/4号の合本	各巻	¥5,500
	Vol. 56-60 (2016-2020) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 61#増刊号 (2021)		¥5,500
929	**歯科基礎医学会雑誌 Japanese Journal of Oral Biology（歯科基礎医学会）**		
	Vol. 1#1 (1959)		¥2,750
	Vol. 2-3 (1960-1961) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 4#1/2 (1962)		¥5,500
	Vol. 4#3 (1962)		¥2,750
	Vol. 5#1/2 (1963)		¥5,500
	Vol. 5#3 (1963)		¥2,750
	Vol. 6-9 (1964-1967) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 10-13 (1968-1971) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 14#1-4,supplement (1972)	各号	¥2,750
	Vol. 15-20 (1973-1978) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 21-27 (1979-1985) 各1-4号,supplement	各号	¥2,750
	Vol. 28-33 (1986-1991) 各1-6号,supplement	各号	¥2,750
	Vol. 34-35 (1992-1993) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 36-37 (1994-1995) 各1-6号,supplement	各号	¥2,750
	Vol. 38#1-3,6,supplement (1996)	各号	¥2,750
	Vol. 39#1-6,supplement (1997)	各号	¥2,750
	Vol. 40#3 (1998)		¥2,750
	Vol. 41-45 (1999-2003) 各1-6号	各号	¥2,750
	以降は、Journal of Oral Biosciences		
930	**歯科麻酔研究会誌（歯科麻酔研究会）**		
	Vol. 1-4 (1968-1971) 各1号	各号	¥3,300
	Vol. 5#1-2 (1972)	各号	¥3,300
931	**歯科理工学雑誌（歯科理工学会）**		
	Vol. 1#1-Vol. 23#61 (1960-1982)	各号	¥2,200
932	**歯科審美（日本歯科審美学会）**		
	Vol. 1-5 (1989-1993) 各1号	各号	¥5,500
	Vol. 6-34 (1993/1994-2021/2022) 各1-2号	各号	¥5,500
	Vol. 35#1 (2022)		¥5,500
	Global Esthetic Forum 2004 @ Nagoya Program and Abstracts (2004)		¥5,500
933	**歯科材料・器械（日本歯科理工学会）**		
	Vol. 1#1-4 (1982)	各号	¥3,300
	Vol. 2-28 (1983-2009) 各1-6号	各号	¥3,300
	Vo. 3#特別号A,B (1984)	各号	¥3,300
	Vol. 20#特別号 21世紀記念大会および創立20周年記念特集 (2001)		¥3,300
	特別号 No. 5-40 (1985-2002)	各号	¥3,300

934	**色材協会誌**		
	Vol. 49#1,2,4-6,11,12 (1976)	各号	¥1,100
	Vol. 50#1,3,4,5,8,11 (1977)	各号	¥1,100
	Vol. 51#1,4,5,7-12 (1978)	各号	¥1,100
	Vol. 52#1-3,6-8,10-12 (1979)	各号	¥1,100
	Vol. 53#1-3,5-10,12 (1980)	各号	¥1,100
	Vol. 54#1-12 (1981)	各号	¥1,100
	Vol. 55#1-6,8-12 (1982)	各号	¥1,100
	Vol. 56#1-8,11,12 (1983)	各号	¥1,100
	Vol. 57#1-12 (1984)	各号	¥1,100
	Vol. 58#1-3,5-12 (1985)	各号	¥1,100
	Vol. 59#1-12 (1986)	各号	¥1,100
	Vol. 60#1-8,10,11 (1987)	各号	¥1,100
	Vol. 61#1-4,6-12 (1988)	各号	¥1,100
	Vol. 62#1-12 (1989)	各号	¥1,100
	Vol. 63#1,3-12 (1990)	各号	¥1,100
	Vol. 64#1-11 (1991)	各号	¥1,100
	Vol. 65#1-9,11,12 (1992)	各号	¥1,100
	Vol. 66#1-10,12 (1993)	各号	¥1,100
	Vol. 67#1-10,12 (1994)	各号	¥1,100
	Vol. 68-69 (1995-1996) 各1-12号	各号	¥1,100
	Vol. 70#1-3,5-12 (1997)	各号	¥1,100
935	**四国公衆衛生学会雑誌 (四国公衆衛生学会)**		
	Vol. 44,46,48,50-52 (1999-2007) 各1号	各号	¥3,300
936	**新防衛論集 (防衛学会)**		
	Vol. 8#4 (1981); 9#1,2 (1981); 10#1-4(1982/83); 11#1-4 (1983/84)	各号	¥1,100
	Vol. 12#2-4 (1984/85); 13#1-4 (1985/86); 14#1-4 (1986/87)	各号	¥1,100
	Vol. 15#2-4 (1987/88); 16#1,3,4 (1988/89); 17#1,4 (1989/90)	各号	¥1,100
	Vol. 18#1-4 (1990/91); 19#1-3 (1991); 20#2-4 (1992/94)	各号	¥1,100
	Vol. 21#1-4 (1993/94); 22#1-3 (1994/95); 23#1-4 (1995/96)	各号	¥1,100
	Vol. 24#1-4 (1996/97); 25#1,2,4 (1997/98); 26#1-4 (1998/99)	各号	¥1,100
	Vol. 27#1-4 (1999/2000); 28#1-4 (2000/2001)	各号	¥1,100
937	**診断と治療 (診断と治療社)**		
	Vol. 88-98 (2000-2010) 各1-8,10-12号	各号	¥2,640
	Vol. 88-98 (2000-2010) 各No.9増刊号	各号	¥6,600
938	**神経治療学 (日本神経治療学会)**		
	Vol. 9-29 (1992-2012) 各1-6号	各号	¥2,420
939	**神経超音波医学 (日本脳神経超音波学会)**		
	Vol. 6,7,13-21 (1993-2008) 各1-3号	各号	¥3,300

940 神経研究の進歩（医学書院）

	Vol. 1-15 (1956/57-1971) 各1-4号	各号	¥6,160
	Vol. 16-21 (1972-1977) 各1-6号	各号	¥6,160
	Vol. 22#1-7 (1978)	各号	¥6,160
	Vol. 23-38 (1979-1994) 各1-6号	各号	¥6,160
	Vol. 39#1 (1995) 睡眠と睡眠障害		¥6,160
	Vol. 39#2 (1995) 大脳基底核		¥6,160
	Vol. 39#3 (1995) アテトーゼ'トジストニー(異常運動と異常姿勢)		¥6,160
	Vol. 39#4 (1995) 視覚認知のメカニズムとその障害		¥6,160
	Vol. 39#5 (1995) 脳の発生と分化		¥6,160
	Vol. 39#6 (1995) 第30回脳のシンポジウム		¥6,160
	Vol. 40#1 (1996) Motor Neuron Disease		¥6,160
	Vol. 40#2 (1996) 神経系細胞のアトポーシス		¥6,160
	Vol. 40#3 (1996) 眼球運動と注意		¥6,160
	Vol. 40#4 (1996) 脳循環と脳虚血		¥6,160
	Vol. 40#5 (1996) 神経機能の再建		¥6,160
	Vol. 40#6 (1996) 第31回脳のシンポジウム		¥6,160
	Vol. 41#1 (1997) アルツハイマー病研究最近の進歩		¥5,940
	Vol. 41#2 (1997) 神経免疫学の進歩		¥5,940
	Vol. 41#3 (1997) Triplet repeat diseases		¥5,940
	Vol. 41#4 (1997) 感情のメカニズムとその障害		¥5,940
	Vol. 41#5 (1997) 機能遺伝子のノックアウト		¥5,940
	Vol. 41#6 (1997) 第32回脳のシンポジウム		¥5,940
品切	Vol. 42#1 (1998) 手の運動の制御と学習		¥5,940
	Vol. 42#2 (1998) イオンチャンネルとレセプター-生理と病態-		¥5,940
	Vol. 42#3 (1998) 痛みのメカニズム		¥5,940
	Vol. 42#4 (1998) 脳とステロイドホルモン		¥5,940
	Vol. 42#5 (1998) 神経系と老化		¥5,940
	Vol. 42#6 (1998) 第33回脳のシンポジウム		¥5,940
	Vol. 43#1 (1999) 神経系感染症の進歩とその周辺		¥6,050
	Vol. 43#2 (1999) 活性酸素・窒素種と神経系		¥6,050
	Vol. 43#3 (1999) グリオーマ-最近の研究と治療		¥6,050
	Vol. 43#4 (1999) 高次脳機能マッピング		¥6,050
	Vol. 43#5 (1999) 味と匂いの神経機構		¥6,050
	Vol. 43#6 (1999) 第34回脳のシンポジウム		¥6,050
	Vol. 44#1 (2000) てんかん研究トピックス		¥6,050
	Vol. 44#2 (2000) ミオパチー研究最前線		¥6,050
	Vol. 44#3 (2000) 神経栄養因子研究の新しい展開		¥6,050
	Vol. 44#4 (2000) パーキンソン病最前線		¥6,050
	Vol. 44#5 (2000) 小脳		¥6,050
	Vol. 44#6 (2000) 第35回脳のシンポジウム		¥6,050
	Vol. 45#1 (2001) 神経系の遺伝子治療－その現状と展望		¥6,050
	Vol. 45#2 (2001) 記憶研究最近の進歩		¥6,050
	Vol. 45#3 (2001) 脳血管障害の臨床－最近のトピックス		¥6,050
	Vol. 45#4 (2001) 神経疾患の新しい治療		¥6,050
	Vol. 45#5 (2001) 生体時計と概日リズム		¥6,050
	Vol. 45#6 (2001) 第36回脳のシンポジウム		¥6,050
	Vol. 46#1 (2002) 聴覚神経科学の新しい展開		¥6,050
	Vol. 46#2 (2002) 神経幹細胞と再生移植治療		¥6,050
	Vol. 46#3 (2002) 頭痛・疼痛		¥6,050
	Vol. 46#4 (2002) グリアの生物科学		¥6,050
	Vol. 46#5 (2002) ポリグルタミン病の病態機序		¥6,050
	Vol. 47#1 (2003) プリオン病研究における最近の進歩		¥6,050
	Vol. 47#2 (2003) チャネロパチー		¥6,050
	Vol. 47#3 (2003) 神経内分泌学の最近の展開		¥6,050
	Vol. 47#4 (2003) Peripheral neuropathy：診療と研究の最近の進歩		¥6,050

	Vol. 47#5 (2003) 言語機能の脳内メカニズム		¥6,050
	Vol. 47#6 (2003) 第 38 回脳のシンポジウム		¥6,050
	Vol. 48#1 (2004) 蛋白質の品質管理と神経疾患		¥6,160
品切	Vol. 48#2 (2004) 知覚と認知の大脳メカニズム		¥6,160
	Vol. 48#3 (2004) 神経病理：最前線		¥6,160
	Vol. 48#4 (2004) 頭頂葉の新しい機能地図		¥6,160
	Vol. 48#5 (2004) ポストゲノム時代の神経疾患の分子遺伝学		¥6,160
	Vol. 48#6 (2004) 第39回脳のシンポジウム		¥6,160
	Vol. 49#1 (2005) 脳の発生分化と回路形成		¥6,160
	Vol. 49#2 (2005) 前庭機能とめまい		¥6,160
	Vol. 49#3 (2005) アルツハイマー病研究の最前線-基礎と臨床		¥6,160
品切	Vol. 49#4 (2005) 前頭前野機能の最前線-基礎から臨床まで		¥6,160
	Vol. 49#5 (2005) てんかん研究の新しい展開		¥6,160
	Vol. 49#6 (2005) 第40回脳のシンポジウム		¥6,160
	Vol. 50#1 (2006) 情動の脳科学		¥6,160
	Vol. 50#2 (2006) 脳浮腫研究の進歩-基礎と臨床		¥6,160
	Vol. 50#3 (2006) 脊髄小脳変性症研究の最近の進歩		¥6,160
	Vol. 50#4 (2006) 多発性硬化症研究・治療の現状2006		¥6,160
	Vol. 50#5 (2006) 精神疾患と知的発達障害の分子遺伝学		¥6,160
	Vol. 50#6 (2006) 第41回 脳のシンポジウム		¥6,160
941	**神経免疫学 Neuroimmunology（日本神経免疫学会）**		
	Vol. 7#1 (1999)		¥2,200
	Vol. 9#1 (2001)		¥2,200
	Vol. 11#2; 12#2; 13#1; 14#1 (2003-2006)	各号	¥2,200
	Vol. 15#1,2; 16#1 (2007-2008)	各号	¥2,200
	第22回日本神経免疫学会学術集会抄録集 (2010)		¥2,200
942	**神経内科（科学評論社）**		
	Vol. 66-79 (2007-2013) 各1-6号	各号	¥2,970
	Vol. 80-85 (2014-2016) 各1-6号	各号	¥3,300
943	**神経内科治療（神経内科治療研究会）**		
	Vol. 1#1,2 (1984)	各号	¥2,420
	Vol. 2-5 (1985-1988) 各1-4号	各号	¥2,420
	Vol. 6-8 (1989-1992) 各1-6号	各号	¥2,420
944	**神経精神薬理（星和書店）**		
	Vol. 1-19 (1979-1997) 各1-12号	各号	¥3,350
	Vol. 19#増刊号 (1997) ニューロトランスミッター・トゥディ		¥4,715
945	**神経心理学（日本神経心理学会）**		
	Vol. 1-2 (1985-1986) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 3-5 (1987-1989) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 6-24 (1990-2008) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 25#1,2 (2009)	各号	¥2,200
946	**新建築（新建築社）**		
	Vol. 55-69,79-80 (1980-2005) 各1-12月号	各号	¥2,200
947	**新建築. 住宅特集（新建築社）**		
	No. 45,47,50,51,55,61,62,64-156 (1990-1999)	各号	¥2,200
948	**鍼灸手技療法教育（あはき教育研究懇話会）**		
	Vol. 1-3 (2005-2007)	各号	¥2,200
949	**進歩する心臓研究**		
	Vol. 15-20 (1995-2000) 各1-2号	各号	¥1,650
950	**心理学評論（心理学評論刊行会）**		
	Vol. 1-14 (1957-1971) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 15-55 (1972-2012) 各1-2号	各号	¥2,750

951	**心理学ワールド Psychology world (日本心理学会)**		
	創刊準備号 (1998)		¥1,100
	No. 1-71 (1998-2015)	各号	¥1,100
952	**心理科学 (心理科学研究会)**		
	Vol. 1,9,12-17 (1977-1995) 各1-2号	各号	¥2,200
953	**心理臨床学研究 (日本心理臨床学会)**		
	Vol. 1-6 (1983/84-1988/89) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 7-11 (1989/90-1993/94) 各1-3号	各号	¥2,750
	Vol. 12-14 (1994/95-1996/97) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 15-34 (1997/98-2016/17) 各1-6号	各号	¥2,750
	Vol. 35#3 (2017)		¥2,750
	Vol. 37#1-6 (2019/2020)	各号	¥2,750
	Vol. 38#1-5 (2020)	各号	¥2,750
954	**心理臨床の広場 (日本心理臨床学会)**		
	Vol. 1-9 (2008/09-2016/17) 各1-2号	各号	¥1,100
	Vol. 11-12 (2018/19-2019/20) 各1-2号	各号	¥1,650
955	**診療情報管理 (日本診療情報管理学会)**		
	Vol. 21#1,3 (2009/2010)	各号	¥3,300
956	**診療録管理 (日本診療録管理学会)**		
	Vol. 13#2; 14#2,3; 15#1 (2001-2003)	各号	¥1,650
	Vol. 19#3; 20#1 (2008)	各号	¥3,300
957	**診療と新薬 (医事出版社)**		
	Vol. 37-47 (2000-2010) 各1-12号	各号	¥2,043
958	**震災予防 (震災予防協会)**		
	No. 184-187 (2002)	各号	¥2,200
	No. 188-193 (2003)	各号	¥2,200
	No. 194-196,198-199 (2004)	各号	¥2,200
	No. 200-205 (2005)	各号	¥2,200
	No. 206-210 (2006)	各号	¥2,200
	No. 213-215,217 (2007)	各号	¥2,200
	No. 218-223 (2008)	各号	¥2,200
	No. 224-229 (2009)	各号	¥2,200
	No. 230-231 (2010)	各号	¥2,200
959	**新生代の研究 (民主主義科学者協会地学団体研究部会札幌新生代研究会)**		
	No. 6,10-12,17-23,26-33 (1950-1961)	各号	¥2,200
960	**心身医学 (日本心身医学会)**		
	Vol. 16-25 (1976-1985) 各1-6号	各号	¥1,760
	Vol. 26-30 (1986-1990) 各1-7号	各号	¥1,760
	Vol. 31-41 (1991-2001) 各1-8号	各号	¥1,760
	Vol. 42-45 (2002-2005) 各1-12号	各号	¥1,760
	Vol. 46-57 (2006-2017) 各1-5,7-12号	各号	¥1,760
	Vol. 46-57 (2006-2016) 各6号	各号	¥2,096
	Vol. 58#1-8 (2018)	各号	¥1,760
961	**心身医療 Psychosomatic therapy (心身医療研究会)**		
	Vol. 1-10 (1989-1998) 各1-12号	各号	¥2,090
962	**身体教育医学研究**		
	Vol. 1#1 (2000) - 9#1 (2008)	各号	¥1,650
963	**心的トラウマ研究 : 兵庫県こころのケアセンター研究年報**		
	No. 1,2,4,5,6,7 (2005-2011)	各号	¥3,300
964	**新薬と臨床 (新薬と臨床社)**		
	Vol. 59-62 (2010-2013) 各1-12号	各号	¥1,760

965	**心臓（医事通信社）**		
	Vol. 32-42 (2000-2011) 各1-12号	各号	¥1,980
966	**心臓リハビリテーション（日本心臓リハビリテーション学会）**		
	Vol. 5-8,12,13 (2000-2008) 各1号	各号	¥2,420
	Vol. 15#2; 16#2; 17#1 (2010-2012)	各号	¥2,420
967	**思春期学（日本思春期学会）**		
	Vol. 1,3-12,14-29 (1983-2011) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 31#4 (2013)		¥2,200
	Vol. 32#4 (2014)		¥2,200
	Vol. 33#3,4 (2015)	各号	¥2,200
	Vol. 34#2 (2016)		¥2,200
968	**思春期青年期精神医学（日本思春期青年期精神医学会）**		
	Vol. 1-3,7-14,16,17,21-26 (1997-2017) 各1-2号	各号	¥2,750
969	**失語症研究：日本失語症研究会誌（日本失語症研究会）**		
	Vol. 1-22 (1981-2002) 各1-4号	各号	¥2,200
	※Vol. 23 (2003)～ →高次脳機能研究		
970	**質量分析総合討論会講演要旨集（日本質量分析学会）**		
	47回, 53回, 55回, 56回, 57回 (1999-2009)	各回	¥6,600
971	**自然災害科学（自然災害科学会）**		
	Vol. 2-5 (1983-1986) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 6-14 (1987-1995) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 15-30 (1996-2011) 各1-4号	各号	¥2,200
972	**静岡地学（静岡県地学会）**		
	No. 8-10,13-15,17-22,24,26-28,30-39,41,43-72,74-95,97-104 (1967-2	各号	¥2,200
973	**静岡大学地学研究報告（静岡大学地学教室）**		
	Vol. 1#1; 2#1,2; 3#1 (1967-1972)	各号	¥2,200
974	**静岡大学地球科学研究報告 Geoscience Reports of Shizuoka University（静岡大学理学部地球科学教室）**		
	No. 1-20,22,24,25,36,37 (1975-2010)	各号	¥3,300
975	**障害者問題研究（全国障害者問題研究会）**		
	Vol. 22#2 (1994)		¥2,750
	Vol. 24#4 (1997)		¥2,750
	Vol. 25#2,3,4 (1997/1998)	各号	¥2,750
	Vol. 27#3 (1999)		¥2,750
	Vol. 28#3 (2000)		¥2,750
	Vol. 29#3 (2001)		¥2,750
	Vol. 30#2 (2002)		¥2,750
	Vol. 31#2,3 (2003)	各号	¥2,750
	Vol. 32#3 (2004)		¥2,750
	Vol. 33#1-4 (2005/2006)	各号	¥2,750
	Vol. 36#1,3 (2008)	各号	¥2,750
	Vol. 37#1,2,4 (2009/2010)	各号	¥2,750
	Vol. 38#2 (2010)		¥2,750
	Vol. 39#1 (2011)		¥2,750
976	**障害者歯科（日本障害者歯科学会）**		
	Vol. 1-7 (1980-1986)　各1号	各号	¥3,300
	Vol. 8-14 (1987-1993)　各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 15-21 (1994-2000)　各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 19#Supplement (1998)		¥3,300
	Vol. 22-41 (2001-2020)　各1-4号	各号	¥3,300
	Vol. 42-43 (2021-2022) 1-3号	各号	¥3,300

977　**消費者教育（日本消費者教育学会）**

Vol. 25 (2005); 26 (2006); 30 (2010)　各号　¥3,300

978　消化器画像（医学書院）

	Vol. 1#1 (1999) 肝画像の最先端	¥2,860
品切	Vol. 1#2 (1999) 胆管癌の進展度診断	¥2,860
品切	Vol. 1#3 (1999) 膵癌の進展度診断	¥2,860
	Vol. 1#4 (1999) 肝転移-治療戦略と画像診断	¥2,860
品切	Vol. 1#5 (1999) 進行膵癌の手術適応-画像と治療	¥2,860
品切	Vol. 1#6 (1999) ts1浸潤性膵管癌の診断と治療成績	¥2,860
品切	Vol. 2#1 (2000) 早期胆膵癌-最新の画像診断と治療	¥2,860
品切	Vol. 2#2 (2000) 血流と肝画像	¥2,860
品切	Vol. 2#3 (2000) まれな膵腫瘍をめぐって	¥2,860
	Vol. 2#4 (2000) 胆石症NOW-画像診断と治療をめぐって	¥2,860
	Vol. 2#5 (2000) MRCPの有用性と限界	¥2,860
	Vol. 2#6 (2000) 超音波革命-ハーモニックイメージング	¥2,860
品切	Vol. 3#1 (2001) 肝細胞癌との鑑別を要する良性腫瘤-画像と病理	¥2,860
	Vol. 3#2 (2001) 十二指腸乳頭部腫瘍-診断と治療をめぐる最近の話題	¥2,860
	Vol. 3#3 (2001) 膵管内乳頭腫瘍と粘液性嚢胞腫瘍の鑑別	¥2,860
品切	Vol. 3#4 (2001) 画像で知る肝区域	¥2,860
	Vol. 3#5 (2001) 肝内胆管癌の肉眼分類と画像	¥2,860
	Vol. 3#6 (2001) 門脈圧亢進症の病態と治療－最近のトピックス	¥2,860
	Vol. 4#1 (2002) 自己免疫性膵炎とその周辺	¥2,860
	Vol. 4#2 (2002) 肝移植と画像－12年の成果と21世紀の展望	¥2,860
	Vol. 4#3 (2002) EUS・IDUSの最近の進歩	¥2,860
	Vol. 4#4 (2002) 肝細胞癌の病態と新しい治療戦略	¥2,860
	Vol. 4#5 (2002) 画像で迫る膵・胆道疾患の内視鏡治療―安全・適切な	¥2,860
	Vol. 4#6 (2002) 上腹部血管性病変―画像診断と治療選択	¥2,860
	Vol. 5#1 (2003) 肝嚢胞性病変－画像と病理	¥2,860
	Vol. 5#2 (2003) 膵・胆管合流異常の新たな展開―画像と病態	¥2,860
品切	Vol. 5#3 (2003) 外科が求める肝・胆道癌の術前画像	¥2,860
	Vol. 5#4 (2003) 稀な肝悪性腫瘍―画像と病理	¥2,860
	Vol. 5#5 (2003) 外科が求める膵腫瘍の術前画像	¥2,860
	Vol. 5#6 (2003) 肝胆膵の最新三次元画像	¥2,860
品切	Vol. 6#1 (2004) IPMT由来浸潤癌と通常型膵管癌の違い	¥2,970
	Vol. 6#2 (2004) 肝胆膵の救急画像	¥2,970
	Vol. 6#3 (2004) 肝門部胆管癌の進展度診断 画像でどこまでわかるか	¥2,970
	Vol. 6#4 (2004) 肝癌治療前後の画像	¥2,970
	Vol. 6#5 (2004) 急性膵炎―画像診断と治療選択	¥2,970
	Vol. 6#6 (2004) 包括医療と肝胆膵画像 検査の流れはどう変わる？	¥2,970
品切	Vol. 7#1 (2005) 膵・胆道系の神経内分泌腫瘍―画像診断と治療選択	¥2,970
	Vol. 7#2 (2005) 炎症性肝腫瘤―診断・病理と治療選択	¥2,970
	Vol. 7#3 (2005) 原発性硬化性胆管炎と自己免疫性膵炎の最前線	¥2,970
	Vol. 7#4 (2005) 肝転移―その特性からみた診断と治療	¥2,970
	Vol. 7#5 (2005) 進行膵癌への挑戦	¥2,970
	Vol. 7#6 (2005) 肝内胆管癌　up-to-date	¥2,970
	Vol. 8#1 (2006) 早期肝細胞癌の画像診断基準に迫る	¥3,080
	Vol. 8#2 (2006) いま胆嚢癌を見直す	¥3,080
	Vol. 8#3 (2006) 肝区域の新しい見方	¥3,080
	Vol. 8#4 (2006) 長期生存膵管癌の臨床と画像	¥3,080
	Vol. 8#5 (2006) アルコール性肝障害における結節性病変-画像と病理	¥3,080
	Vol. 8#6 (2006) 膵・胆道周囲の腫瘤性病変-後腹膜を中心に	¥3,080
	Vol. 9#1 (2007) 膵腺房細胞癌の診断と治療	¥3,080
	Vol. 9#2 (2007) 肝区域性・領域性異常の画像と病態	¥3,080
	Vol. 9#3 (2007) 粘液産生胆管腫瘍―その疾患概念は？	¥3,080
	Vol. 9#4 (2007) IPMNと通常型膵管癌の合併は稀か？	¥3,080
	Vol. 9#5 (2007) 新しい超音波造影剤が与えるインパクト	¥3,080
	Vol. 9#6 (2007) PETは肝胆膵領域の画像診断を変えたか？	¥3,080
	※Vol. 10#1 (2008)→肝胆膵画像	

979	**消化器外科 (へるす出版)**		
	Vol. 27#1-5,7-13 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 27#6 (2004) 増刊号		¥8,800
	Vol. 28-29 (2005-2006) 各1-4,6-13号	各号	¥2,420
	Vol. 28#5 (2005) 増刊号		¥9,460
	Vol. 29#5 (2006) 増刊号		¥9,460
	Vol. 30#1-5,7-13 (2007)	各号	¥2,420
	Vol. 30#6 (2007) 増刊号		¥9,460
	Vol. 31-32 (2008-2009) 各1-4,6-13号	各号	¥2,420
	Vol. 31#5 (2008) 増刊号		¥9,460
	Vol. 32#5 (2009) 増刊号		¥9,460
	Vol. 33#1-4,6-13 (2010)	各号	¥2,640
	Vol. 33#5 (2010) 増刊号		¥9,460
	Vol. 34#1-5,7-13 (2011)	各号	¥2,640
	Vol. 35-38 (2012-2015) 各1-4,6-13号	各号	¥2,640
980	**消化器外科ナーシング (メディカ出版)**		
	Vol. 2#2-6 (1997)	各号	¥1,980
	Vol. 4#1-12 (1999)	各号	¥1,980
	Vol. 5#1-4,6-11,13 (2000)	各号	¥1,980
	Vol. 6#1-8,10-12 (2001)	各号	¥1,980
	Vol. 7#1-8 (2002)	各号	¥1,980
	Vol. 7#春季増刊号 (2002)		¥4,400
	Vol. 9#5 (2004)		¥1,980
	Vol. 10#2,3,7 (2005)		¥1,980
	Vol. 16#1,3 (2011)	各号	¥1,980

981	**消化器内視鏡（東京医学社）**		
	Vol. 12#2,3 (2000)	各号	¥3,133
	Vol. 13#1,2,5,6,8,9,10 (2001)	各号	¥3,133
	Vol. 13#3,4,11 (2001) 増大号	各号	¥4,400
	Vol. 14#1-8,11,12 (2002)	各号	¥3,133
	Vol. 14#9 (2002) 増大号		¥6,600
	Vol. 14#10 (2002) 増大号		¥3,850
	Vol. 15#1,3,5-9,11,12 (2003)	各号	¥3,133
	Vol. 15#2 (2003) 増大号		¥6,600
	Vol. 15#4 (2003)		¥3,772
	Vol. 15#10 (2003) 増大号		¥6,160
	Vol. 16#1,2,4,5,7-12 (2004)	各号	¥3,133
	Vol. 16#3,6 (2004) 増大号	各号	¥5,940
	Vol. 17#1-5,7,9,11,12 (2005)	各号	¥3,133
	Vol. 17#6 (2005) 増大号		¥6,600
	Vol. 17#8 (2005) 増大号		¥4,819
	Vol. 17#10 (2005) 増大号		¥7,700
	Vol. 18#1-4,6-9,11,12 (2006)		¥3,185
	Vol. 18#5 (2006) 増大号		¥6,076
	Vol. 18#10 (2006) 増大号		¥4,819
	Vol. 19#1,2,4,5,6,7,8,10,1112 (2007)	各号	¥3,119
	Vol. 19#3,9 (2007) 増大号	各号	¥5,447
	Vol. 20#1-3,5,7,9-12 (2008)	各号	¥3,205
	Vol. 20#4 (2008) 増大号		¥4,819
	Vol. 20#6,8 (2008) 増大号	各号	¥5,447
	Vol. 21#1,5-8,10-12 (2009)	各号	¥3,205
	Vol. 21#2 (2009) 増大号		¥3,876
	Vol. 21#3,4 (2009) 増大号	各号	¥4,400
	Vol. 21#9 (2009) 増大号		¥5,447
	Vol. 22#1-3,5,6,10-12 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 22#4 (2010) 増大号		¥6,600
	Vol. 22#7 (2010) 増大号		¥4,400
	Vol. 22#8 (2010) 増大号		¥3,850
	Vol. 22#9 (2010) 増大号		¥5,500
	Vol. 23#1,3,5-8,10 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 23#2,4,9 (2011) 増大号	各号	¥4,400
	Vol. 23#11 (2011) 増大号		¥6,050
	Vol. 23#12 (2011) 増大号		¥3,850
	Vol. 24#1,2,6-8,10-12 (2012)	各号	¥3,300
	Vol. 24#4 (2012) 増大号		¥4,950
	Vol. 24#5 (2012) 増大号		¥6,050
	Vol. 24#9 (2012) 増大号		¥5,500
	Vol. 25#1,3-7,10-12 (2013)	各号	¥3,300
	Vol. 25#2 (2013) 増大号		¥4,400
	Vol. 25#8 (2013) 増大号		¥5,500
	Vol. 25#9 (2013) 増大号		¥6,600
982	**消化器心身医学（消化器心身医学研究会）**		
	Vol. 2-9,12,13 (1995-2006) 各1号	各号	¥1,870
	Vol. 16,18,19 (2009-2012) 各1号	各号	¥3,300
983	**消化性潰瘍 臨床と基礎（消化性潰瘍-臨床と基礎編集委員会）**		
	Vol. 15#2 (1996)		¥3,300
	Vol. 16#1,2 (1997)	各号	¥3,300
	Vol. 17#1 (1998)		¥3,300
	Vol. 18#1 (1999)		¥3,300

984	**植物学雑誌（東京植物学会編集所）**		
	Vol. 2-10 (1878-1886)	各巻	¥19,800
	Vol. 13,16,17,20,23,25-30,33 (1888-1919) 各1-12号	各号	¥1,650
	Vol. 42-105 (1928-1992) 各1-4号	各号	¥1,650
985	**植物研究雑誌（津村研究所）**		
	Vol. 1-56 (1916/18-1981)	各巻	¥9,900
	Vol. 64-73 (1989-1998)	各巻	¥7,920
986	**植物の化学調節（植物化学調節学会）**		
	Vol. 1-35 (1966-2000) 各1-2号	各号	¥3,300
987	**植物の生長調節（植物化学調節学会）**		
	Vol. 36-41 (2001-2006) 各1-2号	各号	¥4,400
988	**植物組織培養（日本植物組織培養学会）**		
	Vol. 3-5 (1986-1988) 各1-2号	各号	¥3,850
	Vol. 6-7,9-10 (1989-1990,1992-1993) 各1-3号	各号	¥3,850
	Vol. 8#1,3 (1991)	各号	¥3,850
989	**食品衛生学雑誌（日本食品衛生学会）**		
	Vol. 31-47 (1990-2006) 各1-6号	各号	¥4,400
990	**食品衛生研究（日本食品衛生協会）**		
	Vol. 50-53 (2000-2003) 各1-12号	各号	¥880
991	**植生学会誌 Vegetation Science（植生学会）**		
	Vol. 13-28 (1996-2011) 各1-2号	各号	¥2,200
992	**植生情報 Vegetation Science News（植生学会）**		
	No. 1-12 (1997-2008)	各号	¥2,200
993	**照明学会誌（照明学会）**		
	Vol. 84-89 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥1,100
994	**小児外科（東京医学社）**		
	Vol. 32-41 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥2,913
995	**小児保健研究（日本小児保健協会）**		
	Vol. 14-16,19-30 (1955-1971/1972) 各1-6号	各号	¥2,200
996	**小児科（金原出版）**		
	Vol. 46-51 (2005-2010) 各1-13号	各号	¥2,750
	Vol. 46-51 (2005-2010) 各増大号	各号	¥4,840
	Vol. 46-51 (2005-2010) 各増刊号	各号	¥7,700
997	**小児看護（へるす出版）**		
	Vol. 27-32 (2004-2009) 各1-13号	各号	¥1,320
	Vol. 27-32 (2004-2009) 各増刊号	各号	¥2,640
	Vol. 33-35 (2010-2012) 各1-13号	各号	¥1,540
	Vol. 33-35 (2010-2012) 各増刊号	各号	¥2,860
998	**小児科臨床（日本小児医事出版部）**		
	Vol. 57-62 (2004-2009) 各1-12号	各号	¥2,530
	Vol. 57-62 (2004-2009) 各特集号	各号	¥4,840
	Vol. 57-62 (2004-2009) 各増刊号	各号	¥6,490
999	**小児科診療（診断と治療社）**		
	Vol. 67-73 (2004-2010) 各1-12号	各号	¥2,750
	Vol. 67-73 (2004-2010) 各増大号	各号	¥8,250
	Vol. 67-73 (2004-2010) 各増刊号	各号	¥10,450

1000	**小児内科 (東京医学社)**		
	Vol. 36#1,7 (2004)	各号	¥4,975
	Vol. 36#2-6,8-12 (2004)	各号	¥2,745
	Vol. 37#1-11 (2005)	各号	¥2,745
	Vol. 37#12 (2005)		¥3,625
	Vol. 37#増刊号 (2005)		¥11,000
	Vol. 38#1,4,6,7,9,11,12 (2006)	各号	¥2,745
	Vol. 38#2 (2006)		¥5,762
	Vol. 38#3 (2006)		¥3,436
	Vol. 38#8 (2006)		¥4,715
	Vol. 38#増刊号 (2006)		¥12,572
1001	**小児リウマチ Journal of Clinical Pediatric Rheumatology (日本小児リウマチ学会)**		
	Vol. 1#1 (2008)		¥2,200
	Vol. 2#1 (2010)		¥2,200
	Vol. 3#1,2 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 4#1 (2013)		¥2,200
1002	**小児歯科学雑誌 (日本小児歯科学会)**		
	Vol. 20-29 (1982-1991) 各1-4号	各号	¥2,000
	Vol. 30-47 (1992-2009) 各1-5号	各号	¥2,000
	Vol. 48#1-6 (2010)	各号	¥2,000
	Vol. 49#1-5 (2011)	各号	¥2,000
	Vol. 50#1-5,50周年記念号 (2012)	各号	¥2,000
	Vol. 51-57 (2013-2019) 各1-4号	各号	¥2,000
	Vol. 58#1-3,地方会抄録号,大会抄録(誌上開催)号 (2020)	各号	¥2,000
1003	**商店建築 (商店建築社)**		
	Vol. 49＃1,9,11,12 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 50#1,2,3,4,11(2005)	各号	¥2,200
	Vol. 51#5 (2006)		¥2,200
	Vol. 52#6,7,9,10,12 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 53#1,2,3,5,6,7,9,11 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 54#1-3,7-12 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 55#1-12 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 56#1-12 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 57#1,2,4-12 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 59#1-12 (2014)	各号	¥2,200
	Vol. 60#1-12 (2015)	各号	¥2,200
	Vol. 61#1-7,9 (2016)	各号	¥2,200
1004	**昭和学士会雑誌 (昭和大学学士会)**		
	Vol. 73#1-2 (2013)	各号	¥2,200
1005	**昭和医学会雑誌 (昭和大学・昭和医学会)**		
	Vol. 68#4-6 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 69#1-6 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 70#1-6 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 71#1-6 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 72#1-6 (2012)	各号	¥2,200
1006	**Showa University Journal of Medical Sciences (昭和大学・昭和医学会・昭和大学学士会)**		
	Vol. 22#4 (2010)		¥2,200
	Vol. 23#1-4 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 24#1-4 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 25#1 (2013)		¥2,200

1007	**昭和前期文芸・同人雑誌集成（国立国会図書館所蔵）**		
	完全復刻版　全35巻　別巻・索引1巻		¥385,000
	不同調　大正14年7月～昭和3年12月		
	手帖　昭和2年3月～11月／終刊		
	大調和　昭和2年4月～昭和3年10月／終刊		
	創作月刊　昭和3年2月～昭和4年5月／終刊		
	左翼芸術　昭和3年5月　創刊号／終刊		
	星雲　昭和6年1月～9月		
	文学クオタリィ　昭和7年2月，6月／終刊		
	重光　昭和7年11月～昭和9年10月／終刊		
	人民文庫　昭和11年3月～昭和13年1月／終刊		
	赤門文学　昭和16年12月～昭和19年2月／終刊		
1008	**生薬学雑誌（日本生薬学会）**		
	Vol. 1-48 (1947-1994) 各1-4号	各号	¥2,200
1009	**手術（金原出版）**		
	Vol. 58-69 (2004-2015) 通常号	各号	¥2,970
	Vol. 58-65 (2004-2015) 臨時増刊号	各号	¥8,250
	Vol. 58-65 (2004-2015) 増大号	各号	¥4,840
1010	**周産期医学（東京医学社）**		
	Vol. 14-37 (1984-2007) 各1-12号	各号	¥2,860
	Vol. 14-37 (1984-2007) 各増刊号	各号	¥4,840
1011	**腫瘍内科 Clinical Oncology（科学評論社）**		
	Vol. 15-18 (2015-2016) 各1-6号	各号	¥3,300
1012	**Skin Surgery（日本臨床皮膚外科学会）**		
	Vol. 17#1-3 (2008)	各号	¥5,500
	Vol. 18#1-3 (2009)	各号	¥5,500
	Vol. 19#1 (2010)		¥5,500
1013	**ソーシャルワーク研究（ソーシャルワーク研究所 相川書房）**		
	Vol. 1-42 (1975-2016/2017) 各1-4号	各号	¥1,320
	Vol. 43#1,2 (2017/2018)	各号	¥1,320
1014	**相談学研究（日本相談学会）**		
	Vol. 1-19 (1968-1986/1987) 各1-2号	各号	¥2,200
	※Vol. 20#1 (1988)→カウンセリング研究（日本カウンセリング学会）		
1015	**総合病院精神医学（日本総合病院精神医学会事務局）**		
	Vol. 1#1 (1989)		¥2,750
	Vol. 2-3 (1990-1991) 各1-2号	各号	¥2,750
	Vol. 4-15 (1992-2003) 各1-2号,Supplement	各号	¥2,750
	Vol. 16-20 (2004-2008) 各1-3号,Supplement	各号	¥2,750
	Vol. 21-28 (2009-2016) 各1-4号,Supplement	各号	¥2,750
	Vol. 29#1 (2017)		¥2,750
1016	**総合看護（綜合看護）（現代社）**		
	Vol. 40#4 (2005)		¥1,247
	Vol. 41-48 (2006-2013) 各1-4号	各号	¥1,247

1017　総合リハビリテーション（医学書院）

Vol. 1-18 (1973-1990) 各1-12号	各号	¥2,310
Vol. 19#1-3,5-12 (1991)	各号	¥2,310
Vol. 19#4 (1991) 増大特集 老年者とリハビリテーション		¥6,050
Vol. 20-22 (1992-1994) 各1-12号	各号	¥2,310
Vol. 23#1 (1995) 理学療法-その客観的評価と作用機序		¥2,255
Vol. 23#2 (1995) 福祉の街づくり		¥2,255
Vol. 23#3 (1995) リハビリテーションにおける呼吸循環系		¥2,255
Vol. 23#4 (1995) リハビリテーション・スタッフのトピックス		¥2,255
Vol. 23#5 (1995) 慢性関節リウマチ-外科治療とその後療法		¥2,255
Vol. 23#6 (1995) 脳卒中患者の職業復帰		¥2,255
Vol. 23#7 (1995) 進行性疾患とリハビリテーション		¥2,255
Vol. 23#8 (1995) 患者家族の障害受容と問題		¥2,255
Vol. 23#9 (1995) 障害児者の口腔機能とケア		¥2,255
Vol. 23#10 (1995) 障害者・高齢者と性の問題		¥2,255
Vol. 23#11 (1995) 下腿義足		¥2,255
Vol. 23#12 (1995) 脳卒中の急性期治療		¥2,255
Vol. 24#1 (1996) リハビリテーションと情報		¥2,255
Vol. 24#2 (1996) リハビリテーション医学の基礎研究:神経・筋系		¥2,255
Vol. 24#3 (1996) リハビリテーションにおける電気刺激法		¥2,255
Vol. 24#4 (1996) リハビリテーション・システム		¥2,255
Vol. 24#5 (1996) リハビリテーションにおける電気生理学		¥2,255
Vol. 24#6 (1996) 多発性脳梗塞のリハビリテーション		¥2,255
Vol. 24#7 (1996) 精神障害者のリハビリテーション		¥2,255
Vol. 24#8 (1996) 姿勢保持のアプローチ		¥2,255
Vol. 24#9 (1996) 腰部脊柱管狭窄症		¥2,255
Vol. 24#10 (1996) 障害学Update		¥2,750
Vol. 24#11 (1996) 随意運動とその障害		¥2,255
Vol. 24#12 (1996) 脳卒中の機能障害-評価を中心に		¥2,255
Vol. 25#1 (1997) 装具療法再考		¥2,200
Vol. 25#2 (1997) 内科疾患と運動療法		¥2,200
Vol. 25#3 (1997) 不随意運動		¥2,200
Vol. 25#4 (1997) リハビリテーション医学の基礎-骨・関節系		¥2,200
Vol. 25#5 (1997) 痴呆のリハビリテーション		¥2,200
Vol. 25#6 (1997) 学習機能とリハビリテーション		¥2,200
Vol. 25#7 (1997) 慢性関節リウマチのリハビリテーション		¥2,200
Vol. 25#8 (1997) 中途視覚・聴覚障害のリハビリテーション		¥2,200
Vol. 25#9 (1997) 運動と健康		¥2,200
Vol. 25#10 (1997) 中枢神経障害のリハビリテーション		¥6,050
Vol. 25#11 (1997) リハビリテーションとpharmacology		¥2,200
Vol. 25#12 (1997) 脳血管障害者と地域生活		¥2,200
Vol. 26#1 (1998) 大腿切断と義足の現状		¥2,200
Vol. 26#2 (1998) 末梢神経障害のリハビリテーション		¥2,200
Vol. 26#3 (1998) リハビリテーションと医療・保健・福祉-経済的側面..		¥2,200
Vol. 26#4 (1998) 脳性麻痺の二次障害		¥2,200
Vol. 26#5 (1998) リハビリテーション医学の基礎-体力		¥2,200
Vol. 26#6 (1998) 前頭葉障害とリハビリテーション		¥2,200
Vol. 26#7 (1998) 骨折とリハビリテーション		¥2,200
Vol. 26#8 (1998) 痛みへの対応		¥2,200
Vol. 26#9 (1998) 平衡機能障害		¥2,200
Vol. 26#10 (1998) 社会リハビリテーションの実践		¥2,200
Vol. 26#11 (1998) 歩行障害Update		¥2,200
Vol. 26#12 (1998) 慢性期脳卒中の機能維持のために		¥2,200
Vol. 27#1 (1999) スポーツ医学-最近の話題		¥2,200
Vol. 27#2 (1999) 運動の効果とその理論		¥2,200
Vol. 27#3 (1999) 訪問看護とリハビリテーション		¥2,200
Vol. 27#4 (1999) リハビリテーション専門職種の現状と問題点		¥2,200

Vol. 27#5 (1999) 小児のリハビリテーション	¥2,200
Vol. 27#6 (1999) 脳卒中治療-最近の話題	¥2,200
Vol. 27#7 (1999) 関節拘縮と治療	¥2,200
Vol. 27#8 (1999) リハビリテーション医学の基礎-運動生理学	¥2,200
Vol. 27#9 (1999) 福祉用具と供給システム	¥2,200
Vol. 27#10 (1999) 運動失調	¥2,200
Vol. 27#11 (1999) 表面筋電図による動作解析	¥2,200
Vol. 27#12 (1999) 脳卒中の歩行障害	¥2,200
Vol. 28#1 (2000) 介護保険とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 28#2 (2000) 脳外傷のリハビリテーション	¥2,255
Vol. 28#3 (2000) リハビリテーションにおける治療法Update	¥2,255
Vol. 28#4 (2000) 不全頸髄損傷とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 28#5 (2000) 摂食・嚥下障害	¥2,255
Vol. 28#6 (2000) リハビリテーション医学の基礎-神経生理学..	¥2,255
Vol. 28#7 (2000) 職業リハビリテーションの近未来-多様な就労	¥2,255
Vol. 28#8 (2000) 整形外科治療-最近の進歩	¥2,255
Vol. 28#9 (2000) リハビリテーションの効果	¥2,255
Vol. 28#10 (2000) 排尿・排便障害とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 28#11 (2000) リハビリテーションにおける精神科的対応	¥2,255
Vol. 28#12 (2000) 脳卒中の上肢障害	¥2,255
Vol. 28#13 (2000) 増刊号 総目次・著者索引(第1巻-28巻)CD附	¥3,850
Vol. 29#1 (2001) 半側空間無視	¥2,255
Vol. 29#2 (2001) 身体障害者と高齢化	¥2,255
Vol. 29#3 (2001) 下肢骨関節症の最近の治療	¥2,255
Vol. 29#4 (2001) 痙性麻痺の治療 update	¥2,255
Vol. 29#5 (2001) リハビリテーションにおけるインフォームド・コンセント	¥2,255
Vol. 29#6 (2001) リハビリテーション工学の最近の進歩	¥2,255
Vol. 29#7 (2001) リハビリテーションにおけるリスクへの対応	¥2,255
Vol. 29#8 (2001) リハビリテーションにおけるQOL	¥2,255
Vol. 29#9 (2001) 脳性麻痺-最近の話題	¥2,255
Vol. 29#10 (2001) リハビリテーション医学におけるEBM-治療効果の・・	¥2,255
Vol. 29#11 (2001) 神経難病の在宅リハビリテーション	¥2,255
Vol. 29#12 (2001) 脳卒中の機能障害	¥2,255
Vol. 30#1 (2002) 精神障害者のリハビリテーション	¥2,255
Vol. 30#2 (2002) 廃用性筋萎縮を解明する	¥2,255
Vol. 30#3 (2002) 脊髄損傷－最近の話題	¥2,255
Vol. 30#4 (2002) 記憶障害とリハビリテーション－何を評価し，どのように	¥2,255
Vol. 30#5 (2002) リハビリテーション医学教育の新しいうねり	¥2,255
Vol. 30#6 (2002) リハビリテーション各専門領域の国際動向	¥2,255
Vol. 30#7 (2002) 体幹機能の評価と訓練	¥2,255
Vol. 30#8 (2002) 感覚障害のリハビリテーションの現状	¥2,255
Vol. 30#9 (2002) 慢性期脳卒中のリハビリテーション―現状と問題点	¥2,255
Vol. 30#10 (2002) 障害者と腰痛	¥2,255
Vol. 30#11 (2002) 増大号 新・リハビリテーション技術	¥6,050
Vol. 30#12 (2002) 障害者ケアマネジメント	¥2,255
Vol. 31#1 (2003) リハビリテーションこれまでの10年これからの10年	¥2,255
Vol. 31#2 (2003) 脳外傷の障害評価	¥2,255
Vol. 31#3 (2003) 地域リハビリテーションの現在	¥2,255
Vol. 31#4 (2003) リハビリテーション関連工学の最前線	¥2,255
Vol. 31#5 (2003) 神経因性疼痛	¥2,255
Vol. 31#6 (2003) リハビリテーション医療の費用と効果	¥2,255
Vol. 31#7 (2003) 生活習慣病と運動療法	¥2,255
Vol. 31#8 (2003) 障害と体力	¥2,255
Vol. 31#9 (2003) 障害受容における相互作用	¥2,255
Vol. 31#10 (2003) 整形外科における術後リハビリテーションの日米(欧)	¥2,255
Vol. 31#11 (2003) 社会福祉の動向とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 31#12 (2003) 片麻痺の随伴障害	¥2,255

Vol. 32#1 (2004) リハビリテーション医学における疫学	¥2,255
Vol. 32#2 (2004) 呼吸リハビリテーション	¥2,255
Vol. 32#3 (2004) 転倒の予防とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 32#4 (2004) 医療改革時代におけるリハビリテーション	¥2,255
Vol. 32#5 (2004) 各種疾患における最近の帰結研究	¥2,255
Vol. 32#6 (2004) 褥瘡最前線	¥2,255
Vol. 32#7 (2004) リハビリテーションと臨床神経生理学	¥2,255
Vol. 32#8 (2004) 関節リウマチ―最新の知見とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 32#9 (2004) 歩行訓練	¥2,255
Vol. 32#10 (2004) 骨折―最近の話題	¥2,255
Vol. 32#11 (2004) 福祉施設とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 32#12 (2004) 脳卒中―社会生活を支援する	¥2,255
Vol. 33#1 (2005) 介護保険改革をめぐって	¥2,255
Vol. 33#2 (2005) 排便障害とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 33#3 (2005) 高齢切断と義肢	¥2,255
Vol. 33#4 (2005) リスクマネジメント	¥2,255
Vol. 33#5 (2005) 手の外科の最近の進歩	¥2,255
Vol. 33#6 (2005) 精神疾患のリハビリテーション	¥2,255
Vol. 33#7 (2005) 運動療法再考	¥2,255
Vol. 33#8 (2005) 神経難病のリハビリテーション	¥2,255
Vol. 33#9 (2005) コミュニケーション障害とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 33#10 (2005) 装具－最近の話題	¥2,255
Vol. 33#11 (2005) 健康関連 QOL とリハビリテーション	¥2,255
Vol. 33#12 (2005) 脳卒中治療ガイドラインとリハビリテーション	¥2,255
Vol. 34#1 (2006) 高齢者の運動療法	¥2,310
Vol. 34#2 (2006) 歩行分析の臨床	¥2,310
Vol. 34#3 (2006) 認知症のリハビリテーション	¥2,310
Vol. 34#4 (2006) 末梢神経障害のリハビリテーション	¥2,310
Vol. 34#5 (2006) ハイリスク状態のリハビリテーションアプローチ	¥2,310
Vol. 34#6 (2006) 小児リハビリテーションの最新情報	¥2,310
Vol. 34#7 (2006) 老化と廃用―予防と治療	¥2,310
Vol. 34#8 (2006) 障害者自立支援法をめぐって	¥2,310
Vol. 34#9 (2006) スポーツ障害	¥2,310
Vol. 34#10 (2006) 医学教育改革とリハビリテーション医学	¥2,310
Vol. 34#11 (2006) 介護予防をめぐって	¥2,310
Vol. 34#12 (2006) 脳卒中治療－最近の話題	¥2,310
Vol. 35#1 (2007) 心疾患のリハビリテーション	¥2,310
Vol. 35#2 (2007) 呼吸リハビリテーション	¥2,310
Vol. 35#3 (2007) 高齢者の骨・関節疼痛疾患	¥2,310
Vol. 35#4 (2007) 地域包括支援センター	¥2,310
Vol. 35#5 (2007) 工学とリハビリテーション	¥2,310
Vol. 35#6 (2007) リハビリテーション関連職種の現状と展望	¥2,310
Vol. 35#7 (2007) メタボリックシンドローム	¥2,310
Vol. 35#8 (2007) 障害者自立支援法と補装具	¥2,310
Vol. 35#9 (2007) 脳外傷などによる高次脳機能障害の課題	¥2,310
Vol. 35#10 (2007) 増大特集 リハビリテーション医学2007 最近10年の動	¥5,500
Vol. 35#11 (2007) 上肢機能障害へのアプローチ	¥2,310
Vol. 35#12 (2007) 最近の脳卒中リハビリテーション技術	¥2,310
Vol. 36#1 (2008) リハビリテーションにおける帰結研究 脳卒中を中心に	¥2,310
Vol. 36#2 (2008) バランスと協調運動	¥2,310
Vol. 36#3 (2008) 腰痛-最近の動向	¥2,310
Vol. 36#4 (2008) リハビリテーション関連職種の卒前・卒後教育－課題と	¥2,310
Vol. 36#5 (2008) がんのリハビリテーション最前線	¥2,310
Vol. 36#6 (2008) 障害者の就労支援	¥2,310
Vol. 36#7 (2008) 筋力と筋持久力	¥2,310
Vol. 36#8 (2008) 高齢障害者の機能維持	¥2,310
Vol. 36#9 (2008) 障害者スポーツ	¥2,310

	Vol. 36#10 (2008) 脊髄損傷リハビリテーション−現状・課題・展望	¥2,310
	Vol. 36#11 (2008) 難病のリハビリテーション−神経筋疾患を中心に	¥2,310
	Vol. 36#12 (2008) stroke unitの10年	¥2,310
	Vol. 37#1 (2009) 高次脳機能障害治療の実践	¥2,310
	Vol. 37#2 (2009) 誤嚥性肺炎と不顕性誤嚥	¥2,310
	Vol. 37#3 (2009) 国際生活機能分類(ICF)の現状と問題点	¥2,310
	Vol. 37#4 (2009) 廃用症候群を治すには	¥2,310
	Vol. 37#5 (2009) リハビリテーション医療の質と効率	¥2,310
	Vol. 37#6 (2009) 高齢者の脊椎・脊髄疾患	¥2,310
	Vol. 37#7 (2009) 国際交流・協力	¥2,310
	Vol. 37#8 (2009) 臨床神経生理学のリハビリテーションへの応用	¥2,310
	Vol. 37#9 (2009) リハビリテーションとロボット	¥2,310
	Vol. 37#10 (2009) 障害がある人の心理とケア	¥2,310
	Vol. 37#11 (2009) 神経因性膀胱の話題	¥2,310
	Vol. 37#12 (2009) 新脳卒中治療ガイドラインを巡って	¥2,310
	Vol. 38#1 (2010) ITとリハビリテーション	¥2,310
	Vol. 38#2 (2010) 中枢神経の可塑性	¥2,310
	Vol. 38#3 (2010) 関節リウマチの治療 薬物療法を中心に	¥2,310
	Vol. 38#4 (2010) 障害児者の就学支援	¥2,310
	Vol. 38#5 (2010) 人工関節−最近の動向	¥2,310
	Vol. 38#6 (2010) 人工関節−最近の動向ケアマネジメント再考	¥2,310
	Vol. 38#7 (2010) ゴール設定に必要な予後予測	¥2,310
	Vol. 38#8 (2010) リハビリテーションと臨床心理	¥2,310
	Vol. 38#9 (2010) 各種疾患におけるリハビリテーションのエビデンス	¥2,310
	Vol. 38#10 (2010) リハビリテーションとマネジメント	¥2,310
	Vol. 38#11 (2010) BMIとリハビリテーション	¥2,310
	Vol. 38#12 (2010) リハビリテーションにおける質の評価	¥2,310
	Vol. 39#1 (2011) 再生医療―臨床応用へ向けての現状と課題	¥2,310
	Vol. 39#2 (2011) 転倒予防とリハビリテーション	¥2,310
	Vol. 39#3 (2011) 小児リハビリテーション　最近の動向	¥2,310
	Vol. 39#4 (2011) 物理療法のエビデンスとトピックス	¥2,310
	Vol. 39#5 (2011) 認知症リハビリテーションのEBM	¥2,310
	Vol. 39#6 (2011) 内科疾患の運動療法―課題と展望	¥2,310
	Vol. 39#7 (2011) 脊髄損傷−社会生活上の問題	¥2,310
	Vol. 39#8 (2011) 慢性疼痛へのアプローチ	¥2,310
	Vol. 39#9 (2011) スポーツ障害のリハビリテーション	¥2,310
	Vol. 39#10 (2011) ハイリスク状態のリハビリテーション	¥2,310
	Vol. 39#11 (2011) 運動器の10年−成果と課題	¥2,310
	Vol. 39#12 (2011) 脳卒中リハビリテーションの新しい展開	¥2,310
	Vol. 40#1 (2012) 診療報酬からみたリハ−疾患別リハ導入のその後	¥2,420
	Vol. 40#2 (2012) 重症心身障害児のリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 40#3 (2012) 東日本大震災とリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 40#4 (2012) 頸肩腕部痛へのアプローチ	¥2,420
品切	Vol. 40#5 (2012) 増大特集 リハビリテーションQ&A	¥4,950
	Vol. 40#6 (2012) ボツリヌス治療とリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 40#7 (2012) リハビリテーションにおける動作解析	¥2,420
	Vol. 40#8 (2012) リハビリテーション病棟と看護師－病棟創りへの提言	¥2,420
	Vol. 40#9 (2012) 視覚障害者のリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 40#10 (2012) 装具−最先端と臨床	¥2,420
	Vol. 40#11 (2012) 心大血管のリハビリテーション−病院から在宅・介護保	¥2,420
	Vol. 40#12 (2012) 脳卒中維持期のリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 41#1 (2013) 発達障害のリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 41#2 (2013) 呼吸リハビリテーション−新しいチーム医療の展開	¥2,420
	Vol. 41#3 (2013) 治療ガイドラインとリハビリテーション	¥2,420
	Vol. 41#4 (2013) 片麻痺上肢機能回復治療のエビデンス	¥2,420
	Vol. 41#5 (2013) 周術期リハビリテーション	¥2,420
	Vol. 41#6 (2013) 切断と義肢－最新の臨床	¥2,420

Vol. 41#7 (2013) 精神障害のリハビリテーション	¥2,420
Vol. 41#8 (2013) 障害児者に関わる法制度改革の動向	¥2,420
Vol. 41#9 (2013) アンチエイジングとリハビリテーション	¥2,420
Vol. 41#10 (2013) 診療報酬・介護保険同時改定	¥2,420
Vol. 41#11 (2013) 障害者の社会参加と就労支援	¥2,420
Vol. 41#12 (2013) 脳卒中急性期治療の最前線	¥2,420
Vol. 42#1 (2014) 脳科学の進歩－最近のトピックス	¥2,530
Vol. 42#2 (2014) 障害認定の課題と展望	¥2,530
Vol. 42#3 (2014) 脳卒中病棟と回復期リハビリテーション病棟	¥2,530
Vol. 42#4 (2014) 重症下肢虚血肢とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 42#5 (2014) リハビリテーションに直結する先進医学	¥2,530
Vol. 42#6 (2014) 神経難病とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 42#7 (2014) 地域社会におけるリハビリテーション	¥2,530
Vol. 42#8 (2014) 医療福祉ロボット－実用化に向けて	¥2,530
Vol. 42#9 (2014) 障害児の成長・加齢に伴う問題点	¥2,530
Vol. 42#10 (2014) 総合病院におけるリハビリテーション 急性期を中心に	¥2,530
Vol. 42#11 (2014) 高齢化とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 42#12 (2014) がんのリハビリテーション	¥2,530
Vol. 43#1 (2015) 新生児リハビリテーション-NICUからの取り組み	¥2,530
Vol. 43#2 (2015) 誤嚥性肺炎の呼吸・嚥下リハビリテーション	¥2,530
Vol. 43#3 (2015) 脳卒中リハビリテーションのエビデンス	¥2,530
Vol. 43#4 (2015) 脊髄損傷-最近の話題	¥2,530
Vol. 43#5 (2015)	¥2,530
Vol. 43#6 (2015) リハビリテーションに必要な産業医学の知識	¥2,530
Vol. 43#7 (2015) 宇宙医学とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 43#8 (2015) リハビリテーション工学と福祉用具開発	¥2,530
Vol. 43#9 (2015) 地域包括ケアシステムとリハビリテーション	¥2,530
Vol. 43#10 (2015) リハビリテーション医の卒前卒後教育の現状ー専門医	¥2,530
Vol. 43#11 (2015) 高次脳機能障害の診断とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 43#12 (2015) 若年脳卒中患者のリハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#1 (2016) 認知症予防と治療の進歩	¥2,530
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい	
Vol. 44#2 (2016) 脳性麻痺の歩行機能改善をめざした治療	¥2,530
Vol. 44#3 (2016) 脳梗塞急性期治療の進歩	¥2,530
Vol. 44#4 (2016) 地域包括ケア時代のリハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#5 (2016) 最新の糖尿病治療とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#6 (2016) 慢性疼痛とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#7 (2016) スポーツ障害のリハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#8 (2016) リハビリテーションにおける栄養管理	¥2,530
Vol. 44#9 (2016) 療育/小児リハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#10 (2016) 脳卒中患者の外来リハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#11 (2016) 精神科疾患のリハビリテーション	¥2,530
Vol. 44#12 (2016) リハビリテーション・介護領域におけるICTの活用	¥2,530
Vol. 45#1 (2017) 再生医療とリハビリテーション	¥2,530
Vol. 45#2 (2017) 急性期脳卒中リハビリテーションup-to-date	¥2,530
Vol. 45#3 (2017) 歩行訓練のエビデンス	¥2,530
Vol. 45#4 (2017) 自動車運転再開に向けた取り組み	¥2,530
Vol. 45#5 (2017) 増大特集 在宅生活で使える！ 福祉用具ガイド	¥4,950
Vol. 45#6 (2017) 救命救急におけるリハビリテーション	¥2,530
Vol. 46#7 (2018) 脳の画像による予後予測	¥2,530
Vol. 45#7 (2017) 職業リハビリテーション	¥2,530
Vol. 45#8 (2017) 心臓血管リハビリテーションと多職種連携	¥2,530
Vol. 45#9 (2017) 重度障害児者の生活の現状と課題	¥2,530
Vol. 45#10 (2017) 排尿ケアとリハビリテーション	¥2,530
Vol. 45#11 (2017) 療養型施設でのリハビリテーション	¥2,530
Vol. 45#12 (2017) 被災地の復興と障害	¥2,530
Vol. 46#1 (2018) リハビリテーションにおけるICFの活用	¥2,530

Vol. 46#2 (2018) 脳卒中のリハビリテーション処方		¥2,530
Vol. 46#3 (2018) 訪問リハビリテーション		¥2,530
Vol. 46#4 (2018) 障害児の学校教育と学外活動		¥2,530
Vol. 46#5 (2018) 筋力トレーニング ― エビデンス&プラクティス		¥2,530
Vol. 46#6 (2018) 失語症の今		¥2,530
Vol. 46#7 (2018) 脳の画像による予後予測		¥2,530
Vol. 46#8 (2018) 身体障害者の移動手段		¥2,530
Vol. 46#9 (2018) リハビリテーションとグループ療法		¥2,530
Vol. 46#10 (2018) リハビリテーション医療で心理職に望むこと		¥2,530
Vol. 46#11 (2018) 難病に対する医療・福祉とリハビリテーション		¥2,530
Vol. 46#12 (2018) 大腿骨近位部骨折のリハビリテーション診療		¥2,530
Vol. 47#1 (2019) 病院横断的活動とリハビリテーション		¥2,530
Vol. 47#2 (2019) 脳卒中診療とデータベース		¥2,530
Vol. 47#3 (2019) 介護ロボットの開発と普及		¥2,530
Vol. 47#4 (2019) リハビリテーション医療・介護連携		¥2,530
Vol. 47#5 (2019) 脊髄損傷のリハビリテーションup-to-date		¥2,530
Vol. 47#6 (2019) 疾患管理プログラムとしての心不全リハビリテーション		¥2,530
Vol. 47#7 (2019) ICUリハビリテーションにおける多職種連携		¥2,530
Vol. 47#8 (2019) 摂食嚥下リハビリテーションの未来－各専門職に何が		¥2,530
Vol. 47#9 (2019) 回復期リハビリテーション病棟退院後の戦略－生活機		¥2,530
Vol. 47#10 (2019) 義肢装具へのテクノロジーの導入		¥2,530
Vol. 47#11 (2019) 小児期のがんとリハビリテーション		¥2,530
Vol. 47#12 (2019) リハビリテーション医療におけるソーシャルワーク		¥2,530
Vol. 48#1 (2020年1月) 医工学最前線		¥2,530
Vol. 48#2 (2020年2月) 回復期リハビリテーションに求められるもの		¥2,530
Vol. 48#3 (2020年3月) 腎臓リハビリテーションのベストプラクティス		¥2,530
Vol. 48#4 (2020年4月) 歩行障害にどう対応するか		¥2,530
Vol. 48#5 (2020年5月) 周術期のリハビリテーション診療－何を考え何を		¥2,530
Vol. 48#6 (2020年6月) 地域医療計画のインパクト		¥2,530
Vol. 48#7 (2020年7月) 多職種による痙縮治療		¥2,530
Vol. 48#8 (2020年8月) 社会参加の障壁となるもの		¥2,530
Vol. 48#9 (2020年9月) 病態に応じた腰痛のリハビリテーション診療		¥2,530
Vol. 48#10 (2020年10月) 認知症ケアのプラットフォーム		¥2,530
Vol. 48#11 (2020年11月) ハイリスク児とリハビリテーション		¥2,530
Vol. 48#12 (2020年12月) 障害者の加齢に伴う問題とその支援		¥2,530
Vol. 49#1 (2021年1月) 神経再生医療とリハビリテーション		¥2,530
Vol. 49#2 (2021年2月) 就労世代の脳卒中リハビリテーション		¥2,530
Vol. 49#3 (2021年3月) 東日本大震災から10年		¥2,530
Vol. 49#4 (2021年4月) 骨粗鬆症－指導に役立つエビデンス		¥2,530
Vol. 49#5 (2021年5月) 新しい整形外科手術とリハビリテーション診療		¥2,530
Vol. 49#6 (2021年6月) リハビリテーション医療における新人教育		¥2,530
Vol. 49#7 (2021年7月) 小児運動障害(運動症)のリハビリテーション		¥2,530
Vol. 49#8 (2021年8月) 社会参加の手段としての車椅子と関連用具		¥2,530

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい

1018 総合社会福祉研究（総合社会福祉研究所）

No. 1-5,8,15-17 (1989-2000)	各号	¥2,200

1019　総合診療（医学書院）

※Vol.1-24(1991-2014)→JIM: Journal of Integrated Medicine（医学書院

	Vol. 25#1 (2015) 動悸・息切れ-ヤバい病気の見つけ方 そして見つから	¥2,530
	Vol. 25#2 (2015) 総合医のためのスポーツ医学ベーシックス	¥2,530
	Vol. 25#3 (2015) 神経難病ケアのコペルニクス的転回	¥2,530
	Vol. 25#4 (2015) 関節が痛いんです！ ーコモンからレアものまでの診断	¥2,530
	Vol. 25#5 (2015) 咳を聴きとり，咳を止める	¥2,530
	Vol. 25#6 (2015) 高齢者救急の落とし穴ー紹介する時，される時	¥2,530
	Vol. 25#7 (2015) ここを知りたい！ 頭部外傷初期対応・慢性期ケア	¥2,530
	Vol. 25#8 (2015) 健診データで困ったらーこんな検査結果を持ってこら	¥2,530
	Vol. 25#9 (2015) 診断ピットフォール10選 こんな疾患,見逃していません	¥2,530
	Vol. 25#10 (2015) 感染症を病歴と診察だけで診断する! Part 2	¥2,530
	Vol. 25#11 (2015) レアだけど重要な「痛み」の原因―システム1診断学	¥2,530
	Vol. 25#12 (2015) 外来で「複数の疾患」をもつ患者を診るーマルチモビ	¥2,530
	Vol. 26#1 (2016) 妊婦・褥婦が一般外来に来たら―エマージェンシー&コ	¥2,530
	Vol. 26#2 (2016) フィジカル改革宣言！ ――診断からフォローアップま	¥2,530
	Vol. 26#3 (2016) こんな時は漢方でしょう！	¥2,530
	Vol. 26#4 (2016) ケースとクイズで総ざらい！ 街場の2型糖尿病治療	¥2,530
品切	Vol. 26#5 (2016) しびれるんです！―知っておくべきシビレル疾患	¥2,530
	Vol. 26#6 (2016) “賢い処方”と“ナゾ処方”	¥2,530
	Vol. 26#7 (2016) 感染症ケアバンドル・チェックリスト	¥2,530
	Vol. 26#8 (2016) The 初診外来	¥2,530
	Vol. 26#9 (2016) 症状・症候別 エコーを使った診断推論―Point-of-Car	¥2,530
品切	Vol. 26#10 (2016) 内科診療を劇的に変える“まとめ”の達人	¥2,530
	Vol. 26#11 (2016) 続・しびれるんです！	¥2,530
	Vol. 26#12 (2016) これでパッチリ！ 眼の健康問題	¥2,530
	Vol. 27#1 (2017) 明日はどっちだ？「総合診療専門医」	¥2,750
	Vol. 27#2 (2017) The総合診療ベーシックスー白熱！「総合診療フェスin	¥2,750
	Vol. 27#3 (2017) これがホントに必要な薬40ー総合診療医の外来自家薬	¥2,750
	Vol. 27#4 (2017) 病歴と診察で診断できない発熱！ーその謎の賢い解き	¥2,750
	Vol. 27#5 (2017) コミュニケーションを処方するーユマニチュードもオープ	¥2,750
	Vol. 27#6 (2017)「地域を診る医者」最強の養成法！	¥2,750
	Vol. 27#7 (2017) 感染症を病歴と診察だけで診断する！Part 3 カリスマ	¥2,750
	Vol. 27#8 (2017) 見逃しやすい内分泌疾患ーこのキーワード、この所見	¥2,750
	Vol. 27#9 (2017) うつより多い「不安」の診かたー患者も医師も安らぎたい	¥2,750
	Vol. 27#10 (2017) めまいがするんです！ー特別付録Web動画付	¥2,750
	Vol. 27#11 (2017) 今そこにある、ファミリー・バイオレンス Violence and H	¥2,750
	Vol. 27#12 (2017) 小児診療“苦手”克服！！劇的Before & After	¥2,750
	Vol. 28#1 (2018) シン・フィジカル改革宣言！ー私の“神技”伝授します。	¥2,750
	Vol. 28#2 (2018) 頭痛患者で頭が痛いんです！	¥2,750
	Vol. 28#3 (2018) 糖尿病のリアルー現場の「困った！」にとことん答えます	¥2,750
	Vol. 28#4 (2018) 感染症外来診療「賢医の選択」ー検査・経口薬・ワクチ	¥2,750
	Vol. 28#5 (2018) “一発診断”トレーニング問題集／懸賞論文「GM Clinic	¥2,750
	Vol. 28#6 (2018) 聴診・触診×エコーで診断推論！Point-of-Care超音	¥2,750
	Vol. 28#7 (2018) この薬だけは押さえておきたい！ 総合診療医のための	¥2,750
	Vol. 28#8 (2018) 80歳からの診療スタンダードUp to Date	¥2,750
	Vol. 28#9 (2018) オンコ・ジェネラリスト「がん」に強い総合診療医をめざ	¥2,750
	Vol. 28#10 (2018) クリニカル・パールPremium! 憧れのカリスマ医師はか	¥2,750
	Vol. 28#11 (2018) 日本一マジメな「おしっこドリル」今これだけは押さえ	¥2,750
	Vol. 28#12 (2018) こんなときこそ漢方を！	¥2,750
	Vol. 29#1 (2019) 教えて検索！膨大な医学情報を吟味・整理するスキル	¥2,750
	Vol. 29#2 (2019) 意外な中毒、思わぬ依存、知っておきたい副作用 一	¥2,750
	Vol. 29#3 (2019) あなたのギモンに答えます！ 循環器診療のハードルを	¥2,750
	Vol. 29#4 (2019) “ナゾ”の痛み診療ストラテジー OPQRSTで読み解く	¥2,750
	Vol. 29#5 (2019) 一般外来で診断できたら「えっへん！」な疾患38	¥2,750
	Vol. 29#6 (2019) 皮膚科診療エクササイズ 1枚の写真から	¥2,750
	Vol. 29#7 (2019) リウマチ・膠原病ミミック症例帖 “膠原病っぽくみえてし	¥2,750

	Vol. 29#8 (2019) ノーモア見逃し! 日常の検査と画像に潜むピットフォー		¥2,750
品切	Vol. 29#9 (2019) “ヤブ化”を防ぐ！外来診療 基本の(き)		¥2,750
	Vol. 29#10 (2019) 教えて！医師のためのビジネス・スキル		¥2,750
	Vol. 29#11 (2019) 臨床写真図鑑　レアな疾患編　見逃したくない疾患の		¥2,750
	Vol. 29#12 (2019) 困っている“あなた”に届く 認知症診療		¥2,750
	Vol. 30#1 (2020年1月) 総合診療医の“若手ロールモデル”を紹介します		¥2,750
	Vol. 30#2 (2020年2月) いつ手術・インターベンションに送るの？[循環器		¥2,750
	Vol. 30#3 (2020年3月) これではアカンで！こどもの診療　ハマりがちな1		¥2,750
	Vol. 30#4 (2020年4月) 大便強ドリル　便秘・下痢・腹痛・消化器疾患に強		¥2,750
	Vol. 30#5 (2020年5月) 誌上Journal Club　私を変えた激アツ論文		¥2,750
	Vol. 30#6 (2020年6月) 下降期慢性疾患患者の“具合”をよくする　ジェネ		¥2,750
	Vol. 30#7 (2020年7月) その倦怠感、単なる「疲れ」じゃないですよ！　筋		¥2,750
	Vol. 30#8 (2020年8月) マイナーエマージェンシー門外放出　知っておく		¥2,750
	Vol. 30#9 (2020年9月) いつ手術・インターベンションに送るの？[感染症		¥2,750
	Vol. 30#10 (2020年10月) ポリファーマシーを回避する！エビデンスに基		¥2,750
	Vol. 30#11 (2020年11月) 診断に役立つ！教育で使える！フィジカル・エ		¥2,750
	Vol. 30#12 (2020年12月) ″ヤブ化″を防ぐ！外来診療 基本の(き) Part 2		¥2,750
	Vol. 31#1 (2021年1月) 特別増大特集　新型コロナウイルス・パンデミック		¥2,750
	Vol. 31#2 (2021年2月) 肺炎診療のピットフォール　COVID-19から肺炎ミ		¥2,750
	Vol. 31#3 (2021年3月) ライフステージでみる女性診療at a glance!　よく		¥2,750
	Vol. 31#4 (2021年4月) 消化器診療″虎の巻″　あなたの切実なギモンに		¥2,750
	Vol. 31#5 (2021年5月) 臨床医のための 進化するアウトプット　学術論文		¥2,750
	Vol. 31#6 (2021年6月) この診断で決まり！High Yieldな症候たち　見逃		¥2,750
	Vol. 31#7 (2021年7月) 新時代の「在宅医療」 先進的プラクティスと最新		¥2,750
	Vol. 31#8 (2021年8月) メンタルヘルス時代の総合診療外来　精神科医		¥2,750
	Vol. 31#9 (2021年9月) 「検査」のニューノーマル2021　この検査はもう古		¥2,750
1020	**早期大腸癌（日本メディカルセンター）**		
	Vol. 3#2 (1999)		¥2,860
	Vol. 4#6 (2000)		¥2,860
	Vol. 6#2,5 (2002)	各号	¥2,860
	Vol. 8#2,5 (2004)	各号	¥2,860
	Vol. 9-12 (2005-2008) 各1-6号	各号	¥2,860
	※Vol.13#1 (2009)→Intestine（日本メディカルセンター）		
1021	**測地学会誌（日本測地学会）**		
	Vol. 48-57 (2002-2011) 各1-4号	各号	¥2,200
1022	**藻類（日本藻類学会）**		
	Vol.1-56 (1953-2008) 各1-3号	各号	¥2,200
1023	**組織培養研究 Tissue Culture Research Communications（日本組織培養学会）**		
	Vol. 4-9 (1985-1991) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 10#2 (1991)		¥3,300
	Vol. 11-15 (1992-1996) 各1-4号	各号	¥3,300
1024	**組織科学（組織学会）**		
	Vol. 5-55 (1971-2021/2022) 各1-4号	各号	¥1,320
1025	**ソシオロジ（社会学研究会）**		
	No. 11,13,14,27,31,35/36,54,55,58-172 (1955-2011)	各号	¥2,750
1026	**Species Diversity (Japanese Society of Systematic Zoology)**		
	Vol. 3-4 (1998-1999) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 5-10 (2000-2005) 各1-4号	各号	¥2,200

1027	**スポーツ歯学（日本スポーツ歯科医学会）**		
	Vol. 1-9 (1998-2006) 各1号	各号	¥2,200
	Vol. 10-25 (2006/2007-2021/2022) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 26#1 (2022)		¥2,200
	第18回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2007)		¥2,200
	第19回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2008)		¥2,200
	第20回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2009)		¥2,200
	第25回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2014)		¥2,200
	第26回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2015)		¥2,200
1028	**スポーツ方法学研究**		
	Vol. 14-20 (2001-2007) 各1号	各号	¥4,400
	Vol. 21-23 (2007/2008-2010) 各1-2号	各号	¥4,400
1029	**ストレス科学 ：日本ストレス学会誌（日本ストレス学会）**		
	Vol. 1-5 (1986-1990) 各1号	各号	¥2,200
	Vol. 6#1-2 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 7-8 (1992-1993) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 9-28 (1994-2011) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 29#1-3 (2014)	各号	¥2,200
1030	**ストレスと臨床（フジメディカル出版）**		
	No. 1-26,増刊号 (1999-2006)	各号	¥1,430
1031	**Strix 日本野鳥の会研究報告（日本野鳥の会）**		
	Vol. 1-5 (1982-1986)	各号	¥3,300
	Vol. 7-16 (1988-1998)	各号	¥3,300
	Vol. 17-26 (1999-2008)	各号	¥4,400
1032	**数学（岩波書店）**		
	Vol. 58-65 (2006-2013) 各1-4号	各号	¥1,026
	Vol. 66#1 (2014)		¥1,026
	Vol. 66#2-4 (2014)	各号	¥1,040
	Vol. 67-70 (2015-2018) 各1-4号	各号	¥1,040
1033	**数学セミナー（日本評論社）**		
	Vol. 10-13,17-24,27-42 (1971-2003) 各1-12号	各号	¥1,026
	Vol. 44-60 (2005-2021) 各1-12号	各号	¥1,199
	Vol. 61#1-4 (2022)	各号	¥1,199
1034	**睡眠口腔医学（日本睡眠歯科学会）**		
	Vol. 5#2 (2019)		¥5,500
	Vol. 6#1,2 (2019,2020)	各号	¥5,500
	Vol. 7#1,総会特別号 (2020)	各号	¥3,300
	Vol. 7#2,3 (2021)	各号	¥3,300
1035	**水産海洋研究（水産海洋学会）**		
	No. 3,7-49 (1963-1985)	各号	¥2,200
	No. 50-61,67-74 (1986-2010) 各1-4号	各号	¥2,200

1036	**水産増殖（日本水産増殖学会）**		
	Supplement no. 4-5 (1965)	各号	¥2,750
	Supplement no. 6 (1966)		¥2,750
	Supplement no. 7 (1968)		¥2,750
	Vol. 7#4 (1960)		¥2,750
	Vol. 12#1-4 (1964/65)	各号	¥2,750
	Vol. 13#1-4 (1965/66)	各号	¥2,750
	Vol. 17#1-6 (1969/70)	各号	¥2,750
	Vol. 18#2-6 (1970/71)	各号	¥2,750
	Vol. 19#1-6 (1971)	各号	¥2,750
	Vol. 20#1-6 (1972)	各号	¥2,750
	Vol. 21-48 (1973/74-2000) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 49-58 (2001-2010) 各1-4号	各号	¥2,750
	臨時増刊 11号 (2003) Index-IV Vol. 46-50		¥2,750
	臨時増刊 12号 (2009) Index-V Vol. 51-55		¥2,750
	Vol. 59#1-4 (2011)	各号	¥2,750
	Vol. 61#2-4 (2013)	各号	¥2,750
1037	**駿台史学（駿台史学会）**		
	No. 112 (2001)		¥2,200
	No. 114,116 (2002)	各号	¥2,200
	No. 122-123 (2004)	各号	¥2,200
	No. 127,129 (2006)	各号	¥2,200
	No. 130-132 (2007)	各号	¥2,200
	No. 133-134 (2008)	各号	¥2,200

1038	**Super CG :Super Car Graphic (二玄社)**		
	Super CG :Super Car Graphic No. 1 (1989)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 2 (1989)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 3 (1989)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 4 (1990)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 5 (1990)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 6 (1990)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 7 (1990)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 8 (1991)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 9 (1991)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 10 (1991)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 11 (1991)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 12 (1992)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 13 (1992)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 14 (1992)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 15 (1992)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 16 (1993)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 17 (1993)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 18 (1993)		¥2,530
	Super CG :Super Car Graphic No. 19 (1993)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 20 (1993)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 21 (1994)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 22 (1994)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 23 (1994)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 24 (1994)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 25 (1994)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 26 (1994)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 27 (1995)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 28 (1995)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 29 (1995)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 30 (1995)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 31 (1995)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 32 (1995)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 33 (1996)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 34 (1996)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 35 (1996)		¥1,980
	Super CG :Super Car Graphic No. 36 (2000)		¥3,080
	Super CG :Super Car Graphic No. 37 (2000)		¥3,080
1039	**数理科学 (サイエンス社)**		
	Vol. 44-59 (2006-2021) 各1-12号	各号	¥1,049
1040	**Synthesiology 構成学 (シンセシオロジー編集委員会)**		
	Vol. 1#4; 2#1,2; 3#1-4; 4#1-4; 5#1 (2008-2012)	各号	¥2,200
1041	**手術 (金原出版)**		
	Vol. 54-60 (2001-2006) 各1-13号	各号	¥2,750
	Vol. 54-60 (2001-2006) 各増刊号	各号	¥7,260
1042	**宗教研究 (同文館)**		
	Vol. 1-13 (1924-1936) 各1-6号	各号	¥1,650
	No. 40-45,49-51,75-93,99-103,105-118,121-207 (1928-1970/71)	各号	¥1,650
1043	**出版研究 (出版ニュース社)**		
	No. 37-41 (2006-2010)	各号	¥2,860
1044	**体液・代謝管理 Journal of Society for Researches on Body Fluid and Metabolism**		
	Vol. 16,17,18,20 (2000-2004)	各巻	¥2,200
1045	**体育の科学 (杏林書院)**		
	Vol. 49-51 (1999-2001) 各1-12号	各号	¥1,045

1046	**大気環境学会誌**		
	Vol. 40#4-6 (2005)	各号	¥2,200
	Vol. 41#1-6 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 42#1,3-6 (2007)	各号	¥2,200
	Vol. 43#1-6 (2008)	各号	¥2,200
	Vol. 44#1 (2009)	各号	¥2,200
1047	**体育学研究 (日本体育学会)**		
	Vol. 1 (1951/55) 製本		¥22,000
	Vol. 2 (1956/57) 製本		¥14,300
	Vol. 3 (1958/59) 製本		¥15,400
	Vol. 4 (1959/60) 製本		¥17,600
	Vol. 5 (1960/61) 製本		¥19,800
	Vol. 6 (1961/62) 製本		¥16,500
	Vol. 7 (1962/63) 製本		¥22,000
	Vol. 8 (1963/64) 製本		¥19,800
	Vol. 9 (1964/65) 製本		¥20,900
	Vol. 10 (1965/66) 製本		¥20,900
	Vol. 11 (1966/67) 製本		¥14,300
	Vol. 12 (1967/68) 製本		¥24,200
	Vol. 13 (1968/69) 製本		¥27,500
	Vol. 14 (1969/70) 製本		¥23,100
	Vol. 15 (1970/71) 製本		¥15,400
	Vol. 16 (1971/72) 製本		¥14,300
	Vol. 17-22 (1972/73-1977/78) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 23-37 (1978/79-1992/93) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 38-52 (1993/94-2007) 各1-6号	各号	¥2,200
	Vol. 53-57 (2008-2012) 各1-2号	各号	¥5,500
1048	**体力・栄養・免疫学雑誌 Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology (体力・栄養・免疫学会)**		
	Vol. 9#1-3 (1999)	各号	¥3,850
	Vol. 10#1-3 (2000)	各号	¥3,850
	Vol. 11#1-2 (2001)	各号	¥3,850
	Vol. 12#1-2 (2002)	各号	¥3,850
	Vol. 13#1-3 (2003)	各号	¥3,850
	Vol. 14#1-3 (2004)	各号	¥3,850
	Vol. 15#1,2 (2005)	各号	¥3,850
	Vol. 16#1,2 (2006)	各号	¥3,850
	Vol. 17#1,2 (2007)	各号	¥3,850
	Vol. 18#1-3 (2008)	各号	¥3,850
	Vol. 19#1 (2009)		¥3,850
1049	**体力研究 (明治生命厚生事業団)**		
	No. 1-87,89-92 (1963-1996)	各号	¥3,300
1050	**蛋白質・核酸・酵素 (共立出版株式会社)**		
	Vol. 50-52 (2005-2007) 各1-12月号	各号	¥1,650
1051	**胆膵の生理機能 (日本胆膵生理機能研究会)**		
	Vol. 11-21 (1995-2005) 各1号	各号	¥3,300
1052	**胆と膵 (医学図書出版)**		
	Vol. 21-22 (2000-2001) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥2,750
	Vol. 23-27 (2002-2006) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥2,970
	Vol. 28-30 (2007-2009) 各1-12号	各号	¥3,190
	Vol. 28-31 (2007-2010) 臨時増刊特大号	各号	¥5,500
	Vol. 33#4,5 (2012)	各号	¥3,190

1053	**タクサ 日本動物分類学会誌**		
	No. 1-19 (1996-2005)	各号	¥2,200
1054	**TDM研究 The Japanese Journal of Therapeutic Drug Monitoring (日本TDM研究)**		
	Vol. 13, 16-19 (1996-2002) 各1-4号	各号	¥2,200
1055	**適応医学 (日本適応医学会)**		
	Vol. 10#2; 11#2; 12#1,2; 13#1,2; 14#1 (2006-2010)	各号	¥3,300
1056	**てんかん研究 (日本てんかん学会)**		
	Vol. 1-30 (1983-2012/13) 各1-3号	各号	¥3,300
1057	**天気**		
	Vol. 42-47 (1995-2000) 各1-12号	各号	¥2,096
	Vol. 48#1-11 (2001)	各号	¥2,096
	Vol. 49-52 (2002-2005) 各1-12号	各号	¥2,096
	Vol. 53#1,3-12 (2006)	各号	¥2,096
	Vol. 54-58 (2007-2011) 各1-12号	各号	¥2,096
	Vol. 59#1-9,11,12 (2012)	各号	¥2,096
1058	**天の水地の水 (全国地下水利用対策団体連合会)**		
	No. 65-172 (1983-2011)	各号	¥2,200
1059	**ターミナルケア (三輪書店)**		
	Vol. 1-14 (1991-2004) 各1-6号	各号	¥1,650
1060	**東方医学 (日本東方医学会)**		
	Vol. 22#1-4 (2006)	各号	¥3,300
	Vol. 23#1,2,3/4 (2007)	各号	¥3,300
	Vol. 24-28 (2008-2012) 各1-4号	各号	¥3,300
1061	**東北アジア研究 (東北大学東北アジア研究センター)**		
	No. 1-6 (1996-2001)	各号	¥2,200
1062	**東北地理 (東北地理学会)**		
	Vol. 1-37,42,43 (1948/49-1991) 各1-4号	各号	¥1,100
1063	**東北理学療法学 Annual Report of the Tohoku Section of Japanese Physical Therapy Association**		
	No. 10-22 (1998-2010)	各号	¥1,100
1064	**東北理学療法学術大会 プログラム・抄録集**		
	第26回, 第27回 (2008-2009)	各号	¥2,200
1065	**東北理学療法士学会 抄録集プログラム集**		
	第19回-第20回, 第22回, 第24回, 第25回 (2001-2007)	各号	¥2,200
1066	**東北心理学研究 (東北心理学会)**		
	No. 1-23,25 (1951-1975)	各号	¥2,200
1067	**東海大学スポーツ医科学雑誌 (東海大学スポーツ医科学研究所)**		
	No. 7-15,18 (1995-2006)	各号	¥3,300
1068	**東海脊椎外科 (東海脊椎外科研究会)**		
	Vol. 9-20 (1995-2006)	各巻	¥5,500

1069	**頭頸部癌（日本頭頸部癌学会）**		
	Vol. 30#3,4 (2004)	各号	¥2,750
	Vol. 31#1-4 (2005)	各号	¥2,750
	Vol. 31#Suppl. (2005)		¥2,750
	Vol. 32#1-4 (2006)	各号	¥2,750
	Vol. 32#Suppl. (2006)		¥2,750
	Vol. 33#1-4 (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 33#Suppl. (2007)	各号	¥2,750
	Vol. 34-38 (2008-2013) 各1-4号	各号	¥2,750
	Vol. 39-42 (2013-2016) 各1-4号,Suppl.	各号	¥2,750
	Vol. 43-46 (2017-2020) 各1-4号	各号	¥2,750
1070	**頭頸部外科（日本頭頸部外科学会）**		
	Vol. 1 (1991)		¥3,300
	Vol. 2 (1992)		¥3,300
	Vol. 3#1,2 (1993)	各号	¥3,300
	Vol. 4#1,2 (1994)	各号	¥3,300
	Vol. 5#1 (1995)		¥3,300
	Vol. 6#3 (1996)		¥3,300
	Vol. 8-18 (1998-2008) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 19#1,2 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 20#1-3 (2010)	各号	¥3,300
	Vol. 21#1,2 (2011)	各号	¥3,300
	Vol. 22-27 (2012-2017) 各1-3号	各号	¥3,300
	Vol. 28#1,2 (2018)	各号	¥3,300
	Vol. 29#1-3 (2019)	各号	¥3,300
	Vol. 30#2,3 (2020)	各号	¥3,300
	Vol. 31#1 (2021)		¥3,300
1071	**頭頸部腫瘍（日本頭頸部癌学会）**		
	Vol. 2 (1975)		¥2,200
	Vol. 3 (1976)		¥2,200
	Vol. 5 (1978)		¥2,200
	Vol. 6 (1979)		¥2,200
	Vol. 7 (1980)		¥2,200
	Vol. 8 (1981)		¥2,200
	Vol. 9 (1982)		¥2,200
	Vol. 11 (1984)		¥2,200
	Vol. 12 (1985)		¥2,200
	Vol. 13 (1986)		¥2,200
	Vol. 15#1,2 (1988/1989)	各号	¥2,200
	Vol. 16#1,2 (1989/1990)	各号	¥2,200
	Vol. 17#1,2 (1991)	各号	¥2,200
	Vol. 17#創立30周年記念誌 (1991)		¥3,300
	Vol. 18#1,2 (1992)	各号	¥2,200
	Vol. 19#1-3 (1993)	各号	¥2,200
	Vol. 20#1-3 (1994)	各号	¥2,200
	Vol. 21#2,3 (1995)	各号	¥2,200
	Vol. 22-28 (1996-2002) 各1-3号	各号	¥2,200
	Vol. 29#1-4 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 30#1,2 (2004)	各号	¥2,200
1072	**特殊教育学研究（日本特殊教育学会）**		
	Vol. 17-29 (1979/80-1991/92) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 30-37 (1992/93-1999) 各1-5号	各号	¥2,200
	Vol. 38-50 (2000-2012) 各1-6号	各号	¥2,200

1073	**東京母性衛生学会誌 (東京母性衛生学会)**		
	Vol. 11-20 (1995-2004) 各1号	各号	¥2,200
	Vol. 26#1,Supplement1,Supplement2 (2009/2010)	各号	¥2,200
	Vol. 27#Supplement1 (2010)		¥2,200
1074	**東京矯正歯科学会雑誌 (東京矯正歯科学会)**		
	Vol. 10-11 (2000-2001) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 12#1 (2002)		¥3,300
	Vol. 16-17 (2006-2007) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 18#1 (2008)		¥3,300
	Vol. 19-21 (2009-2011) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 23-30 (2013-2020) 各1-2号	各号	¥3,300
	Vol. 31#1 (2021)		¥3,300
	Vol. 32#1 (2022)		¥3,300
1075	**東京精神医学会誌 (東京精神医学会)**		
	Vol. 6,7,9-22,24,25 (1988-2007) 各1号	各号	¥3,300
1076	**東京膝関節学会会誌 (東京膝関節学会)**		
	Vol. 16-19 (1995-1998)	各巻	¥7,700
1077	**東南アジア研究 (京都大学東南アジア研究センター)**		
	Vol. 1#1-4 (1963/64)	各号	¥2,200
	Vol. 2#1-4 (1964/65)	各号	¥2,200
	Vol. 3#1-5 (1965/66)	各号	¥2,200
	Vol. 4#1-5 (1966/67)	各号	¥2,200
	Vol. 5-22 (1967/68-1984/85) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 23#1-5 (1985/86)	各号	¥2,200
	Vol. 24-49 (1986/87-2011/12) 各1-4号	各号	¥2,200
	Vol. 50#1,2 (2012/13)	各号	¥2,200
	Vol. 51#1 (2013)		¥2,200
1078	**糖尿病 (日本糖尿病学会)**		
	Vol. 43-55 (2000-2012) 各1-12号,Supplement	各号	¥1,320
1079	**糖尿病ケア (メディカ出版)**		
	Vol. 2-4 (2005-2007) 各1-12号	各号	¥1,980
	増刊号	各号	¥4,400
1080	**糖尿病合併症 (日本糖尿病合併症学会)**		
	Vol. 13#1; 19#1; 22#1,Supplement1; 23#1,Supplement1; 24#Supplement	各号	¥2,200

1081 糖尿病診療マスター（医学書院）

Vol. 1#1 (2003) 診察の達人	¥1,980
Vol. 1#2 (2003) 検査はどこまでやるか	¥1,980
Vol. 1#3 (2003) 外来で糖尿病を治療する-治療困難な症例から学ぶ	¥1,980
Vol. 1#4 (2003) 糖尿病診療に欠かせない視点	¥1,980
Vol. 1#5 (2003) 1型と2型の違いを識る	¥1,980
Vol. 1#6 (2003) 上手なコンサルテーション	¥1,980
Vol. 2#1 (2004) インスリン治療をマスターする	¥1,980
Vol. 2#2 (2004) 血糖自己測定（SMBG）―限界から可能性へ	¥1,980
Vol. 2#3 (2004) 糖尿病外来　初診の心得十か条	¥1,980
Vol. 2#4 (2004) 診療ガイドラインをマスターする―そのPros & Cons	¥1,980
Vol. 2#5 (2004) 私はこうしている－効果的な決めゼリフ	¥1,980
Vol. 2#6 (2004) やる気を引き出す糖尿病診療　10のコツ	¥1,980
Vol. 3#1 (2005) 糖尿病―心理と行動のサイエンス	¥1,980
Vol. 3#2 (2005) 増刊号 患者満足度を高める糖尿病診療	¥3,850
Vol. 3#3 (2005) 食育から食事療法2005	¥1,980
Vol. 3#4 (2005) 経口薬治療の質を高める10のポイント―経口血糖降下	¥1,980
Vol. 3#5 (2005) 糖尿病の外科治療―糖尿病は治るのですか？	¥1,980
Vol. 3#6 (2005) 糖尿病診療の神話と事実－日常診療のなかの不確実性	¥1,980
Vol. 3#7 (2005) 研修医と糖尿病療養指導士のための実力養成講座―な	¥1,980
Vol. 4#1 (2006) 糖尿病診療のQuality of Careを向上させたい	¥2,090
Vol. 4#2 (2006) 増刊号Brush Up!CDEワンランク上の糖尿病療養指導	¥3,850
Vol. 4#3 (2006) インスリン治療のエキスパートになる-明日からの臨床に	¥2,090
Vol. 4#4 (2006) 対論　糖尿病診療	¥2,090
Vol. 4#5 (2006) 患者さんに上手に説明するための17の秘訣	¥2,090
Vol. 4#6 (2006) 糖尿病診療のエビデンス＆プラクティス―欧米のエビデ	¥2,090
Vol. 4#7 (2006) 患者さんの負担をいかに軽減するか-クリニック・病院の	¥2,090
Vol. 5#1 (2007) 手足・皮膚・顔を診る	¥2,200
Vol. 5#2 (2007) 糖尿病の虚血性心疾患にどのようにアプローチするか	¥2,200
Vol. 5#3 (2007) 悪性腫瘍を見逃さない	¥2,200
Vol. 5#4 (2007) これでわかる！糖尿病患者の感染症対策	¥2,200
Vol. 5#5 (2007) 高齢者糖尿病にどう向き合うか	¥2,200
Vol. 5#6 (2007) 医療連携の新ルール	¥2,200
Vol. 6#1 (2008) 特定健診・特定保健指導で行動変容を成功させる	¥2,200
Vol. 6#2 (2008) 見えてきたニッポン・エビデンス	¥2,200
Vol. 6#3 (2008) 見逃してはならない10のSigns & Symptoms	¥2,200
Vol. 6#4 (2008) Pros & Cons 糖尿病腎症と慢性腎臓病(CKD)	¥2,200
Vol. 6#5 (2008) 糖尿病診療の死角 フェイルセーフはどこまで可能か	¥2,200
Vol. 6#6 (2008) 糖尿病QOLのエビデンスとそれを高める工夫	¥2,200
Vol. 7#1 (2009) 薬物療法の「常識」はいまも常識？	¥2,200
Vol. 7#2 (2009) 糖尿病診療のアート 名人からコツを学ぶ	¥2,200
Vol. 7#3 (2009) 最新のデータに基づく日本人の糖尿病治療	¥2,200
Vol. 7#4 (2009) チーム医療はどこまで実現したか？	¥2,200
Vol. 7#5 (2009) 糖尿病 こころと行動のキーコンセプト	¥2,200
Vol. 7#6 (2009) タバコとアルコール　その似て非なるところ	¥2,200
Vol. 8#1 (2010) 糖尿病の病態を「見える化」してみる	¥2,200
Vol. 8#2 (2010) 1型糖尿病のトータルケア	¥2,200
Vol. 8#3 (2010) 臨床医のための実践的食事療法	¥2,200
Vol. 8#4 (2010) 糖尿病合併症とその治療に関するエポックメーキングトピ	¥2,200
Vol. 8#5 (2010) 糖尿病治療の至適HbA1cを再考する	¥2,200
Vol. 8#6 (2010) 糖尿病診療の将来展望 10Topics	¥2,200
Vol. 9#1 (2011) どうしたらやせられる？―名人の示す実例集	¥2,750
Vol. 9#2 (2011) 糖尿病外来診療とPOCT	¥2,750
Vol. 9#3 (2011) 症例徹底！糖尿病患者の心理	¥2,750
Vol. 9#4 (2011) 糖尿病治療薬の2面性―糖代謝以外の作用にも目を向	¥2,750
Vol. 9#5 (2011) 糖尿病の治療	¥2,750
Vol. 9#6 (2011) いま一度低血糖を考える	¥2,750

Vol. 10#1 (2012) 健康食品にどう対応するか	¥2,860
Vol. 10#2 (2012) 糖尿病合併症のこころのケア	¥2,860
Vol. 10#3 (2012) 増刊号 Brush Up! CDE 症例から考える糖尿病療養指	¥2,860
Vol. 10#4 (2012) 脳・心・腎連関を見逃さない	¥2,860
Vol. 10#5 (2012) ライフステージに対応した糖尿病診療のコツ	¥2,860
Vol. 10#6 (2012) 高血圧in糖尿病　その対策!!	¥2,860
Vol. 10#7 (2012) 糖尿病診療のための実践的運動療法	¥2,860
Vol. 11#1 (2013) 増大号 糖尿病治療薬アップデート 最近の進歩を知る	¥3,960
Vol. 11#2 (2013) 各種ガイドラインを糖尿病治療に生かすには	¥2,970
Vol. 11#3 (2013) 増刊号 Brush up！CDE　CASEで学ぶインクレチン	¥2,970
Vol. 11#4 (2013) 増大号 2型糖尿病診療における15のコントロバシー	¥3,960
Vol. 11#5 (2013) 糖尿病患者の健康寿命を延ばす－先手を打つ実臨床	¥2,970
Vol. 11#6 (2013) 糖尿病医療連携－本当に必要なものは何か	¥2,970
Vol. 11#7 (2013) 増刊号 実践的糖尿病療養指導に活かすインスリン読	¥2,970
Vol. 11#8 (2013) 患者がわかると糖尿病がわかる！-糖尿病医療学的診	¥2,970
Vol. 12#1 (2014)「やせたい」を科学する	¥3,960
Vol. 12#2 (2014) 経口糖尿病治療薬	¥2,970
Vol. 12#3 (2014) 増刊号 Brush up！CDE 糖尿病合併症事典	¥2,970
Vol. 12#4 (2014) 糖尿病「前熟考期」の壁　あなたはどうして平気でいら	¥3,960
Vol. 12#5 (2014) 高齢者糖尿病診療のピットフォール	¥2,970
Vol. 12#6 (2014) 糖尿病診療に生かす連続モニタリング	¥2,970
Vol. 12#7 (2014) 増刊号 患者さんの問題解決！ 糖尿病食事療法	¥2,970
Vol. 12#8 (2014) 糖尿病診療コラボ時代 内科と外科	¥2,970
Vol. 13#1 (2015) 10 Topics in Diabetic Complications and Diabetes-Rela	¥2,970
Vol. 13#2 (2015) 必携！ 糖尿病患者の意識障害	¥2,970
Vol. 13#3 (2015) 糖尿病の臨床検査　その限界に挑戦する	¥2,970
Vol. 13#4 (2015) 糖尿病医療学の時代　糖尿病患者のこころを支える	¥2,970
Vol. 13#5 (2015) 糖のホメオスターシス　最近の知見	¥2,970
Vol. 13#6 (2015) 2型糖尿病の薬物治療　Trend（かわること） and Traditi	¥2,970
Vol. 13#7 (2015) 糖尿病診療におけるICT（Information and Communicati	¥2,970
Vol. 13#8 (2015) 糖尿病から脳を守る	¥2,970
Vol. 13#9 (2015) 血糖自己測定（SMBG）の課題と展望	¥2,970
Vol. 13#10 (2015) 糖尿病は回復するだろうか Part 1ー膵β細胞機能はも	¥2,970
Vol. 13#11 (2015) 糖尿病は回復するだろうか Part 2ー腎障害は寛解する	¥2,970
Vol. 13#12 (2015) 再生医療と創薬ー糖尿病患者のベッドサイドへ	¥2,970
Vol. 14#1 (2016) 中断と放置ー糖尿病診療のアドヒアランスを高めるため	¥2,970
Vol. 14#2 (2016) 元気の出る糖尿病チーム医療ーBuilding and Coordinat	¥2,970
Vol. 14#3 (2016) 病理でガッテン！糖尿病ー患者さんをも変えるミクロ画	¥2,970
Vol. 14#4 (2016) 糖尿病と外科ー併発症治療の最前線	¥2,970
Vol. 14#5 (2016) インスリン製剤の種類が増えましたー再考するインスリン	¥2,970
Vol. 14#6 (2016) 食事療法Revisit	¥2,970
Vol. 14#7 (2016) 見たい、知りたい、取り入れたいー糖尿病療養支援の	¥2,970
Vol. 14#8 (2016) 糖尿病診療の障壁(バリア)をのりこえる	¥2,970
Vol. 14#9 (2016) 進み過ぎた糖尿病合併症患者を支えるーよりよい生活	¥2,970
Vol. 14#10 (2016) 糖代謝異常妊婦さんを守ろう	¥2,970
Vol. 14#11 (2016) 経口糖尿病治療薬2016ー病態に応じたベストチョイス	¥2,970
Vol. 14#12 (2016) 実践！血糖モニタリングとインスリンポンプーCGM・SM	¥2,970
Vol. 15#1 (2017) 糖尿病薬物治療のアドヒアランスを高める	¥2,970
Vol. 15#2 (2017) 低血糖ー診療の現場からとらえ直す	¥2,970
Vol. 15#3 (2017) 糖尿病食事療法の指導技術パワーアップー現代日本	¥2,970
Vol. 15#4 (2017) 治療「手詰まり」の次の十手	¥2,970
Vol. 15#5 (2017) どこが変わった？ー糖尿病診療のガイドライン	¥2,970
Vol. 15#6 (2017) 腸内細菌ー糖尿病・肥満にまつわる10 topics	¥2,970
Vol. 15#7 (2017) 糖尿病と遺伝ー患者さんからの質問に的確にこたえるた	¥2,970
Vol. 15#8 (2017) 糖尿病医療学の進歩－医学と患者と医療者をつなぎ、	¥2,970
Vol. 15#9 (2017) 糖尿病診療 温故知新－こんなに変わった！昭和の常	¥2,970
Vol. 15#10 (2017) 臓器炎症からみた糖尿病および糖尿病性合併症	¥2,970

	Vol. 15#11 (2017) 診察のGold Standard－糖尿病診療の基本に立ち返る		¥2,970
	Vol. 15#12 (2017) 糖尿病診療 今後の展望－next decade		¥2,970
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
1082	**糖尿病と妊娠 Diabetes & Pregnancy（日本糖尿病・妊娠学会）**		
	Vol. 1#1-3 (2001)	各号	¥3,300
	Vol. 2#1,2 (2002)	各号	¥3,300
	Vol. 3#1 (2003)		¥3,300
	Vol. 5#1 (2005)		¥3,300
	Vol. 6#1,2 (2006)	各号	¥3,300
	Vol. 7#1 (2007)		¥3,300
	Vol. 8#2 (2008)		¥3,300
	Vol. 9#1,2 (2009)	各号	¥3,300
	Vol. 10#1,2 (2010)	各号	¥3,300
1083	**都市住宅（鹿島出版会）**		
	No.127-217 (1978-1985)	各号	¥1,650
1084	**都市問題（東京市政調査会）**		
	Vol. 49-88 (1958-1997) 各1-12号	各号	¥694
1085	**都市清掃（全国都市清掃会議）**		
	No. 257-285 (2004-2008)	各号	¥1,991
1086	**都市と廃棄物（環境産業新聞社）**		
	Vol. 35-38 (2005-2008) 各1-12号	各号	¥1,650
1087	**図書館雑誌（日本文庫協会）**		
	Vol. 100-107 (2006-2013) 各1-12号	各号	¥1,026
1088	**登山医学（日本登山医学研究会）**		
	Vol. 15-18 (1995-1998) 各1号	各号	¥5,500
1089	**Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences**		
	Vol. 48#161-162 (2006)	各号	¥2,200
	Vol. 49#166 (2007)		¥2,200
	Vol. 50#167-170 (2007/2008)	各号	¥2,200
	Vol. 51#171-174 (2008/2009)	各号	¥2,200
	Vol. 52#175-178 (2009/2010)	各号	¥2,200
	Vol. 53#179-182 (2010)	各号	¥2,200
	Vol. 54#183-184,185/186 (2011)	各号	¥2,200
	Vol. 55#1-6 (2012)	各号	¥2,200
	Vol. 56#1,2,5,6 (2013)	各号	¥2,200
	Vol. 58#1,2 (2015)	各号	¥2,200
1090	**Transactions of the Operations Research Society of Japan 日本オペレーションズ・リサーチ学会和文論文誌**		
	Vol. 47-51 (2004-2008)	各巻	¥3,300
1091	**トラウマティック・ストレス（日本トラウマティック・ストレス学会）**		
	第4回トラウマティック・ストレス学会 (2005)		¥1,760
	Vol. 5#1,2 (2007)	各号	¥1,760
	Vol. 6#2 (2008)		¥1,760
	Vol. 7#1,2 (2009)	各号	¥1,760
	日本トラウマティック・ストレス学会第8回大会 (2009)		¥1,760
1092	**Tumor Research (The Cancer Research Institute Sapporo Medical University School of Medicine)**		
	Vol. 30-38 (1995-2003)	各巻	¥5,500

1093	**馬の科学（競走馬総合研究所）**		
	Vol. 41#3,6; 42#1-6; 43#1 (2004-2006)	各号	¥1,650
	Vol. 44#4; 45#1-4,5/6 (2007-2008)	各号	¥1,650
	Vol. 46#1-4; 47#1-4 (2009-2010)	各号	¥1,650
1094	**うみ（日仏海洋学会）**		
	Vol. 9-42 (1971-2004) 各1-4号	各号	¥2,750
1095	**海の研究（日本海洋学会）**		
	Vol. 1-17 (1992-2008) 各1-6,特別号	各号	¥2,200
	Vol. 18#1,2 (2009)	各号	¥2,200
	Vol. 20#1 (2011)		¥2,200
	Vol. 21#2-5 (2012)	各号	¥2,200
1096	**Venus 貝類学雑誌（日本貝類学会）**		
	Vol. 1-10,14-25,27-69 (1928/29-2010/11) 各no.1-4	各号	¥2,200
1097	**ウイルス（日本ウイルス学会）**		
	Vol. 50-54,56,60 (2000-2010) 各1-2号	各号	¥3,300
1098	**ビタミン（日本ビタミン学会）**		
	Vol. 87-88 (2013-2014) 各1-4,5/6,7-12号	各号	¥1,760
1099	**和漢医薬学雑誌（和漢医薬学会）**		
	Vol. 1-12,14-19 (1984-2002) 各1-6号	各号	¥2,200
1100	**ウィリアム・ハーヴィ 動物発生論**		
	ロンドン 1651年版 Harvey, William - Exercitationes de generatione animalium Quibus accedunt quedam de partu: de membranis ac humoribus Uteri: & de Conceptione Londini, 1651 302 page Bound Reprint Saikon Publishing Tokyo 1979		¥88,000
1101	**ウィリアム・ハーヴィ 動物の心臓と血液の運動に関しての解剖学的研究**		
	フランクフルト 1628年版 Harvey, William - Exercitatio anatomica de motu cordis et sanguinis in a Francofurti, 1628 72 page + Figura 1-4 Bound Reprint Saikon Publishing Tokyo 1979		¥44,000
1102	**ウィリアム・スメリー 解剖図表**		
	ニュールンベルグ 1758年版 Smellie, Gvilielmi M.D. Tabvlae Anatomicae accedit Earvndem Explicatio cvm Brevi, de Arte Obstetricia, Institvtione, ad Illvstrandvm ovem de Eadem Illa in Pvblicvm Avctor edidit Tractatvm, Variarvmqve Observationvm Collectionem ex Anglico Transtvlit Georgivs Leonhartvs Hvth, M.D. in aes Incidit et Excvdit Iohannes Michael Seeligmann Nurnberg 1758 Bound Reprint 41 page with 39 illustrations Saikon Publishing Tokyo 1979		¥55,000
1103	**週刊ワールド・エアクラフト : World Aircraft（デアゴスティーニ・ジャパン）**		
	No. 74-115 (2001)	各号	¥770
	No. 116-167 (2002)	各号	¥770
	No. 168-206 (2003)	各号	¥770
1104	**薬局（南山堂）**		
	Vol. 56-61 (2005-2010) 各1-13号	各号	¥2,090
	Vol. 56-61 (2005-2010) 各増刊号	各号	¥3,300

1105	**有病者歯科医療（日本有病者歯科医療学会）**		
	Vol. 8-10 (2000-2001) 各1-2号	各号	¥2,200
	Vol. 11#1-3 (2002)	各号	¥2,200
	Vol. 12#2,3 (2003)	各号	¥2,200
	Vol. 13#1,2 (2004)	各号	¥2,200
	Vol. 23#1-4 (2014)	各号	¥2,200
	Vol. 24#1 (2015)		¥2,200
1106	**雑草研究（日本雑草防除研究会）**		
	Vol. 1-6,10-19 (1962-1975)	各巻	¥2,200
	Vol. 20-53,56-57 (1975-2012) 各1-4号	各号	¥2,200
1107	**Zero ゼロ ごみゼロ社会をめざす廃棄物と環境の専門誌（オフィスゼロ）**		
	No. 141-243 (2004-2008)	各号	¥2,750